函館市

中野B遺跡（III）

函館空港拡張整備工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書

第2分冊

III　遺構と遺構出土の遺物［続］
IV　包含層出土の遺物
V　自然科学的手法による分析結果
VI　まとめ
一覧表

平成7年度

財団法人　北海道埋蔵文化財センター

凡　　例

1．遺構は、以下の記号によって表記し、原則として発掘調査順に付した。

H：竪穴住居跡　　P：土壙　　T：Tピット　　F：焼土

HF：住居に伴う焼土および炉跡　　HP：住居に伴う小ピットおよび柱穴

2．遺構図の方位は真北を示し、レベルは標高(単位m)である。

3．掲載した実測図等の縮尺は、原則的に以下のとおりであるが、必要に応じてそれぞれにスケール・バーを明示してある。

遺構図：1／40　遺構図中の遺物出土状況図：1／20　土器実測図：1／4　土器拓影図：1／3

石器実測図　剝片石器・石斧：1／2　礫石器：1／3　土・石製品：1／2

4．遺構の規模は、以下のように計測値を表示した。

検出面での長軸長／床(壙底)面での長軸長×検出面での短軸長／床(壙底)面での短軸長×検出面からの最大深(単位m)。また一部壊されているものは現存長および復元推定値を(　)で示し、不明の場合は――の記号で表示した。

5．遺構覆土等における土層の混合状態を表現するため、以下のように表記している場合がある。

A＋B(A≒B)：AとBがほぼ同量にまじる　　A＞B：AにBが少量まじる

A≫B：AにBが微量まじる

6．出土遺物分布・接合図等では、各遺物を次の記号で表示し、必要に応じて別種の記号を用いた。

床面出土　土器●　剝片石器▲　礫石器■　磨製石器★

覆土出土　土器○　剝片石器△　礫石器□　磨製石器☆

また、遺構図中のPは土器、Sは石器、Fは剝片石器を示している。

第2分冊目次

凡例
第2分冊目次
III　遺構と遺構出土の遺物
　1　D地区
　　(1)　住居跡［続］
　　H－505 …… 357
　　(2)　土壙…… 437
　　(3)　土壙出土の遺物…… 456
　　(4)　Tピット…… 462
　　(5)　Tピット出土の遺物…… 475
　　(6)　焼土…… 482
　　(7)　その他の遺構（防空壕）…… 484
　2　E地区…… 485
　　(1)　土壙…… 485
　　(2)　Tピット…… 491
　3　F地区…… 504
IV　包含層出土の遺物…… 521
　1　土器…… 521
　　(1)　用語について…… 521
　　(2)　I群土器各群の概要…… 533
　　(3)　I群D1類土器について …… 534
　2　石器等…… 569
　　(1)　剝片石器群…… 569
　　(2)　磨製石器群…… 585
　　(3)　礫石器群…… 589
　　(4)　石製品…… 593
V　自然科学的手法による分析結果…… 597
　1　放射性炭素による年代測定結果－1 …… 597
　2　放射性炭素による年代測定結果－2 …… 599
　3　函館市中野B遺跡出土黒曜石のフィッショントラック年代…… 601
　4　函館市中野B遺跡出土黒曜石製遺物の原材産地分析…… 603
　5　函館市中野B遺跡出土炭化植物種子同定結果…… 615
　6　中野B遺跡におけるヒエ属種子の検出…… 617
　付記　中野B遺跡出土のヒエ属種子に関して…… 623
VI　まとめ…… 627
　1　遺構…… 627
　2　土器…… 629

3　石器…… 648
引用・参考文献…… 653
一覧表…… 655

挿図目次

図Ⅲ－313　H－505出土土器 ……357
図Ⅲ－314　H－505実測図 ……357
図Ⅲ－315　H－506実測図 ……358
図Ⅲ－316　H－506出土土器 ……359
図Ⅲ－317　H－506出土石器 ……359
図Ⅲ－318　H－506出土遺物分布・接合図 ……359
図Ⅲ－319　H－507実測図 ……360
図Ⅲ－320　H－507出土土器 ……361
図Ⅲ－321　H－507出土石器 ……361
図Ⅲ－322　H－507出土遺物分布図 ……361
図Ⅲ－323　H－508実測図 ……363
図Ⅲ－324　H－509実測図 ……364
図Ⅲ－325　H－509出土土器 ……365
図Ⅲ－326　H－509出土石器 ……365
図Ⅲ－327　H－509出土遺物分布図 ……365
図Ⅲ－328　H－510実測図 ……367
図Ⅲ－329　H－510出土土器 ……368
図Ⅲ－330　H－510出土石器 ……368
図Ⅲ－331　H－510出土遺物分布図 ……369
図Ⅲ－332　H－511実測図 ……370
図Ⅲ－333　H－511出土土器 ……371
図Ⅲ－334　H－511出土石器 ……371
図Ⅲ－335　H－511出土遺物分布・接合図 ……372
図Ⅲ－336　H－512実測図 ……373
図Ⅲ－337　H－512出土土器 ……374
図Ⅲ－338　H－512出土石器 ……374
図Ⅲ－339　H－512出土遺物分布図 ……375
図Ⅲ－340　H－513実測図 ……376
図Ⅲ－341　H－514実測図 ……377
図Ⅲ－342　H－514出土土器 ……378
図Ⅲ－343　H－514出土石器 ……378
図Ⅲ－344　H－514出土遺物分布図 ……378
図Ⅲ－345　H－515実測図 ……380
図Ⅲ－346　H－515出土土器 ……381
図Ⅲ－347　H－515出土石器 ……381
図Ⅲ－348　H－516実測図 ……382
図Ⅲ－349　H－516出土土器 ……383
図Ⅲ－350　H－516出土石器 ……383
図Ⅲ－351　H－516出土遺物分布図 ……383
図Ⅲ－352　H－517実測図 ……384
図Ⅲ－353　H－517出土土器 ……385
図Ⅲ－354　H－517出土石器 ……385
図Ⅲ－355　H－517出土遺物分布・接合図 ……385
図Ⅲ－356　H－518実測図 ……387
図Ⅲ－357　H－518出土土器 ……388
図Ⅲ－358　H－518出土石器 ……388
図Ⅲ－359　H－518出土遺物分布・接合図 ……388
図Ⅲ－360　H－519実測図 ……390
図Ⅲ－361　H－519出土土器 ……391
図Ⅲ－362　H－519出土石器 ……391
図Ⅲ－363　H－519出土遺物分布・接合図 ……392
図Ⅲ－364　H－520実測図 ……393
図Ⅲ－365　H－520出土土器 ……394
図Ⅲ－366　H－520出土石器 ……394
図Ⅲ－367　H－521実測図 ……395
図Ⅲ－368　H－521出土土器 ……396
図Ⅲ－369　H－521出土遺物分布・接合図 ……396
図Ⅲ－370　H－522実測図 ……397
図Ⅲ－371　H－522出土土器 ……398
図Ⅲ－372　H－522出土石器 ……398
図Ⅲ－373　H－522出土遺物分布・接合図 ……398
図Ⅲ－374　H－524実測図 ……399
図Ⅲ－375　H－524出土土器 ……400
図Ⅲ－376　H－524出土石器 ……400
図Ⅲ－377　H－524出土遺物分布・接合図 ……401
図Ⅲ－378　H－528実測図 ……402
図Ⅲ－379　H－528出土土器 ……402
図Ⅲ－380　H－528出土石器 ……402
図Ⅲ－381　H－528出土遺物分布図 ……403
図Ⅲ－382　H－531実測図 ……404
図Ⅲ－383　H－531出土土器 ……406
図Ⅲ－384　H－531出土石器 ……406
図Ⅲ－385　H－531出土遺物分布図 ……407
図Ⅲ－386　H－532実測図 ……408

図Ⅲ－387　Ｈ－532出土土器 ……409
図Ⅲ－388　Ｈ－532出土石器 ……409
図Ⅲ－389　Ｈ－532出土遺物分布図 ……409
図Ⅲ－390　Ｈ－533実測図 ……410
図Ⅲ－391　Ｈ－533出土土器 ……411
図Ⅲ－392　Ｈ－533出土石器 ……411
図Ⅲ－393　Ｈ－533出土遺物分布図 ……411
図Ⅲ－394　Ｈ－535実測図 ……413
図Ⅲ－395　Ｈ－535出土土器 ……414
図Ⅲ－396　Ｈ－535出土石器 ……414
図Ⅲ－397　Ｈ－535出土遺物分布・接合図 ……415
図Ⅲ－398　Ｈ－539実測図 ……416
図Ⅲ－399　Ｈ－539出土土器 ……417
図Ⅲ－400　Ｈ－539出土石器 ……417
図Ⅲ－401　Ｈ－539出土遺物分布図 ……417
図Ⅲ－402　Ｈ－540実測図 ……418
図Ⅲ－403　Ｈ－541実測図 ……419
図Ⅲ－404　Ｈ－541出土石器 ……420
図Ⅲ－405　Ｈ－542実測図 ……421
図Ⅲ－406　Ｈ－542出土土器 ……422
図Ⅲ－407　Ｈ－543出土土器 ……422
図Ⅲ－408　Ｈ－543出土石器 ……422
図Ⅲ－409　Ｈ－543実測図 ……423
図Ⅲ－410　Ｈ－545実測図 ……424
図Ⅲ－411　Ｈ－545出土石器 ……424
図Ⅲ－412　Ｈ－546実測図 ……425
図Ⅲ－413　Ｈ－547実測図 ……427
図Ⅲ－414　Ｈ－548実測図 ……427
図Ⅲ－415　Ｈ－549実測図 ……428
図Ⅲ－416　Ｈ－550実測図 ……429
図Ⅲ－417　Ｈ－550出土土器 ……430
図Ⅲ－418　Ｈ－550出土石器 ……430
図Ⅲ－419　Ｈ－551出土土器 ……431
図Ⅲ－420　Ｈ－551出土石器 ……431
図Ⅲ－421　Ｈ－551実測図 ……432
図Ⅲ－422　Ｈ－552実測図 ……433
図Ⅲ－423　Ｈ－552出土土器 ……433
図Ⅲ－424　Ｈ－553実測図 ……434
図Ⅲ－425　Ｈ－553出土土器 ……435
図Ⅲ－426　Ｈ－554・555・556実測図 ……435
図Ⅲ－427　Ｈ－557実測図 ……436
図Ⅲ－428　土壙実測図(1)……450
図Ⅲ－429　土壙実測図(2)……451
図Ⅲ－430　土壙実測図(3)……452
図Ⅲ－431　土壙実測図(4)……453
図Ⅲ－432　土壙実測図(5)……454
図Ⅲ－433　土壙実測図(6)……455
図Ⅲ－434　土壙出土土器(1)……457
図Ⅲ－435　土壙出土土器(2)……458
図Ⅲ－436　土壙出土石器(1)……460
図Ⅲ－437　土壙出土石器(2)……461
図Ⅲ－438　土壙出土石器(3)……462
図Ⅲ－439　Ｔピット実測図(1)……463
図Ⅲ－440　Ｔピット実測図(2)……464
図Ⅲ－441　Ｔピット実測図(3)……465
図Ⅲ－442　Ｔピット実測図(4)……466
図Ⅲ－443　Ｔピット実測図(5)……467
図Ⅲ－444　Ｔピット実測図(6)……468
図Ⅲ－445　Ｔピット実測図(7)……469
図Ⅲ－446　Ｔピット実測図(8)……470
図Ⅲ－447　Ｔピット実測図(9)……471
図Ⅲ－448　Ｔピット実測図(10)……472
図Ⅲ－449　Ｔピット実測図(11)……473
図Ⅲ－450　Ｔピット実測図(12)……474
図Ⅲ－451　Ｔピット出土土器(1)……478
図Ⅲ－452　Ｔピット出土土器(2)……479
図Ⅲ－453　Ｔピット出土土器(3)……480
図Ⅲ－454　Ｔピット出土土器(4)……481
図Ⅲ－455　Ｔピット出土石器……483
図Ⅲ－456　防空壕実測図……484
図Ⅲ－457　Ｅ地区の最終面地形測量図と
遺構位置図 ……487・488
図Ⅲ－458　土壙実測図(7)……492
図Ⅲ－459　土壙実測図(8)……493
図Ⅲ－460　土壙実測図(9)……494
図Ⅲ－461　Ｔピット実測図(13)……495
図Ⅲ－462　Ｔピット実測図(14)……496
図Ⅲ－463　Ｔピット実測図(15)……497
図Ⅲ－464　Ｔピット実測図(16)……498
図Ⅲ－465　Ｔピット実測図(17)……499

図III－466　Tピット実測図(18)……500
図III－467　Tピット実測図(19)……501
図III－468　Tピット実測図(20)……502
図III－469　Tピット実測図(21)……503
図III－470　F地区の最終面地形測量図と
遺構位置図 ……505・506
図III－471　Tピット実測図(22)……507
図III－472　Tピット実測図(23)……508
図III－473　Tピット実測図(24)……509
図III－474　Tピット実測図(25)……510
図III－475　Tピット実測図(26)……511
図III－476　Tピット実測図(27)……512
図III－477　Tピット実測図(28)……513
図III－478　Tピット実測図(29)……514
図III－479　Tピット実測図(30)……515
図III－480　Tピット実測図(31)……516
図III－481　Tピット実測図(32)……517
図III－482　Tピット実測図(33)……518
図III－483　Tピット実測図(34)……519
図IV－1　I群土器名称模式図 ……523
図IV－2　発掘区別出土遺物点数(1) ……524
図IV－3　発掘区別出土遺物点数(2) ……525
図IV－4　包含層出土のI群土器分布図(1) ……526
図IV－5　包含層出土のI群土器分布図(2) ……527
図IV－6　包含層出土のI群土器分布図(3) ……528
図IV－7　包含層出土のI群D2類土器
接合図 ……529
図IV－8　包含層出土のI群D1類土器
接合図(1) ……530
図IV－9　包含層出土のI群D1類土器
接合図(2) ……531・532
図IV－10　I群D1類A種土器(1)……543
図IV－11　I群D1類A種土器(2)……544
図IV－12　I群D1類A種(3)・B種(1)土器……545
図IV－13　I群D1類B種(2)・D2類(1)土器 ……546
図IV－14　I群B類・D1類A種(4)土器 ……547
図IV－15　I群D1類A種土器(5)……548
図IV－16　I群D1類A種土器(6)……549
図IV－17　I群D1類A種土器(7)……550
図IV－18　I群D1類A種土器(8)……551
図IV－19　I群D1類A種土器(9)……552
図IV－20　I群D1類A種土器(10)……553
図IV－21　I群D1類A種土器(11)……554
図IV－22　I群D1類B種土器(3)……555
図IV－23　I群D1類B種土器(4)……556
図IV－24　I群D1類B種土器(5)……557
図IV－25　I群D1類B種土器(6)……558
図IV－26　I群D1類B種土器(7)……559
図IV－27　I群D1類B種土器(8)……560
図IV－28　I群D1類A10種土器……561
図IV－29　I群D1類B10種土器と
D1類土器底部 ……562
図IV－30　I群D1類土器の尖底部と
土器片錘 ……563
図IV－31　I群D2類土器(2)……564
図IV－32　I群D2類土器(3)……565
図IV－33　I群E類土器(1) ……566
図IV－34　I群E類土器(2) ……567
図IV－35　I群G類土器 ……568
図IV－36　発掘区別出土石器点数 ……570
図IV－37　石器分類別分布図(1) ……571
図IV－38　石器分類別分布図(2) ……572
図IV－39　石器分類別分布図(3) ……573
図IV－40　包含層出土の石鏃 ……574
図IV－41　包含層出土の石槍 ……575
図IV－42　包含層出土の石錐 ……576
図IV－43　包含層出土の篦状石器 ……577
図IV－44　包含層出土の両面調整石器と
彫器様石器 ……578
図IV－45　包含層出土の石匙 ……579
図IV－46　包含層出土のスクレイパー(1) ……580
図IV－47　包含層出土のスクレイパー(2) ……581
図IV－48　包含層出土のスクレイパー(3) ……582
図IV－49　包含層出土のR・Uフレイク ……583
図IV－50　包含層出土の石核 ……584
図IV－51　包含層出土の石斧 ……586
図IV－52　包含層出土の擦り切り残片と
環状石斧 ……587
図IV－53　包含層出土のたたき石(1) ……588
図IV－54　包含層出土のたたき石(2) ……589

図Ⅳ－55　包含層出土のすり石(1) ……590
図Ⅳ－56　包含層出土のすり石(2) ……591
図Ⅳ－57　包含層出土の砥石(1) ……592
図Ⅳ－58　包含層出土の砥石(2)と石鋸 ……593
図Ⅳ－59　包含層出土の石錘 ……594
図Ⅳ－60　包含層出土の石皿と石製品 ……595
［Ⅴ章－１］
図１　放射性炭素による年代測定試料
　出土遺構位置図 ……597
［Ⅴ章－３］
図１　黒曜石製遺物出土分布図(1) ……602
［Ⅴ章－４］
図１　黒曜石製遺物出土分布図(2) ……606
図２　黒曜石原材産地分析試料 ……607
図３　黒曜石原産地 ……608
図Ⅵ－１　復元土器検出遺構と切り合い関係 ……631
図Ⅵ－２　貝殻沈線文土器文様要素対比グラフ …637
図Ⅵ－３　貝殻沈線文土器文様模式図 ……637
図Ⅵ－４　Ⅰ群Ｃ類、D1類Ａ・Ｂ種土器
　集成図(1) ……639・640
図Ⅵ－５　Ⅰ群Ｃ類、D1類Ａ・Ｂ種土器
　集成図(2) ……641・642
図Ⅵ－６　静内町駒場７遺跡出土土器(1) ……643
図Ⅵ－７　静内町駒場７遺跡出土土器(2) ……644
図Ⅵ－８　函館市梁川町遺跡出土土器 ……645
図Ⅵ－９　七飯町鳴川遺跡出土土器(1) ……646
図Ⅵ－10　七飯町鳴川遺跡出土土器(2) ……647
図Ⅵ－11　石器属性グラフ(1) ……649
図Ⅵ－12　石器属性グラフ(2) ……650
図Ⅵ－13　石器属性グラフ(3) ……651

表　目　次

［Ⅴ章－１］
表１　放射性炭素による年代測定値一覧 ……597
［Ⅴ章－２］
表１　放射性年代測定分析(AMS)値一覧……600
［Ⅴ章－３］
表１　フィッショントラック年代測定結果 ……602
［Ⅴ章－４］
表１－１　各黒曜石の原産地における原石群の
　元素比の平均値と標準偏差値(1) ……609
表１－２　各黒曜石の原産地における原石群の
　元素比の平均値と標準偏差値(2) ……610
表１－３　各黒曜石の原産地における原石群の
　元素比の平均値と標準偏差値(3) ……611
表２　中野Ｂ遺跡出土の黒曜石製遺物分析結果 …612
表３　中野Ｂ遺跡出土の黒曜石製遺物の
　原材産地推定結果 ……613
［Ⅴ章－５］
表１　中野Ｂ遺跡出土炭化種子一覧 ……615
［Ⅴ章－６］
表１　中野Ｂ遺跡検出のヒエ属種子計測一覧 ……620
［Ⅴ章－付記］
表１　ヒエ属種子出土遺構一覧 ……625
表Ⅵ－１　遺構の切り合い関係と
　復元土器の分類・出土層位(1) ……632
表Ⅵ－２　遺構の切り合い関係と
　復元土器の分類・出土層位(2) ……633
表Ⅵ－３　遺構の復元土器の分類・
　出土層位 ……633
［一覧表］
表１　平成７年度遺構一覧 ……655
表２　遺構出土遺物一覧 ……659
表３　包含層出土遺物一覧 ……663
表４　遺構の出土層位別遺物一覧 ……664
表５　遺構掲載土器一覧 ……693
表６　遺構掲載石器一覧 ……702
表７　包含層掲載土器一覧 ……713
表８　包含層掲載石器一覧 ……717

III　遺構と遺構出土の遺物

1　D地区

(1)　住居跡［続］

H－505（図III－313・314，図版48・148）

位置：40－33，41－33　標高45.30m 付近の平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：40－33、41－33の包含層調査中、茶褐色土の落ち込みを検出した。H－490の掘り残しかと思われたが、H－490の壁面に流れ込み状に流入したと思われる土器が貼り付いた状態で出土していることから、H－490とは別の遺構と判断し、調査を行なった。土層観察用の土手を設定し、茶褐色土を掘り下げたところ、ほぼ一層で、V層中に堅い暗黄色土が検出され、柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIII b 層中と思われる。覆土は一層で、混合土状の茶褐色土である。

重複関係：本住居跡はH－474、490と重複しており、これらより古い。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層を深く掘り込んで構築されている。平坦で、非常に堅い。

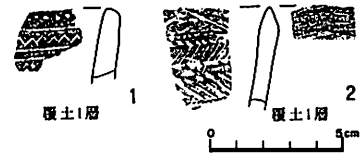
壁：立ち上がりは急傾斜である。残存部分の検出面からの壁高は、23cm～31cm である。

炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは 3 個検出され、いずれも壁際にあり、直立している。

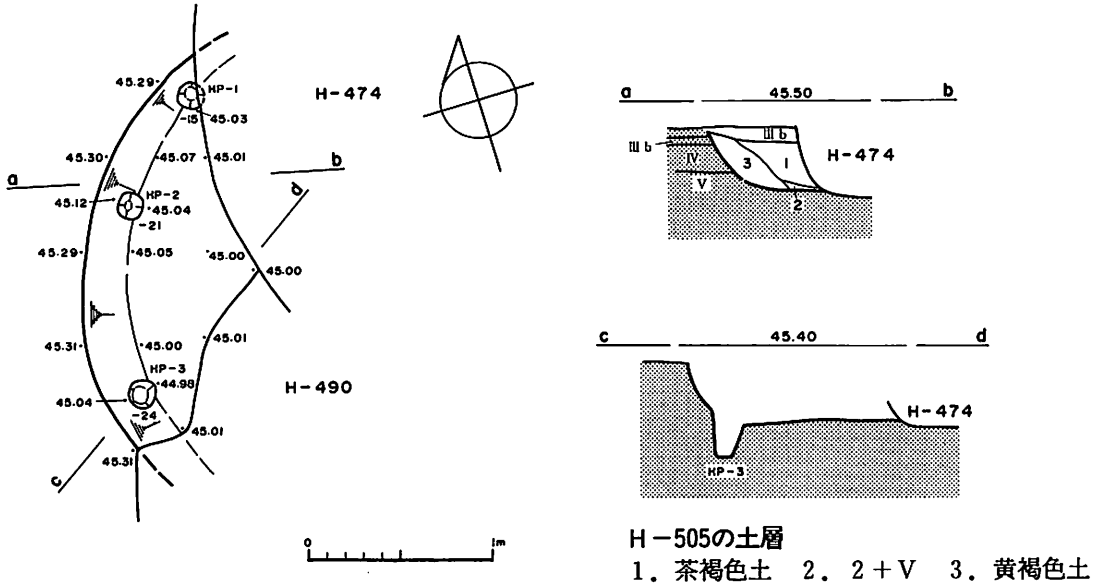
遺物出土状況：遺物は覆土中でI群D1類土器が 4 点、石器等が26点出土しただけである。石器では石錘が出土している。

土器：1・2 は覆土 1 層出土のI群D1類土器である。1 は平縁の口縁部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。口唇部上面には刺突文、外面には沈線、鋸歯状沈線文が施文されている。砂粒を多く含む。2 は平縁の口縁部破片で、口唇端部は鋭角的に仕上げている。外面には刺突を加えた沈線文と羽状の沈線文が施文され、口唇部内面には細かな貝殻条痕文が加えられる。内外面の色調は暗橙色。焼成良好で堅緻。　（和泉田　毅）



図III－313
H－505出土土器

H－505



H－505の土層
1．茶褐色土　2．2＋V　3．黄褐色土

図III－314　H－505実測図

H－506（図III－315～318，図版48・148・189）

位置：41－32，42－32・33　標高45.15m付近の平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：H－405、H－461の南壁面で覆土状の土の落ち込みを確認した。また周辺精査し、IIIb層下層中で茶褐色土の落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、覆土は掘り下げる。H－405・461の床面と、同じ高さで堅い床面を検出し、また壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ一層で、茶褐色系の混合土が床面直上まで堆積している。堅く、炭化物を多く含む。上層は茶褐色土、下層は暗茶褐色土である。

重複関係：本住居跡はH－405・461・473と重複しており、これらより古い。ただH－470とは相接しているが、新旧関係は不明である。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

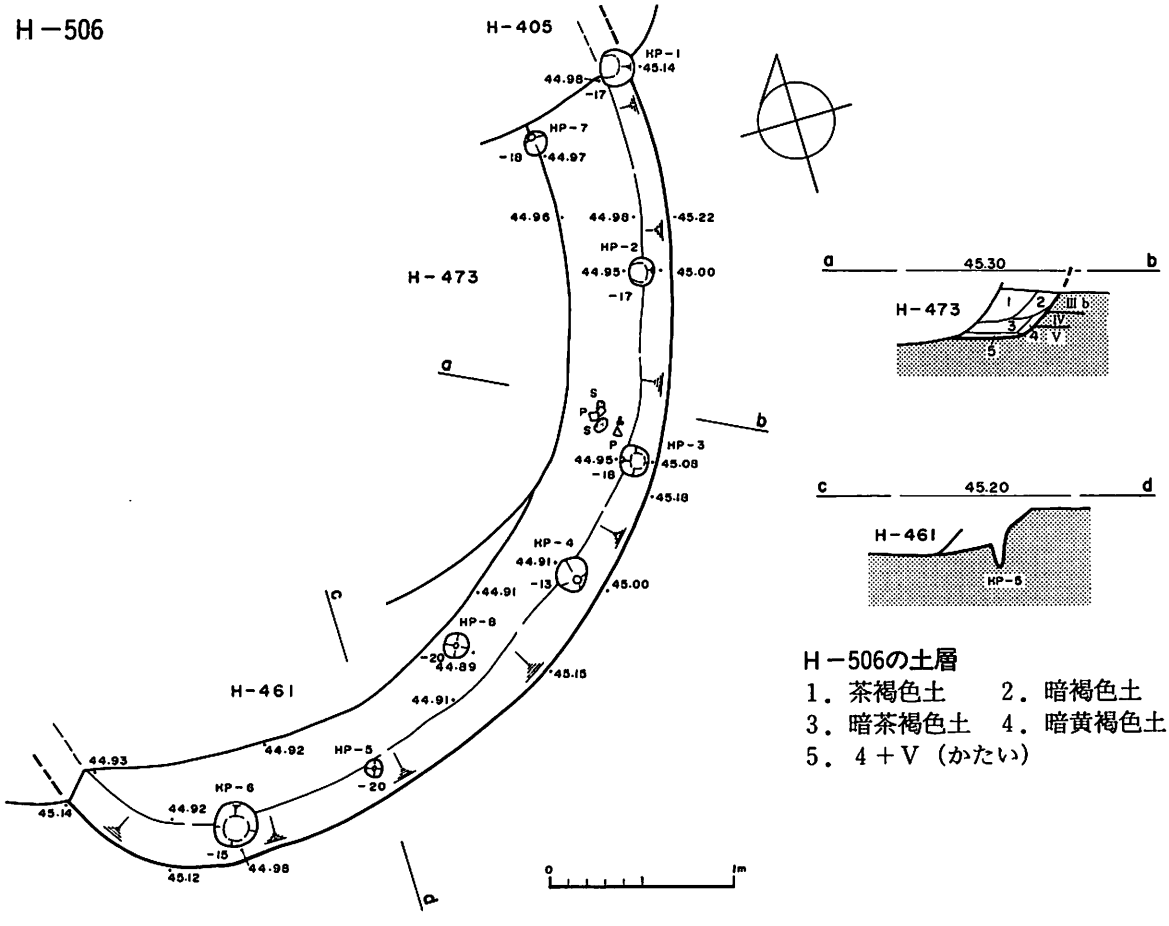
床面：V層を深く掘り込んで構築されている。非常に堅く、平坦である。H－405・461と同一レベルである。

壁：立ち上がりはゆるやかな傾斜である。残存部分の検出面からの壁高は、21cm～26cmである。

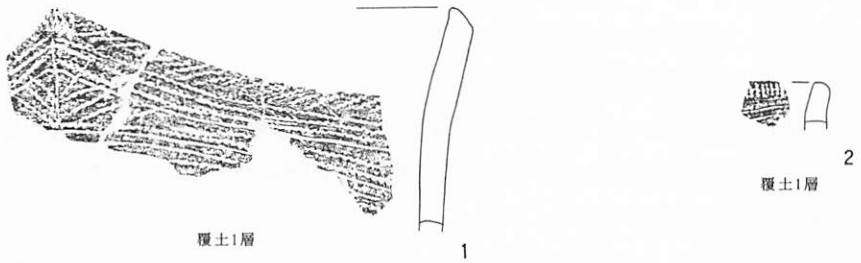
炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは6個検出されている。すべて壁際をめぐるものである。ほぼ直立している。

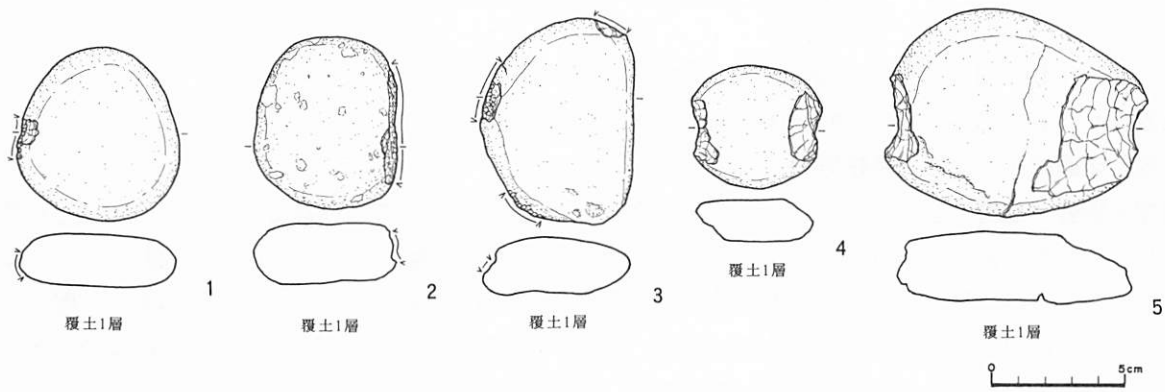
遺物出土状況：遺物はHP－2覆土からI群D1類土器が1点、覆土中で土器52点、石器等54点が出土している。覆土下層の床面直上付近で土器片と石錘が少しまとまって出土した。出土した土器はすべて



図III－315　H－506実測図

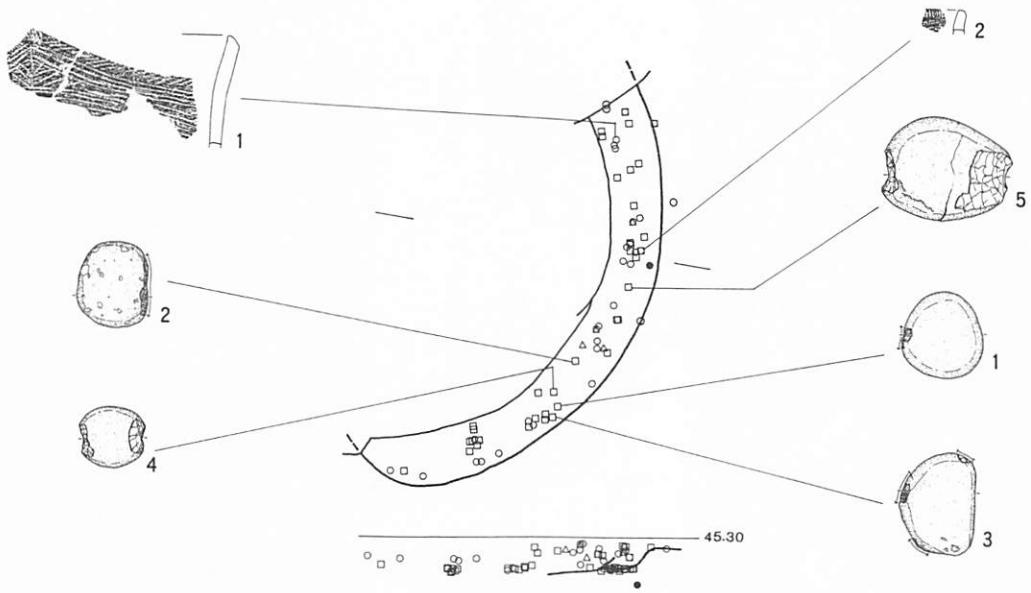


図III－316　H－506出土土器



図III－317　H－506出土石器

H－506





図III－318　H－506出土遺物分布・接合図

Ⅰ群D1類のもので、石器ではスクレイパー、たたき石、砥石、石錘（25点）などが出土している。

土器：1・2は覆土1層から出土したⅠ群D1類土器である。1はH－484床面直上出土の土器片が接合した波状口縁の波頂部破片である。口唇部断面形は切り出し状である。口唇部には連続腹縁文、口縁部外面には貝殻腹縁圧痕文が施文されている。内外面は丁寧なナデ調整が加えられている。焼成良好で堅緻。2は口縁部破片で、口唇端部は丸く仕上げている。口唇部内外面には連続腹縁文、口縁部外面には無肋筋の貝殻による腹縁圧痕文が施文されている。

石器：1～3はたたき石。ともに側縁部にたたき痕がある。4・5は石錘。4は閃緑岩製、5は安山岩製である。（和泉田　毅）

H－507（図III－319～322，図版48・49・148・189）

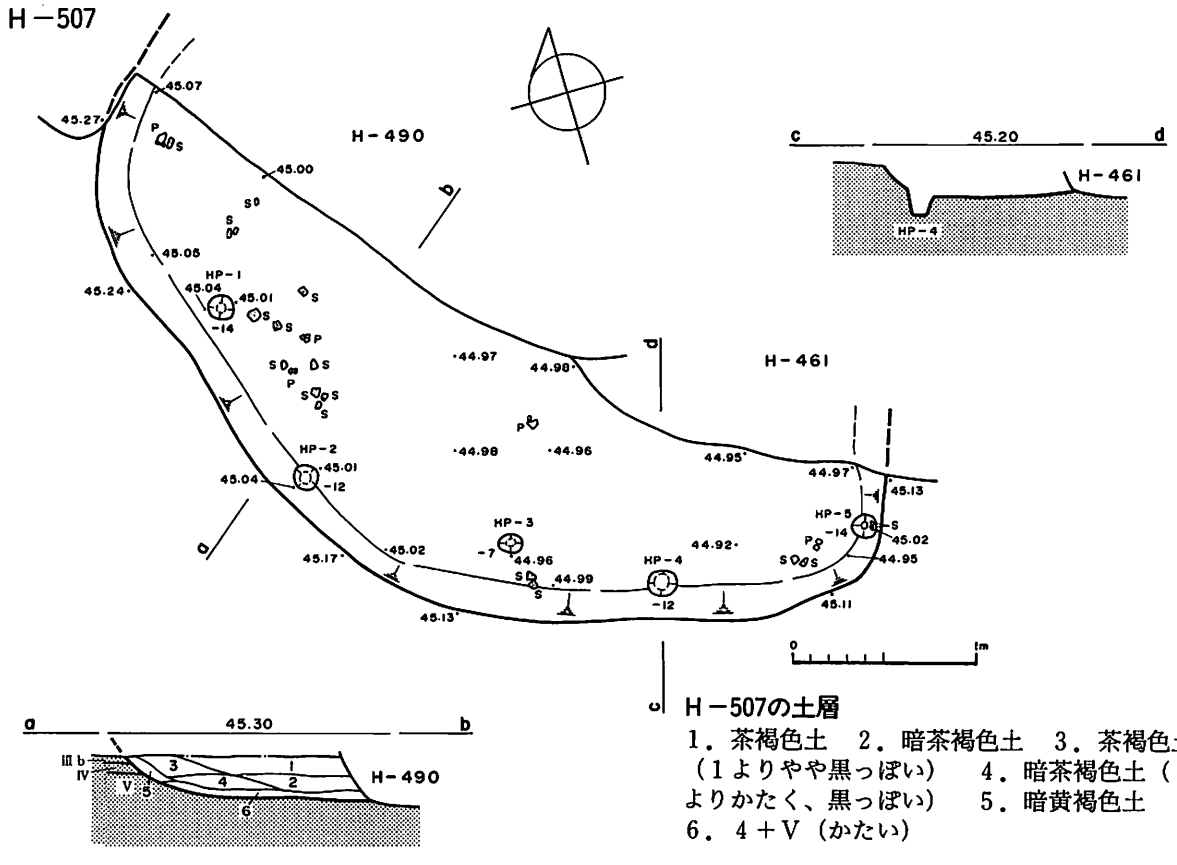
位置：41－32・33　標高45.09m～45.28mのほぼ平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：H－490、461の南西壁面で覆土状の土の落ち込みを確認した。このため周辺を精査し、IIIb層下層付近で茶褐色土の落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、調査を行った。覆土を掘り下げ、H－490、461の床面とほぼ同じ面で、堅い面を検出し、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ一層で、茶褐色系の混合土が床面直上付近まで堆積していた。上層は茶褐色土、下層は暗茶褐色土である。

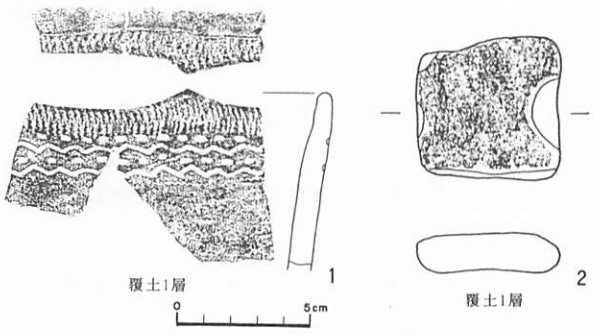
重複関係：本住居跡はH－490・461と重複しており、これらより古い。

時期：Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

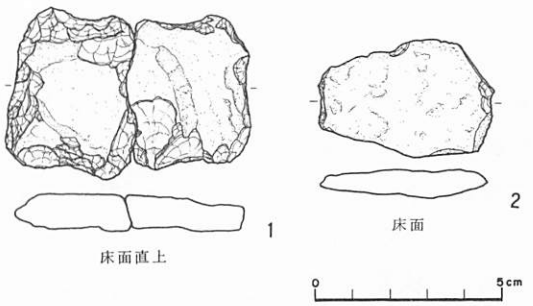


図III－319　H－507実測図

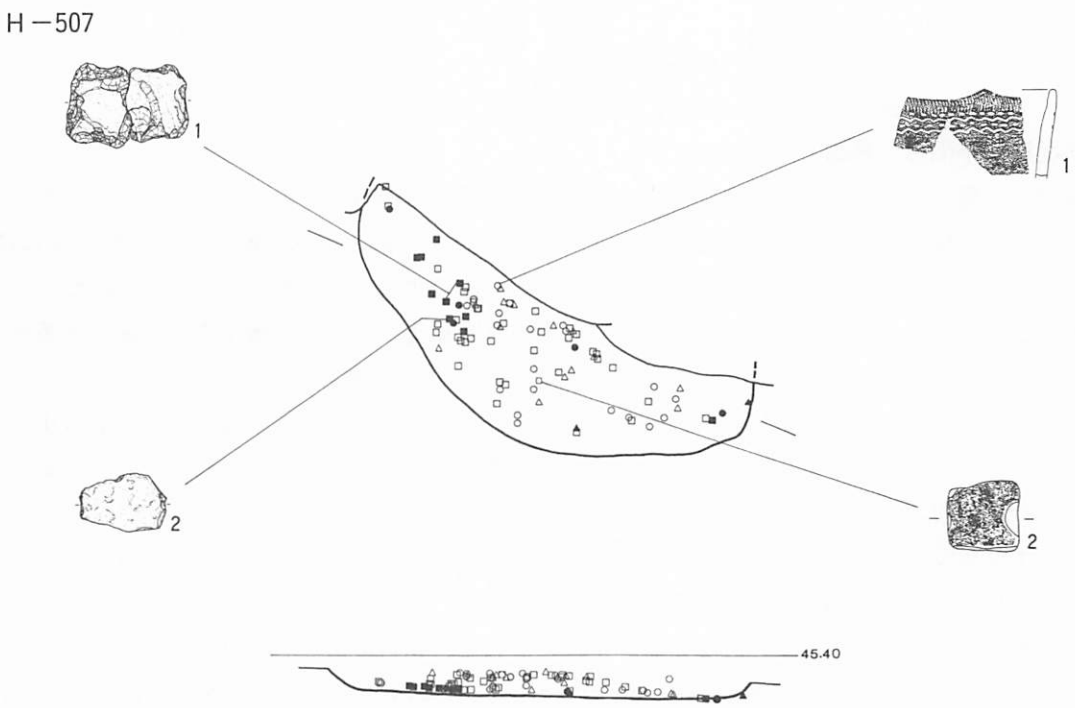
床面：V層を深く掘り込んで構築されている。北西側は堅く、南東側はやや軟質である。平坦である。
壁：立ち上がりはゆるやかな傾斜である。残存部分の検出面からの壁高は、ほぼ14cm～20cm である。
炉跡：焼土などは検出されていない。
付属ピット：柱穴状小ピットは５個検出されている。すべて壁際にあり、直立している。
遺物出土状況：出土遺物総数は120点である。この内訳は土器45点、石器等74点、土器片錘１点である。遺物は多くが覆土中、とくに上層から多く出土した。床面、床面直上からは土器９点、石器18点出土し、HP－５の覆土中からスクレイパーが１点出土した。出土した土器はすべてⅠ群D1類土器である。石器では両面調整石器、スクレイパー、たたき石、すり石、砥石、石錘（23点）などが出土している。
土器：１は覆土１層出土のⅠ群D1類土器である。41－30III層出土の土器片が接合したもので、H－457床面直上、H－535床面・床面直上出土の土器片と同一個体である。波状口縁の副突起部分の口縁・胴部破片で、口唇部は丸く仕上げている。口唇部内外面には連続波状文、口唇部外面には鋸歯状沈線文と刺突文が施文されている。内外面はナデ調整。２は覆土１層出土の土器片錘。
石器：１・２は石錘。１はそれぞれの石錘が接合し、それを１個の石錘として利用している。２は板状の凝灰岩を使用している。（和泉田　毅）



図III－320　H－507出土土器



図III－321　H－507出土石器



図III－322　H－507出土遺物分布図

H－508（図III－323，図版49）

位置：40－31，41－31　北から南へ若干傾斜する標高44.70m～44.94mの緩斜面上に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：H－462の東壁面、H－466の北壁面で覆土状の土の落ち込みを確認した。また40－31、41－31の包含層調査中、掘り揚げ土状の灰褐色土の広がりが見られ、土層観察用の土手を設定し、灰褐色土を掘り下げた。その結果、黒褐色土の落ち込みを検出した。黒褐色土から順次掘り下げ、軽石の混入する暗黄色土を除去し、V層中で暗灰黄色土の面を検出した。柱穴状小ピットも検出されたことからこの面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土は四層に分けられる。覆土1層は掘り揚げ土状の灰褐色土、覆土2層はやや粘質の黒褐色土である。覆土3層は混合土で汚れの目立つ暗黄茶色土、覆土4層は床面直上にあるもので軽石を混入する暗黄色土である。

重複関係：本住居跡はT－67、H－462・466・504・547・548・552と重複しており、T－67、H－462・466・504より古いが、他より新しい。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層を若干掘り込んで構築されている。やや軟質で、北から南へやや傾斜している。ほぼ平坦である。

壁：立ち上がりは急傾斜である。残存部分の検出面からの壁高は、全体に24cm～31cmである。

炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは8個検出されている。HP－1～7は壁際にあり、杭状で、全体にやや内傾している。HP－8は主柱穴と思われる。

遺物出土状況：遺物は14点出土している。すべて覆土中で出土したもので、まとまった出土状態ではない。土器はI群D1類土器（10点）が出土しており、石器では石錘などが出土している。

（和泉田　毅）

H－509（図III－324～327，図版50・148・189）

位置：43－34・35，標高45.47m～45.53mの平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

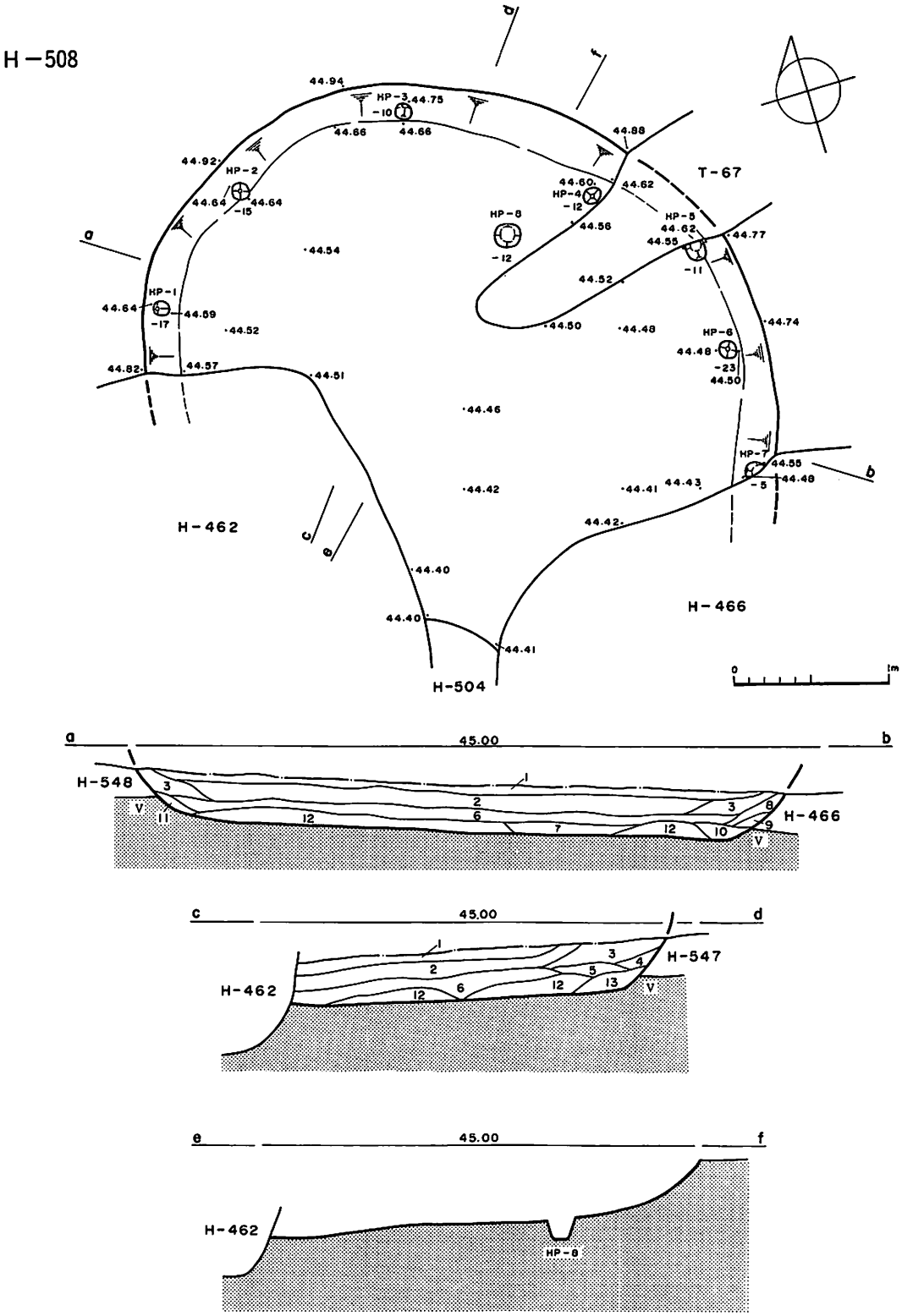
確認・調査・土層：43－34・35の包含層調査中、IV層直上付近でIIIb＞Vの広がりが見られ、暗茶褐色土の落ち込みを検出した。またH－512の北壁面で覆土状の土の落ち込みを確認した。覆土中の遺物を取り上げつつ、順次掘り下げ、調査を行った。V層中で暗黄色土の面を検出し、柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。ただ覆土中で東側に暗茶褐色土の落ち込みが検出され、本住居跡を切っている遺構（H－532）が確認されたため、この遺構を先に調査を行った。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ三層に分けられる。覆土1層はIIIb＞Vの褐色土、覆土2層は暗茶褐色土で、混合土である。覆土3層は床面上に見られる土で、砂質の灰黄色土や、やや粘質の暗灰色土である。部分的に堆積状況が異っている。

重複関係：本住居跡はH－512・513・532と重複しており、H－513より新しいが、他より古い。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層を少し掘り込んで構築されている。全体に砂質で、軟質である。ほぼ平坦。

壁：立ち上がりは全体に急傾斜である。残存部分の検出面からの立ち上がりは、西壁が19cm～26cm、北壁が10cm～14cmである。

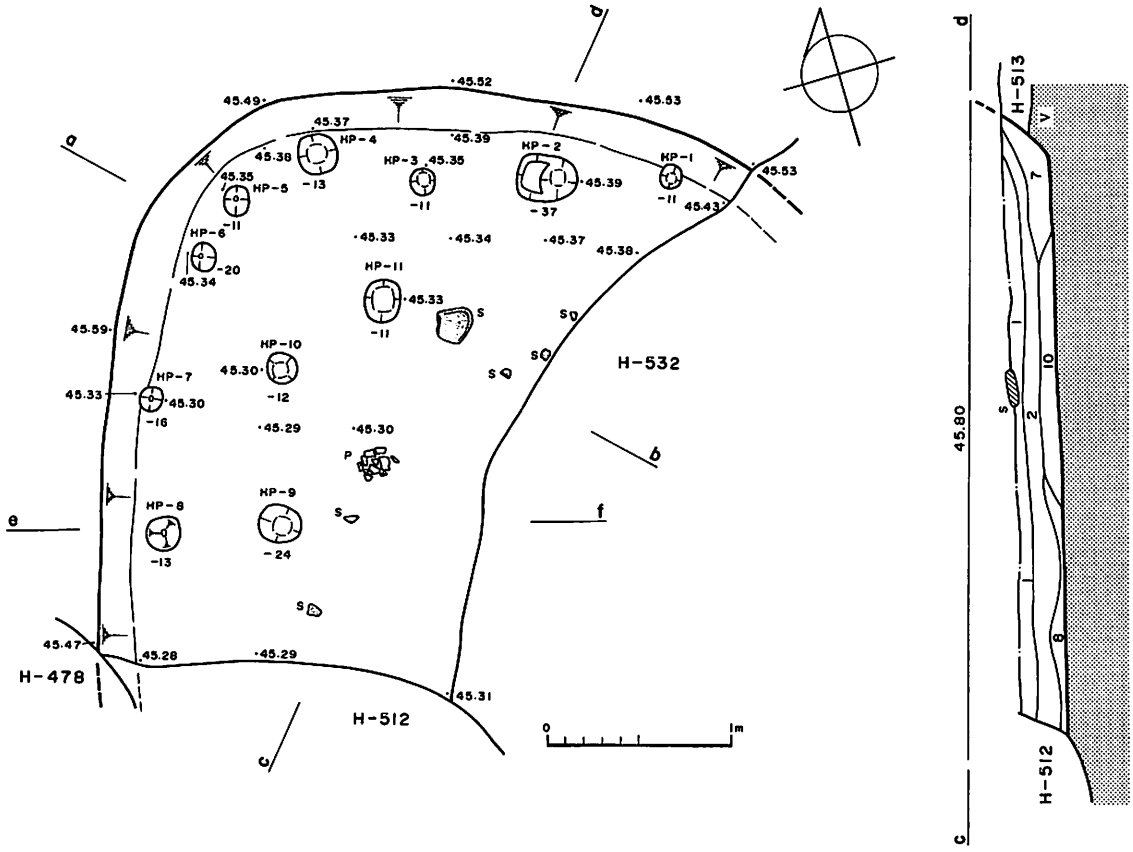


H－508の土層

1．灰褐色土（掘り揚げ土）　2．黒褐色土　3．IIIb≫V（暗褐色土）4．暗黄褐色土（IIIb＞V）　5．V＋3　6．2＞V（暗黄茶色土）　7．黄灰色土（粘質）　8．IIIb≫V　9．IIIb＞V　10．黄茶色土（砂質）　11．≒10（10より黄色土が多い）12．暗黄色土（軽石混入）　13．黄色土（砂質）

図III－323　H－508実測図

H－509

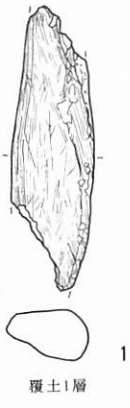


H－509の土層

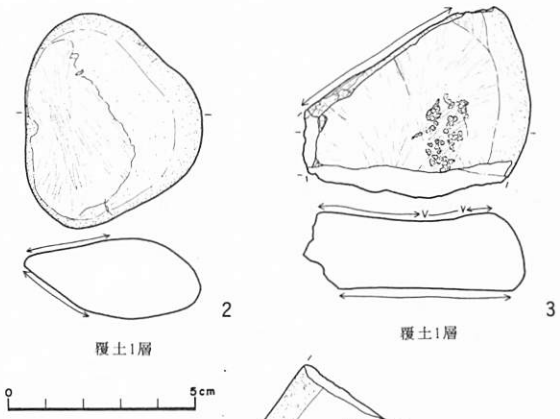
1．IIIb＞V　2．暗茶褐色土　3．黒茶色土＋IIIb
4．IIIb≫V　5．IIIb＞V　6．黒褐色土（軽石混入）
7．暗茶褐色土　8．灰黄色土（砂質）　9．暗茶灰色土＞V　10．暗灰色土（やや粘質）

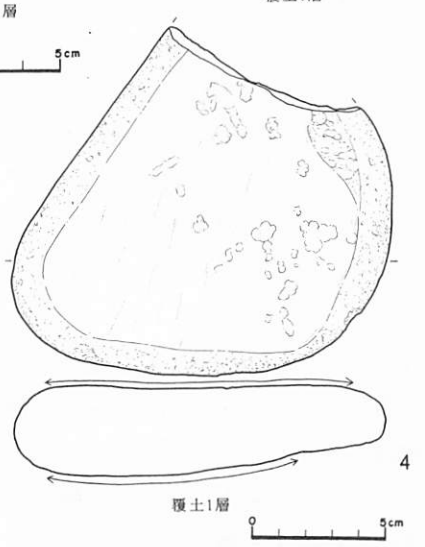
図III－324　H－509実測図





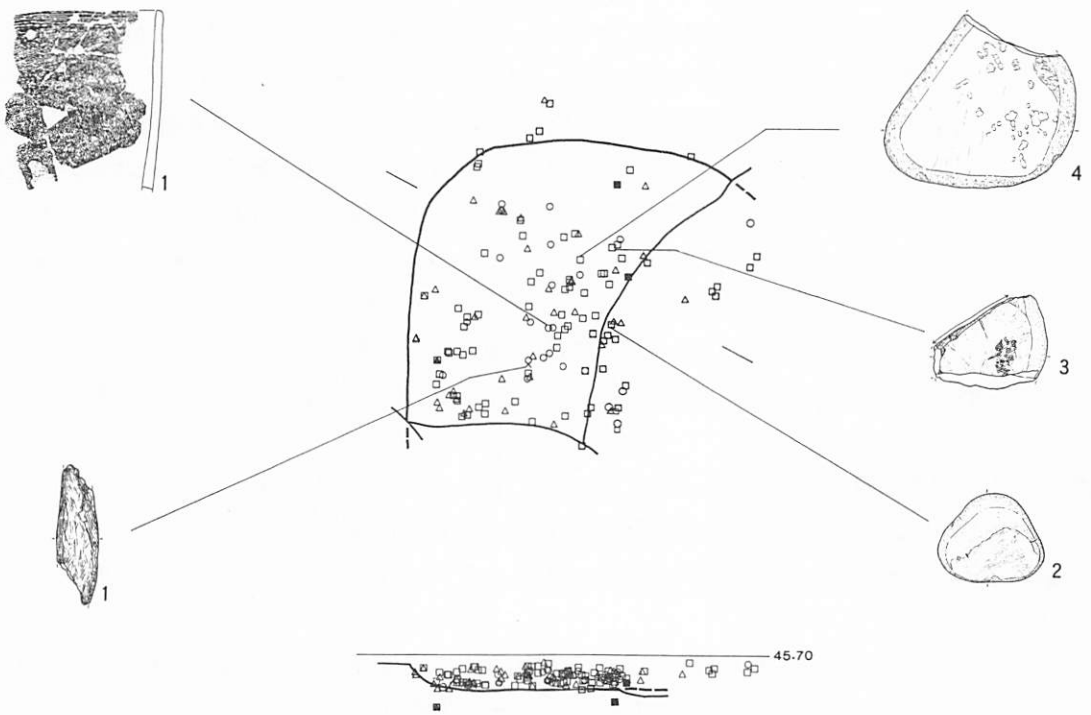
図III－325
H－509出土土器





図III－326　H－509出土石器

H－509



図III－327　H－509出土遺物分布図

炉跡：南東側床面直上付近で、焼土状の赤橙色土がわずかに検出されたが、本住居跡に伴う炉跡かどうかは不明である。

付属ピット：柱穴状小ピットは11個検出されている。HP－1～8は壁際にあるものである。すべて直立している。

遺物出土状況：出土遺物総数は230点である。この内訳は土器73点、石器等157点である。床面、床面直上付近などからは石錘が2点、剥片1点、礫4点が出土しただけで、他は覆土中からの出土である。遺物は覆土上層で多く出土しているが、まとまった出土状態ではない。出土した土器は覆土上層でI群D2類のものが1点出土しているだけで、他はI群D1類土器である。石器では両面調整石器、スクレイパー、擦り切り残片、たたき石、すり石、石皿、砥石、石錘などが出土している。

土器：1は覆土2層出土のI群D1類土器である。平縁の口縁・胴部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。口縁部外面には沈線、刺突文が施文され、外面はナデ調整。内面にはすり消し条痕文が加えられている。円孔が見られる。

石器：1は蛇紋岩製の擦り切りの残片。2・3は砥石。2は研ぎ面が2面、3は3面ある。4は流紋岩製の石皿である。　（和泉田　毅）

H－510（図III－328～331，図版50・148・190）

位置：45－33・34，46－33・34　標高45.36m～45.57mのほぼ平坦地に位置している。

規模：4.48m／3.90m×(2.70)m／(2.30)m×0.30m　　**床面積**：(7.78)㎡

平面形：隅丸長方形状　　**長軸方向**：N－60°－W

確認・調査・土層：45－33・34、46－33・34の包含層調査中、IV層直上付近でIIIb＞Vの広がりが見られ、茶褐色土の落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、覆土を順次掘り下げ、調査を行う。黒褐色土や木の根痕などがあり、覆土の堆積状態は不安定であるが、茶褐色土の下に汚れた暗茶黄色土が見られた。この層の下層には炭化物が多く散在しており、これを除去し、堅い暗灰黄色土の面を検出した。柱穴状小ピットも検出したことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。柱穴状小ピットの調査で、その底が非常に堅くなっており、部分的に小トレンチを入れ、床面下を調査したところ、約10cmほど下に非常に堅い暗黄色土が確認された。この面が構築面と考えられ、炭化物の見られた暗灰黄色土上面は最終生活面と思われる。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ三層と思われる。覆土1層はIIIb＞Vの褐色土である。覆土2層は混合土状の茶褐色土である。10cm～20cmほど堆積している。覆土3層は床面上にあるやや砂質の暗茶黄色土である。なお覆土3層の下には10cmほどの暗灰黄色土が堆積している。これは床面下堆積土とした。また部分的ではあるが、覆土1層下面付近から落ち込んでいるやや粘質の黒褐色土が数ケ所見られた。ピットかとも考えられたが、床面まで達しておらず、壙底、壁ともに明瞭ではなく、不定形であるため、部分的な堆積土とした。

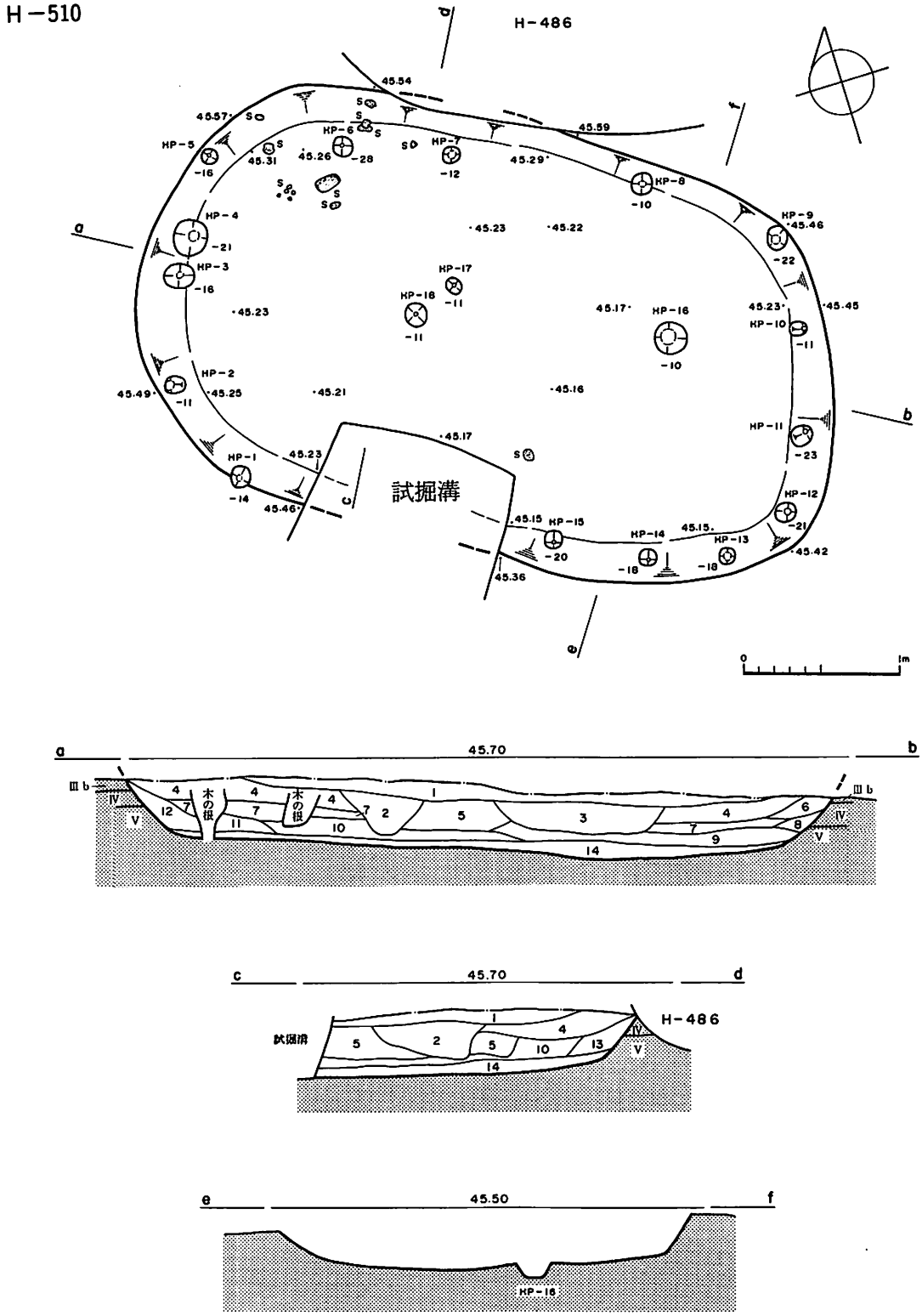
重複関係：本住居跡はH－486・521と重複しており、H－486より古く、H－521より新しい。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：最終生活面、構築面ともにV層中に構築されている。ほぼ平坦で堅い。最終生活面上には炭化物が散在していた。

壁：立ち上がりは全体にゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高（最終生活面）は、北西壁が22cm～27cm、北東壁が24cm～30cm、南東壁が22cm～27cm、南西壁が19cm～23cmである。

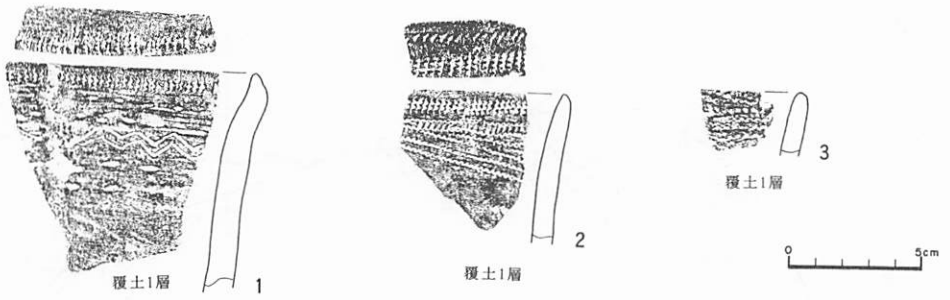
炉跡：焼土などは検出されていない。



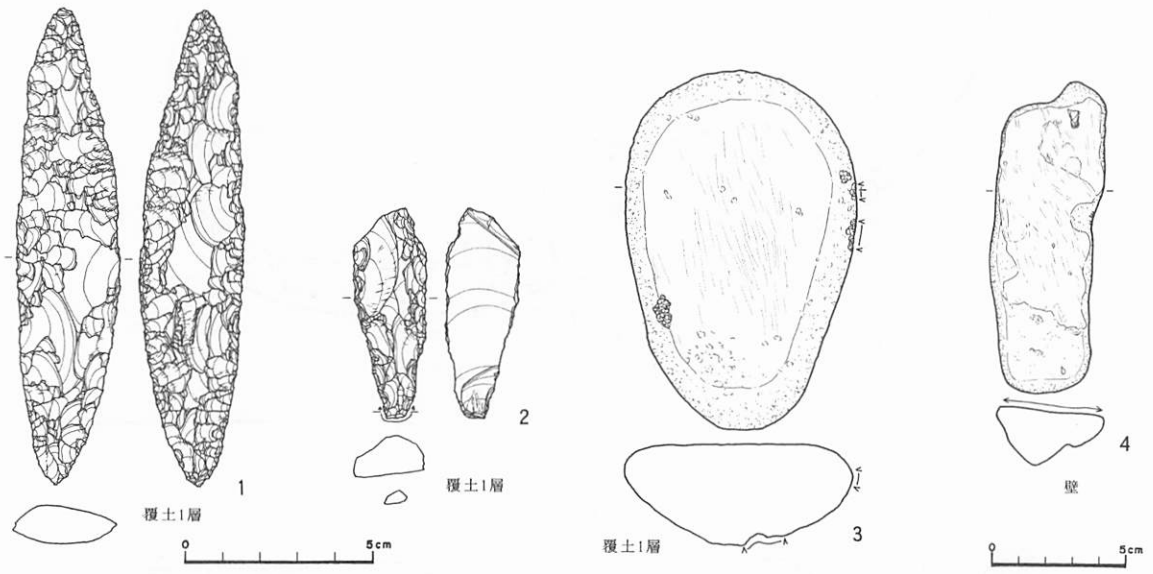
H－510の土層

1．IIIb＞V　2．暗茶褐色土　3．黒褐色土（粘質）　4．茶褐色土　5．茶褐色土（4よりVが多い、軽石混入）　6．IIIb＞V（暗褐色土）　7．4＞9　8．暗黄褐色土　9．暗茶黄色土　10．暗黄色土（砂質）　11．黄茶色土　12．暗茶褐色土（黄色土多く混入）　13．灰黄色土（粘質）　14．暗灰黄色土（かたい）

図III－328　H－510実測図



図Ⅲ－329　Ｈ－510出土土器



図Ⅲ－330　Ｈ－510出土石器

付属ピット：柱穴状小ピットは18個検出されている。このうちHP－16・18は最終生活面上で検出されたものであり、他は構築面の床面で検出したものである。HP－１～15は壁際、壁面にあり、ほぼ直立しており、杭状のものが多い。HP－16～18は主柱穴と思われ、２本柱が想定される。

遺物出土状況：出土遺物総数は147点である。この内訳は土器85点、石器等62点である。床面直上付近からは礫が１点出土したほかは、すべて覆土中から出土したものである。遺物は覆土１層から多く出土している。まとまりは見られない。ただ覆土１層の北西側付近では礫石器類がまとまった状態で出土した。Ⅰ群Ｅ類土器が覆土１層で１点出土した以外はすべてⅠ群Ｄ1類土器である。石器では石槍、石錐、たたき石、すり石、砥石、石錘（15点）などが出土している。

土器：１～３は覆土１層から出土したもので、これらはⅠ群Ｄ1類土器である。１は平縁の口縁・胴部破片で、口唇端部は鋭角的に仕上げている。口唇部内外面には連続腹縁文、口縁部外面には刺突を加えた沈線文、鋸歯状沈線文が施文される。内面はすり消し条痕文が加えられている。２は波状の口縁・胴部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。口唇部内外面には連続腹縁文、口縁部外面には貝殻腹縁圧痕文が施文され、爪痕が残る。３は波状の口縁部破片で、口唇部は丸く仕上げている。外面には刺突を加えた沈線文、貝殻腹縁圧痕文が見られる。胎土には砂粒を含み、脆弱である。

石器：１は1b1類の石槍。２は石錐。３はたたき痕が残る２類のすり石。４は研ぎ面が１面の砥石である。

（和泉田　毅）

H－510



図III－331　H－510出土遺物分布図

H－511（図III－332～335，図版51・148・190）

位置：44－32・33　標高45.12m～45.29m のほぼ平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：44－32・33の包含層調査中、IV層直上付近で、III b≫Vの落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、覆土を順次掘り下げ、調査を行った。V層中で暗灰黄色土の面を検出し、柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIII b層中と思われる。覆土はほぼ二層である。覆土１層はIII b≫Vの暗褐色土、覆土２層はIII b＞Vの褐色土である。軽石を少量混入している。床面直上にはやや粘質で、汚れた暗灰黄色土が薄く堆積している。

重複関係：本住居跡は、P－270、H－479と重複しており、これらより古い。P－291との新旧関係は不明である。

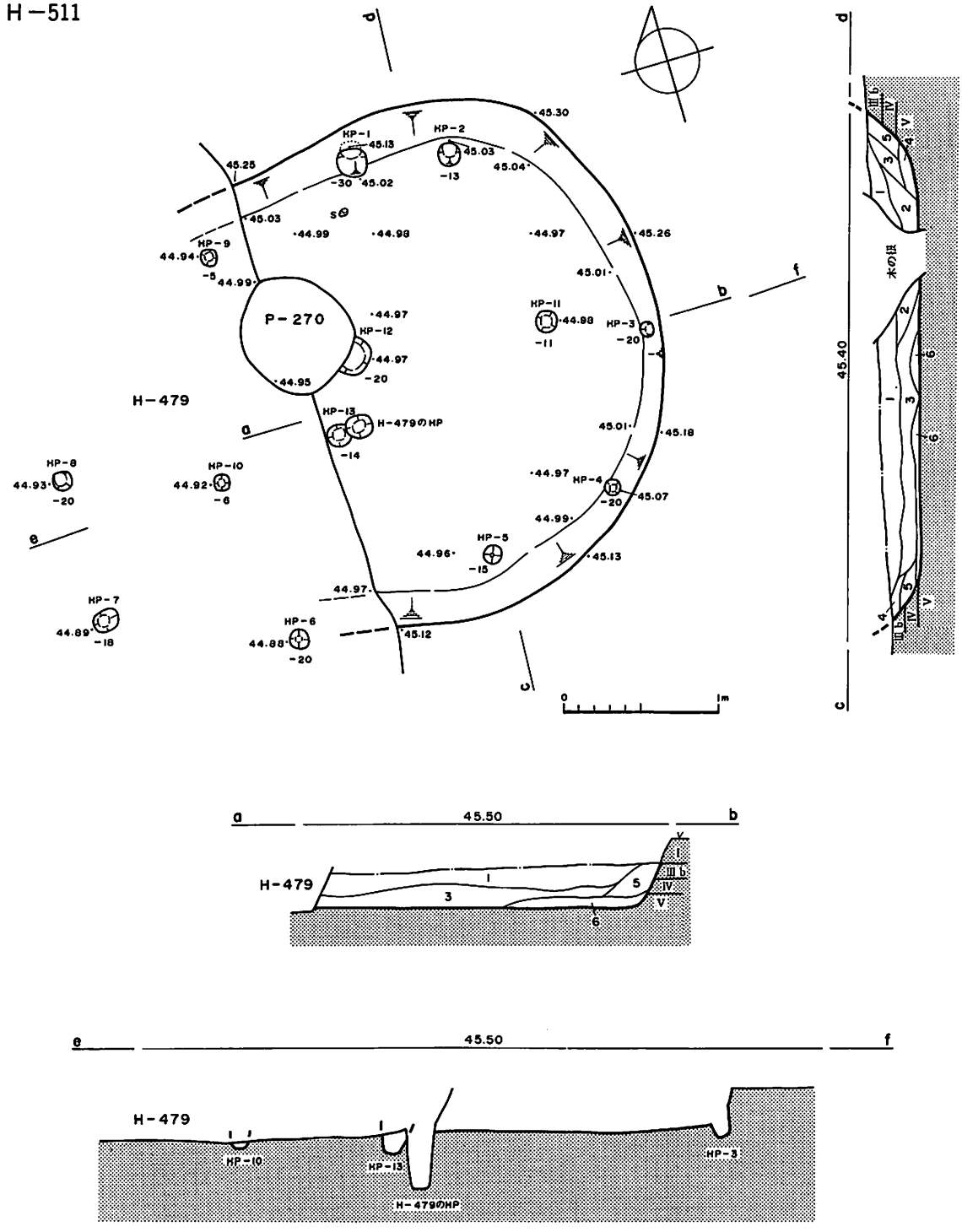
時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層を若干掘り込んで構築されている。ほぼ平坦であるが、やや軟質である。

壁：立ち上がりは、東側で一部急傾斜の部分はあるが、全体にゆるやかな傾斜である。残存部分の検出面からの壁高は、北壁が22cm 前後、東壁が17cm～26cm、南壁が14cm 前後である。

炉跡：焼土などは検出されていない。

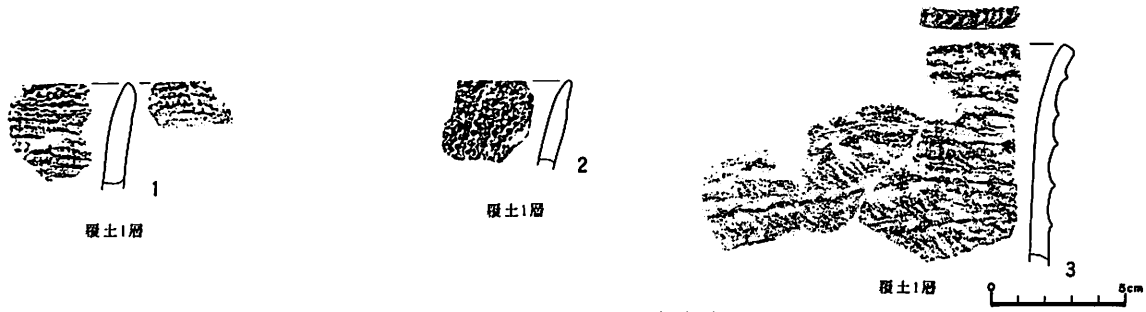
付属ピット：柱穴状小ピットは13個検出されている。HP－１～９は壁際にあるものと思われる。HP－６～９はH－479の床面で検出されたものである。全体に浅く、若干内傾しているものが多い。HP－13はH－479の柱穴状小ピットと重複しており、これに切られている。HP－10・11・12は主柱穴と思われる。直立している。ただ１本柱なのか２本柱であるのか判然としないが、建て替えが行われている可



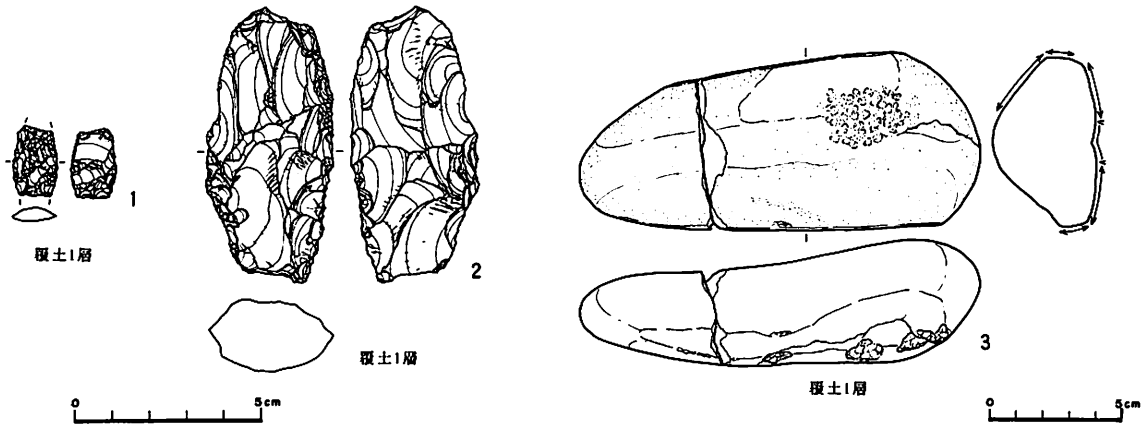
H－511の土層

1．IIIb≫V　2．茶褐色土＞V（軽石混入）　3．IIIb＞V（軽石少量混入）　4．≒1（1よりやや黒味つよく、軽石を含まない）　5．暗黄褐色土

図III－332　H－511実測図



図III－333　H－511出土土器



図III－334　H－511出土石器

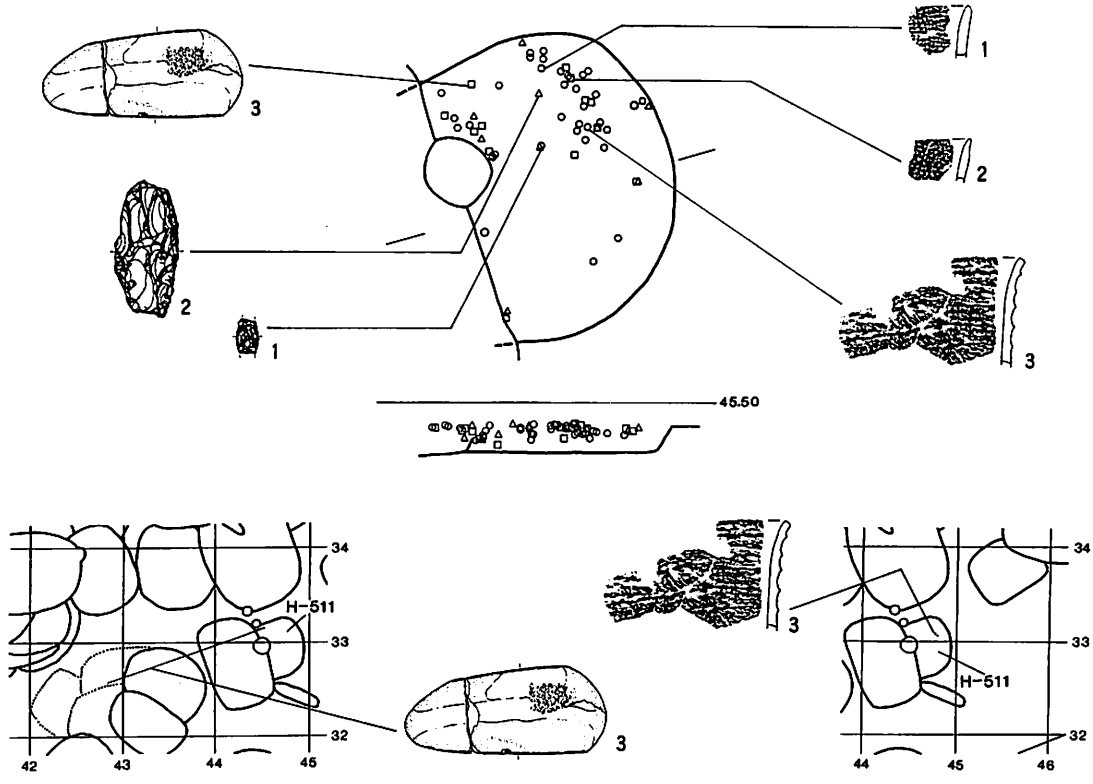
能性もある。

遺物出土状況：出土遺物総数は101点である。この内訳は土器72点、石器等29点である。遺物はすべて覆土中から出土したもので、全体の約85％は覆土１層から出土した。ただ全体にまとまった出土状態ではない。出土した土器は覆土１層でＩ群Ｅ類のもの18点が出土しているが、他はすべてＩ群Ｄ1類土器である。石器では石鏃、両面調整石器、すり石、砥石、石錘などが出土している。

土器：１～３は覆土１層から出土したものである。１・２はＩ群Ｄ1類土器、３はＩ群Ｅ類土器である。１は口縁部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。内外面には連続押引文が施文されている。胎土には砂粒が多く、堅い。２は口縁部破片で、口唇端部は鋭角的に仕上げている。内面にはすり消し条痕文、外面にはナデ調整が加えられている。胎土には砂粒を含み、脆弱である。３は44－33Ｉ層出土の土器片と接合したもので、平縁の口縁・胴部破片である。口唇端部は丸く仕上げている。口唇端部には無肋筋の貝殻による腹縁圧痕文が施文され、外面には粘土を貼り付け粗い微隆起帯をつくっている。全体に脆弱で、つくりは粗雑である。

石器：１は黒曜石製の石鏃。尖頭部は欠損しているが、柳葉形の未成品と思われる。２は両面調整石器。形態は篦状石器に類似する。３はすり石。断面三角形で、たたき痕が残る。　　（和泉田　毅）

H－511



図III－335　H－511出土遺物分布・接合図

H－512（図III－336～339，図版51・148・190）

位置：42－34，43－33・34　標高45.49m付近の平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：42－34、43－33・34の包含層調査中、IV層直上付近でIIIb＞Vの広がりが確認された。土層観察用の土手を設定し、IIIb＞Vを掘り下げ、明茶褐色土の落ち込みを検出した。またH－478の北東壁面、T－161の壁面でそれぞれ覆土状の土の落ち込みを確認した。覆土を順次掘り下げ、V層中で暗灰黄色土の面が検出され、柱穴状小ピットも検出された。また北東側の同層上で火熱により赤色化した部分も検出され、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土は三層である。覆土1層はIIIb＞Vの褐色土、覆土2層は混合土状のもので、砂質で軽石を少量混入するやや軟質の明茶褐色土である。ただ壁近くでは覆土1層とまじり合った土が見られた。覆土3層は床面上にあるもので、中央部が暗黄色土、他は暗黄灰色土である。覆土は木の根痕の影響を多く受け、全体的に堆積状態は不安定である。

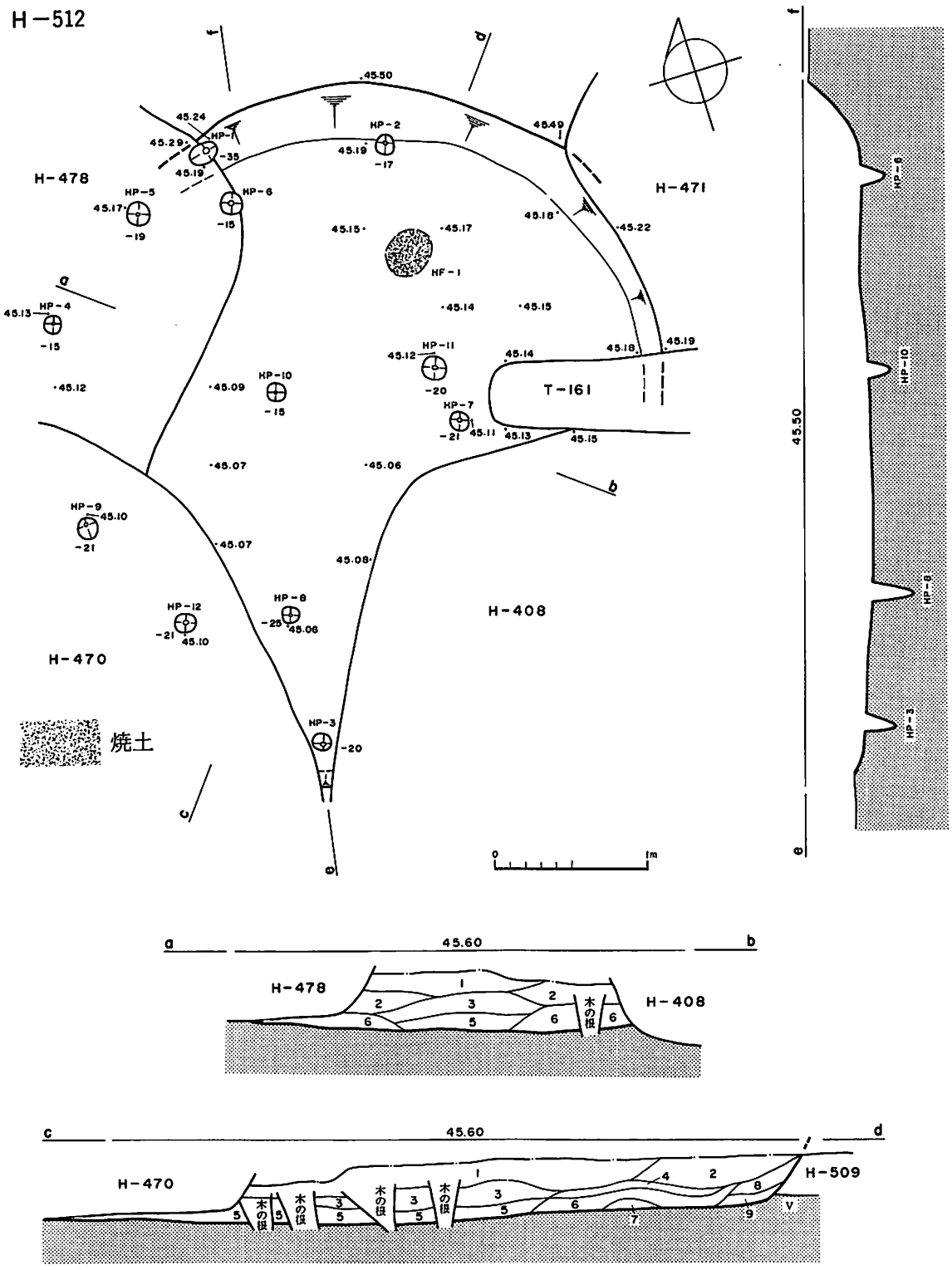
重複関係：本住居跡はT－161、H－408・470・471・478・509・532と重複しており、H－509・532より新しいが、他よりは古い。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層を少し掘り込んで構築されている。ただ南側は本住居の覆土中にH－408・478の床面が構築されているのが判明した。全体に凹凸があり、軟質である。

壁：残存部分の立ち上がりはゆるやかな傾斜で、検出面からの壁高は、27cm～35cmである。

炉跡：北東側の床面上で30cm×25cmの範囲で、火熱を受け赤色化した部分が検出された。明確に炉跡といえるかどうかは明瞭ではない。



H－512の土層

1．IIIb＞V（褐色土。覆土1）　2．1＋3（明茶褐色土。覆土2）　3．明茶褐色土（軟質、砂質、軽石少量混入。覆土2）　4．暗黄褐色土　5．暗黄色土（覆土3）6．暗黄灰色土（覆土3）　7．黄橙色土（6が赤くなっている、焼土か？）　8．暗褐色土（IIIb≫V）　9．黄褐色土（V≫IIIb）

図III－336　H－512実測図

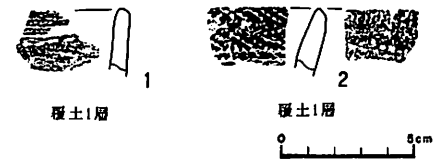
付属ピット：柱穴状小ピットは12個検出されている。HP－1～5は壁際にあるものと思われる。直立している。HP－10は主柱穴と思われる。

遺物出土状況：出土遺物総数は174点である。この内訳は土器59点、石器等115点である。床面直上からUフレイクが1点出土しただけで、他は覆土中から出土したものである。遺物の出土状態にとくにまとまった様子は見られなかった。覆土1層で多く出土している。出土した土器は覆土2層でI群E類土器が2点出土しているが、他はI群D1類土器である。石器では石鏃、石槍、石匙、スクレイパー、たたき石、すり石、砥石、石錘などが出土している。

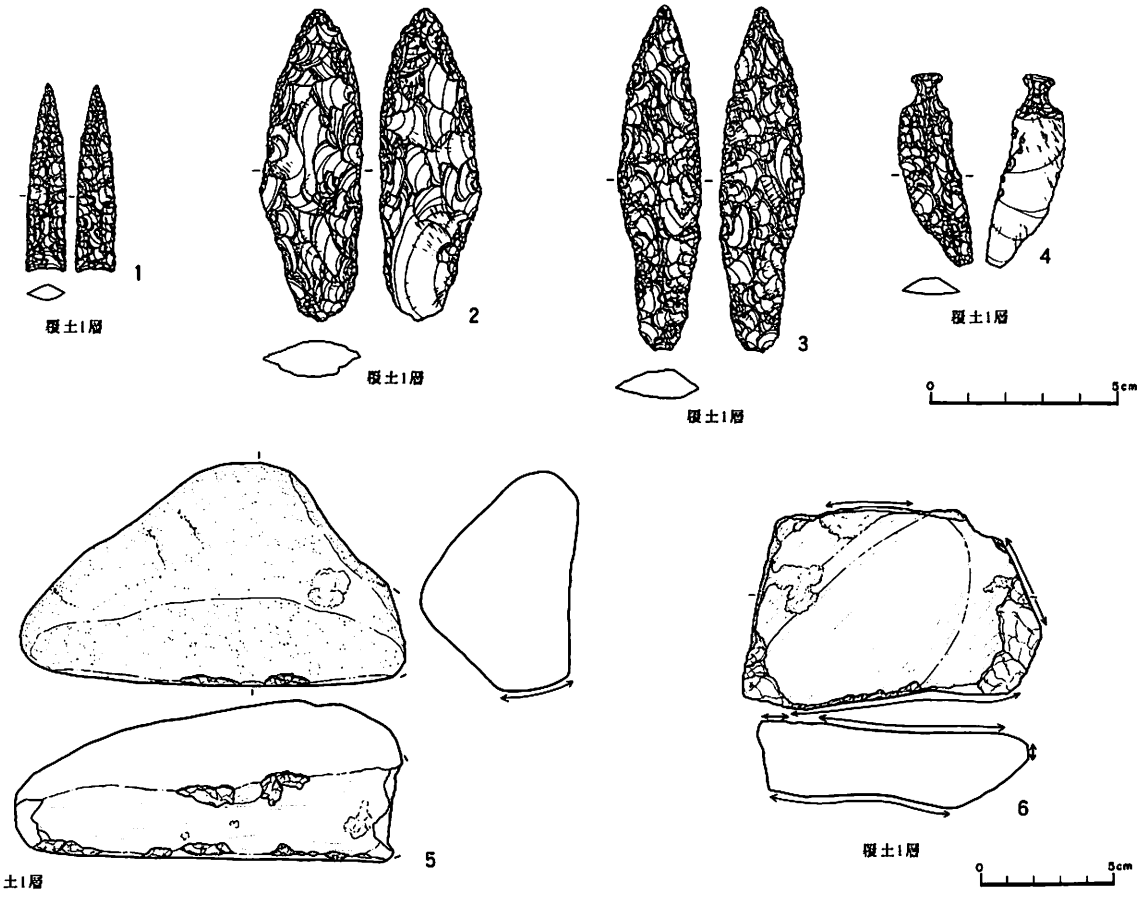
土器：1・2は覆土1層から出土したもので、ともにI群D1類土器である。1は平縁の口縁部破片で、口唇部は角形に仕上げている。外面には櫛歯状腹縁文、刺突文が施文されている。2は口縁部破片で、口唇端部は鋭角的に仕上げている。外面には貝殻腹縁圧痕文、内面には連続腹縁文が施文されている。胎土には砂粒が多く、脆弱である。

石器：1は石鏃。両面全面に加工が施される。2・3はともに1b1類の石槍。4は石匙。つまみ部に素材の折れ面を残す。5は断面三角形のすり石。6は砥石。

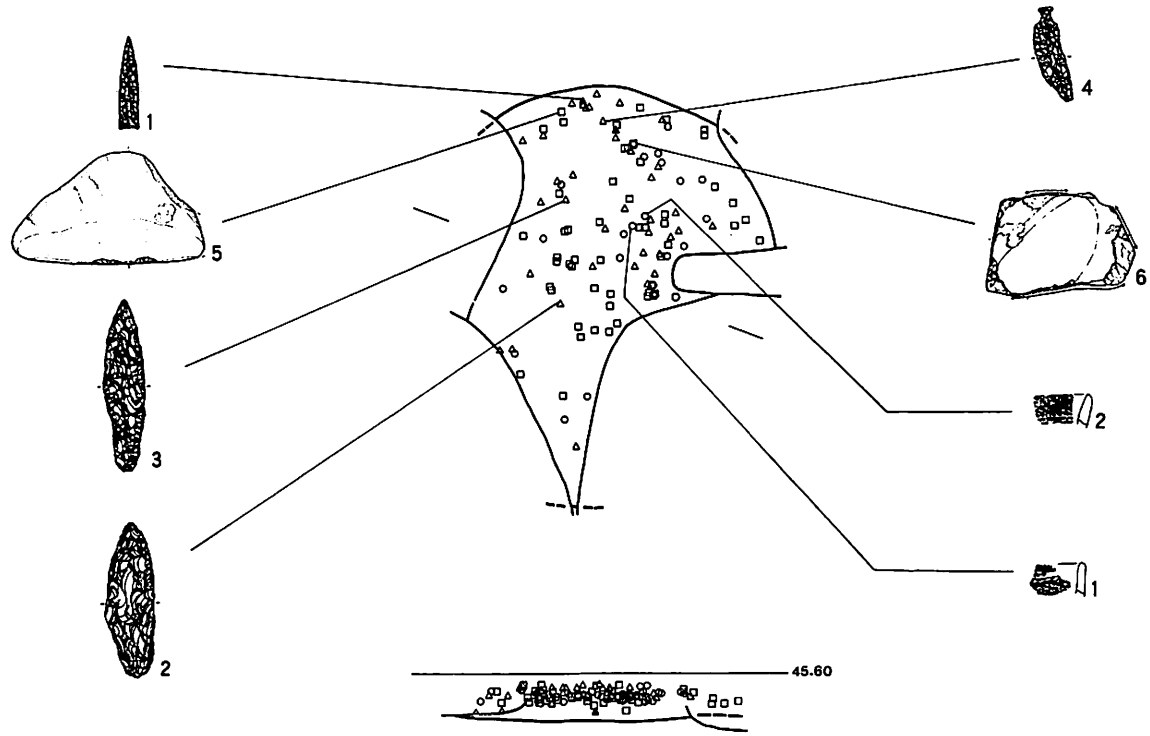
研ぎ面は2面である。　　（和泉田　毅）



図III－337　H－512出土土器



図III－338　H－512出土石器



図III－339　H－512出土遺物分布図

H－513（図III－340，図版52）

位置：43－35，44－35　標高45.54m～45.69mのほぼ平坦地に位置している。

規模：4.90m／4.60m×――／――×0.30m　　**床面積**：不明

平面形：ほぼ隅丸長方形状か？　　**長軸方向**：N－73°－W

確認・調査・土層：43－35、44－35の包含層調査中、IV層直上付近でIIIb＞Vの広がりを確認する。土層観察用の土手を設定し、IIIb＞Vを掘り下げる。中央部付近で黒褐色土の落ち込みが検出されたが、風倒木痕と判明する。覆土を順次掘り下げ、V層中で暗黄色土のやや堅い面を検出し、柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ四層である。覆土1層はIIIb＞Vの褐色土である。覆土2層は混合土状の茶褐色土である。覆土3層はV層に褐色土が混り合った汚れた茶黄色土である。覆土4層は床面上に堆積している暗灰黄色土である。

重複関係：本住居跡はH－471・509・532と重複しており、これらより古い。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

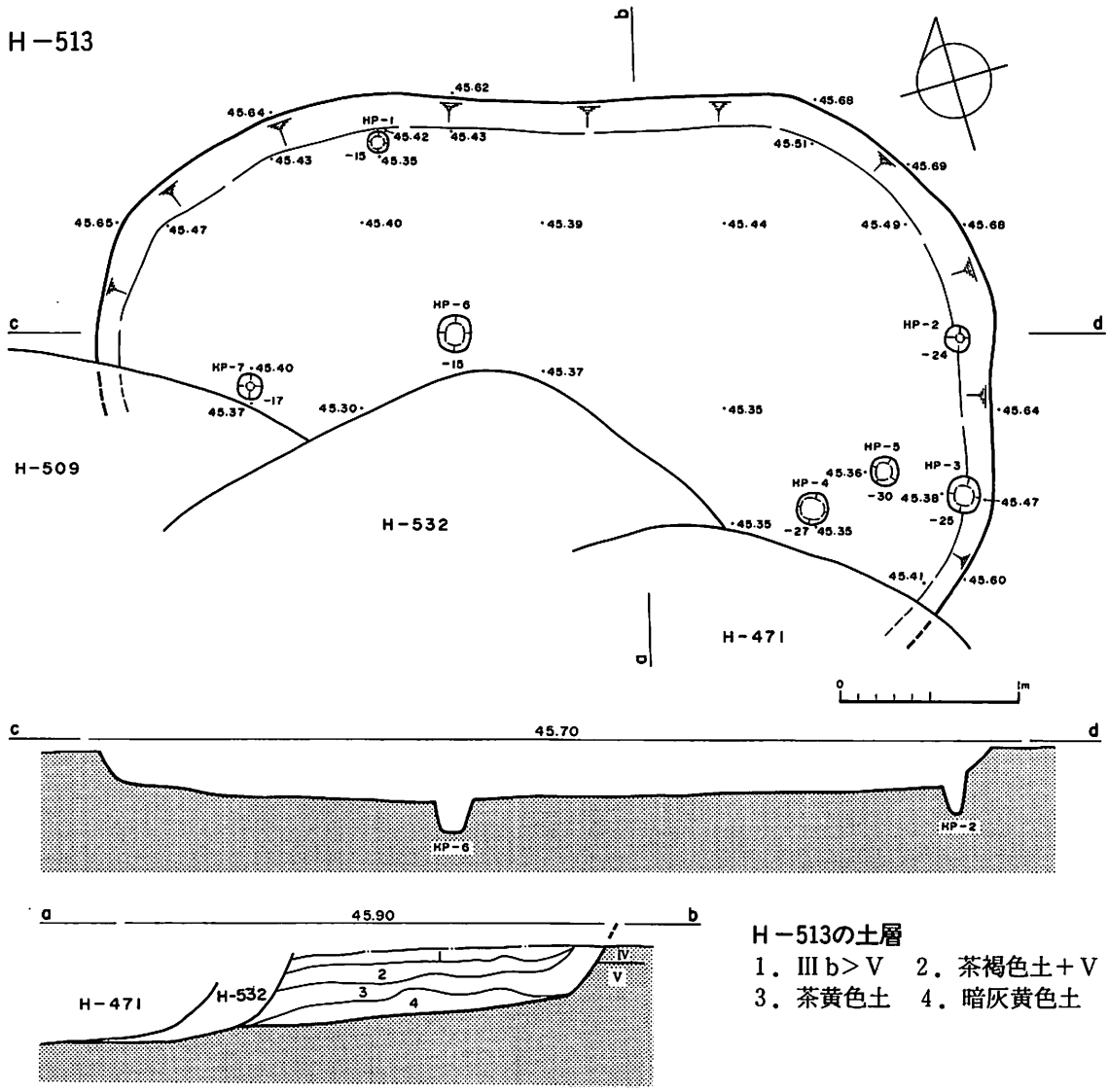
床面：V層中に構築されている。北から南へやや傾斜している。ほぼ平坦で、やや堅い。

壁：立ち上がりは全体にゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高は、全体に18cm～22cmである。

炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは7個検出されている。HP－1～3は壁際にあり、直立している。HP－7は主柱穴と思われ、直立している。2本柱が想定される。

遺物出土状況：遺物は覆土中から12点出土しただけである。I群D1類土器が3点、砥石、石錘など石器は9点である。　　（和泉田　毅）



図III－340　H－513実測図

H－514（図III－341～344，図版52・148・191）

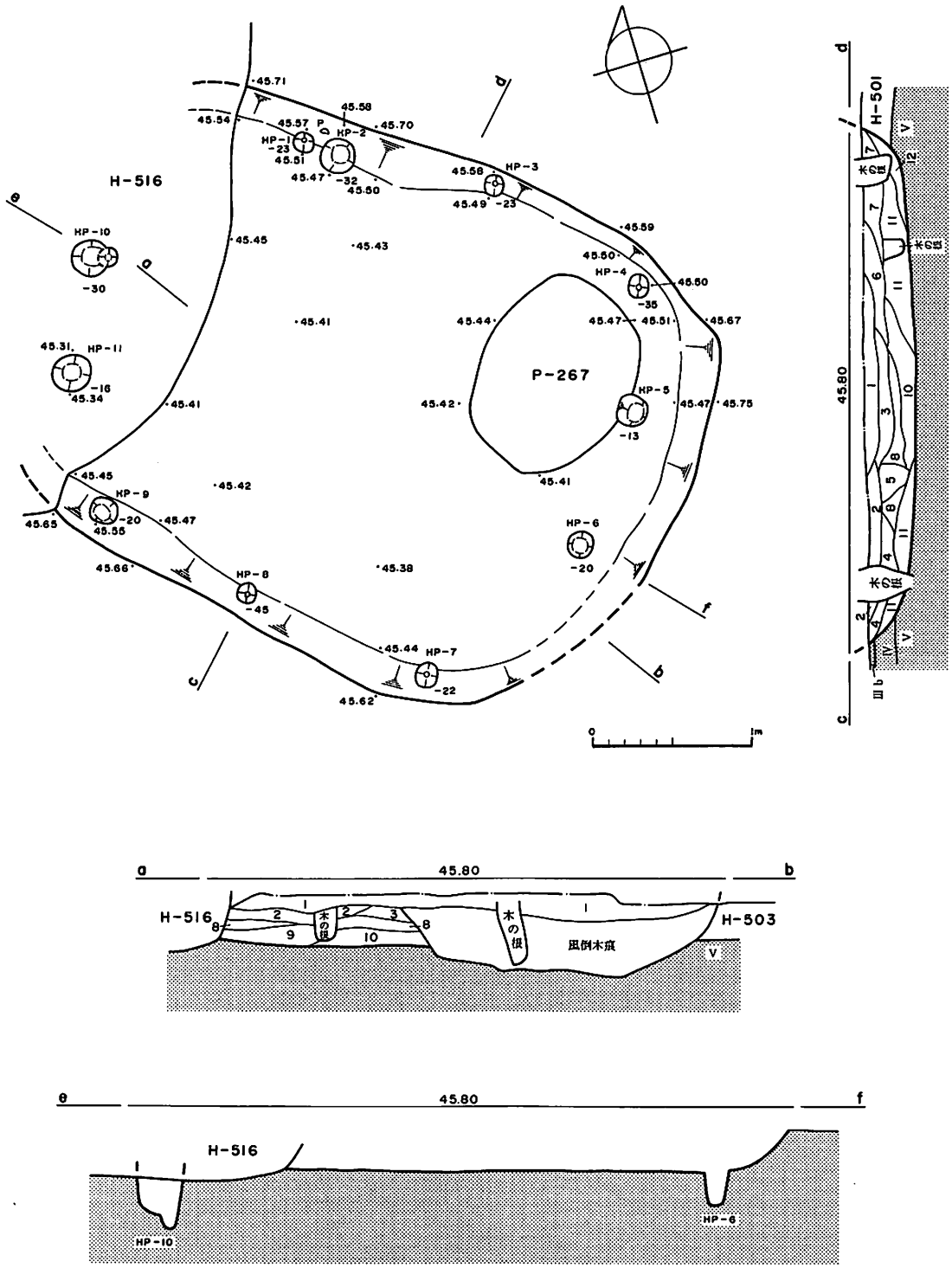
位置：44－37　標高45.64m～45.78mのほぼ平坦地に位置している。

規模：(4.27)m／(3.86)m×3.14m／2.70m×0.30m　**床面積**：(9.53)㎡

平面形：隅丸長方形状か？　**長軸方向**：N－43°－W

確認・調査・土層：H－503の調査中、北西側の覆土中で茶褐色土の落ち込みが検出され、周辺に遺構の存在が想定された。このため周辺を精査し、IV層直上付近でIIIb＞V、IIIb＞Vの広がりを確認した。土層観察用の土手を設定し、IIIb＞V、IIIb＞Vを掘り下げ、茶褐色土の落ち込みを検出した。覆土を順次掘り下げ、V層中で堅い暗灰黄色土を検出し、柱穴状小ピットも検出されたことからこの面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ四層に分けられる。覆土1層はIIIb＞Vの暗褐色土である。ただ西側ではIIIb＞Vの褐色土が見られ、遺物取り上げではこの2つの土を覆土1層としている。覆土2層は茶褐色系の汚れた混合土である。東側には大きな風倒木痕やP－267があり同層の確認は出来なかった。覆土3層は褐色土と黄色土のまじり合った黄褐色土で、中央部分にしか堆積は認められなかった。覆土4層は床面上にある土で、軽石を混入する砂質の灰褐色土である。10cm～20cmと厚く見られる。

H－514



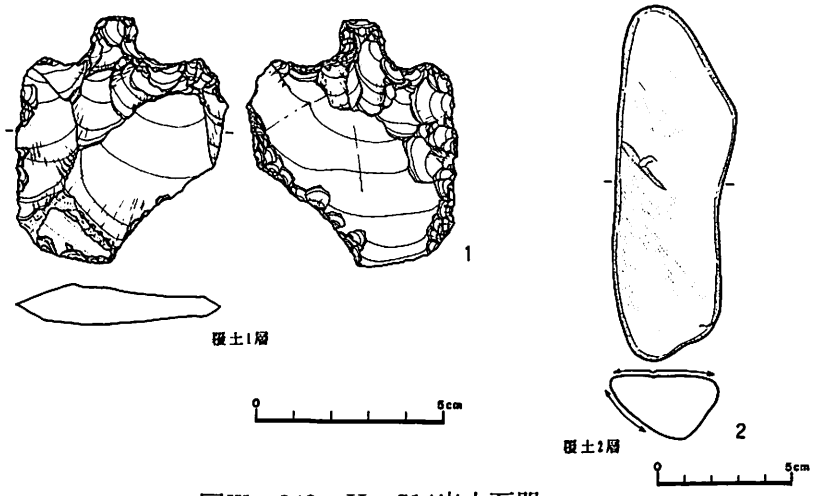
H－514の土層

1．IIIb≫V（暗褐色土）　2．IIIb＞V（褐色土）　3．暗茶褐色土　4．茶褐色土＞V　5．暗茶黄色土（小石、軽石混入）　6．暗茶褐色土（3よりVが多く、軽石混入）　7．茶褐色土（軽石混入）　8．黄褐色土　9．淡灰褐色土（軽石混入）　10．灰褐色土　11．灰黄色土（砂質）　12．暗黄褐色土

図III－341　H－514実測図



図III－342
H－514出土土器



図III－343　H－514出土石器

重複関係：本住居跡はH－501・503・516、P－267と重複しており、P－267、H－516より古く、H－501・503より新しい。

時期：時期を決定し得る確かな遺物出土状況ではないが、周辺包含層等の土器出土状況などから見ると、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

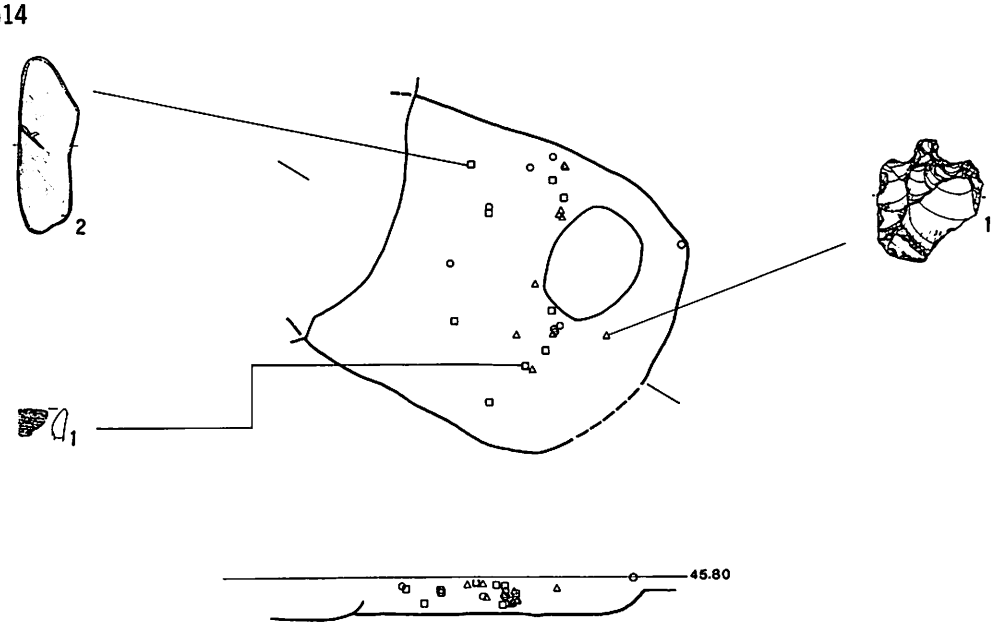
床面：V層中に構築されている。ほぼ平坦で、堅い。

壁：立ち上がりはやや急傾斜である。検出面からの壁高は、北東壁が17cm～26cm、南西壁が18cm～23cm、南東壁が18cm～29cmである。

炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは10個検出されている。すべて壁際にあるものと思われる。直立している。HP－9・10はH－516の床面で検出したものである。

遺物出土状況：遺物はすべて覆土中、とくに上層で出土したものである。土器は11点で、覆土1層でI群E類土器が2点出土した以外はI群D1類土器である。石器では石匙、スクレイパー、すり石、砥

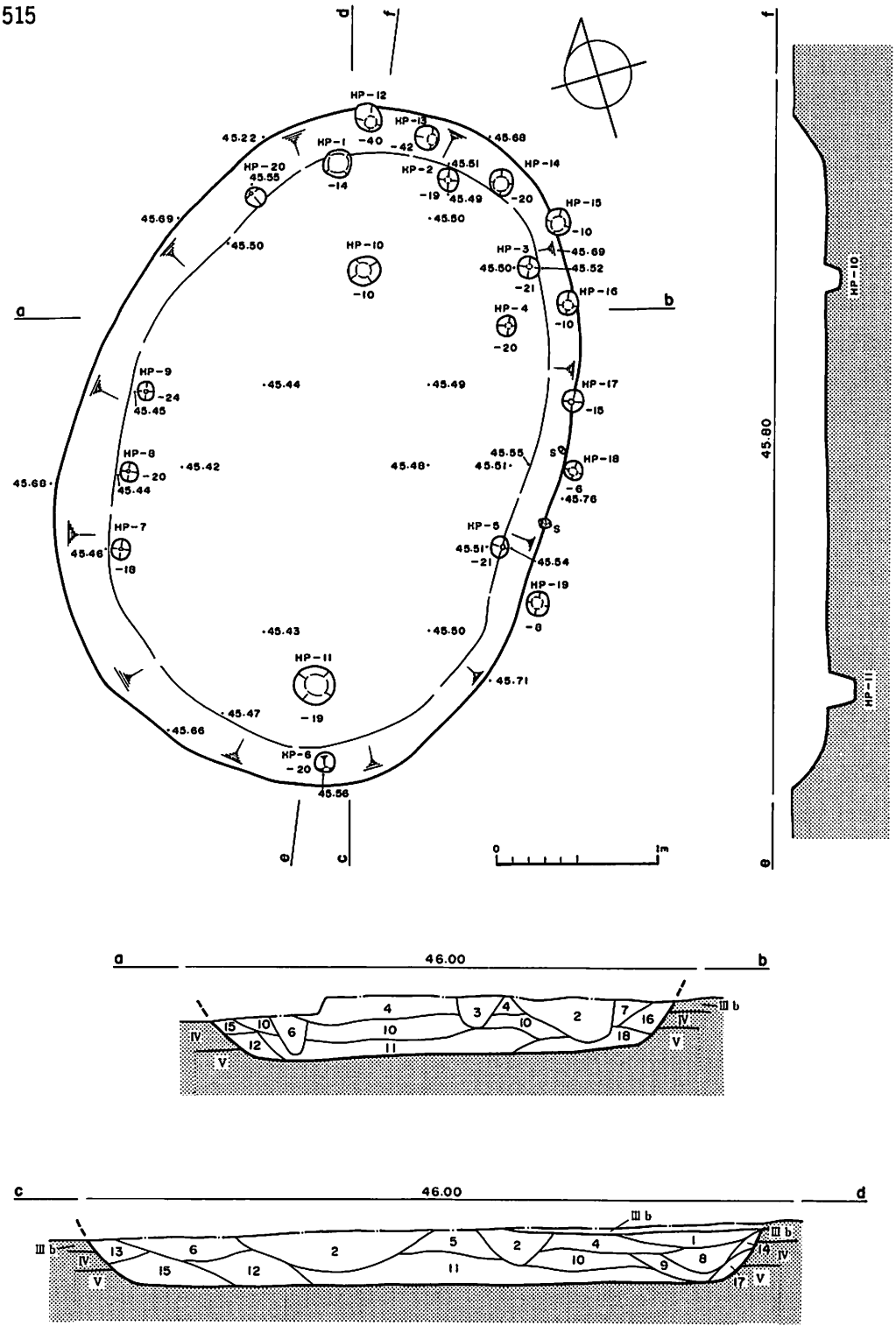


図III－344　H－514出土遺物分布図

石などが出土している。
土器：1は覆土1層出土のI群D1類土器である。口縁部破片で、口唇部は丸く仕上げている。外面はナデ調整、内面には貝殻条痕文が加えられている。胎土は軟質であるが緻密である。
石器：1は4類の石匙。2は研ぎ面が1面の砥石である。（和泉田　毅）

H－515（図III－345～347，図版53・148・191）
位置：43－36・37，44－36・37　標高45.67m～45.79mのほぼ平坦地に位置している。
規模：4.10m／3.55m×2.90m／2.46m×0.31m　**床面積**：7.25m²
平面形：卵形　**長軸方向**：N－39°－E
確認・調査・土層：43－36・37、44－36・37の包含層調査中、IIIb＞Vの落ち込みを検出する。土層観察用の土手を設定し、覆土を掘り下げる。部分的に暗茶褐色系の土の落ち込みが見られたが、土壙状のものではなく木の根痕などに伴うものと思われる。IIIb＞Vの下には軟質の暗黄茶色土があり、その下にはV層と同質の土で褐色土の混入する汚れた土が厚く堆積している。V層中で暗黄色土のやや軟質の土が検出され、柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土は三層である。覆土1層はIIIb＞Vの褐色土で、北壁側に薄くIIIb≫Vの暗褐色土が見られた。覆土2層は軟質で混合土状の暗黄茶色土である。覆土3層はV層に褐色土が混入する、汚れた粘質の暗黄色土である。覆土は全体に堆積状態は不安定である。
重複関係：本住居跡はT－177と重複し、これより古い。
時期：時期を明確にする遺物は出土していないが、包含層出土の土器などから考え、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。
床面：V層中に構築されている。やや軟質であるが、平坦である。
壁：立ち上がりは急傾斜である。検出面からの壁高は、北西壁が19cm～24cm、南西壁が22cm前後、南東壁が19cm～25cm、北東壁が17cm前後である。
炉跡：焼土などは検出されていない。
付属ピット：柱穴状小ピットは19個検出されている。HP－1～9は壁際にあり、杭状で直立している。HP－10・11は主柱穴と思われ、2本柱が想定される。なおHP－12～19は、包含層を全体に掘り下げ、V層上面で検出したものである。他遺構の小ピットとも考えられるが、本住居跡の平面形に沿った状態で検出したので、本遺構の実測図中に示しておく。あるいは建て替えが行われた可能性も否定出来ない。もしそうだとすれば、より古い時期のものに伴う柱穴状小ピットであろう。
遺物出土状況：遺物は覆土1層でI群G類土器が4点、石器等が8点出土しただけである。石器ではスクレイパー、すり石、石錘などが出土している。
土器：1は覆土1層出土のI群G類土器である。平縁の口縁部破片で、口唇部は角形に仕上げている。内外面はナデ調整であるが、口縁部外面にはわずかに縄端圧痕が見られる。胎土には砂粒を含み、軟質である。内外面の色調は暗灰黄色である。
石器：1は丁寧な片面加工が施されるスクレイパーである。2はすり石。側縁に使用痕を残す。3は円礫の石錘。（和泉田　毅）

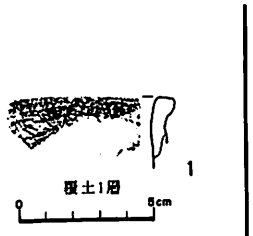
H－515



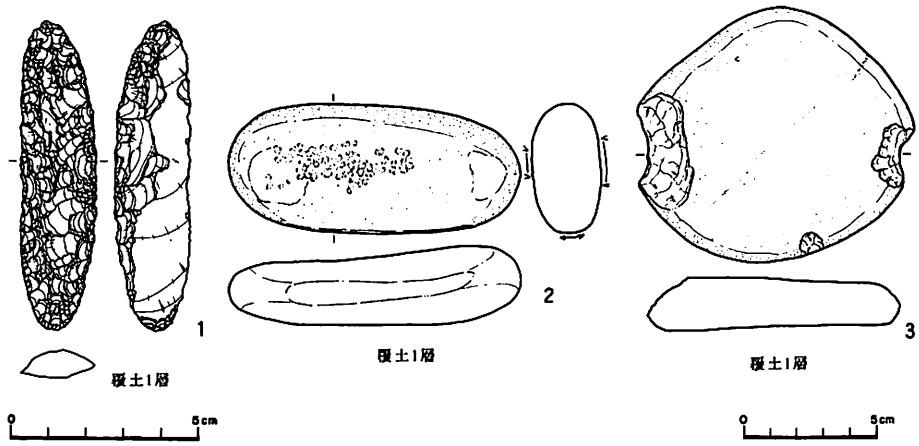
H－515の土層

1．III b≫V　2．暗茶褐色土　3．茶褐色土　4．暗褐色土（III b＞V）　5．4＋茶褐色土　6．茶褐色土＋V　7．≒4（4より黄色土多く混入）　8．暗茶褐色土　9．8＋V　10．暗黄茶色土　11．暗黄色土（粘質）　12．灰褐色土（砂質）　13．暗褐色土（茶褐色土が少量混入）　14．III b＞V　15．黄灰色土　16．暗黄茶色土　17．暗黄褐色土　18．11＋2（茶灰色土）

図III－345　H－515実測図



図III－346
H－515出土土器



図III－347　H－515出土石器

H－516（図III－348～351，図版53・54・148・191）

位置：43－37・38，44－37・38　標高45.53m～45.82mのほぼ平坦地に位置している。

規模：4.58m／4.08m×(2.82)m／(2.40)m×0.48m　　**床面積**：(8.41)㎡

平面形：楕円形状　　**長軸方向**：N－18°－E

確認・調査・土層：H－514の覆土中で、北西側に暗黄茶色土の落ち込みが検出され、遺構が想定された。このため周辺を精査する。Ⅳ層直上付近でIIIb＞Vの広がりが見られ、また茶褐色土の落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、IIIb＞Vから順次掘り下げ、調査を行った。全体に褐色系の土が厚く堆積しており、その下の暗灰黄色土を除去し、V層中で暗黄色土の堅い面を検出した。柱穴状小ピットが検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土は四層に分けられる。覆土1層はIIIb＞Vの暗褐色土である。覆土2層は混合土状の茶褐色土である。なお、南側では覆土1層・2層は見られず、暗茶灰色の汚れた土が厚く堆積している。覆土3層はやや軟質の暗黄茶色土である。覆土4層は砂質の暗灰黄色土で、20cm～30cmと厚く堆積している。

重複関係：本住居跡はH－456・514と重複しており、これらより新しい。

時期：時期を決定し得るはっきりとした根拠はないが、覆土および周辺出土の遺物などから、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層中に構築されている。ほぼ平坦で、堅い。

壁：立ち上がりは急傾斜である。検出面からの壁高は、北壁が13cm～30cm、西壁が18cm前後、南壁が24cm～29cm、東壁が16cm～40cmである。

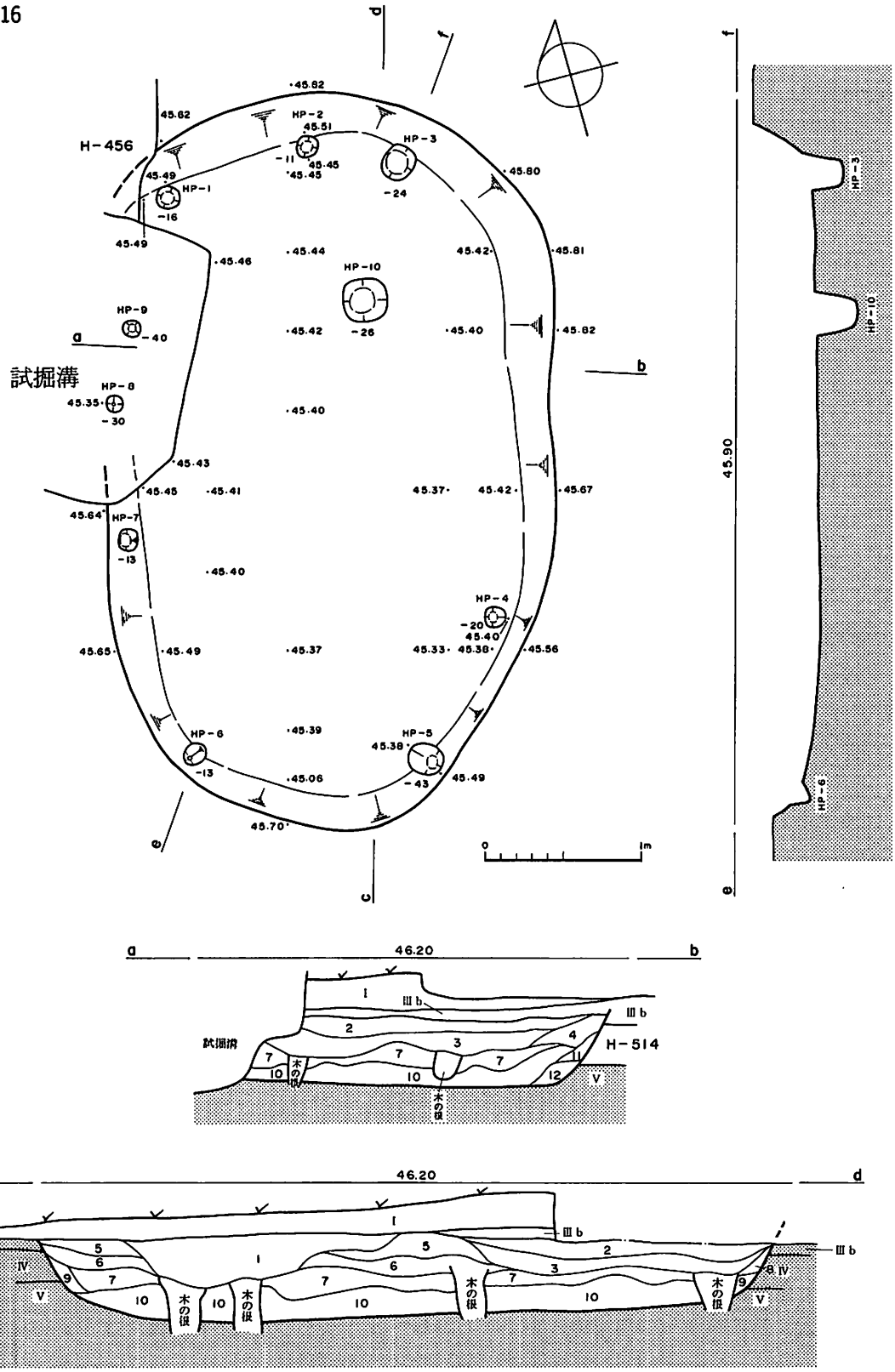
炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは10個検出されている。HP－1～9は壁際にあるもので直立しているが、HP－6・7は内傾気味である。HP－10は主柱穴と思われ、2本柱が想定される。

遺物出土状況：遺物はすべて覆土中。とくに上層から多く出土しているが、まとまった出土状態ではない。土器は、覆土1層でI群G類土器が1点出土している以外はすべてI群D1類土器で、16点出土しただけである。石器では石鏃、スクレイパー、石斧、たたき石、すり石、石錘などが出土している。

土器：1・5は覆土2層、2～4は覆土1層出土の土器で、1～3・5はI群D1類土器、4はI群G類土器である。1は平縁の口縁部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。口唇部内外面には連続押引文、口縁部外面には鋸歯状沈線文、ロッキング状の連続腹縁文が施文されている。2は平縁の口

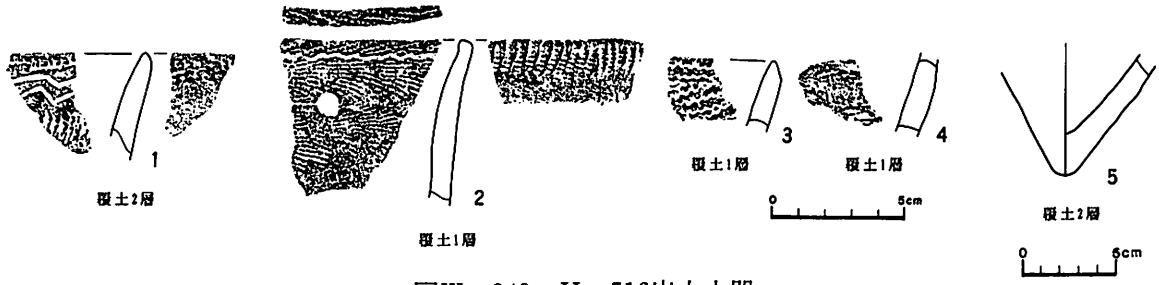
H－516



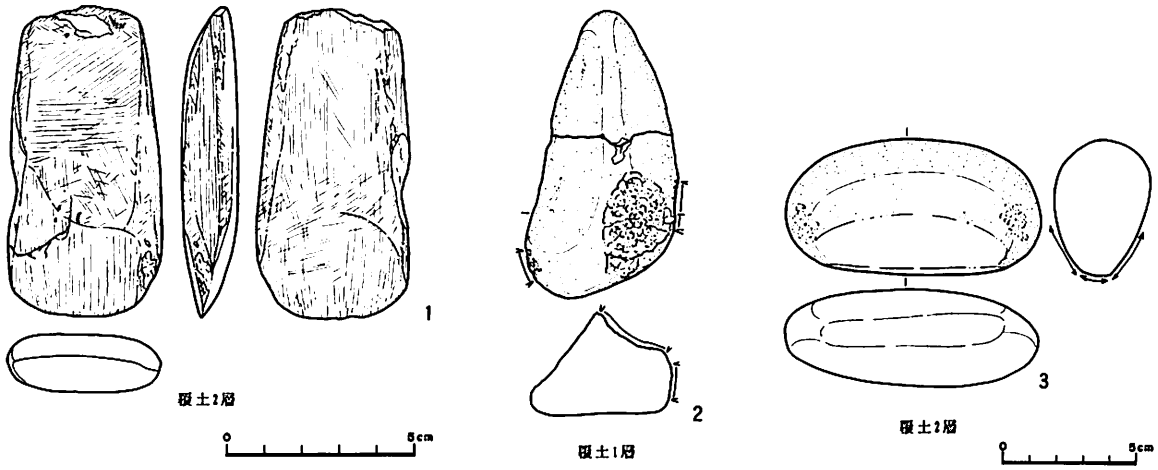
H－516の土層

1．茶褐色土＋III b　2．III b≫V　3．茶褐色土　4．III b＞V　5．暗茶灰色土　6．5＋7（7より黄色土少ない）　7．3＋10（暗黄茶色土）　8．III b＞V（軽石少量混入）　9．暗黄褐色土　10．暗灰黄色土（砂質）　11．7≫III b（黄茶色土）　12．暗黄色土

図III－348　H－516実測図

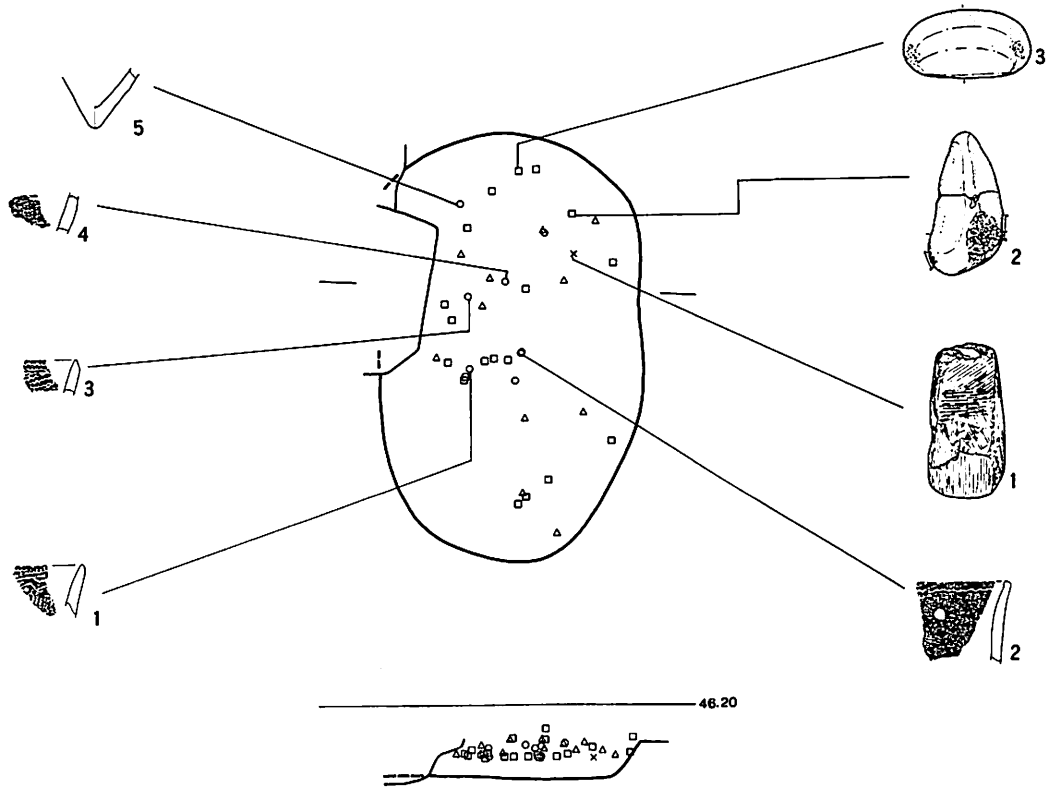


図III－349　H－516出土土器



図III－350　H－516出土石器

H－516



図III－351　H－516出土遺物分布図

縁・胴部破片で、口唇部は角形につくられている。口唇部外面には貝殻腹縁圧痕文、口縁部外面には鋸歯状沈線文、内面には連続押引文が施文される。胴部外面には背圧痕が加えられている。円孔が見られる。3は口縁部破片で、口唇端部は鋭角的に仕上げている。外面には貝殻腹縁圧痕文が施文されている。内面にススが付着する。4は胴部破片である。外面には縄の側面圧痕が見られる。胎土には砂粒を含み、軟質で、内外面の色調は暗黄灰色である。5は尖底部である。

石器：1は擦り切りによる蛇紋岩製の石斧。2は44－38III層出土の破片と接合した安山岩製のたたき石。3はすり石。側縁に使用痕を残す。　（和泉田　毅）

H－517（図III－352～355，図版54・148・191）

位置：40－32　標高44.95m～45.15mのほぼ平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：V層直上付近で茶褐色土の落ち込みが検出され、当初H－475かH－477の掘り残し部分かと考えたが、精査し検討したところプラン的にも合わず、また床面に若干高低差があるため、別の遺構として調査を行なった。土層観察用の土手を設定し、覆土を掘り下げる。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ一層で、茶褐色土である。ただ下層はやや黒味のある暗茶褐色土で、汚れた混合土である。

重複関係：本住居跡はH－410・475・477と重複しており、これらより古い。

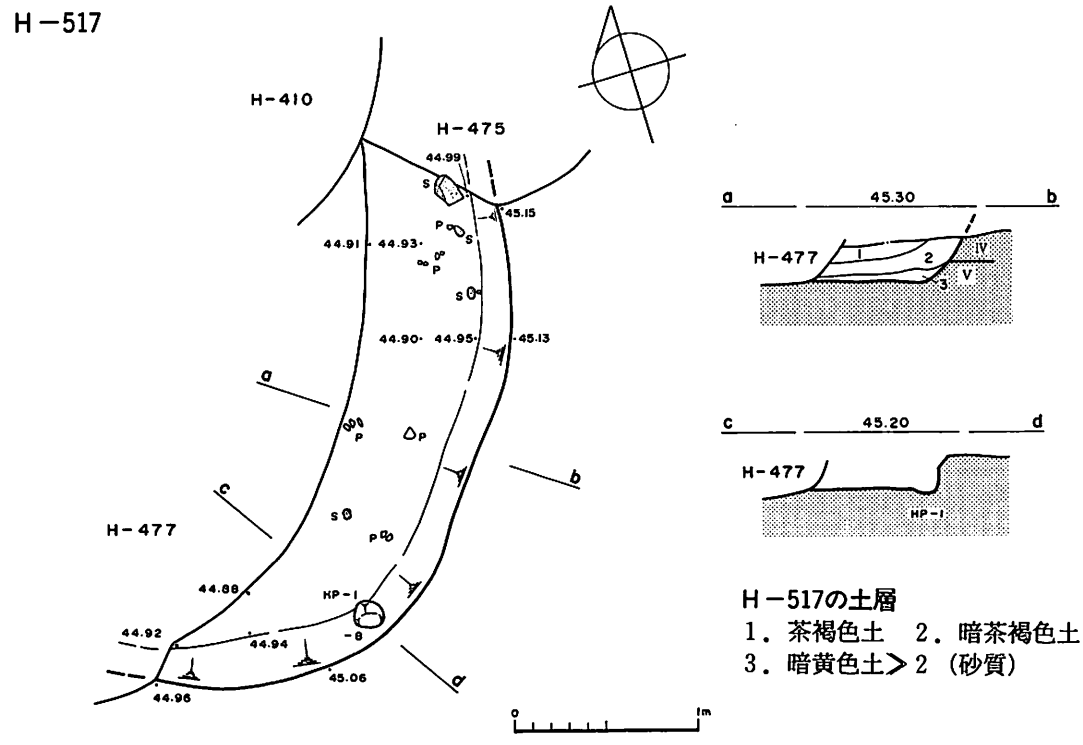
時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層中に構築されており、堅く、ほぼ平坦である。

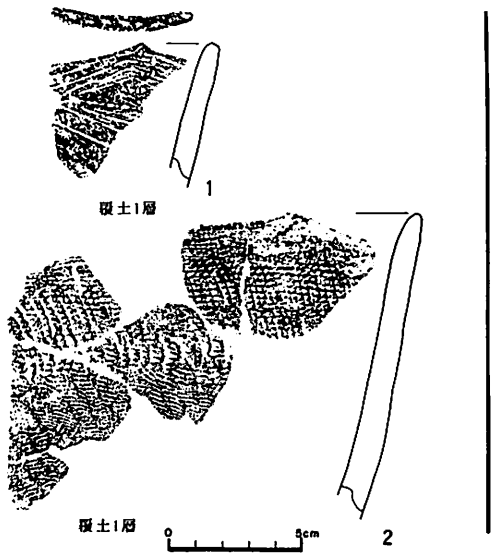
壁：残存部分の立ち上がりはほぼ急傾斜である。検出面からの壁高は、11cm～21cmである。

炉跡：焼土などは検出されていない。

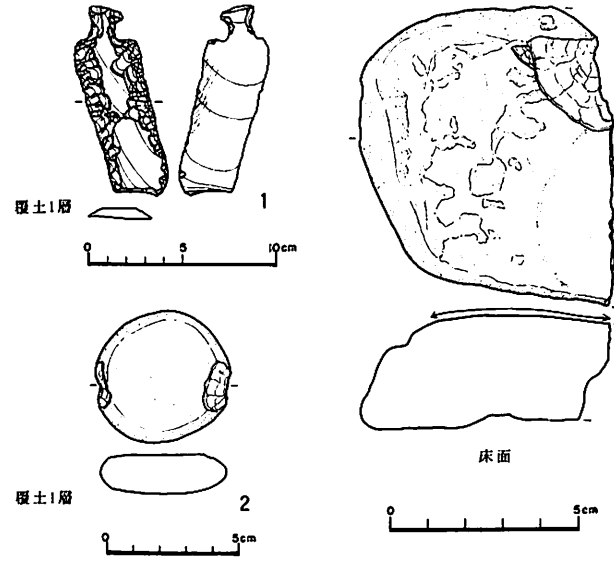
付属ピット：柱穴状小ピットは1個検出されたのみである。HP－1は壁面にあり、やや内傾している。



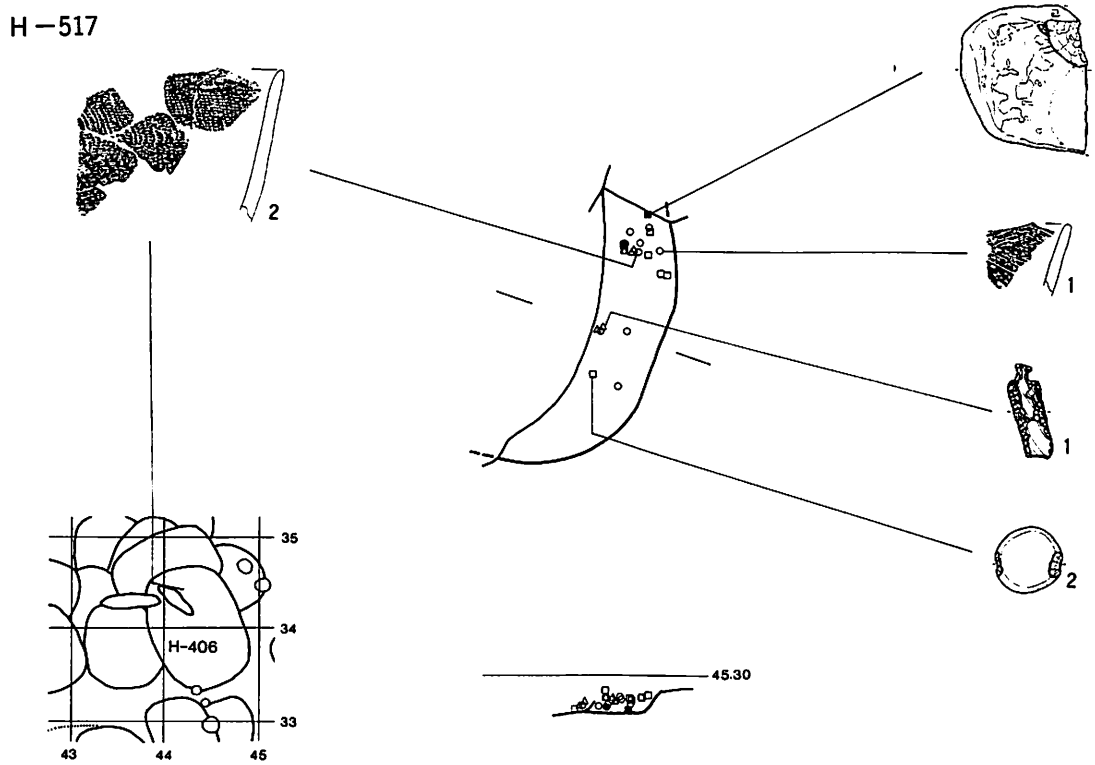
図III－352　H－517実測図



図III－353　H－517出土土器



図III－354　H－517出土石器



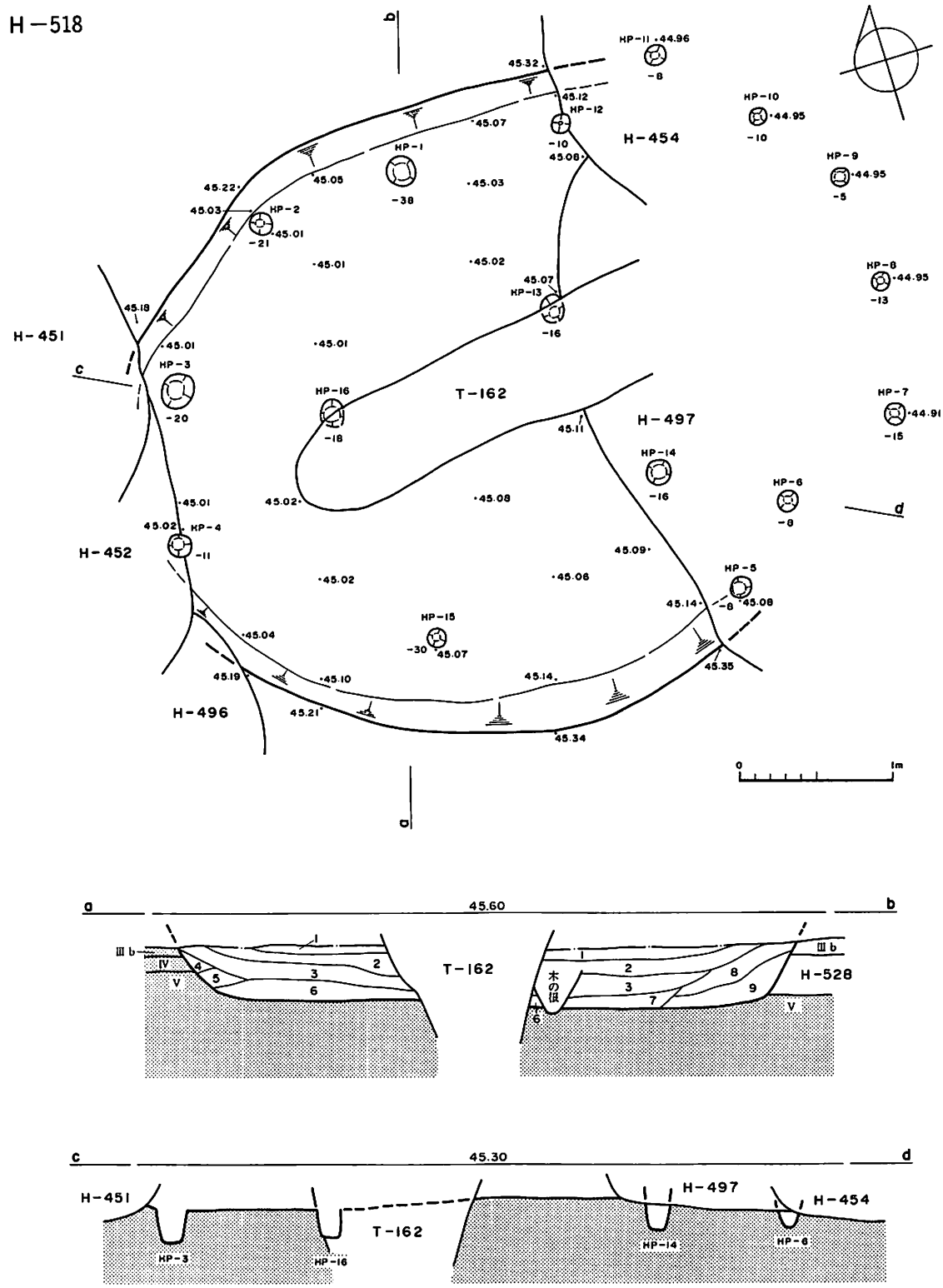
図III－355　H－517出土遺物分布・接合図

遺物出土状況：遺物は26点出土している。床面からは台石が１点、床面直上でＩ群Ｄ1類土器で２点出土している。他は覆土中から出土したもので、まとまった出土状態ではない。出土土器はＩ群Ｄ1類のもので、石器では石匙、台石、石錘などが出土している。

土器：１・２は覆土１層出土の土器で、１はＩ群Ｄ1類土器、２はＩ群Ｄ2類土器である。１は波状口縁部破片で、口唇部は丸く仕上げている。口唇部には刺突文、外面には刺突文、沈線文が施文され、波頂部から２条の刺突が垂下する。２はＨ－406覆土上III層、Ｔ－166覆土下層出土の土器片が接合したもので、波状の口縁・胴部破片である。口唇部は鋭角的に仕上げている。外面には貝殻腹縁による

連続押引文が施文され、一部には無肋筋の貝殻による腹縁圧痕文が見られる。胴部外面には背圧痕が見られる。内面には貝殻条痕文が見られるが、全体にナデ調整が加えられている。
石器：1は3類の石匙。2は石錘。3は床面出土の台石である。　（和泉田　毅）

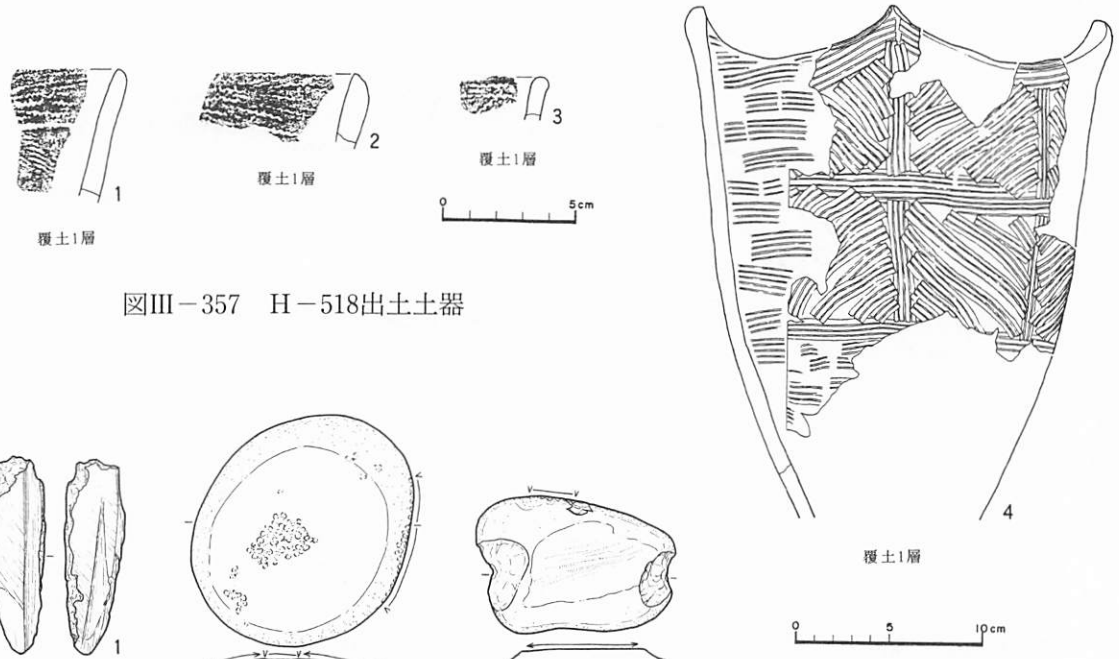
H－518（図III－356～359，図版54・116・149・192）
位置：40－36，41－36　標高45.18m～45.34mのほぼ平坦地に位置している。
規模：(5.10)m／(4.80)m×4.04m／3.60m×0.42m　**床面積**：(14.87)㎡
平面形：隅丸長方形状か　**長軸方向**：N－82°－E
確認・調査・土層：40－36、41－36の包含層調査中、IV層直上付近でIIIb＞Vの落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、覆土を順次掘り下げ調査を行った。V層中で砂質の暗黄色土の面を検出し、柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ三層に分けられる。覆土1層はIIIb＞Vの暗褐色土である。下層は上層より黒味の強い暗褐色土である。覆土2層は暗茶灰色土である。覆土3層は床面上にある土で、南側では砂質の暗灰黄色土、北側は粘質の暗黄灰色土である。
重複関係：本住居跡はT－162、H－451・454・496・497・528と重複しており、H－528より新しく、他より古い。
時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。
床面：V層を少し掘り込んで構築されている。やや凹凸があり砂質で、軟質である。
壁：立ち上がりは急傾斜である。検出面からの壁高は、北壁が15cm～25cm、南壁が11cm～21cmである。
炉跡：焼土などは検出されていない。
付属ピット：柱穴状小ピットは16個検出されている。HP－1～12は壁際をめぐるものと思われる。直立している。HP－7～12はH－454の床面で検出されたものである。HP－13～16は主柱穴と思われる。
遺物出土状況：遺物は63点出土しており、すべて覆土中から出土したもので、とくに覆土1層から多く出土した。出土状態はまとまったものではない。出土した土器は、覆土1層でI群D2類が7点出土した以外はI群D1類土器で、39点出土した。石器等は17点出土しており、擦り切り残片、たたき石、砥石、石錘などが出土している。
土器：1～4は覆土1層出土のもので、1～3はI群D1類土器、4はI群D2類土器である。1は平縁の口縁部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。口縁部外面には貝殻腹縁圧痕文が施文され、胴部外面には背圧痕が見られる。内面にはススが付着する。胎土には砂粒が多く、脆弱である。2は口縁部破片で、口唇端部は鋭角的に仕上げている。外面には貝殻腹縁圧痕文、内面には連続押引文が施文されている。焼成良好で堅い。3は口縁部破片で、口唇部は丸く仕上げている。外面には貝殻腹縁圧痕文が施文され、内面には連続押引文が見られる。焼成良好で堅緻。4はH－454・528覆土上III層、40－36III層、40－37III層、41－36III層出土の土器片がそれぞれ接合したもので、胴部下半部は欠失する。口径約20cm。4つの波頂部をもつ波状口縁で、口唇部断面形は切り出し状である。外面には貝殻条痕文で方形状に区画し、貝殻条痕文を充填している。内面にも貝殻条痕文を加えている。焼成良好で堅緻である。
石器：1は蛇紋岩製の擦り切り残片。2はたたき石。側縁と平坦面に使用痕が残る。3は平坦面にすり痕が残る石錘である。　（和泉田　毅）



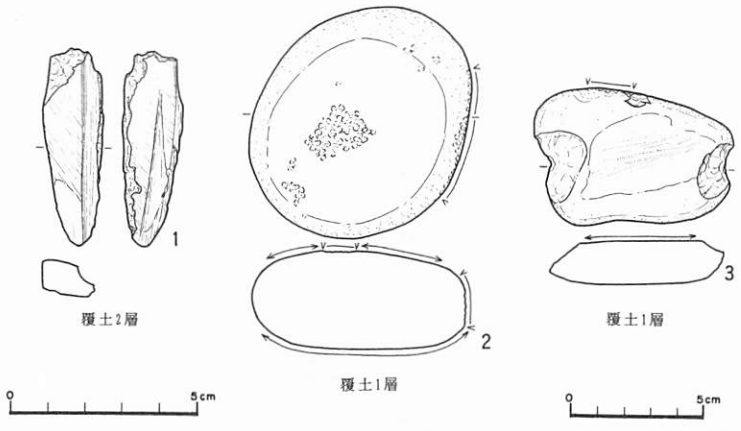
H－518の土層

1．IIIb＞V（暗褐色土）　2．IIIb＞V（暗褐色土、1より黒味つよい）　3．暗茶灰色土（2にVが混入）　4．IIIb＞V　5．暗茶灰色土＞V　6．暗灰黄色土（砂質）　7．暗黄灰色土（粘質）　8．暗黄褐色土　9．7に軽石、Vが混入

図III－356　H－518実測図

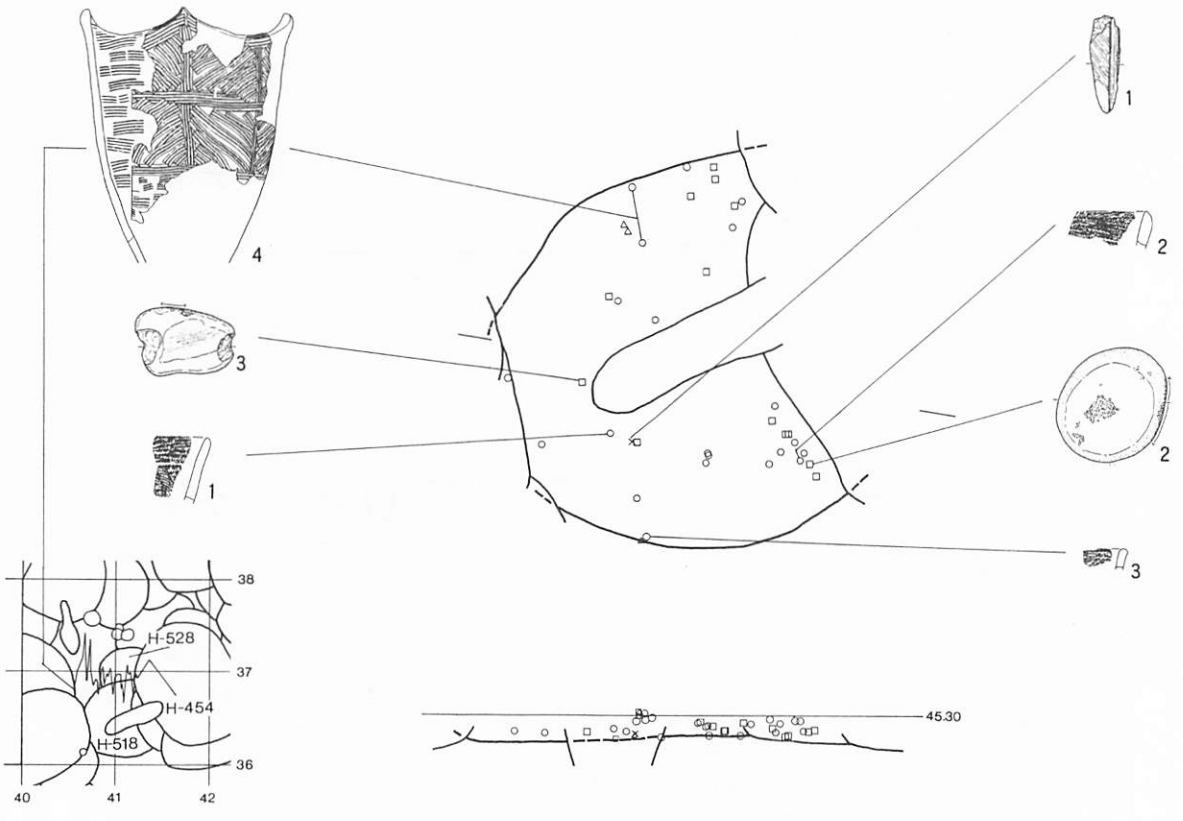


図III－357　H－518出土土器



図III－358　H－518出土石器

H－518



図III－359　H－518出土遺物分布・接合図

H－519（図III－360～363，図版55・116・149・192）

位置：40－38，41－37・38　標高45.30m付近の平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：40－38、41－37・38の包含層調査中、IV層直上付近でIIIb＞Vの落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、覆土を順次掘り下げ、調査を行う。V層中で暗灰黄色土の堅い面を検出し、この面でたたき石とすり石が出土し、またこの面の北側で1.10m×0.85mの浅い長方形状の落ち込みが検出された。この覆土中で焼土まじりの茶褐色土が確認され、また同面上で柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。北側の壁付近で1.0m×1.0mの暗茶褐色土の落ち込みが検出され、本遺構に伴うものかと考えられたが、覆土を掘り下げている過程で、壁を壊していることが判明し、これをP－283とした。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土は二層である。覆土1層はIIIb＞Vの暗褐色土であるが、下層は黄色土をより多く混入している。覆土2層は軽石を混入する黄褐色土である。焼土粒の混入する浅い掘り込み（HF－1）は壙底上にザラザラした砂質の明茶褐色土が少し堆積し、その上に焼土粒が混入する暗茶褐色土が見られた。

重複関係：本住居跡はP－283、H－73・455・459・549と重複しており、P－283、H－73・455・459より古く、他より新しい。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：わずかにV層を掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、堅い。

壁：残存部分の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高は、7 cm～13cmである。

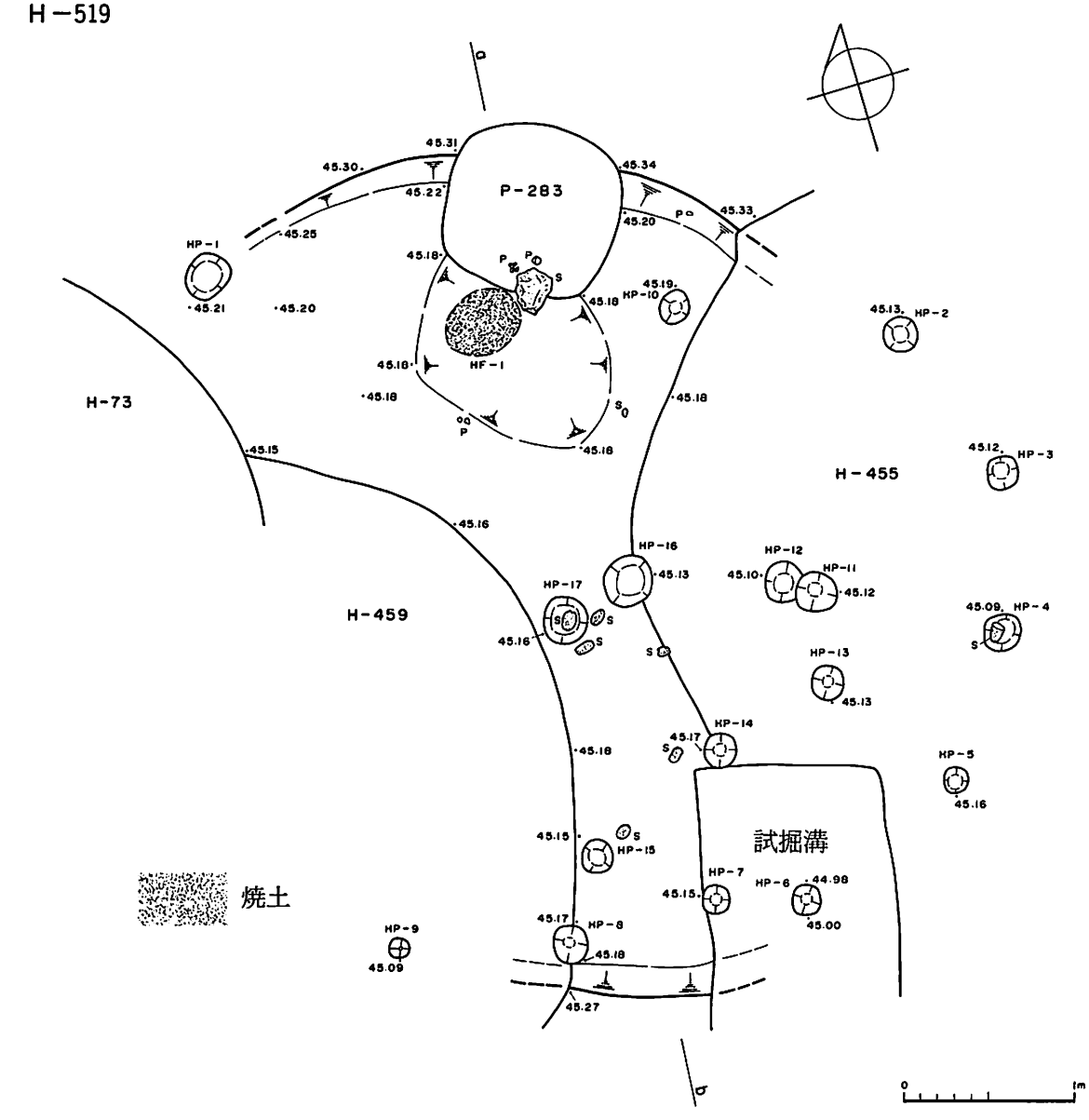
炉跡：中央部北側で1.10m×0.85m、深さ約0.10mほどの浅い掘り込みが検出され、覆土中に焼土が混入していた。浅い掘り込みのある炉跡であろうと思われる（HF－1）。

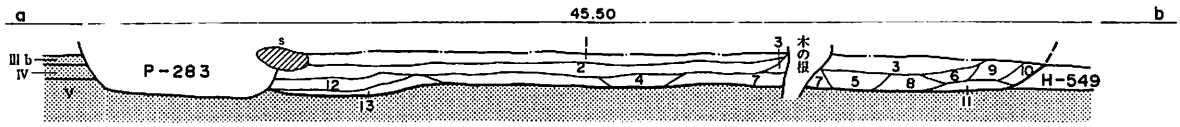
付属ピット：柱穴状小ピットは17個検出されている。HP－1～9は壁際にあるものと思われる。直立している。HP－10・13・14・15は主柱穴と思われる。

遺物出土状況：出土遺物総数は209点である。この内訳は土器136点、石器等73点である。遺物は全体の約92％が覆土1層で出土したものである。床面、床面直上などからはI群D1類土器4点、すり石、剝片が各1点、石錘が4点出土している。出土した土器は、覆土1層でI群G類のもの12点出土した以外はすべてI群D1類土器である。石器では石匙、スクレイパー、たたき石、すり石、台石、石錘などが出土している。

土器：1・3～7は覆土1層、2はHP－7覆土中出土のもので、1～6はI群D1類土器、7はI群G類土器である。1は41－38III層出土の土器片と接合したものである。口径18.8cm。口縁部はゆるやかに外反する。口唇部は肥厚し、端部は鋭角的に仕上げている。平縁である。口唇部外面には連続腹縁文、口縁部外面には鋸歯状沈線文が横環する。口唇部内面には貝殻条痕文が加えられ、胴部内外面には丁寧なナデ調整が加えられている。焼成良好で堅い。薄手で、繊細な器形である。2は口縁部破片で、口唇部は丸く仕上げている。口唇部外面にはヘラ状工具による粘土のつまみ上げが見られる。3は平縁の口縁・胴部破片で、口唇部は丸く仕上げている。口縁部外面には貝殻腹縁圧痕文が施文される。胴部内面にはすり消し条痕文、外面にはナデ調整が加えられている。4は、平縁の口縁部破片で、口唇部は角形に仕上げている。口唇部、口縁部外面には貝殻腹縁圧痕文が施文され、刺突を加えた沈線文が加えられている。内外面は丁寧なナデ調整が加えられている。5は平縁の口縁部破片で、口唇部は肥厚し、端部は鋭角的に仕上げている。外面はナデ調整、内面はすり消し条痕。脆弱。6は平縁の口縁・胴部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。口唇部外面にはヘラ状工具による粘土のつまみ上げがなされている。内外面はナデ調整。7は口縁部破片で、口唇部は角形に仕上げている。外

H－519





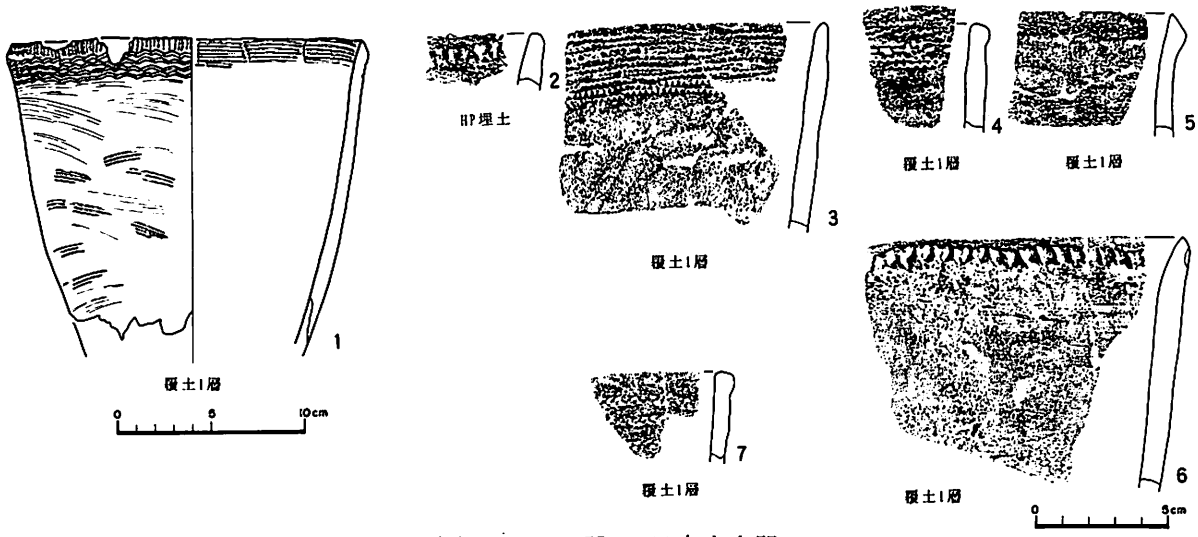
H－519の土層

1．III b＞V（暗褐色土）　2．暗褐色土（1より黄色土粒が多い）　3．褐色土＞V　4．暗褐色土（軽石、V少量混入）　5．褐色土（V、小石が混入）　6．III b＋V（暗黄褐色土）　7．2＞V（黄褐色土、軽石混入）　8．暗灰褐色土（Vが少量混入）　9．明灰褐色土　10．III b＋V（6より明るい）　11．暗黄灰色土　12．暗茶褐色土（焼土混入）　13．明茶褐色土（砂質、ザラザラしている）

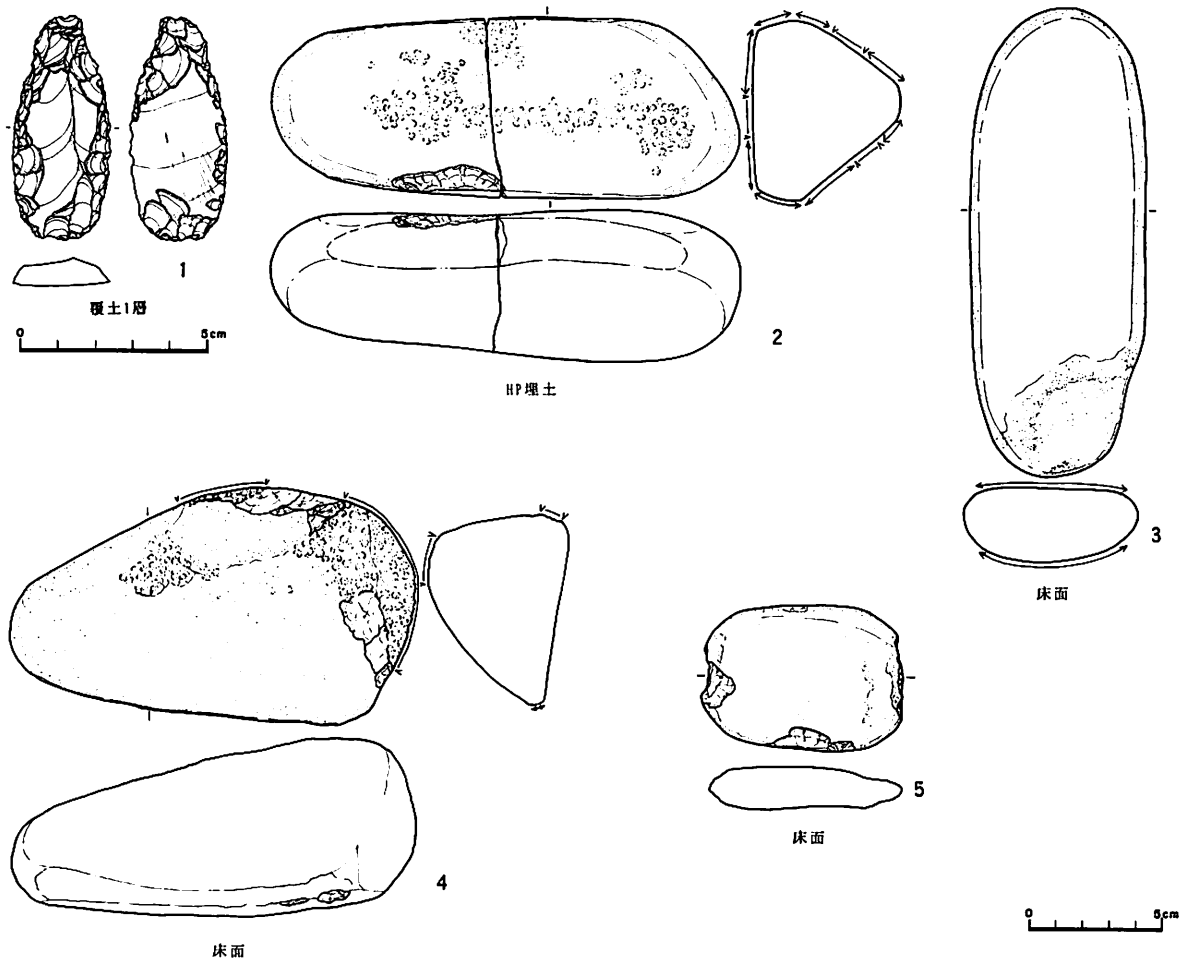
図III－360　H－519実測図

面には組紐圧痕文が見られる。砂粒を含み軟質で、脆弱である。外面の色調は暗黄橙色である。

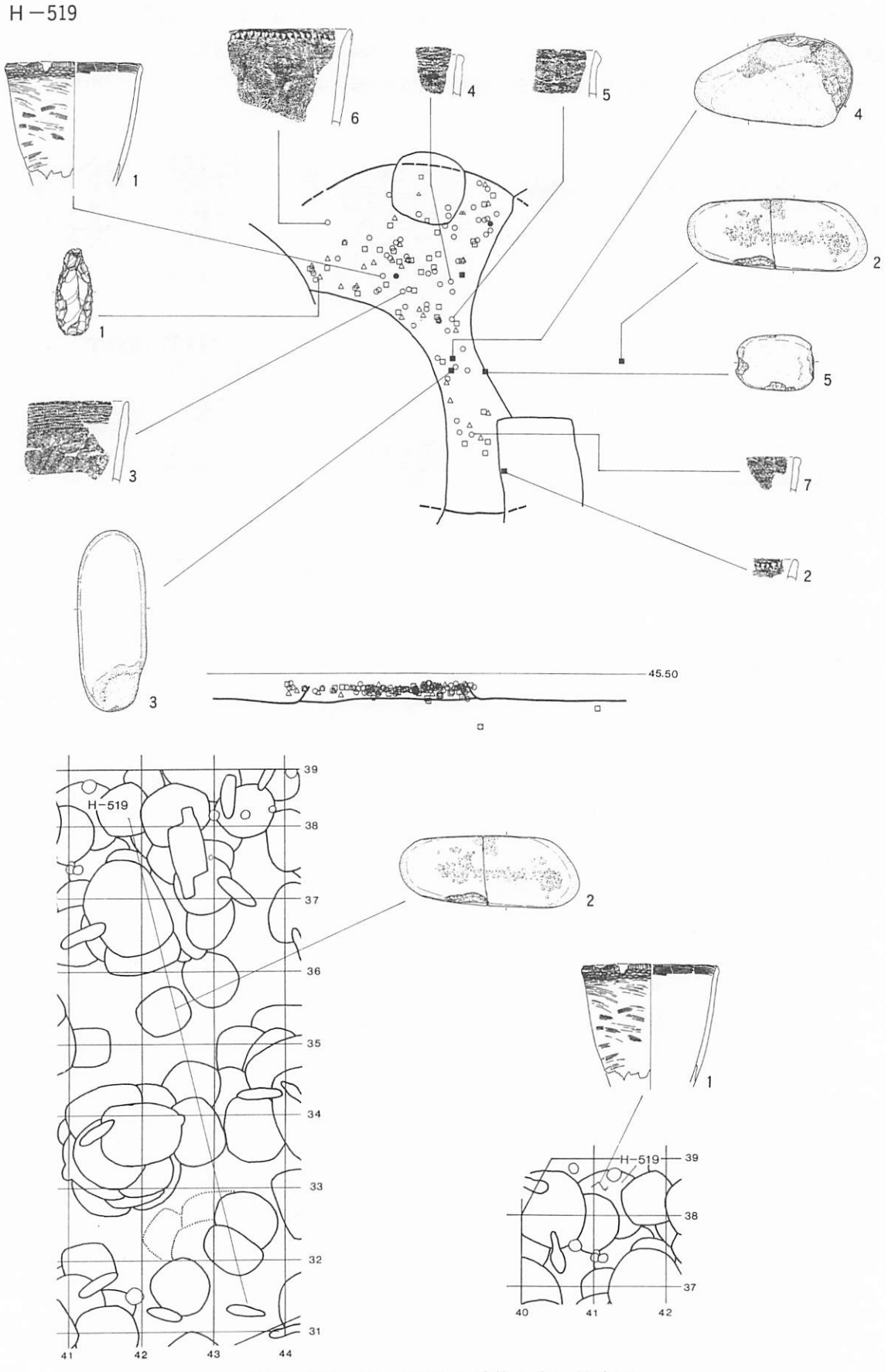
石器：1はスクレイパー。2はHP－9と43－31III層出土の破片が接合したすり石である。3は床面出土のたたき石。4は床面出土のすり石。5は床面出土の石錘である。　　（和泉田　毅）



図III－361　H－519出土土器



図III－362　H－519出土石器



図Ⅲ－363　Ｈ－519出土遺物分布・接合図

H－520（図III－364～366，図版55・149・192）

位置：41－37，42－37

規模：――／――×――／――×(0.15)m

床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：H－454調査後、北側の包含層精査中に粒子の粗い三日月状の落ち込みを確認した。内部はロームがブロック状に多く混入し、パミスも含む暗褐色土である。土層観察用のベルトを設定して順次掘り下げを開始した。掘り込み面はIIIb層中と思われるが、定かではない。

重複関係：H－454・549と重複しており、H－454より古く、H－549より新しい。

時期：出土土器はI群D1類であることから、本遺構は縄文時代早期中葉のものと思われる。

床面：ほぼ平坦でパミスを多く含む。V層をわずかに掘り込んでいる。

壁：残存する壁は緩い傾斜である。

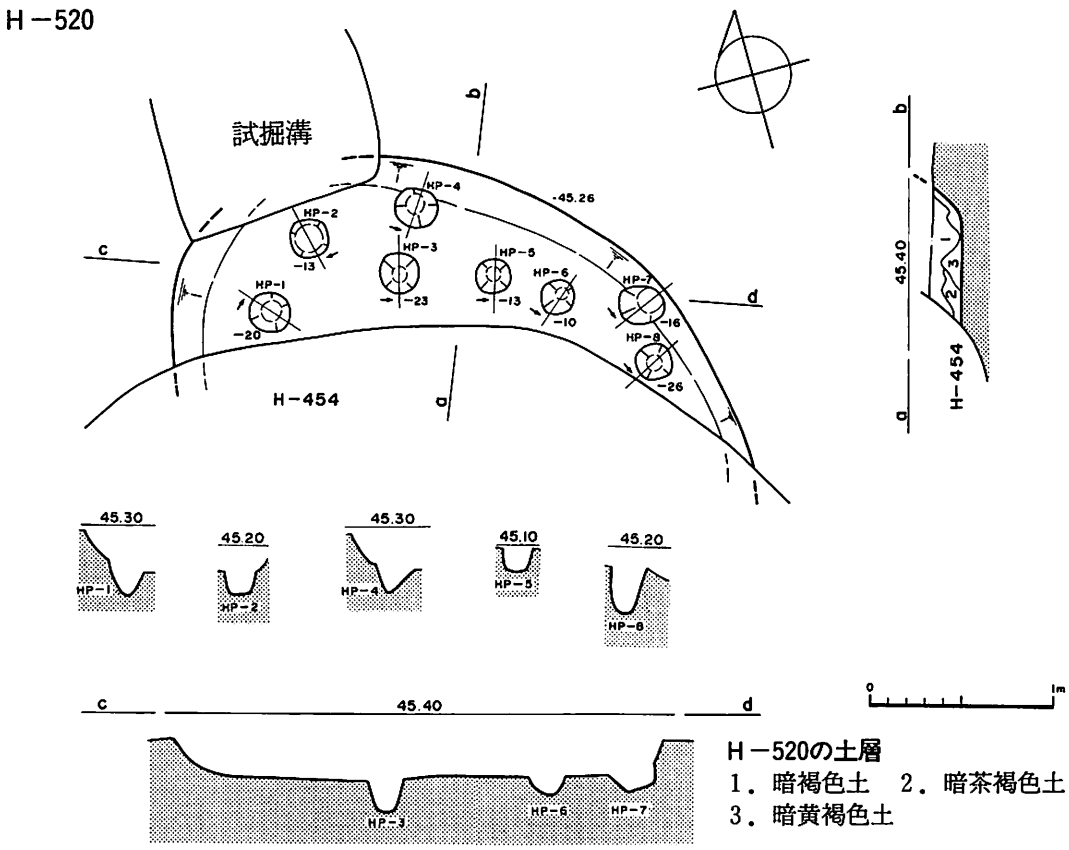
炉跡：焼土は検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは8個検出されている。HP－1・4・7は壁際をめぐるものと思われるが、HP－7は明瞭でない。HP－3・8は杭状で直立している。他は木の根痕の可能性がある。

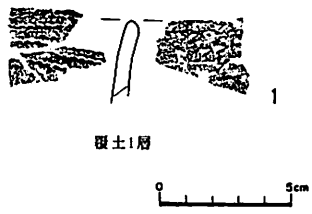
遺物出土状況：出土遺物総数は36点で、土器14点、石器等22点である。石器は礫を除くと、礫石器8点である。土器はI群D1類で、覆土からの出土である。

土器：1は覆土1層からの出土である。波状口縁の破片で、口唇は丸形である。口縁部の文様帯は横位に施される腹縁文、内面は押引が施される。

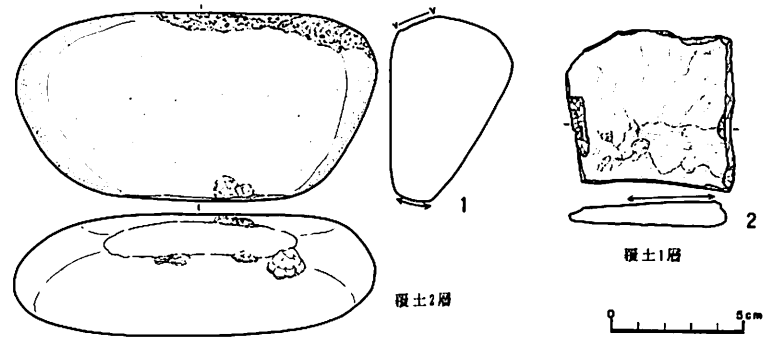
石器等：1はすり石。2はすり痕の残る板状礫素材の石錘である。　（笠原　興）



図III－364　H－520実測図



図III－365
H－520出土土器



図III－366　H－520出土石器

H－521（図III－367～369，図版56・117・149）

位置：45－33・34　標高45.31m～45.48mの平坦地に位置している。

規模：(3.94)m／(3.53)m×3.04m／2.50m×0.32m　　**床面積**：(7.84)㎡

平面形：隅丸長方形　　**長軸方向**：N－78°－E

確認・調査・土層：45－33・34の包含層調査中、IV層直上でIIIb＞V、IIIb＞Vの落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、調査を行う。IIIb＞V、IIIb＞Vの下には黒褐色の土が10cmほど堆積し、その下には暗茶褐色土がやや厚く堆積している。これらを除去し、灰黄色土の下でV層の暗灰黄色土の堅い面を検出する。この面で柱穴状小ピットも検出されたことから、床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ四層である。覆土1層はIIIb層に黄色土がまじり合った土である。覆土2層は、やや粘質の黒褐色土である。覆土3層は混合土状の暗茶褐色土、覆土4層は床面上の土で、汚れたV層の土である。

重複関係：本住居跡はH－510と重複しており、これより古い。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層をやや深く掘り込んで構築されている。北から南へやや傾斜しているが、ほぼ平坦で堅い。

壁：立ち上がりはゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高は、北壁が25cm前後、西壁が23cm前後、南壁が20cm前後である。

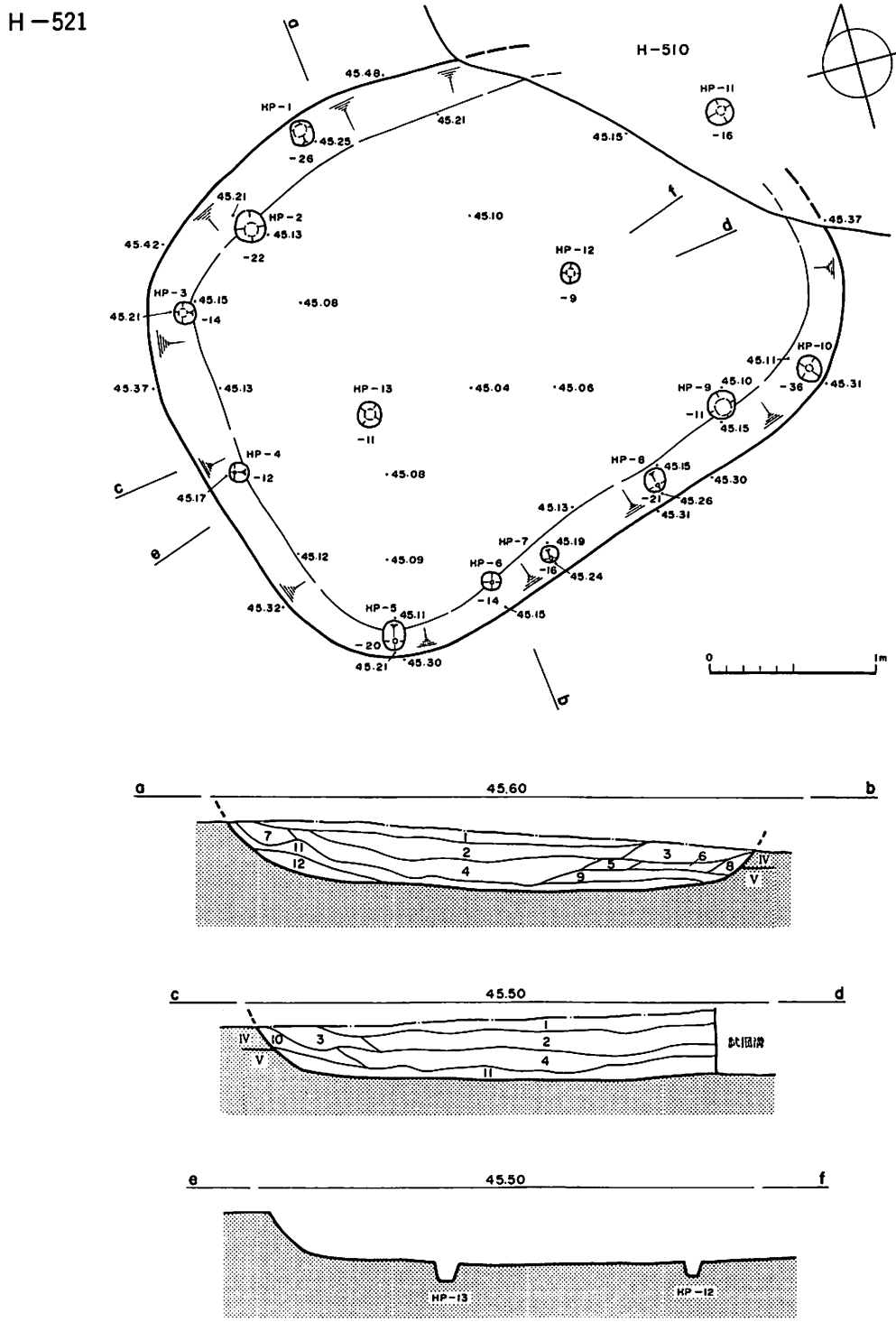
炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは13個検出されている。HP－1～11は壁際によるもので、全体に若干内傾している。HP－12・13は主柱穴と思われ、2本柱が想定される。

遺物出土状況：遺物は覆土中で土器23点、石器等5点が、HP覆土で土器、フレイク各1点が出土した。とくに北側の覆土1層でややかたまった状態で出土した。土器はI群D1類のもので、HP－2覆土中からも同類の土器が1点出土した。石器はすべて剝片である。

土器：1は覆土1層出土のI群D1類土器である。45－33I・III層、45－33撹乱土出土の土器片と接合したもので、波状の口縁・胴部破片である。口唇部は丸く仕上げている。口縁部外面には刺突を加えた沈線で菱形状の区画をつくり、その中に貝殻腹縁圧痕文を充填している。下端に刺突を加えた沈線文が横走する。口唇部外面には連続腹縁文が施文されている。胴部内面は貝殻条痕文も見られるが基本的にナデ調整で、外面は貝殻条痕文が加えられている。胎土には砂粒を含み、軟質である。

（和泉田　毅）



H－521の土層

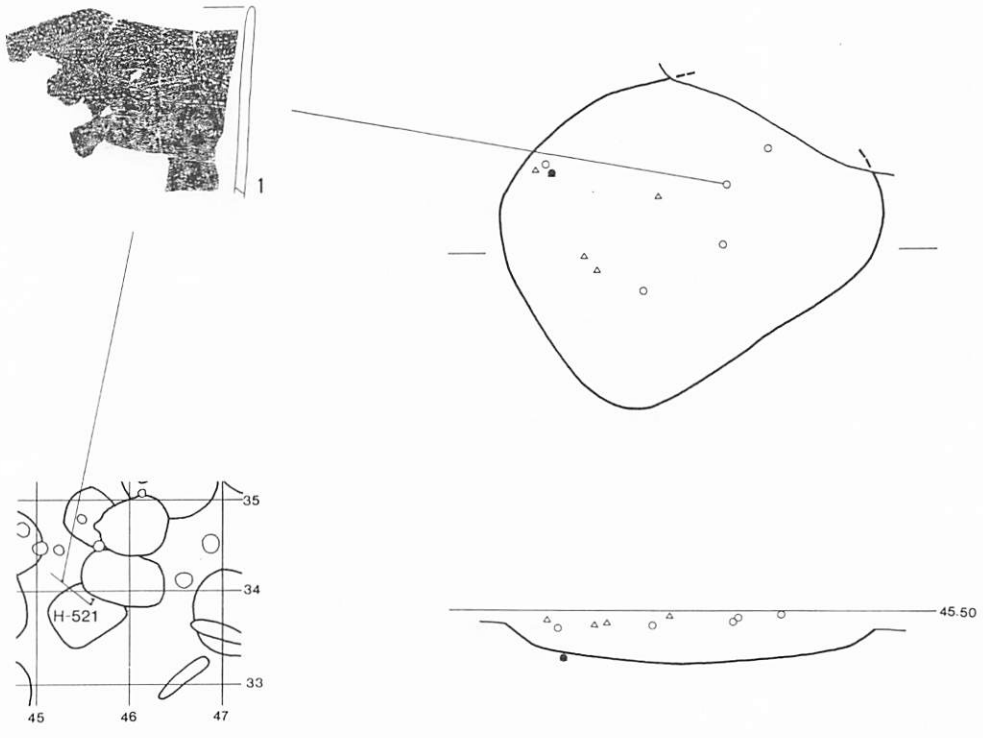
1．IIIb＞V　2．黒褐色土　3．IIIb＞V　4．暗茶褐色土＞V（2＞11）　5．4よりVが多い　6．黄褐色土　7．暗茶褐色土　8．茶褐色土＞V　9．暗灰褐色土　10．9よりVが多い　11．灰黄色土　12．暗黄色土

図III－367　H－521実測図



図Ⅲ－368　Ｈ－521出土土器

Ｈ－521



図Ⅲ－369　Ｈ－521出土遺物分布・接合図

H－522（図III－370～373，図版56・149・193）

位置：42－37，43－37

規模：――／――×――／――×(0.28)m

床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：H－457調査後、周辺包含層精査中にIIIb層中で落ち込みを確認した。幅約20cmの暗褐色土がめぐっており、内部は細かい黄褐色土が混在していた。

重複関係：H－457・539と重複し、H－457より古く、H－539より新しい。

時期：出土時期はI群D1類であることから、本遺構は縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：東側に傾斜するが、掘り過ぎた感がある。V層をわずかに掘り込んでいる。

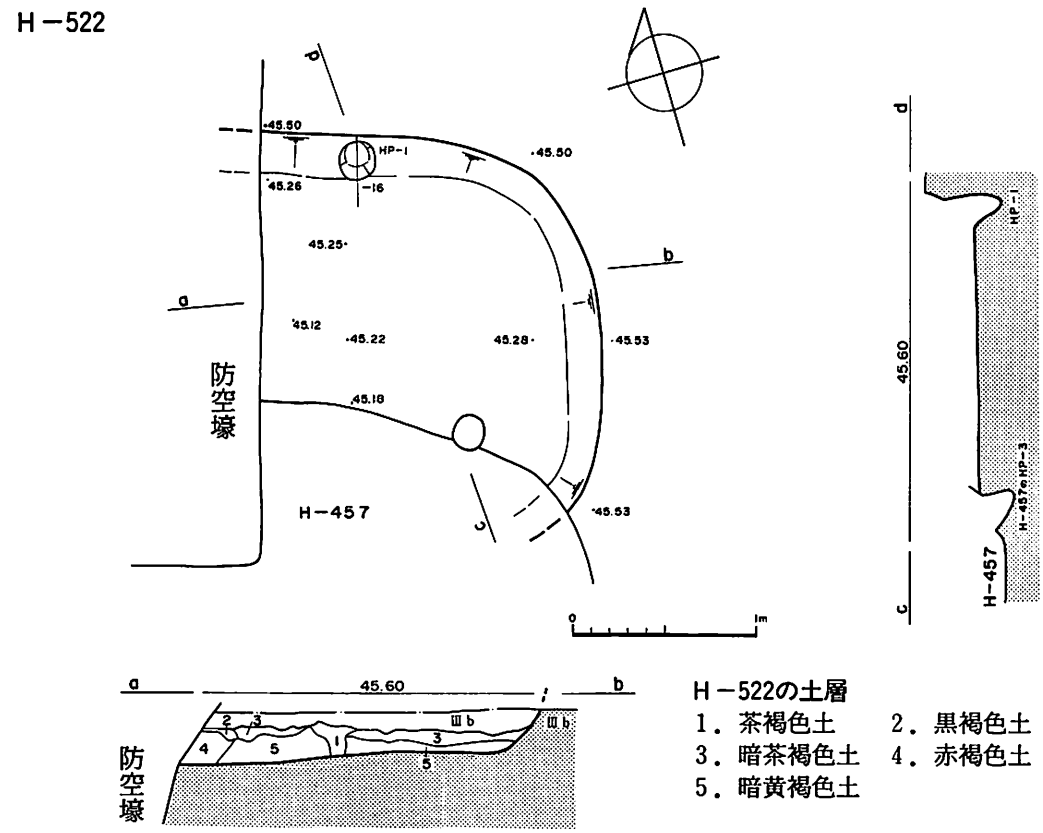
壁：残存する壁の掘り込みは急傾斜で立ち上がっている。

炉跡：焼土は検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは1個検出されている。深さ約16cm。杭状でやや内傾する。

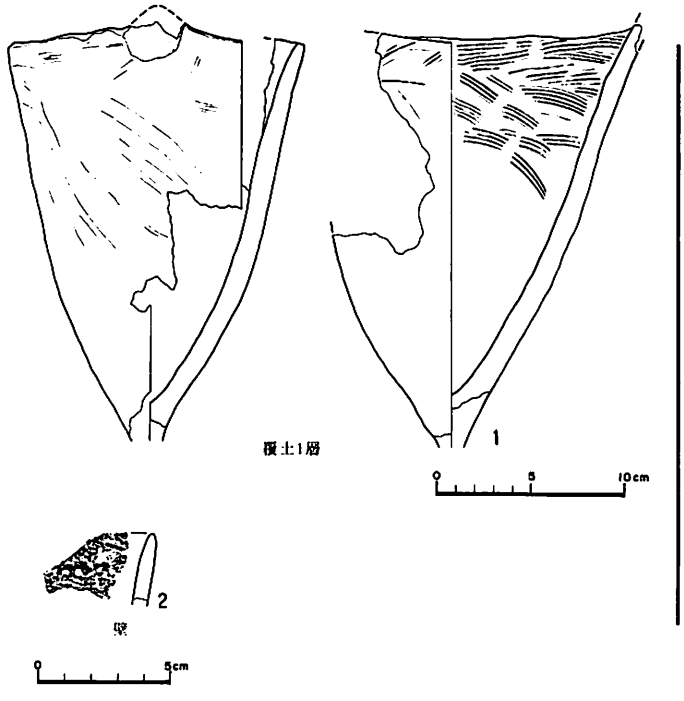
遺物出土状況：出土遺物総数は48点で、土器20点、石器等28点である。石器は剝片と礫を除くと、剝片石器2点、礫石器7点である。土器はI群D1類で、覆土1層出土土器とH－457覆土出土土器が接合、復元された。石器は石鏃、スクレイパー、たたき石、石錘等が出土している。床面付近からの出土はたたき石と石錘である。

土器：1は2ヵ所に緩やかな波頂部がある波状口縁で、わずかに副突起が数カ所認められる。口唇は丸形で、口縁部がわずかに外反する砲弾形の尖底土器である。口縁部文様帯はすり消し条痕で、内面全面に条痕が施される。比較的焼成は良い。2は波状口縁の破片で、口唇はやや尖り、円形の刺突文と横位に施される貝殻腹縁文で構成される。

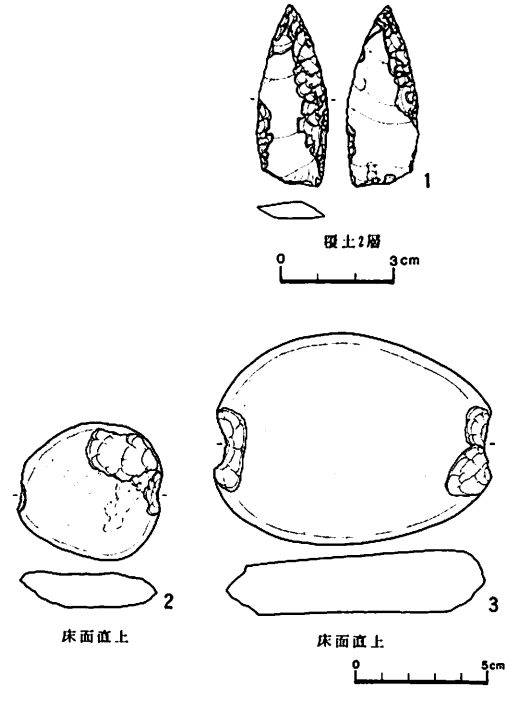


図III－370　H－522実測図

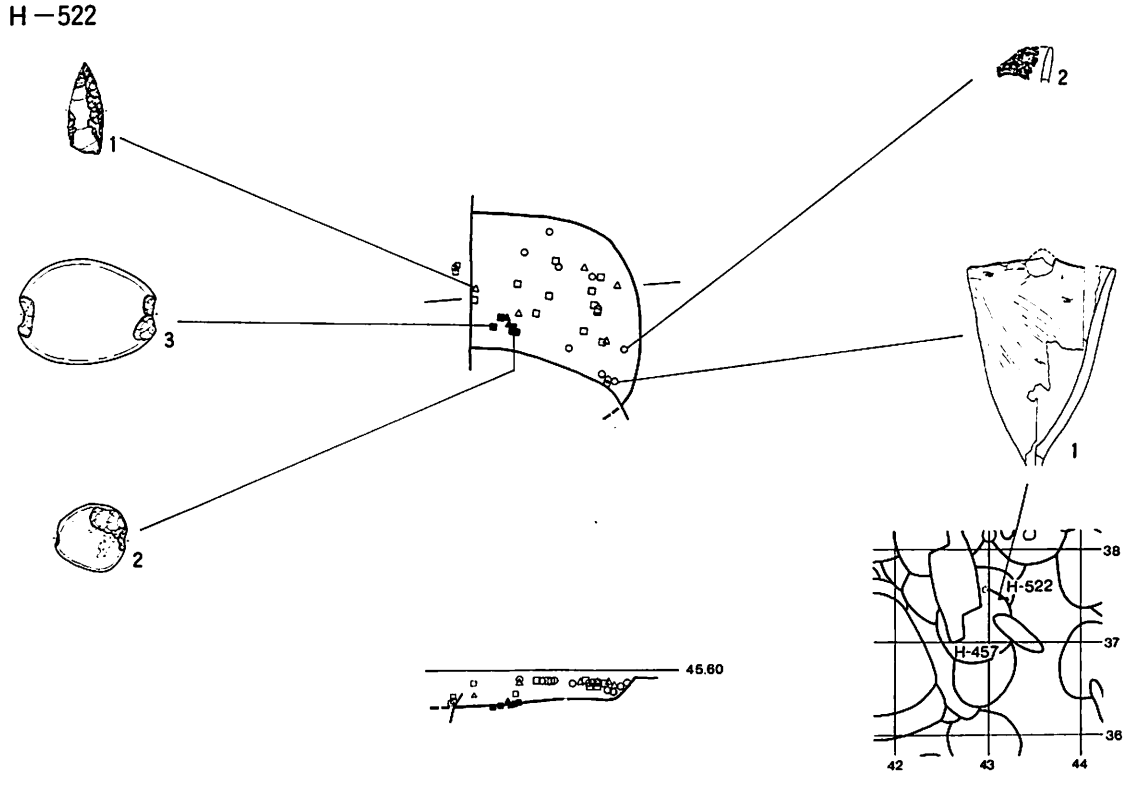
石器等：1は石鏃。2・3は石錘で、2は平坦面にたたき痕の残るものである。　（笠原　興）



図III－371　H－522出土土器

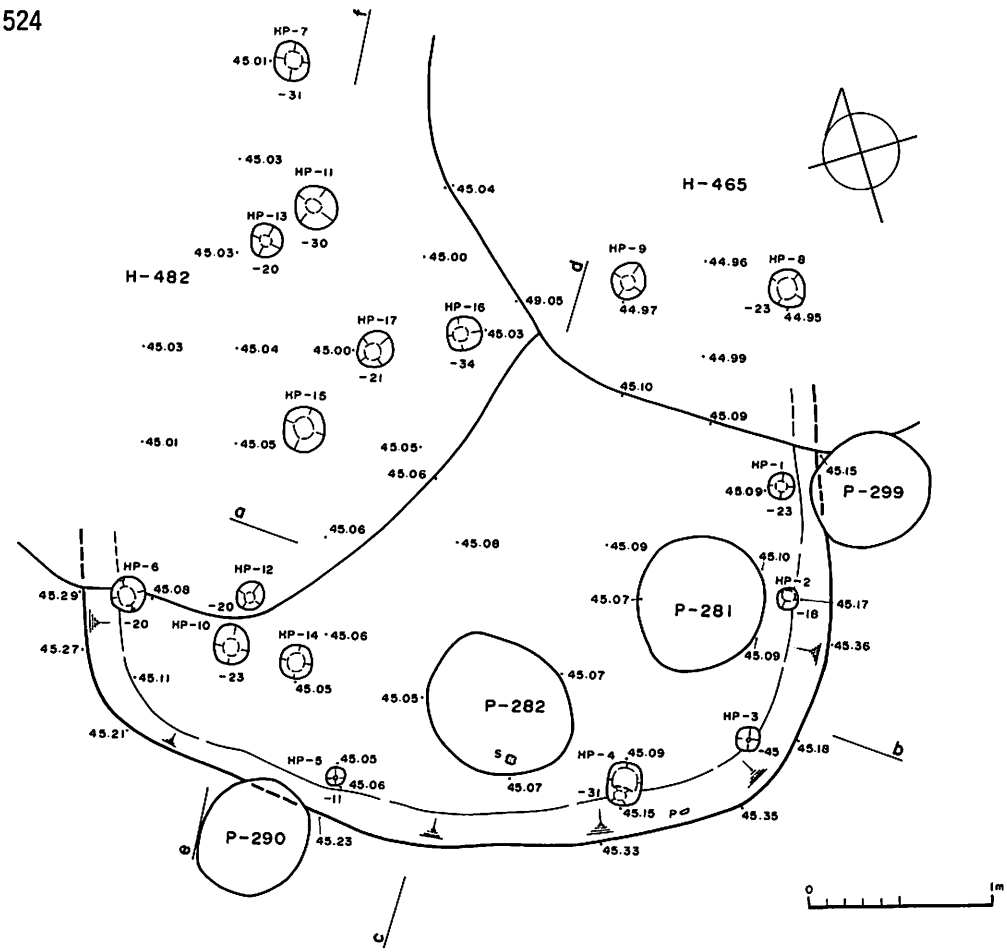


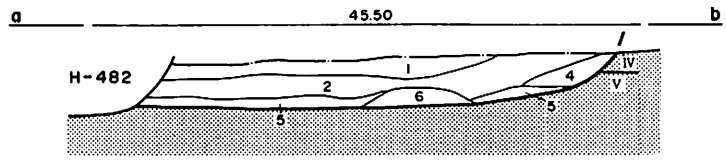
図III－372　H－522出土石器

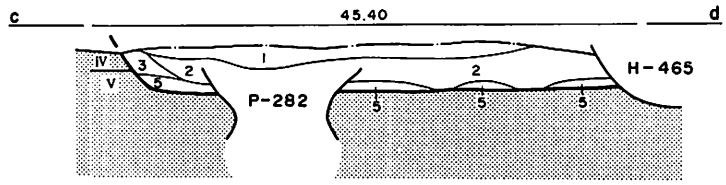


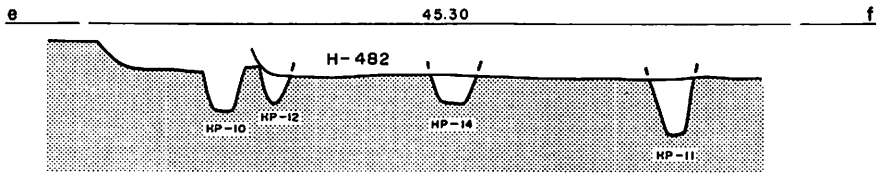
図III－373　H－522出土遺物分布・接合図

H－524









H－524の土層

1．IIIb＞V（やや黒味をもつ）　2．茶褐色土（IIIb、Vがまじり合い、しまった感じの土）
3．暗黄褐色土　4．暗褐黄色土　5．暗黄色土（やや粘質土）　6．暗黄灰色土

図III－374　H－524実測図

H－524（図III－374～377，図版57・149・193）

位置：39－34，40－34　標高45.23m～45.36mの平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：39－34、40－34の包含層調査中、IV層直上でIIIb＞Vの広がりが見られ、茶褐色土の落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、覆土を掘り下げ、調査を行う。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土は三層に分けられる。覆土1層はIIIb＞Vの褐色土である。覆土2層は混合土状の茶褐色土で汚れている。10cm～20cmほどの層厚である。覆土3層は床面上にある土で、汚れた暗黄灰色土である。覆土3層上面でP－281・282を検出した。

重複関係：本住居跡はP－281・282・290・292、H－465・482と重複しており、これらより古い。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層をやや深く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、堅い。

壁：立ち上がりはゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高は、ほぼ13cm～21cmである。

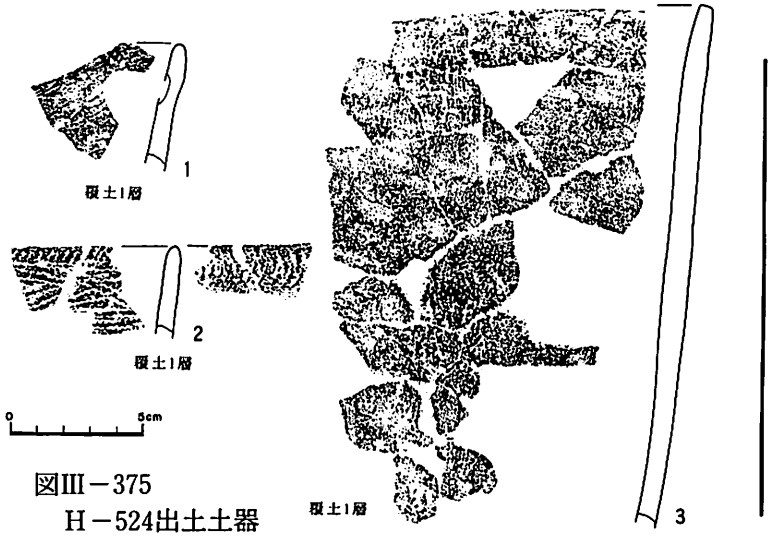
炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは17個検出されいている。HP－8・9はH－465、HP－7・11・12・13・15～17はH－482の床面で検出したものである。すべて直立している。HP－1～8は壁際にあるものと思われる。HP－9・10・11、HP－12・13は主柱穴と思われ、4本柱が想定される。建て替えが行われたものであろう。

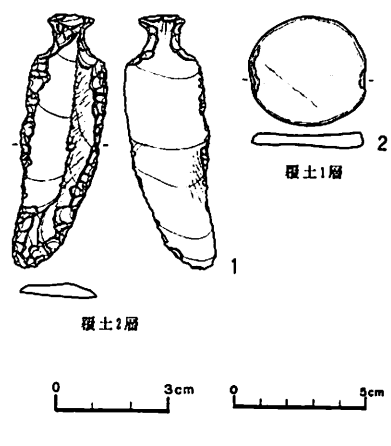
遺物出土状況：遺物は土器が71点、石器等が5点出土している。HP－4覆土中でI群D1類土器が4点出土した以外はすべて覆土中から出土したもので、覆土1層の東側でややまとまった状態で出土している。出土した土器はすべてI群D1類土器である。石器では石匙、石錘、フレイクが出土している。

土器：1～3は覆土1層出土のもので、I群D1類土器である。1は波状の口縁部破片で、口唇部は丸く仕上げている。内外面にすり消し条痕文が見られる。焼成良好で堅い。2は39－34III層出土の土器片が接合したもので、波状の口縁部破片である。口唇部は丸く仕上げている。口唇部外面には連続腹縁文、口縁部外面には貝殻腹縁圧痕文が施文されている。内面には連続腹縁文が施文されている。胎土には砂粒を含み、脆弱である。3は40－34III層出土の土器片が接合したもので、平縁の口縁・胴部破片である。口唇部は角形に仕上げている。内外面ナデ調整。外面の色調は暗橙色。

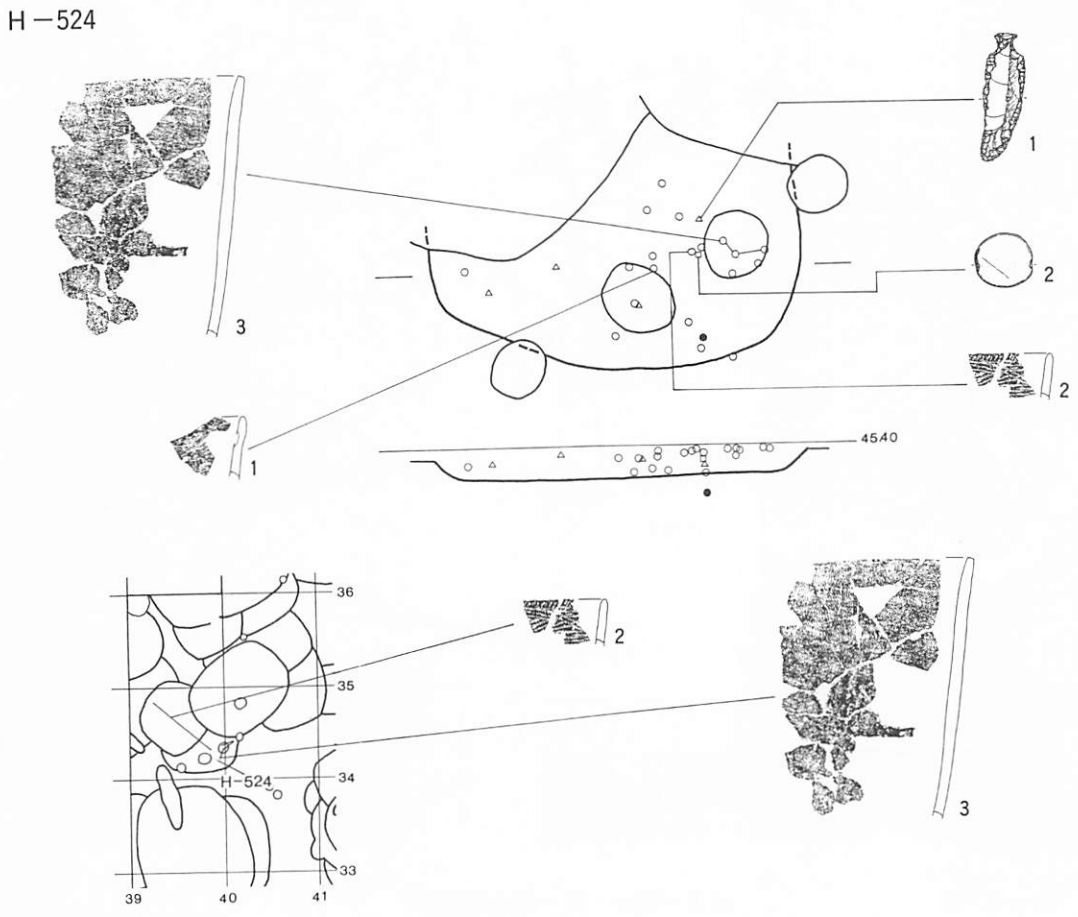
石器：1は石匙。薄手の剝片を利用している。2は石錘。薄手のものである。　（和泉田　毅）



図III－375
H－524出土土器



図III－376　H－524出土石器



図III－377　H－524出土遺物分布・接合図

H－528（図III－378～381，図版57・149・193）

位置：40－36・37，41－36・37　標高45.24m付近の平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：40－36・37、41－36・37の包含層調査中、IV層直上付近で茶褐色土の落ち込みを検出した。またH－454の西壁、H－518の北壁面で覆土状の土の落ち込みも確認した。土層観察用の土手を設定し、覆土を掘り下げ、調査を行った。V層中で暗灰黄色土の土を検出し、柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土は四層である。覆土1層はIIIb≫Vの暗褐色土で、一部に残存していただけである。覆土2層は軽石まじりの茶褐色土である。覆土3層は覆土2層＞覆土4層の軽石を少量混入する黄茶色土である。覆土4層は床面上にある土で、V層の汚れた暗黄色土である。

重複関係：本住居跡はH－454・518・549と重複しており、H－549より新しく、他より古い。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

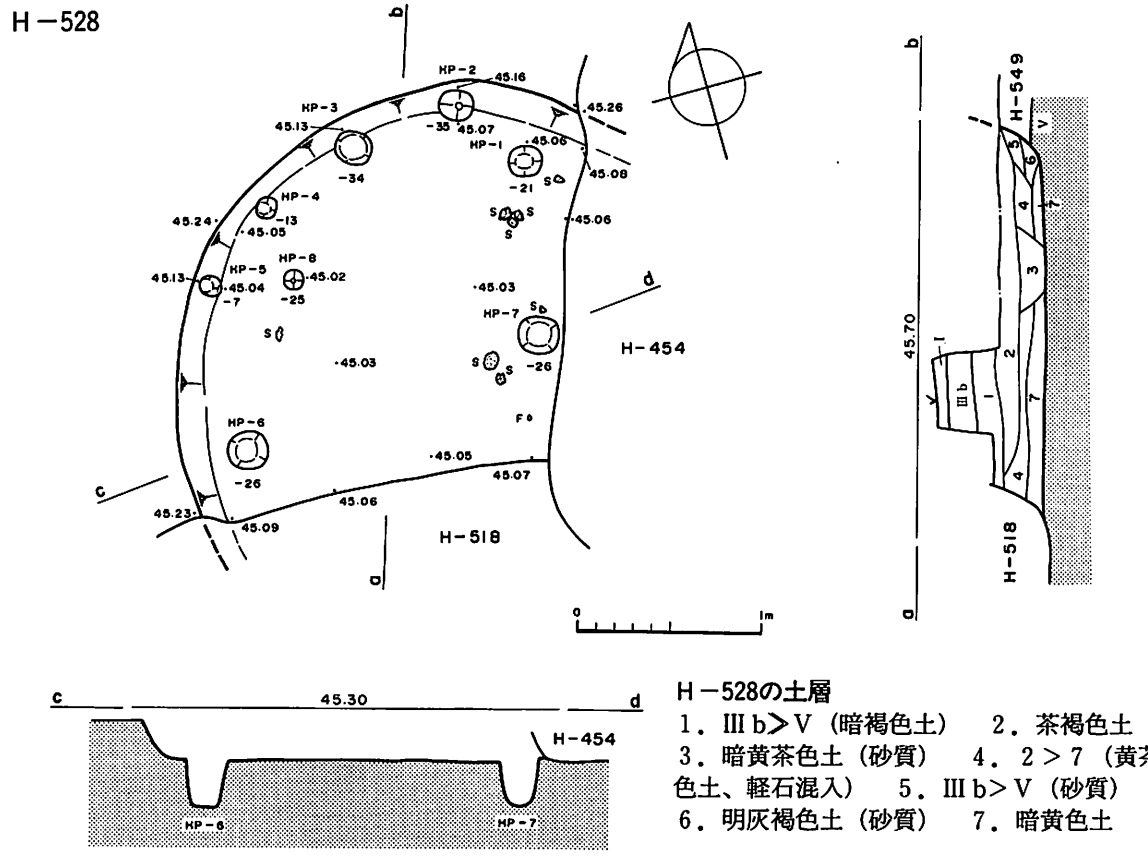
床面：V層を少し掘り込んで構築されている。ほぼ平坦であるが、軟質である。

壁：残存部分の立ち上がりは急傾斜である。検出面からの壁高は、16cm～23cmである。

炉跡：焼土などは検出されていない。

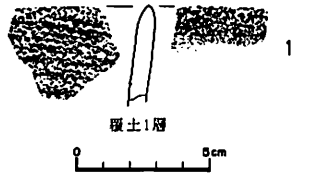
付属ピット：柱穴状小ピットは8個検出されている。HP－1～6は壁際にあり、直立している。

遺物出土状況：遺物は土器が13点、石器等が18点出土している。床面直上で剝片が2点、HP－1・3覆土中で、石器2点、土器3点が出土した。他は覆土中で出土したものである。出土した土器は、覆

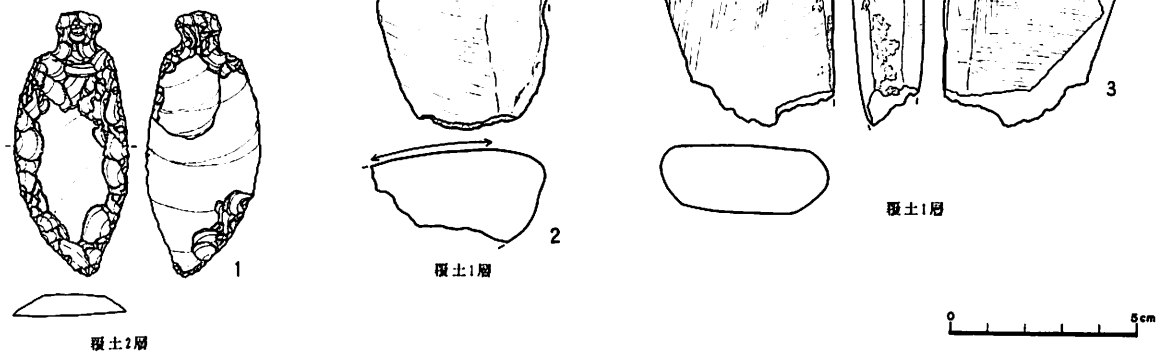


H－528の土層
1．IIIb＞V（暗褐色土）　2．茶褐色土
3．暗黄茶色土（砂質）　4．2＞7（黄茶色土、軽石混入）　5．IIIb＞V（砂質）
6．明灰褐色土（砂質）　7．暗黄色土

図III－378　H－528実測図

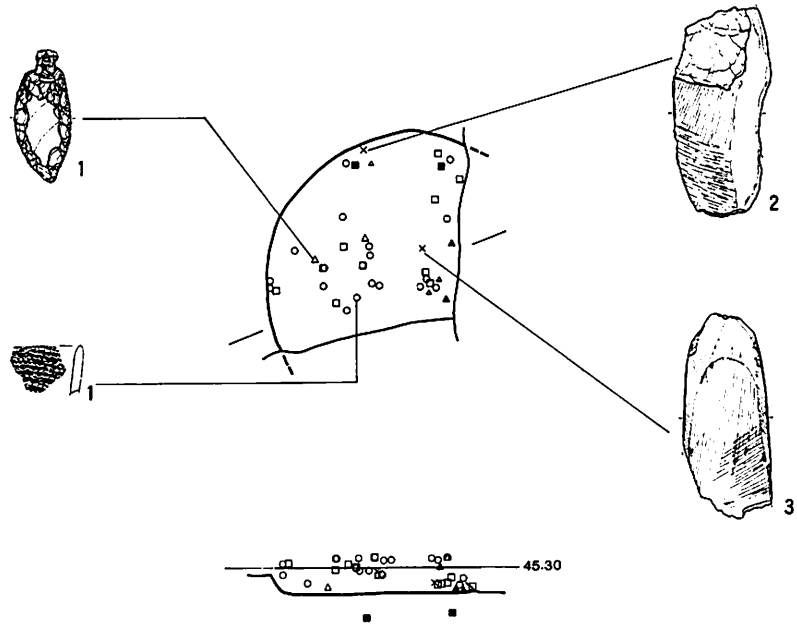


図III－379
H－528出土土器



図III－380　H－528出土石器

H－528



図III－381　H－528出土遺物分布図

土中でI群D2類のものが1点出土したほかはすべて、I群D1類土器である。石器では石匙、スクレイパー、石斧、砥石、石錘などが検出している。

土器：1は覆土1層で出土したI群D1類土器である。口縁部破片で、口唇部は鋭角的に仕上げている。口唇部内外面には連続腹縁文、口縁部には貝殻腹縁圧痕文が施文されている。

石器：1は石匙。背面に原石の礫面を残す。2は片側表面が剝落している石斧。3は石斧。擦り切りにより製作されたもので、刃部は欠損している。　（和泉田　毅）

H－531（図III－382～385，図版58・150・193）

位置：46－33・34，47－33・34　標高45.22m～45.42mのほぼ平坦地に位置している。

規模：4.28m／3.74m×4.23m／3.80m×0.41m　**床面積**：12.30m²　**平面形**：隅丸方形状

確認・調査・土層：46－33・34、47－33・34の包含層調査中、IV層直上付近でIIIb＞Vの落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、覆土を掘り下げ、調査を行う。V層中で暗黄色土のやや堅い面を検出し、柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土の堆積状態は不安定であるが、ほぼ四層に分けられる。覆土1層はIIIb＞Vの暗褐色土でやや黒味を帯びる。覆土2層は覆土1層＞覆土3層の暗黄色土である。覆土3層はやや汚れた土で茶黄色土である。覆土4層は床面上にある土で、暗黄灰色土である。

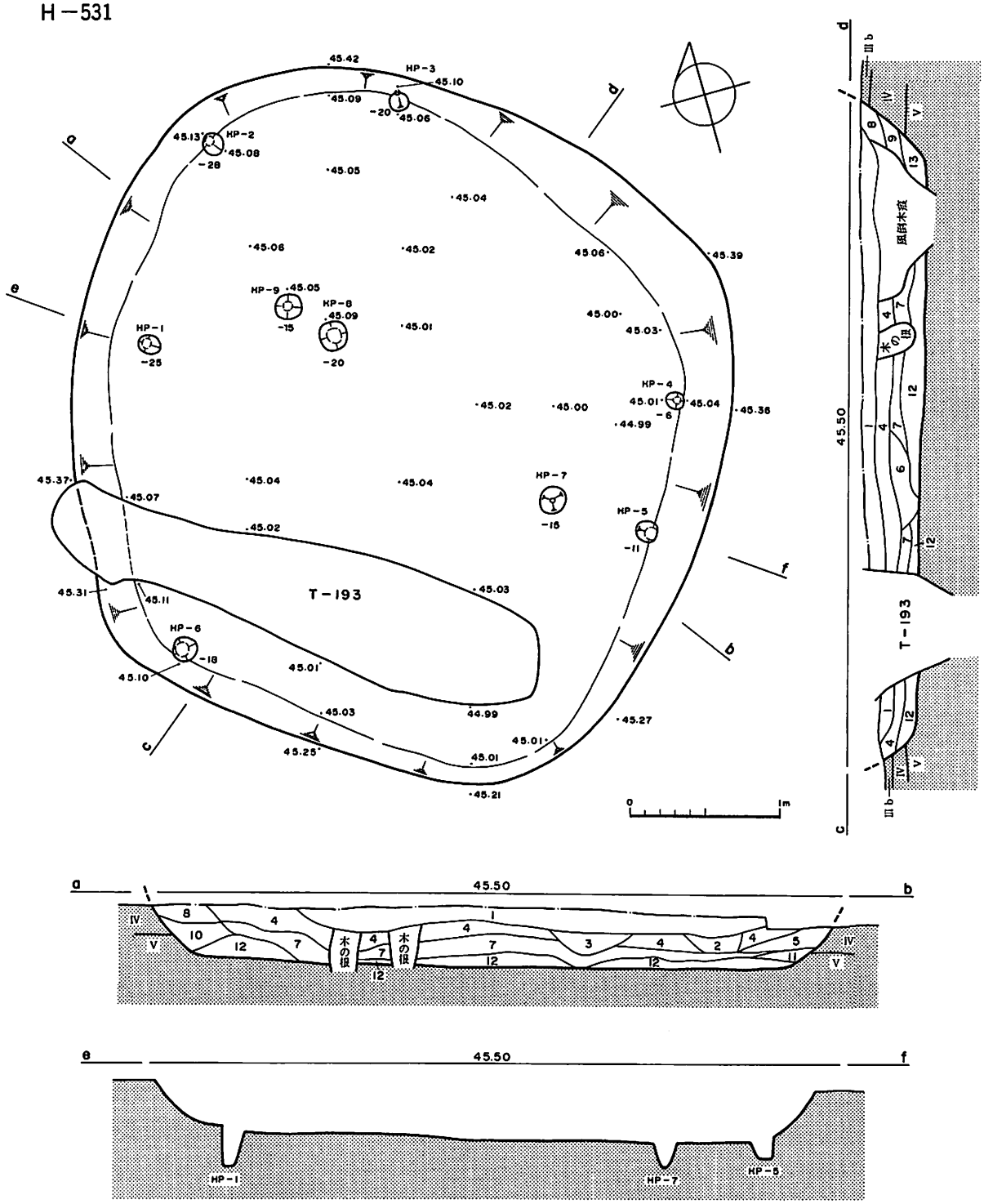
重複関係：本住居跡はT－193と重複しており、これより古い。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層を深く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、やや堅い。

壁：立ち上がりはやや急傾斜である。検出面からの壁高は、北西壁が26cm～30cm、南西壁が20cm前後、南東壁が21cm～35cm、北東壁が30cm～36cmである。

H－531



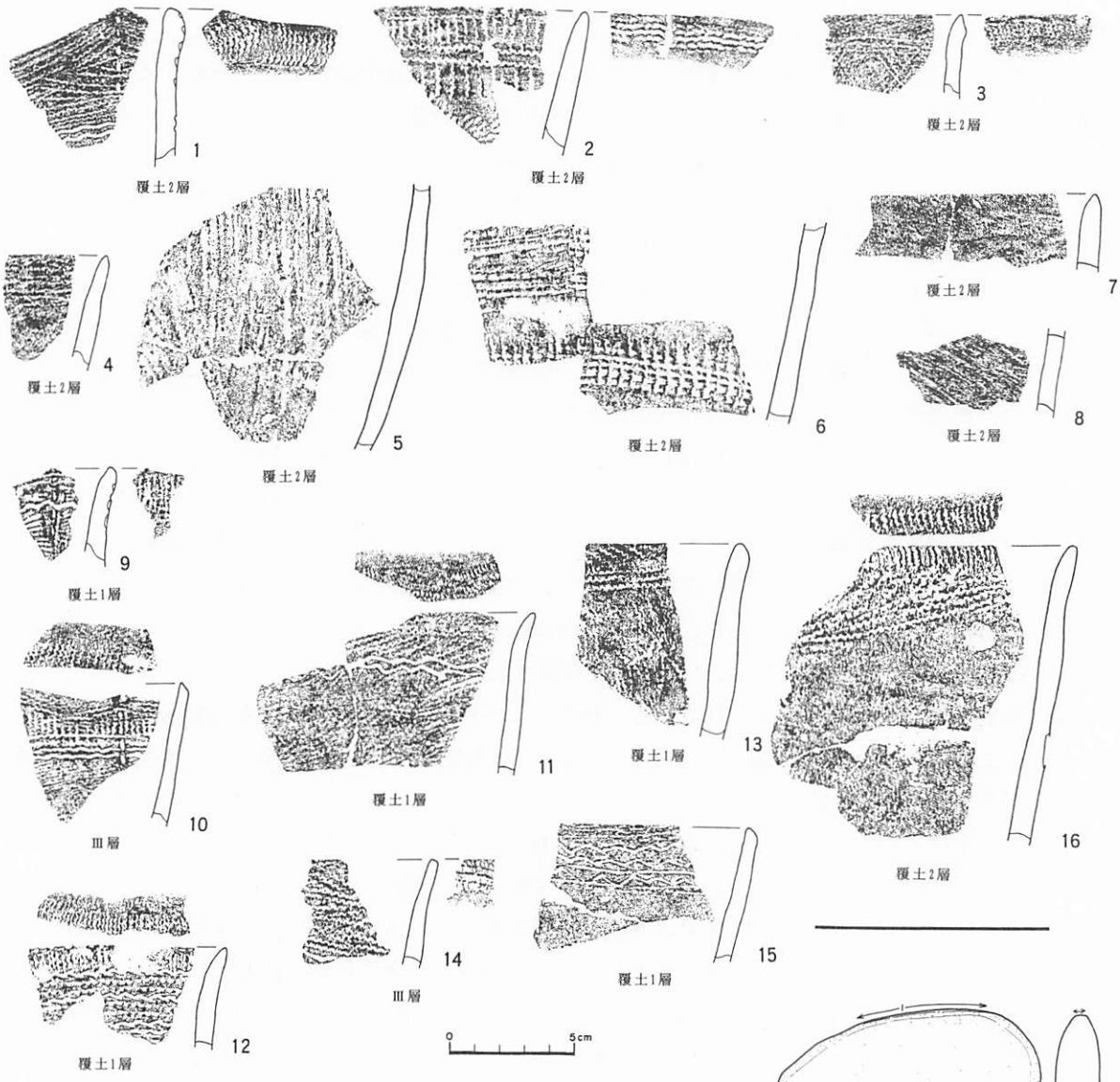
H－531の土層

1．IIIb＞V　2．IIIb＞V　3．茶灰色土＞V　4．1＞7　5．褐黄色土（茶灰色土を多く混入）　6．暗茶黄色土　7．茶黄色土（軽石混入）　8．茶褐色土＞V　9．暗茶褐色土＞V　10．褐黄色土　11．茶黄色土（粘質）　12．暗黄灰色土　13．暗茶褐色土＞V

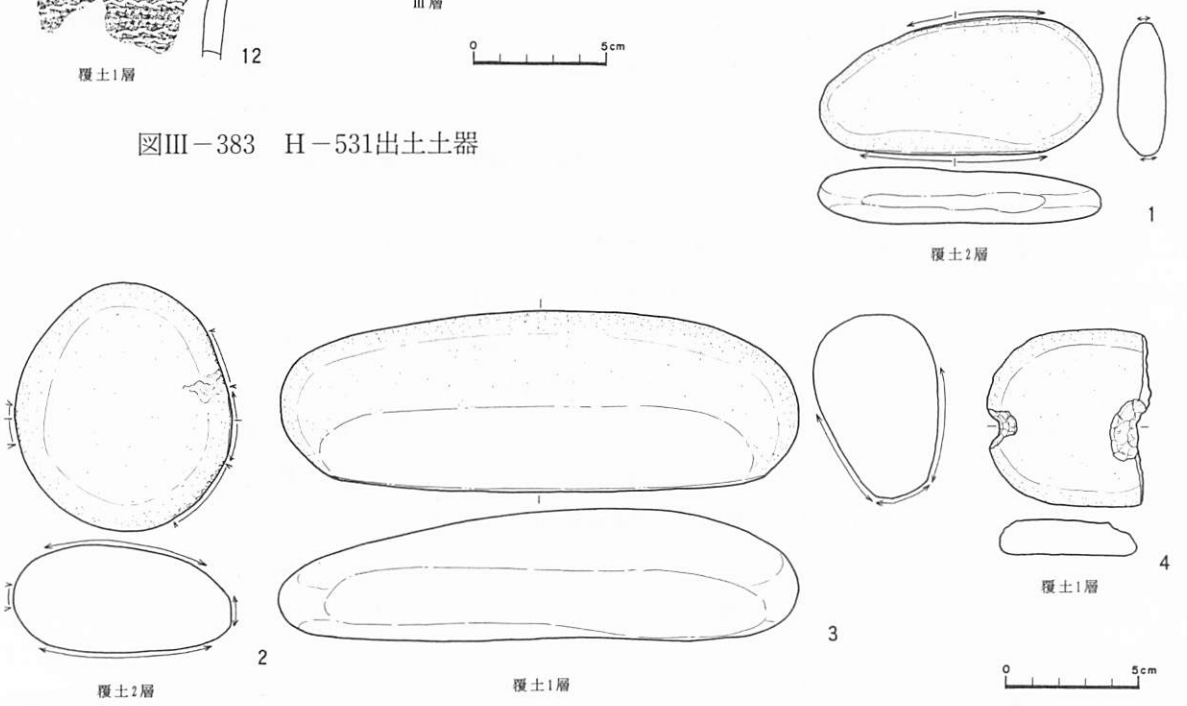
図III－382　H－531実測図

炉跡：焼土などは検出されていない。
付属ピット：柱穴状小ピットは9個検出されている。HP－1～6は壁際にあり、直立している。
遺物出土状況：出土遺物総数は380点である。この内訳は土器263点、石器等117点である。遺物はすべて覆土中から出土したもので、とくに覆土1層から2層にかけての北東側で多く出土している。出土した土器は、I群D2類、同E類のものが13点出土した以外はすべてI群D1類土器である。石器では、スクレイパー、たたき石、すり石、石皿、砥石、石錘（36点）などが出土している。
土器：1～8は覆土2層、9～16は覆土1層から出土したものである。1～5・9～16はI群D1類土器、6はI群D2類土器、7・8はI群E類土器である。1は波状口縁の波頂部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。口縁部内面には連続腹縁文、口唇端部、口縁部外面には丁寧な貝殻腹縁圧痕文が施文され、鋸歯状沈線文が見られる。波頂部から刺突が垂下する。焼成良好で堅い。2は45－34I層出土の土器片が接合したもので、平縁の口縁部破片である。口唇部は鋭角的に仕上げている。口縁部内面には貝殻腹縁による連続押引文が施文される。外面には2段の縦位の貝殻腹縁圧痕文を配し、その上端と間に横位の貝殻腹縁圧痕文を施文している。胴部外面には背圧痕が加えられている。胎土には砂粒を含むが、堅い。3は平縁の口縁部破片で、口唇部は肥厚し、断面形は切り出し状である。口唇部内面には連続波状文が施文され、口縁部外面には貝殻腹縁圧痕文が施文される。4は口縁部破片で、口唇部は鋭角的に仕上げている。外面には貝殻腹縁圧痕文が施文されている。5は胴部破片で、内外面には粗い貝殻条痕文が加えられている。胎土には砂粒を含み、内外面とも器表面はザラザラしている。6はT－193覆土上III層出土の土器片と接合した胴部破片である。外面には貝殻腹縁による連続押引文が2段施文され、内面には貝殻条痕文が加えられている。7は平縁の口縁部破片で、口唇部は鋭角的に仕上げている。口唇部外面の一部には無肋筋の貝殻による腹縁圧痕文が施文されているが、内外面全体にナデ調整が加えられている。焼成良好で堅いが、器表面はザラザラしている。内外面の色調は暗黄灰色である。8は胴部破片で、内面は貝殻条痕文、外面にはすり消し条痕文が見られる。焼成良好で非常に堅い。9は波状口縁の波頂部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。口縁部内面には連続腹縁文、口唇端部、口縁部外面には櫛歯状腹縁文が施文され、波頂部から2条の刺突が垂下する。外面には背圧痕が見られる。胎土には砂粒が多く、脆弱である。10は波状の口縁部破片で、低い副突起が見られる。口唇部断面形は切り出し状である。口唇部内面には連続腹縁文が施文され、口縁部外面には連続腹縁文、鋸歯状沈線文が施文され、波頂部から刺突が垂下する。胴部外面には背圧痕が見られる。11は口縁・胴部破片で、口唇部は鋭角的に仕上げている。口唇部内面には連続腹縁文、口縁部外面には貝殻腹縁圧痕文、鋸歯状沈線文が施文される。胴部外面には背圧痕、内面にはすり消し条痕文が加えられ、爪痕が残る。12は口縁部破片で、口唇部は鋭角的に仕上げている。口唇部内外面には連続腹縁文、口縁部外面には連続押引文、鋸歯状沈線文が施文されている。13は口縁・胴部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。外面には連続波状文が施文され、内面はナデ調整。14は波状の口縁部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。内面には連続押引文、口唇部、口縁部外面には貝殻腹縁圧痕文が施文されている。15は波状の口縁部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。口唇端部、外面には櫛歯状腹縁圧痕文、口縁部外面には無肋筋の貝殻によって鋸歯状沈線文が描かれている。16は波状の口縁・胴部破片で、口唇部は丸く仕上げている。口唇部内外面には連続腹縁文、口縁部外面には貝殻腹縁圧痕文が施文されている。内面にすり消し条痕文が見られるが、全体にナデ調整が加えられている。
石器：1～3はすり石。1の両側縁に使用痕が残る。2の平坦面にすり痕があり、3は断面三角形である。

（和泉田　毅）

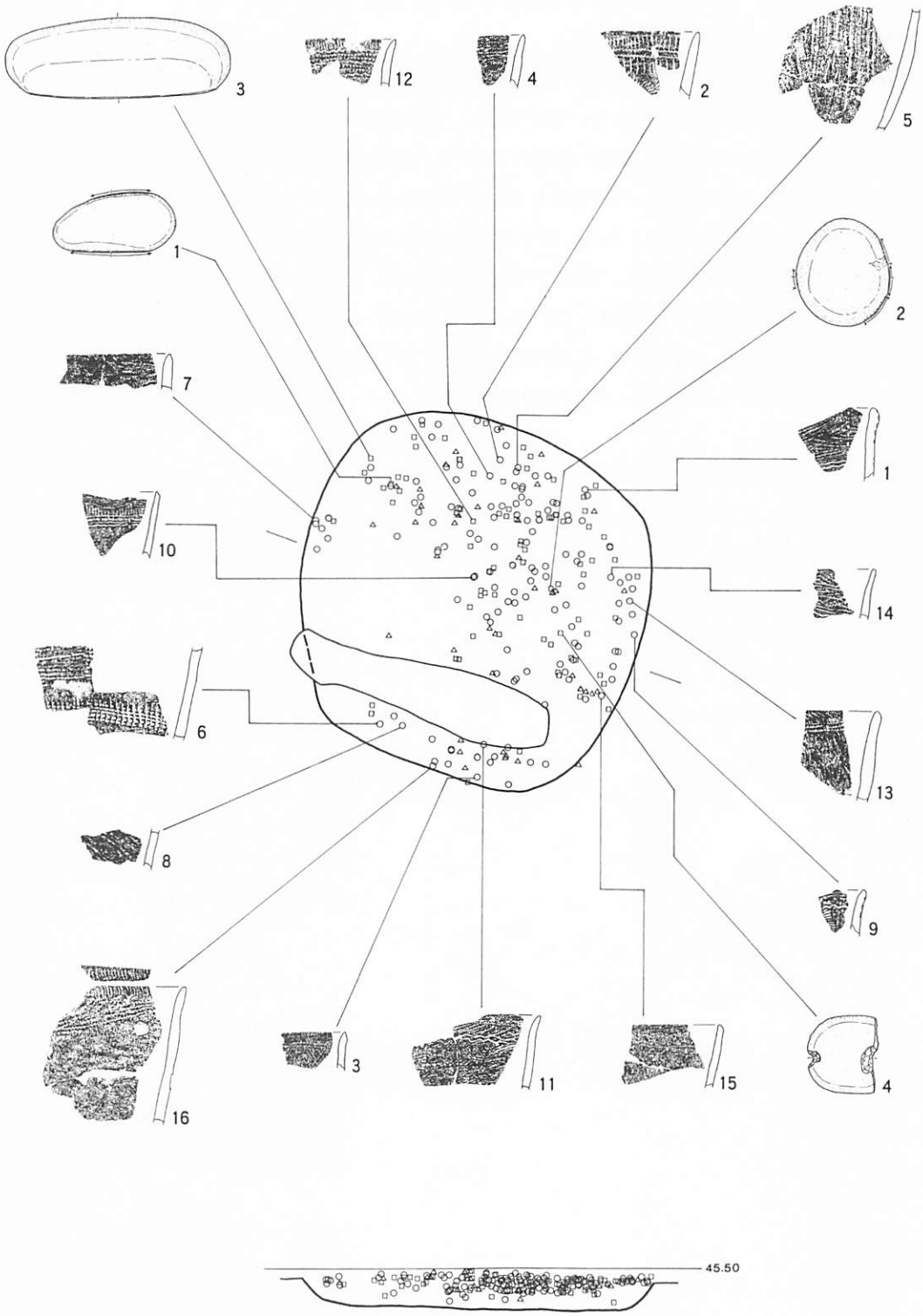


図Ⅲ－383　H－531出土土器



図Ⅲ－384　H－531出土石器

H－531



図III－385　H－531出土遺物分布図

H－532（図III－386～389，図版50・151・194）

位置：43－34・35，44－35　標高45.53m付近の平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：H－509の調査中、H－509の東側床面直上付近で暗茶褐色土≫黄色土の落ち込みを検出した。このためH－509の調査を一時中断し、本住居跡の調査を行った。H－509の土層観察用の土手を共有するかたちで設定し、覆土を掘り下げて、調査を行う。暗茶褐色土≫黄色土を掘り下げV層のかたい暗灰黄色土を検出し、柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とした。土層観察用の土手による土層観察などから、掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ二層である。覆土1層はIIIb＞Vの褐色土である。覆土2層は暗茶褐色土≫黄色土であるが、一部に暗黄茶色土が見られた。ほぼ床面直上付近まで堆積している。ただ床面上には汚れたV層が薄く堆積していた。なお、遺物は覆土1層で取り上げたが、本来的には覆土2層に対応するものである。

重複関係：本住居跡はH－471・509・512・513と重複しており、H－471・512より古く、H－509・513より新しい。

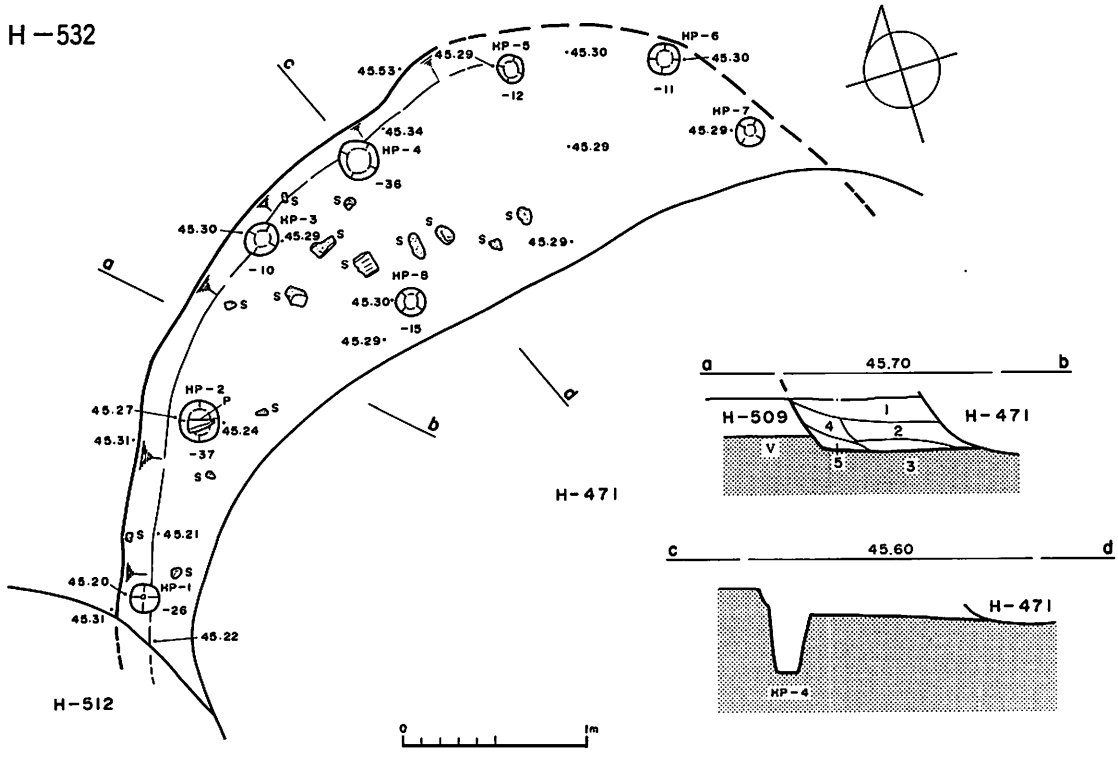
時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層を掘り込んで構築されている。残存部分はほぼ平坦で、堅い。

壁：H－509の調査中に掘り下げられており、全体は不明であるが、土層断面図などから推測するとほぼ急傾斜の立ち上がりであったと思われる。

炉跡：焼土などは検出されていない。

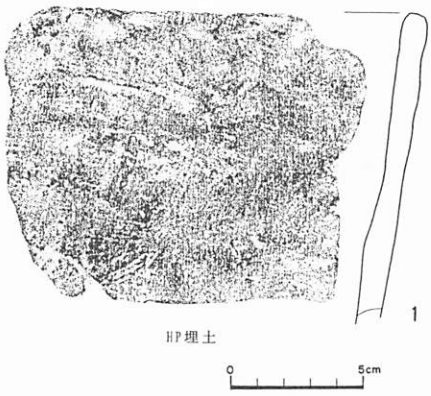
付属ピット：柱穴状小ピットは8個検出されている。HP－1～7は壁際にあるもので、直立している。HP－1・2・4は非常に深いものである。



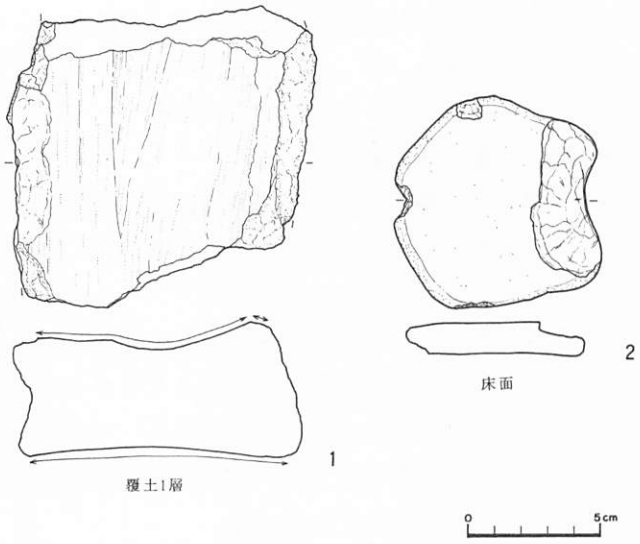
H－532の土層

1．IIIb＞V　2．暗黄茶色土　3．暗黄色土　4．暗茶褐色土≫V　5．黄茶色土

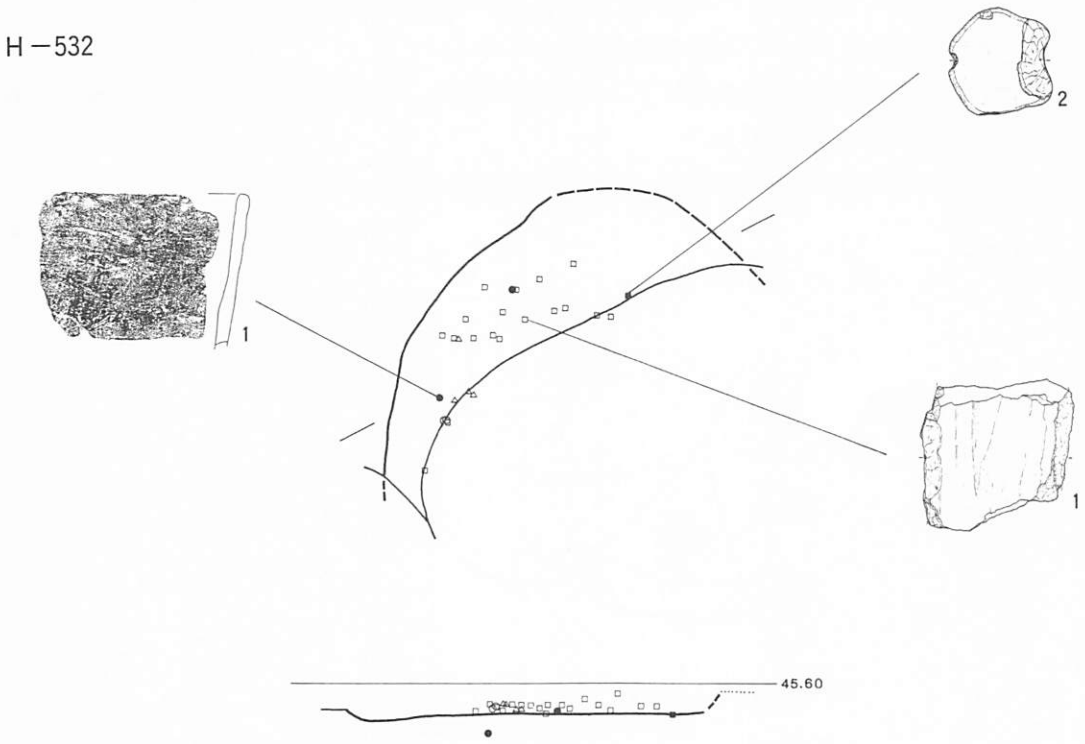
図III－386　H－532実測図



図III－387　H－532出土土器



図III－388　H－532出土石器



図III－389　H－532出土遺物分布図

遺物出土状況：遺物は、覆土１層でＩ群D1類土器が２点、石器等が25点出土している。床面ではＩ群D1類土器が１点、石器が２点出土し、またHP－２覆土中でＩ群D1類土器が２点出土した。石器ではすり石、砥石、石錘などが出土している。遺物の出土状態にまとまりは見られない。

土器：１はHP－２覆土出土のＩ群D1類土器である。口縁・胴部破片で、口唇部は角形に仕上げられている。内面にナデ調整、外面にはすり消し条痕文が加えられている。

石器：１は研ぎ面が２面の砥石である。２は床面出土の石錘で、安山岩製のものである。

（和泉田　毅）

H－533（図III－390～393，図版58・151・194）

位置：42－36

規模：――／――×――／――×0.32m

床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：H－493・500調査後、南側で包含層精査中にわずかに落ち込む黒褐色土を確認した。土層観察用のベルトを設定し順次掘り下げを行い、床面、壁の立ち上がりなどの検出作業を行った。掘り込み面は確認できなかった。

重複関係：H－493・500と重複し、これよりふるい。

時期：出土土器はⅠ群D1類土器であることから、本遺構は縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：残存部がわずかなため不明である。Ⅴ層を掘り込んでいる。

壁：壁は明瞭に立ち上がっている。残存する壁高は約30cmである。

炉跡：焼土は検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは1個検出されている。床面からの深さは約15cmである。

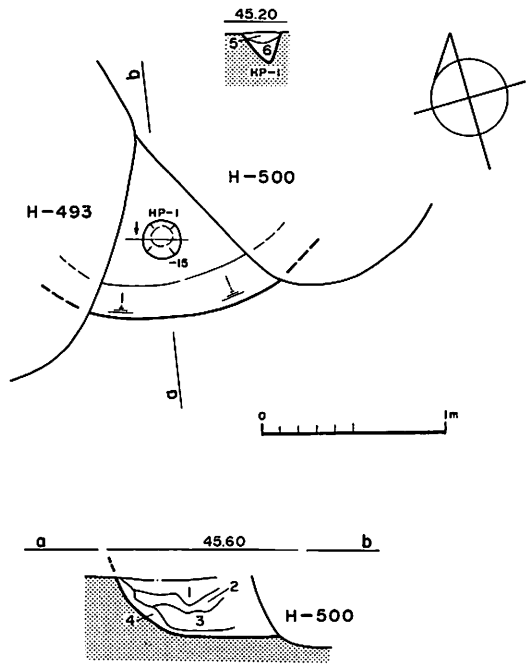
遺物出土状況：出土遺物総数は26点で、土器15点、石器等11点である。石器は礫を除くと、剝片石器1点、礫石器9点である。土器は覆土と床面直上よりⅠ群D1類の土器の破片が出土している。石器は砥石のほか、壁面に張り付くように石錘が数点出土している。

土器：1は肥厚する口唇を持つ平縁の破片で、口唇部は外傾し、外傾面には斜位に貝殻腹縁文が施される。内面には連続波状文がみられる。

石器等：1は砥石で平坦面に研磨痕を残す。破断面に使用痕はない。2は風化の著しい石錘である。

（笠原　興）

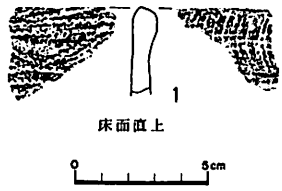
H－533



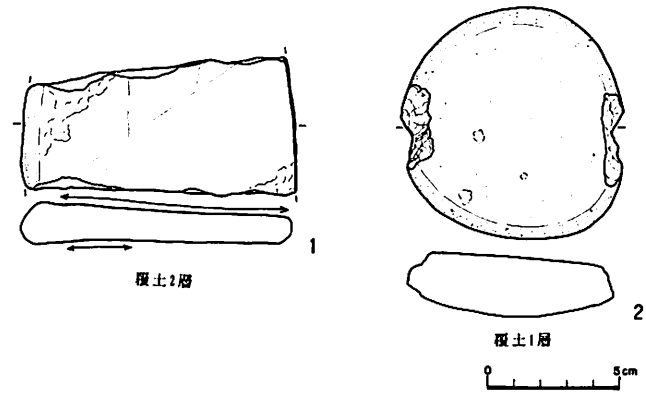
H－533の土層

1．黒褐色土　2．暗褐色土　3．暗茶褐色土　4．暗黄褐色土
5．赤黄褐色土　6．黄褐色土

図III－390　H－533実測図

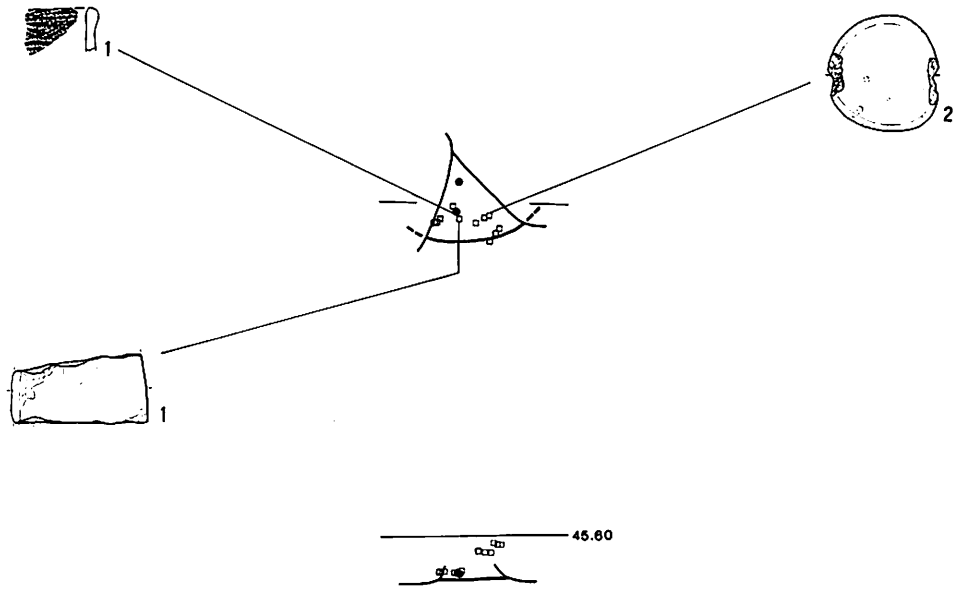


図III－391
H－533出土土器



図III－392　H－533出土石器

H－533



図III－393　H－533出土遺物分布図

H－535（図III－394～397，図版58・59・117・151・194）

位置：41－37，42－36・37

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：H－500調査後、42－37を中心とする遺構間の掘り下げを南北に土層観察用のベルトを設定して行った。覆土は大きく二層に分けられ、覆土1層は粘性のやや高い暗褐色土である。層厚は約20cmで炭化物を少量含む。覆土2層は粘性の高い暗茶褐色土で、下位に炭化物を多く含む。これを約30cmほど掘り下げたところで、酸化痕の広がるやや堅い面を検出した。遺物も多く出土している。南側のH－500との境に広範囲にわたり木の根痕と考えられる撹乱部があるために、新旧関係を確認することができなかった。H－494・520との間に小ピットとわずかに残る立ち上がりを検出したため、竪穴状の遺構として調査を行った。掘り込み面は確認できなかった。

重複関係：H－454・457・491・492・493・520と重複する。これらより古い。

時期：出土遺物はI群D1類土器を含むこれに伴うものと思われ、本遺構は縄文時代早期中葉の時期のものと考えられる。

床面：やや凹凸はあるが、ほぼ平坦である。V層を掘り込んでいる。

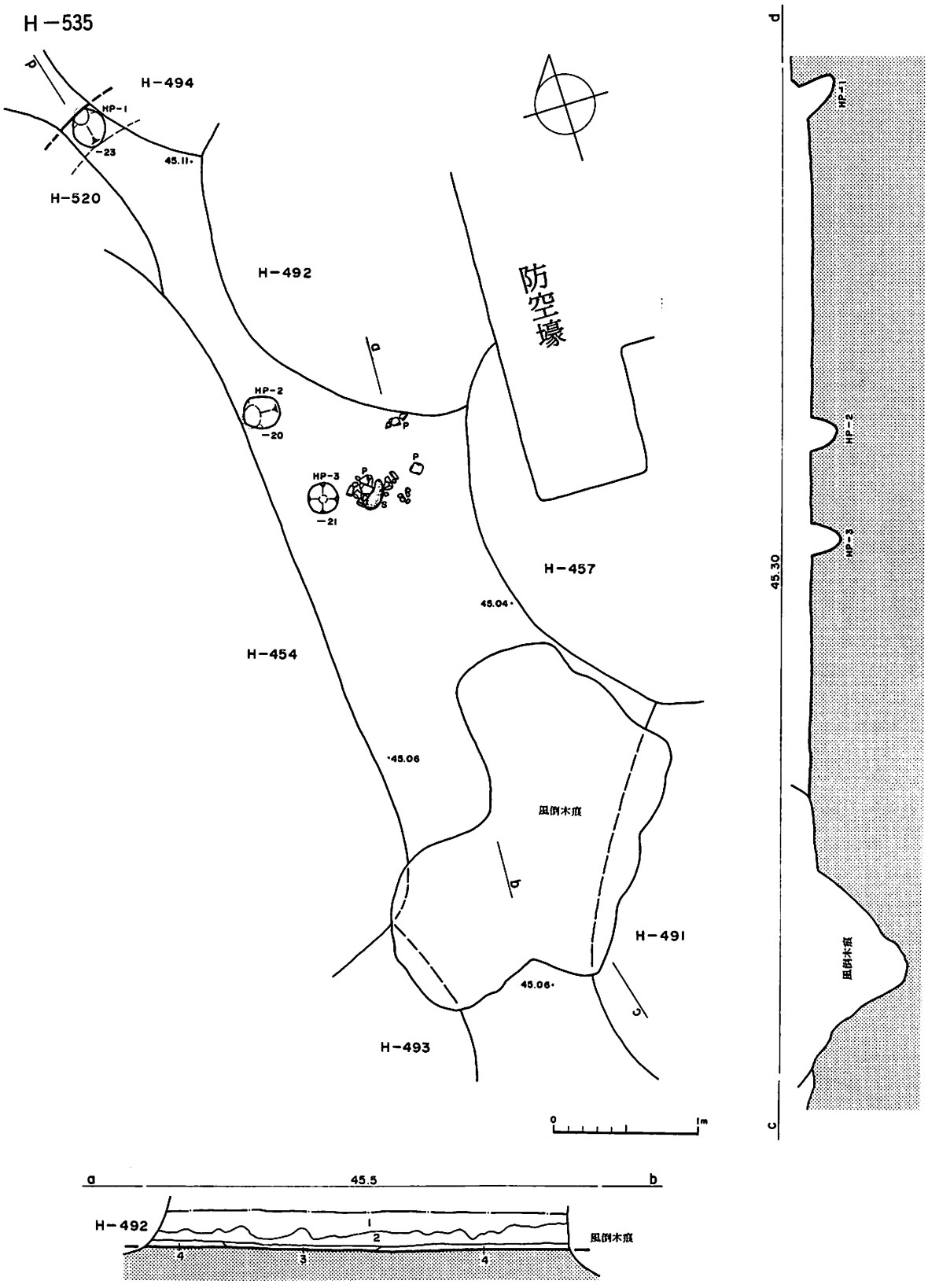
壁：不明である。

付属ピット：柱穴状小ピットは3個検出されている。HP－1は壁面を思わせる立ち上がり部分際にあり、杭状で内傾する。他は明瞭でない。

遺物出土状況：出土遺物総数は315点で、土器168点、石器等147点である。剝片と礫を除く石器は、剝片石器12点、磨製石器1点、礫石器42点である。土器はすべてI群D1類で、床面直上より横倒しのつぶれた状態でほぼ1個体分が出土している。底部は欠損している。石器も覆土からが主であるが、床面付近から石匙、スクレイパー、石斧、すり石、砥石、石錘等が出土している。

土器：1は床面直上とH－454覆土2層出土の土器片と接合した。底部は欠損する。平縁のもので、頸部がくびれてやや外反し、口唇部は外傾する。口縁部文様帯は楕円形の刺突と沈線が交互に横環する。胴部は無文で、内面にはナデ調整が施される。2・4・6は波状口縁の破片で、2は口唇部内外面に連続波状文が施され、その下位に楕円形の刺突と鋸歯状沈線が交互にめぐる。4は楕円形の刺突と沈線で構成され、内面にはナデ調整が施される。6は口唇部内外面に連続波状文、その下位に鋸歯状沈線と沈線が組み合わされる。3・5は櫛歯状腹縁文が横位に施される。

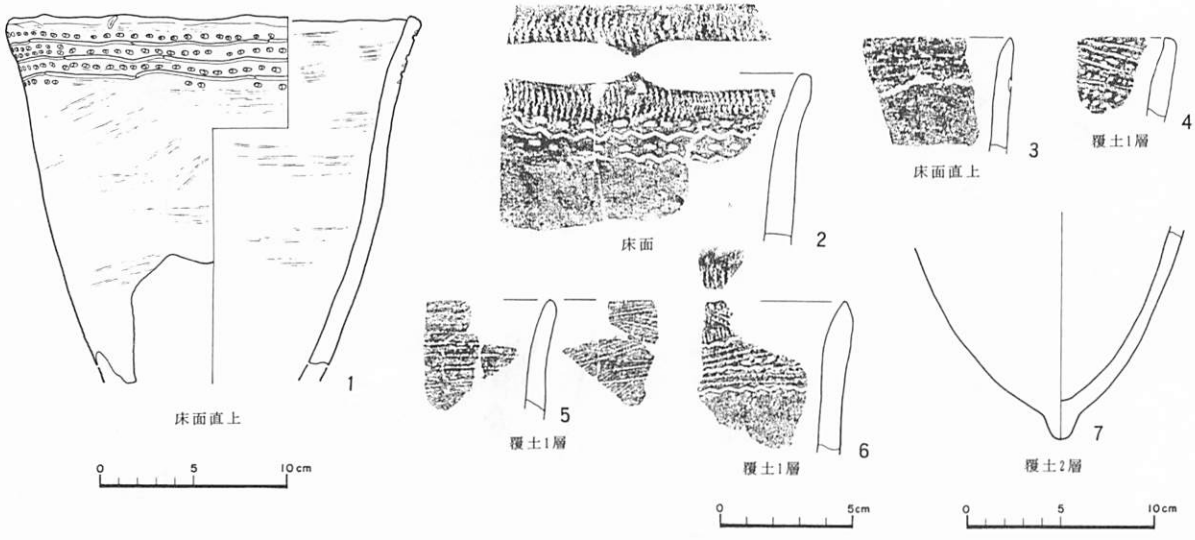
石器等：1は石匙。2はスクレイパー。3は擦り切り痕を残す磨製石斧。4は床面直上より出土のすり石。5は抉りの4つある石錘である。　（笠原　興）



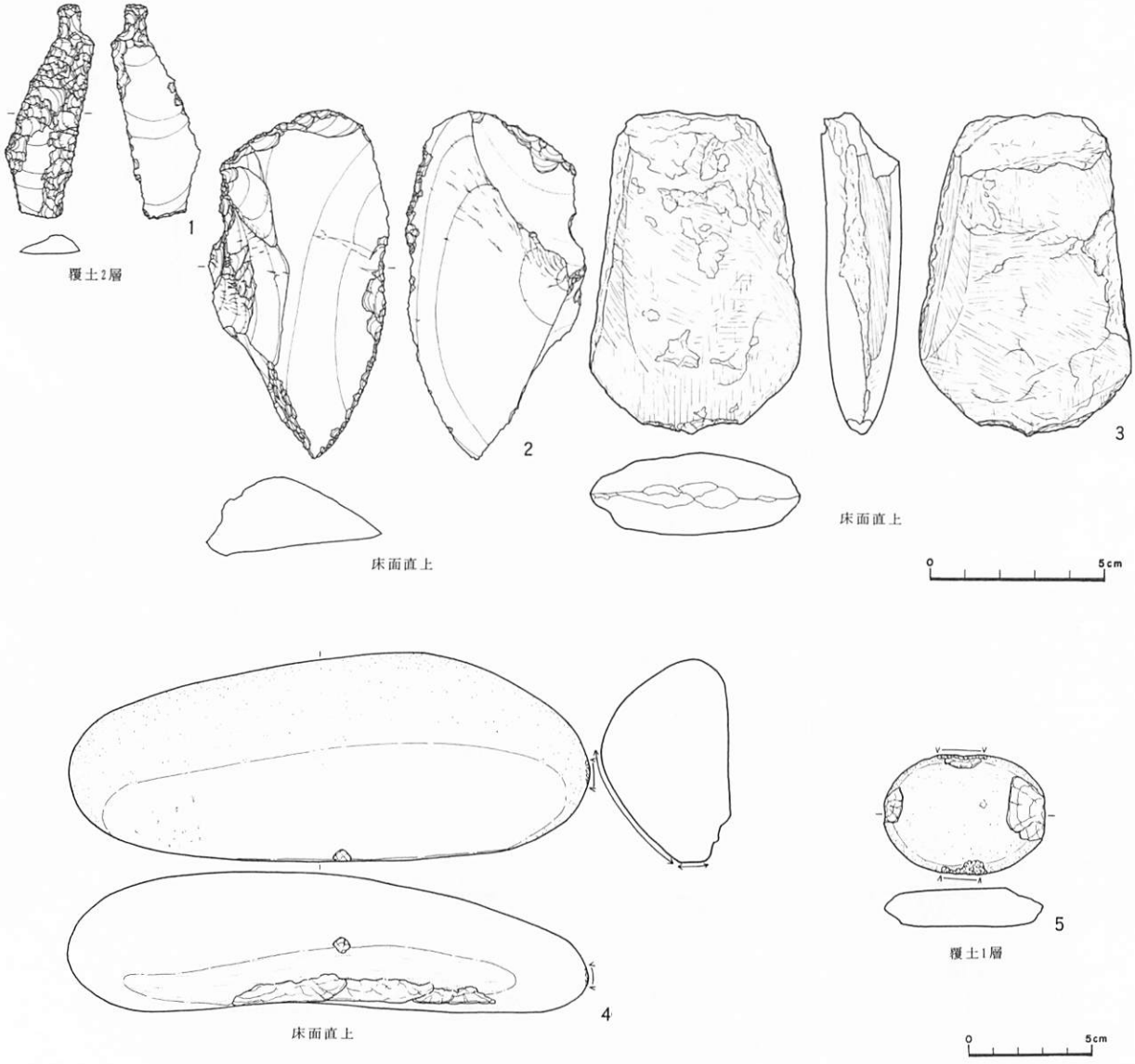
H－535の土層

1．暗褐色土（炭化物少量混入）　2．暗茶褐色土（下層に炭化物多い）　3．赤褐色土　4．暗黄褐色土（V＞2）

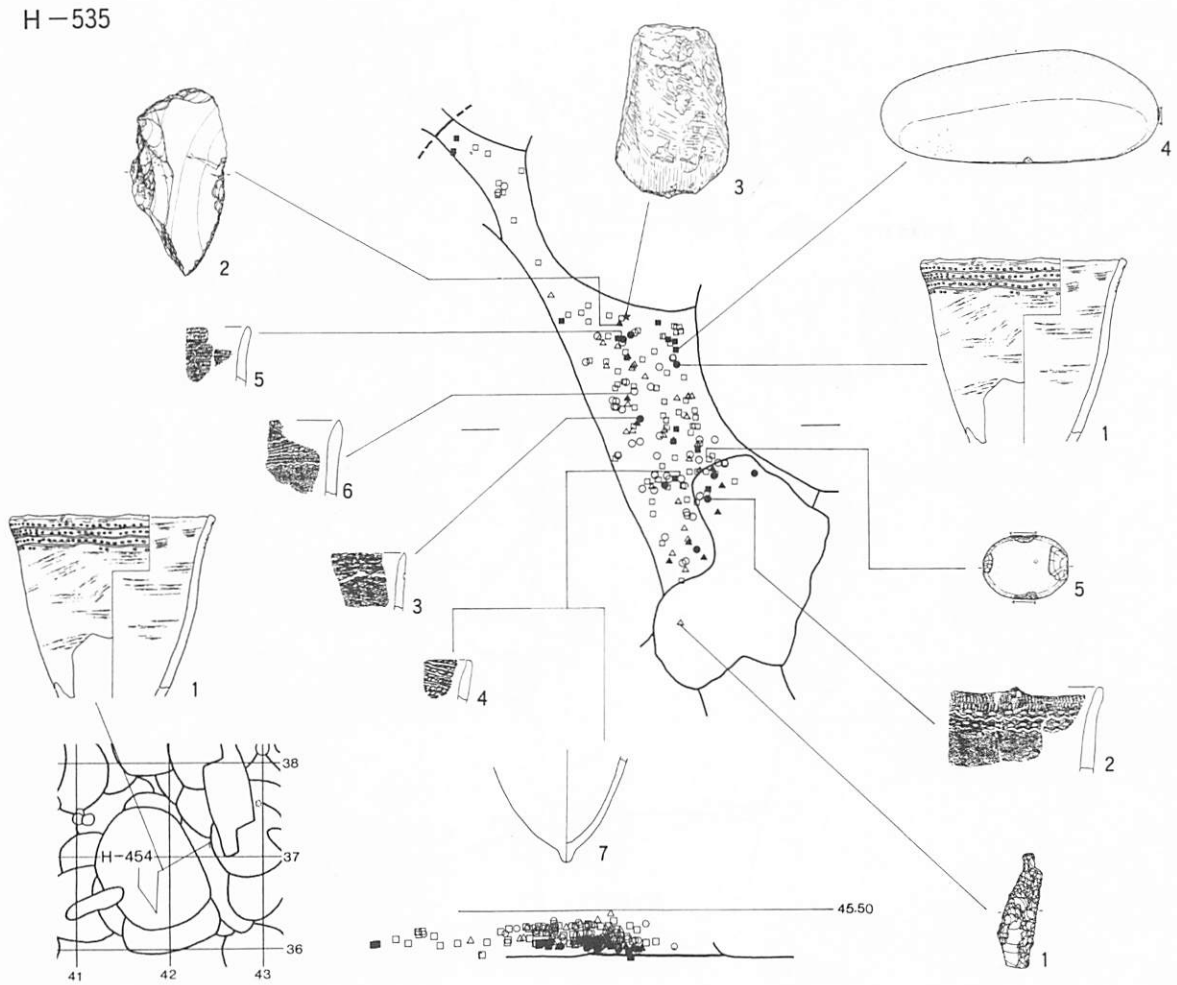
図III－394　H－535実測図



図Ⅲ－395　Ｈ－535出土土器



図Ⅲ－396　Ｈ－535出土石器



図III－397　H－535出土遺物分布・接合図

H－539（図III－398～401，図版59・151・194）

位置：42－37・38，43－37・38　標高45.52m付近の平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：43－37・38の包含層調査中、IV層直上付近で茶褐色土の落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、調査を行う。覆土を掘り下げ、暗灰色土上面で、H－456の床面下に同層が広がっているのが確認された。このため周辺を精査し、プランの確認作業を行う。V層中で暗黄色土のやや堅い面があり、柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIII b層中と思われる。覆土はほぼ三層である。覆土1層は混合土状の茶褐色土、覆土2層は覆土1層と3層がまじり合った軽石を少量混入する褐黄色土である。覆土3層は床面上に薄く見られる砂質の暗灰黄色土である。本住居跡は、防空壕や他遺構と重複し、残存部分がわずかであるため全体像は明瞭でない。

重複関係：本住居跡はT－169、P－273、H－453・456・522・534と重複しており、これらより古い。

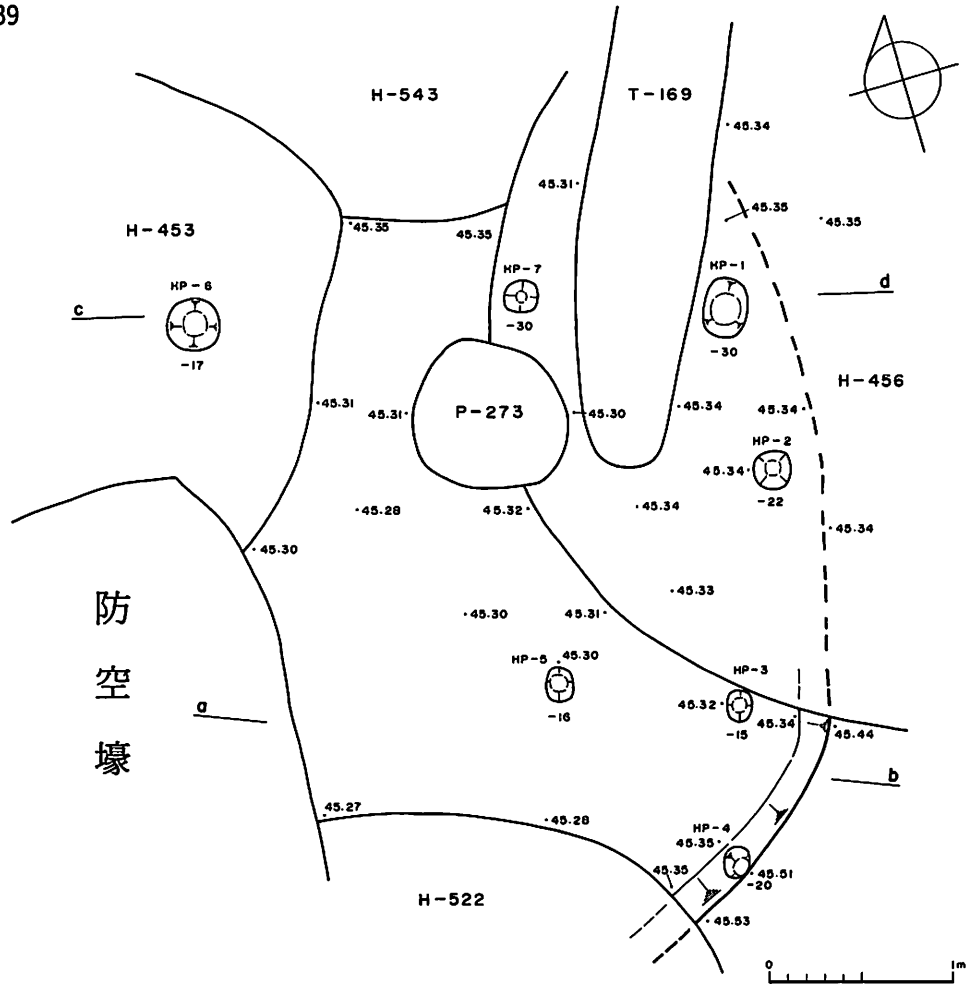
時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

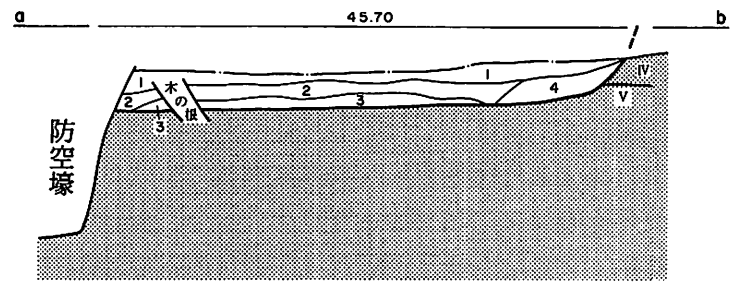
床面：V層を浅く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、やや堅い。H－456の床面下にある。

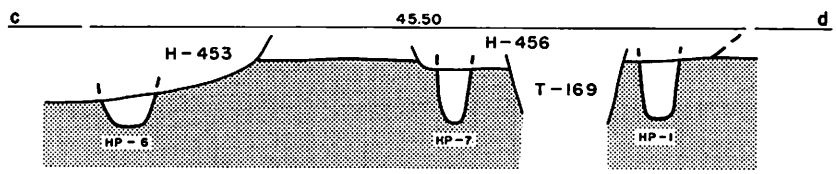
壁：残存部分の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高は、17cm前後である。

炉跡：焼土などは検出されていない。

H－539



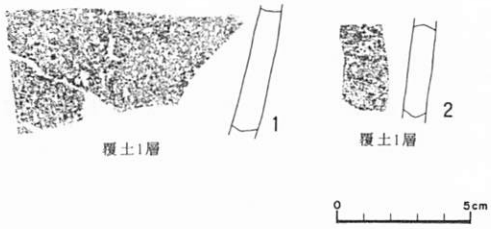




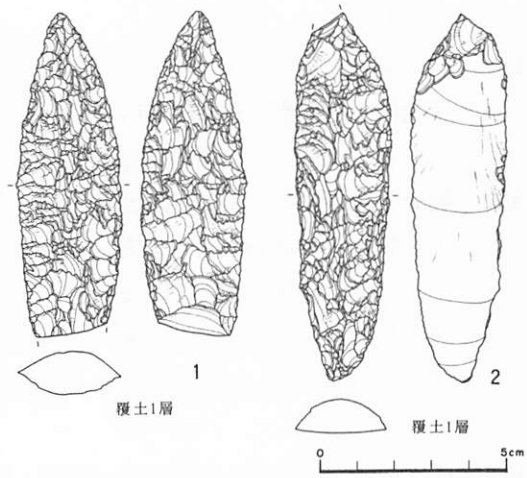
H－539の土層

1．茶褐色土　2．1＜3（褐黄色土、軽石少量混入）　3．暗灰黄色土（砂質）　4．1＞3（暗黄茶褐色土、小石・軽石少量混入）

図Ⅲ－398　H－539実測図

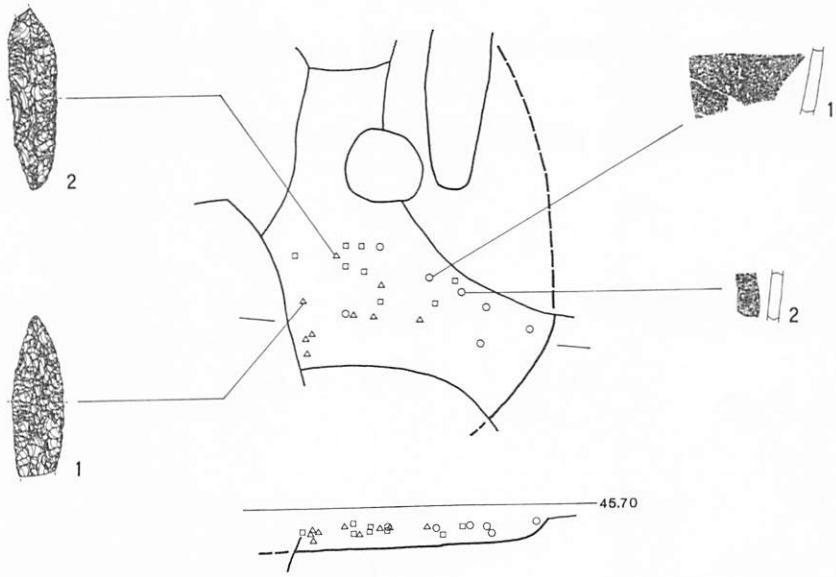


図III－399　H－539出土土器



図III－400　H－539出土石器

H－539



図III－401　H－539出土遺物分布図

付属ピット：柱穴状小ピットは7個検出されている。HP－1～4は壁際にあると思われ、直立している。HP－5～7は主柱穴と思われ、4本柱が想定される。

遺物出土状況：遺物はわずかに覆土1層中から出土したもので、まとまった出土状態ではない。土器はI群D1類のものが17点が出土しており、石器等では石槍、石匙、スクレイパー、すり石、石錘など17点が出土している。

土器：1・2は覆土1層出土のI群D1類土器で、ともに胴部破片である。1は無文土器で、器表面はザラザラしている。2は内面に貝殻条痕文が加えられ、外面はナデ調整である。

石器：1は石槍。2は石匙で、つまみ部が欠損している。　（和泉田　毅）

H－540（図III－402，図版60）

位置：40－37　標高45.20m付近の平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明。西側の大半は平成4年度調査区に当たり、既に削平されており、また北・南側はそれぞれ他遺構と重複しているため、全体像は不明である。

確認・調査・土層：40－37の包含層調査中、IV層直上付近で褐色土の落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、調査を行う。覆土を掘り下げ、V層中で暗灰黄色土の堅い面を検出し、この面で柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIII b層中と思われる。覆土は三層である。覆土1層はIII b＞Vの褐色土である。覆土2層は覆土1層に覆土3層が混入し、軽石や小石を含む暗黄茶色土である。覆土3層は床面上にある暗黄灰色土で、層厚は薄い。

重複関係：本住居跡はH－73・156と重複しており、これらより古い。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層をやや深く掘り込んで構築されている。残存部分の床面は、平坦で、堅い。

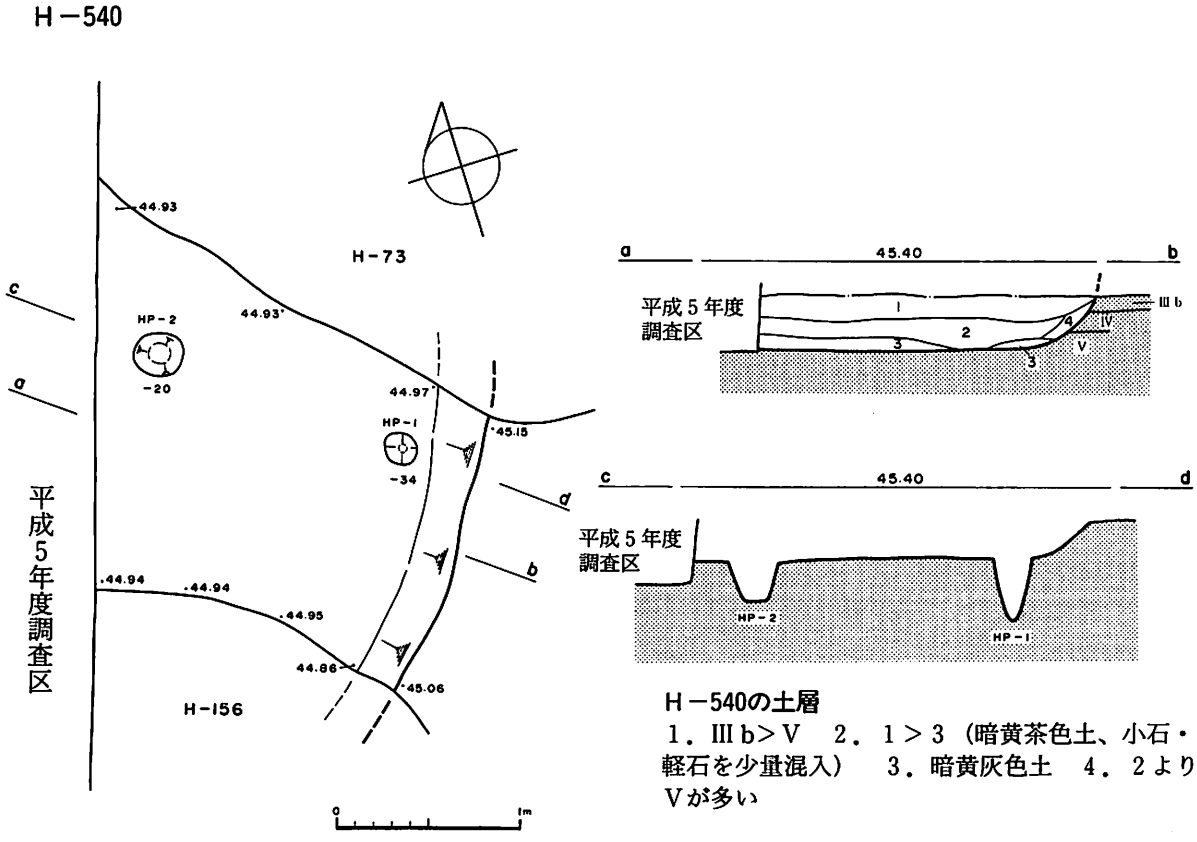
壁：残存部分の立ち上がりはやや急傾斜である。検出面からの壁高は、ほぼ24cm前後である。

炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは2個検出されており、HP－1は壁際にあるものである。杭状で、34cmと深い。HP－2は主柱穴か？

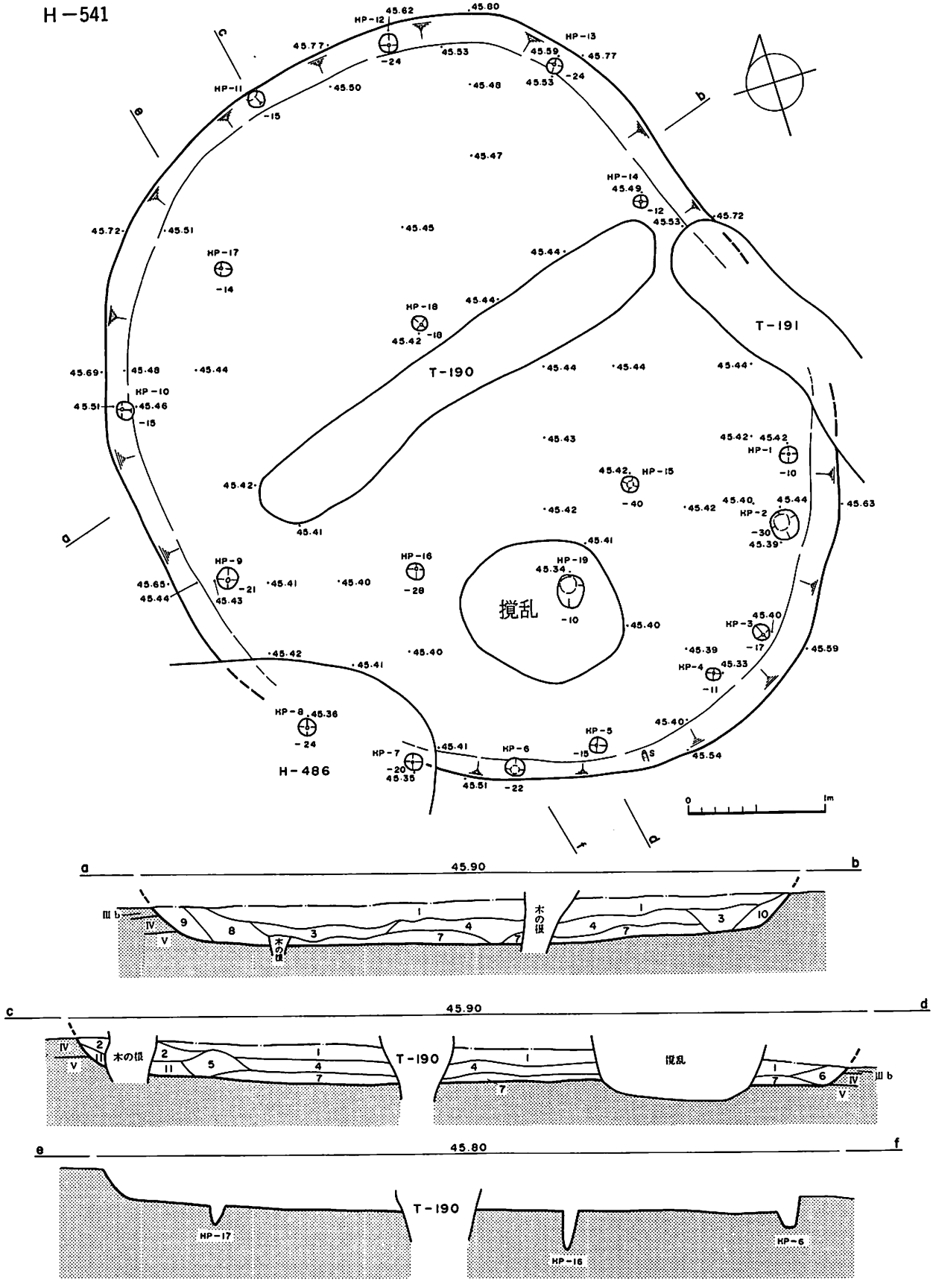
遺物出土状況：遺物は覆土1層中でI群D1類土器5点、礫1点が出土しただけである。

（和泉田　毅）



H－540の土層
1．III b＞V　2．1＞3（暗黄茶色土、小石・軽石を少量混入）　3．暗黄灰色土　4．2よりVが多い

図III－402　H－540実測図



図III－403　H－541実測図

H－541（図III－403・404，図版60・194）

位置：45－35，46－34・35　標高45.51m～45.80mのほぼ平坦地に位置している。

規模：5.70m／5.30m×4.60m／4.25m×0.30m　**床面積**：18.78㎡

平面形：隅丸長方形状　**長軸方向**：N－11°－W

確認・調査・土層：45－35、46－34・35の包含層調査中、IV層直上付近で茶褐色土の落ち込みを検出する。土層観察用の土手を設定し、覆土を掘り下げ、調査を行う。茶褐色系の土を除去し、V層と褐色土が混じり合った土の下で堅いV層の暗灰黄色土の面を検出した。この面で柱穴状小ピットも検出したことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIII b層中と思われる。覆土は三層である。覆土1層は混合土状の茶褐色土、覆土2層は覆土1層と3層が混じり合った土である。覆土3層は汚れた黄灰色土である。

重複関係：本住居跡はT－190・191、P－295、H－486と重複しており、これらより古い。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層を掘り込んで構築されている。北から南へやや傾斜しているが、平坦で、堅い。

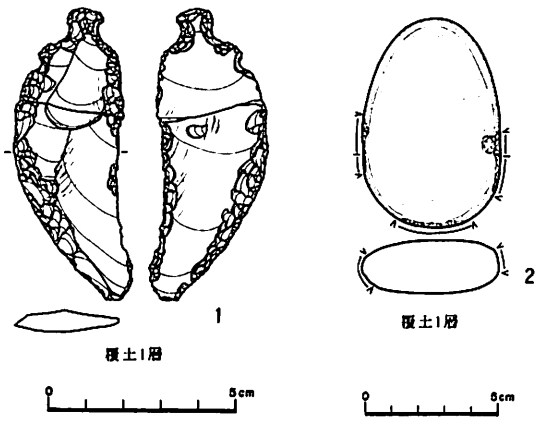
壁：立ち上がりはやや急傾斜である。検出面からの壁高は、北壁が21cm～27cm、西壁が21cm前後、南壁が15cm前後、東壁が19cm～24cmである。

炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは19個検出されている。HP－1～14は壁際にあるもので、直立している。HP－15～19は主柱穴と思われる。これらの配列関係から考えると、HP－15・16・17は4本柱、HP－18・19は2本柱を構成するものと思われる。建て替えが行われたものであろう。

遺物出土状況：遺物はすべて覆土1層から出土したもので、出土状態にまとまりは見られない。土器はI群D1類土器が13点出土し、石器では石匙、たたき石、石錘などが9点出土している。

石器：1は覆土1層と43－32III層出土の破片が接合した石匙である。2はたたき石。両側縁に使用痕が残る。　（和泉田　毅）



図III－404　H－541出土石器

H－541の土層

1．茶褐色土　2．茶褐色土＞V　3．1＋V（黄茶褐色土）　4．1＞7　5．明黄褐色砂（粗砂）
6．暗茶灰色土＞V　7．黄灰色土（粘質、かたい）　8．灰褐色土≫V　9．III b≫V（軟質）
10．暗褐黄色土　11．茶黄色土（軽石混入）

H－542（図III－405・406，図版60・61・117）

位置：44－36，45－36・37　標高45.78m～46.06mのほぼ平坦地に位置している。

規模：4.37m／3.92m×――／――×(0.30)m　　**床面積・平面形・長軸方向**：不明

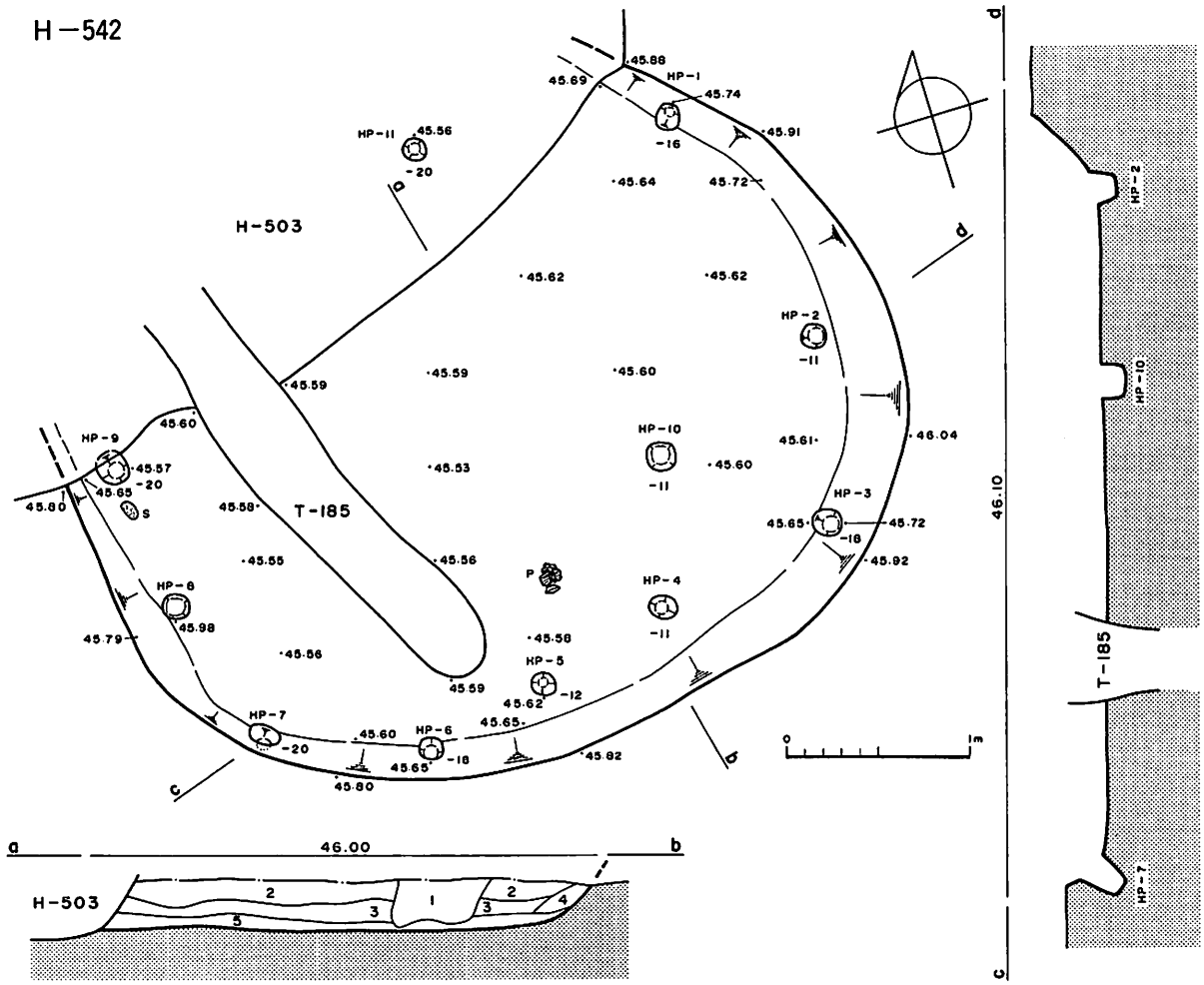
確認・調査・土層：44－36、45－36・37の包含層調査中、IV層直上付近で褐色土の落ち込みを検出した。またH－503の南壁面、T－185の壁面で覆土状の土の落ち込みを確認した。土層観察用の土手を設定し、覆土を掘り下げ、調査を行った。H－503、T－185の壁面で確認した床面と思われるV層の暗灰黄色土の面まで順次掘り下げ、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ三層である。覆土1層はIIIb＞Vの褐色土、覆土2層は覆土1層に3層が混じり合った土である。覆土3層はV層に褐色土がわずかに混入し、汚れた黄灰色土である。

重複関係：本住居跡はT－185、H－503と重複しており、これらより古い。

時期：重複関係、周辺包含層出土の土器などから、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層を浅く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦である。東側は砂質土で軟質、西側は堅い。

壁：立ち上がりはほぼ急傾斜である。検出面からの壁高は、西側が15cm～21cm、南壁が17cm～25cm、東壁が19cm～27cmである。



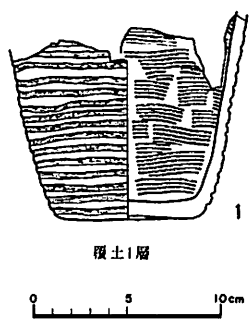
H－542の土層

1．暗褐色土＋V（軽石混入）　2．IIIb＞V　3．2＞5　4．黄褐色土　5．黄灰色土

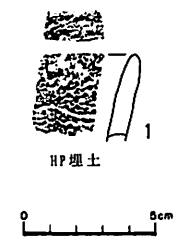
図III－405　H－542実測図

炉跡：焼土などは検出されていない。
付属ピット：柱穴状小ピットは11個検出されている。HP－1～9は壁際にあるもので、わずかに内傾しているものが多い。HP－10・11は主柱穴と思われ、4本柱が想定される。
遺物出土状況：遺物は覆土1層で出土したものである。土器はI群E類のものが38点出土しており、これは南西側のところで出土した底部のものである。横倒しの状態で出土したものである。石器等は礫が1点出土しただけである。
土器：1は覆土1層で出土したI群E類土器である。底径8 cmの平底。外面には全面に丁寧な沈線が加えられている。内面には貝殻条痕文が加えられている。胎土には微細な雲母粒が多量に混入している。焼成は良好。　（和泉田　毅）

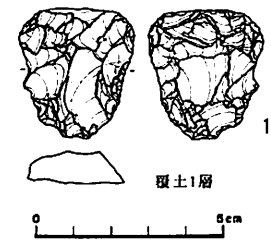
H－543（図III－407～409，図版61・151・195）
位置：42－38，43－38　標高45.37m付近のほぼ平坦地に位置している。
規模・床面積・平面形・長軸方向：不明。遺構の大半は昭和51年度調査区内にあり、既に削平されており全体像は不明である。
確認・調査・土層：V層直上付近で灰褐色土の落ち込みを検出した。ただ床面直上付近まで全体に掘り下げられており、覆土はわずかに残存していたに過ぎない。覆土は二層で、覆土1層は灰褐色土、覆土2層は床面上にある土で、砂質の暗黄灰色土である。
重複関係：本住居跡はT－169、H－453・539と重複しており、これらより古い。
時期：重複関係、周辺包含層出土の土器などから、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。
床面：V層を浅く掘り込んで構築されている。平坦で、堅い。
壁：残存部分の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高は、10cm前後である。
炉跡：焼土などは検出されていない。
付属ピット：柱穴状小ピットは11個検出されている。HP－1～7は壁際にあり、直立している。HP－9・10・11は主柱穴と思われる。やや深いもので、直立している。
遺物出土状況：遺物は、HP－8覆土中でI群D1類土器4点、覆土中でI群D1類土器が1点出土している。石器等では床面直上ですり石が1点、覆土中でスクレイパー、剝片各1点が出土している。
土器：1はHP－8覆土から出土したI群D1類土器である。口縁部破片で、口唇部断面形は切り出し状気味である。口唇部内面には貝殻腹縁圧痕文、口唇部外面、口縁部外面には貝殻腹縁圧痕文、波状の沈線文が施文されている。胎土には砂粒を含み、脆弱である。
石器：1は硬質頁岩製のスクレイパーである。　（和泉田　毅）



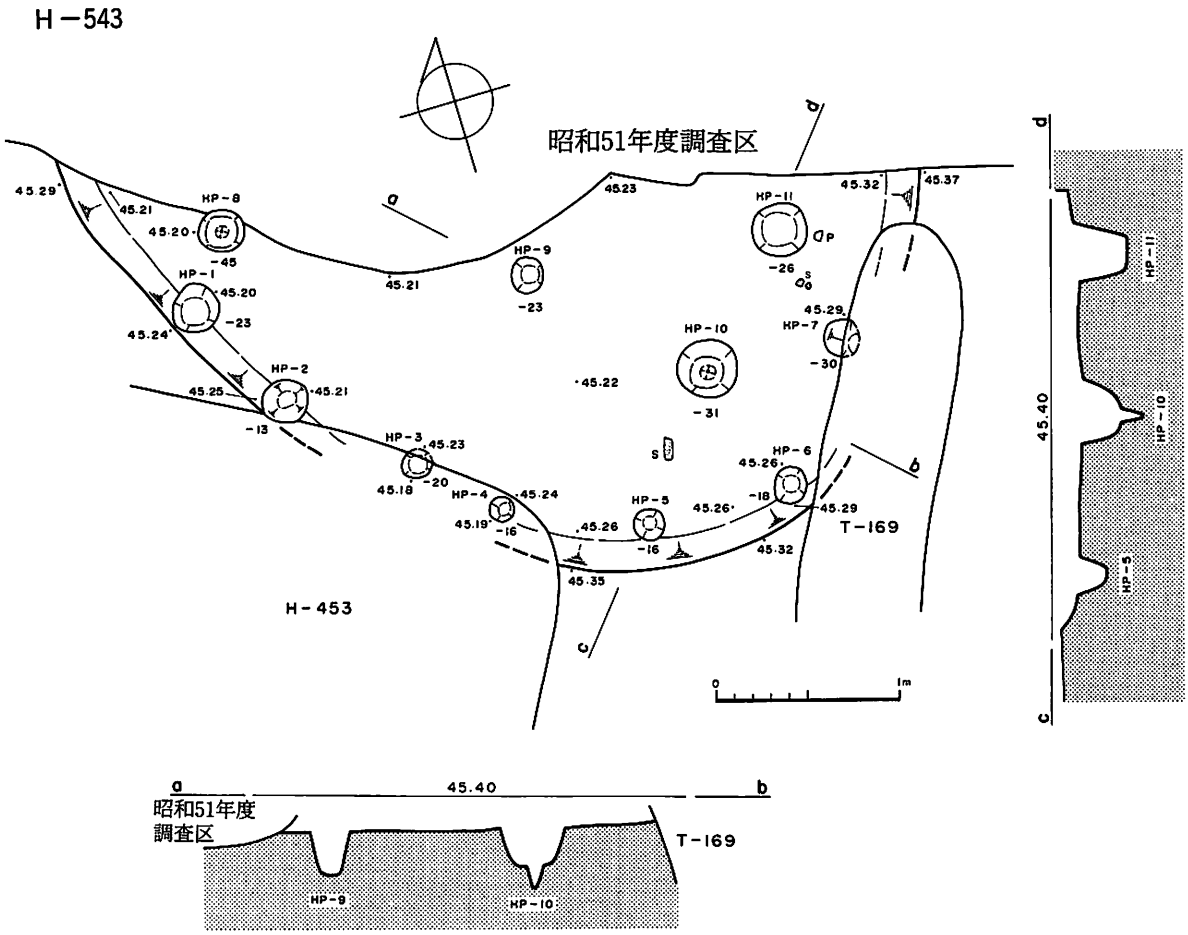
図III－406　H－542出土土器



図III－407　H－543出土土器



図III－408　H－543出土石器



図III－409　H－543実測図

H－545（図III－410・411，図版61・195）

位置：39－30･31　北から南へゆるやかに傾斜する標高44.41m～44.61mの緩斜面上に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：39－30・31の包含層調査中、IV層直上付近でIII b層の広がりが確認され、土層観察用の土手を設定し、周辺を精査しつつ遺構検出作業を行う。ほぼV層直上で暗茶灰色土の落ち込みを検出した。覆土を順次掘り下げ、V層中で暗灰黄色土の面を検出する。この面で柱穴状小ピットが検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIII b層中と思われる。覆土はほぼ三層である。覆土1層はIII b≫Vの暗褐色土、覆土2層は茶灰色系の土で、汚れた混合土である。覆土3層は床面上に見られる土で、やや堅い暗灰色土である。

重複関係：本住居跡はH－40・468・546と重複しており、H－40・468より古く、H－546より新しい。

時期：重複関係、周辺包含層出土の土器などから、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層をやや深く掘り込んで構築されている。北から南へ若干傾斜している。ほぼ平坦で、やや軟質である。

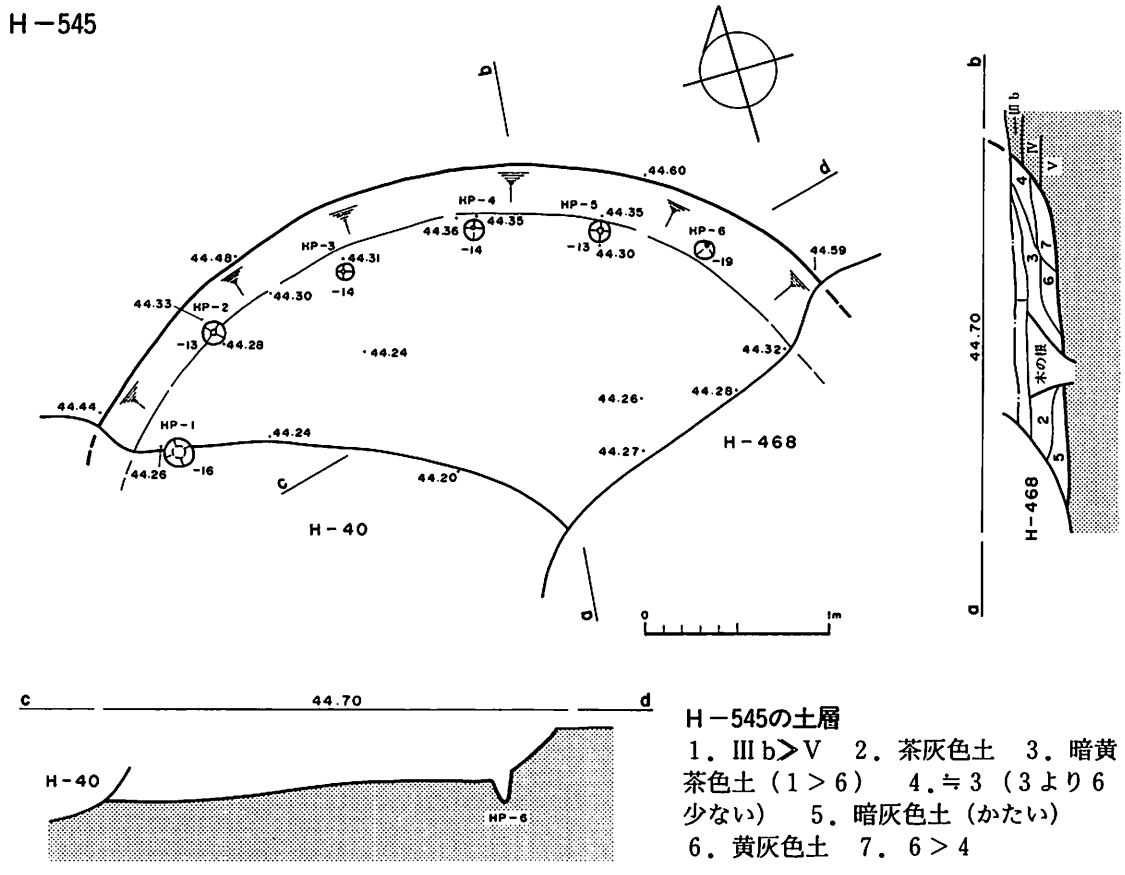
壁：残存部分の立ち上がりはやや急傾斜である。検出面からの壁高は18cm～27cmである。

炉跡：焼土などは検出されていない。

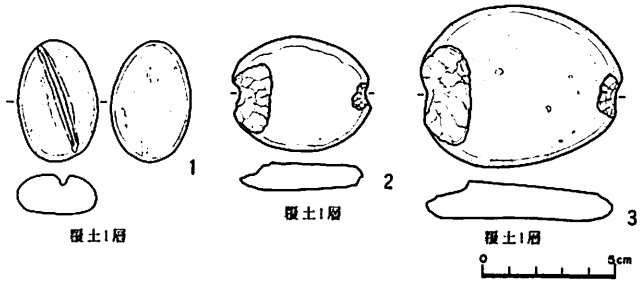
付属ピット：柱穴状小ピットは6個検出されている。すべて壁際にあり、杭状で、直立している。

遺物出土状況：遺物は覆土1層でI群D1類土器が3点、石器等では有溝砥石1点、石錘2点、剝片1点が出土しているだけである。

石器：1は砥石。有溝砥石。2・3は石錘。　（和泉田　毅）



図III－410　H－545実測図



図III－411　H－545出土石器

H－546（図III－412，図版61・62）

位置：39－31，40－31　北から南へゆるやかに傾斜する標高44.70m付近の緩斜面上に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：39－31、40－31の包含層調査中、V層直上でIIIb層の広がりが確認されたため、土層観察用の土手を設定し、周辺を精査し、遺構検出作業を行う。この結果、IIIb＞Vの落ち込みを検出した。覆土を順次掘り下げ、V層中で暗灰黄色土の面を検出した。この面で柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われ

る。覆土はほぼ三層である。覆土1層はIIIb≫V、IIIb＋Vの褐色系の土である。覆土2層は覆土1層と覆土3層がまじり合った土である。覆土3層はV層に褐色土が少量混入する暗黄灰色系の土で、一部粘質のものが見られる。床面上に見られる土である。

重複関係：本住居跡はH－462・468・502・545と重複しており、これらより古い。

時期：重複関係、周辺包含層出土の土器などから、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層をやや深く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、堅い。

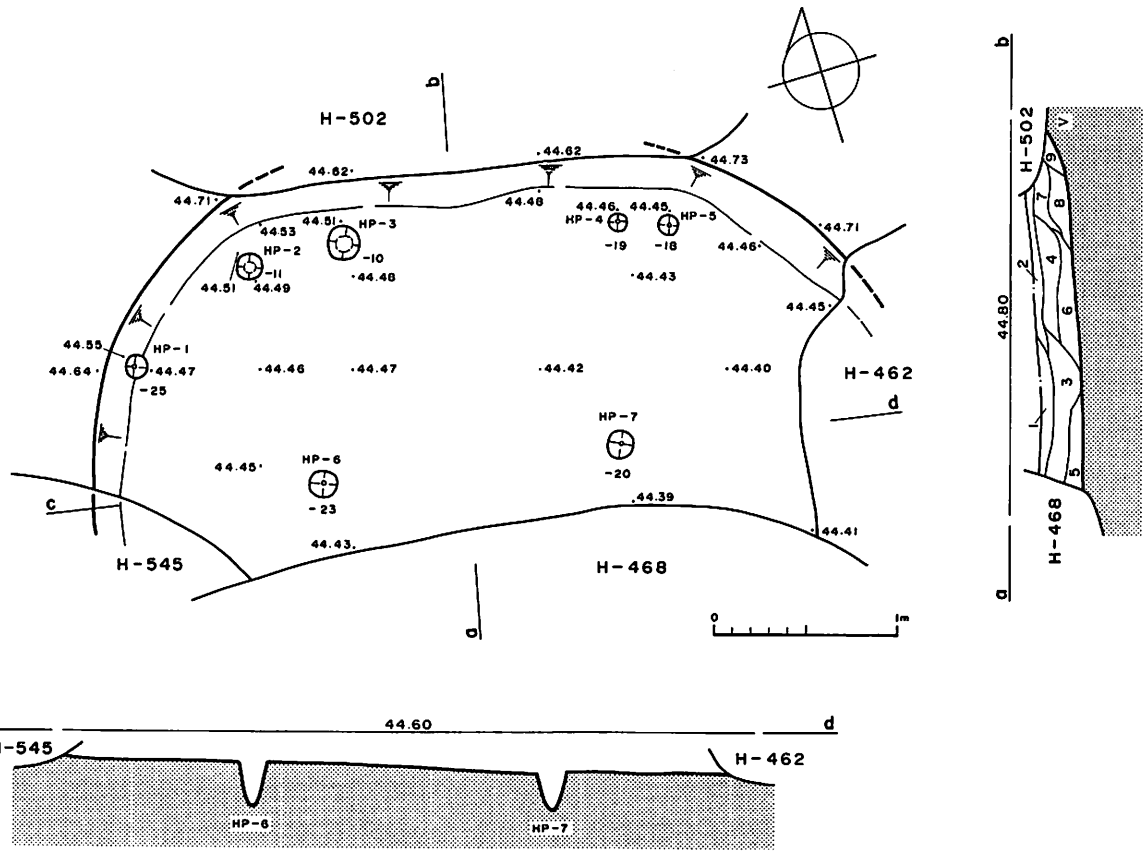
壁：立ち上がりはやや急傾斜である。検出面からの壁高は、北西壁14cm～20cm、北東壁が27cm前後である。

炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは7個検出されている。HP－1～5は壁際にあり、直立している。HP－6・7は主柱穴と思われる。杭状のもので、直立している。

遺物出土状況：遺物は覆土中で出土しただけである。土器はI群D1類土器が2点、石器では石錘などが5点出土している。　（和泉田　毅）

H－546



H－546の土層

1．IIIb＞V　2．IIIb＋V　3．1＜5　4．1＞6　5．暗黄灰色土　6．暗黄灰色土（粘質）
7．≒4（4よりV多い）　8．暗黄色土（粘質）　9．暗黄褐色土

図III－412　H－546実測図

H－547（図III－413，図版62）

位置：40－31・32，41－31・32　北から南へゆるやかに傾斜する標高44.79m～44.98mの緩斜面上に位置している。

規模：3.35m／2.90m×――／――×(0.31)m　**床面積**：(8.20)㎡　**平面形・長軸方向**：不明

確認・調査・土層：40－31・32、41－31・32の包含層調査中、IV層直上付近でIIIb＞Vの落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、調査を行う。覆土を順次掘り下げ、V層中で堅い暗灰黄色土を検出する。この面で柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出する。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ三層である。覆土1層はIIIb＞V、IIIb＋Vの褐色土である。中央付近で厚く堆積している。覆土2層は覆土1層と3層がまじり合った土である。覆土3層は床面上にある土で、砂質で汚れた暗黄色土である。壁際付近で20cmほどと厚く見られる。

重複関係：本住居跡はT－67、H－508・548と重複しており、これらより古い。

時期：重複関係、周辺包含層出土の土器などから、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層をやや深く掘り込んで構築されている。北から南へやや傾斜し、平坦で、堅い。

壁：立ち上がりはゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高は、北壁が21cm～30cm、西壁が22cm前後、東壁が19cm前後である。

炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは4個検出されている。これらは主柱穴と思われ、4本柱が想定される。

遺物出土状況：床面付近、覆土中から遺物は出土していない。　（和泉田　毅）

H－548（図III－414，図版63）

位置：40－31　北から南へゆるやかに傾斜する標高44.71m～44.92mの緩斜面上に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：40－31の包含層調査中、IV層直上付近でIIIb＞Vの落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、調査を行う。覆土を順次掘り下げ、V層中で堅い暗灰黄色土の面を検出する。この面で柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ三層である。覆土1層はIIIb＞Vの褐色土、覆土2層は覆土1層と3層がまじり合った土である。覆土3層は砂質の暗黄灰色土で、汚れている。覆土2層は壁際で見られ、中央付近では覆土1層の下に覆土3層が堆積している模様である。

重複関係：本住居跡はH－462・508・547と重複しており、これらより古い。

時期：重複関係、周辺包含層出土の土器などから、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

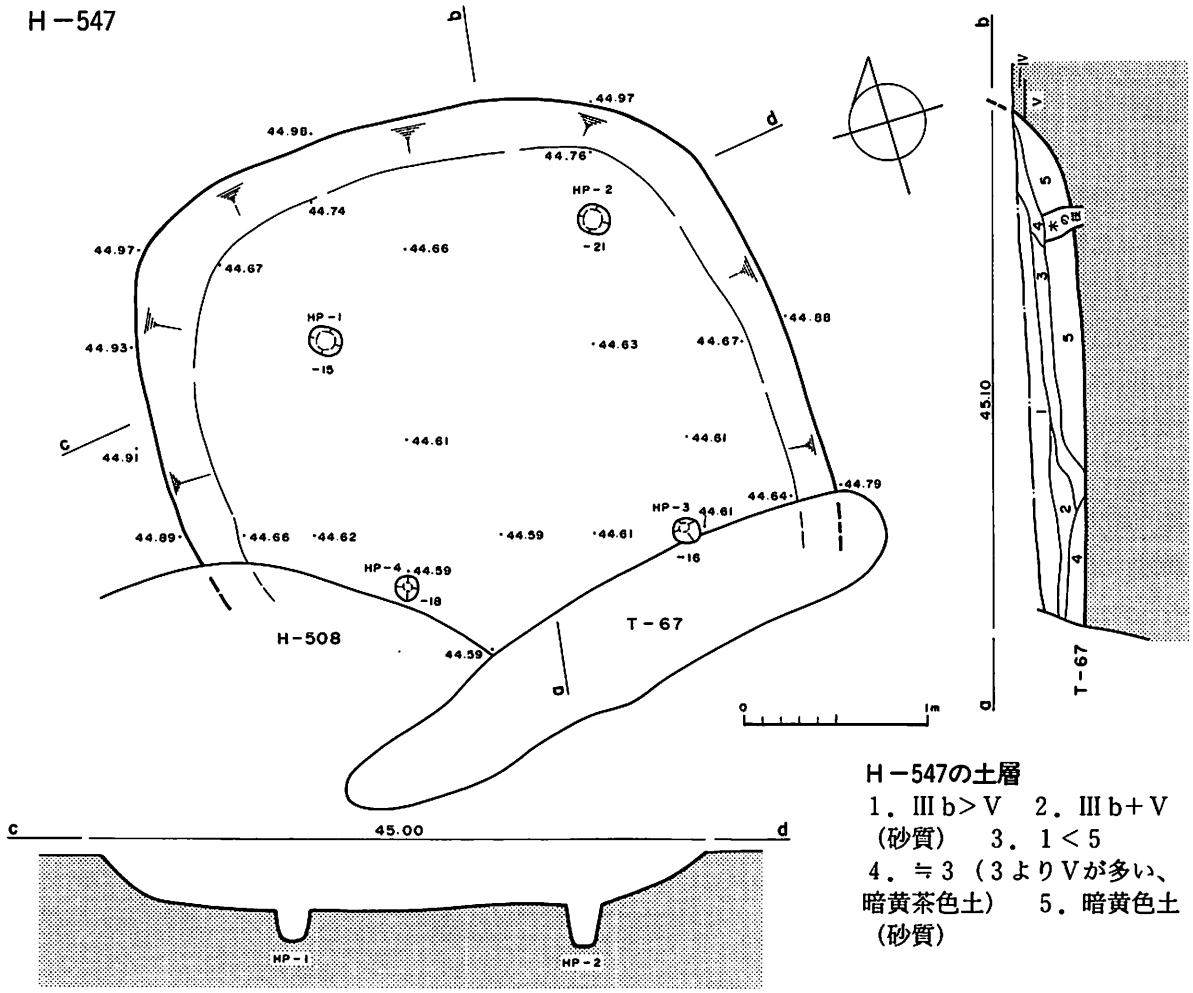
床面：V層をやや深く掘り込んで構築されている。北西から南東へ若干傾斜している。平坦で、堅い。

壁：残存部分の立ち上がりはゆるやかな傾斜で、検出面からの壁高は、13cm～20cmである。

炉跡：焼土などは検出されていない。

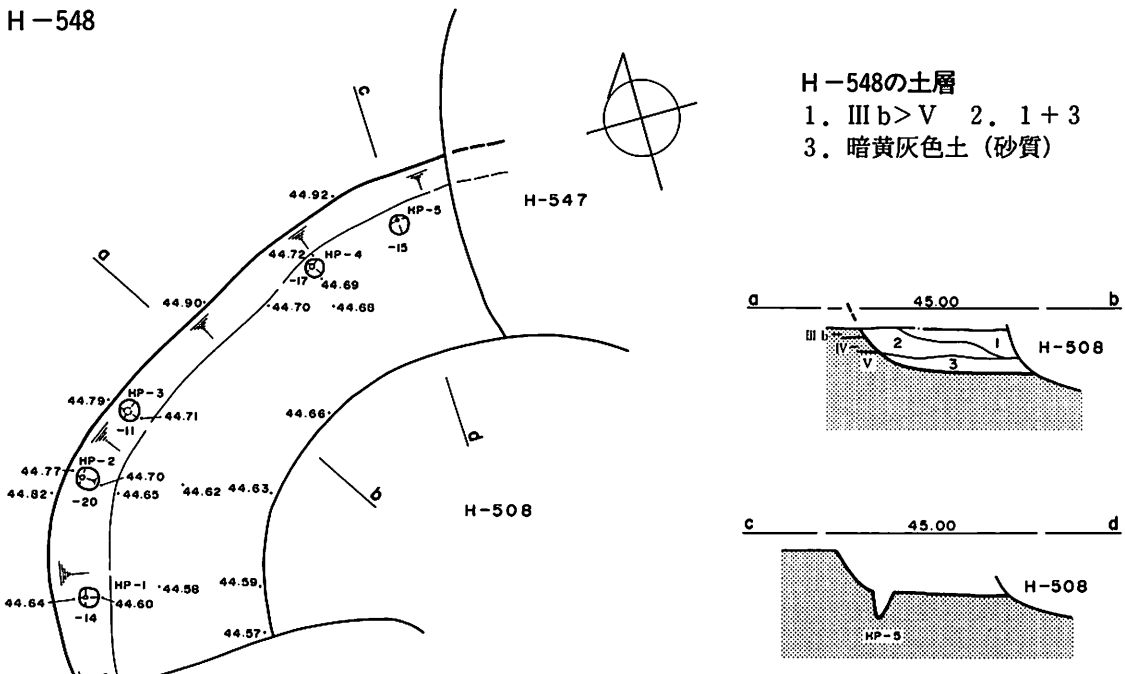
付属ピット：柱穴状小ピットは4個検出されている。これらは壁際にあり、杭状で、やや内傾している。

遺物出土状況：床面付近、覆土中から遺物は出土していない。　（和泉田　毅）



H－547の土層
1．IIIb＞V　2．IIIb＋V（砂質）　3．1＜5　4．≒3（3よりVが多い、暗黄茶色土）　5．暗黄色土（砂質）

図III－413　H－547実測図



H－548の土層
1．IIIb＞V　2．1＋3　3．暗黄灰色土（砂質）

図III－414　H－548実測図

H－549（図III－415，図版63）

位置：40－37，41－37　標高45.25m付近の平坦地に位置している。

規模：――／――×4.60m／4.20m×(0.24)m　　**床面積・平面形・長軸方向**：不明

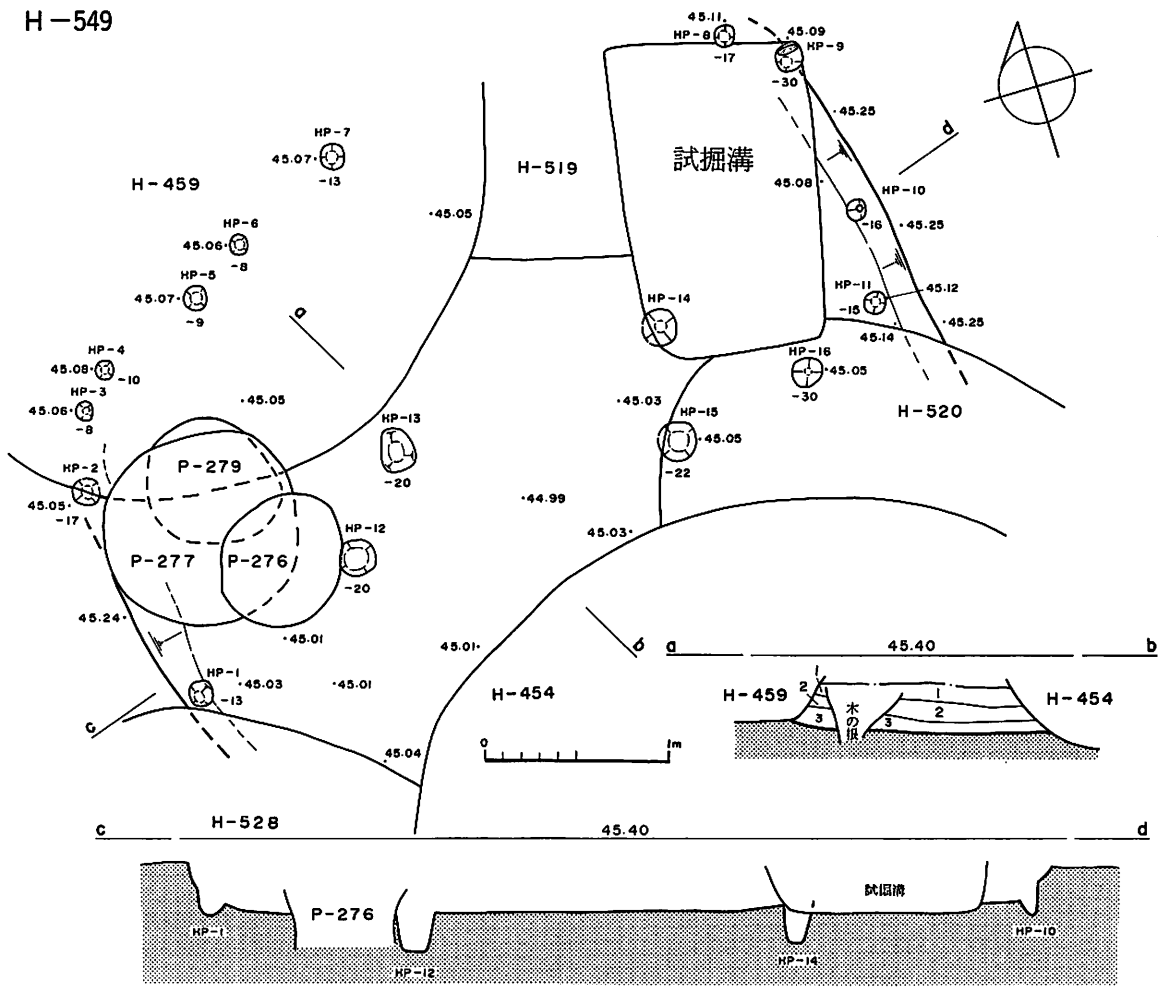
確認・調査・土層：41－37周辺の包含層調査中、IIIb層中でIIIb＞Vの落ち込みを検出した。またH－454の北壁面、H－529の北東壁面、H－459の南壁面でそれぞれ、覆土状の土の落ち込みを確認した。土層観察用の土手を設定し、覆土を順次掘り下げ、調査を行った。V層中でやや堅い暗灰黄色土の面が検出され、この面で柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ三層である。覆土1層はIIIb＞Vの褐色土、覆土2層は粘質の暗灰褐色土である。覆土3層は床面上に薄く堆積する汚れた土である。粘質の暗灰色土である。

重複関係：本住居跡はH－454・459・520・529と重複しており、これらより古い。

時期：重複関係や出土土器などから、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：H－459床面下のV層中に構築されている。ほぼ平坦で、やや堅い。

壁：残存部分の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高は、南西壁が23cm前後、北東



H－549の土層

1．IIIb＞V　2．暗灰褐色土（粘質）　3．暗灰色土（粘質）

図III－415　H－549実測図

壁が13cm～17cmである。

炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは16個検出されている。このうちHP－2～7はH－459の床面下で検出されたものである。HP－1～11は壁際をめぐるものと思われ、HP－10以外は直立している。位置的にみるとHP－12・14は主柱穴の可能性が考えられるが、全体が不明なため断定はできない。直立している。

遺物出土状況：遺物は覆土1層から出土しただけで、まとまった出土状態ではない。土器はI群D1類土器のものが10点、I群G類のものが1点出土している。石器では石錘が1点、剝片が4点出土している。　（和泉田　毅）

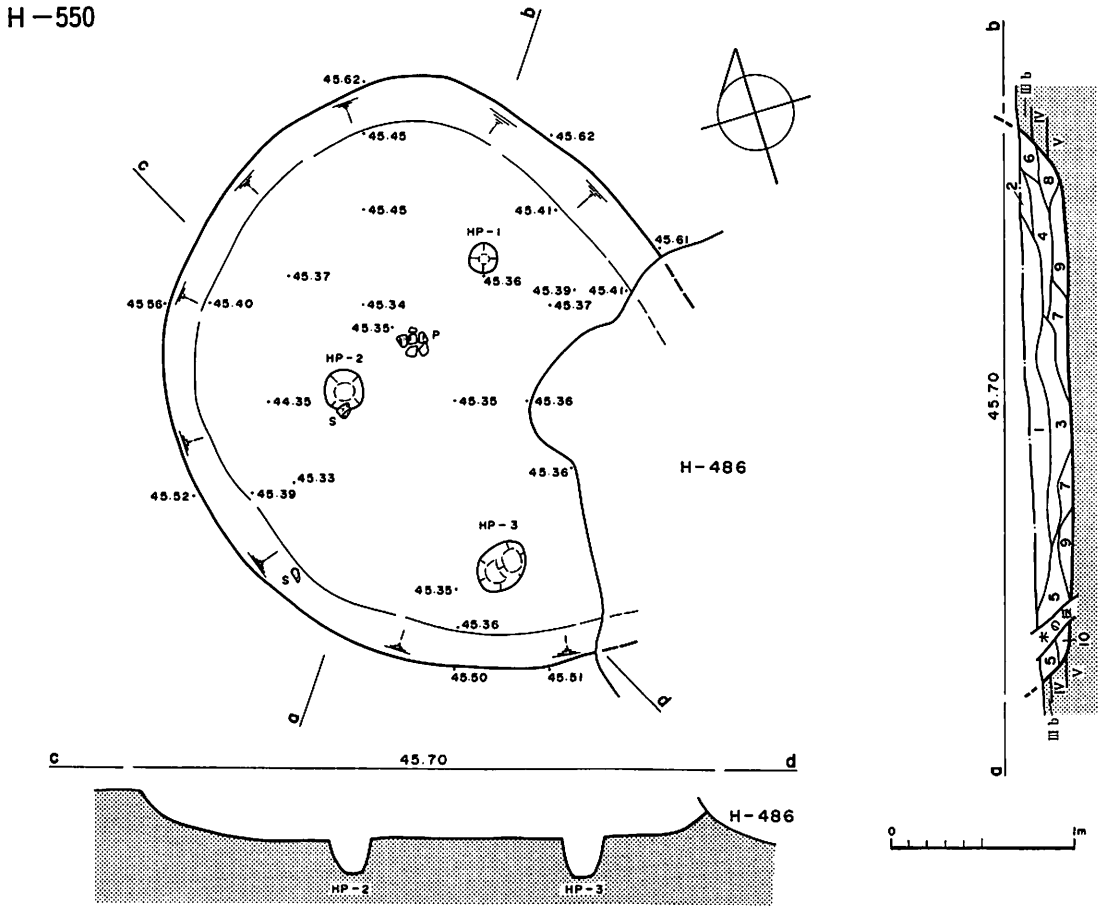
H－550（図III－416～418，図版63・151・195）

位置：45－34・35　標高45.49m～45.62mのほぼ平坦地に位置している。

規模：——／——×2.70m／2.24m×0.20m　　**床面積**：(5.45)㎡

平面形：隅丸長方形状か？　　**長軸方向**：N－28°－W

確認・調査・土層：45－34・35付近の包含層調査中、IV層直上付近でIIIb＞Vの落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、覆土を掘り下げ、調査を行った。IIIb＞Vを掘り下げ、茶褐色系の土が



H－550の土層

1．IIIb＞V　2．IIIb＋V（軟質）　3．暗茶褐色土　4．茶褐色土（軟質）　5．黄茶色土
6．明茶褐色土　7．≒3（3よりVが多い）　8．茶黄色土（粗砂）　9．4＞V　10．暗黄色土

図III－416　H－550実測図

厚く堆積しており、この下で非常に堅い面を検出した。この面で柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりも検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土は二層である。覆土1層はIIIb＞Vの褐色土である。覆土2層は混合土状の堅い茶褐色土である。床面上まで厚く堆積している。また壁周辺には砂質で汚れた茶黄色土が覆土2層の下に堆積している。

重複関係：本住居跡はP－287・294、H－486と重複しており、H－486よりも古い。なおP－287の覆土中にHP－2が掘り込まれていることが確認されており、これより新しい。ただP－294との新旧関係ははっきりしない。

時期：覆土および周辺包含層出土の土器などから、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

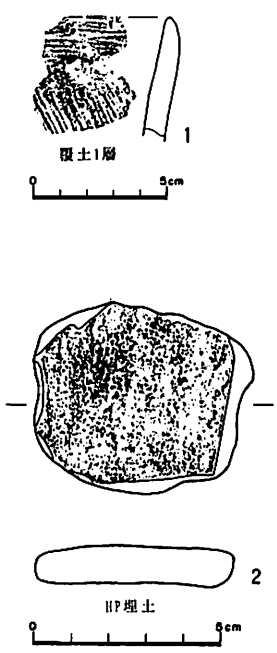
床面：V層を浅く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、堅い。とくに北西側の1.20m×0.80mの範囲は貼り付けたように非常に堅くなっていた。

壁：立ち上がりはゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高は、北壁が18cm前後、西壁が13cm前後、東壁が15cm～20cmである。

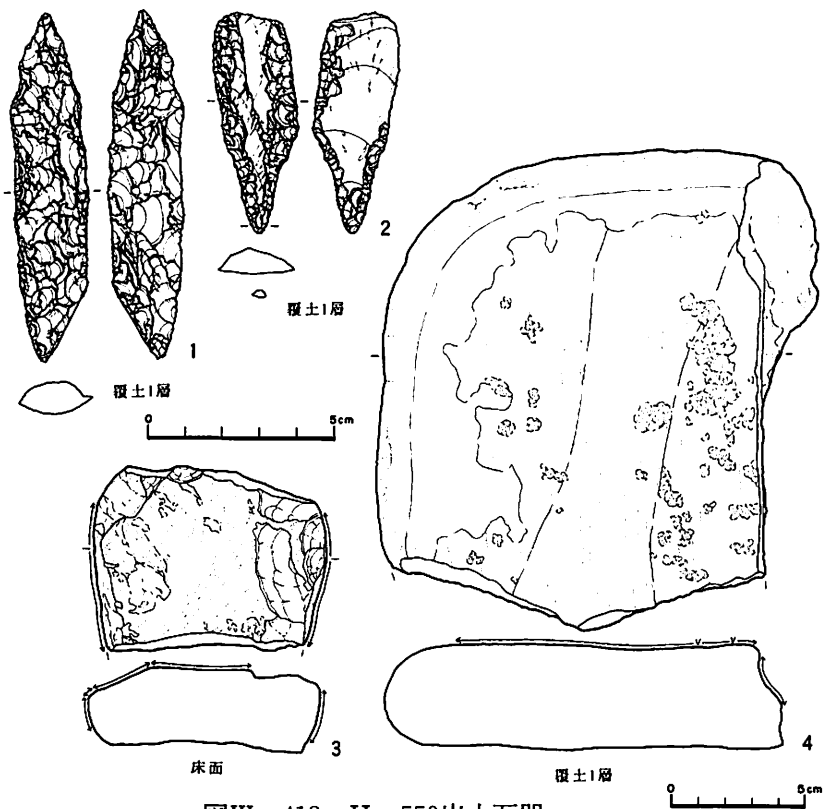
炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは3個検出されている。これらは直立しており、位置関係からみて、主柱穴と思われる。HP－1の掘り方の壁面は非常に堅くなっている。HP－2の検出面では礫が突き刺さるように二個検出されている。このうち1個は柱を固定するような状態である。HP－3は、南西側に浅い小ピットがみられ、北東側の小ピットはこれを切って、深く掘られている。この北東側の小ピットの南西壁には土器片が立てて貼り付いており、柱を固定するために用いられたものと思われる。建て替えが行われているのだろう。

遺物出土状況：遺物は43点出土している。土器は22点、石器等は21点である。HP－2・3からI群D1



図III－417
H－550出土土器



図III－418　H－550出土石器

類土器3点が出土している。また石錘1点、剥片6点も出土した。床面から砥石1点、床面直上から剥片が1点出土し、それ以外は覆土1層の、とくに北西側付近で散在的に出土したものである。出土した土器はI群D1類、同E類のもので、石器では石槍、石錐、すり石、砥石、石錘などが出土している。

土器：1は覆土1層で出土したI群D1類土器。2はHP－3覆土出土したもので、I群D1類土器を使用した土器片錘である。1は口縁部破片で、口唇部は鋭角的に仕上げている。内外面には貝殻条痕文が加えられている。

石器：1は1b1類の石槍。2は3類の石錐。3・4は砥石。3は折れ面も使用しており、研ぎ面は2面、4は研ぎ面が3面である。　（和泉田　毅）

H－551（図III－419～421，図版64・151・195）

位置：39－34・35　標高45.14m～45.20mの平坦地に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：39－34・35の包含層調査中、IV層直上付近でIIIb＞Vの落ち込みを検出した。またH－482の北西壁面、H－118の南壁面で覆土状の土の落ち込みを確認した。土層観察用の土手を設定し、覆土を掘り下げ調査を行った。V層中で暗灰黄色土のやや堅い面を検出した。この面で柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土は二層である。覆土1層はIIIb＞Vの褐色土である。覆土2層は、床面上にあるもので、やや厚く堆積している。砂質で、軽石、小石を含む暗黄灰色土である。

重複関係：本住居跡はT－1、H－118・482と重複しており、これらより古い。

時期：床面直上、覆土および周辺包含層出土の土器などから、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層を浅く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、やや堅い。

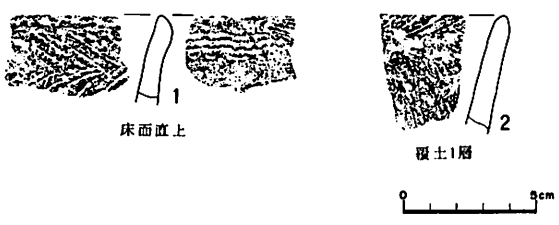
壁：残存部分の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高は、ほぼ11cm～18cmである。

炉跡：焼土などは検出されていない。

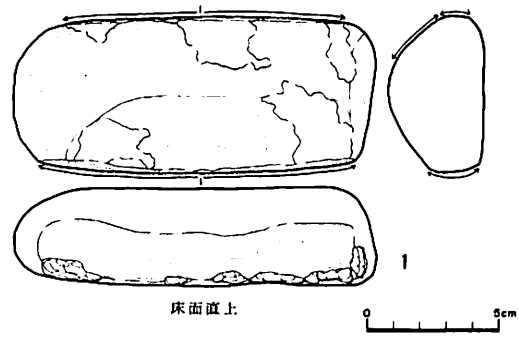
付属ピット：柱穴状小ピットは7個検出されている。HP－1～4は壁際にあり、直立している。

遺物出土状況：床面直上からはI群D1類土器1点、剥片1点が出土し、HP－5の覆土中から石錘が1点出土している。他は覆土1層から出土したものである。出土した土器はI群D1類のもので、石器等ではすり石、石錘などが出土している。

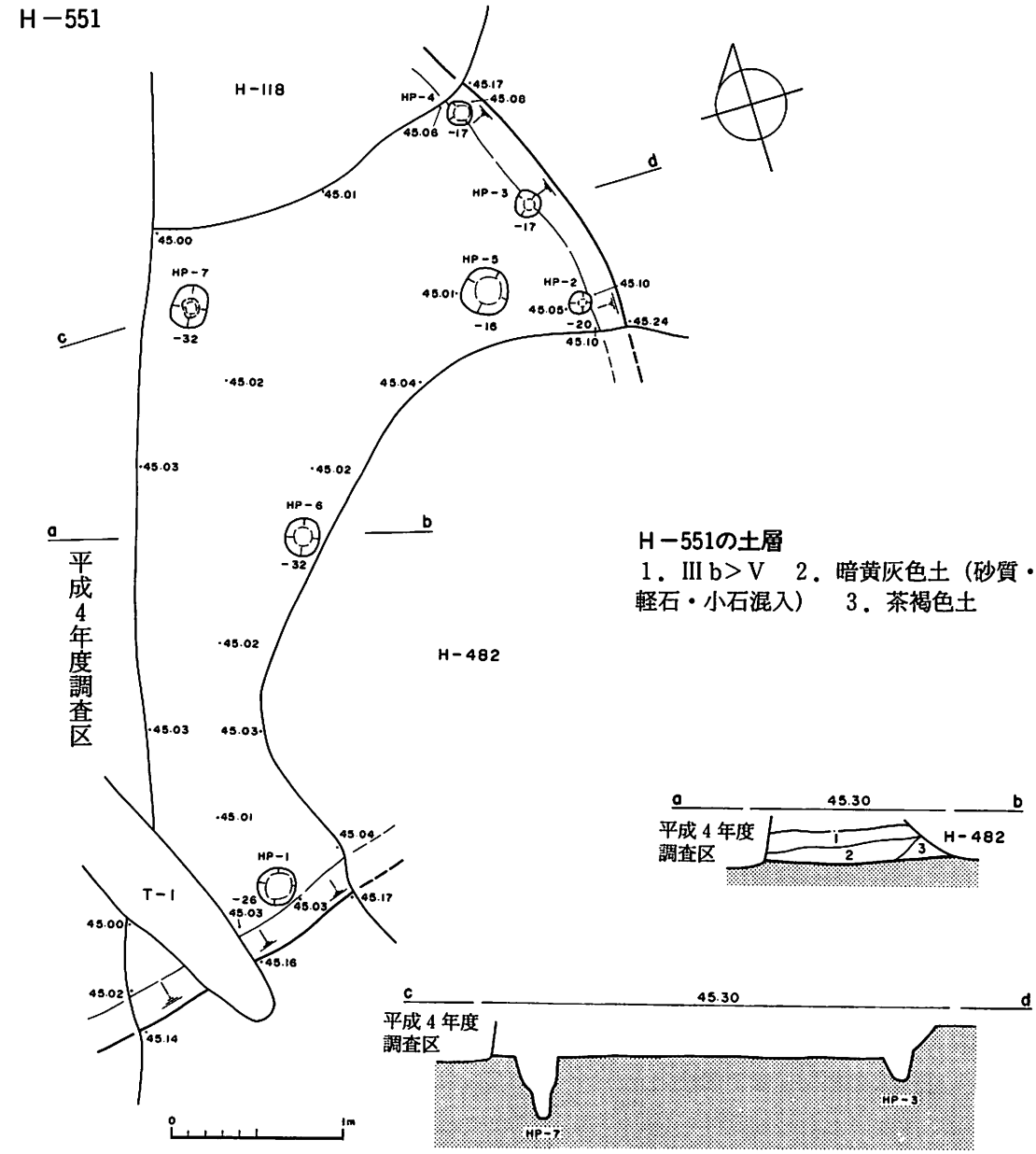
土器：1は床面直上、2は覆土1層から出土したもので、ともにI群D1類土器である。1は平縁の口



図III－419　H－551出土土器



図III－420　H－551出土石器



図III－421　H－551実測図

縁部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。内面には連続押引文が加えられ、外面には貝殻腹縁圧痕文が施文されている。2は口縁部破片で、口唇部は鋭角的に仕上げている。口唇部外面には櫛歯状腹縁文が施文されている。内面にはすり消し条痕文が加えられている。胎土は緻密である。

石器：1は床面直上出土のすり石。断面三角形である。　（和泉田　毅）

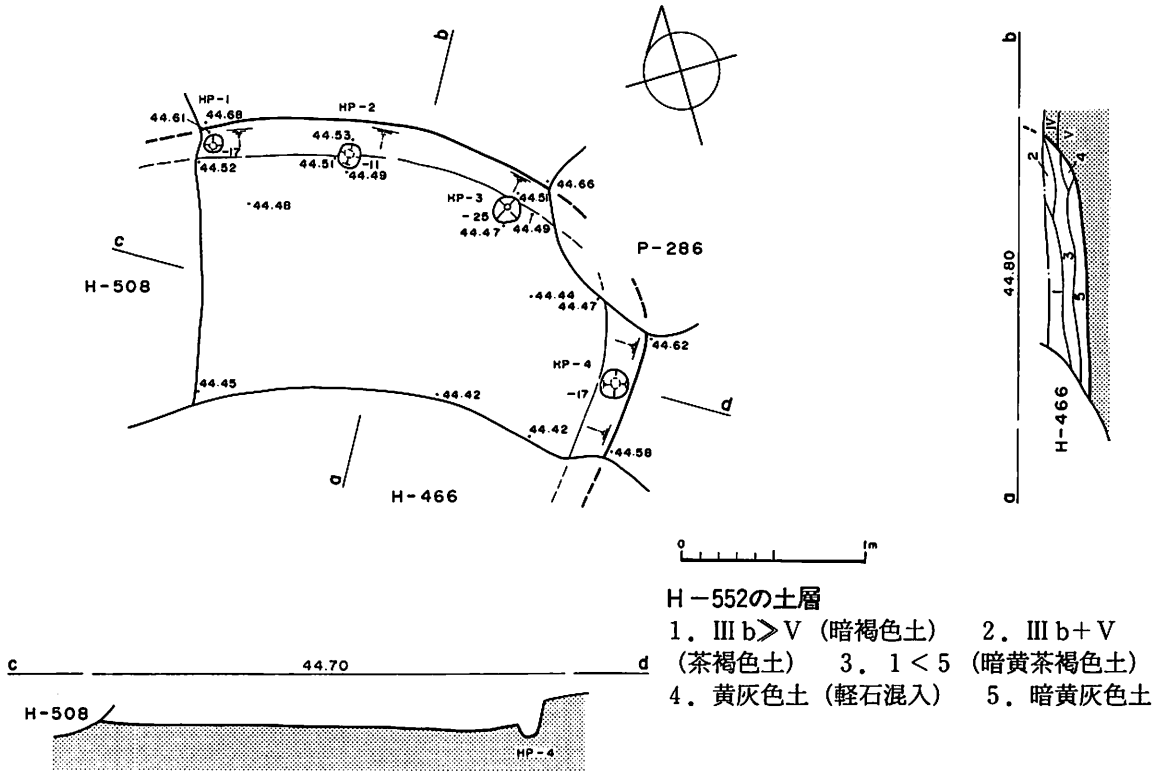
H－552（図III－422・423，図版64・151）

位置：41－31　北から南へゆるやかに傾斜する標高44.63m付近の緩斜面上に位置している。

規模・床面積・平面形・長軸方向：不明

確認・調査・土層：41－31の包含層調査中、IV層直上でIIIb≫Vの落ち込みを検出した。またH－466の北東壁面、H－508の東壁面で覆土状の土の落ち込みを確認した。土層観察用の土手を設定し、覆土を掘り下げ、調査を行った。V層中で暗灰黄色土の堅い面を検出し、この面で柱穴状小ピットも検出

H－552



図III－422　H－552実測図

されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面はIIIb層中と思われる。覆土はほぼ三層である。覆土1層はIIIb≫黄色土の暗褐色土、覆土2層は覆土1層と覆土3層がまじり合った暗黄茶褐色土である。覆土3層は床面上にある土で、汚れた土の暗黄灰色土である。軟質である。

重複関係：本住居跡はP－286、H－466・508と重複しており、これらより古い。

時期：覆土および周辺包含層出土の土器などから、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層中に構築されている。北から南へ若干傾斜するが、平坦で、堅い。

壁：立ち上がりはゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高は、16cm前後である。

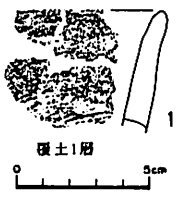
炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは4個検出されている。すべて壁際にあり、杭状で、直立している。

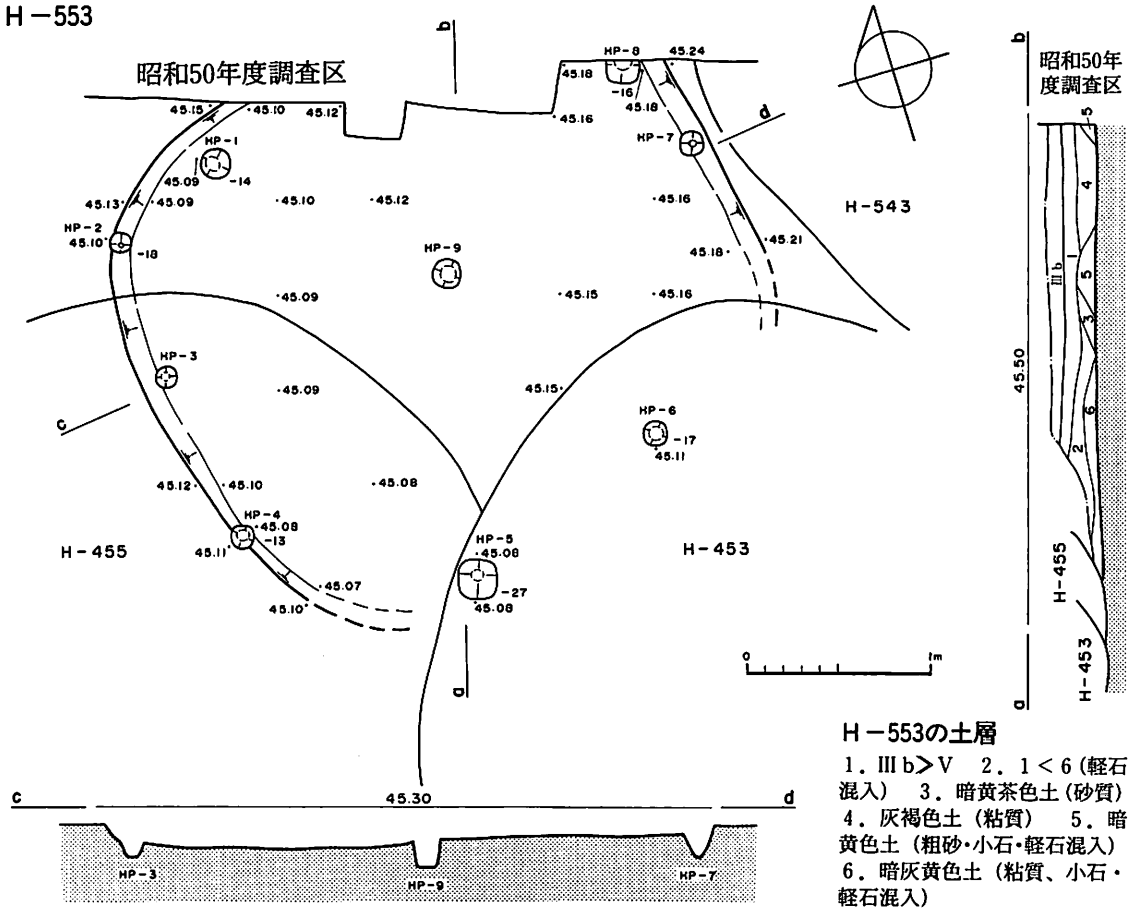
遺物出土状況：遺物は覆土1層で土器10点、石器1点が出土しただけである。まとまった出土状態ではない。土器はI群D1類のもので、石器は石錘が出土している。

土器：1は覆土1層出土のI群D1類土器である。平縁の口縁部破片で、口唇部断面形は切り出し状である。内外面には、すり消し条痕文が見られる。

（和泉田　毅）



図III－423　H－552出土土器



図III－424　H－553実測図

H－553（図III－424・425，図版64・151）

位置：41－38，42－38　標高45.10m～45.24mのほぼ平坦地に位置している。

規模：3.22m／3.04m／――／――×(0.15)m　**床面積・平面形・長軸方向**：不明

確認・調査・土層：41－38、42－38の包含層調査中、V層上面で灰褐色土の落ち込みを検出した。土層観察用の土手を設定し、覆土を掘り下げ、調査を行った。覆土はわずかしか残存しておらず、V層中で暗灰黄色土の堅い面が検出され、この面で柱穴状小ピットも検出されたことから、この面を床面とし、壁の立ち上がりを検出した。掘り込み面も不明であるが、IIIb層が覆土上にあることなどから考えて、IIIb層中かとも考えられる。覆土は床面上にみられた粘質の灰褐色土であるが、残されていた土手の観察によれば、ほぼ三層に分けられる。覆土1層はIIIb＞Vの暗褐色土、覆土2層は砂質で軽石を混入する暗黄色土である。覆土2層は南側にみられるのみである。覆土3層は粘質で、小石や軽石を少量混入する灰褐色系の土で、床面上にみられるものである。

重複関係：本住居跡はH－453・455と重複しており、これらより古い。

時期：重複関係や周辺包含層出土の土器などから、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

床面：V層を浅く掘り込んで構築されている。平坦で、堅い。南西側はH－455の床面下に床面がある。

壁：残存部分の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高は、3 cm～6 cmである。

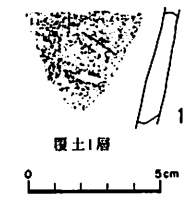
炉跡：焼土などは検出されていない。

付属ピット：柱穴状小ピットは9個検出されている。HP－1～8は壁際にあるもので、ほぼ杭状で直

立している。HP－9は主柱穴と思われ、1本柱が想定される。直立している。

遺物出土状況：遺物は覆土1層中でI群D1類土器が1点出土しただけである。

土器：1は覆土1層出土のI群D1類土器である。胴部破片。内外面にはナデ調整が加えられている。（和泉田　毅）



図III－425　H－553出土土器

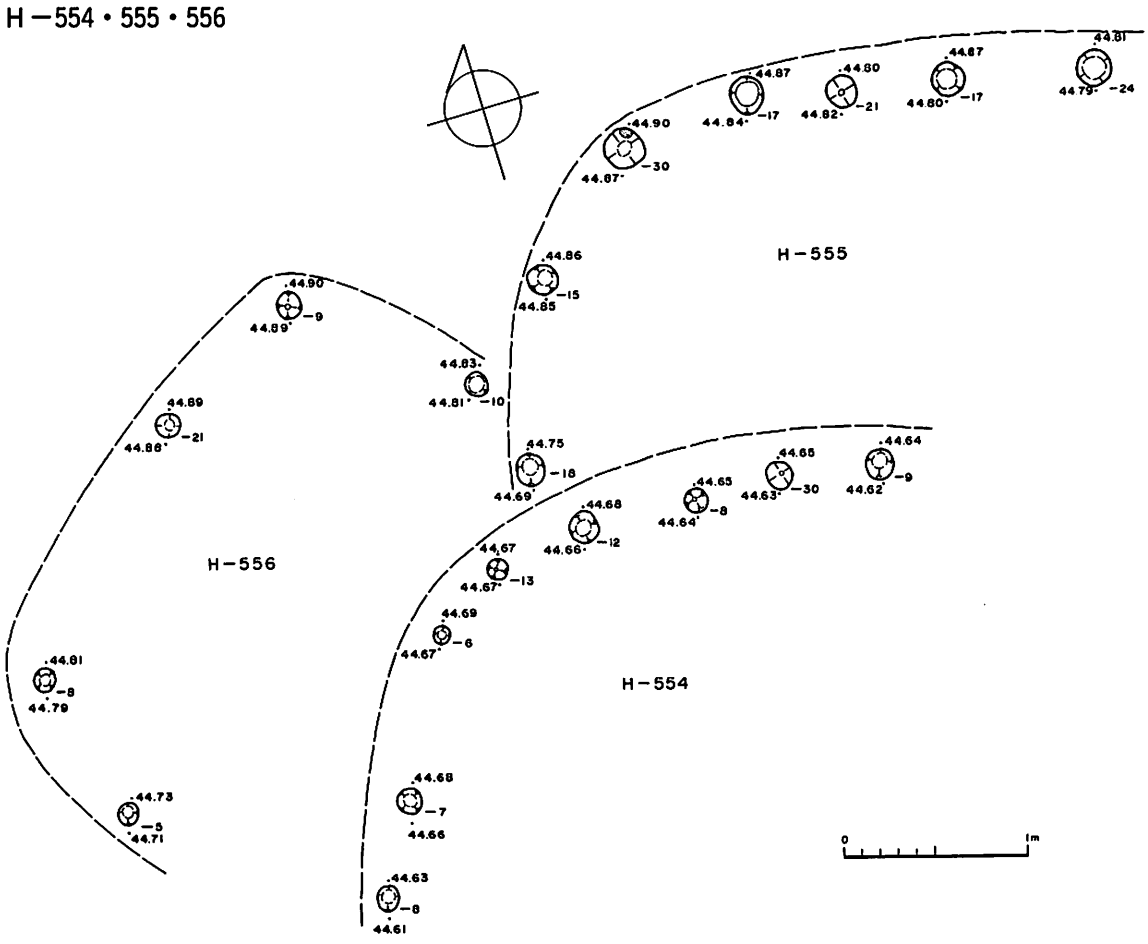
H－554（図III－426）　位置：42－32

H－555（図III－426）　位置：42－32

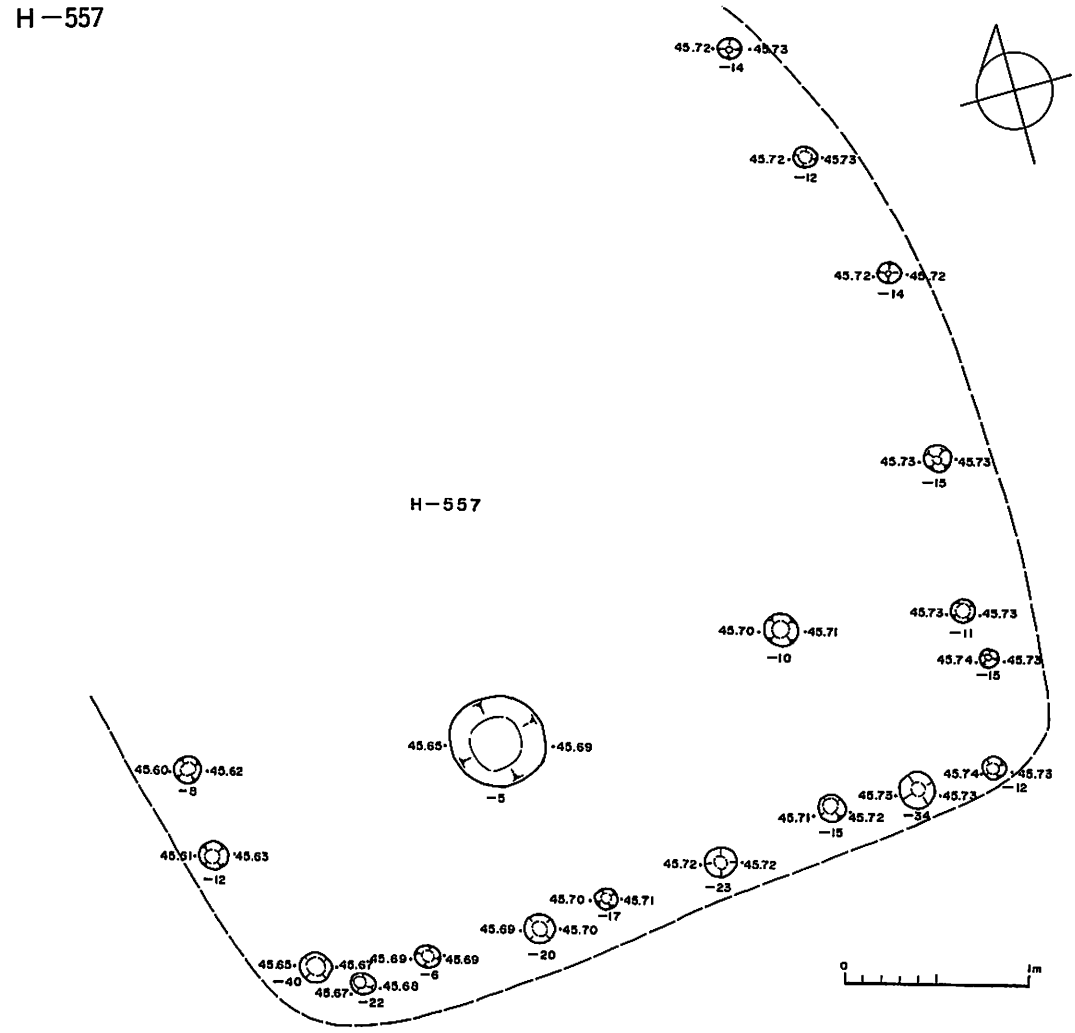
H－556（図III－426）　位置：42－32，43－32

H－557（図III－427）　位置：45－36・37

これらは包含層を掘り下げ、V層上面で柱穴状小ピットを検出したものである。この柱穴状小ピットの配列などから一応住居跡があったのではないかと考えられることから、H番号を付したものである。規模・平面形・長軸方向など不明である。ただ、42－33・34周辺の包含層中では遺物が多量に出土しており、また包含層と考えていた土も茶褐色系の土で、厚く堆積しているのが確認されていたが、平面的にその輪郭を確認することができなかった。（和泉田　毅）



図III－426　H－554・555・556実測図



図III－427　H－557実測図

(2)土壙

D地区で検出した土壙は36基である。このうち直径1mに満たない小型のフラスコ状ピットが16基ある。住居跡と重複しており、壁際や覆土中に掘り込まれたものが多い。P－287がH－550より古いことが確認されたほかは、いずれも住居跡より新しいか新旧関係が明確でない。ただ、土壙底面の遺物から見て、住居跡の年代と大きくへだたるものではなく、I群D1類期のものととらえることができよう。

フラスコ状ピットのうち、9基の覆土下部および炭化物を多く含む層から土壌サンプルを採取し、炭化種子および微細遺物の検出を目的として、フローテーション選別（水洗選別）を行った。この結果、ヒエ属、タデ属、マタタビ属、キハダ属、ミズキ属、ブドウ属、クルミ属の炭化種子等が得られた（V章5参照)。本章では、各遺構ごとに結果のみを記載しておいた。

なお、ヒエ属が検出された4基について、特にV章6の付記として検出状況についてまとめておいた。　（越田賢一郎）

P－263（図III－428，図版77）

位置：40－34　　**規模**：0.64m／0.68m×0.58m／0.64m×0.48m

平面形：長円形状　　**長軸方向**：W－E

検出面：H－465の床面直上で茶褐色土の落ち込みを検出した。

掘り込み面：不明

重複関係：H－465と重複しており、これより新しいものである。

覆土：全体にほぼ同質の土であるが、混入物により二層に分けることができる。覆土上層は混合土で軟質の茶褐色土である。壙底直上付近まで深く、厚く堆積している。覆土下層は壙底直上付近に見られるもので、軟質で、軽石や炭化物を多く混入している土である。

壙底：V層を深く掘り込んで構築されている。平坦で、堅い。

遺物出土状況：遺物は覆土上層から出土したものである。土器はI群D1類のものが21点出土しており石器では石鏃、すり石、石錘などが39点出土している。

性格：小型のフラスコ状ピットである。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

なお、覆土下層の土を採取し、フローテーション処理をした結果、ヒエ属、タデ属、ミズキ属、ブドウ属、クルミ属の炭化種子が検出されている。　（和泉田　毅）

P－264（図III－428・436，図版195）

位置：39－35　ほぼ東から西へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：不明　　**平面形**：円形

検出面：IV層上面で、ほぼ円形の黒色土の落ち込みとして確認した。本遺構の掘り込み面は明確には確認できなかった。

重複関係：H－118と重複する。P－264が新しい。

覆土：単一の土層が堆積していた。

壙底：ほぼ平坦。炭化物と遺物の散在を確認した。

壁：緩やかに立ち上がる。

遺物出土状況：遺物総数は43点。20点出土した土器はI群D1類である。石器等は23点出土、うち剝片

石器群は10点で、他は礫石器群である。
性格：不明
時期：出土遺物から縄文時代早期中葉の時期と考えられる。　（冨永　勝也）

P－265（図III－428）
位置：43－38　**規模**：0.60m／0.60m×0.59m／0.66m×0.38m　**平面形**：円形
検出面：III b 層中で検出された。
重複関係：H－456と重複しており、これより新しい。
覆土：暗灰褐色土（軽石粒、黄色土粒混入）が壙底直上付近まで堆積し、壙底直上には粘性のやや高い黒褐色土が薄く見られる。
壙底：H－456床面を掘り込んで構築されている。
壁：壙底から壁中にかけてオーバーハングする。
遺物出土状況：覆土1層からI群D1類の土器片が3点、フレイク4点、石錘1点。壙底直上よりI群D1類の土器片2点、礫6点が出土している。
性格：小型フラスコ状ピット。
時期：I類D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。
　なお、壙底直上の土を採取し、フローテーション処理をした結果、ブドウ属の種子片とクルミ属の殻片が検出された。　（笠原　興）

P－266（図III－428・434，図版67・152）
位置：44－34　**規模**：0.76m／0.84m×0.70m／0.75m×0.31m
平面形：長円形状　**長軸方向**：N－11°－W
検出面：H－481の床面で茶褐色土の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：不明
重複関係：H－481と重複しており、これより新しいものと思われる。
覆土：覆土はほぼ二層である。覆土上層はIII b＞V の混合土で、炭化物を少量混入する茶褐色土である。覆土下層はIII b≫Vの混合土で、軽石を混入する暗茶褐色の混合土である。
壙底：V層を深く掘り込んで構築されており、やや凹凸があるが平坦で、堅い。
遺物出土状況：遺物は覆土上層の検出面付近で、I群D1類土器が15点、石器では石錘、剝片が各1点、礫が4点出土しているが、まとまった出土状態ではない。また覆土中層でI類D1類土器が1点出土している。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる　（和泉田　毅）

P－267（図III－428・436，図版67・196）
位置：44－37　**規模**：1.56m／1.00m×0.56m／0.60m×0.60m
平面形：楕円形　**長軸方向**：N－40°－E
検出面：III b 層中でP.D.4の広がりが見られ、黒味のあるIII b 層の落ち込みを検出した。
掘り込み面：III b 層中と思われる。
重複関係：H—514と重複しており、これより新しいものである。
覆土：III b 層が薄く落ち込んでいるが、覆土はほぼ三層に分けられる。覆土1層は砂質の黒色土であ

る。覆土2層はIIIb≫Vの暗褐色土で、軽石を少量混入している。覆土3層は軟質で、軽石を多く混入する黒味のある暗茶褐色土である。全体に黒っぽい色調の土である。
壙底：V層を深く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、堅い。
壁：中程でゆるやかな段がある。
遺物出土状況：遺物は覆土1層でI群D1類土器3点、I群E類土器が2点、スクレイパー1点、砥石1点などが出土している。また覆土3層の壙底直上でたたき石が1点出土している。
性格：不明
時期：I類D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

P－268（図III－429・434・436，図版67・152・196）
位置：44－38，45－38　**規模**：1.74m／1.04m×1.58m／0.98m×0.48m
平面形：長円形　**長軸方向**：N－50°－W
検出面：IIIb層中でP.D.4の広がりが見られ、黒味のあるIIIb層の落ち込みを検出した。
掘り込み面：IIIb層中と思われる。　**重複関係**：なし
覆土：全体的に混合土であるが、ほぼ三層に分けられる。覆土1層はIIIb＞Vの茶褐色土、覆土2層は軽石、茶色土を多く混入する暗黄褐色土で、薄く堆積している。覆土3層は黒味のある暗茶褐色土である。
壙底：V層を深く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、堅い。
壁：断面形はやや深い、皿状である。
遺物出土状況：遺物は覆土中に混入している。ただまとまった出土状態ではない。覆土中からはI群土器1点、I群D1類土器が6点、同E類土器1点が出土している。石器ではすり石、石皿、砥石、石錘（14点）などが27点出土している。また壙底、壙底直上付近からはたたき石1点、すり石1点、砥石1点が出土している。
性格：不明
時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

P－269（図III－429・434，図版67・152）
位置：40－37　東から西へ傾斜する緩斜面上に位置する。
規模：(0.74)m／(0.90)m×(0.54)m／(0.92)m×0.92m
平面形：不整楕円形　**長軸方向**：不明
検出面：IV層上面で、ほぼ円形の黒色土の落ち込みとして確認した。本遺構の掘り込みは明確には確認できなかった。
重複関係：H－73と重複し、P－269が新しい。
覆土：四層に分層した。P.D.4は認められなかった。2層の灰黄褐色粘質土層はフラスコ状ピットのくびれ部の土が崩落したと考えられる。3層の暗灰褐色粘質土は、崩落土の下に厚く堆積し、埋め戻された可能性がある。なお、3層の土をサンプリングし浮遊選別処理をかけ、炭化植物遺体の同定をおこなった。
壙底：壙底はVI層に掘り込まれている。概ね平坦である。壁は内側に斜めに立ち上がり、屈曲部はかなり崩壊している。H－73を切る北東方向の部分ではくびれの屈曲部が崩落している。
壁：フラスコピットのくびれ部が明瞭に現われなかった原因は、屈曲位置がH－73の覆土部分にあり、

脆い土壌のため自然崩落したと考えられる。
遺物出土状況：3層の暗灰褐色粘質土からは遺物が多量に出土した。遺物総数は76点、54点出土した土器はすべてI群D1類で、2個の尖底部破片が底面から覆土にかけて散在していた。石器等は22点出土、うち剝片石器群は6点で、他は礫石器である。
性格：貯蔵穴と考えられる。炭化植物遺体はキハダ属1点、ブドウ属2点の種子が得られた。
時期：出土遺物からI群D1類期、縄文時代早期中葉の時期と考えられる。　（冨永　勝也）

P－270（図III－428・434，図版68・152）
位置：44－32・33　**規模**：0.80m／0.62m×0.74m／0.50m×0.34m
平面形：長円形状　**長軸方向**：N－S
検出面：H－479の壁および床面直上で茶褐色土の落ち込みを検出した。
掘り込み面：IIIb層中と思われる。
重複関係：H－479・511と重複しており、これらより新しいものと思われる。
覆土：IIIb層と黄色土がまじり合った混合土であるが、覆土上層は茶褐色土、覆土下層はやや黒味のある暗茶褐色土である。
壙底：V層を掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、堅い。
遺物出土状況：遺物は覆土中からI群D1類土器5点、砥石1点、礫1点が出土しているが、まとまった出土状態ではない。
性格：不明
時期：I類D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

P－271（図III－429，図版68）
位置：44－38　**規模**：(0.70)m／(0.76)m×――／――×(0.54)m
平面形：不明
検出面：H－458覆土調査中、暗茶褐色土の落ち込みを確認した。
重複関係：H－458と重複しており、これより新しい。
覆土：自然堆積状の覆土で、上位にはIIIb層と軽石粒が混入する。
壙底：H－458床面を掘り込んで構築されている。
壁：壙底よりフラスコ形に立ち上がる。
遺物出土状況：覆土3層からスクレーパー1点、壙底直上より石錘が3点出土している。
性格：小型のフラスコ状ピット。
時期：不明
　なお、壙底直上の土を採取し、フローテーション処理をした結果、キハダ属の種子片とクルミ属の殻片が検出された。　（笠原　興）

P－272（図III－429）
位置：90－35　**規模**：0.46m／0.23m×0.42m／0.22m×0.28m　**平面形**：円形状
検出面：H－496の床直上および壁面で黒茶色土の落ち込みを検出した。
掘り込み面：H－498の覆土中からの掘り込みと思われる。
重複関係：H－496・498と重複しており、H－498より新しいが、H－496との新旧関係は明瞭でない。

H－496と同時期か若干古い時期のものと思われる。
覆土：覆土上層は汚れた混合土の黒茶色土である。覆土下層はガラガラした土で炭化物が混入している。
壙底：Ⅴ層中に構築されており、断面形がほぼ椀状である。壙底は堅く、火熱を受けたように赤色化している。
遺物出土状況：覆土中でⅠ群D1類土器が1点、石錘が2点出土している。
性格：不明。ただ壙底が赤く焼けており、また覆土下層には灰状のものが見られることから、焼土灰などを入れたものかとも考えられる。
時期：重複関係などからⅠ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉のものと思われる。
　なお、覆土を採取し、フローテーション処理をした結果、キハダ属片、クルミ属の炭化種子が検出されている。　（和泉田　毅）

P－273（図III－429，図版68）
位置：42－38，43－38　　**規模**：0.80m／0.80m×0.80m／0.75m×0.58m
平面形：楕円形状？
検出面：H－456壁面検出中、これを掘り込む暗茶褐色土の落ち込みを確認した。
重複関係：H－456と重複しており、これより新しいと思われる。
覆土：覆土は大きく四層に分けられ、いずれも軽石、黄色土が混じる。覆土4層はほぼ壙底で、Ⅵ層上面まで掘り込む。
壙底：ほぼ平坦である。
壁：上半分が外傾し、広口状になっている。壙底から壁中にかけてはオーバーハングしている。
遺物出土状況：覆土中よりⅠ群D1類土器片7点、フレイクが3点出土している。壙底からの出土はない。なお、覆土（1～3層）および壙底直上（4層）の土壌をサンプル採取し、フローテーション処理をした結果、覆土中よりキハダ属、ブドウ属、壙底直上よりヒエ属の炭化種子が検出されている。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：H－456出土土器がすべてⅠ群D1類であること、覆土出土の土器が同D1類であることから、縄文時代早期中葉のものと思われる。　（笠原　興）

P－274（図III－430，図版68）
位置：44－34，45－34　　**規模**：0.75m／0.57m×0.64m／0.52m×0.38m
平面形：長円形状　　**長軸方向**：N－55°－W
検出面：H－481の張り出し部分の床面上で暗茶灰色土の落ち込みを検出した。
掘り込み面：IIIb層中と思われる。
重複関係：H－481と重複しており、同遺構の柱穴状小ピットが本遺構をこわしていることから、H－481よりも古いものと思われる。
覆土：IIIb層と黄色土がまじり合った土で、堅くしまっている。暗茶灰色土である。
壙底：Ⅴ層を掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で堅い。
壁：立ち上がりはほぼ垂直的である。
遺物出土状況：覆土中からたたき石1点、石錘が1点出土している。
性格：不明

時期：Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

Ｐ－275（図III－430・437，図版69・197）
位置：40－38　**規模**：0.77m／0.67m×0.77m／0.65m×0.13m
平面形：不整円形状
検出面：IIIｂ層中で石皿がほぼ水平の状態で出土し、周辺を精査したところIV層直上付近で茶褐色土の落ち込みを検出した。
掘り込み面：IIIｂ層中と思われる。
重複関係：なし
覆土：ほぼ一層で、IIIｂ＞Ⅴの混合土で、茶褐色土である。
壙底：Ⅴ層を浅く掘り込んで構築されており、断面形は皿状である。
壁：立ち上がりはゆるやかな傾斜である。
遺物出土状況：検出面で石皿が1点出土しただけである。
性格：不明
時期：周辺包含層出土の遺物などから、Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

Ｐ－276（図III－430・434，図版69・152）
位置：41－37　**規模**：0.76m／×0.43m×0.69m／0.41m×0.25m
平面形：楕円形　**長軸方向**：Ｎ－18°－Ｅ
検出面：Ｈ－549の覆土中で、黒味のあるIIIｂ層の落ち込みを検出した。
掘り込み面：不明
重複関係：Ｈ－549、Ｐ－277・279と重複しており、これらより新しいものである。
覆土：ほぼ一層で、IIIｂ＞Ⅴの混合土である。軟質の暗茶褐色土が壙底直上付近まで堆積している。
壙底：Ⅴ層を浅く掘り込んで構築されている。断面形は皿状である。堅い。
遺物出土状況：遺物は覆土中でⅠ群D1類土器6点、Ⅰ群D2類土器6点、石錘、剝片が各1点ずつ出土している。石錘は壙底直上付近にあり、水平の状態であった。
性格：不明
時期：Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる　（和泉田　毅）

Ｐ－277（図III－430・434，図版69・152）
位置：40－37，41－37　**規模**：(1.02)m／(0.57)m×(1.00)m／(0.40)m×(0.34)m
平面形：円形
検出面：Ｈ－459の壁面で茶褐色土の落ち込みを検出した。
掘り込み面：不明
重複関係：Ｈ－495・549、Ｐ－276・279と重複しており、Ｐ－276より古く、他よりは新しいものである。
覆土：検出面付近はIIIｂ＞Ⅴの茶褐色土であるが、他は小石や黄色土を多く含み、黒味のある暗茶褐色土である。
壙底：Ⅴ層を浅く掘り込んで構築されているが、一部はＰ－279の覆土中に構築されている。断面形は

皿状である。
遺物出土状況：遺物は覆土中でⅠ群D1類土器5点、石錘3点、礫1点が出土しているが、まとまった出土状態ではない。
性格：不明。P－276と構造、覆土とも酷似している。
時期：Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

P－278（図III－430・434，図版69・70・117）
位置：46－34　**規模**：0.84m／0.36m×0.84m／0.37m×0.22m　**平面形**：ほぼ円形
検出面：IIIb層中で倒立した土器が出土し、周辺を精査したところ、IV層直上付近でIIIb＞Vの落ち込みを検出した。
掘り込み面：IIIb層中と思われる。
重複関係：なし
覆土：ほぼ一層で、IIIb＞Vの褐色土である。
壙底：V層を浅く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、やや堅い。
壁：立ち上がりはゆるやかな傾斜である。
遺物出土状況：覆土中、中央部に倒立した土器が一括出土した。この土器の中には台石が1点入っていた。一括土器は壙底直上付近まで入り込んでいた。この一括土器はⅠ群D1類土器である。石器ではほかに石錘、剝片、礫が出土している。すべて覆土中から出土したものである。
性格：遺物の出土状況などから見ると土壙墓の可能性も考えられるが、覆土は埋め戻しの土ではない。
時期：Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。
　なお、一括出土した土器内の土壌を採取し、フローテーション処理をした結果、クルミ属の炭化種子が検出された。　（和泉田　毅）

P－279（図III－430・434，図版69・152）
位置：40－37，41－37　**規模**：(0.71)m／0.70m×(0.64)m／0.72m×(0.76)m
平面形：楕円形　**長軸方向**：N－12°－W
検出面：P－276・277の壙底で暗茶褐色土の落ち込みを検出した。
掘り込み面：不明
重複関係：H－459・549、P－276・277と重複しており、P－276・277より古く、他より新しいものと思われる。
覆土：覆土上層は黒っぽく、堅い暗茶褐色土、覆土中層は軽石を混入する暗茶褐色土、覆土下層は黄色土、軽石を混入し、やや黒っぽい暗茶褐色土である。全体に混合土である。
壙底：V層を深く掘り込んで構築されている。平坦で、堅い。
壁：垂直的に立ち上がっている。
遺物出土状況：遺物は覆土中から出土しており、土器はⅠ群D1類のものが18点、石器ではスクレーパー、すり石、石錘など12点が出土している。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。
　なお、覆土を採取し、フローテーション処理をした結果、覆土上層の土から、ミズキ属、クルミ属、

覆土下層の土からはヒエ属、ナス科、キハダ属、ミズキ属、クルミ属の炭化種子が検出された。

（和泉田　毅）

P－280（図III－431・437，図版70・196）

位置：43－38　**規模**：(0.47)m／(0.20)m×(0.40)m／(0.20)m×0.23m　**平面形**：円形状？

検出面：H－456の東側で、床面から壁の立ち上がりを検出中、これを掘り込む暗褐色土の落ち込みを確認した。

重複関係：H－456と重複しており、これより新しいと思われる。

覆土：覆土は黄褐色土と暗褐色土である。V層を掘り込む。

壙底：丸く掘り込む。

壁：緩やかに立ち上がる。

性格：不明。

時期：不明。　（笠原　興）

P－281（図III－431，図版70）

位置：39－34　40－34　**規模**：(0.72)m／(0.80)m×(0.68)m／(0.79)m×(0.36)m

平面形：円形状

検出面：H－524の床面直上で茶褐色土の落ち込みを検出した。

重複関係：H－524と重複しており、これより新しいものと思われる。

覆土：全体にほぼ一層で、汚れた混合土で茶褐色土である。ただ、中層付近はやや黒味が強く、壙底直上付近は黄色土が多い暗黄褐色土である。

壙底：V層を深く掘り込んで構築されており、平坦で、堅い。

遺物出土状況：遺物は、覆土中層でI群D1類土器が6点、石錘、剝片、礫が各1点ずつ出土している。

性格：小型のフラスコ状ピットである。

時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

なお、覆土を採取し、フローテーション処理をした結果、覆土下層の土から、クルミ属の炭化種子が検出された。　（和泉田　毅）

P－282（図III－431・434・437，図版70・152・196）

位置：39－34　**規模**：(0.82)m／0.82m×(0.66)m／0.68m×(0.52)m

平面形：不整楕円形　**長軸方向**：N－45°－W

検出面：H－524の床面直上付近で茶褐色土の落ち込みを検出した。

重複関係：H－524と重複しており、これより新しいものと思われる。

覆土：覆土上層は茶褐色土、中層は軽石を多く混入する暗茶褐色土、下層は黄色土が多い黄茶褐色土である。全体に汚れた混合土である。

壙底：V層を深く掘り込んで構築されている。やや凹凸があり、断面が皿状である。

遺物出土状況：覆土下層付近の西側で礫石器などがかたまって出土している。ただ、混合土中にたまたままとまって入り込んだものと思われる。土器はI群D1類のものが19点、石器ではスクレイパー、たたき石、すり石、砥石、石錘など17点が出土している。

性格：小型のフラスコ状ピットである。

時期：Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。

なお、覆土を採取し、フローテーション処理をした結果、覆土下層の土から、キハダ属、ミズキ属、クルミ属の炭化種子が検出された。　（和泉田　毅）

Ｐ－283（図III－431）

位置：41－38　**規模**：0.98m／0.78m×0.98m／0.72m×0.22m　**平面形**：隅丸方形状

検出面：Ｈ－519の床面直上付近と壁でIII b＞Ⅴの落ち込みを検出した。

掘り込み面：III b 層中と思われる。

重複関係：Ｈ－519と重複しており、これよりも新しいものと思われる。

覆土：全体にIII b＞Ⅴの土であるが、中層付近はIII b 層が多く、下層付近は黄色土が多い混合土である。

壙底：Ｈ－519床面を少し掘り込んで、Ⅴ層を浅く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、堅い。

遺物出土状況：覆土、壙底付近などからは遺物は出土していない。

性格：不明

時期：重複関係、周辺包含層出土遺物などから、Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

Ｐ－285（図III－432・437，図版71・196）

位置：40－36　ほぼ東から西へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：(0.68)m／(0.52)m×(0.50)m／(0.34)m×0.36m　**平面形**：円形

検出面：Ⅳ層上面で、ほぼ円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

重複関係：Ｈ－451・496と重複する。Ｐ－285が新しい。

覆土：粘質のある茶褐色土である。P.D.4は認められなかった。

壙底：Ⅳ層に掘り込まれている。

壁：壁裾は境界が不明瞭だった。

遺物出土状況：遺物総数は30点、23点出土した土器はⅠ群D1類である。石器等は7点出土、うち剝片石器は3点、礫石器は3点を占める。他は磨製石器である。

性格：不明。

時期：遺物出土状況からⅠ群D1類期、縄文時代早期中葉の時期と考えられる。　（冨永　勝也）

Ｐ－286（図III－431・434・435・438，図版71・117・152・196）

位置：41－31，42－31　標高44.66m付近で北から南へ若干傾斜するところに位置している。

規模：1.20m／1.00m×1.11m／0.86m×0.21m　**平面形**：隅丸方形状

検出面：Ⅳ層直上付近で遺物集中が検出され、周辺を精査したところ、茶褐色土の落ち込みが検出された。

掘り込み面：III b 層中と思われる。

重複関係：なし

覆土：覆土は茶褐色土で、ほぼ一層である。ただ中層付近は黒味があり、下層付近が黄色土が多く、全体に軽石が混入しており、混合土状のものであるが、埋め戻しの土ではなさそうである。

壙底：Ⅴ層を浅く掘り込んで構築されている。断面形はほぼ皿状で、堅い。

遺物出土状況：検出面から覆土上層付近で、内面を上にし、水平の状態で一括土器が出土している。また壁付近では流れ込み状を呈している。恐らく凹地状のところに流れ込んだものと思われる。土器はⅠ群D1類のものが178点、石器ではスクレイパー、たたき石、台石、石錘など38点が出土している。
性格：不明
時期：Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

Ｐ－287（図Ⅲ－432・435，図版71・152）
位置：45－34　**規模**：(0.64)m／0.61m×(0.61)m／0.56m×(0.42)m　**平面形**：ほぼ円形
検出面：Ｈ－550の床面で茶褐色土の落ち込みを検出し、HP－2として半截したところ、これより古いピットが存在することが判明した。
掘り込み面：不明
重複関係：Ｈ－550と重複しており、これより古いものである。
覆土：ほぼ茶褐色系の混合土が壙底付近まで堆積しているが、上層は堅く、下層はやや黒味が強い暗茶褐色土である。下層は軟質で、炭化物がやや多く混入している。
壙底：Ⅴ層を深く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、堅い。
遺物出土状況：遺物はＨ－550のHP－2の直下で剝片が97点出土した。また壙底直上でⅠ群D1類土器4点、礫2点などが出土している。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。
　なお、覆土を採取し、フローテーション処理をした結果、覆土上層の土から、ヒエ属、キハダ属片、ミズキ属、ブドウ属片、クルミ属が、また覆土下層の土からは、ニワトコ属、ミズキ属片、クルミ属の炭化種子が検出された。　（和泉田　毅）

Ｐ－288（図Ⅲ－432，図版72）
位置：40－33　**規模**：(0.50)m／0.50m×(0.42)m／0.48m×(0.38)m
平面形：ほぼ円形状
検出面：Ⅴ層直上付近で茶褐色土の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：不明
重複関係：なし
覆土：ほぼ一層で、混合土状の茶褐色土である。ただ上層は軟質で、ボソボソしているが、下層は堅く、厚く堆積している。
壙底：Ⅴ層を深く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、堅い。
遺物出土状況：覆土上層でⅠ群D1類土器10点　剝片1点が出土している。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

Ｐ－289（図Ⅲ－432・435，図版72・152）
位置：40－33　**規模**：(0.70)m／0.58m×(0.61)m／0.54m×(0.49)m
平面形：長円形状　**長軸方向**：Ｎ－19°－Ｗ
検出面：Ⅴ層直上付近で茶褐色土の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：不明
重複関係：なし

覆土：ほぼ一層で、混合土状の茶褐色土である。ただ上層は小石や軽石が混入しており、下層は黄色土が多く混入している。壙底直上付近の土は堅く、しまっている。
壙底：Ⅴ層を深く掘り込んで構築されており、平坦で堅い。
遺物出土状況：遺物は覆土上層でⅠ群D1類土器6点　剝片2点が出土している。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

Ｐ－290（図Ⅲ－432・435，図版72・152）
位置：39－34　**規模**：(0.61)m／0.84m×(0.56)m／0.78m×(0.78)m
平面形：ほぼ円形状
検出面：Ⅴ層直上付近で茶褐色土の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：不明
重複関係：なし
覆土：ほぼ一層で混合土状の茶褐色土であるが、上層は薄く、軟質である。中層は壙底直上付近まで厚く堆積している。軽石や黄色土が多く混入し、ガラガラした感じである。壙底直上の土は中層と同質であるが、やや粒子が細かいものである。
壙底：Ⅴ層を深く掘り込んで構築されている。やや凹凸はあるが、ほぼ平坦で、堅い。
遺物出土状況：覆土中でⅠ群D1類土器7点、すり石、礫各1点ずつ出土している。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

Ｐ－291（図Ⅲ－432，図版72）
位置：44－33　**規模**：(0.63)m／0.44m×(0.60)m／0.38m×0.22m　**平面形**：ほぼ円形状
検出面：Ⅳ層直上付近で暗茶褐色土の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：Ⅲｂ層中と思われる。
重複関係：Ｈ－479・551と重複している。Ｈ－479のHPが本遺構を切って構築されていることから、Ｈ－479より古いものと思われるが、Ｈ－551とは新旧関係は明確でない。
覆土：ほぼ一層で、Ⅲｂ≧Ⅴの暗茶褐色土である。
壙底：Ⅴ層を浅く掘り込んで構築されている。断面形は皿状である。
遺物出土状況：覆土中でたたき石1点などが出土している。
性格・時期：不明（縄文時代早期中葉）　（和泉田　毅）

Ｐ－292（図Ⅲ－432，図版73）
位置：44－33　**規模**：(0.60)m／0.46m／(0.60)m／0.46m×(0.18)m　**平面形**：円形状
検出面：Ⅳ層直上付近で茶褐色土の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：Ⅲｂ層中と思われる。
重複関係：Ｈ－406と重複しており、これより新しいものと思われる。
覆土：覆土1層はⅢｂ＞Ⅴの茶褐色土である。覆土2層は壙底直上にある土で、Ⅴ＞覆土1層の褐黄色土である。
壙底：Ⅴ層を浅く掘り込んで構築されている。断面形はやや皿状である。
遺物出土状況：覆土中から石錘が1点出土しただけである。
性格・時期：不明（縄文時代早期中葉）　（和泉田　毅）

P－293（図III－433，図版73）
位置：45－34　**規模**：0.62m／0.49m×0.63m／0.42m×0.15m　**平面形**：ほぼ円形状
検出面：IV層中で茶褐色土の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：III b 層中と思われる。
重複関係：なし
覆土：混合土状の茶褐色土が壙底直上付近まで堆積している。
壙底：V層を浅く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦である。
遺物出土状況：遺物は出土していない。
性格・時期：不明（縄文時代早期中葉）　（和泉田　毅）

P－294（図III－433，図版73）
位置：45－34　**規模**：0.67m／0.48m×0.62m／0.48m×0.23m　**平面形**：隅丸方形状
検出面：IV層中で茶褐色土の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：III b 層中と思われる。
重複関係：H－486・541・550と重複しているが、新旧関係は明瞭でない。
覆土：全体に軽石が混入する混合土状の茶褐色土系の砂質土である。下層は黒味が強い。
壙底：V層を浅く掘り込んで構築されている。断面形はやや皿状である。
遺物出土状況：覆土中でI群D1類土器が11点、たたき石1点、すり石1点などが出土している。
性格：不明
時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

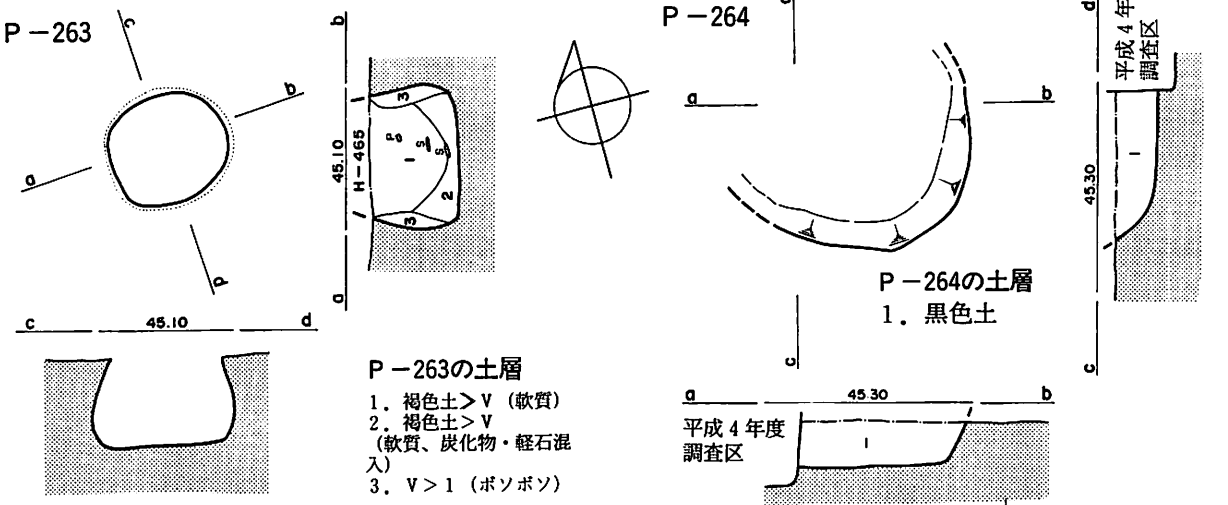
P－295（図III－433，図版73）
位置：46－35　**規模**：0.55m／0.34m×0.52m／0.34m×0.20m　**平面形**：ほぼ円形状
検出面：IV層中でIII b≫Vの落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：III b 層中と思われる。
重複関係：H－541と重複しているが、新旧関係は明瞭でない。
覆土：III b≫Vのやや黒っぽい土である。
壙底：V層を浅く掘り込んで構築されている。断面形はやや皿状である。
遺物出土状況：遺物は出土していない。
性格・時期：不明（縄文時代早期中葉）　（和泉田　毅）

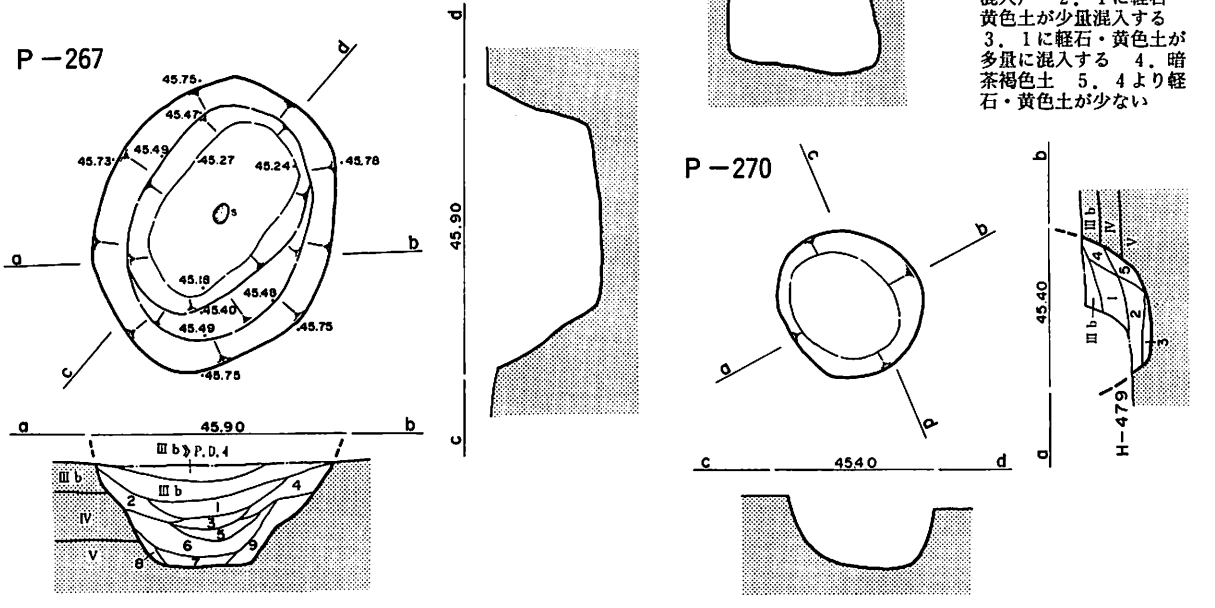
P－296（図III－433，図版74）
位置：46－34　**規模**：0.96m／0.58m×0.91m／0.57m×0.24m
平面形：楕円形状　**長軸方向**：N－S
検出面：IV層中で黒褐色土の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：III b 層中と思われる。
重複関係：なし
覆土：混合土状の暗茶灰色土が壙底直上付近まで堆積しているが、中央部には黒褐色土が見られる。
壙底：V層を浅く掘り込んで構築されている。断面形はほぼ皿状である。
遺物出土状況：覆土中からI群D1類土器が3点出土している。
性格：不明
時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

P－297（図III－433・438，図版74・197）
位置：46－37　　**規模**：0.67m／0.61m×0.66m／0.58m×0.38m　　**平面形**：隅丸方形状
検出面：V層上面付近で茶褐色土の落ち込みを検出した。　　**掘り込み面**：不明
重複関係：なし
覆土：覆土はほぼ一層で混合土状の茶褐色土であるが、下層は黒味の強い暗茶褐色土である。
壙底：V層を深く掘り込んで構築されている。やや凹凸はあるが、堅い。
遺物出土状況：覆土中でI群D1類土器13点、石匙1点、すり石2点、台石1点、石錘3点などが出土している。まとまりはなく、覆土に混入していたものと思われる。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　　（和泉田　毅）

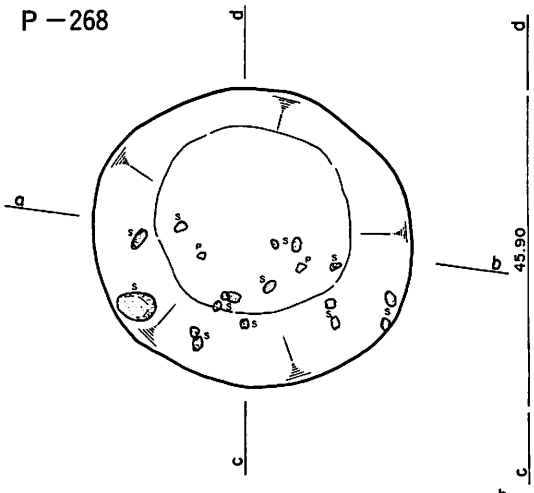
P－298（図III－433・435，図版74・152）
位置：46－38　　**規模**：0.53m／0.54m×0.43m／0.50m×0.36m
平面形：楕円形状　　**長軸方向**：N－76°－W
検出面：V層上面付近で茶褐色土の落ち込みを検出した。　　**重複関係**：なし
覆土：ほぼ一層で混合土状の茶褐色土が壙底直上付近まで堆積している。
壙底：V層を深く掘り込んで構築されている。やや凹凸はあるが、堅い。
遺物出土状況：覆土中からI群D1類土器7点、石錘2点出土している。覆土中に混入したものである。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　　（和泉田　毅）

P－299（図III－433，図版74）
位置：40－34　　**規模**：(0.59)m／0.55m×(0.54)m／0.56m×0.30m　　**平面形**：ほぼ円形状か？
検出面：V層上面付近で茶褐色土の落ち込みを一部分検出したが、大半が風倒木痕により攪乱されており、平面形などは明瞭でない。
重複関係：H－465・524と重複しているが、新旧関係は明瞭でない。
覆土：壙底直上付近まで茶褐色土が堆積していたが、全体は不明である。
壙底：V層を深く掘り込んで構築されている。やや凹凸はあるが、ほぼ平坦で、堅い。
遺物出土状況：覆土中でI群D1類土器が5点、壙底直上付近で同類の土器が4点出土している。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　　（和泉田　毅）

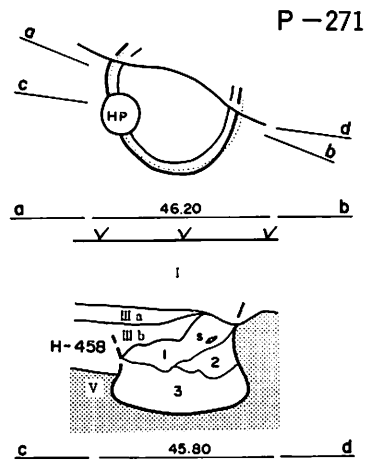


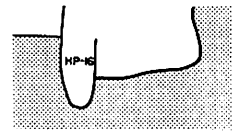


図III－428　土壙実測図(1)



P－268の土層
1．茶褐色土　2．暗茶褐色土　3．2に軽石・黄色土が多く混入　4．黒茶褐色土　5．暗黄褐色土　6．4＜V

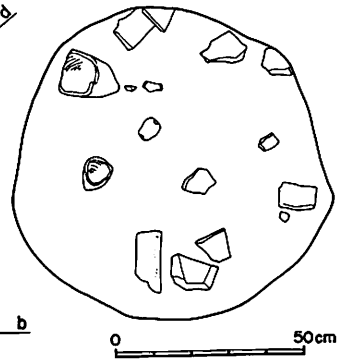


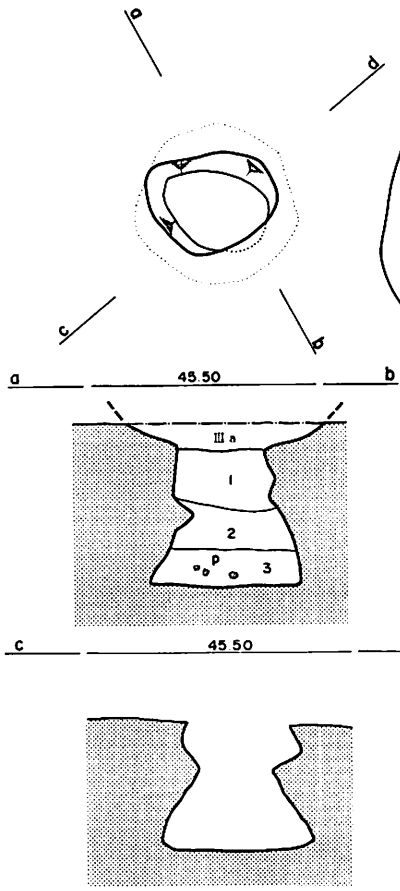


P－271の土層
1．暗茶褐色土　2．褐色土　3．灰褐色土

P－269

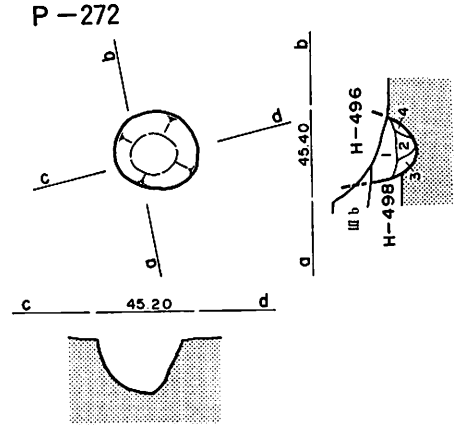
（P－269遺物出土状況図）





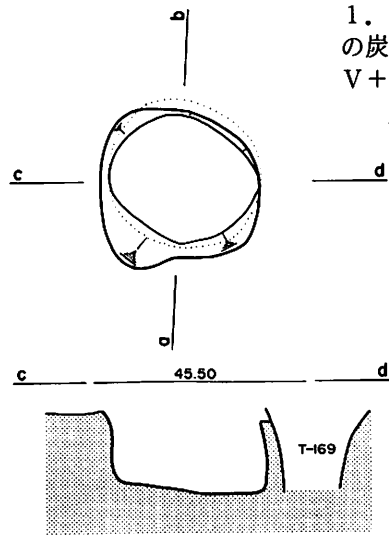
P－269の土層
1．暗褐色粘質土（軟質）
2．灰黄褐色土　3．暗灰褐色土（粒子粗い）

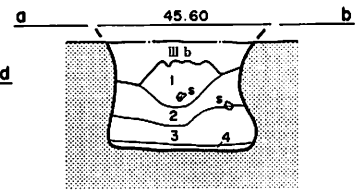
P－272



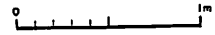
P－272の土層
1．黒茶色土　2．茶黒色土（微量の炭化物混入）　3．V＞2　4．V＋2

P－273



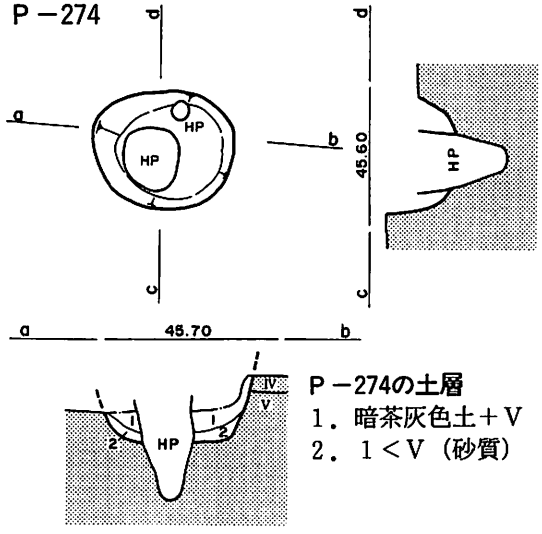


P－273の土層
1．茶褐色土　2．暗茶褐色土　3．暗黄褐色土　4．黄褐色土



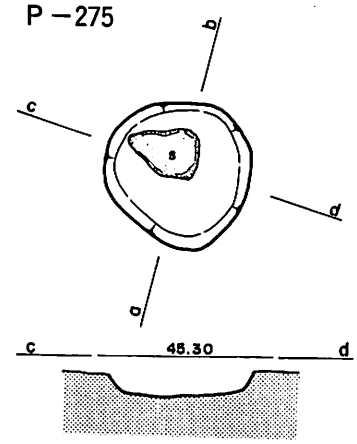
図III－429　土壙実測図(2)

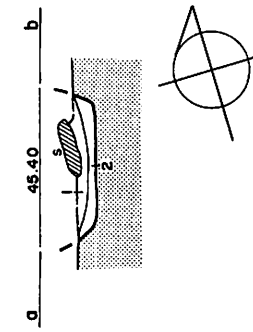
P－274



P－274の土層
1．暗茶灰色土＋V
2．1＜V（砂質）

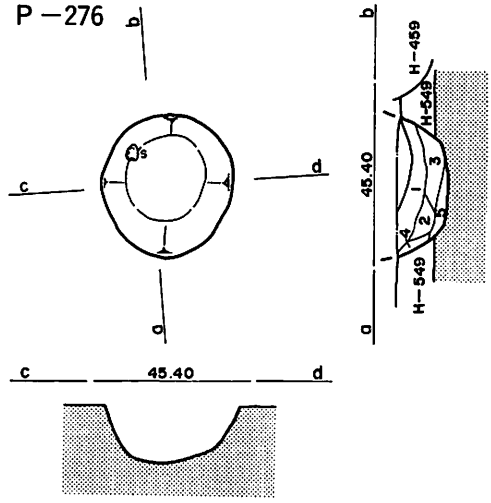
P－275





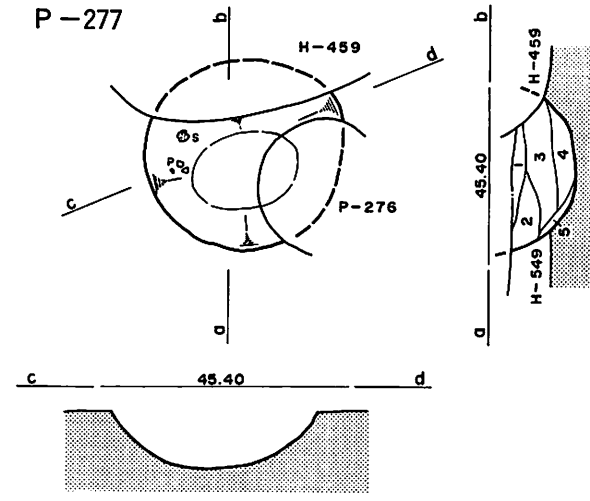
P－275の土層
1．茶褐色土
2．1＜V

P－276



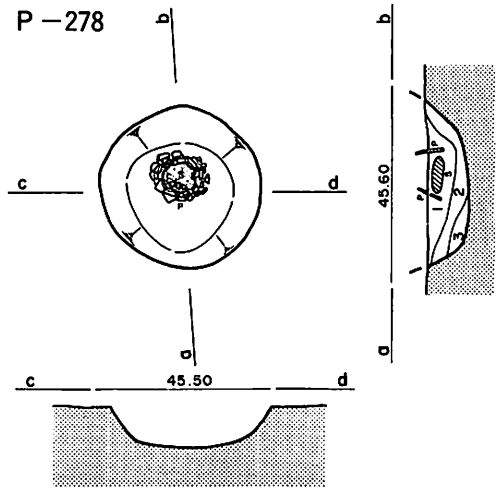
P－276の土層
1．暗茶褐色土　2．暗黄茶色土　3．暗茶褐色土（1より黒味が強い、軟質）　4．暗黄茶色土（2より黒い）　5．3・4＋V（砂質）

P－277



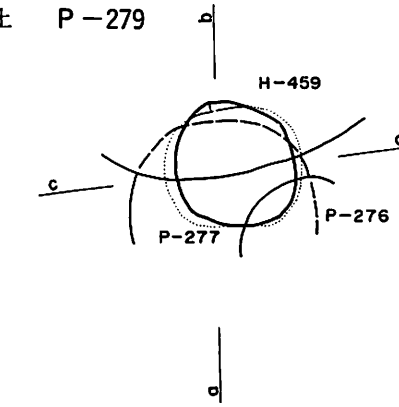
P－277の土層
1．茶褐色土　2．暗茶褐色土（小石混入）　3．暗茶褐色土（2より暗い）　4．暗茶褐色土（3よりVを多く含む）　5．暗茶褐色土＞V（軟質）

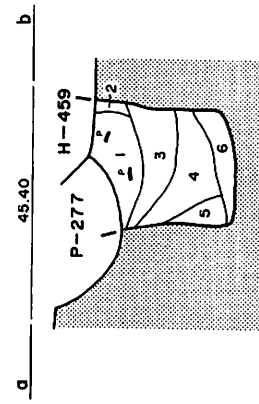
P－278



P－278の土層
1．Ⅲb＞V　2．1＞3
3．暗黄色土

P－279

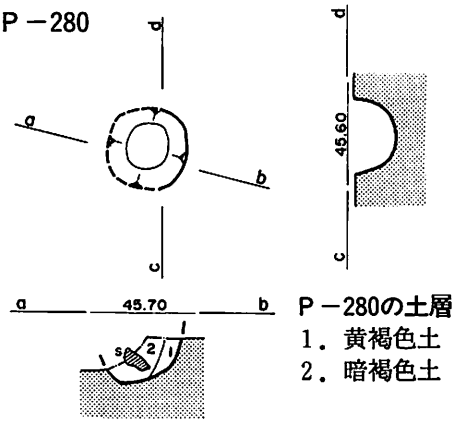




P－279の土層
1．暗茶褐色土（堅い）
2．1＜V　3．Ⅲb＋V＋軽石　4．≒3（3よりVが多い）　5．4＜V
6．≒3（3より黒っぽい）

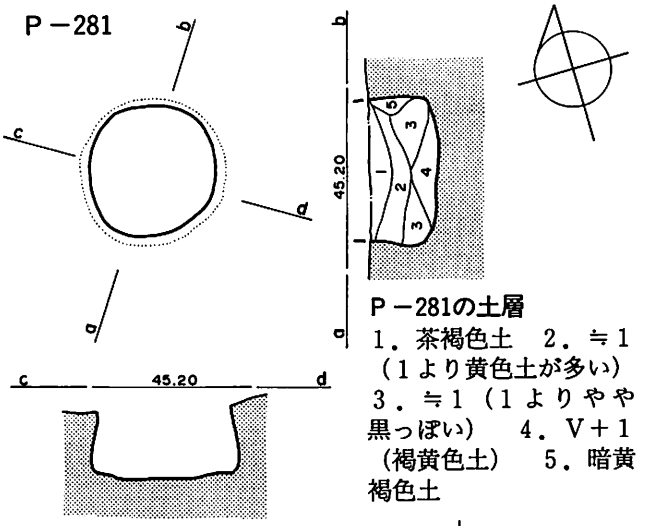
図Ⅲ－430　土壙実測図(3)

P－280



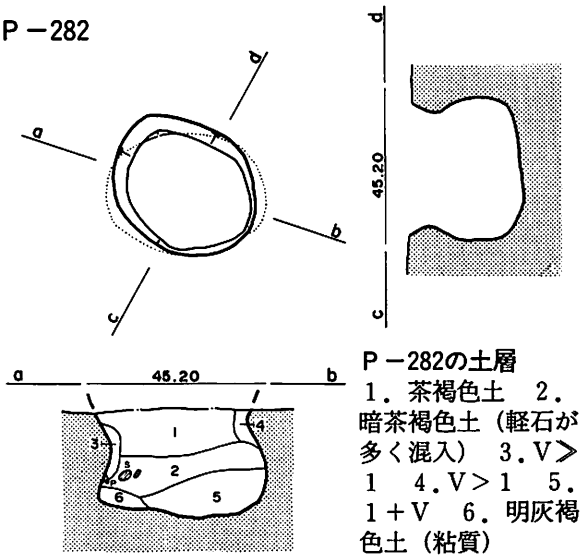
P－280の土層
1．黄褐色土
2．暗褐色土

P－281



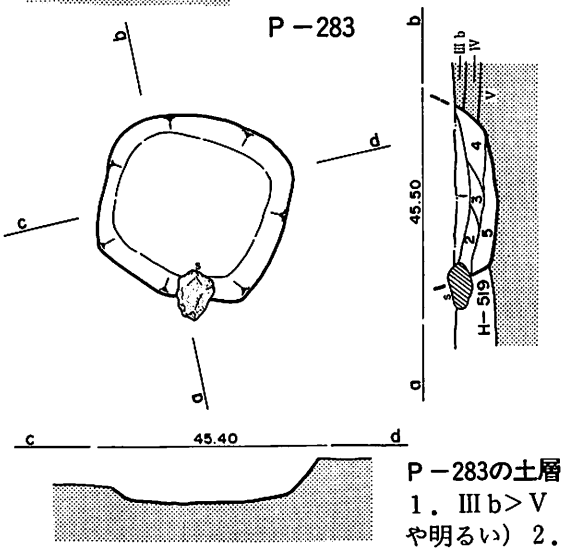
P－281の土層
1．茶褐色土　2．≒1（1より黄色土が多い）　3．≒1（1よりやや黒っぽい）　4．V＋1（褐黄色土）　5．暗黄褐色土

P－282



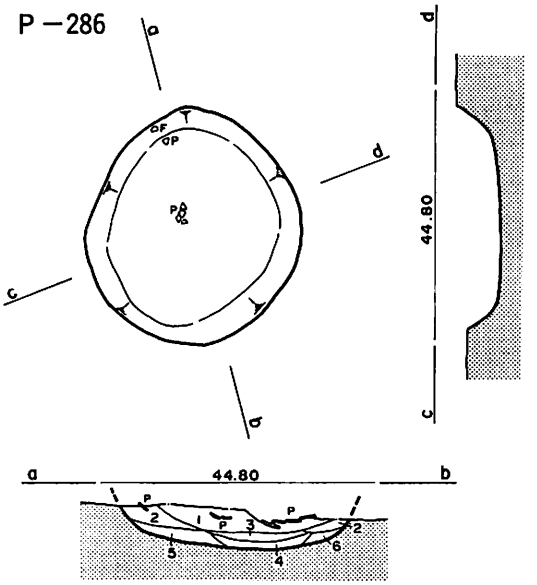
P－282の土層
1．茶褐色土　2．暗茶褐色土（軽石が多く混入）　3．V＞1　4．V＞1　5．1＋V　6．明灰褐色土（粘質）

P－283

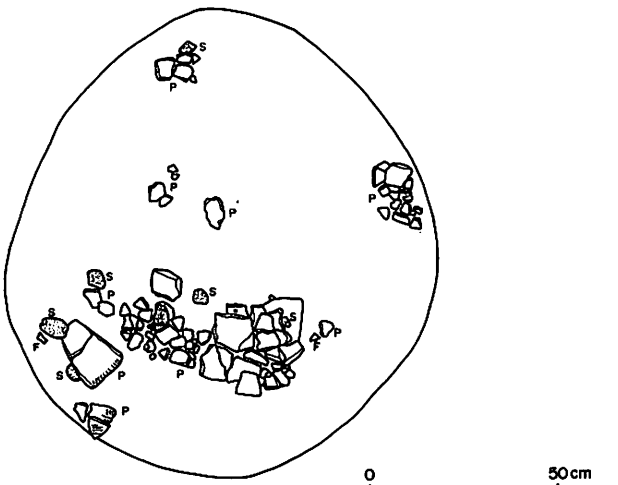


P－283の土層
1．IIIb＞V（やや明るい）　2．茶褐色土　3．暗茶褐色土　4．黒茶色土　5．V＞3

P－286



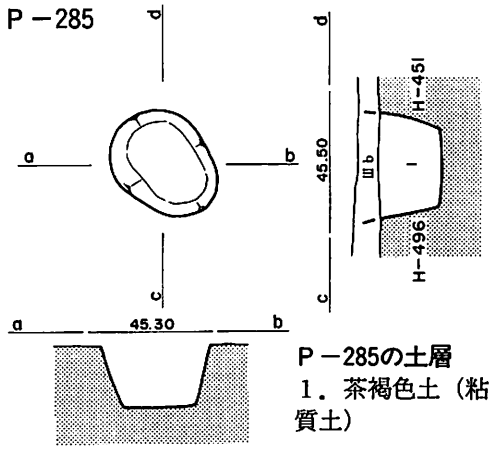
（P－286遺物出土状況図）



P－286の土層
1．茶褐色土　2．黒茶色土　3．1にVと軽石が混入　4．V＞3　5．2＋V　6．茶黄色土

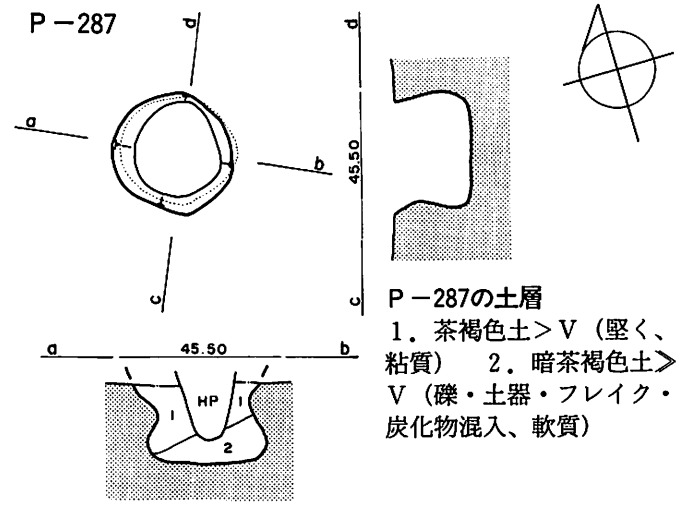
図III－431　土壙実測図(4)

P－285



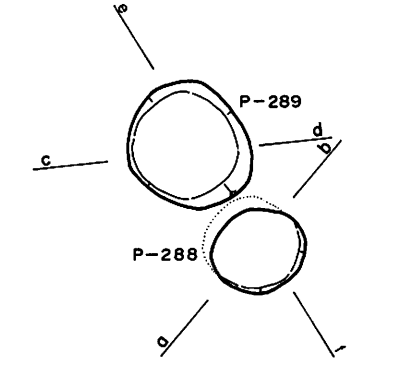
P－285の土層
1．茶褐色土（粘質土）

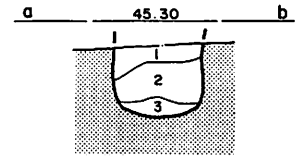
P－287



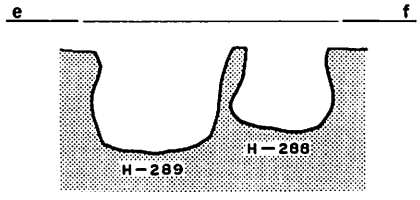
P－287の土層
1．茶褐色土＞V（堅く、粘質）　2．暗茶褐色土≫V（礫・土器・フレイク・炭化物混入、軟質）

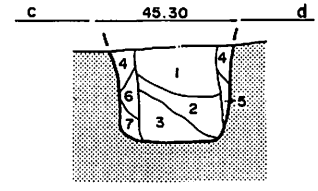
P－288・289





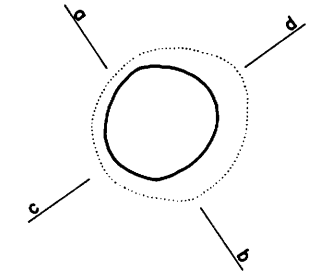
P－288の土層
1．茶褐色土（ボソボソ）
2．茶褐色土（かたい）　3．2＞V（淡緑灰色粗砂がブロック状に混入）

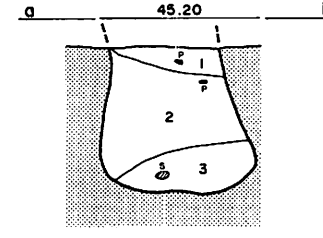


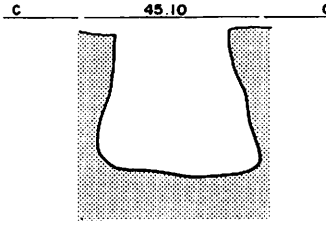


P－289の土層
1．茶褐色土（小石・軽石が少量混入）　2．≒1（1より黄色土が多い）　3．≒1（1・2より堅い）　4．明黄灰色土（粘質）　5．≒4（4より褐色土が多い）　6．≒4（4より褐色土が多く、淡緑灰色粗砂を少量混入）　7．4＋淡緑灰色粗砂

P－290

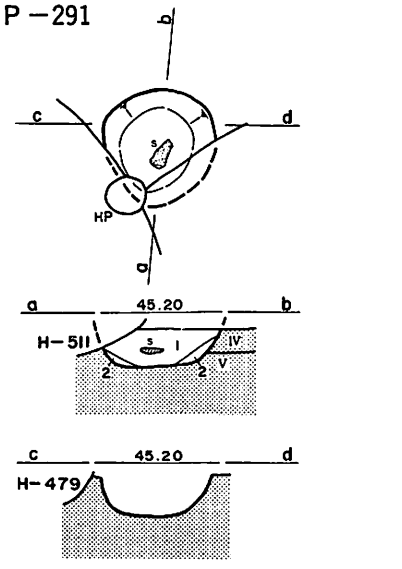






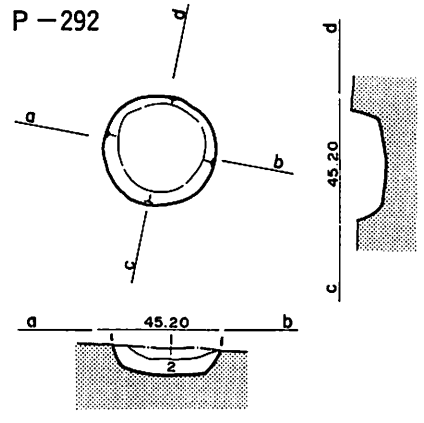
P－290の土層
1．茶褐色土（軟質）　2．黄茶褐色土（小石・軽石混入、砂質、ガラガラ）　3．暗黄茶褐色土（≒2であるが2より粒子が細かい）

P－291



P－291の土層
1．暗茶褐色土　2．1＜V

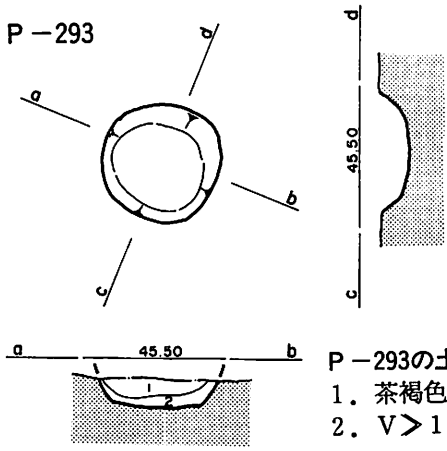
P－292



P－292の土層
1．IIIb＞V　2．V＞1

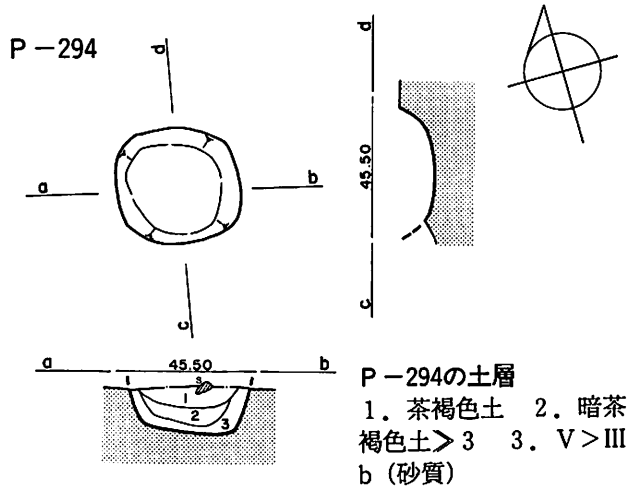
図III－432　土壙実測図(5)

P－293



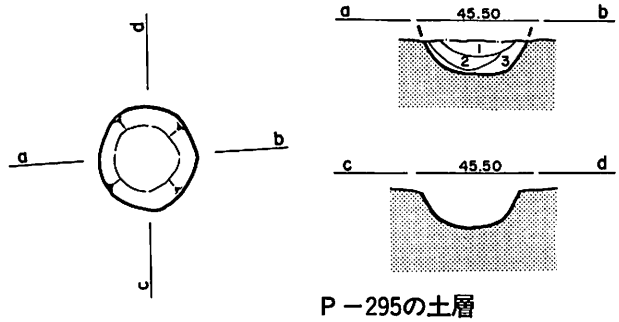
P－293の土層
1．茶褐色土
2．V＞1

P－294



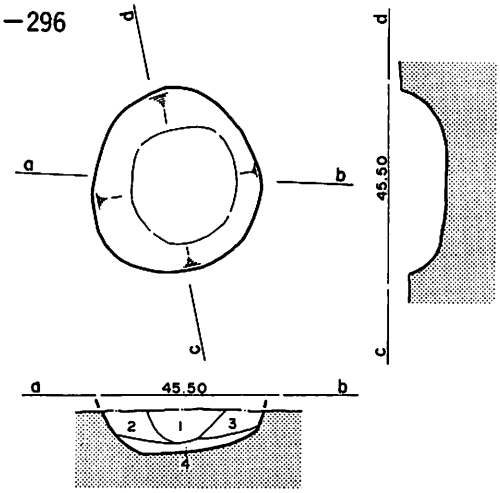
P－294の土層
1．茶褐色土　2．暗茶褐色土＞3　3．V＞III b（砂質）

P－295



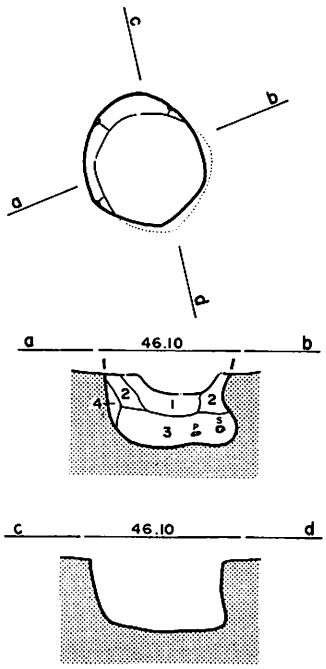
P－295の土層
1．III b＞V　2．1＞3
3．暗黄灰色土

P－296



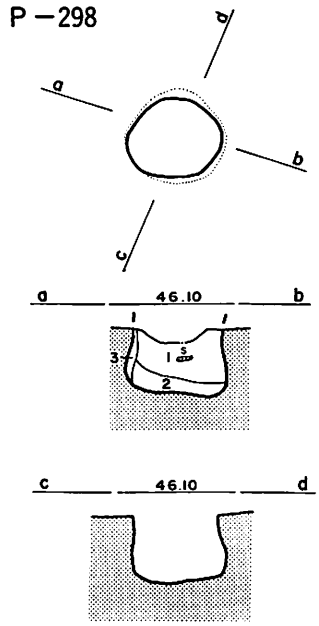
P－296の土層
1．黒褐色土　2．暗茶灰色土
3．暗黄茶色土　4．V＞III b

P－297



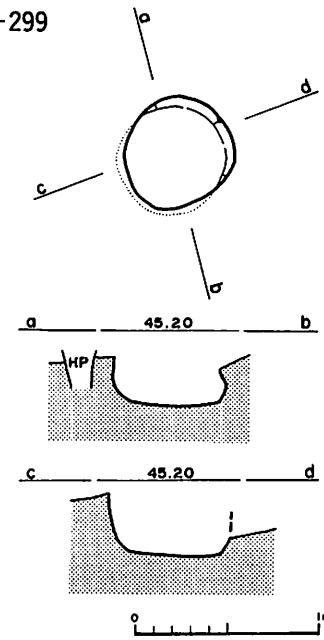
P－297の土層
1．茶褐色土　2．V＋1　3．暗茶褐色土　4．明茶灰色土（ボソボソ）

P－298



P－298の土層
1．茶褐色土　2．1＜V
3．V＞1

P－299



図III－433　土壙実測図(6)

(3)土壙出土の遺物

i）土器（図III－434・435，図版152）

P－266

1はI群D1類で平縁の口縁破片、口唇部は先細りの丸形。外面は擦痕、内面はナデ調整。ススが付着する。

P－268

1はI群D1類、平縁の口縁破片、口唇部は断面形が切り出し状に外傾し、貝殻腹縁文が横位に施文される。内面調整はすり消し条痕。

P－269

1～4はI群D1類。1は平縁の口縁破片、外面にはすり消し条痕が施されている。内面は横位の条痕。2は波状口縁の波頂部の立ち上がり部分で、口唇部は外傾し、外傾する面には斜位に貝殻腹縁文が施文される。口縁部内面は押引文。胴部にも押引文が施される。3は平縁の口縁破片で口唇部は外傾し、横位の貝殻腹縁文が施される。端部には成形時の凹みが残る。4は尖底部で、突起は破損している。

P－270

1はI群D1類、平縁の口縁破片、口唇部は外傾し、文様帯は貝殻腹縁文が横位に施される。胴部には貝殻殻表で背圧痕文が施される。内面はすり消し条痕で調整される。

P－276

1はI群D1類、胴部破片で、貝殻条痕文が斜格子目状に施される。内面にはススが付着する。

P－277

1はI群D1類、平縁の口縁破片、口唇部の外面にはヘラ状工具により左右に粘土を摘まみあげる爪形文が施され、横位の貝殻腹縁文で区画する。

P－278

1はI群D1類、波状口縁を呈する無文土器。外面はナデ調整で、内面は条痕。

P－279

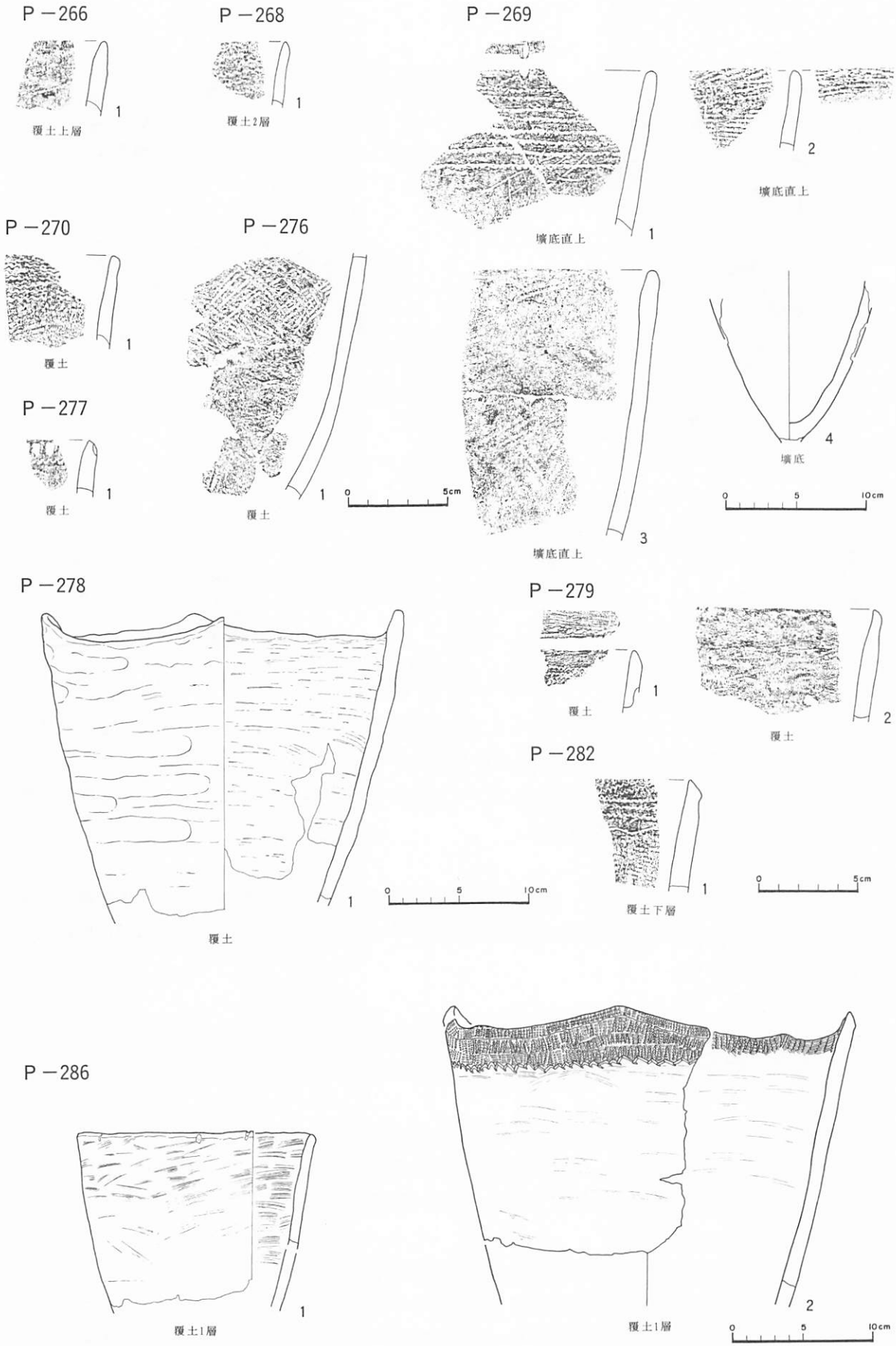
1・2はI群D1類。1は波状口縁の波頂部の立上り部分で、口唇部は外傾する。口唇内面の側端部に貝殻腹縁の一部を使用し鋸歯状に押引で描く。胴部内面は条痕で調整される。2は平縁の口縁で、口唇部直下を強くヨコナデ調整し削る。外面はナデ調整で、内面は条痕。

P－282

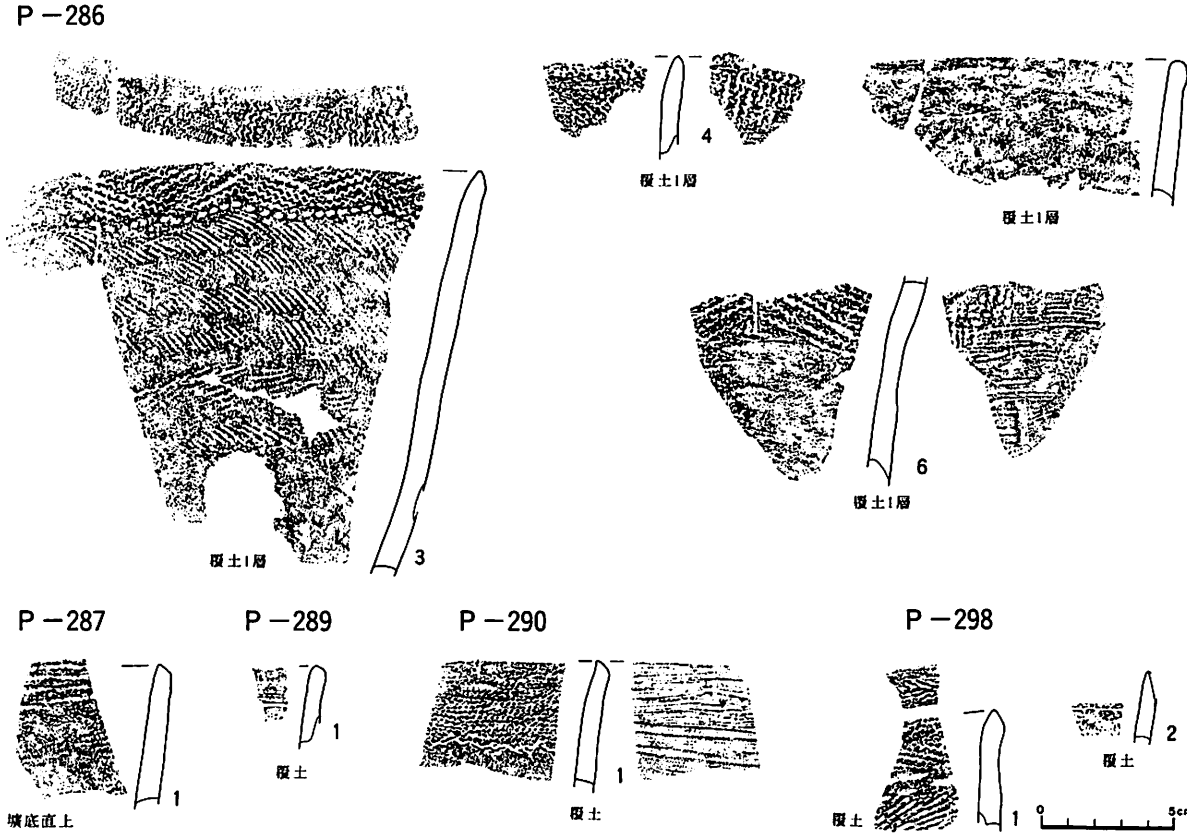
1はI群D1類、波状口縁で口唇部は外傾する。鋸歯状沈線で区画された文様帯内は貝殻腹縁文が充塡される。胴部は背圧痕文が施文される。内面はナデ調整。

P－286

1～6はI群D1類。1は平縁の無文土器で、口唇端部には数ヵ所に成形時の凹みを持つ。2は波状口縁を呈す。口唇部は外傾し、外傾する面には押引文が施される。文様帯は横位の鋸歯状沈線によって区画される。文様帯内は押引文で充塡され、口縁部内面も押引文が施される。胴部内外面はナデ調整。3は平縁で口唇部は外傾する。文様は刺突列で鋸歯状に横位区画し、腹縁文で充塡する。胴部は成長脈の目立つ殻表の頂部付近を使用して背圧痕を施している。口縁部内面には斜位に貝殻腹縁文の連続移動文を施す。胴部内面はナデ調整。4は波状口縁の副突起部分。口唇部は外傾する。文様帯は貝殻腹縁文により施文される。口唇内側の端部に貝殻腹縁の一部を使用した幅の狭い連続移動文が施され、その直下に腹縁を幅広く使用した連続波状文が施されている。5は平縁の口縁破片で、口唇部



図III－434　土壙出土土器(1)



図III－435　土壙出土土器(2)

を外方に肥厚させるため、口唇部直下を強くヨコナデ調整し削る。内面はすり消し条痕。6は波状口縁の波頂部が欠損した胴部破片。口縁部はわずかに屈曲する。屈曲部分の下位を意識的に削り取っている。口唇部は先細りする丸形。波頂部から垂下する沈線中に円形刺突が施される。口縁部内面は押引文、胴部内面は横位の条痕で調整される。

P－287

1はI群D1類、平縁の口縁破片で、口唇部は外傾し、外傾する面と文様帯は横位の貝殻腹縁文が施される。腹縁文はサルボウなどの殻表に肋筋のある貝殻ではなく、エゾタマキなど、殻の内面に肋筋のある貝殻で施文される。

P－289

1はI群D1類、平縁の口縁破片で口唇部は丸形、沈線が横環する。器表面は一部剝落しているが断面から折り返しの部分が剝落したことがわかる。内面はすり消し条痕で調整される。

P－290

1はI群D1類、波状口縁の波頂部の立上がり部分で、口唇端部は外傾し外方に肥厚する。外傾する面には斜位の腹縁刺突が施される。文様帯は鋸歯状沈線文で横位区画され、内部は横位の貝殻腹縁文で充填される。胴部はナデ調整。内面はすり消し条痕で調整される。

P－298

1・2はI群D1類。1は波状口縁の波頂部の立上がり部分で、口縁部が僅かに外反する。口唇部は外傾する。外傾する面に施された貝殻腹縁文と口縁部の貝殻腹縁文が組み合い、羽状のモチーフを構成する。文様帯は2条一単位の刺突が施され、胴部には貝殻殻表の背圧痕、口縁部内側にも背圧痕が施される。2は胴部破片で2条の沈線が横環する。上部が剝落し粘土紐を積み上げる接合痕がわかる。

接合の手法は、内面側を上方に、外面側を下方に伸ばしている。　（冨永　勝也）

ii）石器（図－III436～438，図版196）

P－264

1は石槍で腹面中央部に厚みを減じるための調整が施される。2・3は石匙で、共に背面は丁寧な加工がされている。4は1類のすり石。

P－267

1はスクレイパー。2はたたき痕とすり痕を両方合わせもつもの。

P－268

1はたたき石。2は1類のすり石であるが、両平坦面にたたき痕のあるもの。3は砥石と思われるが、石鋸の可能性もある。

P－275

1は石皿で両平面がU字状に磨滅する。

P－280

1は1類のすり石。側縁部に使用痕がある。

P－282

1は砥石で数条の研磨痕がある。

P－285

1は2b類の石匙。2は壙底面出土のスクレイパー。3は磨製石斧であるが、石ノミと思われる。

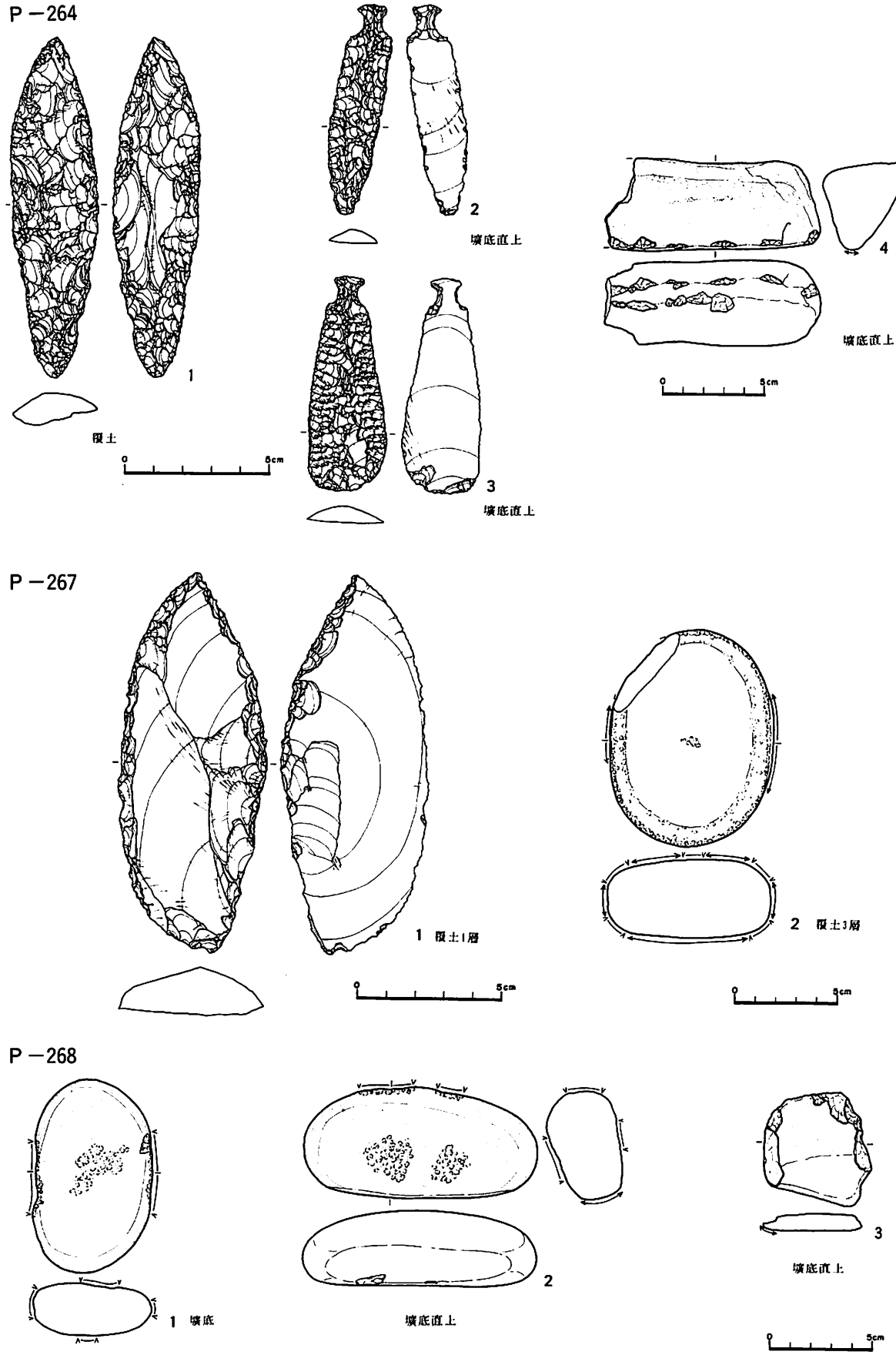
P－286

1はスクレイパーで刃部が外湾する。

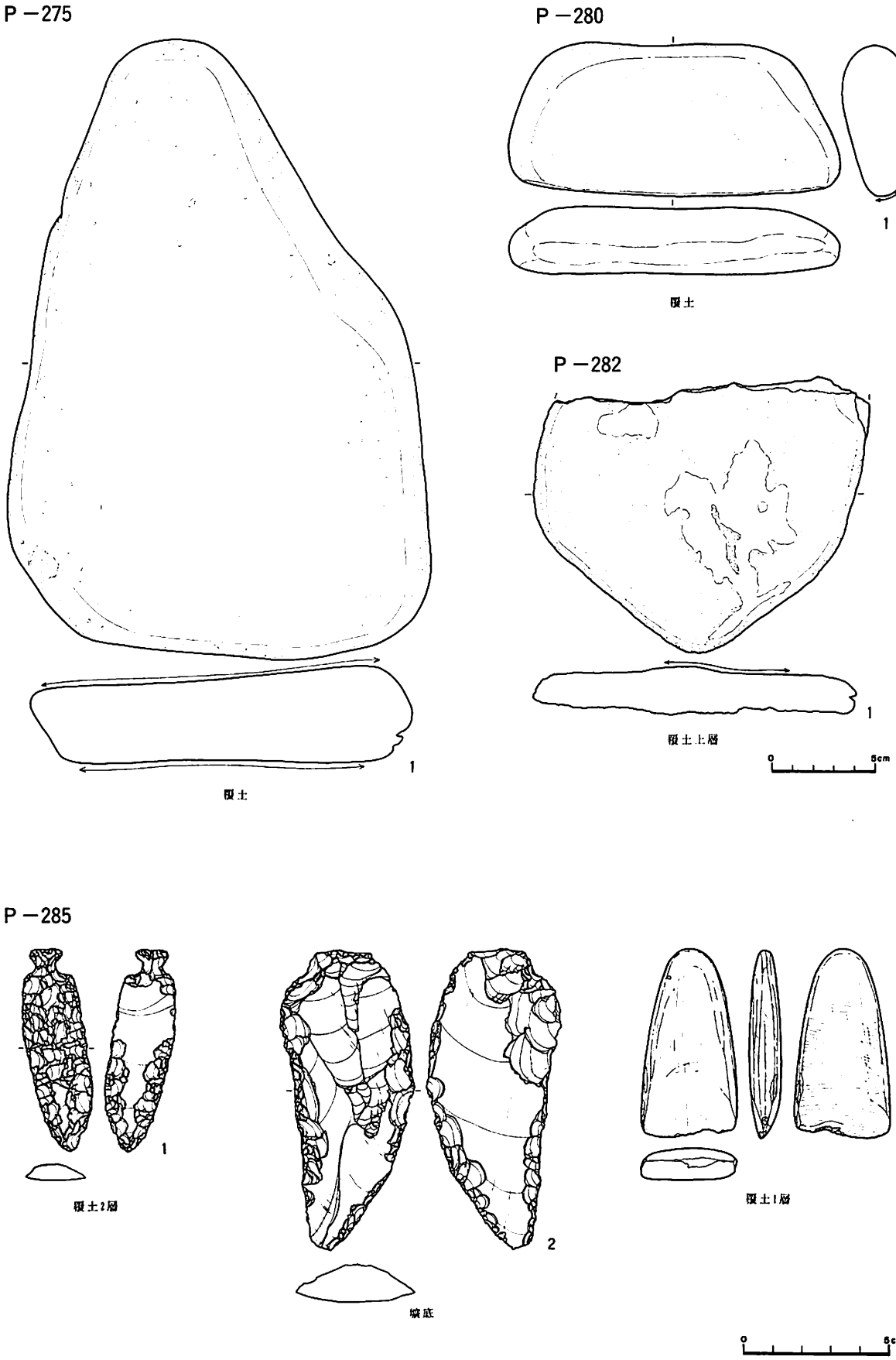
P－297

1は台石で片側平坦部は大きく剝離する。

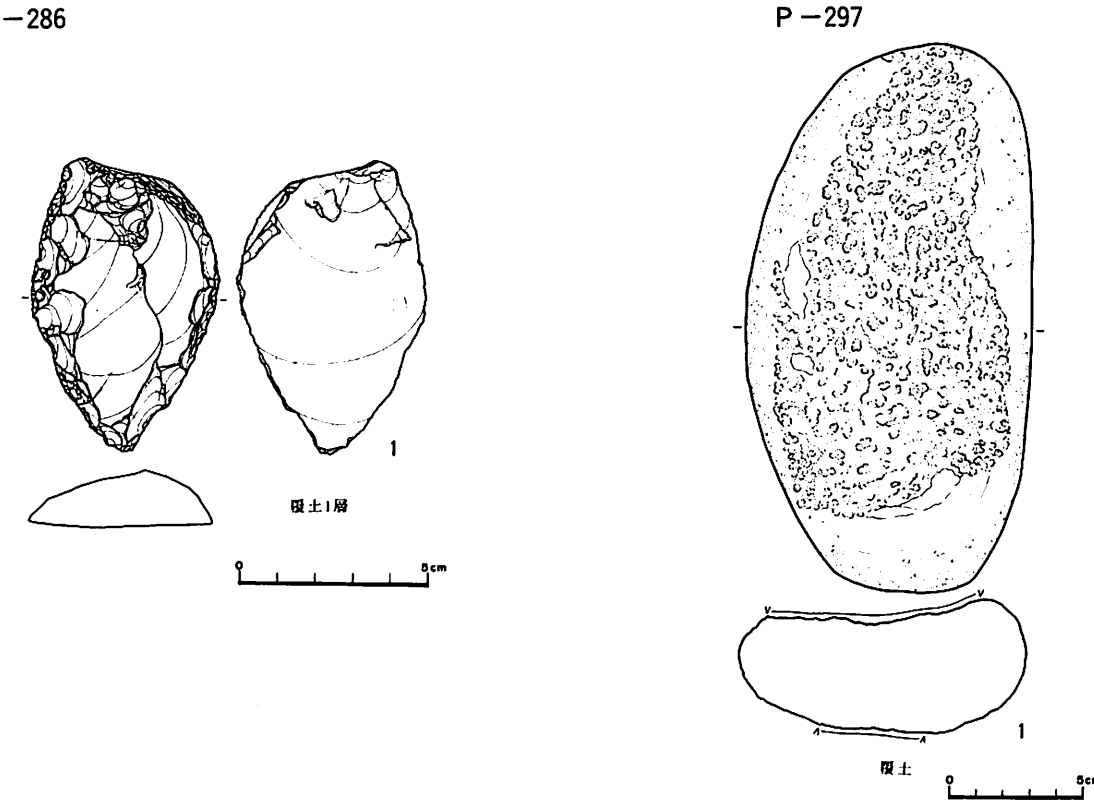
（笠原　興）



図III－436　土壙出土石器(1)



図III－437　土壙出土石器(2)



図III－438　土壙出土石器(3)

(4)Tピット（図III－439～450，図版79～83）

Tピットは26基検出されている。このうちT－167・186は昭和51年度調査の未調査分であり、T－1は平成4年度、T－28は平成5年度調査の未調査分である。本年度の発見数は22基である。T－191・193は本年度調査区外に広がっているが、調査を終了したので、本報告書に掲載している。

T－161・163・166は調査区の中央付近にあり、他は調査区の周縁部に分散している。またT－168・187・192は住居跡と重複していないが、他は住居跡を切ってつくられている。これらは住居跡の位置関係と同じように、ほぼ環状につくられている。

規模は、壙底面の長軸でみると、①2.50m前後のもの　②3.26m～3.88mに収まるもののちがいが見られる。①はT－165・166・168・171・177・187である。これらの長軸方向はN－5°－E～N－61°－Wの範囲に収まり、ほぼ等高線に平行するものであるが、位置的な規則性は見られない。ただ①、②に長軸方向、形状、位置関係などに明確な相違は見られない。単に長軸の長短の違いと思われる。

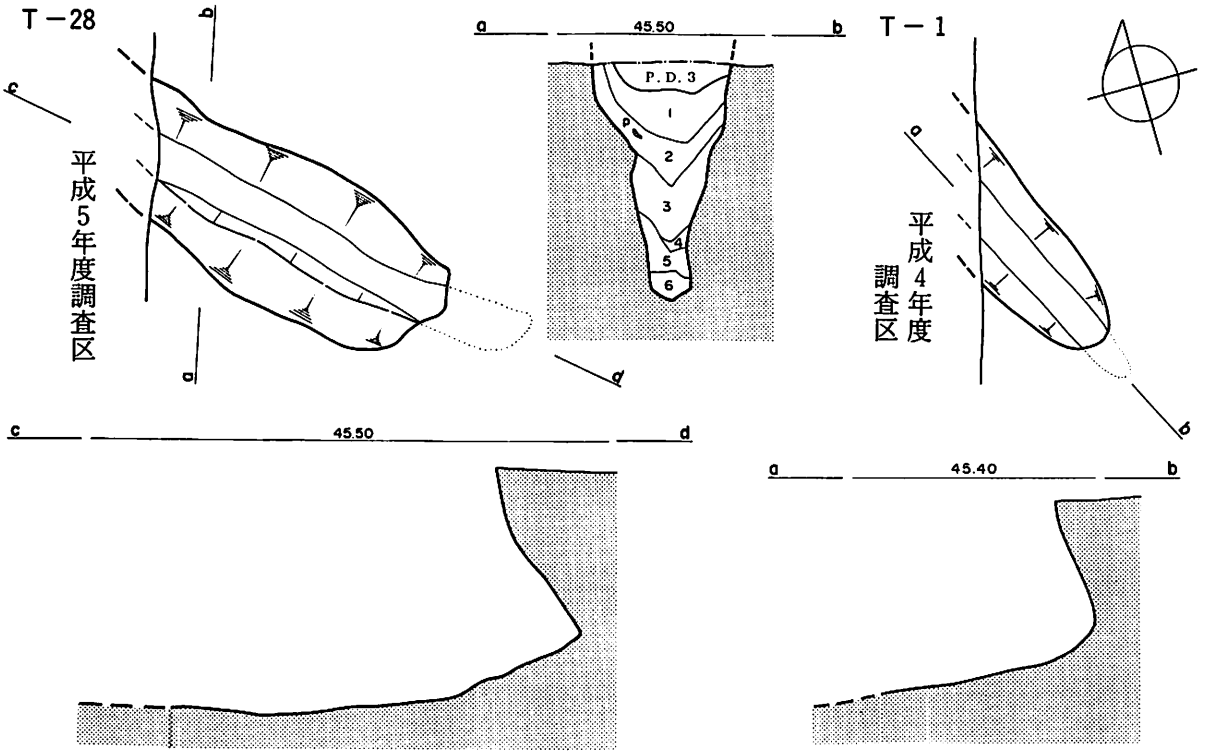
長軸方向は一定しないが、等高線を基準にして見ると、はっきりと等高線に直交するものは見当たらない。ただ、T－67・163・170・191・192は等高線に対して約45°ほどの角度をもっているようである。この他のものはほぼ等高線に平行してつくられている。

形状はおおむね溝状で、壙底直上には黒色土あるいは黒褐色の粘質（軟質）土が薄く堆積している。

遺物は覆土上のIIIb層、覆土上層中でI群D1類、D2類土器や石器が出土しているものもある。これらは埋まる途中で周辺から混入したと思われる。また壙底などで杭状の小ピットは検出されなかった。

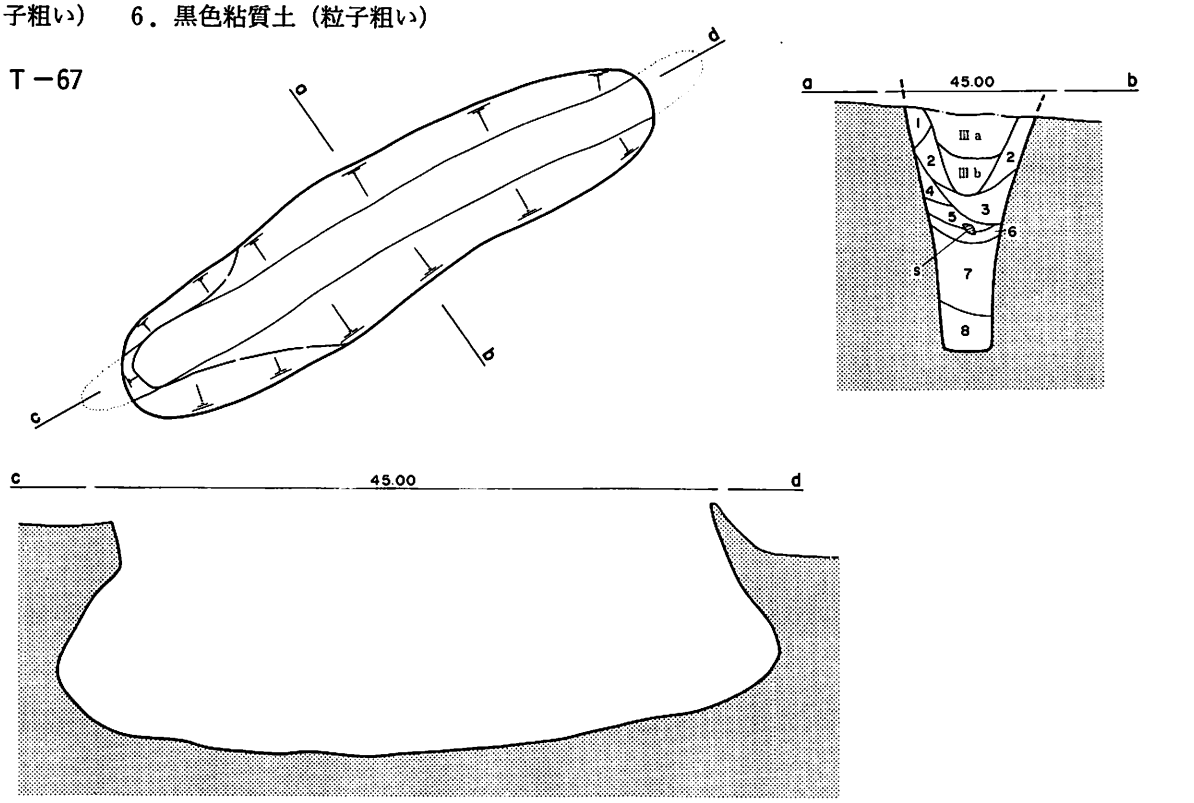
掘り込み面は確認できなかったが、住居跡をこわして構築されていることや、覆土上にP.D.3が自然堆積状に見られることなどから見て、住居跡より若干新しい時期のものと考えられる。

（和泉田　毅）



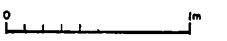
T－28の土層

1．茶褐色粘質土（硬質）　2．黒色粘質土（硬質）　3．暗黄色粘土（軟質）　4．黄暗色土（粒子粗い）　5．黄褐色土（粒子粗い）　6．黒色粘質土（粒子粗い）



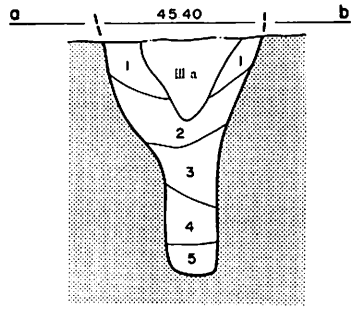
T－67の土層

1．III b＞黄色土（住居の覆土）　2．III b に黄色土が若干混入（軟質）　3．III b＞黄色土　暗茶褐色土（ボソボソ）　4．暗黄色土　5．≒2（やや粘質）　6．暗黄褐色土（3より黄色土が多い）　7．暗黄色土（V、ボソボソ）　8．III a とVが互層に堆積

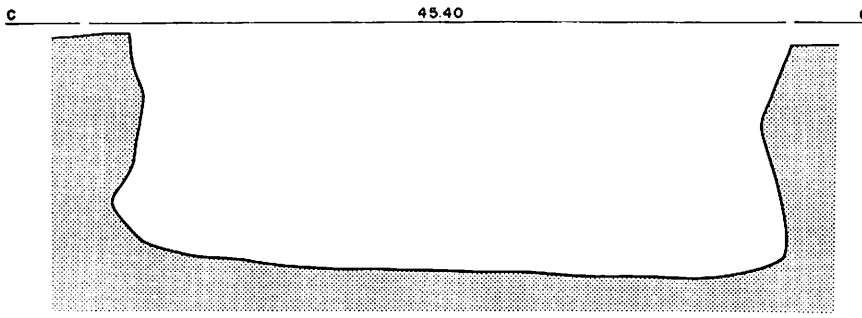


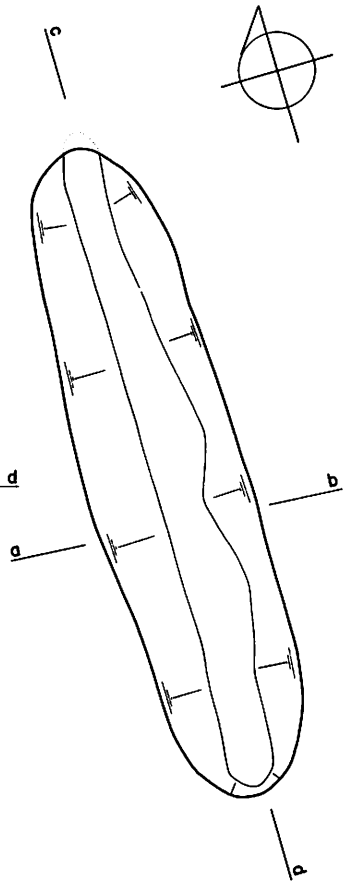
図III－439　Tピット実測図(1)

T－68

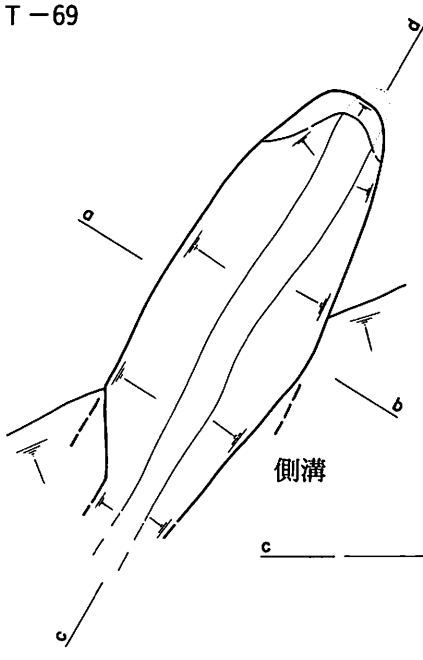


T－68の土層
1．III b≫V（軟質）　2．III b＞V（軟質、1より黄色土が多い）　3．III b＞V（Vがブロック状に混入、ボソボソ）　4．V≫III b（ボソボソ）　5．暗褐色土（軟質）とVが互層で堆積

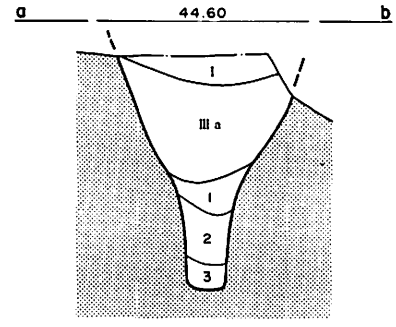




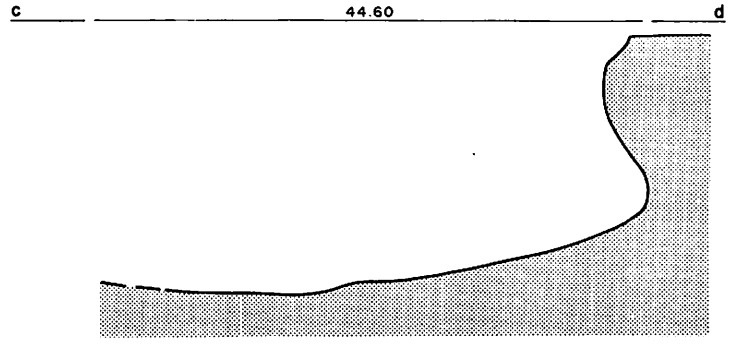
T－69

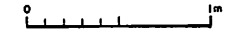


側溝



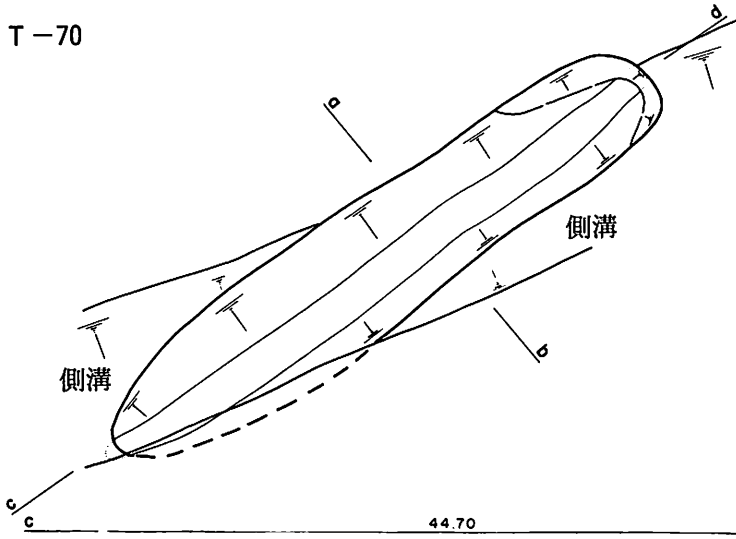
T－69の土層
1．III a≫黄色土（黒色土、軟質）　2．黄色土≫III b（淡褐色土、ボソボソ）　3．暗褐色土（粘質）と黄色土が互層に堆積

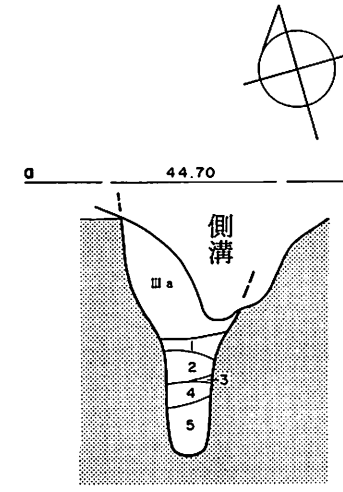




図III－440　Tピット実測図(2)

T－70

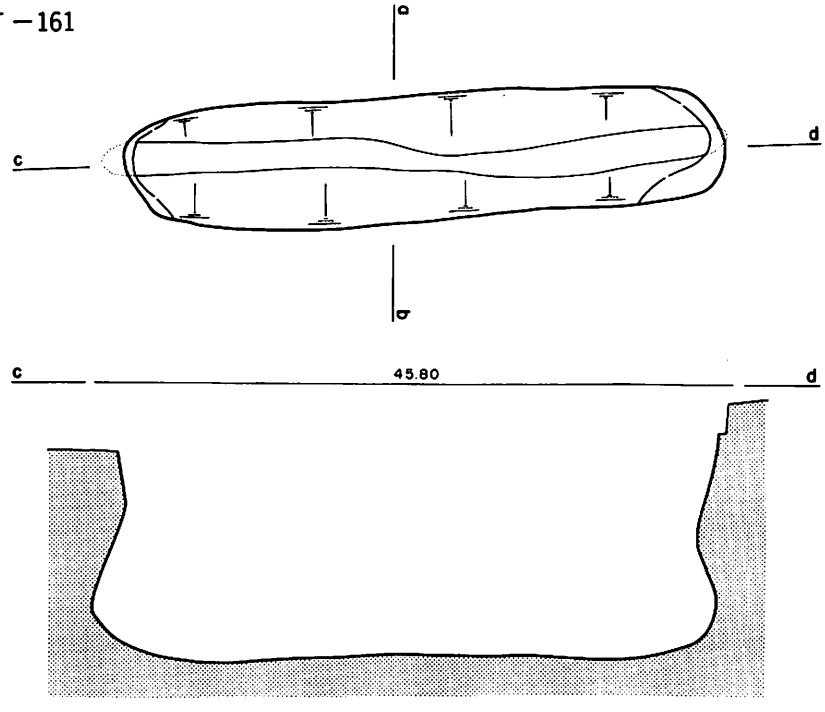


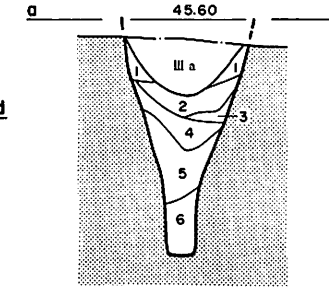


T－70の土層

1．III a に暗黄色土が入る（粘質）　2．黒色土（粘軟質）　3．III b＋V　4．暗褐色土　5．III b＋黄色土（軽石混入）

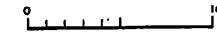
T－161





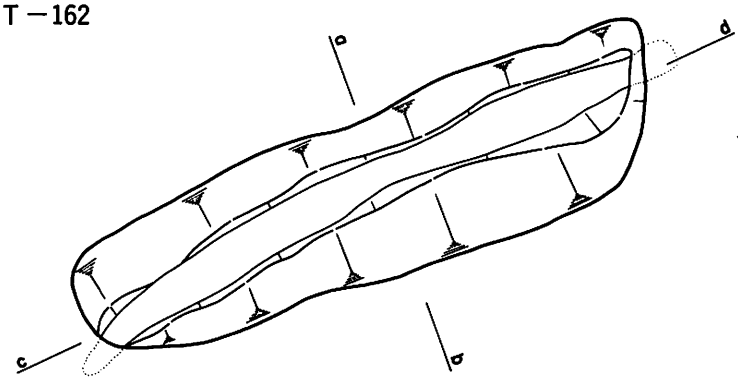
T－161の土層

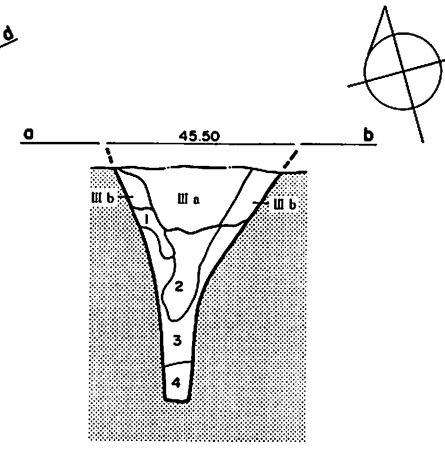
1．III a≫V（暗茶黒色土）　2．III a＞V（茶黒色土）　3．2＋V（ボソボソ）　4．暗褐色土（2＋V）　5．V≫4　6．V＋4（暗茶灰色土、やや粘質、ボソボソ）

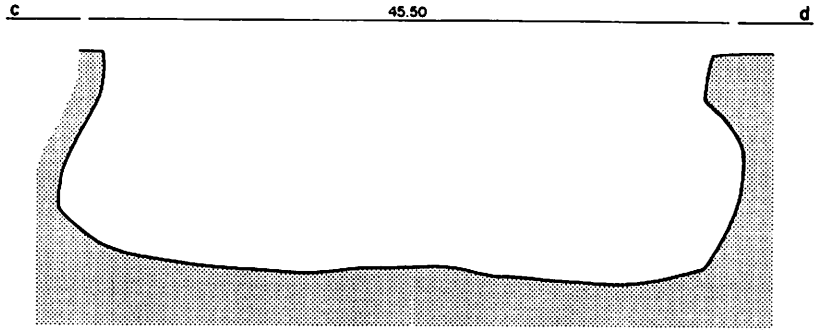


図III－441　Tピット実測図(3)

T－162



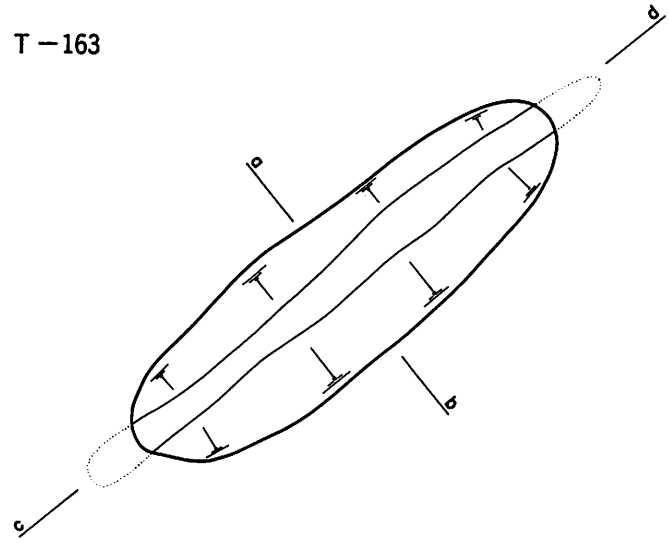


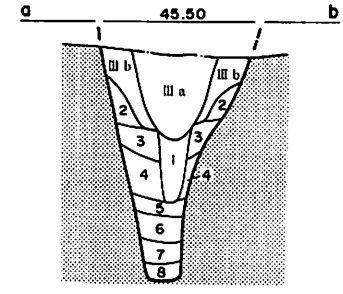


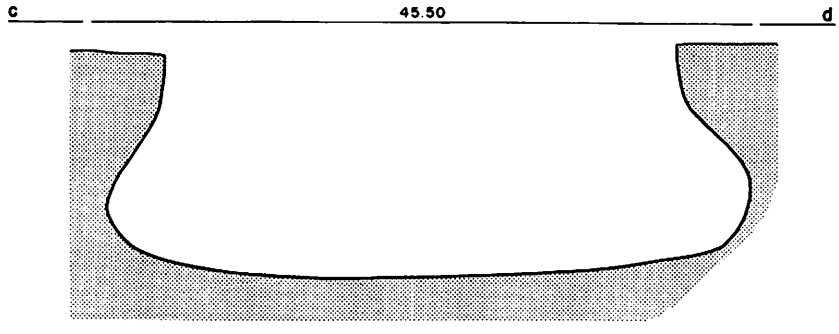
T－162の土層

1．暗褐色土(III b＞III a。粒子細かい、しまり中、粘性やや高、ローム粒少1～2㎜)　2．暗灰褐色土(III b≫III a。粒子細かい、しまり中、粘性やや高)　3．黄褐色ローム(V≫III b。粒子細かい、しまり強、粘性高　4．黒色土層(III＞V。粒子細かい、しまり中、粘性高)

T－163

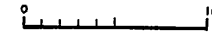






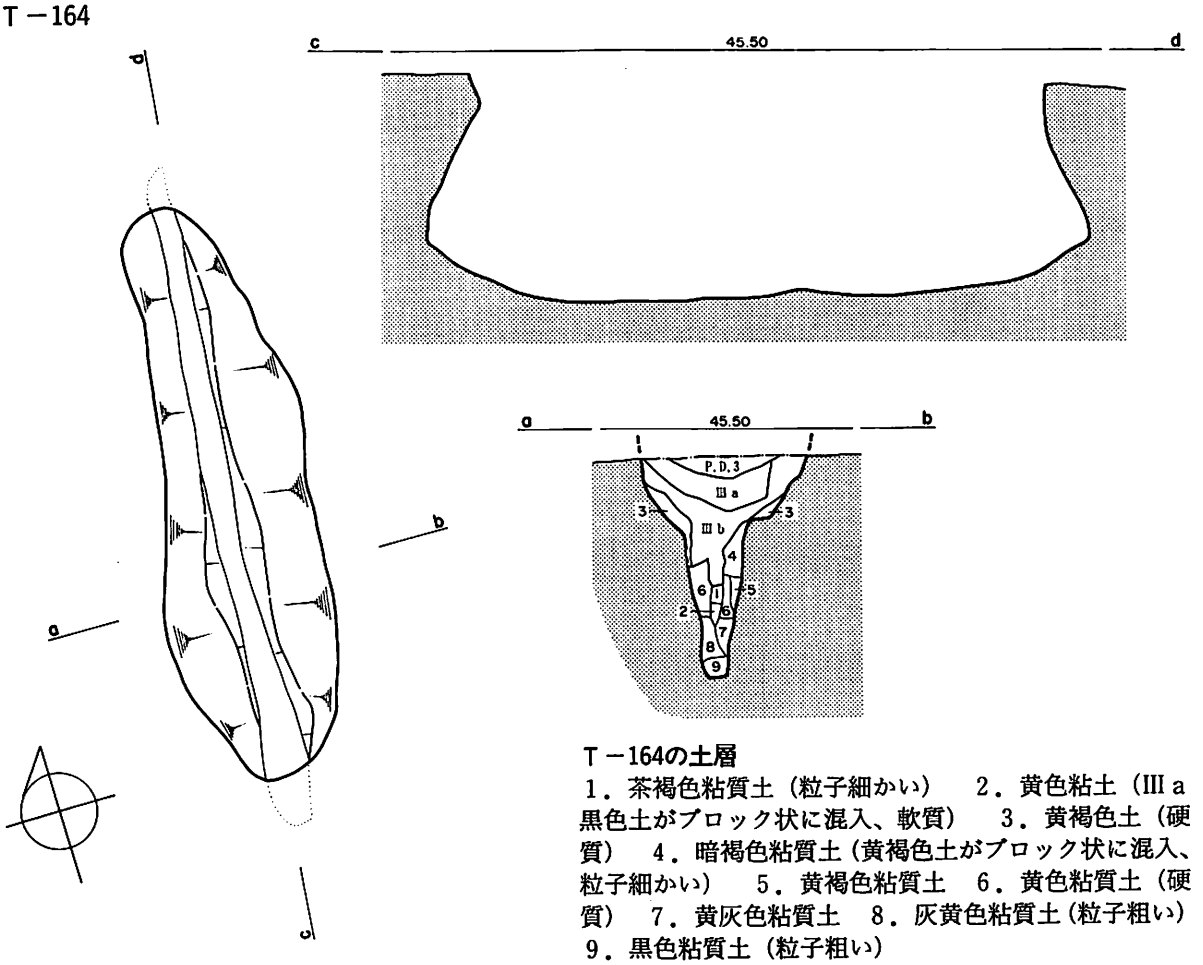
T－163の土層

1．III b≫黄色土（粘質）　2．H－467覆土崩落土　3．III b≫黄色土（パサパサ）　4．V＋2（黄褐色土）　5．V（ボソボソ）　6．黒色土（粘質）　7．黒色土≫V　8．褐色土(粘質)



図III－442　Tピット実測図(4)

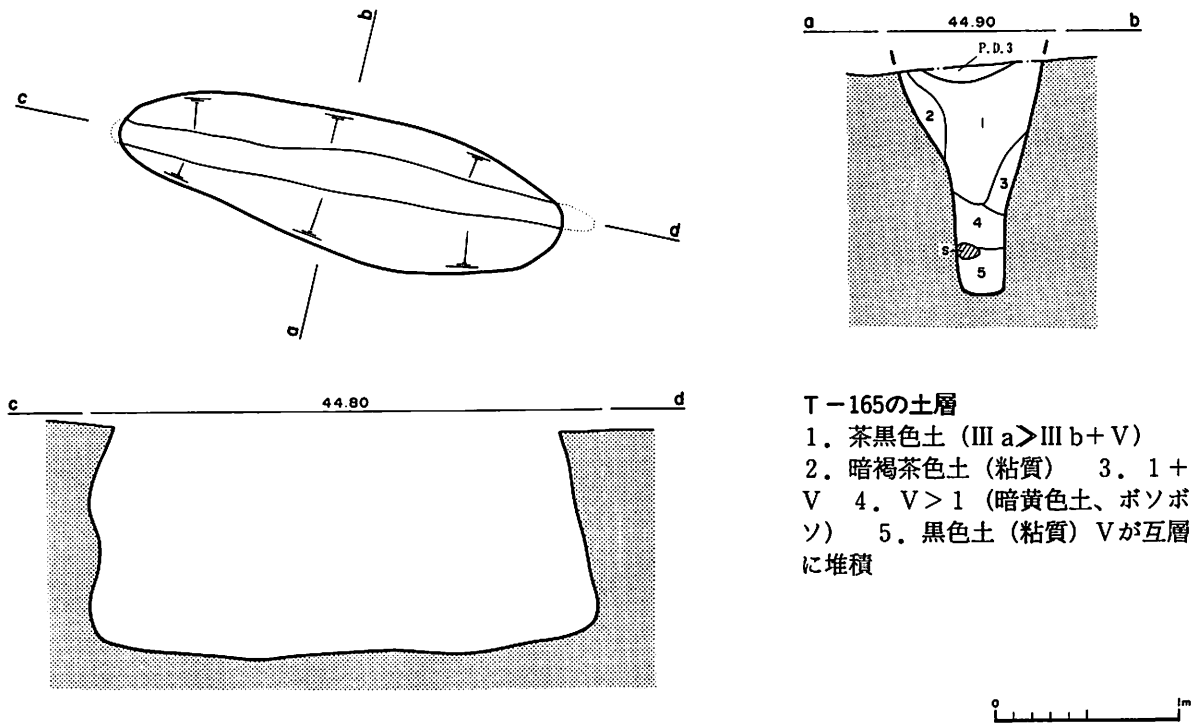
T－164



T－164の土層

1．茶褐色粘質土（粒子細かい）　2．黄色粘土（III a黒色土がブロック状に混入、軟質）　3．黄褐色土（硬質）　4．暗褐色粘質土（黄褐色土がブロック状に混入、粒子細かい）　5．黄褐色粘質土　6．黄色粘質土（硬質）　7．黄灰色粘質土　8．灰黄色粘質土（粒子粗い）　9．黒色粘質土（粒子粗い）

T－165



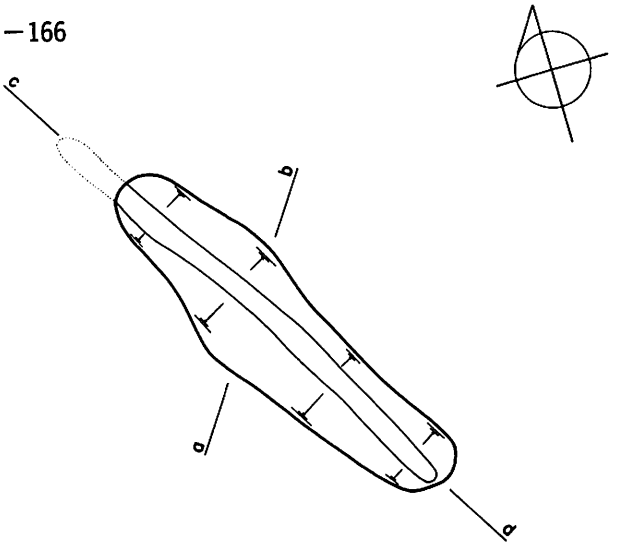
T－165の土層

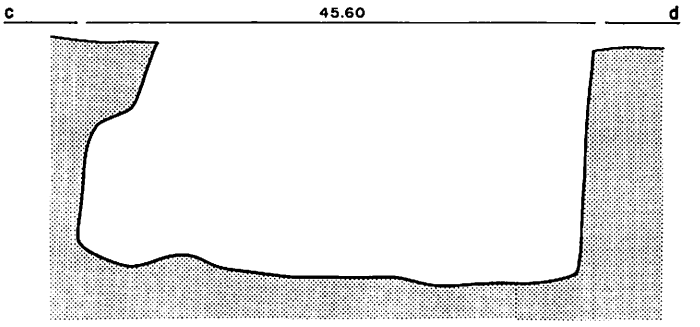
1．茶黒色土（III a＞III b＋V）
2．暗褐茶色土（粘質）　3．1＋V　4．V＞1（暗黄色土、ボソボソ）　5．黒色土（粘質）Vが互層に堆積

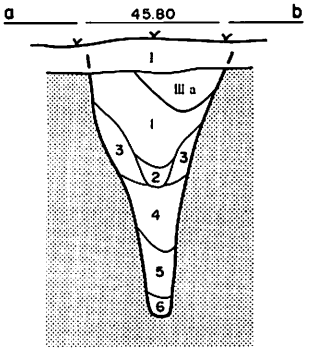
0　1m

図III－443　Tピット実測図(5)

T－166



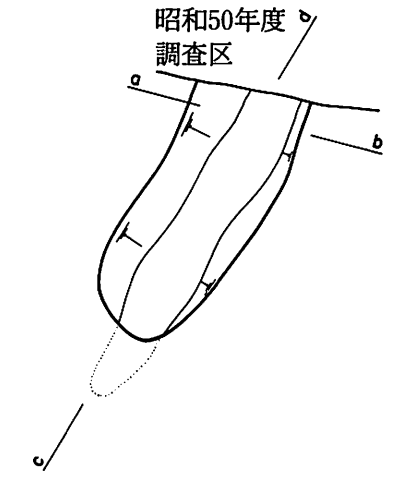


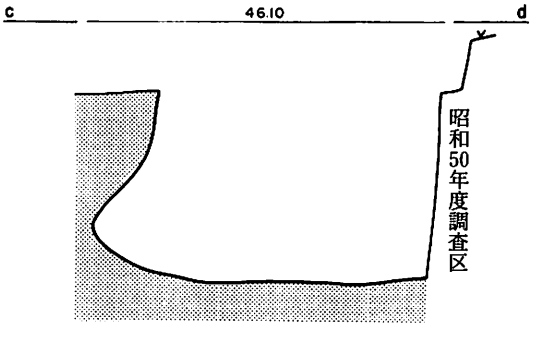


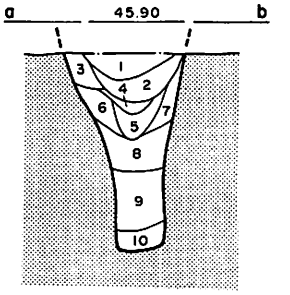
T－166の土層

1．黒褐色土（III a＞III b）　2．暗褐色土（1にVが少量混入）　3．褐色土（1＞V）　4．黄褐色土（1＞V。ボソボソ）　5．暗黄色土（ボソボソ）　6．暗褐色土（軟質）

T－167

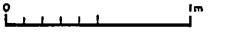






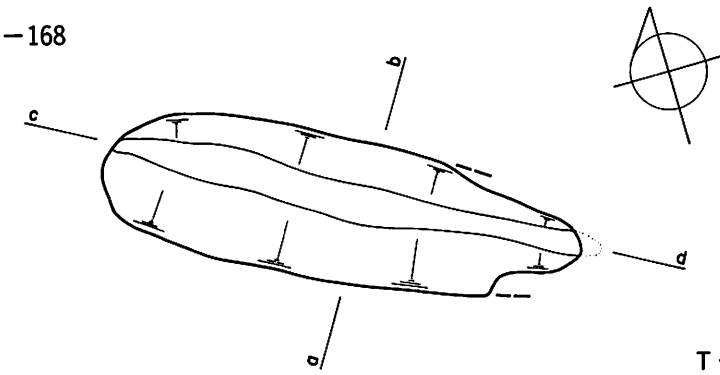
T－167の土層

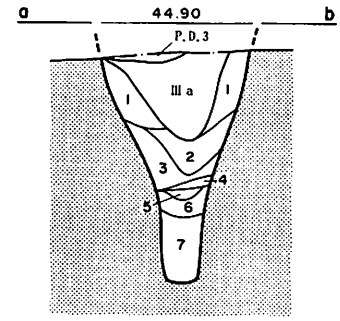
1．暗褐色土（砂質）　2．III a＞III b　3．III b≫V　4．Vがブロック状に混入　5．III a≫V（やや粘質）　6．III b＞V　7．III b＋III a＞V　8．暗黄褐色土（V＜6、少量のIII a混入）　9．V（ボソボソ、暗黄色土）　10．黒色土（粘質）

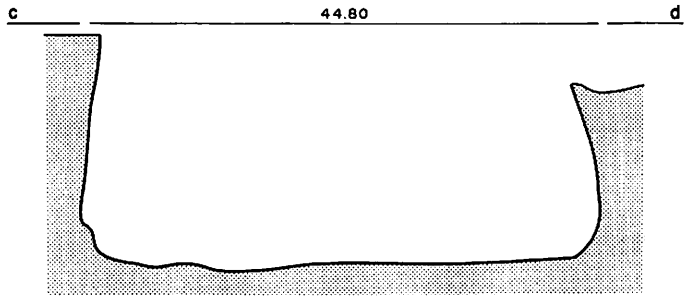


図III－444　Tピット実測図(6)

T－168



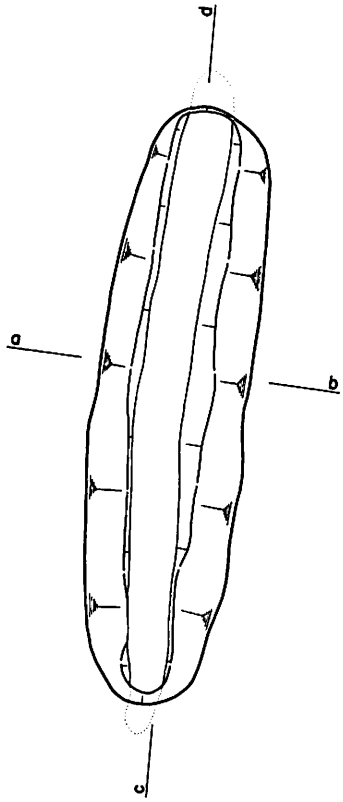


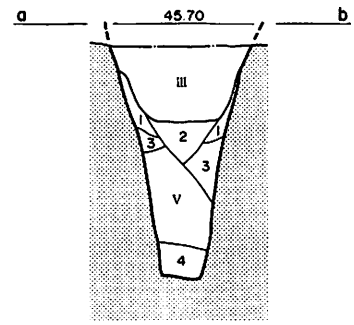


T－168の土層

1．IIIb＞V　2．IIIa＞黄色土粒(ボソボソ)　3．2＋黄色土（ボソボソ）　4．暗黄色土（砂質土）　5．2＞黄色土（ボソボソ）　6．暗黄色土（ボソボソ、黒褐色土少量混入）　7．黒褐色土（黄色土が数層堆積、ボソボソ、黒褐色土は粘質土）

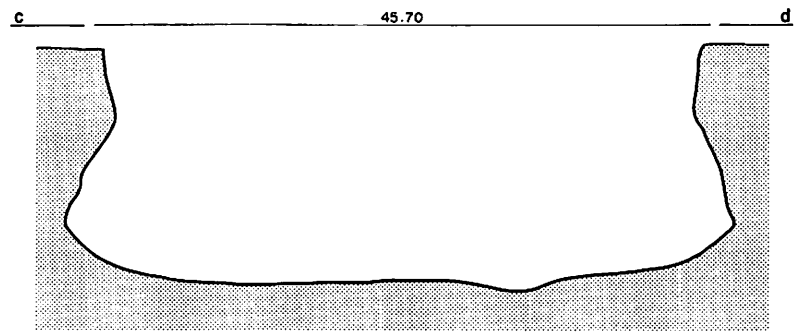
T－169

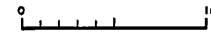




T－169の土層

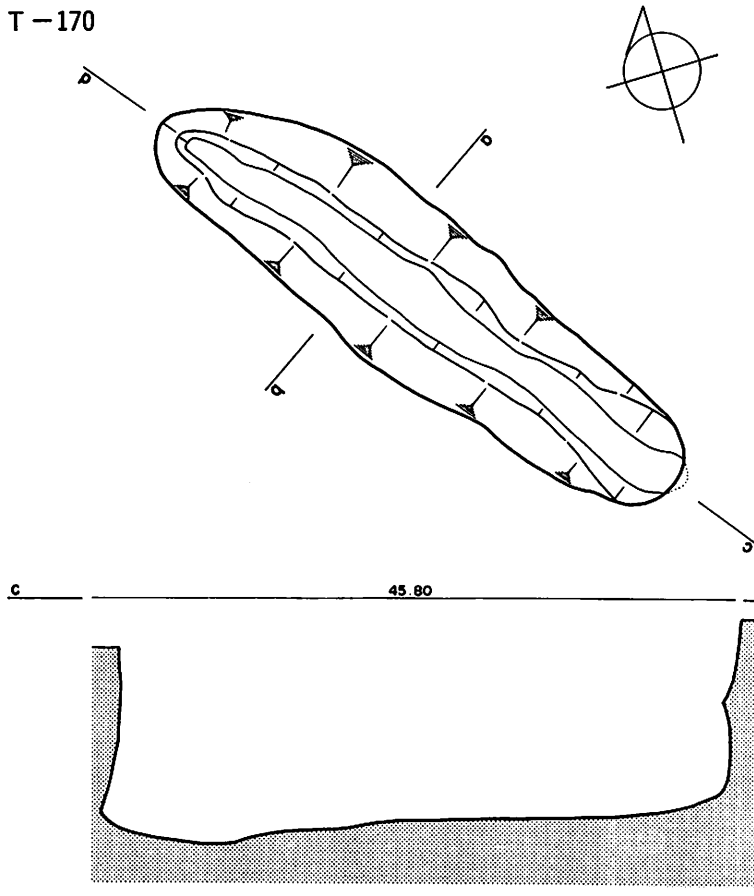
1．暗黄褐色土（III＜V。粒子細かい、しまり中、粘性やや高い、軽石粒3～5㎜）　2．暗褐色土（III＞V。粒子細かい、しまり中、粘性やや高）　3．暗黄褐色土（V＞III。粒子細かい、しまり強、粘性高い）　4．黒色土層(III＞V。粒子細かい、しまり弱、粘性高い、軟質)

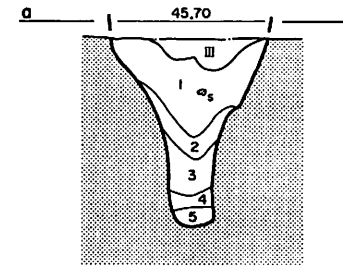




図III－445　Tピット実測図(7)

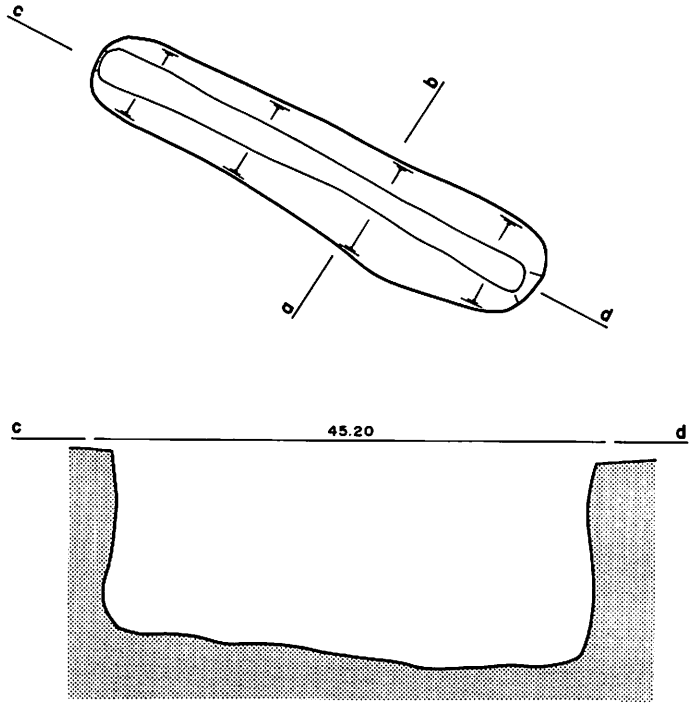
T－170

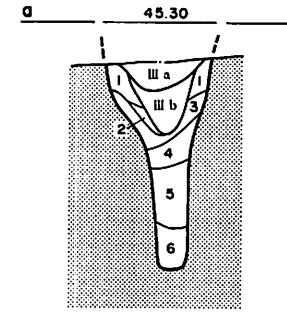




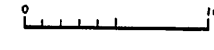
T－170の土層
1．黒褐色土(III a＞V。ローム粒少１㎜～３㎜　粒子細かい、しまり中、粘性やや高)
2．暗黄褐色土（III≒V。粒子細かい、しまり中、粘性やや高）　3．黒灰色土（黒褐色土＞黄褐色土。粒子細かい、しまり中、粘性やや高）　4．黄褐色土（V＞III。粒子細かい、しまり中、粘性やや高）
5．黒色土（III＞V。粒子細かい、しまり中、粘性やや高、軟質）

T－171



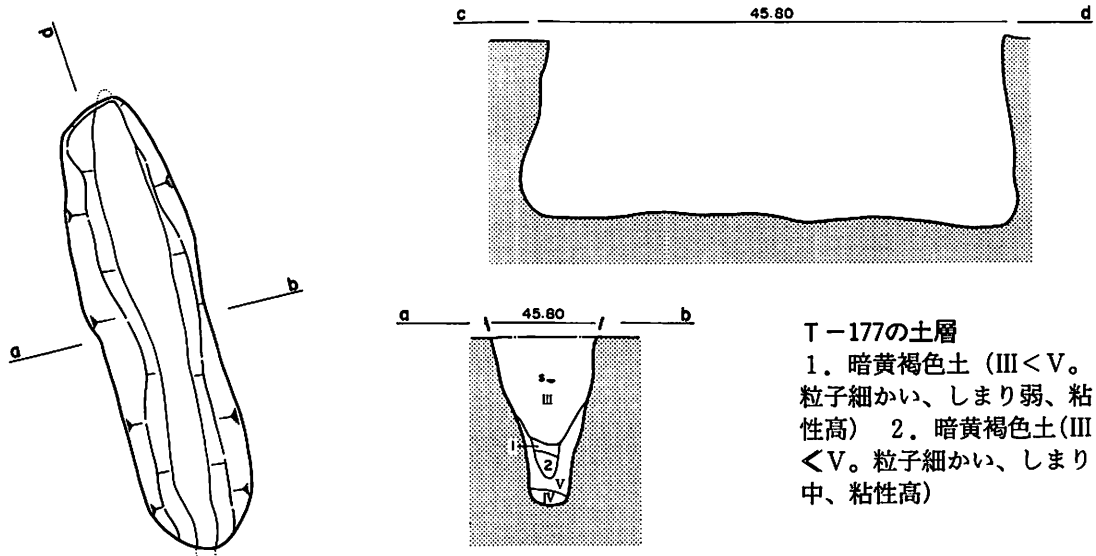


T－171の土層
1．IIIb＞V（暗褐色土、ややかたい）
2．IIIb＞V（３よりVが若干多い、暗褐色土）　3．IIIb＞V（軟質、暗褐色土）　4．IIIb＞V（ボソボソ）　5．IIIb＋V（ボソボソ）　6．IIIaとVが互層に堆積（ボソボソ）



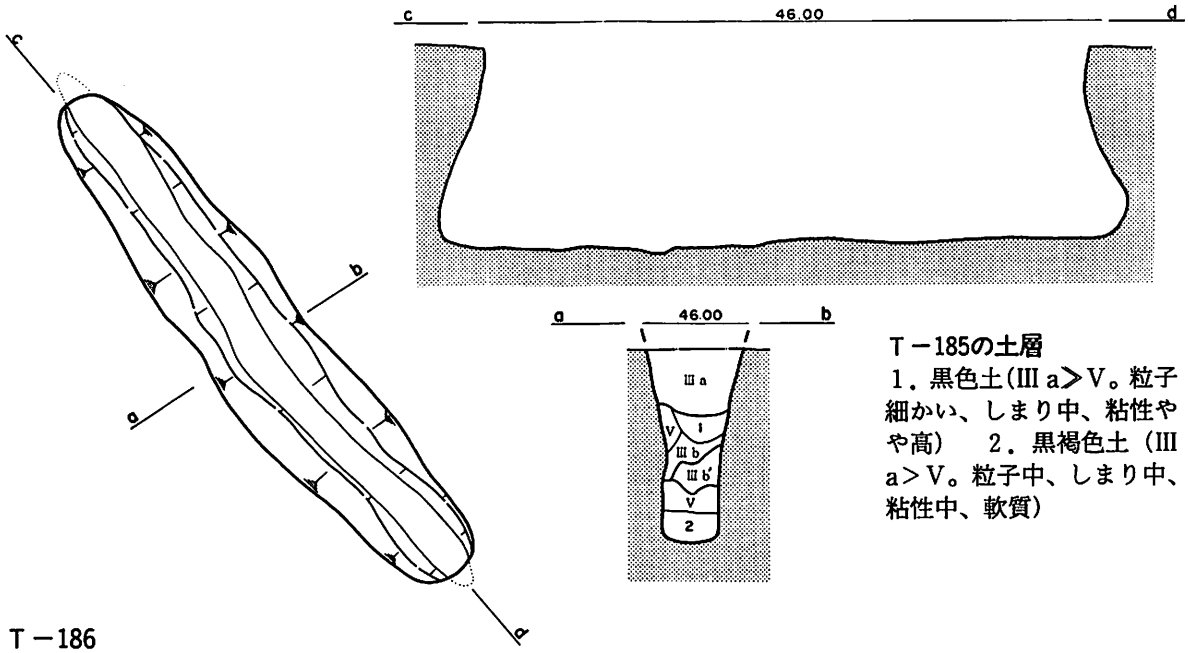
図III－446　Tピット実測図(8)

T－177



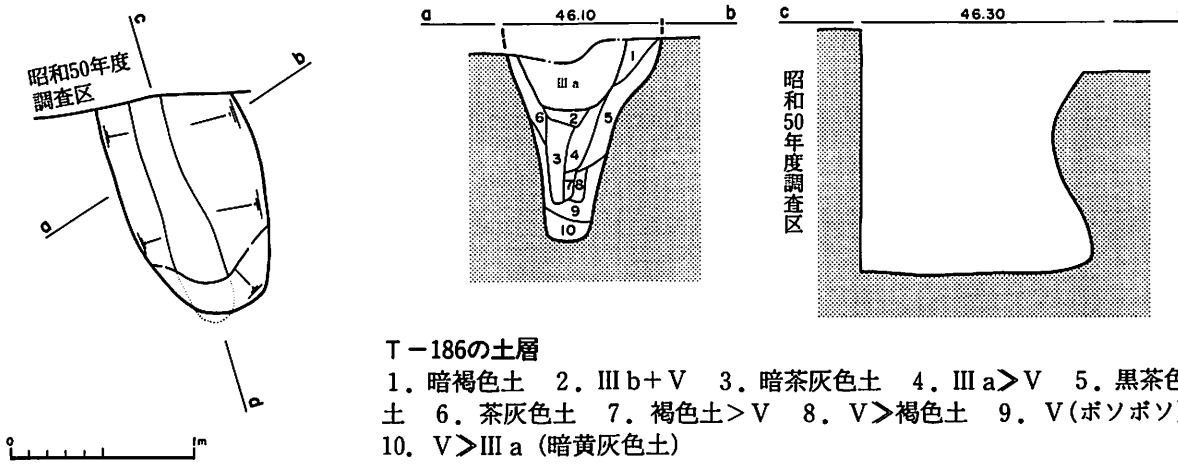
T－177の土層
1．暗黄褐色土（III＜V。粒子細かい、しまり弱、粘性高）　2．暗黄褐色土(III＜V。粒子細かい、しまり中、粘性高)

T－185



T－185の土層
1．黒色土(III a＞V。粒子細かい、しまり中、粘性やや高)　2．黒褐色土（III a＞V。粒子中、しまり中、粘性中、軟質）

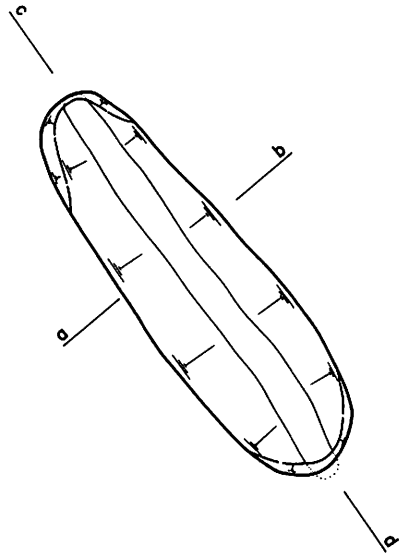
T－186

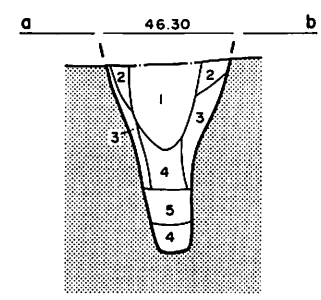


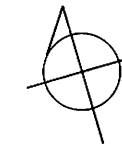
T－186の土層
1．暗褐色土　2．III b＋V　3．暗茶灰色土　4．III a＞V　5．黒茶色土　6．茶灰色土　7．褐色土＞V　8．V＞褐色土　9．V(ボソボソ)　10．V＞III a（暗黄灰色土）

図III－447　Tピット実測図(9)

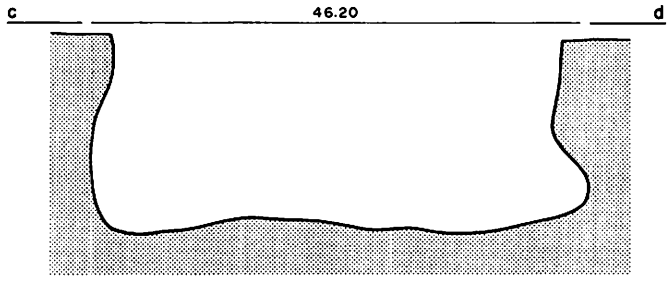
T－187



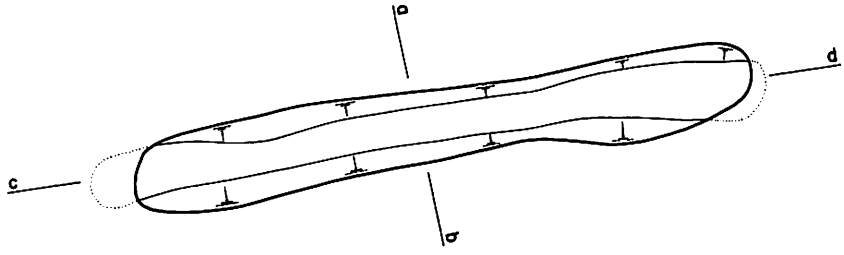


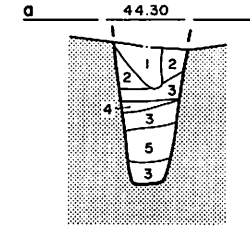


T－187の土層
1．IIIa＞IIIb(黒褐色土)　2．IIIb＞V(褐色土)　3．V＞IIIb　4．淡褐色土(V＋III。軟質)　5．暗黄色土（ボソボソ）

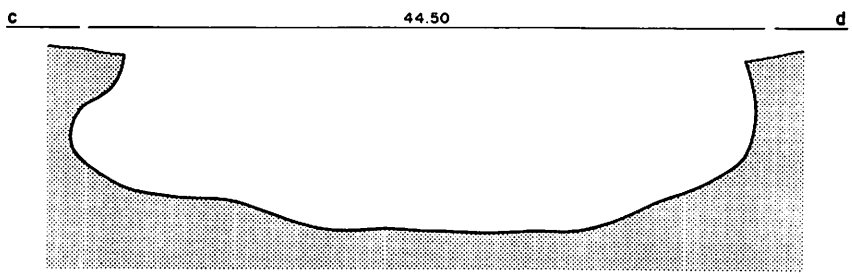


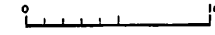
T－189





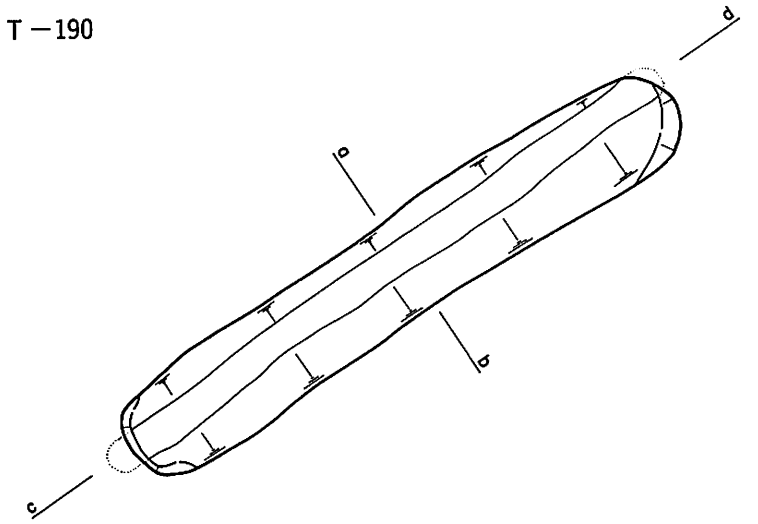
T－189の土層
1．黒茶色土（V混入、粘質）　2．V＞1（砂質）　3．黒褐色土(軟質)　4．V(砂質)　5．3＋4(混合土)

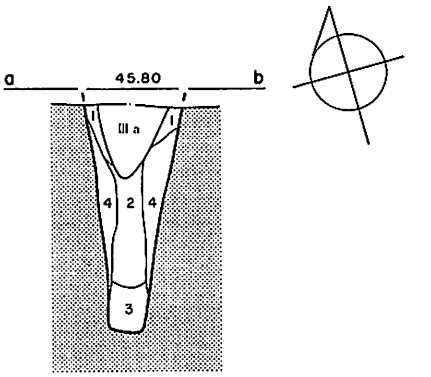




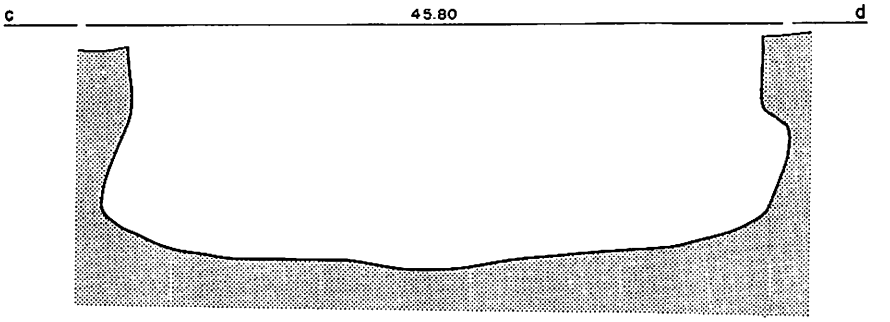
図III－448　Tピット実測図(10)

T－190

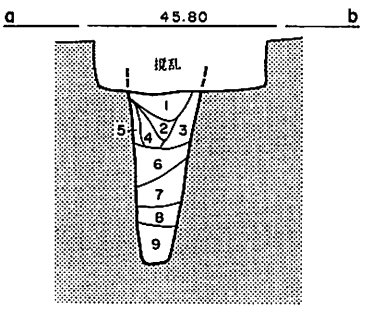


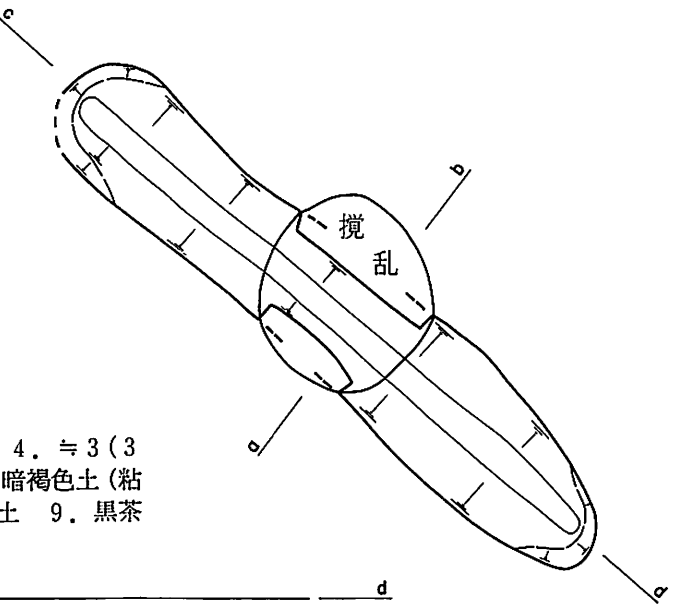


T－190の土層
1．III b＞V（暗褐色土）
2．黒色土（軟質）
3．暗茶褐色土（砂質）
4．V≫3

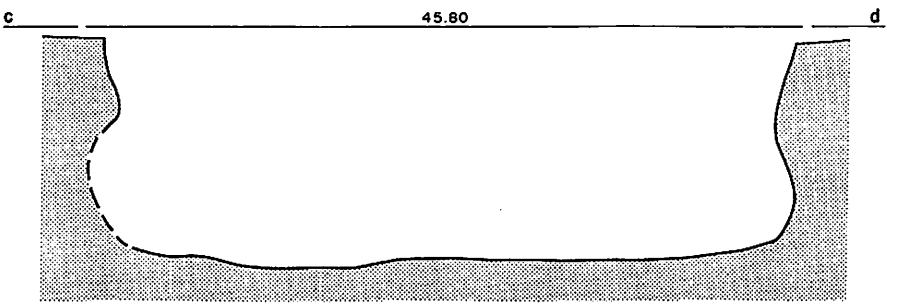


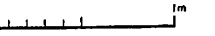
T－191





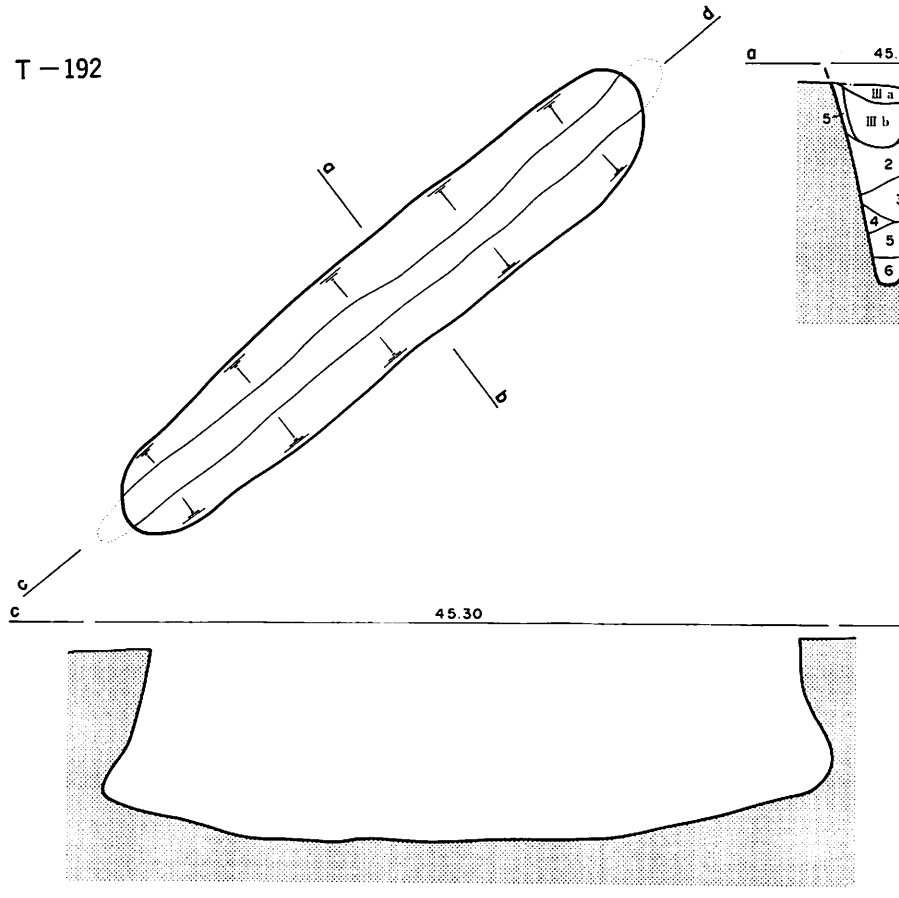
T－191の土層
1．黒褐色土　2．V＋III a　3．III a＞V　4．≒3（3よりIII a多い）5．暗黄色土（V≫4）　6．暗褐色土（粘質）　7．暗黄色土（粘質）　8．暗茶灰色土　9．黒茶灰色土





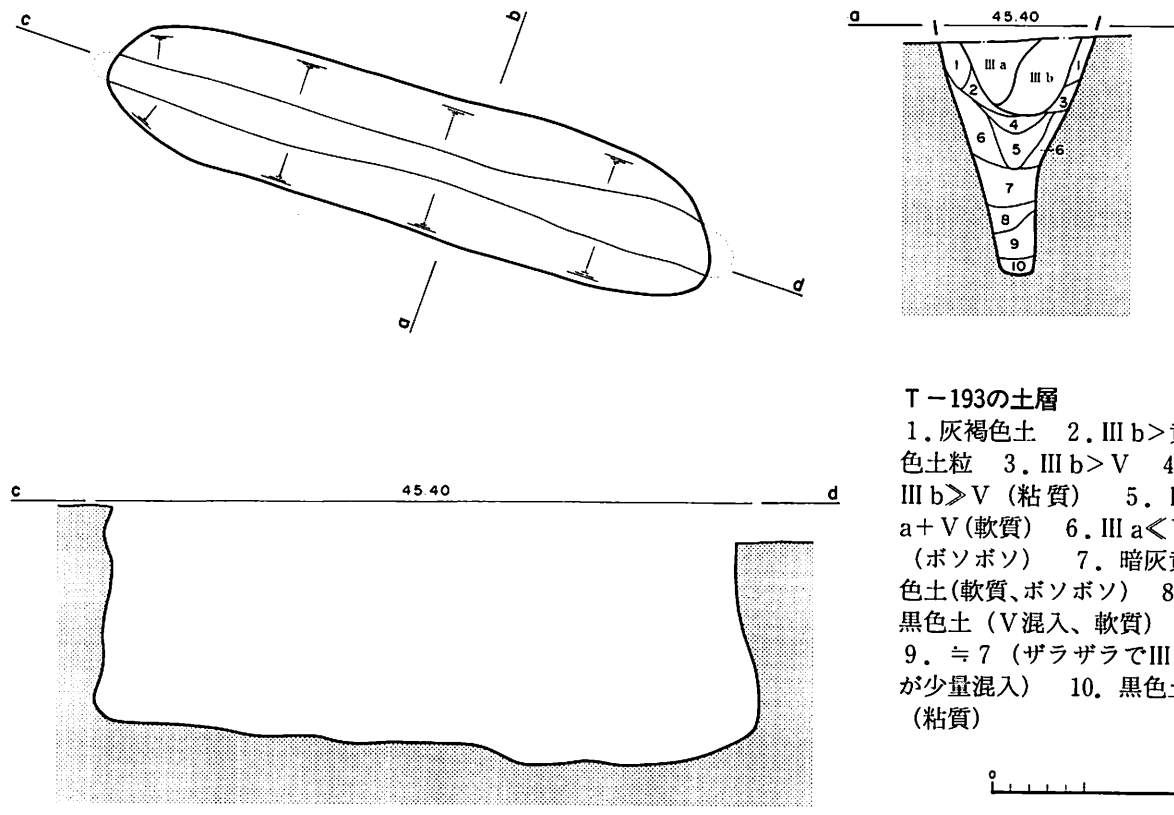
図III－449　Tピット実測図(11)

T－192



T－192の土層
1．III b≫V　2．III b＋V（軟質、ボソボソ）　3．黒褐色土(軟質)　4．褐色土≫V　5．暗黄色土（砂質、軟質）　6．黒褐色土

T－193



T－193の土層
1．灰褐色土　2．III b＞黄色土粒　3．III b＞V　4．III b≫V（粘質）　5．III a＋V(軟質)　6．III a≪V（ボソボソ）　7．暗灰黄色土(軟質、ボソボソ)　8．黒色土（V混入、軟質）　9．≒7（ザラザラでIII aが少量混入）　10．黒色土（粘質）

図III－450　Tピット実測図(12)

(5)Tピット出土の遺物

i）土器（図III－451～454，図版117・118・153～155）

T－1

1～3はI群D1類土器である。1は平縁の口縁部破片。指頭により粘土を摘まみあげている。内外面はナデ調整。2は波状口縁の波頂部破片で、口唇端部はほぼ角形で上面には櫛歯状の貝殻腹縁文が斜位に施される。外面はすり消し条痕文、文様は沈線文と刺突文が施される。3は波状口縁の波頂部破片である。口唇部は角形、文様は貝殻腹縁文で描かれ、口縁部内面は押引文が施される。

T－28

1～3はI群D1類土器である。1は平縁の口縁部破片。口唇部は外傾し、断面は三角に肥厚する。外傾する面には斜位に貝殻腹縁文が施され、口縁部文様と合わせる羽状の文様構成で、内面はナデ調整後に条痕。2は平縁の口縁部破片。口唇部は外傾し、横位に2段の貝殻腹縁文が施される。外面はナデ調整、内面は条痕。3は平縁の口縁部破片。口縁部は僅かに外反する。口唇部は外傾し、外傾する面には縦位に連続移動文、口縁部内面には押引波状文が施される。文様帯は鋸歯状沈線で区画され、胴部には押引文が施される。内面はナデ調整。補修孔が見られる。

T－67

1～7はI群D1類土器である。1は波状口縁の波頂部破片で、口唇部は外傾する。波頂部から刺突が垂下し文様帯は2条の鋸歯状沈線によって横位区画され、貝殻腹縁文で菱形の文様構成を描く。口縁部内面は連続波状文が施される。胴部内外面はナデ調整。2は平縁の口縁部破片。貝殻腹縁文で施文され、胴部はすり消し条痕。口縁部内面は横位条痕で、胴部内面はナデ調整。3ミニチュア土器の平縁の口縁部破片。沈線と刺突で文様が構成される。4は口唇部の外方を爪型のヘラ状工具により粘土を左右に摘まみあげるもので、内外面はナデ調整。5は波状口縁の破片で波頂部が欠損する。口唇部は丸形、鋸歯状沈線で区画され、貝殻腹縁文が鋸歯状に充填される。6は平縁の口縁部破片。櫛歯状に加工された貝殻により施文される。内面は斜位に条痕を施したあと、口唇部内面に横位に条痕を施す。7は角筒方形を呈すると推定される胴部破片で、屈曲部に縦位の隆帯がつき、隆帯上に刺突が垂下する。文様は楕円刺突の施された沈線により区画され、貝殻腹縁で施文される。

T－68

1～4はI群D1類土器である。1は無文。波状口縁の立ち上がり部分の破片で、口唇部は外傾する。内外面はナデ調整。2は沈線と刺突で文様が構成される。内面の背圧痕からD1類に分類した。3は平縁の口縁部破片で、口唇部は外傾する。口縁部文様は貝殻腹縁、胴部は殻表による施文で使い分けされている。4は波状口縁の波頂部破片で頂部が欠損している。口唇部は外傾し、外傾する面はナデ調整される。口唇の外側は連続移動文、文様は貝殻腹縁文で菱形を描く。内面ナデ調整。

T－69

1～3はI群D1類土器である。1は波状口縁の波頂部破片で頂部が欠損している。口唇部は外傾する。文様は横位の刺突と波頂部から垂下する刺突によって区画される。2は無文の波状口縁の破片で、口唇は外傾する。内外面はすり消し条痕。3は平縁の口縁部破片で、口唇部は丸形、横位の貝殻腹縁文と刺突が施される。内外面はナデ調整。

T－70

1～4はI群D1類土器である。1は底部破片で乳房状尖底。胴部下半まで横位の貝殻腹縁文が施される。2は波状口縁の波頂部破片で、外面は背圧痕文、内面はすり消し条痕文が施される。補修孔が貫通する。3は波状口縁の波頂部破片で、口唇部は丸形、文様帯は波頂部から縦位に垂下する刺突と、

沈線中に刺突が施された沈線で横位区画され、貝殻腹縁文で区画内を充填する。胴部外面には擦痕、内面はナデ調整が施される。４は平縁の口縁部破片、口唇部は丸形で、文様帯は鋸歯状沈線と刺突の施された沈線からなる。内外面はナデ調整が施される。

Ｔ－161

１は平縁で、口唇部は外傾し肥厚する。外傾する面に斜位の貝殻腹縁文が施される。口唇部の腹縁文と口縁部の羽状の腹縁文がセットになる。内面はナデ調整。

Ｔ－162

１～３はＩ群Ｄ1類土器である。１は平縁で口唇部は外傾する。外傾する面に施された斜位の貝殻腹縁文と、口縁部の斜位の腹縁文が組み合い、口唇部と口縁部を利用した１段の羽状文様になる。口縁部内面は押引文。２は平縁で口唇部は外傾する。外傾する面に斜位の貝殻腹縁文、内面はナデ調整。３は平縁で、口縁部は外反気味に開く。内面はすり消し条痕。

Ｔ－163

１～４はＩ群Ｄ1類土器である。１は波状口縁で、口唇部は外傾する。外傾する面に施された斜位の貝殻腹縁文と口縁部文様帯の羽状構成が組み合い羽状文様になる。波頂部は菱形の構成となっている。胴部は背圧痕が施される。内面はナデ調整。２は波状口縁の副突起部破片で、口唇部は丸形。文様は外面の端部に貝殻腹縁の連続移動文。沈線にそって貝殻腹縁刺突が施される。内外面はすり消し条痕。３は平縁で口唇部が僅かに内湾する。文様帯は横位の刺突列を軸に、貝殻腹縁文が羽状の構成をとる。内面は条痕。４は平縁で口唇部は丸形、文様は縦位と横位の刺突を軸に三角形を描く。内面はすり消し条痕。ススが付着する。

Ｔ－164

１～３はＩ群Ｄ1類土器である。１は波頂部の立上り付近の口縁部破片で、口唇部は丸形。文様は貝殻腹縁文で描かれる。内面にスス付着。２は平縁の口縁部破片で、口唇部は角形、外面はナデ調整後、不整方向の条痕。内面は条痕。３は口唇端部は丸形、口唇下部を強く横位にナデて口唇外方を肥厚させる。内面はすり消し条痕。外面はナデ調整。４はＩ群Ｅ類土器の胴部破片である。縦位・横位の集合沈線によって文様が描かれている。内面はヘラナデ。５はＩ群Ｅ類土器の胴部破片である。不整方向の集合沈線によって文様が描かれている。内面はナデ調整。

Ｔ－165

１～７はＩ群Ｄ1類土器である。１は平縁の無文土器である。口唇端部に６ヵ所の凹みがある。土器成形時に口縁部を下方に向け置いていた時の痕跡と考えられる。内面は条痕。２は波状口縁を呈す。波頂部から貝殻腹縁文が垂下する。文様帯下位は押引文、胴部には殻表の背圧痕文が施される。３は４と同一個体、中央に補修孔がある。４は平縁の口縁部破片で、口唇部は外傾する。外傾する面には刺突が２段に施される。口縁部内面には押引波状文が施される。胴部内外面はナデ調整。５は波頂部の立上り付近の口縁部破片で、口唇部は外傾する。胴部はすり消し条痕文で内面はナデ調整。６は平縁の口縁部破片で、口唇部は角形。口縁部内外に連続波状文が施される。胴部内外面はナデ調整。７は平縁の口縁部破片で、口唇部は丸形。胴部に背圧痕文が施される。内面はすり消し条痕。

Ｔ－166

１・２はＩ群Ｄ1類土器である。１は平縁の口縁部破片で、口唇部は角形。口唇部外方に爪形のキザミが施される。胴部には斜位の条痕が施されるがナデ調整によってすり消される。内面はナデ調整。２は平縁の口縁部破片で、口唇部が丸形。端部は摘まみあげられる。内外面はナデ調整。

Ｔ－168

1～6はⅠ群D1類土器である。1は平縁を呈する。横位の沈線中に刺突が施される。2は平縁の無文土器。口唇部は外傾気味。内面に成形時の爪痕が残る。3は平縁の口縁部破片で、口唇は外傾する。口縁部にヘラ状工具による爪形文が施される。右方向から刺突し粘土を摘まみあげる。爪形文が施された下部をナデにより削る。胴部内外はナデ調整。4は波頂の立上り部分。口唇部は外傾し、口縁部文様は押引文。胴部には背圧痕が施される。粘土の接合痕が内面を下方に外面を上方に引き伸ばす。通常とは逆の方法で接合されている。5は口縁部が僅かに外反する。口唇部に凹みあとが残る。口縁部内面はナデ、内面胴部下半が条痕。6は尖底部で、突起部を持つ乳房状尖底。斜位の条痕が下部付近まで施される。突起周辺は縦位にナデ調整される。

T－169

1～3はⅠ群G類土器である。1は胴部破片で内外面ともナデ調整。縄文は施されていない。厚く、繊維を含み脆い。2は胴部破片。内面はナデ調整。器厚は厚く、繊維を含み脆い。3は底部付近の破片で外方へ張り出す。

T－170

1はⅠ群D1類類土器である。平縁の口縁部破片で、口縁部が僅かに外反する。櫛歯状の貝殻腹縁文で施文される。口縁部内面は条痕、胴部内外はナデ調整。

T－171

1～5はⅠ群D1類土器である。1は波状口縁を呈する。口唇部は外傾気味の丸形、波頂部から刺突が垂下する。口縁部に背圧痕文が文様帯として横環するようである。胴部はナデ調整。口縁部内面は横位の条痕、胴部内面は斜位の条痕が施される。2は平縁の口縁部破片、口唇部は丸形。爪形のヘラ状工具により粘土が左右に摘まみ出される。内面すり消し条痕、外面ナデ調整。3は平縁の口縁部破片、口唇部は先細りの丸形。文様は横位の貝殻腹縁文、胴部に背圧痕文。内面は条痕。4は波状口縁の波頂部立上がり部分、口唇部は角形。刺突を連続し菱形の構成を描く。5は平縁の口縁部破片、口唇部は外傾する。文様は鋸歯状沈線の屈曲ごとに刺突を施し、胴部に押引文を施す。口唇部内面に斜位、口縁部内面には縦位の連続移動文を施す。

T－177

1はⅠ群D1類土器である。平縁の口縁部破片、口唇部は丸形で端部で折り返されている。外面ナデ、内面すり消し条痕。2はⅠ群E類土器の胴部破片である。斜位、横位に条痕が施される。胎土からE類と判断した。3はⅠ群E類土器の胴部破片である。内外面ともナデ調整されている。胎土からE類と判断した。

T－187

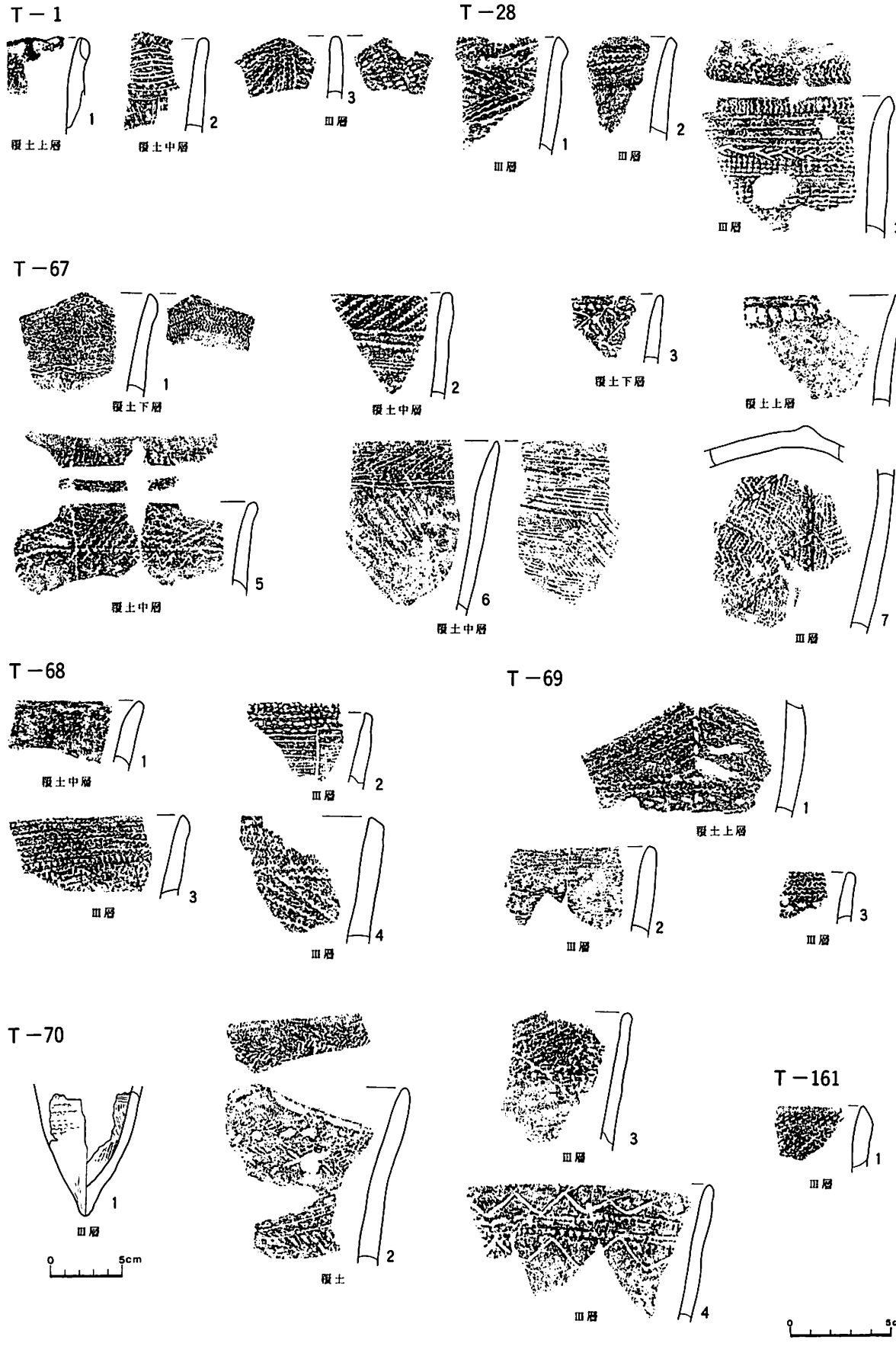
1はⅠ群D1類土器である。尖底部が鋭角である。

T－189

1～4はⅠ群D1類土器である。1は平縁口縁の無文土器。口縁部は僅かに外反する。口唇部は外傾する面を持つ。内面の条痕は下半まで施される。2は平縁の口縁部破片で口唇部は先細りの丸形。内外面はナデ調整。3は平縁の口縁部破片で、口唇部は先細りの丸形。口縁部に刺突が横環し、内外面はナデ調整が施される。4は波状の口縁部破片で、口唇部は外傾する。内面は剝落している。沈線中に刺突が施される。

T－192

1～6はⅠ群D1類土器である。1は波状口縁を呈す。口唇部は外傾する。口縁部内外に殻表の押引波状文を施す。波頂部下位で菱形の文様構成をとり、鋸歯状沈線で横位区画する。胴部内外面はナデ

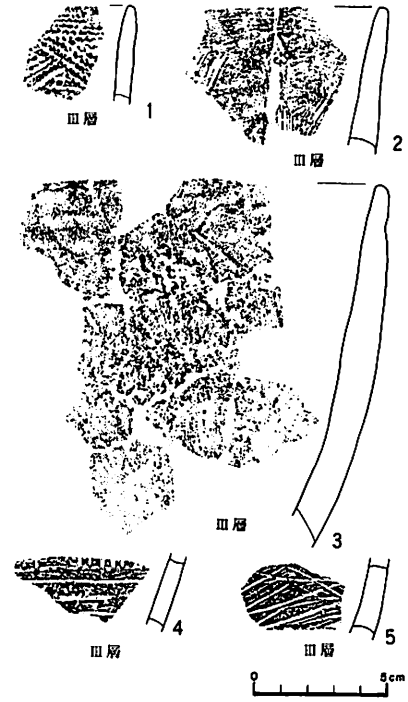


図III－451　Tピット出土土器(1)

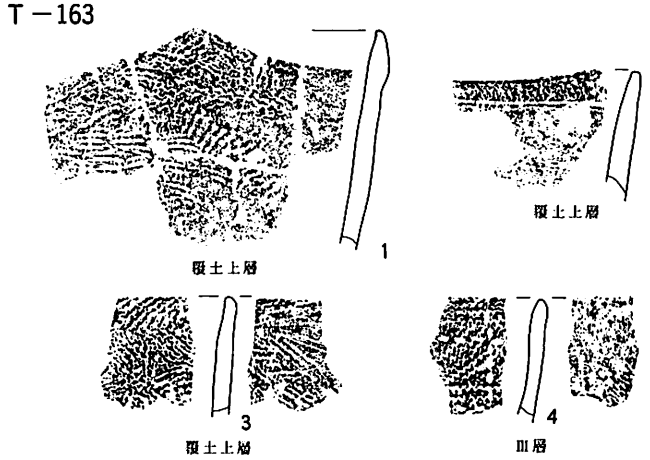
T－162



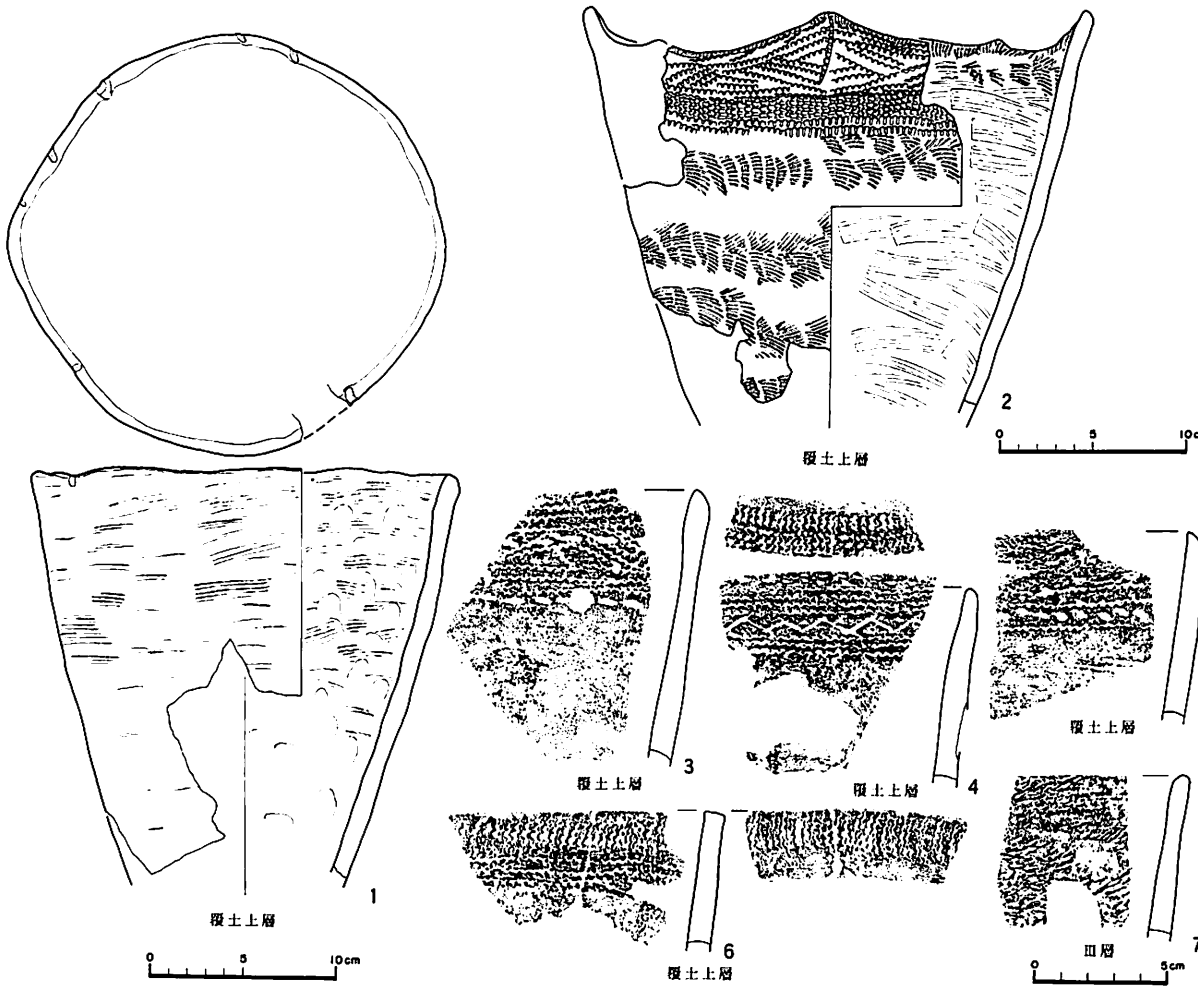
T－164



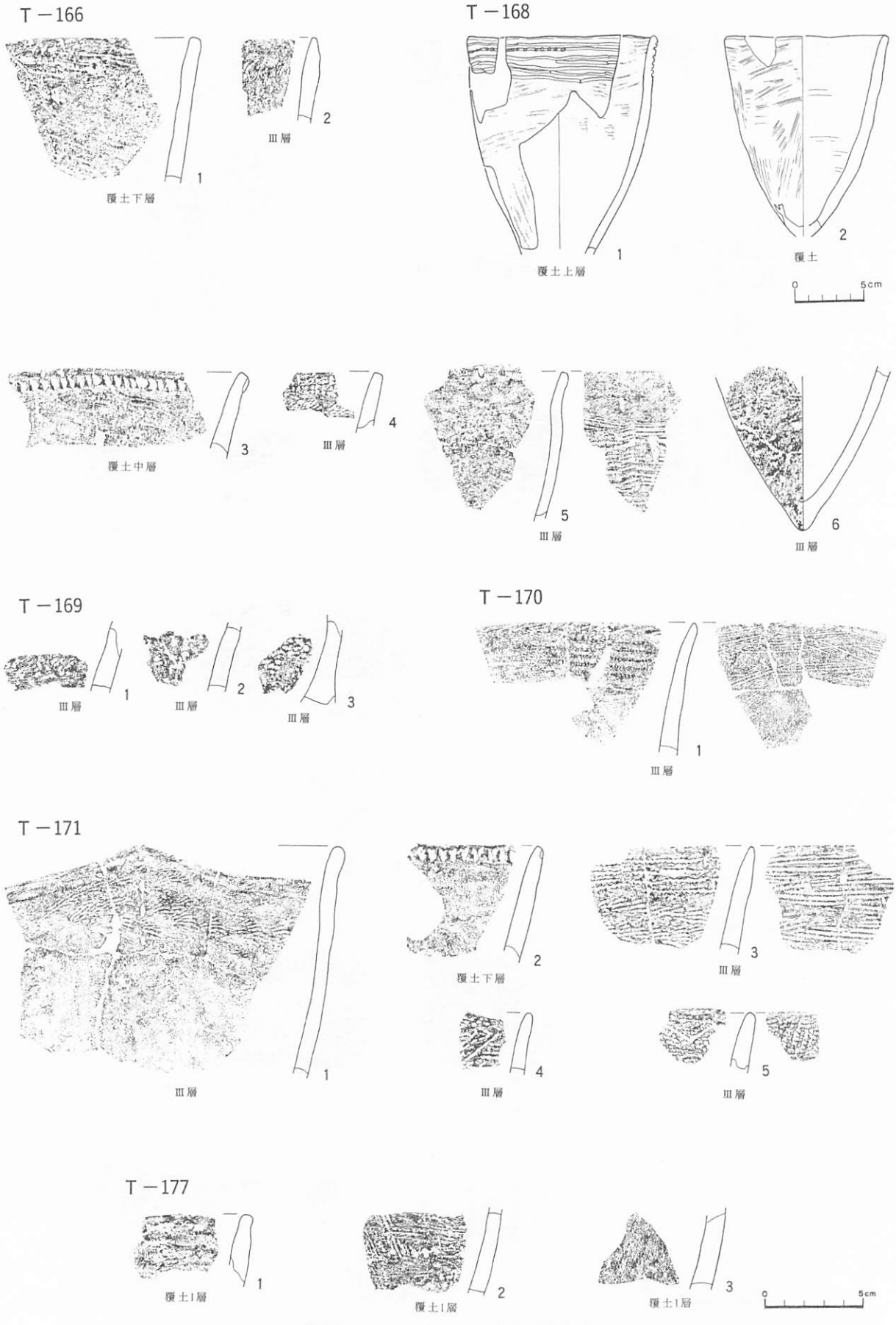
T－163



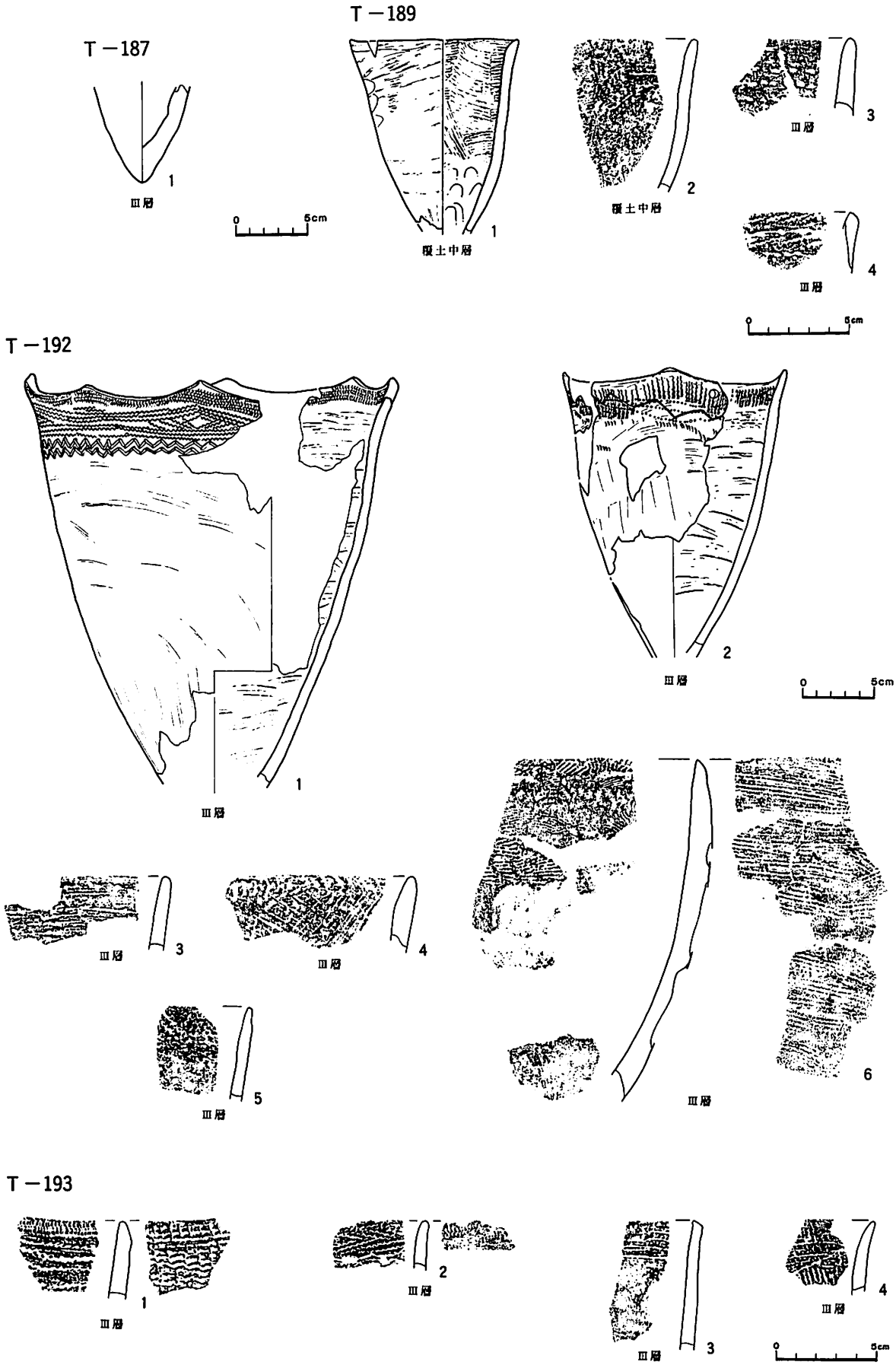
T－165



図III－452　Tピット出土土器(2)



図Ⅲ－453　Tピット出土土器(3)



図III－454　Tピット出土土器(4)

調整が施される。2は波状口縁を呈す。口唇部は先細りの丸形。口縁部には縦位の貝殻腹縁文とそれに伴う施文時の爪形が残る。鋸歯状沈線と刺突で文様が描かれる。胴部内外面はナデ調整が施される。3は平縁の口縁部破片で、口唇部は丸形。外面は横位条痕。内面はナデ調整が施される。4は平縁の口縁部破片で、口唇部は丸形。口唇外側に縦位の貝殻腹縁文が施される。櫛歯状の腹縁で鋸歯状の文様構成。5は平縁の口縁部破片で、口唇部は先細りの丸形。鋸歯状に貝殻腹縁文がめぐる。内外面はナデ調整が施される。6は平縁の口縁。口唇部は外傾する。口縁部は殻表の殻頂部付近の肋筋の細い部分で、意識的に細かい背圧痕が施される。体部は殻表の大きい背圧痕で区別している。内面は斜位に条痕が施される。

T－193

1～3はI群D1類土器である。1は波状の口縁部破片で、口唇部は外傾する。外傾する面には押引文が施される。口縁部内面にも押引文が2段に施される。2は平縁の口縁部破片。口唇部は先細りの丸形。口縁部文様は羽状構成。鋸歯状沈線で横位区画される。口縁部の内面は連続移動文と、それに伴う施文時の爪形が残る。3は波状の口縁部破片。口唇部は外傾する。内外面はナデ調整が施される。4はI群E類土器である。小波状の口縁部破片。口唇部は先細りの丸形。縦位の条痕と横位の条痕が施される。器厚は薄い。　（冨永　勝也）

ii）石器（図III－455，図版197）

T－1

1は1類のすり石で平坦面にもすり痕を残す。

T－67

1は石匙、2は砥石である。

T－162

1は石錐で機能部は丁寧に作り出される。

T－163

1は2b類の石匙。2は台石と思われる。

T－164

1は石匙でつまみ部は小型で扇形を呈する。

T－165

1は石槍である。　（笠原　興）

(6)焼土

F－17

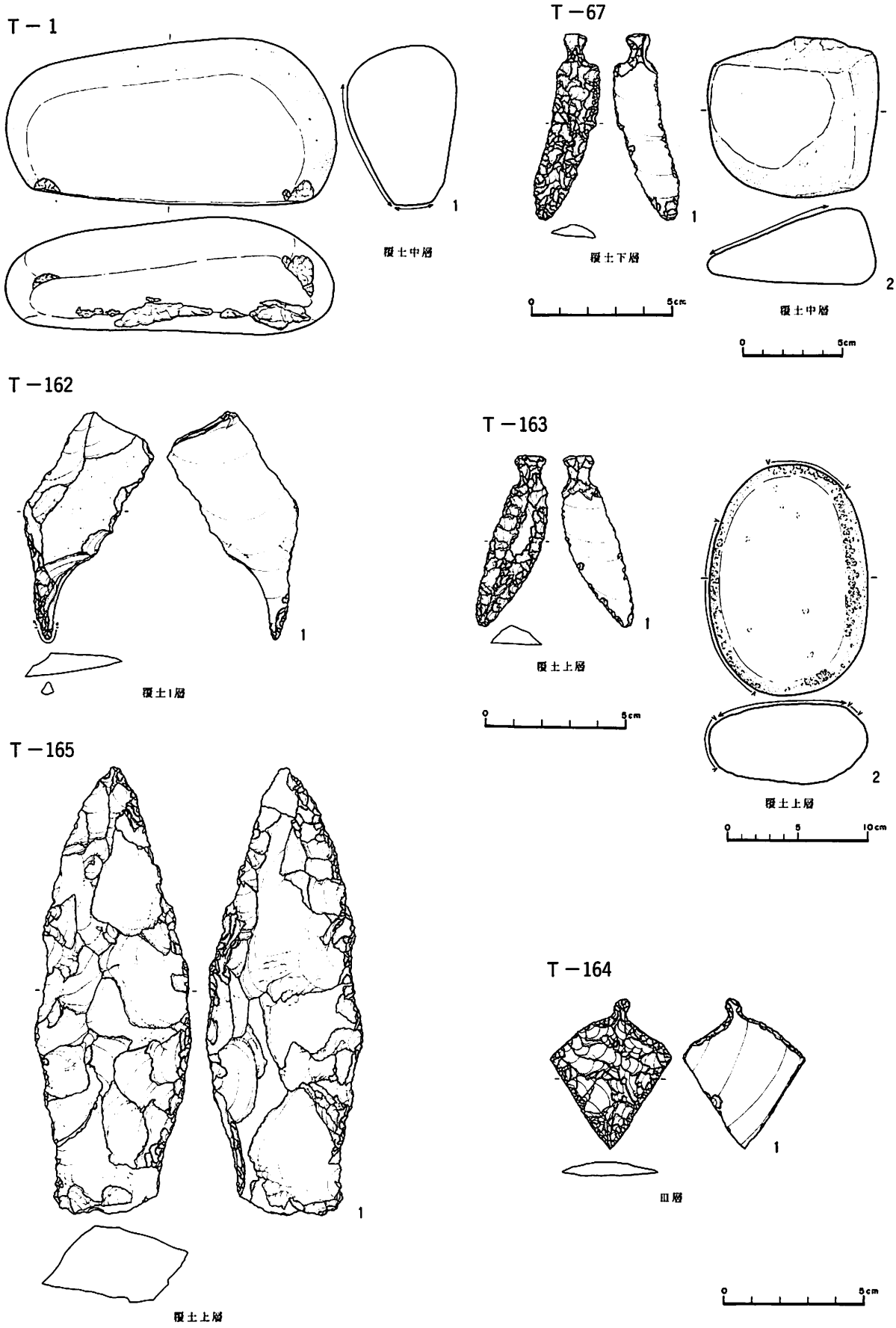
位置：42－37。H－457と防空壕の切り合い部より約50cm東側の壁面中に位置している。標高は約45.25mである。H－457の北側はH－522と重複する。

確認：南北に設定したH－457の土層観察用ベルト精査後、床面からの壁の立ち上がりを調査中、壁面で検出した。

形状：平面形は、長軸約30cm、短軸約20cmの楕円形である。長軸方向は北東－南西である。

層位：層厚約20cmの赤橙色焼土である。明瞭な掘り込みは認められない。この上にはIIIb層が堆積し、焼土の下位には火を受けた痕跡はない。

時期：焼土中から遺物は出土していない。周辺遺構および包含層中よりI群D1類土器が出土いていることから、縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（笠原　興）



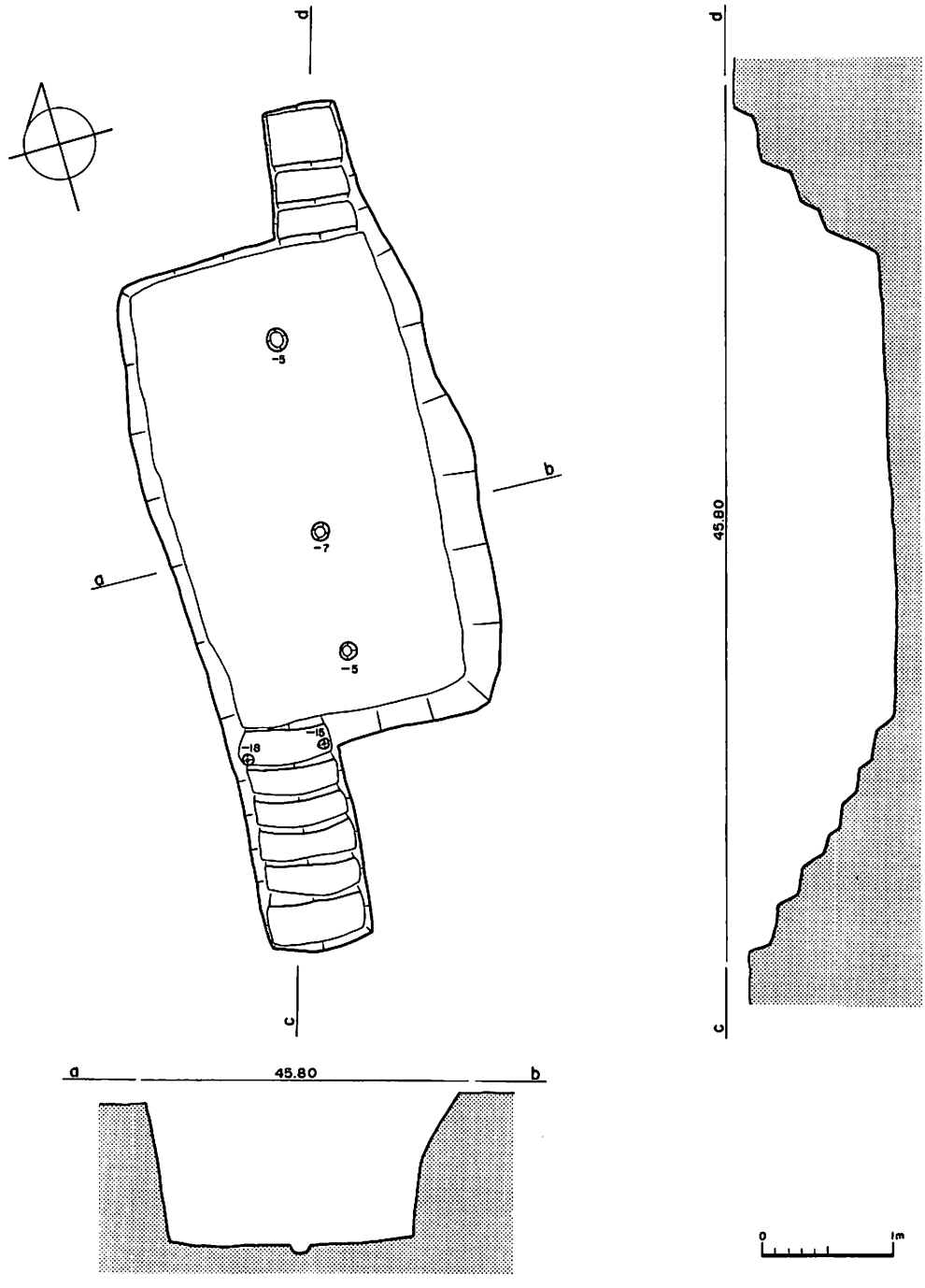
図III－455　Tピット出土石器

(7)その他の遺構（防空壕）（図III－456）

中野B遺跡(II)（北埋調報108）でも報告した第二次世界大戦末期に構築されたものの一つである。実測図を掲載し、検出面での規模、内部構造の概略を記しておく。

42－37･38、検出面での標高は45.30m付近、平坦地に位置している。規模は3.80m／3.52m×2.30m／1.90m、深さ1.14m、長軸方向N－5°－Eである。北東コーナーと南西コーナーに階段があり、北東コーナーのものは3段、南西コーナーのものは6段残っている。階段、床面ともに堅くなっていた。長軸方向中央部には一直線上に3個の柱穴が並んでいる。また南西コーナーの階段の最下段部の両端に杭状の小ピットが1個ずつ検出されている。屋根については、上方が削平されているため不明である。

（和泉田　毅）



図III－456　防空壕実測図

2　E地区（図III－457）

E地区は平成6年度B′地区の北側に隣接し、平成5年度南側の三角地区、B地区、市道石倉6号線にはさまれた地区である。北東から南西へ尾根状の微高地がのび、ここから北西、南東へそれぞれ傾斜し、高低差6mほどあるゆるやかな傾斜地となっている。最終面での標高は42.50m～48.50mである。平成5年度南側三角地区で検出された沢地形が、ほぼ西から東へのびている。60ライン（南北）の東側は牧草地、西側は畑作地として利用されていた。62ライン～73ライン（南北）と20ライン～30ライン（東西）に囲まれた範囲では心土破砕によりV層中まで攪乱されていた。沢地形付近ではIII a層、P.D.3が残存していたが、他は全体にIII b層中まで攪乱されていた。

E地区は遺構確認調査区である。ここからは土壙42基、Tピット23基が発見されたが、遺物は出土していない。

(1)土壙（図III－458～460）

土壙は、尾根状微高地上にあり、調査区南西隅の標高45.80m付近に9基かたまっている。平成6年度B′地区で検出された2基の土壙もこのまとまりの中に含まれるものである。P－78・79・222・224・257・259～261はフラスコ状ピットである。径1m前後、深さ0.60m～0.90mの小型のものである。覆土中および周辺包含層から遺物が出土していないため時期の確定は困難である。ただ規模、形状、覆土の堆積状態などが、平成4・5年度検出のものや平成6年度B′地区検出のものと酷似していることから考えると、I群D1類土器を伴う時期のものと考えて良いだろう。P－223は径0.80m×0.70m、深さ0.16mの長円形状のもので、壙底断面形は皿状である。覆土は自然堆積状のものである。またP－258は径1.60m×1.48m、深さは0.56mの長円形状のもので、断面形は椀状のものである。覆土は汚れた混合土状のものである。ともに遺物は出土していない。性格・用途・時期などは不明である。

（和泉田　毅）

P－78（図III－458，図版75）

位置：47－18　ほぼ南東から北西へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：(1.16)m／(1.00)m×(1.14)m／(0.94)m×0.84m　　**平面形**：円形

検出面：IV層上面で、ほぼ円形の黒色土の落ち込みとして確認した。本遺構の掘り込み面は明確には確認できなかった。

覆土：六層に分層した。P.D.4は認められなかった。落ちこみのIII a・III b層を除去した覆土5層の黄褐色粘質土層は、壁面の地層と同一の土質から、壁の崩落土と考えられる。6層の褐色粘質土は水平に堆積していた。最下層で炭化物の散在は検出されなかった。

壙底：床面はVI層の銭亀火砕流堆積物層の上面まで掘り込まれている。

壁：直立気味に立ち上がるが、覆土5層が崩落土とみられ、フラスコ状と考えられる。

性格・時期：不明　　（冨永　勝也）

P－79（図III－458，図版75）

位置：46－17

規模：0.90m／0.90m×0.85m／0.85m×0.45m　　**平面形**：円形　　**長軸方向**：N－86°－W

検出面：III b層中で検出された。

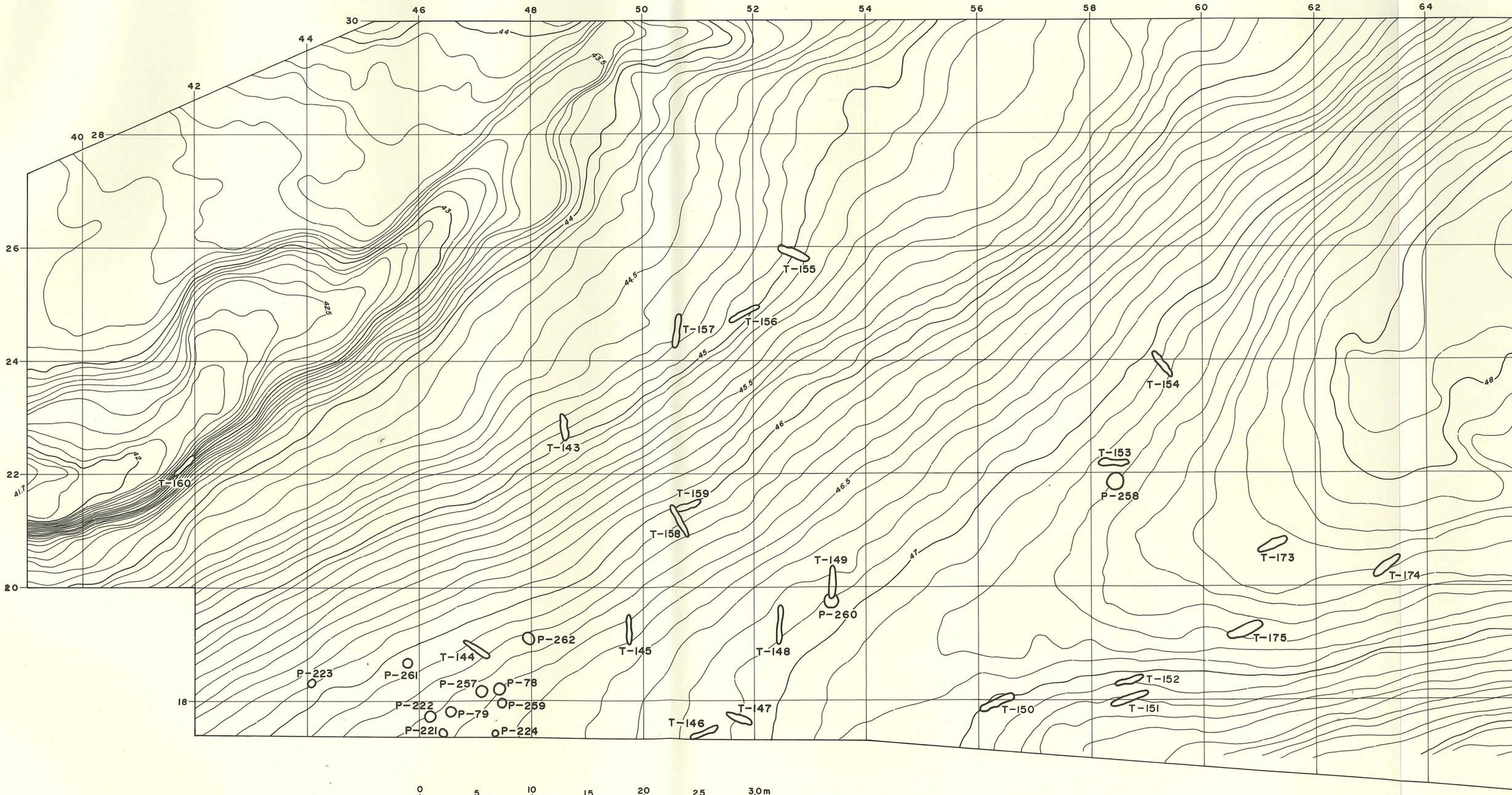
重複関係：なし

覆土：III b 層と黄色土が混じりあった土である。
壙底：V層を掘り込んで構築されている。
壁：壙底から壁中にかけてオーバーハングする部位がある。
遺物出土状況：遺物は出土していない。
性格：小型のフラスコ状ピット
時期：不明　（笠原　興）

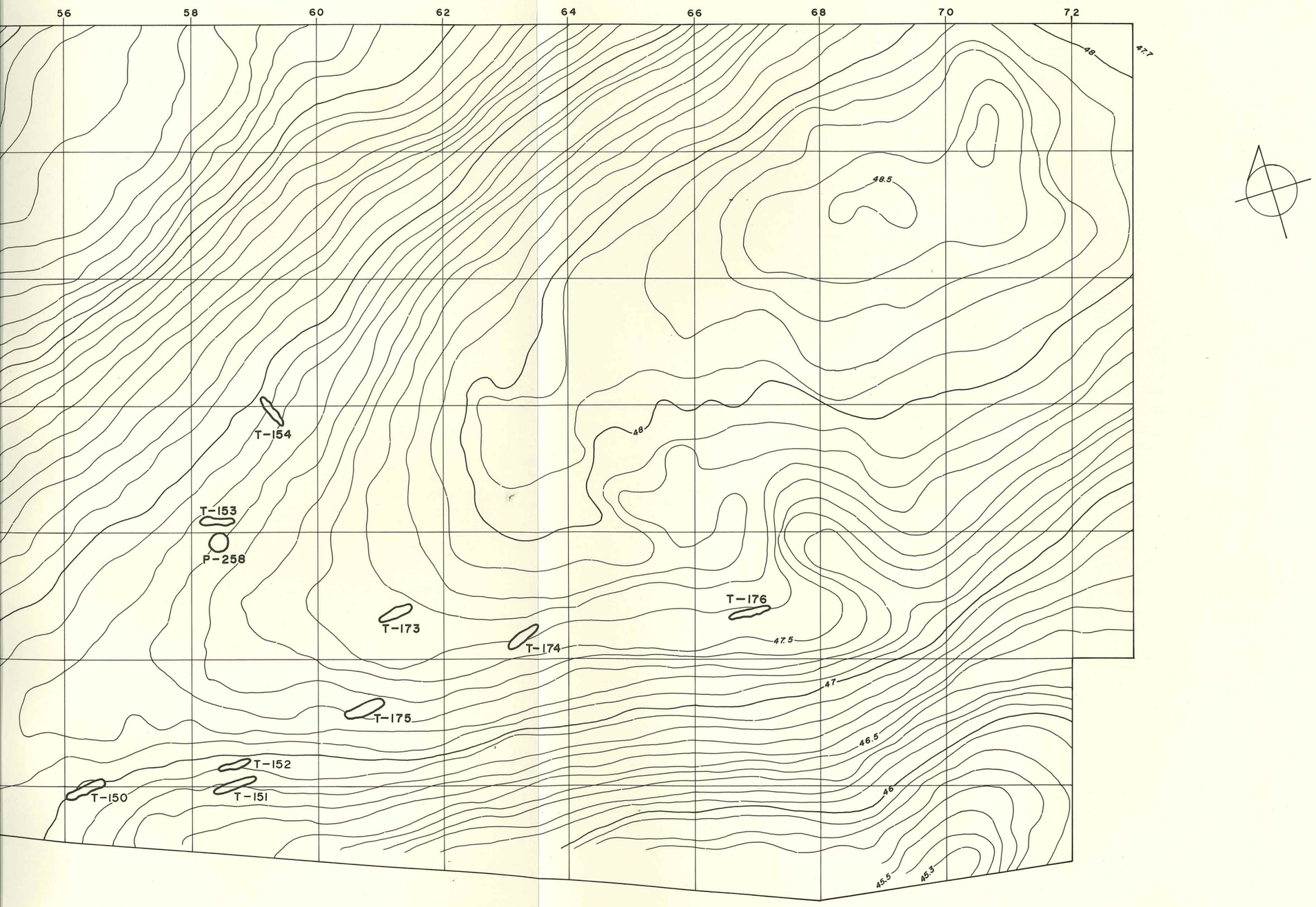
P－221（図III－458，図版75）
位置：46－17　標高46.35m付近、尾根筋の平坦面に位置している。
規模：0.94m／0.78m×0.84m／0.73m×0.84m　**平面形**：楕円形状　**長軸方向**：N－13°－E
検出面：V層上面で暗茶褐色土の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：不明　**重複関係**：なし
覆土：覆土上層は暗茶褐色（混合土）、覆土中層は覆土1層に砂質のV層（明黄灰色土）がやや多く混入し、覆土下層は覆土1層と酷似した暗茶褐色土である。全体に軽石が混入する埋め戻し状の土である。
壙底：V層を深く掘り込んで構築されており、平坦で、堅い。
遺物出土状況：遺物は出土していない。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：確定は難しいが、他との関連で考えるとI群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

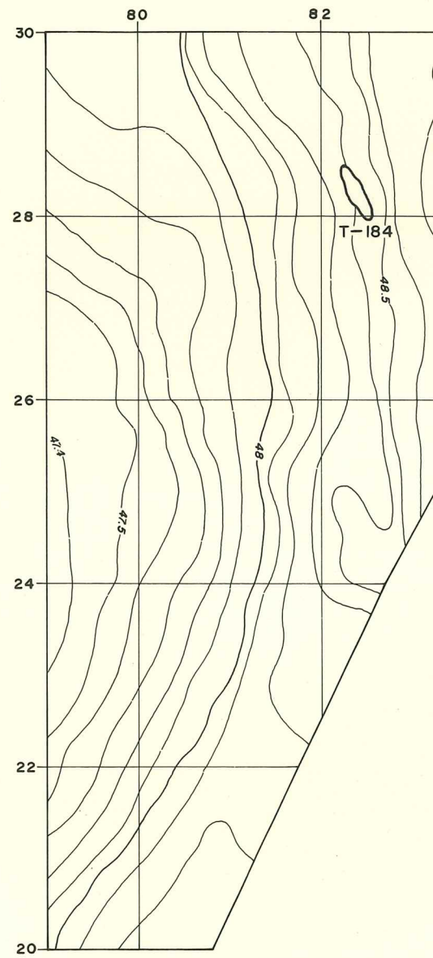
P－222（図III－458，図版75）
位置：46－17　標高46.27m付近、尾根筋の平坦面に位置している。
規模：0.98m／0.76m×0.90m／0.68m×0.58m　**平面形**：長円形　**長軸方向**：N－17°－E
検出面：V層上面で茶褐色土の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：不明　**重複関係**：なし
覆土：覆土上層は砂質で軽石のまじる茶褐色土(混合土)、覆土中層は粘質の灰褐色土、覆土下層は軽石のまじる軟質の暗茶褐色土である。全体に埋め戻し状の混合土である。覆土上層が深く、厚く堆積している。
壙底：V層を深く掘り込んで構築されている。平坦で堅い。
遺物出土状況：遺物は出土していない。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：時期は確定し難いが、他との関連で考えると、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

P－223（図III－459，図版75）
位置：43－18，44－18　標高45.86m付近、尾根筋の平坦面に位置している。
規模：0.80m／0.44m×0.71m／0.35m×0.16m　**平面形**：長円形　**長軸方向**：N－32°－W
検出面：V層上面でIII a 層の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：不明　**重複関係**：なし
覆土：III a 層が壙底直上まで落ち込んでおり、壙底直上にはIII b≫Vの土が薄く堆積している。ほぼ自然堆積の状況を示している。
壙底：V層を浅く掘り込んで構築されており、断面形は浅い皿状である。



図III－457　E地区の最終面地形測量図と遺構位置図





図Ⅲ－457　E地区の最終面地形測量図と遺構位置図

遺物出土状況：遺物は出土していない。
性格・時期：不明　（和泉田　毅）

P－224（図III－459，図版76）
位置：47－17　標高46.43m付近、尾根筋の平坦面に位置している。
規模：0.66m／0.60m×0.62m／0.69m×0.34m　**平面形**：ほぼ円形
検出面：V層上面で茶褐色土の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：不明　**重複関係**：なし
覆土：覆土はほぼ一層である。やや砂質で、軽石のまじる暗茶褐色土である。埋め戻し状の混合土である。
壙底：V層を深く掘り込んで構築されている。平坦で堅い。
遺物出土状況：遺物は出土していない。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：時期は確定し難いが、他との関連で考えると、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

P－257（図III－459，図版76）
位置：46－18，47－18　標高46.32m、尾根筋の平坦面に位置している。
規模：1.08m／1.14m×1.02m／1.14m×0.86m　**平面形**：ほぼ円形
検出面：V層上面で暗茶褐色土の落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：不明　**重複関係**：なし
覆土：覆土上層は砂質で、軽石を混入する混合土状の暗茶褐色土、覆土中層はIIIb≫Vの暗褐色土、覆土下層は砂質で、IIIb＋Vの暗灰褐色土である。覆土は全体に砂質で、軽石を多く混入し、覆土上中層は埋め戻し状の土である。
壙底：V層を深く掘って構築されている。平坦で、堅い。
遺物出土状況：遺物は出土していない。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：時期は確定出来ないが、他との関連で考えると、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

P－258（図III－459，図版76）
位置：58－21　南から北へゆるやかに傾斜する標高47.30m付近の傾斜面上に位置している。
規模：1.66m／0.80m×1.48m／0.70m×0.56m　**平面形**：長円形状　**長軸方向**：N－15°－W
検出面：V層上面でIIIb≫Vの落ち込みを検出した。　**掘り込み面**：不明　**重複関係**：なし
覆土：覆土上層はIIIb≫Vの暗褐色土である。軽石が混入し、暗茶褐色土に近い。覆土下層はやや砂質で、軽石を多く混入し、埋め戻し状の暗灰褐色土である。
壙底：V層を深く掘り込んで構築されている。断面形は浅い椀状である。
遺物出土状況：遺物は出土していない。
性格・時期：不明　（和泉田　毅）

P－259（図III－460，図版76）
位置：47－17・18　標高46.40m付近、尾根状の平坦面に位置している。

規模：0.82m／0.84m×0.81m／0.81m×0.80m　　**平面形**：不整円形状
検出面：Ⅴ層上面で茶褐色土の落ち込みを検出した。　　**掘り込み面**：不明　　**重複関係**：なし
覆土：覆土上層は軟質の茶褐色土（混合土）、覆土下層は砂質で、軽石を混入する暗茶褐色土である。全体に埋め戻し状の汚れた土である。
壙底：Ⅴ層を深く掘り込んで構築されている。平坦で、堅い。
遺物出土状況：遺物は出土していない。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：時期は確定出来ないが、他との関連で考えると、Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　　（和泉田　毅）

Ｐ－260（図Ⅲ－460，図版77）
位置：53－19　南から北へゆるやかに傾斜する標高46.90m付近の緩傾斜面上に位置している。
規模：1.23m／0.90m×1.14m／0.94m×0.90m　　**平面形**：不整円形　　**長軸方向**：Ｎ－17°－Ｗ
検出面：Ⅴ層上面で暗茶褐色土の落ち込みを検出した。　　**掘り込み面**：不明
重複関係：Ｔ－149と重複しており、これより古いものである。
覆土：覆土上層は軽石を多く混入する暗茶褐色土（混合土）で、覆土下層はⅢｂ＋黄色土の、軟質で、ボソボソした褐色土である。覆土上層が深く、厚く堆積しており、埋め戻し状の土である。
壙底：Ⅴ層を深く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、堅い。
遺物出土状況：遺物は出土していない。
性格：覆土と堆積状態がやや異質であるが、構造的に見て、小型のフラスコ状ピットと思われる。
時期：時期は確定出来ないが、他との関連で考えると、Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉のものと思われる。　　（和泉田　毅）

Ｐ－261（図Ⅲ－460，図版77）
位置：45－18　　**規模**：0.89m／0.72m×0.74m／0.64m×0.62
平面形：隅丸長方形状　　**長軸方向**：Ｎ－21°－Ｅ
検出面：Ⅴ層上面でⅢｂ≫Ⅴの落ち込みを検出した。　　**掘り込み面**：不明　　**重複関係**：なし
覆土：ほぼ一層で、Ⅲｂ層とⅤ層がまじり合った暗茶褐色土の混合土である。
壙底：Ⅴ層を深く掘り込んで構築されており、ほぼ平坦で、堅い。
遺物出土状況：覆土、壙底付近から遺物は出土していない。
性格：断面形は方形状であるが、覆土の堆積状態などから考えると、小型のフラスコ状のピットであったものと思われる。
時期：時期を確定出来る遺物は出土していないが、他との関連で考えると、Ⅰ群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　　（和泉田　毅）

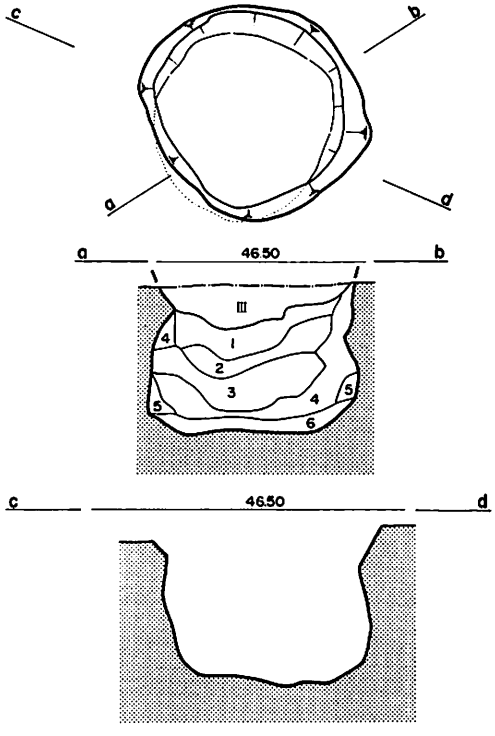
Ｐ－262（図Ⅲ－460，図版77）
位置：47－18・19，48－18・19　　**規模**：1.21m／1.01m×0.98m／1.02m×0.78m
平面形：楕円形状
長軸方向：Ｎ－15°－Ｗ
検出面：Ⅴ層上面で茶褐色土の落ち込みを検出した。　　**掘り込み面**：不明　　**重複関係**：なし

覆土：壁の崩落土も見られるが、全体的にほぼ同質の土が堆積している。上層はIIIb≫Vの茶褐色土で、下層は黄色土がやや多く、ボソボソした土である。
壙底：V層を深く掘り込んで構築されており、平坦で、堅い。
遺物出土状況：覆土、壙底付近から遺物は出土していない。
性格：小型のフラスコ状ピットである。
時期：時期を確定できる遺物は出土していないが、他遺構との関連で考えると、I群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものと思われる。　（和泉田　毅）

⑵Tピット（図III－461～469，図版83～87）

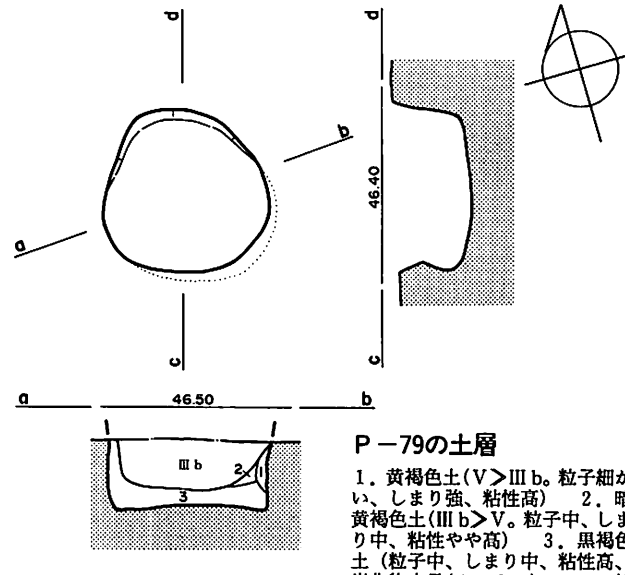
Tピットは、尾根状微高地のほぼ両側の斜面上で検出されている。尾根状微高地南側のTピット（T－150～152・173～176）は標高46.80m～47.80mの斜面上にあり、ほぼ等高線に沿うように構築されている。T－150・152・174～176は長軸方向がN－67°－E～N－104°－Eの範囲内に収まり、ほぼ一直線に並んでいる。平面形はすべて溝状である。規模は壙底の長軸で見ると、3m以下のもの2基（T－150・152）、4m以上のもの1基（T－151）もあるが、他は約3.50m前後のものである。検出面からの深さは、T－173が0.83mとやや浅いが、他は1.00m～1.32mのものでる。長軸方向の形状（縦断面形）は壙底付近から壙口にかけてオーバーハングし、壙底は凹凸のあるものが多い。尾根状微高地南側にあるTピットは、平成6年度B′地区検出のTピット群との関連性で検討されなければならないだろう。一方北斜面上で検出されたTピット（T－143～149・153～160）は標高44.70m～47.30mの斜面上に位置している。ただT－160は沢地形の北急斜面につくられており、他と大きく離れたところにある。長軸方向、等高線との関係で見ると、三つのタイプに分けられる。①長軸方向はN－8°－E～N－21°－Eの範囲に収まり、等高線に対してほぼ直交するもの（T－143・145・148・149）②長軸方向はW－E付近に収まり、等高線にほぼ平行するもの（T－146・156・159）、③その他のもので、長軸方向、等高線との関係では一定性が見られず、位置的にも分散している。①、②、③ともに平面形は溝状である。規模は壙底の長軸で見ると、3m以下のものは5基（T－143～145・147・160）で、他は3.50m前後である。検出面からの深さは1m前後である。長軸方向の形状（縦断面形）は、壙底付近から壙口にかけてオーバーハングし、壙底は凹凸のあるものが多い。　（和泉田　毅）

P－78



P－78の土層

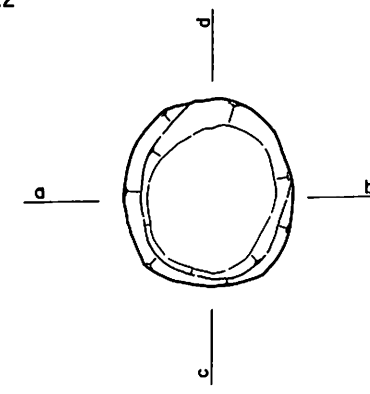
1．灰茶色粘質土（ローム粒多い）　2．暗茶色粘質土（細かいローム粒）　3．灰褐色粘質土（粒子粗、ローム粒多い）　4．黄褐色粘質土（転落土）　5．灰緑色砂質土（地山）　6．褐色粘質土（ローム粒多い。埋め戻し）



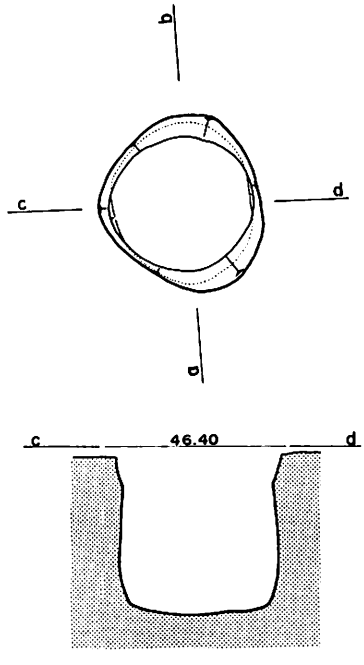
P－79の土層

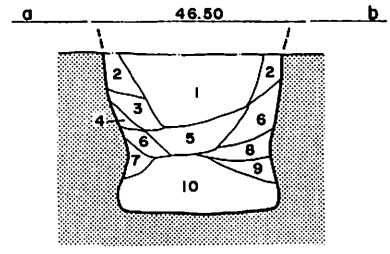
1．黄褐色土（V＞III b。粒子細かい、しまり強、粘性高）　2．暗黄褐色土（III b＞V。粒子中、しまり中、粘性やや高）　3．黒褐色土（粒子中、しまり中、粘性高、炭化物少量（1～2㎜）、ローム粒（3～10㎜）ブロック状）

P－222



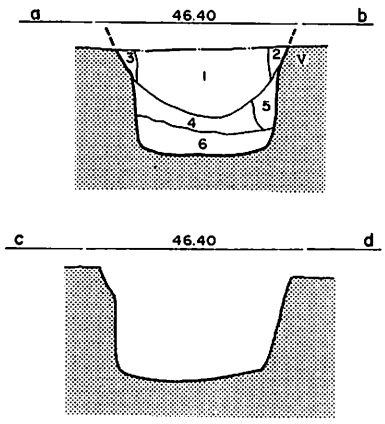
P－221





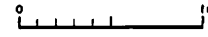
P－221の土層

1．暗茶褐色土（軽石混入、砂質）　2．V＞1（軟質）　3．≒1（1よりV層をわずかに多く含む）　4．暗黄色土（ボソボソ）　5．1＞6（軟質）　6．暗黄灰色土（砂質）　7．V（淡緑灰色粗砂＞10）　8．10＞6（暗褐色土、軟質）　9．7＋6　10．暗茶褐色土（軽石混入）



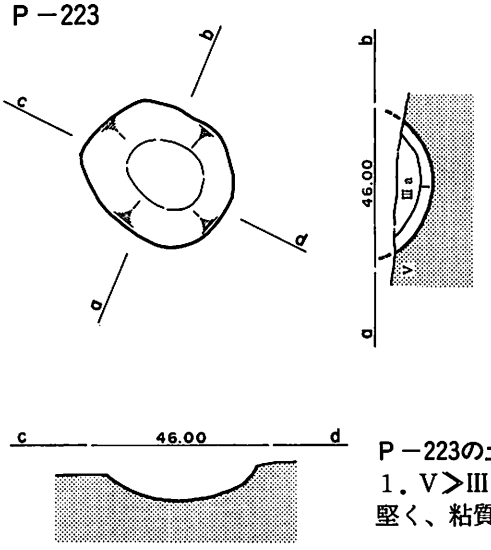
P－222の土層

1．茶褐色土（埋め戻し状の混合土、砂質）　2．V＞1（やや粘質）　3．V＞1（砂質）　4．褐灰色土（粘質）　5．暗灰黄色土　6．暗茶褐色土（軽石混入、軟質）



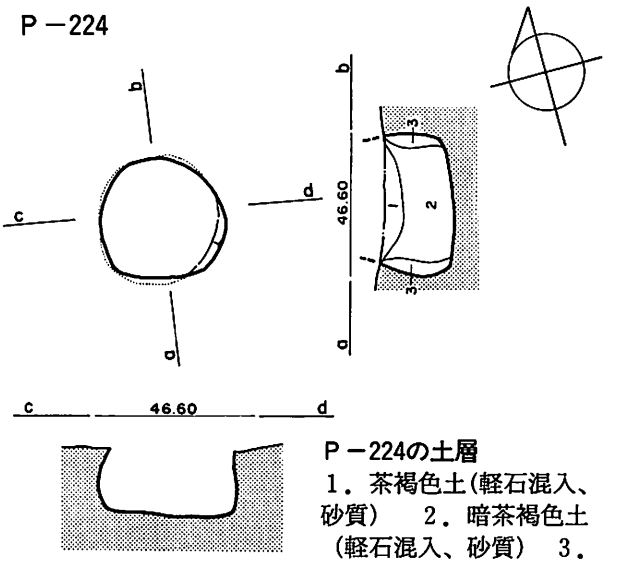
図III－458　土壙実測図(7)

P－223



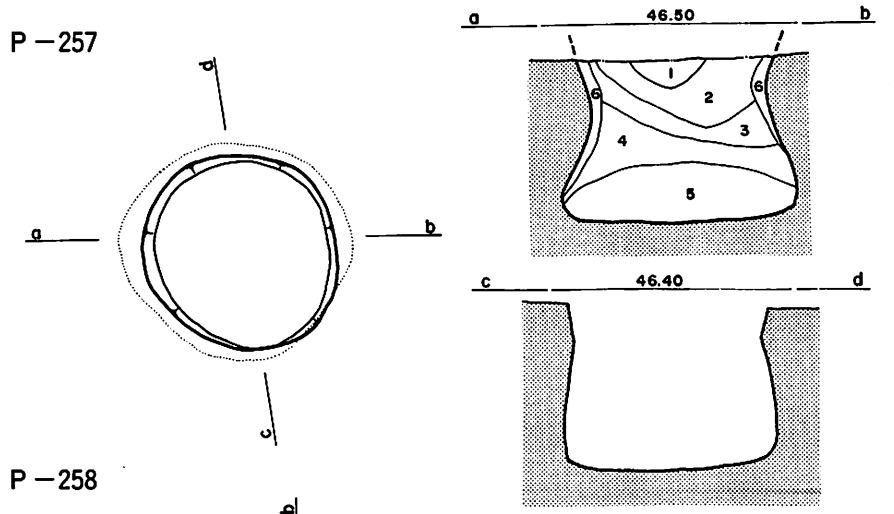
P－223の土層
1．V＞III a(やや堅く、粘質)

P－224



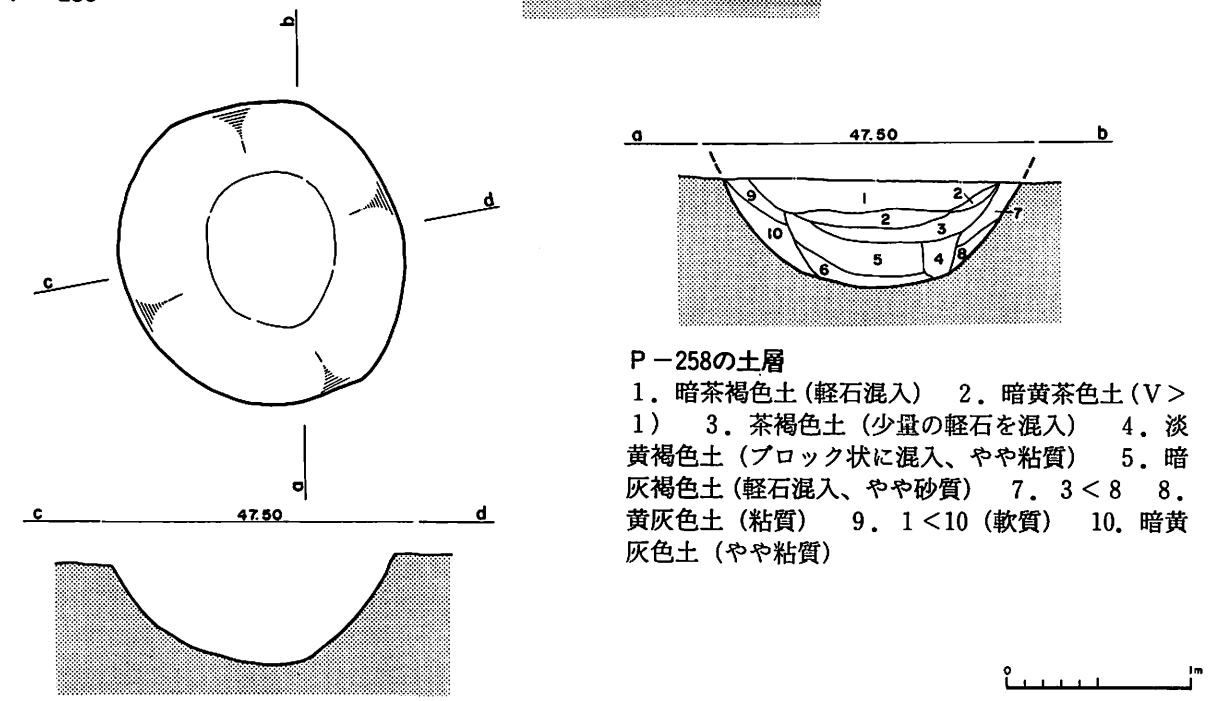
P－224の土層
1．茶褐色土(軽石混入、砂質)　2．暗茶褐色土(軽石混入、砂質)　3．V＞2 (軟質)

P－257



P－257の土層
1．暗茶褐色土(軽石混入、砂質)　2．暗茶灰色土(軽石混入、砂質)　3．暗褐色土(微量のV層が混入)　4．暗褐色土(3よりV層が少なく、軽石が混入)　5．暗灰褐色土(V層と軽石混入、砂質)　6．V＞III b

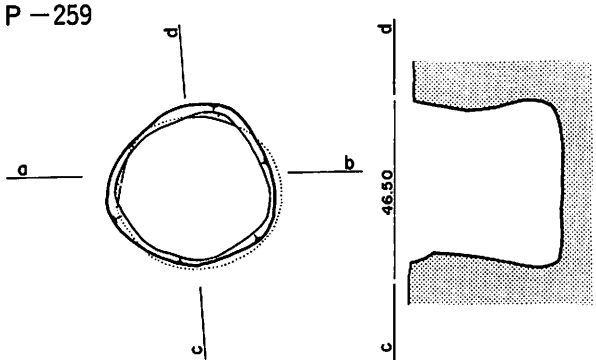
P－258

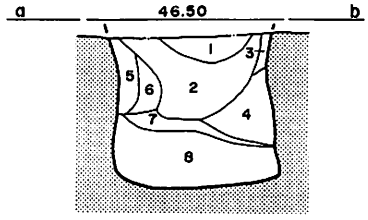


P－258の土層
1．暗茶褐色土(軽石混入)　2．暗黄茶色土(V＞1)　3．茶褐色土(少量の軽石を混入)　4．淡黄褐色土(ブロック状に混入、やや粘質)　5．暗灰褐色土(軽石混入、やや砂質)　7．3＜8　8．黄灰色土(粘質)　9．1＜10 (軟質)　10．暗黄灰色土(やや粘質)

図III－459　土壙実測図(8)

P－259

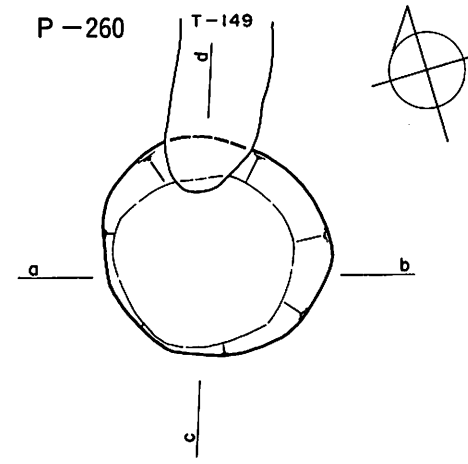


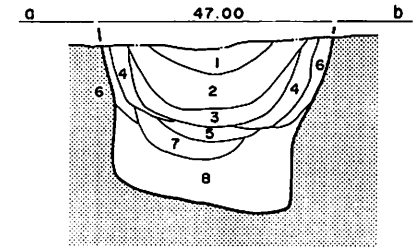


P－259の土層

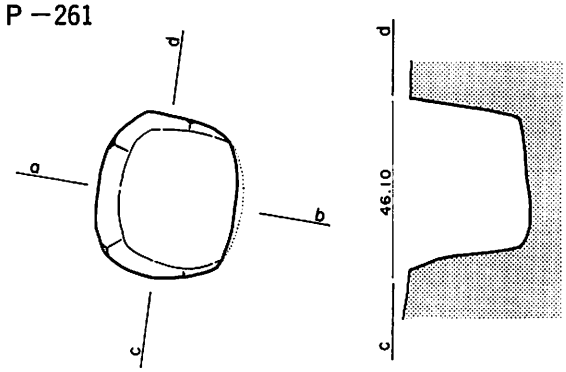
1．暗褐色土（微量の黄色土を混入、砂質）　2．茶褐色土（III b＞V　軟質）　3．黄灰色土（粘質）　4．3にボソボソした2が部分的に混入　5．灰黄色土（軟質）　6．暗灰黄色土＋2（軟質）　7．暗茶灰色土（砂質）　8．暗茶褐色土（軽石混入）

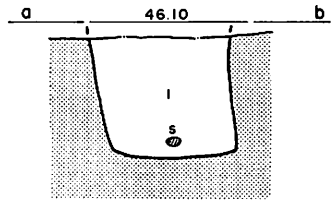
P－260





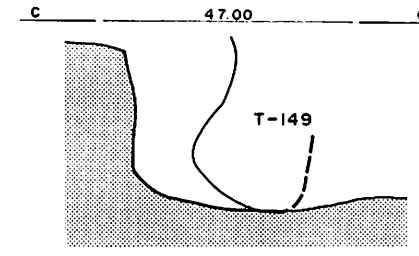
P－261





P－261の土層

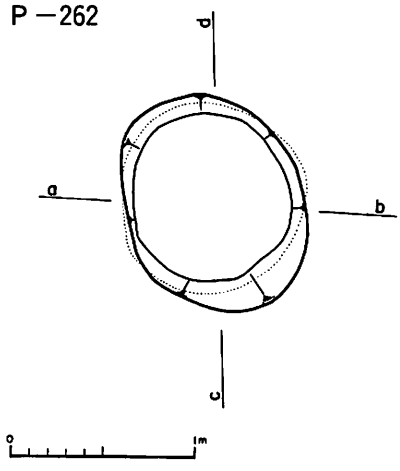
1．暗茶褐色土（軽石を多量に混入）

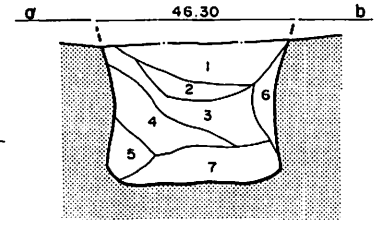


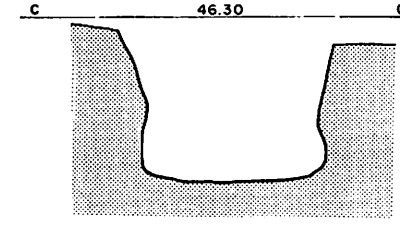
P－260の土層

1．黒褐色土（軽石混入）　2．暗茶褐色土（軽石混入）　3．暗褐色土（軽石混入）　4．≒2（2よりV層がやや多い）　5．III b＋V（軟質）　6．III b＞V　7．≒2（2よりIII b層がやや多い）　8．V＞III b（軟質、ボソボソ）

P－262



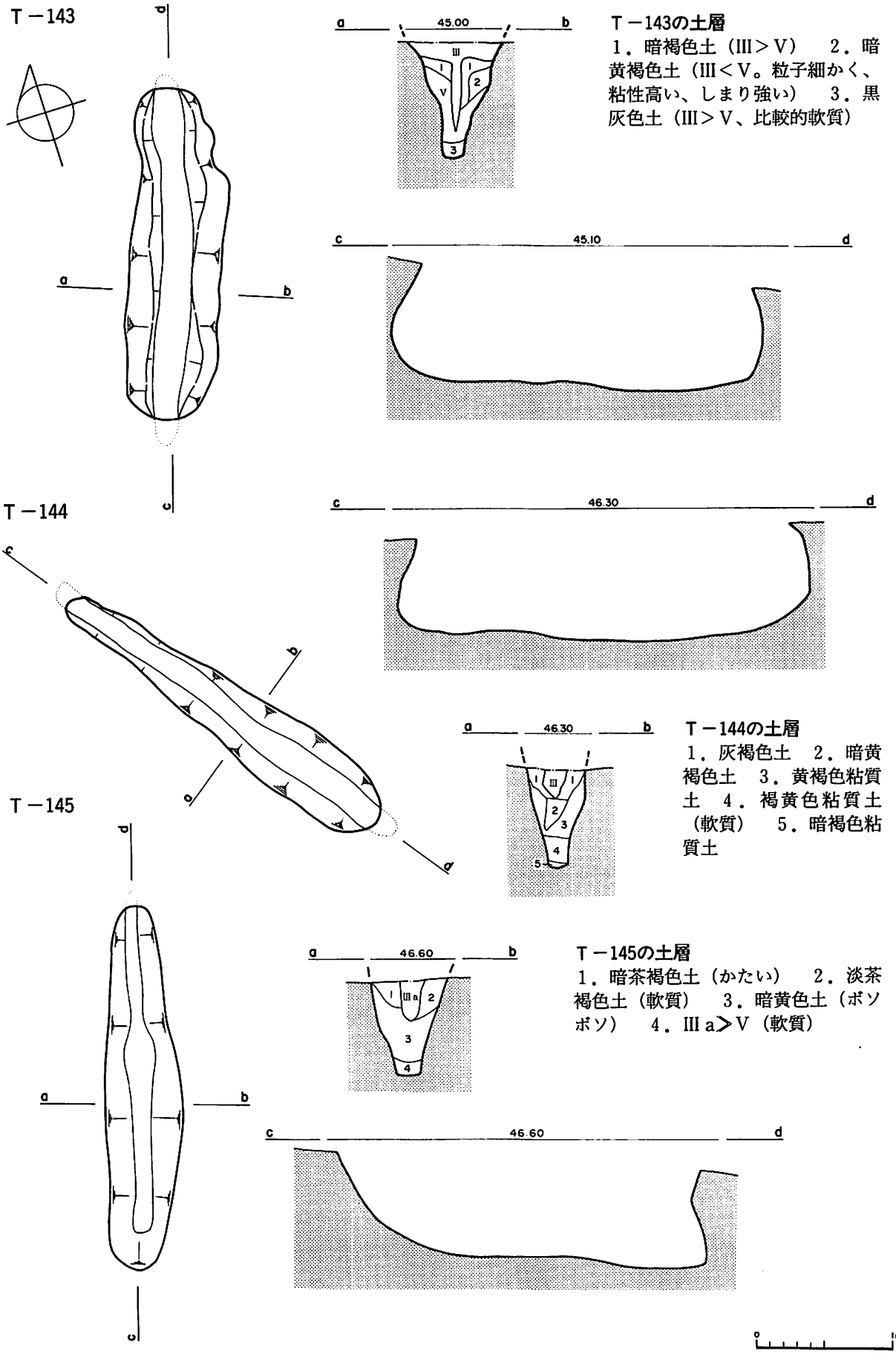




P－262の土層

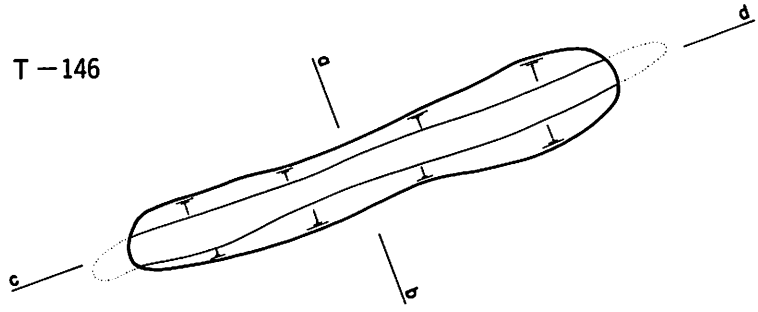
1．茶褐色土（砂質）　2．暗茶褐色土　3．≒1（黄色土が若干多い）　4．茶褐色土（3＞5　軟質）　5．暗黄灰色土（ボソボソ）　6．4＋V　7．茶褐色土（1、3、4より黄色土が多い）

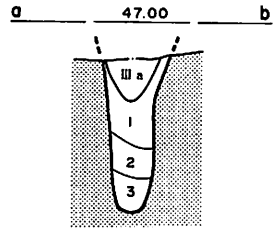
図III－460　土壙実測図(9)

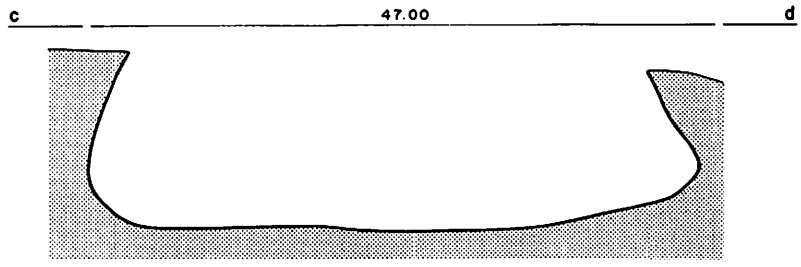


図III－461　Tピット実測図(13)

T－146

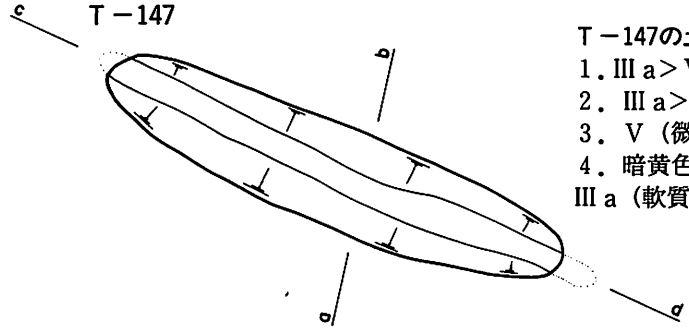




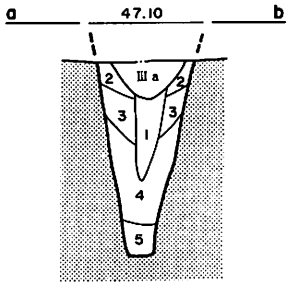


T－146の土層
1．III a＞V　2．V＞III a（ボソボソ）　3．III a（軟質、微量のVが混入）

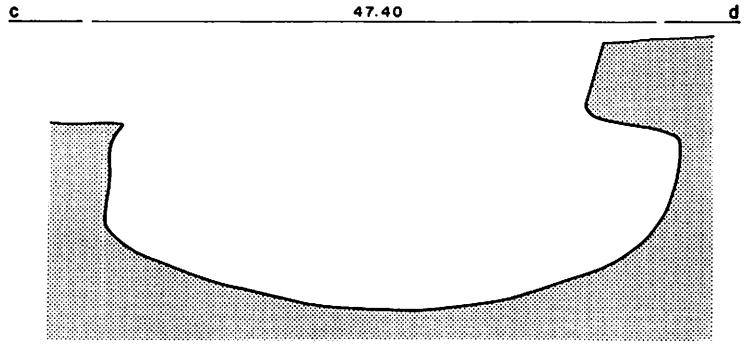
T－147



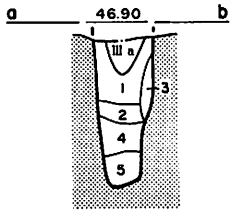
T－147の土層
1．III a＞V（褐色土、軟質）
2．III a＞V（暗茶灰色土）
3．V（微量のIII a混入）
4．暗黄色土（V）　5．III a（軟質）

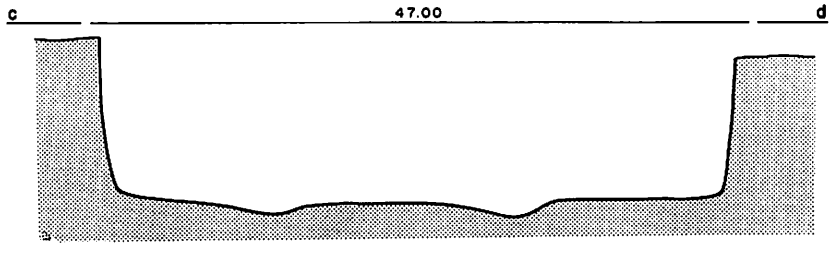


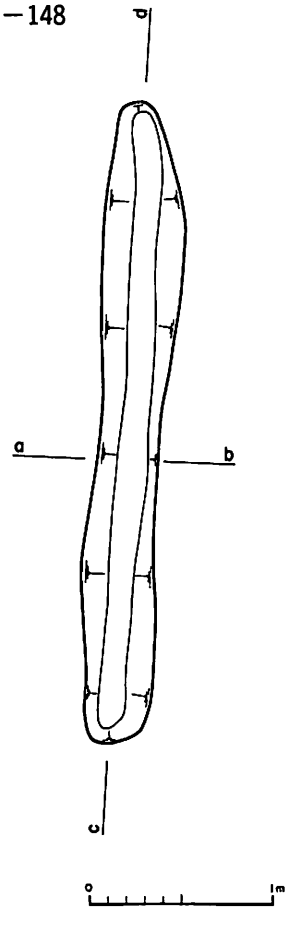
T－148



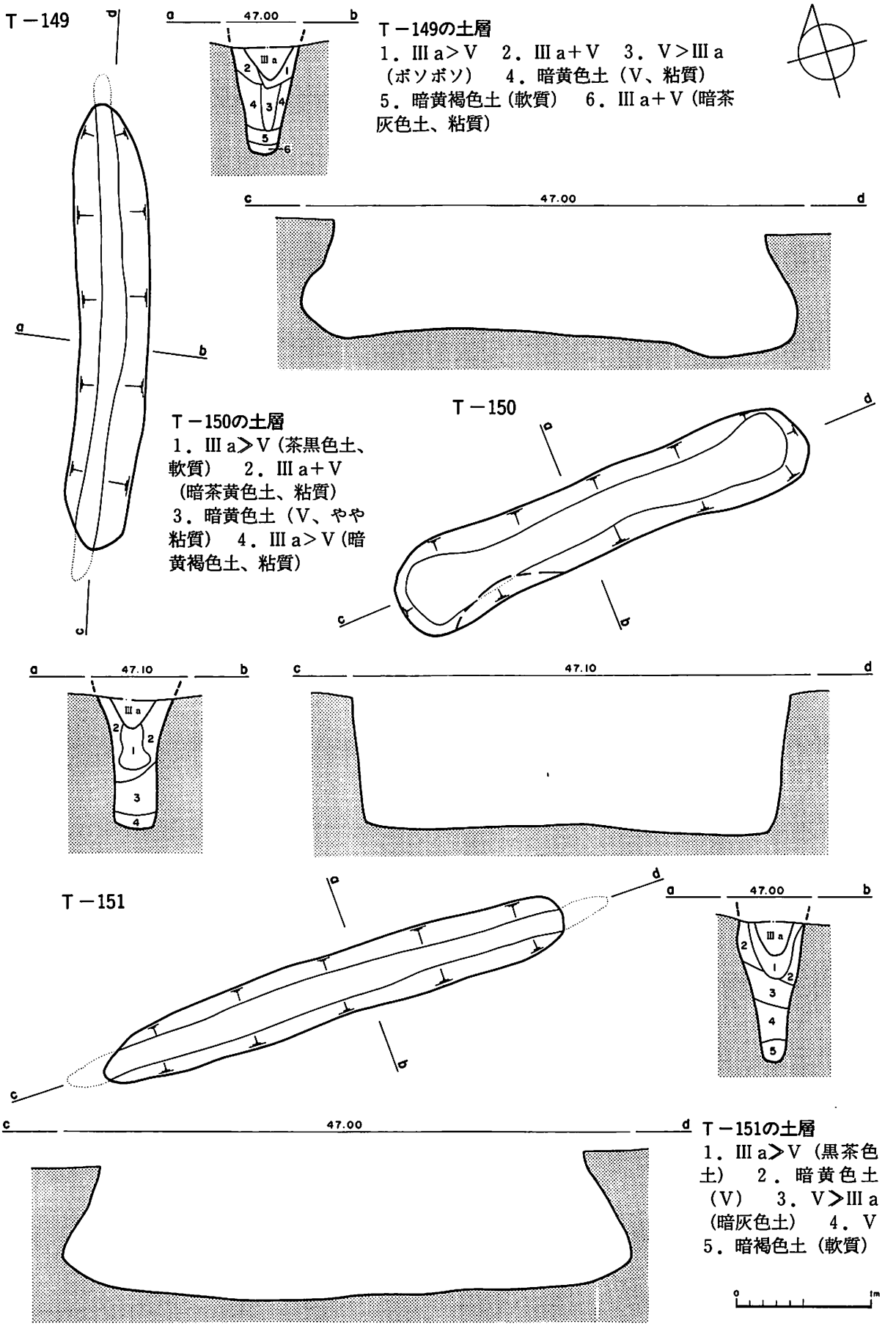
T－148の土層
1．III a＋V（軟質）　2．III a＞V（軟質）
3．暗黄色土（V）　4．V（軟質）
5．暗褐色土（軟質）



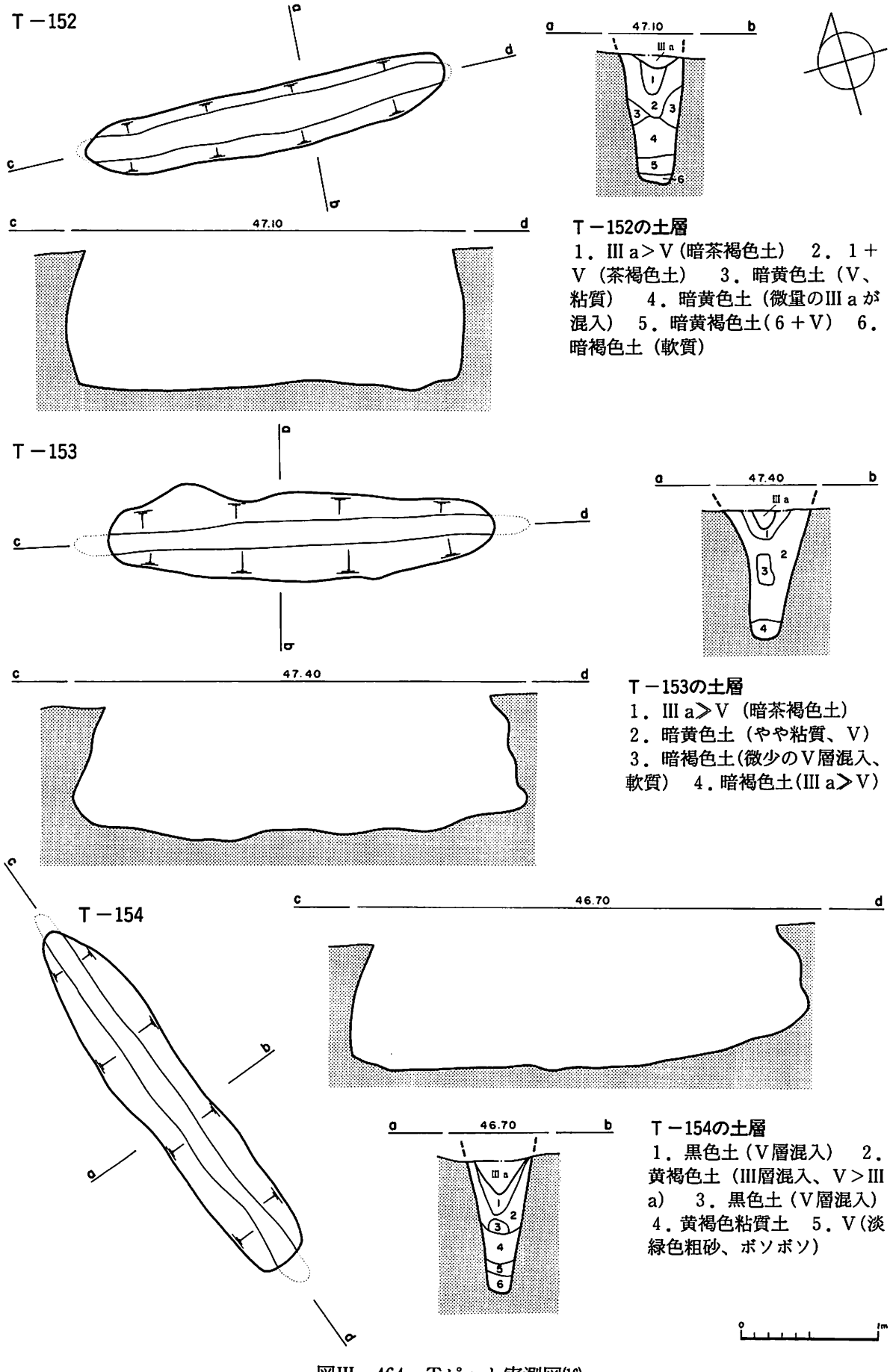




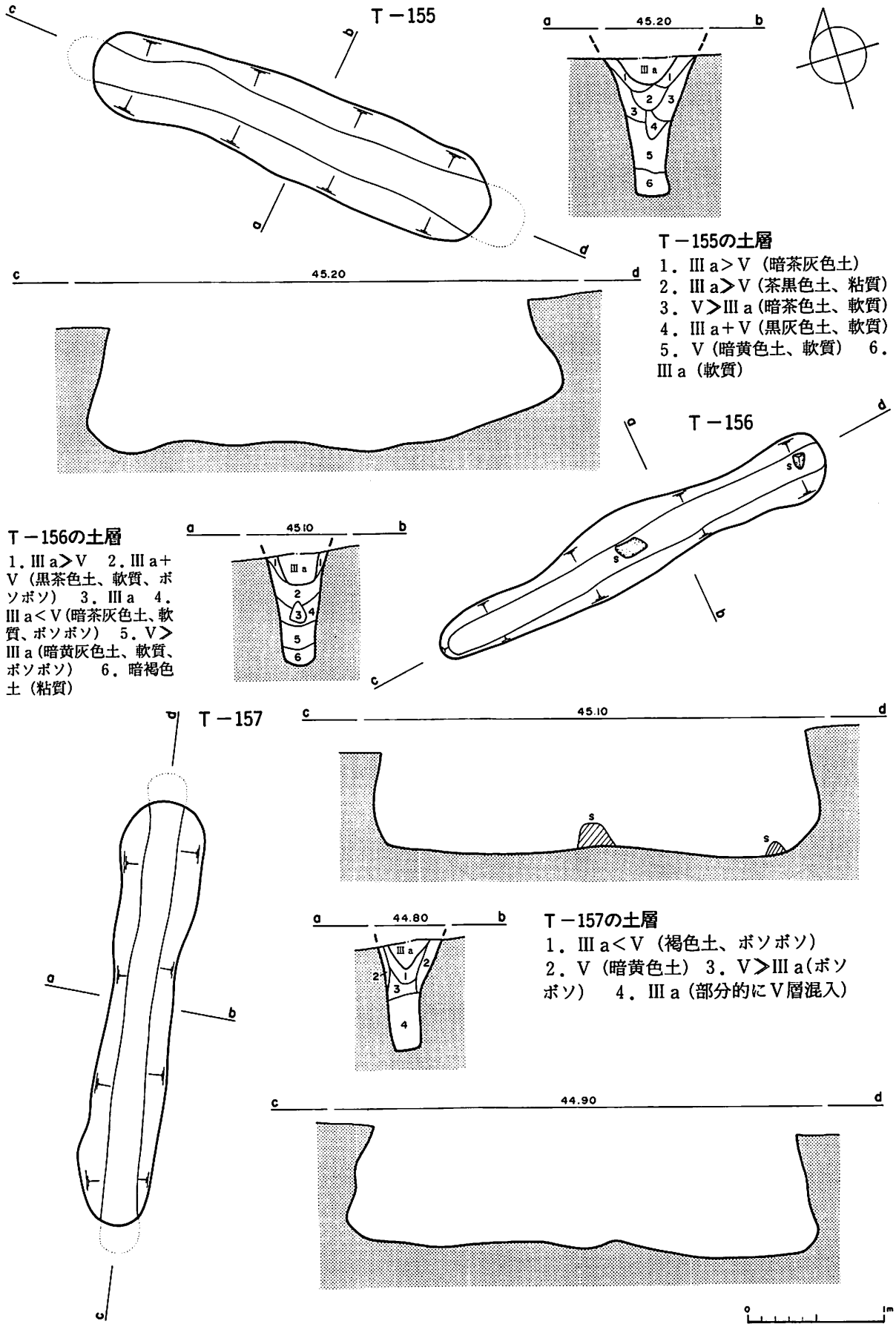
図III－462　Tピット実測図(14)



図III－463　Tピット実測図(15)

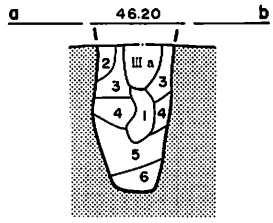


図III－464　Tピット実測図(16)

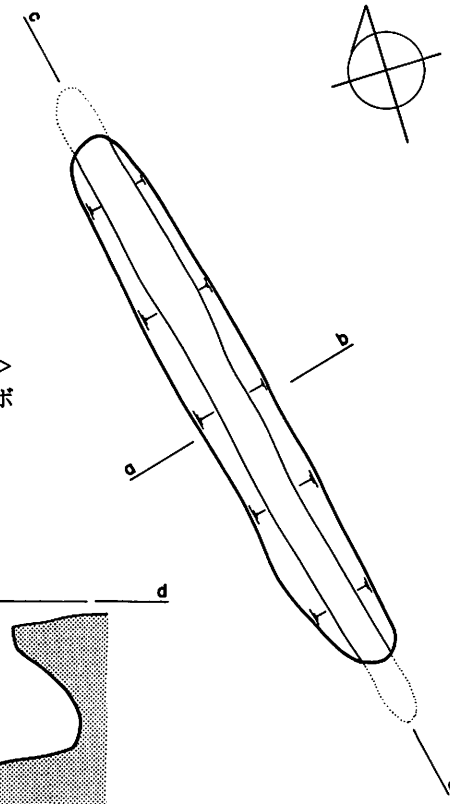


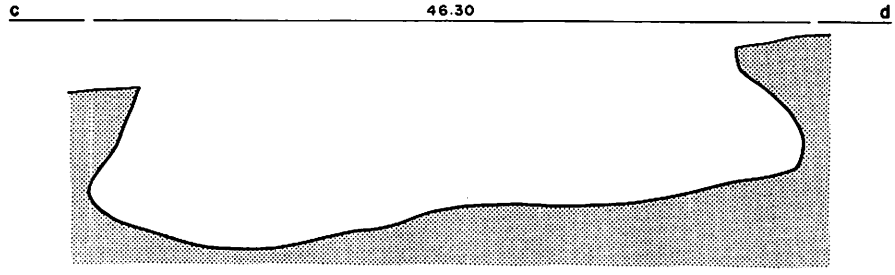
図III－465　Tピット実測図(17)

T－158

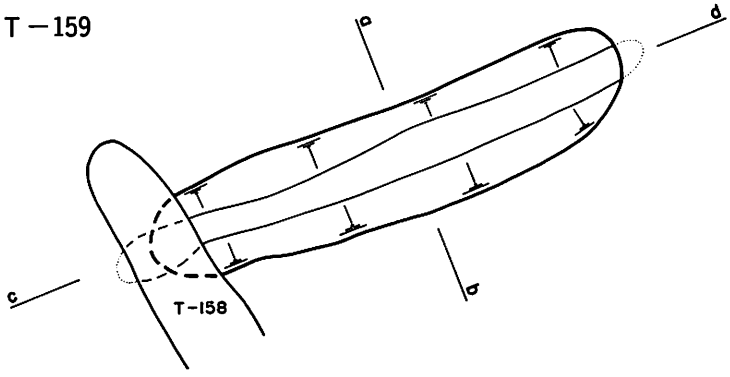


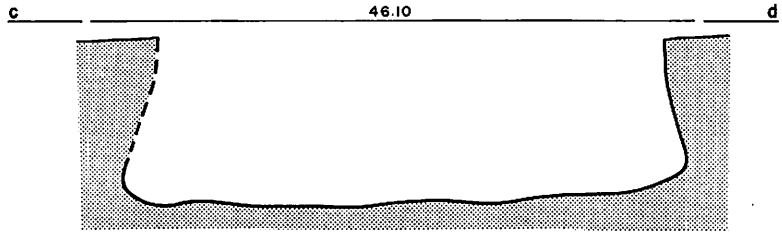
T－158の土層
1．III a＞V（軟質）　2．V（茶灰色土、砂質）　3．III a＞V（茶黒色土、軟質）　4．V（少量のIII a 混入）　5．V（ボソボソ）　6．褐色土（軟質）

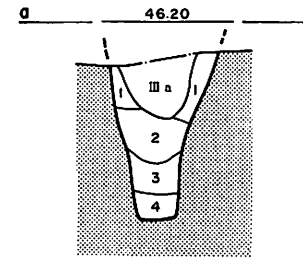




T－159



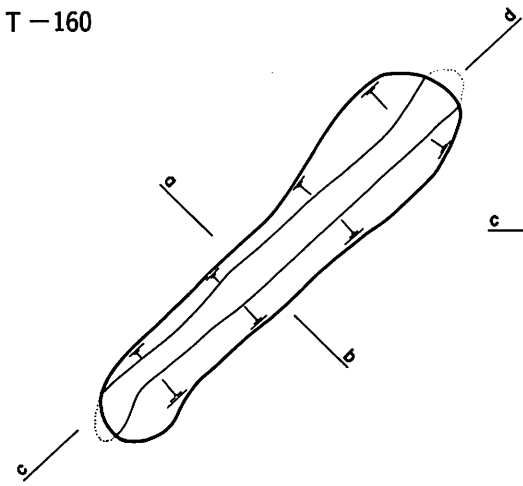


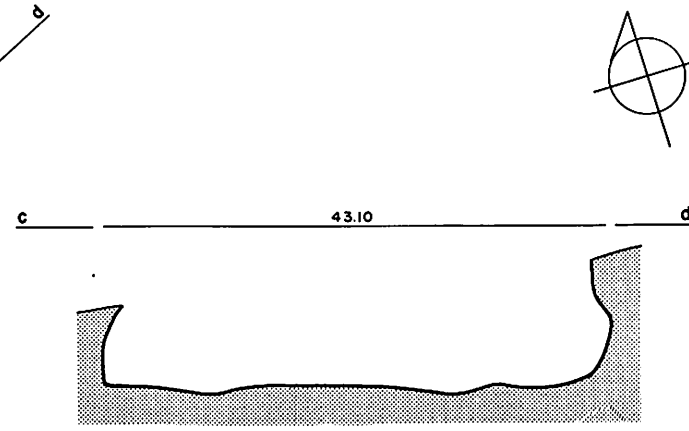


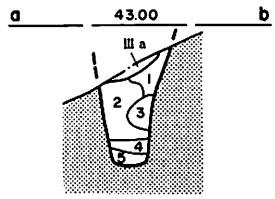
T－の159土層
1．III a＞V（軟質）　2．III a（微量のVが混入、軟質）　3．V（ボソボソ）　4．暗黒褐色土（軟質、Vが少量混入）

図III－466　Tピット実測図(18)

T－160



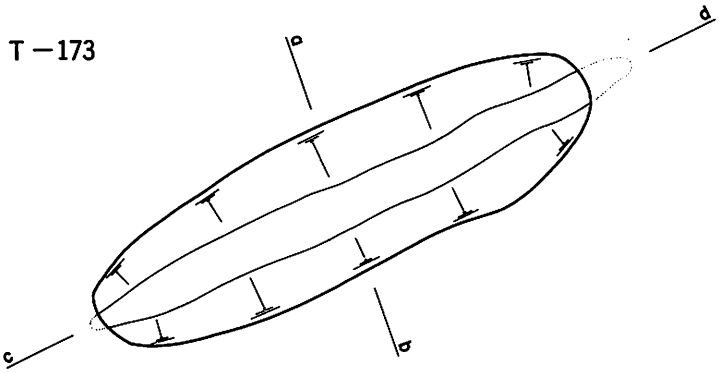


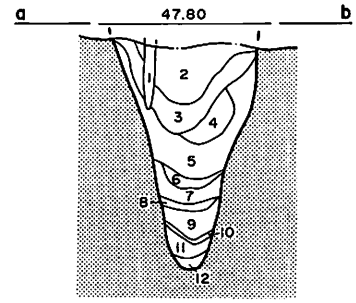


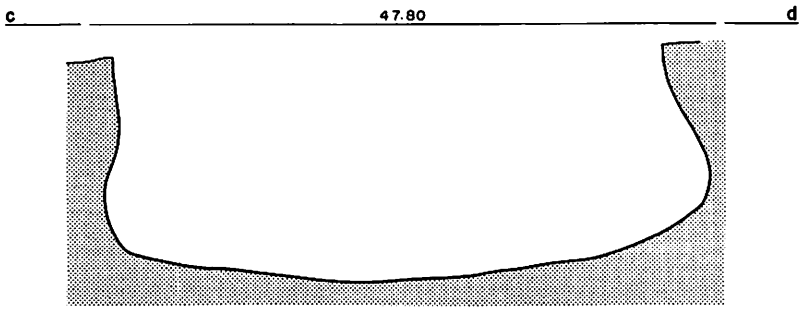
T－160の土層

1．暗黄茶色土（ボロボロ）　2．IIIa（Vが少量混入）
3．V＞IIIa　4．3＋IIIa　5．IIIa

T－173

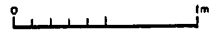






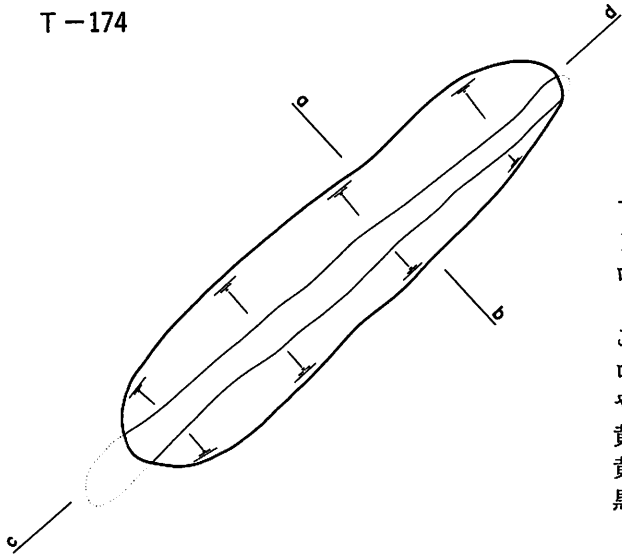
T－173の土層

1．木根　2．黒色土　3．漸移層（ローム＋黒色土）　4．黒褐色土（ややうすい）　5．黄褐色土（ローム、V′）　6．黒褐色土　7．黄褐色砂　8．V層（基盤砂層）　9．黄褐色砂（7よりロームが多い、やわらかい）　10．黒色土＋砂（V）層　11．黄褐色土（砂まじり）　12．黄褐色砂



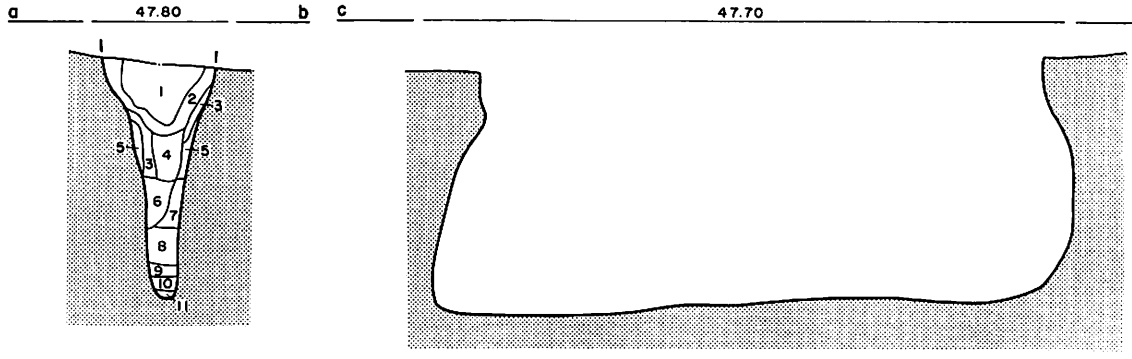
図III－467　Tピット実測図(19)

T－174

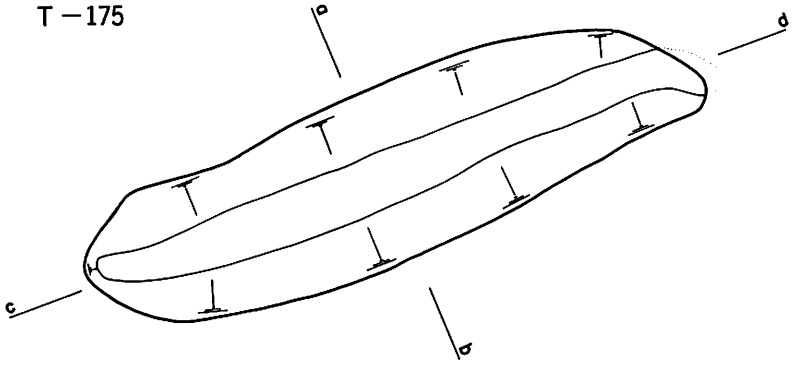


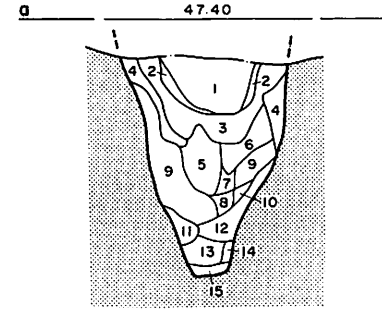
T－174の土層

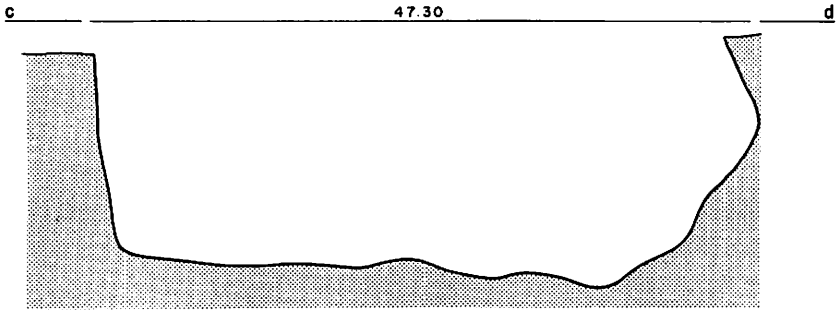
1．黒色土（固くしまる）　2．漸移層（ロームブロックまじり、固くしまる）　3．ボソボソローム（全体に1が混じる汚れた感じの灰黄色）　4．薄こげ茶（ボソボソ、やわらかい、木の根か？）　5．ローム（固くしまる）　6．黒褐色土（ボソボソ、やわらかい）　7．5・6よりやや黒がうすい　8．黄褐色土（ボソボソ）　9．黒褐色土（ボソボソ、黄褐色土入る）　10．黄褐色土（砂まじり）　11．黒褐色土（砂まじり）

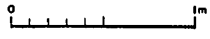


T－175







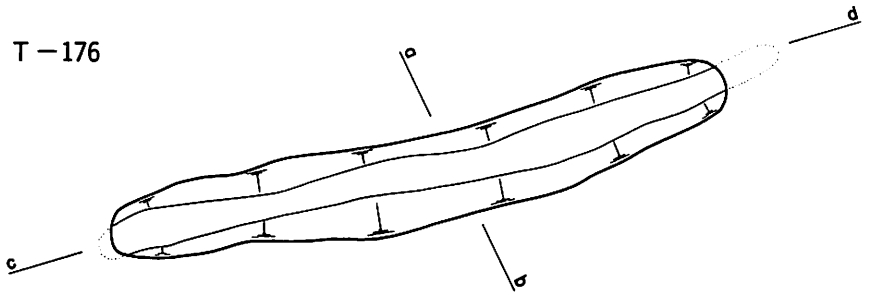


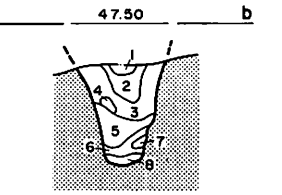
T－175の土層

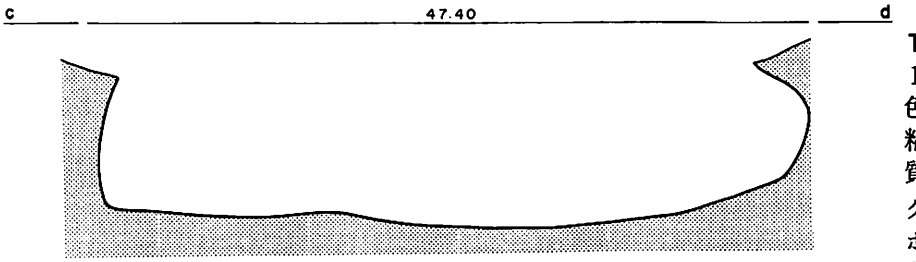
1．黒色土　2．黒褐色土　3．暗褐色土（黒色土＋黄褐色土）　4．黄褐色土（黒色土が斑状にまじる）　5．明黄褐色土　6．3よりうすい（灰黄褐色土）　7．やや汚れた感じの黄褐色土（砂っぽい）　8．川砂（白緑、V層）　9．やや汚れた感じの黄褐色土　10．黄褐色土＋砂　11．砂（白っぽい、V層）　12．黄褐色土＋砂（黄色が強い）　13．黒褐色土＋IV層（かたくしまる、砂まじり）　14．13と同じ、やや砂が多い　15．黄褐色土（砂粒まじり）

図III－468　Tピット実測図(20)

T－176



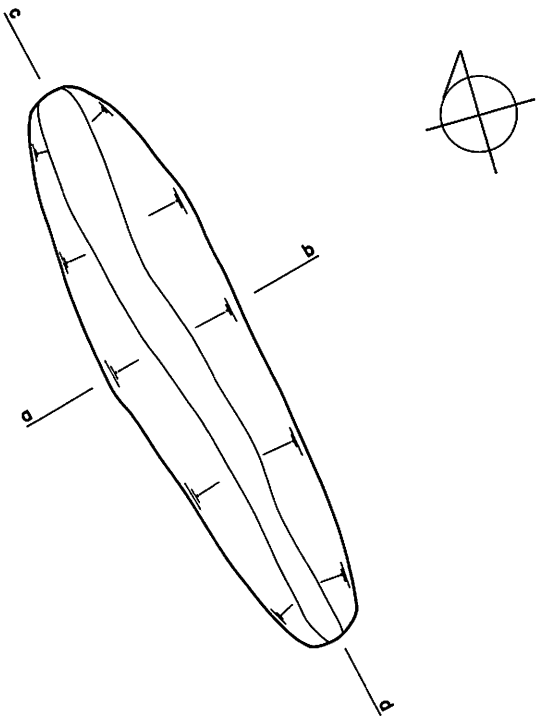


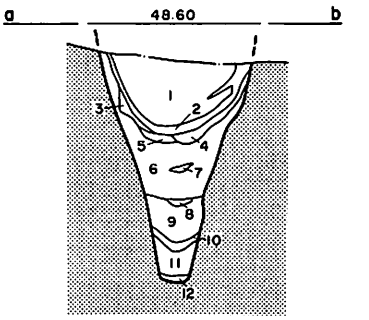


T－176の土層

1．黒褐色土　2．黄褐色土（黒褐色土まじり、粘質）　3．黄褐色土(粘質)　4．黄褐色砂ブロック　5．黄褐色土（ボソボソ）　6．IV層＋黄褐色土（ボソボソ）　7．IV＋黄褐色土＋黒褐色土　8．黒色土（硬質）

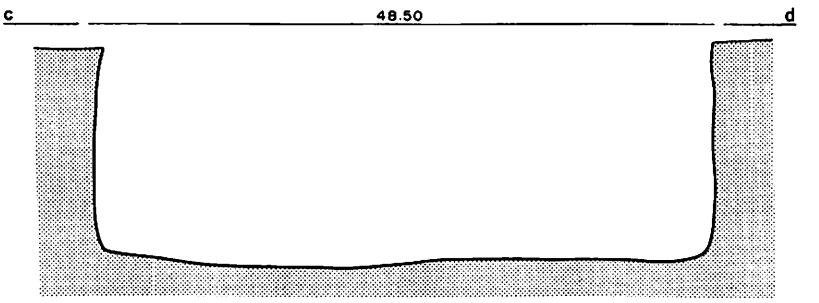
T－184

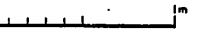




T－184の土層

1．黒褐色土（粘質）　2．漸移層　3．黄色土（黒褐色土まじり）　4．暗灰黄色土　5．暗灰黄色土（粘質）　6．黄褐色土　7．灰黄色土　8．黒褐色土　9．暗黄褐色土（粘質でやわらかくポロポロ）　10．黒色土　11．9と同じ、やや黒色土がまじる　12．暗褐色土





図III－469　Tピット実測図(21)

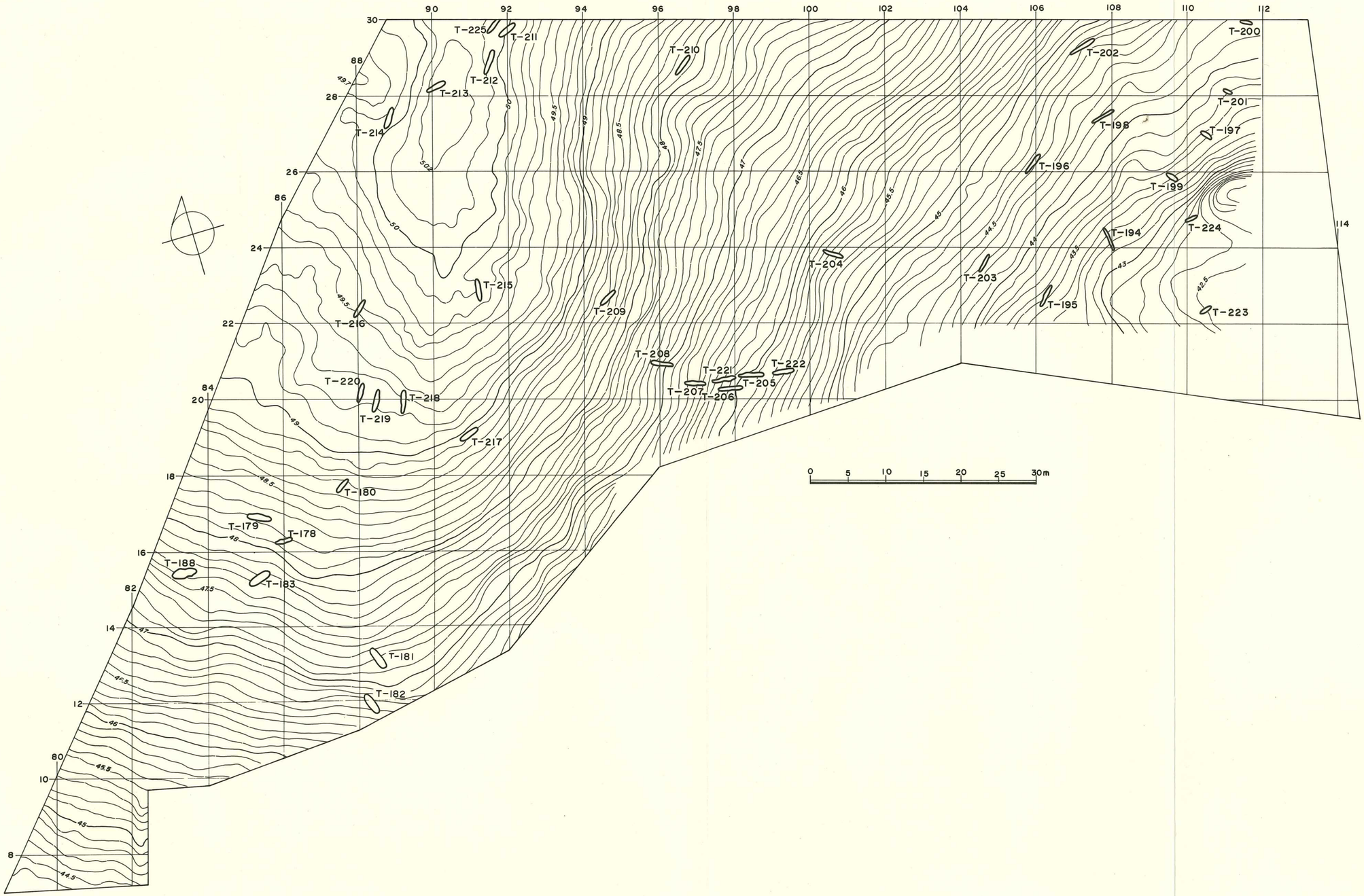
3　F地区（図III－470～483，図版87～92）

F地区はムジナ川と市道石倉6号線にはさまれた段丘上にあり、平成6年度C地区の南側に位置している。北西端部が最も高く、東、南、南南西方向に傾斜している。標高50.20m～42.50m、高低差約8mほどの斜面になっている。調査前までは牧草地として利用されていたところである。ムジナ川寄りの東側斜面には部分的にP.D.3、IIIa、IIIb層が厚く堆積していたが、他はV層直上付近まで耕作により攪乱されていた。

F地区は遺構確認調査区である。F地区ではTピットが39基発見されているが、遺物は出土していない。

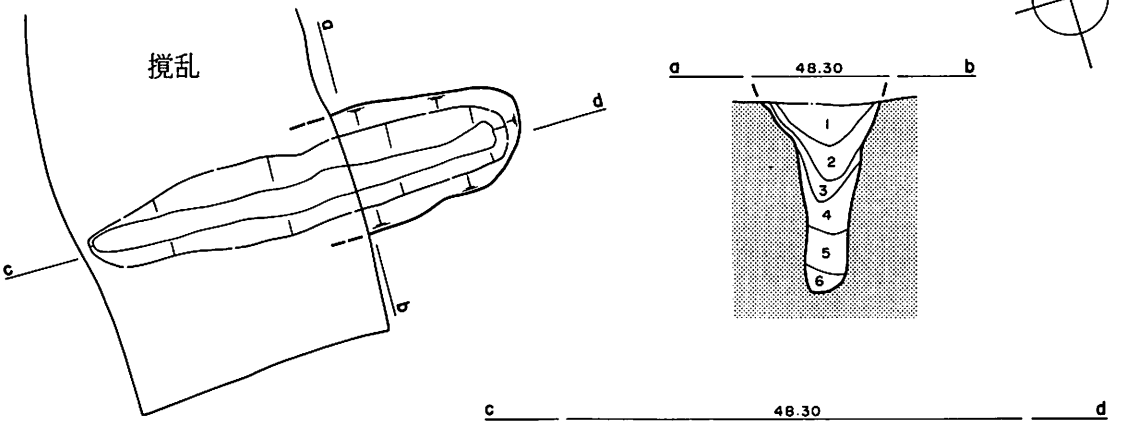
Tピットは調査区のほぼ全体に分布している。形状はすべて溝状で、長軸方向の断面形(縦断面形)は程度の差はあるものの、基本的には壙底付近から壙口にかけてオーバーハングしている。規模は壙底の長径で見ると、①1.95m以下のもの、②4.00m以上のもの、③　①・②以外のもの、という大小が見られる。①はT－197・199・200・201・223・224の6基で、調査区の東側低地帯、標高42.40m～43.30mの緩斜面上にある。ほぼ北北東から南方向へ弧状気味に並んでいる。壙底の長径は1.68m～1.92m、深さは0.52m～0.70mで、いわゆる小型のTピットである。これらは規模、形状、覆土の堆積状態、位置関係などから見て、平成6年度C地区検出のT－71～75に連なるものではないかと思われる。②はT－212の1基のみで、調査区の北西端部、標高50.10m付近の平坦地に位置している。壙底の長径は4.04m、深さは1.14mである。長軸方向はN－39°－Eである。③は全体の82%を占めている。この中でも㋑2.00m～2.99m、㋺3.00m～3.49m、㋩3.50m～3.99mという大小のまとまりが見られる。最も多いのは㋺で15基（38%）ついで㋩の10基（26%）、㋑の7基（18%）である。規模によってまとまりが見られるのは①で、ほぼ等高線に直交し、ほぼ等間隔で並んでいる。②、③については一定性は見られない。それでは等高線を基準にしてのまとまりを見てみると、④等高線に直交するもの、⑤等高線にほぼ平行するもの、⑥鋭角的に交わっているもの、の違いがあり、いくつかのまとまりが見られる。④では三つのまとまりが見られる。一つは①である。二つ目は調査区中央部南側に位置する6基（T－208・202・206・211・205・222）である。標高45.60m～47.40mの斜面上で、5m×20mの範囲に集中しており、長軸方向はN－66°－W～N－81°－Wの範囲に収まっている。長径は3.14m～3.74m、深さ0.75m～1.06mのものである。三つ目は調査区の西側、標高47.30m～50.20m、北北東から南南西方向にやや弧状気味に並んでいる。全体的に等高線に直交しているが、一部には鋭角的に交わるものもある。配列関係からこのグループに入れておく。12基（T－188・183・178・180・218・219・220・216・215・214・212・225）で、間隔的な規則性は見られない。規模も2.20mから4.04mまでと不揃いである。長軸方向はT－178・188がN－88°－W、N－85°－Wで、他はN－22°－E～N－80°－Eの範囲に収まっている。⑤では二つのまとまりが見られる。一つは①の北西側、標高44.20m～44.80mの緩斜面上にあるT－202・198・196・203の4基で、北北東から南南西方向にほぼ直線的に並んでいる。長軸方向はN－48°－E～N－76°－Eの範囲に収まり、T－203以外は長径3.50m前後と大きい溝状のものである。二つ目は、T－210・209・217・179の4基で、標高48.10～49.00mの斜面上にあり、ほぼ半円状に並んでいる。この間隔はほぼ25m～30mで、きわめて規則的に分布している。ただ規模、深さなどは不揃いであるが、長軸方向はN－52°-E～N－73°－Eの範囲に収まっている。

今年度調査区の周辺には未調査区があり、Tピットの位置関係、長軸方向、等高線との関係などについては大雑把なまとまりでとらえたに過ぎない。全体の調査が終了した段階で、大局的な視点から見直しがなされる必要があるだろう。　（和泉田　毅）



図III－470　F地区の最終面地形測量図と遺構位置図

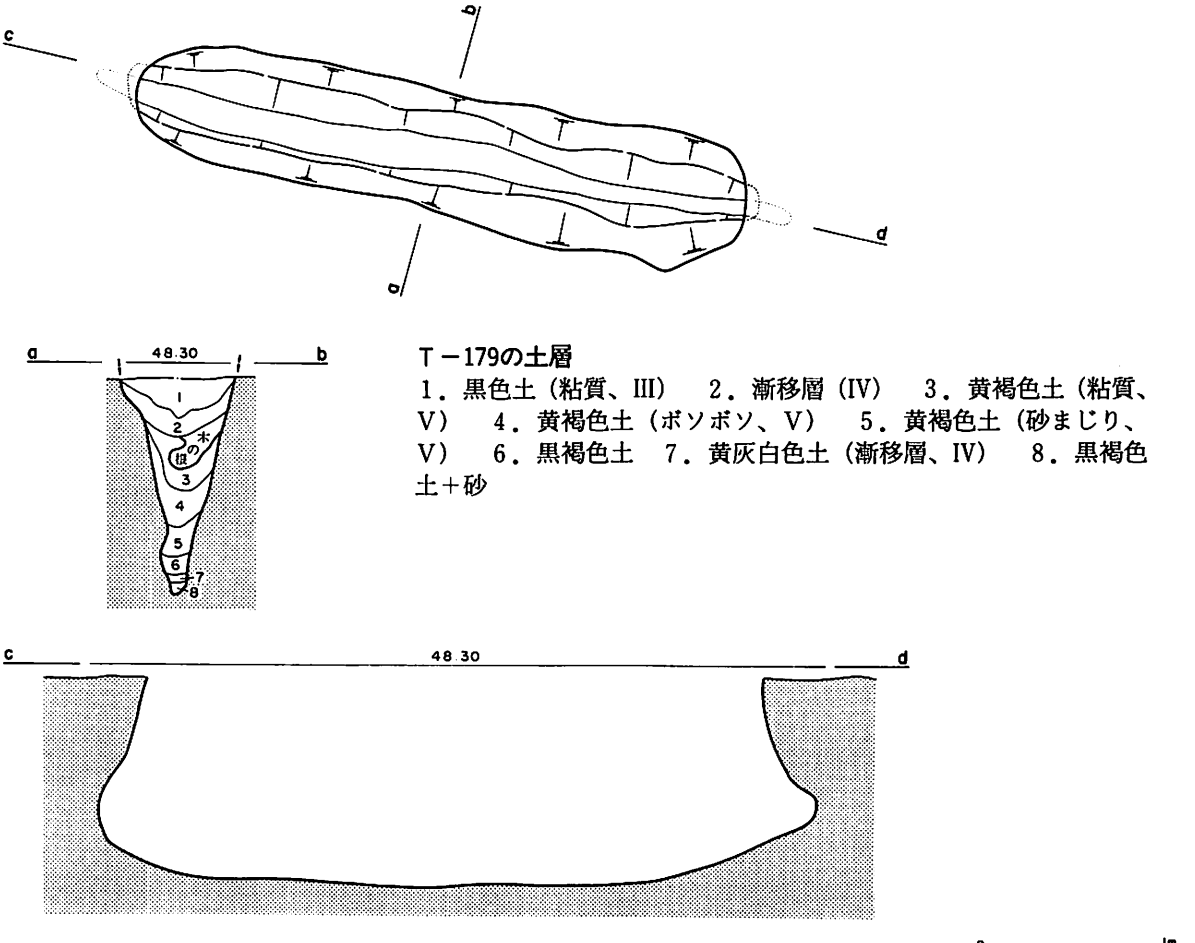
T－178



T－178の土層

1．黒褐色土　2．暗灰褐色土(漸移層、モザイク状に黄がまじる、固くしまる粘土質)　3．灰黄褐色土（汚れた黄で灰色がかる、固くしまる粘土質）　4．黄褐色土（固くしまる粘土質）　5．黄褐色土（ボソボソしたやわらかい土）　6．黒褐色土

T－179

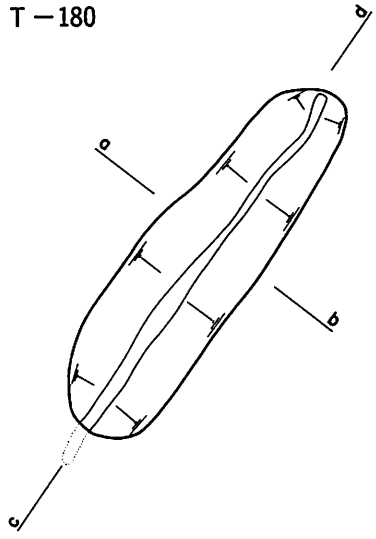


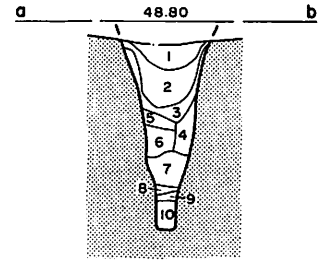
T－179の土層

1．黒色土（粘質、III）　2．漸移層（IV）　3．黄褐色土（粘質、V）　4．黄褐色土（ボソボソ、V）　5．黄褐色土（砂まじり、V）　6．黒褐色土　7．黄灰白色土（漸移層、IV）　8．黒褐色土＋砂

図III－471　Tピット実測図(22)

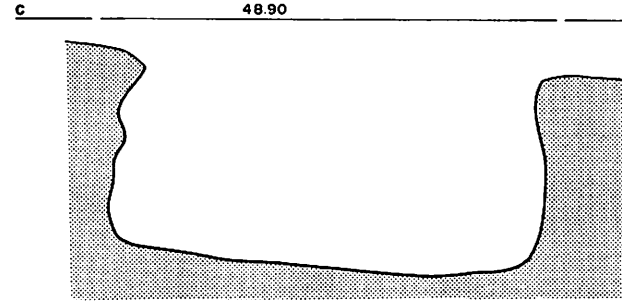
T－180



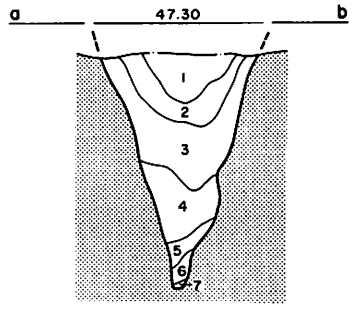


T－180の土層

1．黒褐色　III　かたくしまっている、さらさら　2．灰褐色　III　かたくしまっている、さらさら　3．黄褐色　IV（2がしみる、漸移層）かたくしまっている、さらさら　4．黄褐色　5．暗黄褐色　V　2よりうすい　6．暗黄褐色　7．黄白色（黄土）V　8．黒褐色土　III　9．黄白色　V　10．黒褐色　III

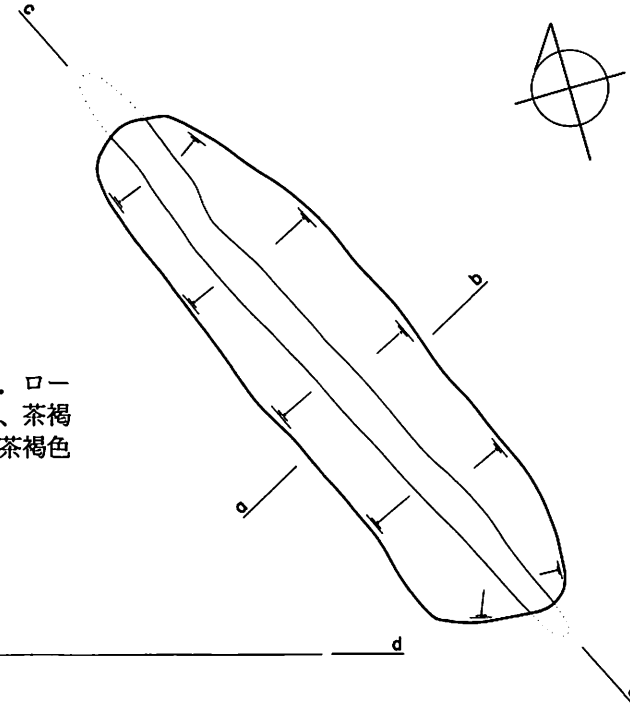


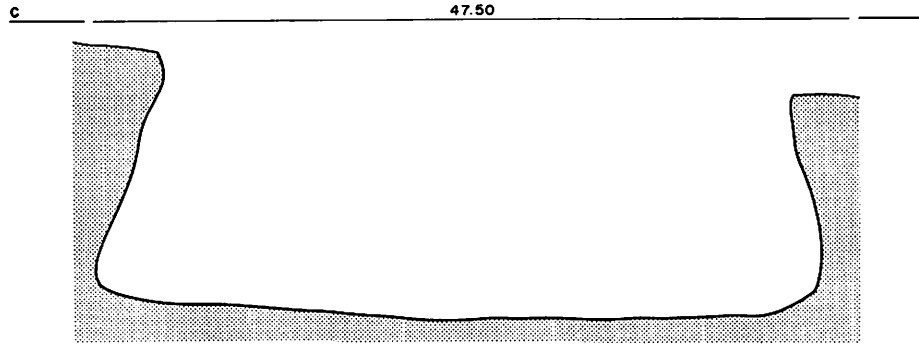
T－181

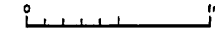


T－181の土層

1．黒色土(粘質、所々砂質)　2．漸移層　3．ローム（黄褐色土、V）　4．黄褐色土（砂まじり、茶褐色粘土所々）　5．VI層（砂白色砂層）　6．茶褐色土（V＋VI）　7．6と同じ、ややわらかい

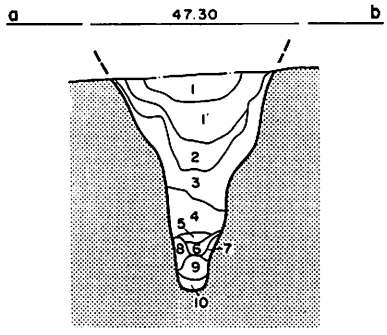






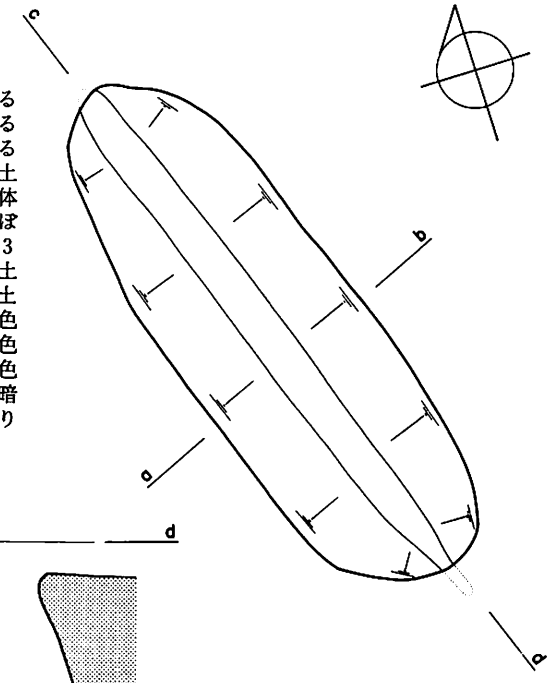
図III－472　Tピット実測図(23)

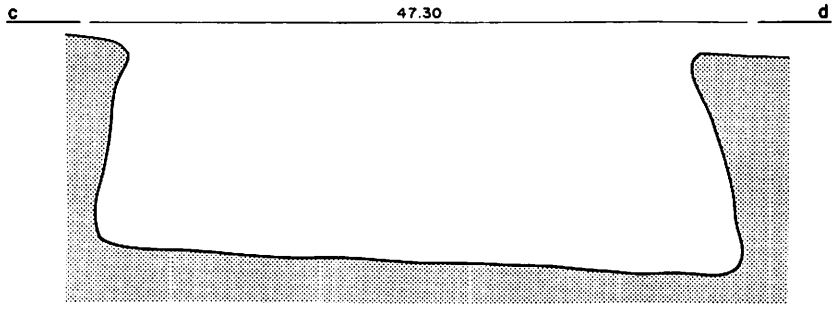
T－182



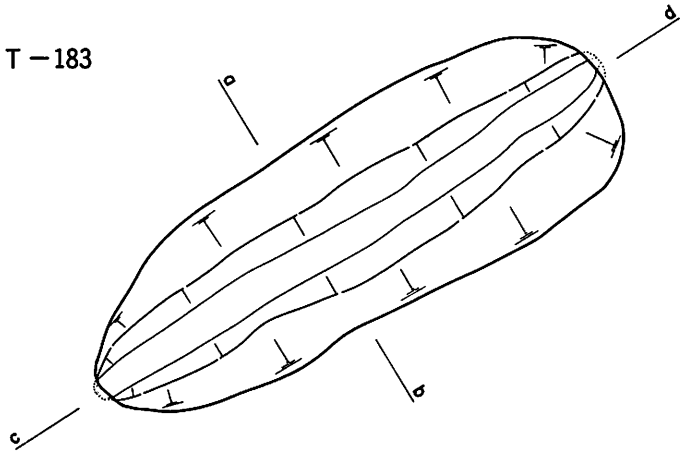
T－182の土層

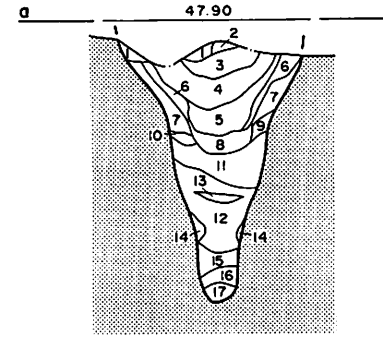
1．黒色土　しまっている　1'．漸移層　しまっている　2．黄色土　黒い斑点がある　しまっている　3．黄色土　さらさら　橙色の荒砂が全体にまじる　4．黄褐色土　ぼそぼそ、粘性がある、少量3の砂がまじる　5．黒色土　ぼそぼそ　6．黄褐色土　ローム砂まじり　7．灰白色　壁が落ちたもの　8．灰白色　壁が落ちたもの　9．黄褐色土　ローム砂まじり　10．暗灰白色　ぼそぼそ、砂まじり

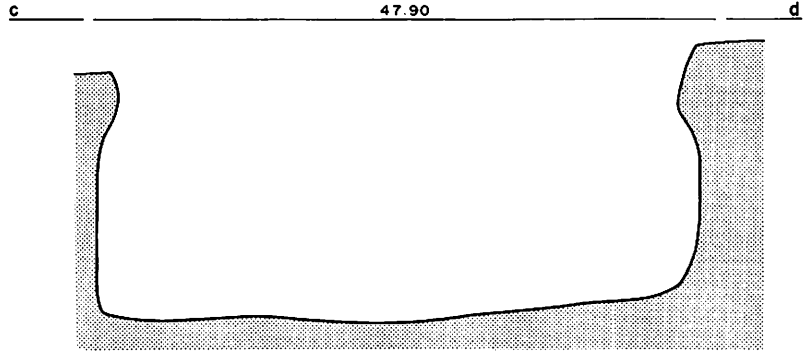




T－183

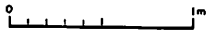






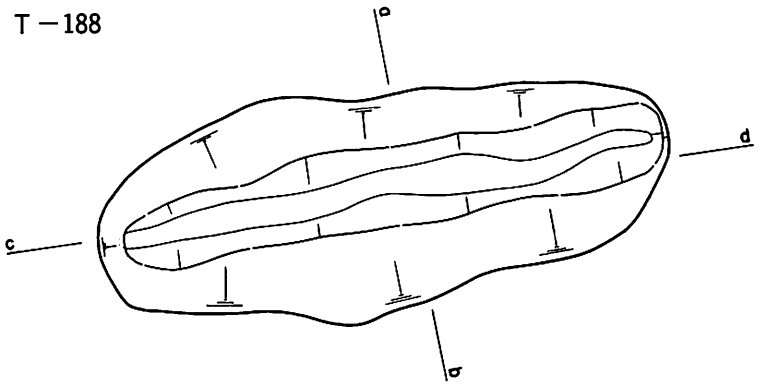
T－183の土層

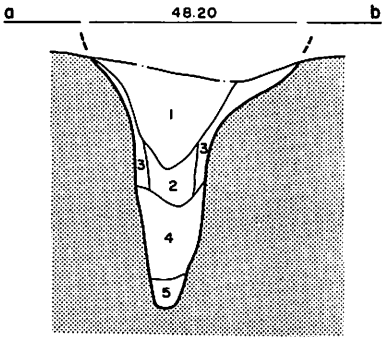
1．暗褐色土　黄色ブロックまじり　2．灰黄褐色土　3．黄褐色土＋うすこげ茶　4．黒褐色土　5．4と比してややうすい　6．黄褐色土にブロック状に黒褐色土まじる　7．黄褐色土　8．黒褐色土　黄褐ブロックまじり　9．黒褐色土　モザイク状に黄褐色土がまじる　10．うすいこげ茶　11．黄褐色土　12．黄褐色土　ボロボロ　13．うすい灰黄色土　14．黄褐色土　15．暗褐色土　16．15＋黄褐色砂　17．砂

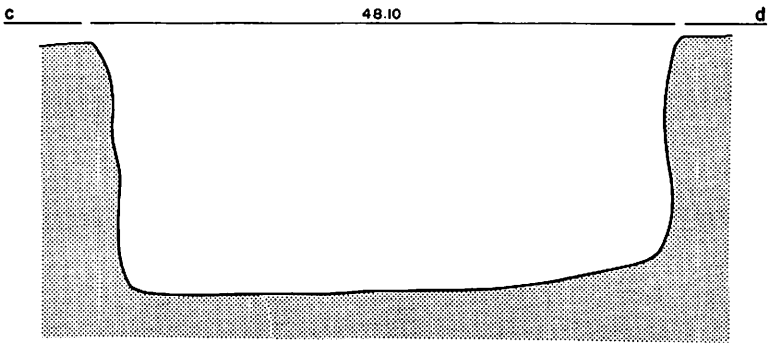


図III－473　Tピット実測図(24)

T－188

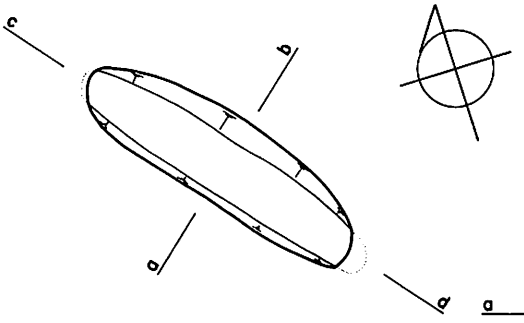


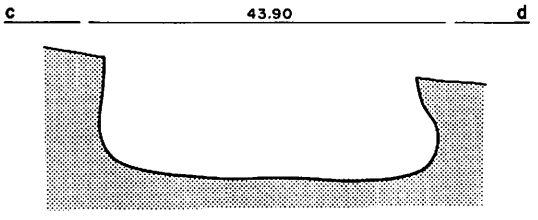


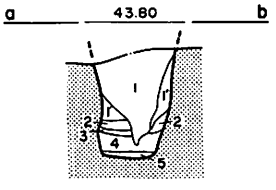


T－188の土層
1．黒褐色土　ロームまじり
2．暗褐色土　3．黄褐色土
4．黄褐色土　やわらかい　5．暗褐色土　黒褐色土まじり

T－197

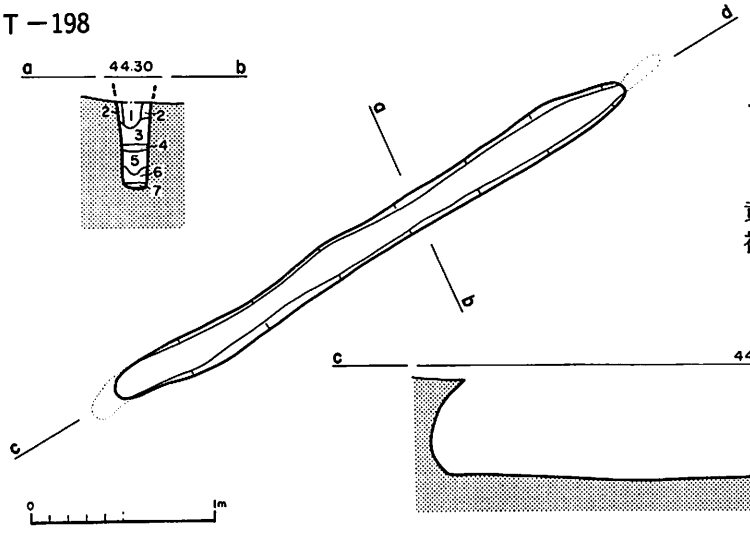


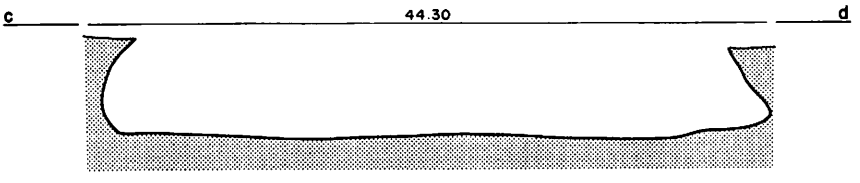




T－197の土層
1．黒褐色土　1'．黒褐色土　ロームがモザイク状にまじる
2．暗黄褐色土　かたくしまる
3．黒褐色土　ロームまじり1'に比して黄が強い　4．黄白色粘土
5．黒褐色土

T－198

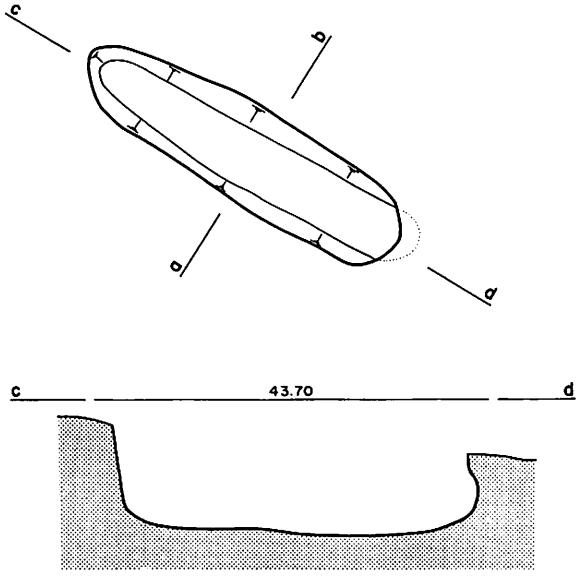




T－198の土層
1．黒褐色土　2．黄褐色＋黒褐色土
3．黒色土　ローム粒少量まじる　4．黄褐色＋黒褐色土　5．黒色土　6．黄褐色砂　7．黄褐色ローム　やわらかい

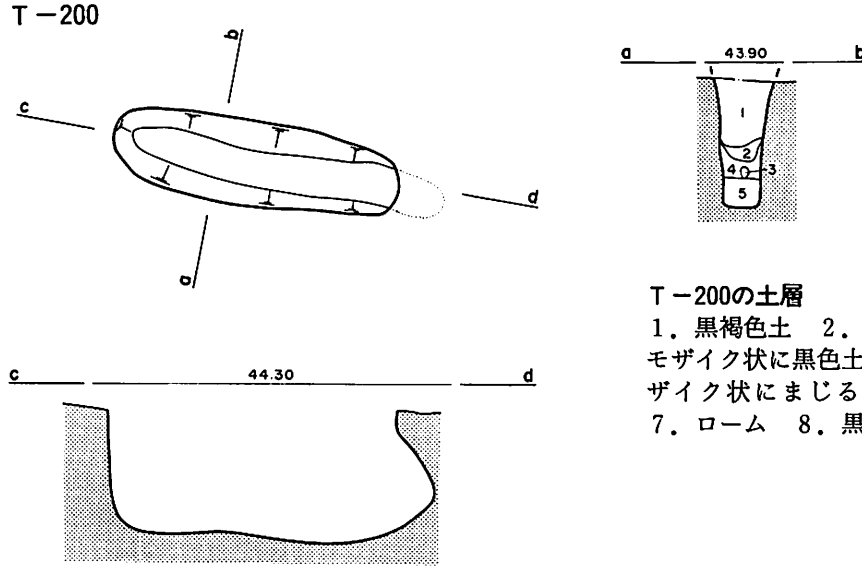
図III－474　Tピット実測図(25)

T－199



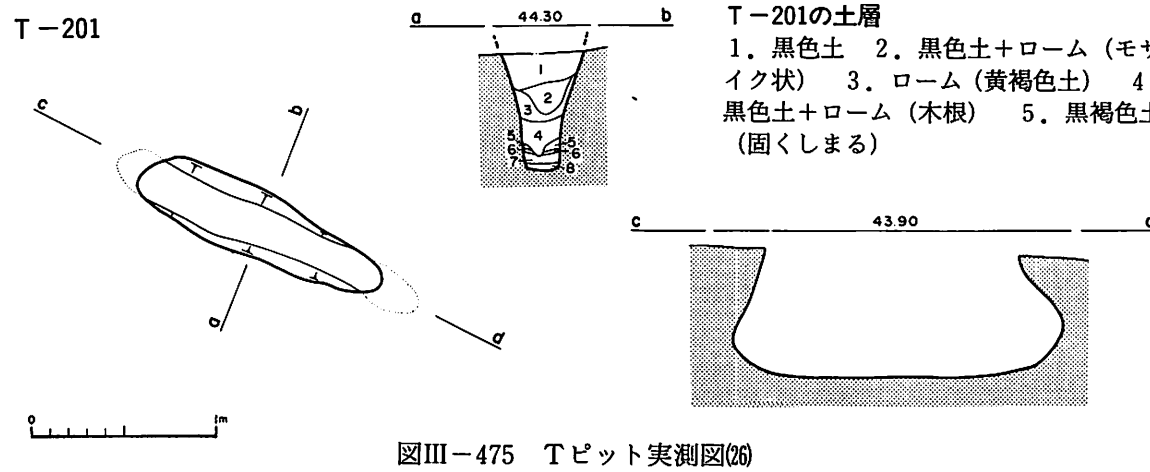
T－199の土層
1．黒褐色土　2．黄褐色土　粘質　3．黒褐色土　4．黒褐色土　やわらかい　5．黄褐色粘土　6．黒色土

T－200



T－200の土層
1．黒褐色土　2．黄褐色土　3．灰黄褐色土　モザイク状に黒色土　4．黒色土　ロームがモザイク状にまじる　5．ローム　6．黒色土　7．ローム　8．黒色土　細粒で固くしまる

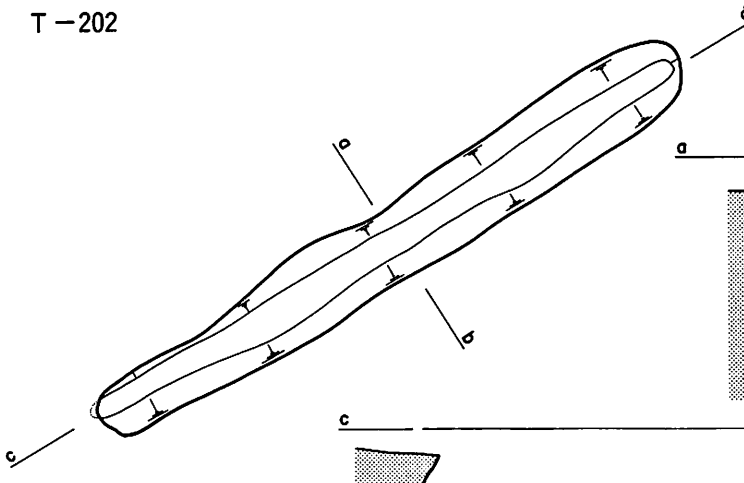
T－201



T－201の土層
1．黒色土　2．黒色土＋ローム（モザイク状）　3．ローム（黄褐色土）　4．黒色土＋ローム（木根）　5．黒褐色土（固くしまる）

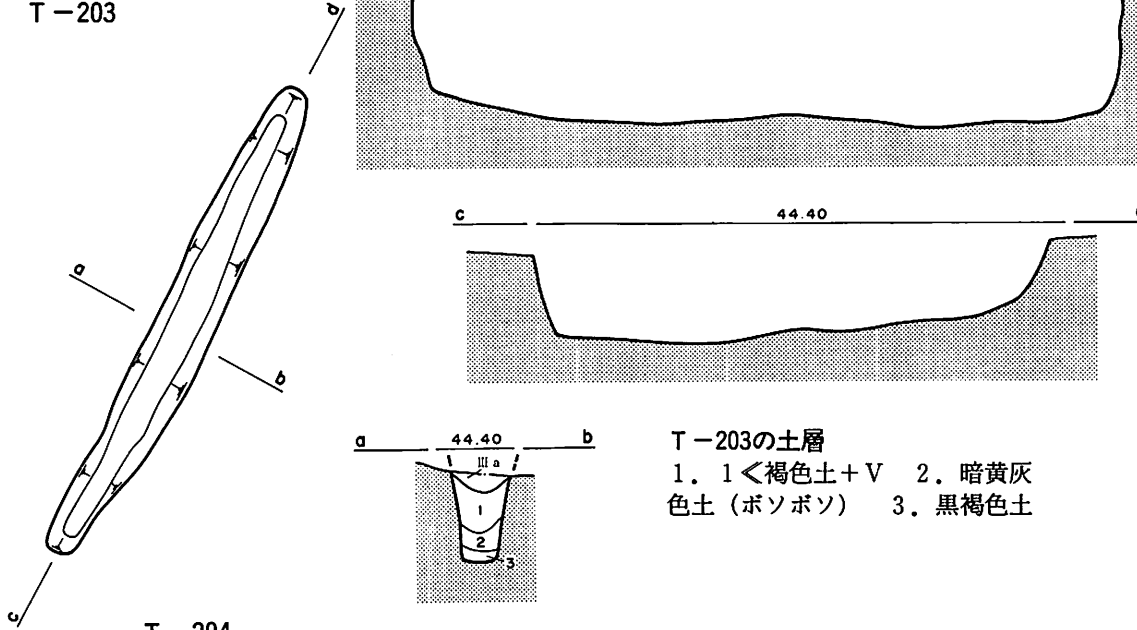
図III－475　Tピット実測図(26)

T－202



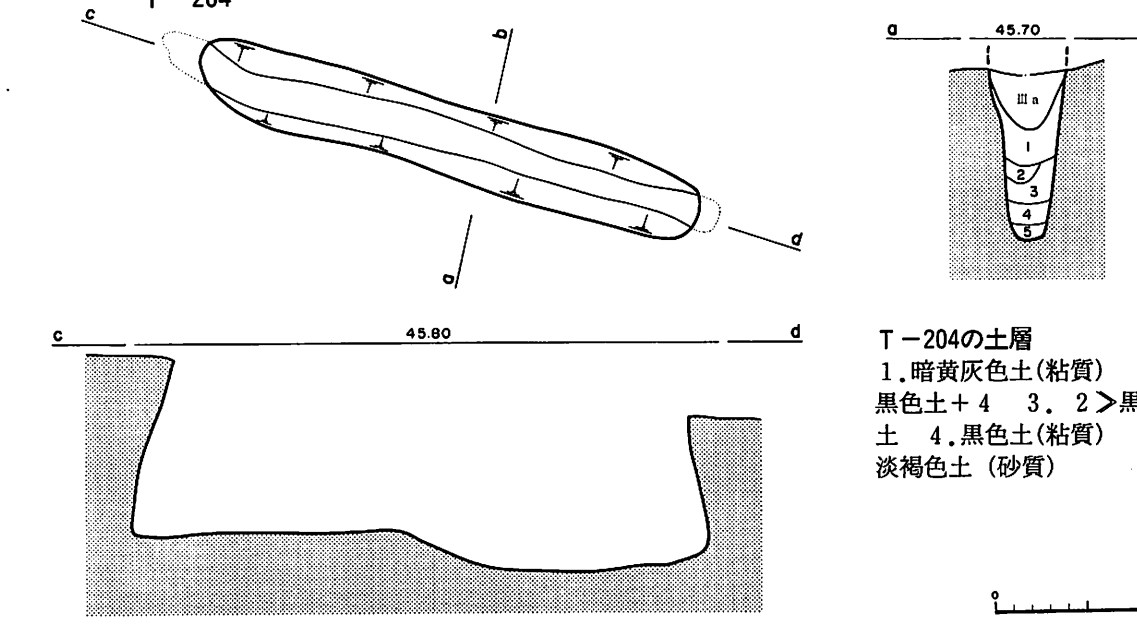
T－202の土層
1．黒褐色土（Ⅲa＞V）　2．黒色土＋1（汚れた堆積）　3．暗黄色土に2が互層に堆積　4．暗黄色土＞黒色土　5．淡褐色土（砂質）　6．黒色土

T－203



T－203の土層
1．1≪褐色土＋V　2．暗黄灰色土（ボソボソ）　3．黒褐色土

T－204

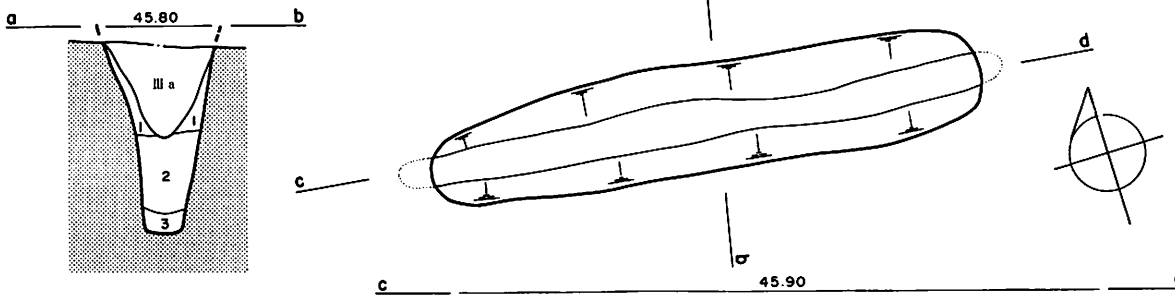


T－204の土層
1.暗黄灰色土(粘質)　2．黒色土＋4　3．2＞黒色土　4.黒色土(粘質)　5．淡褐色土（砂質）

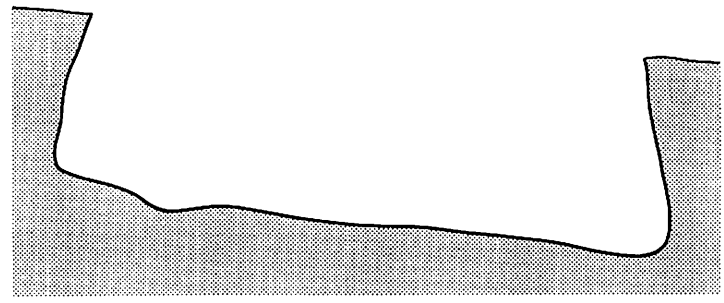
0　1m

図Ⅲ－476　Tピット実測図(27)

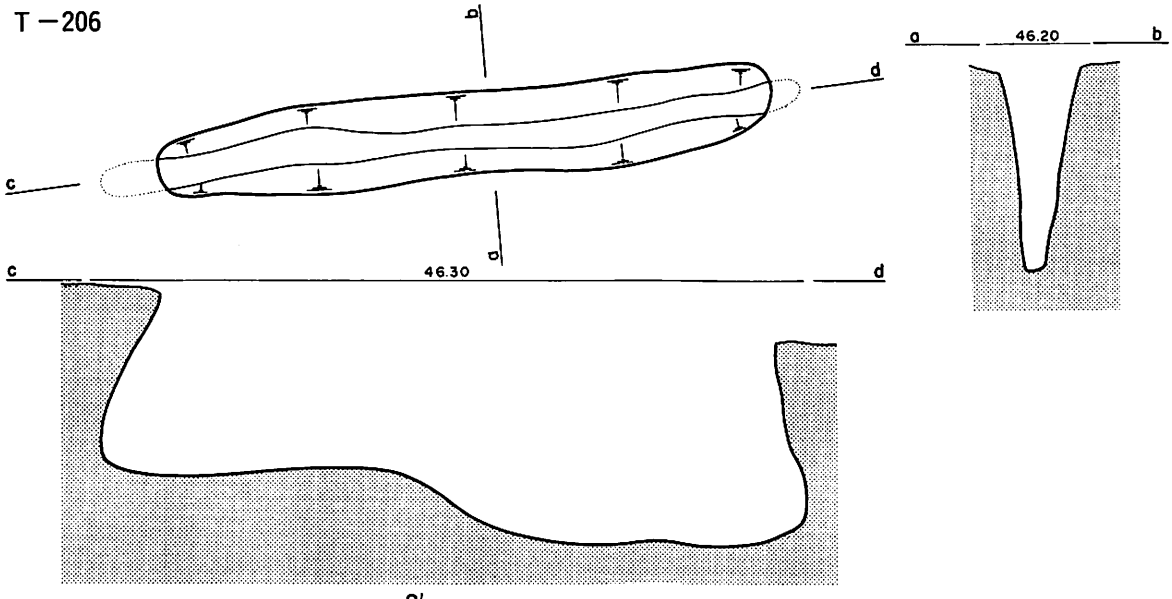
T－205



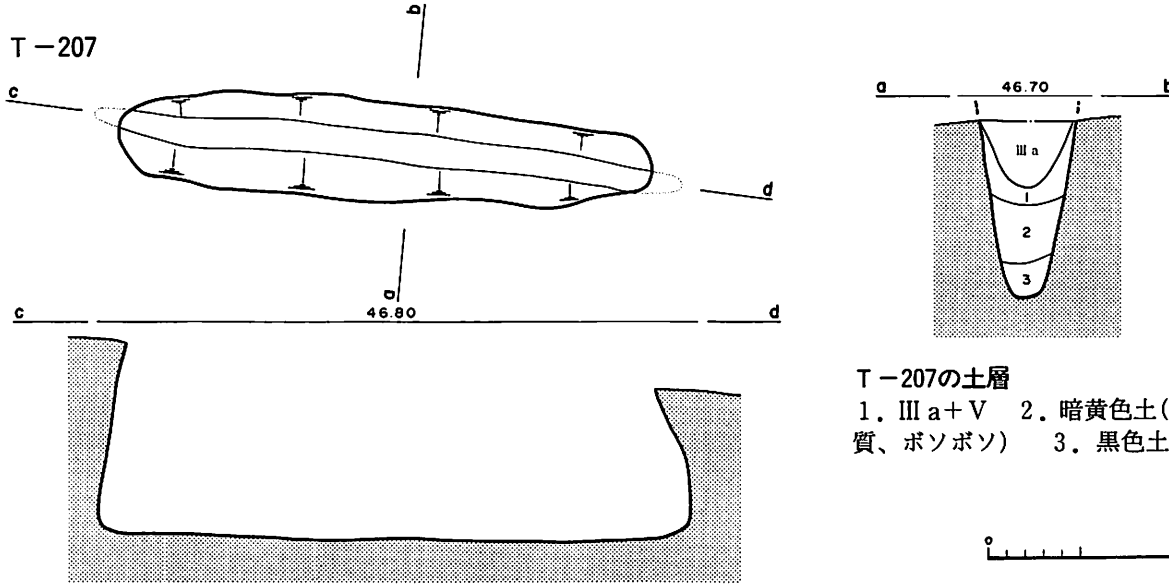
T－205の土層
1．暗黄色土（粘質）　2．暗黄灰色土（ボソボソ）　3．黒色土



T－206

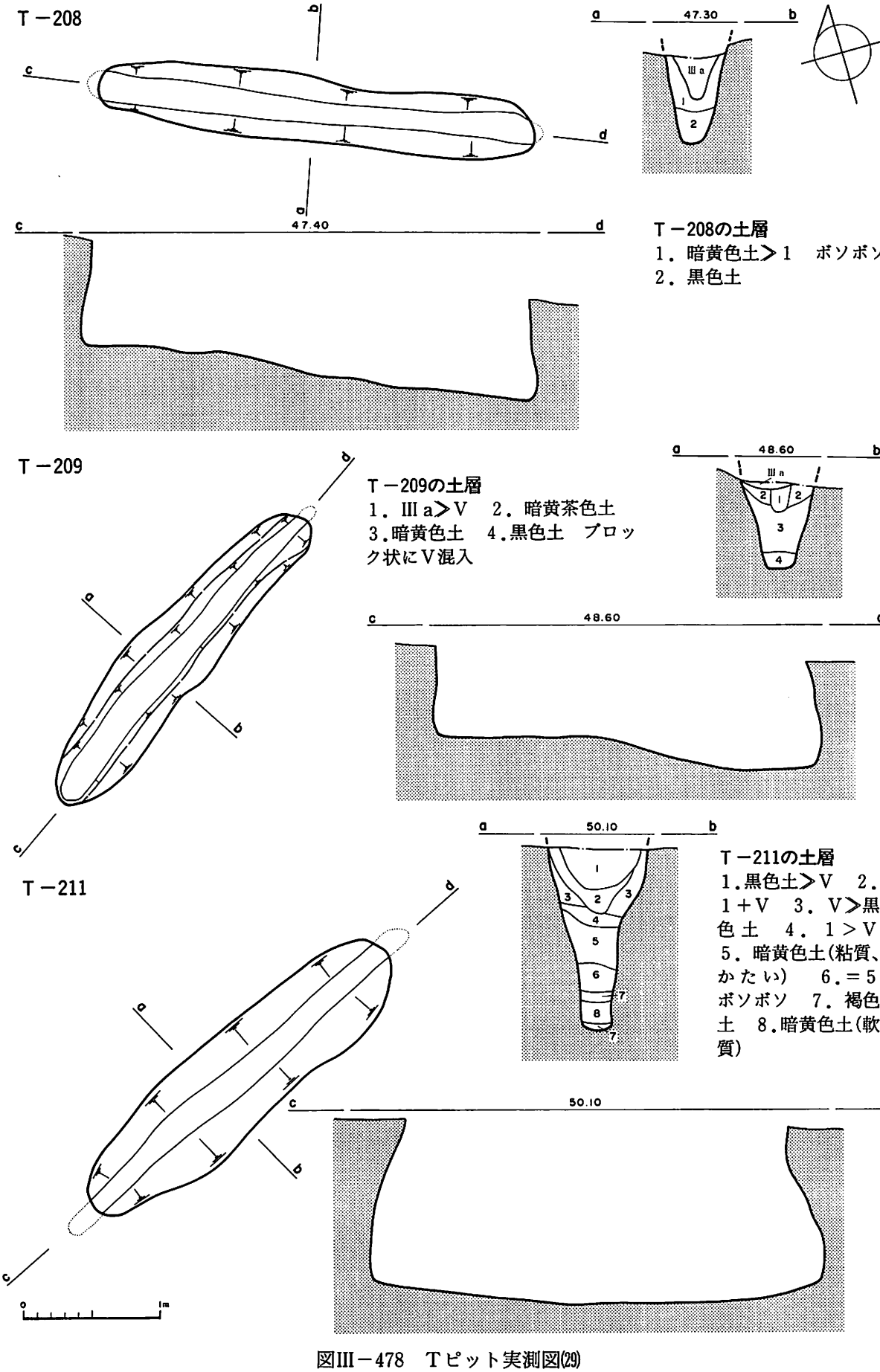


T－207

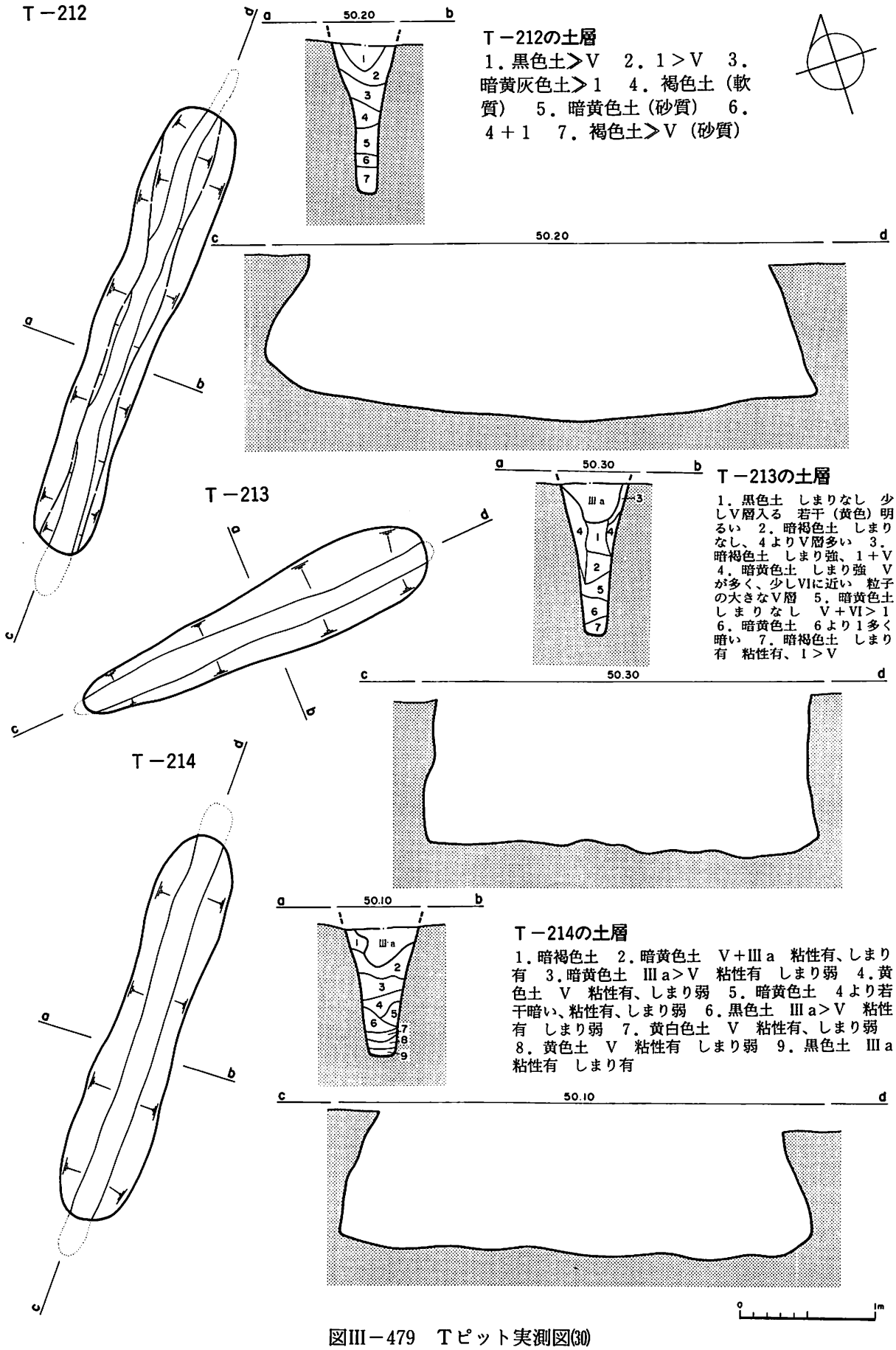


T－207の土層
1．III a＋V　2．暗黄色土(粘質、ボソボソ)　3．黒色土

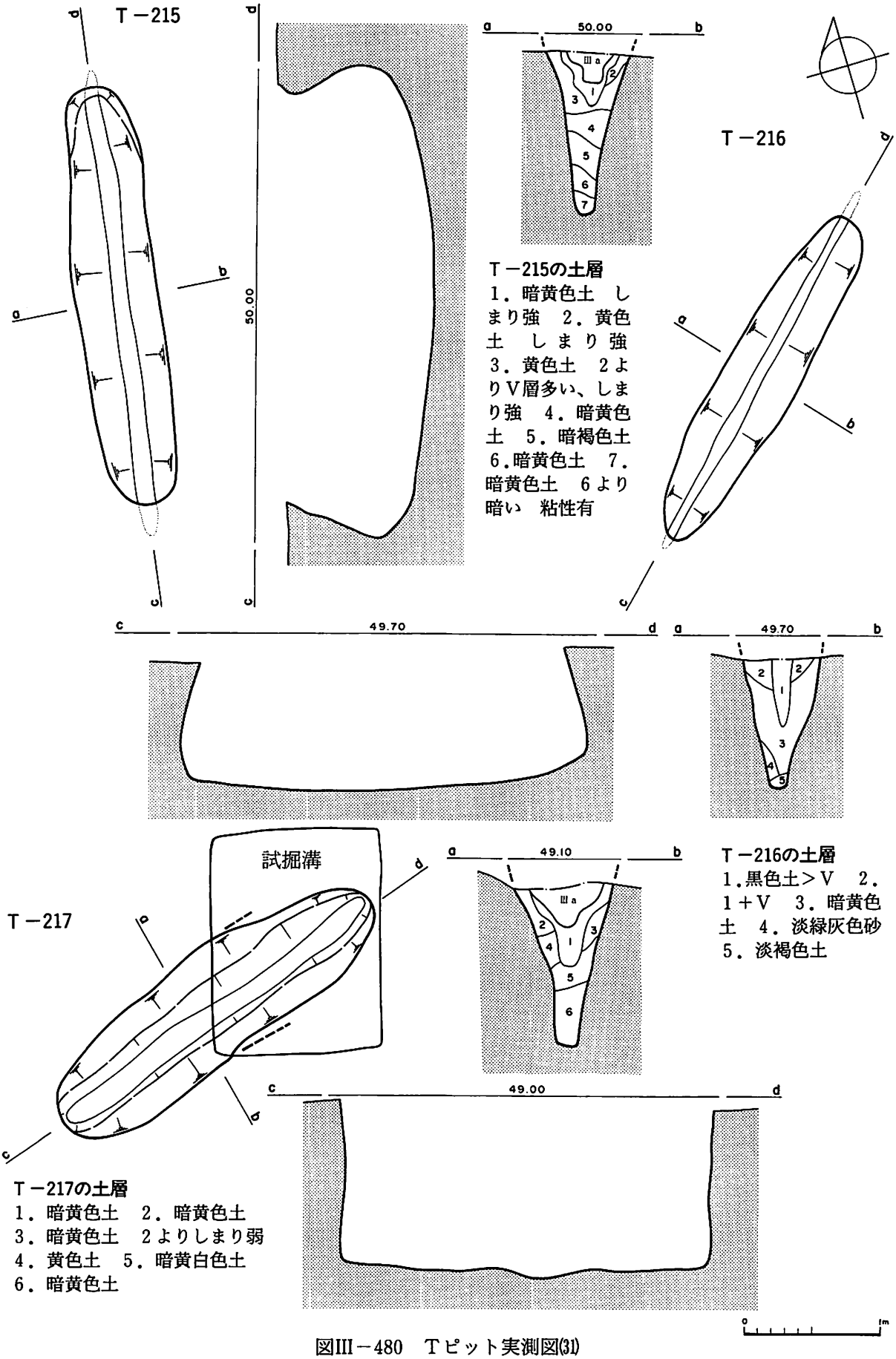
図III－477　Tピット実測図(28)



図III－478　Tピット実測図(29)

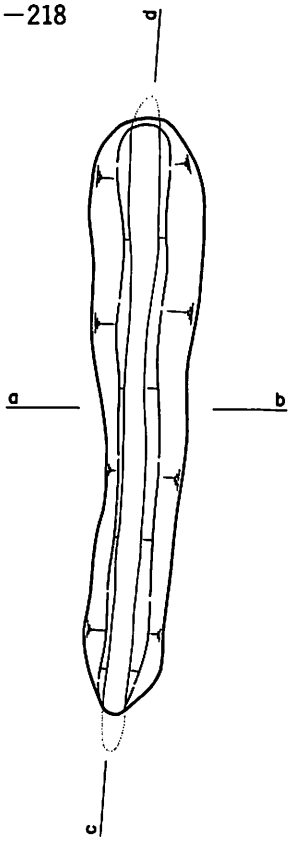


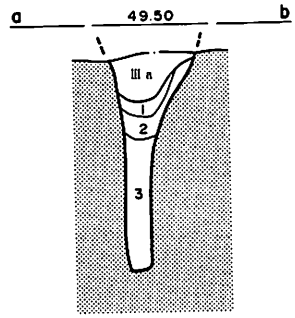
図III－479　Tピット実測図(30)



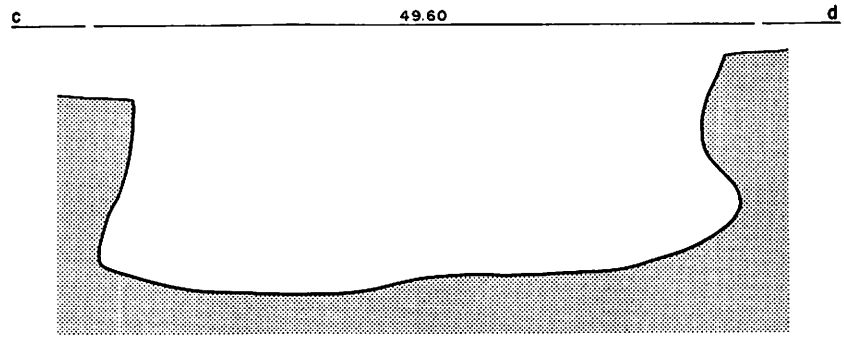
図III－480　Tピット実測図(31)

T－218

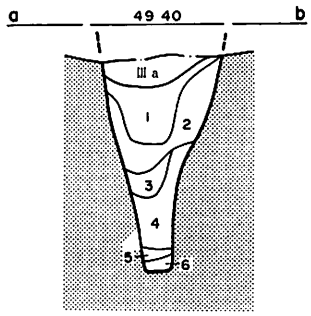




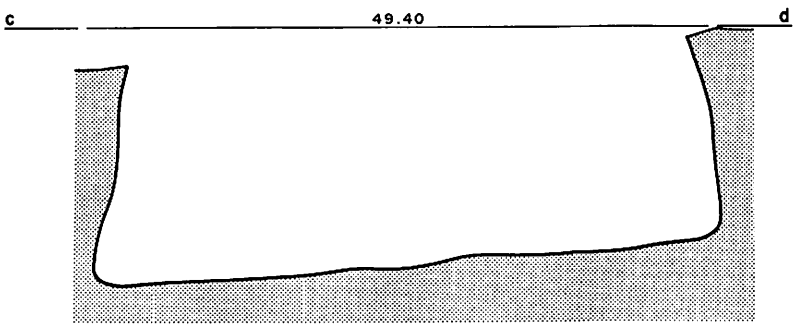
T－218の土層
1．暗褐色土　III a＋V　2．黄色土　3．暗褐色土　III a≧V　粘性有　しまりなし、ボソボソ

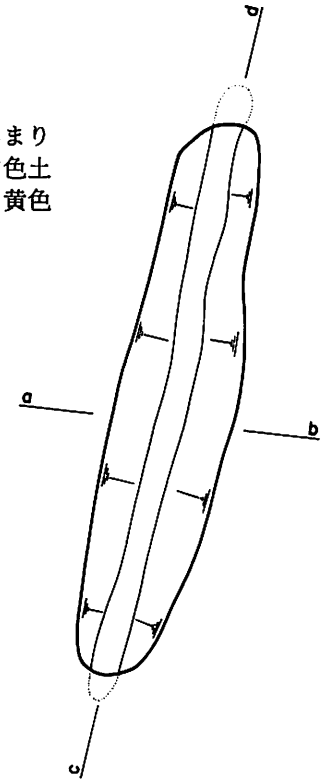


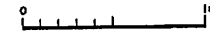
T－219



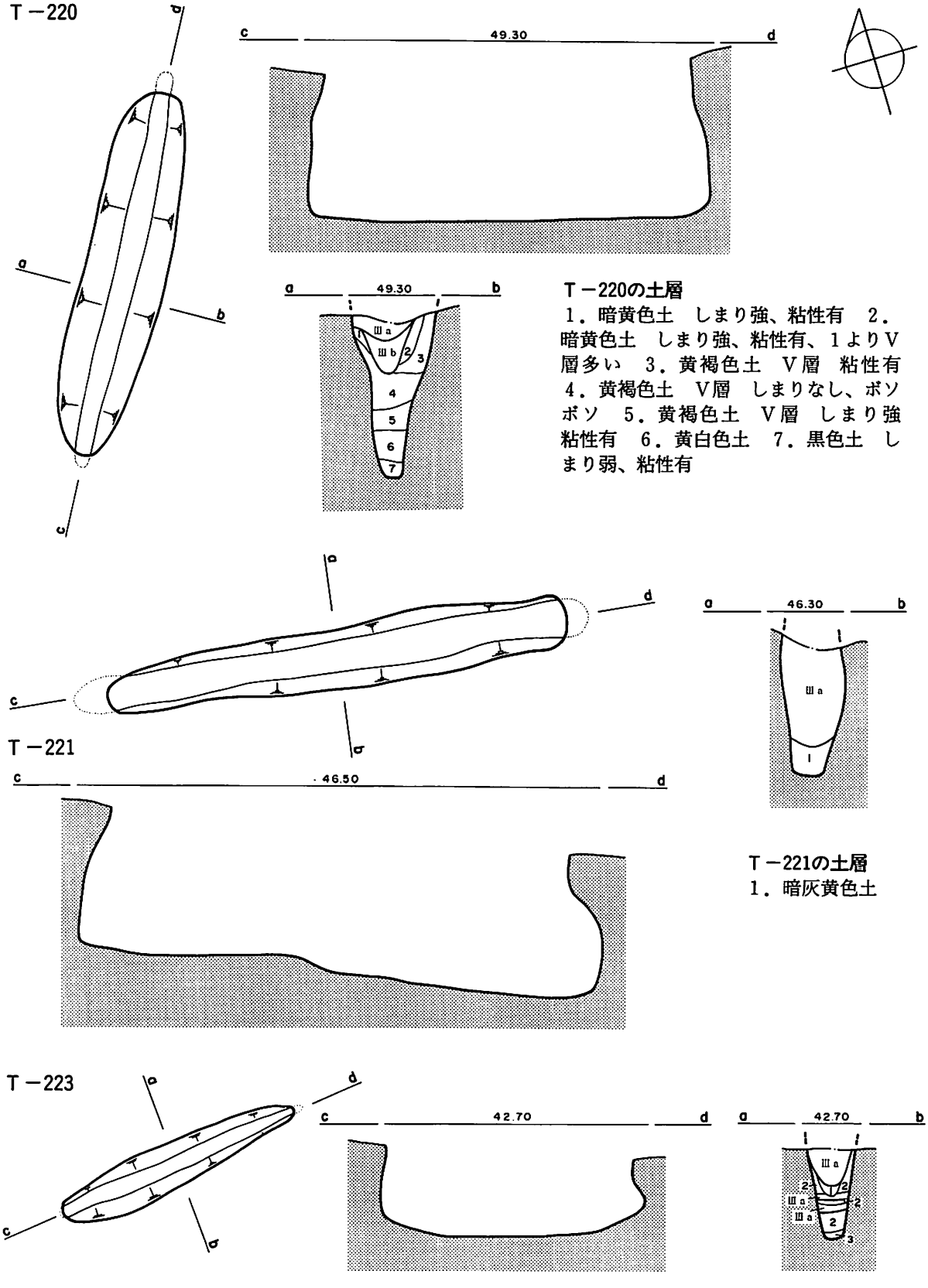
T－219の土層
1．暗黄色土　しまり強　2．黄色土　しまり弱　3．黄白色土　しまりなし　4．黄白色土　しまりなし　5．黄色土　しまり弱　6．黄色土　しまり弱、粘性強、若干黒色土混じる





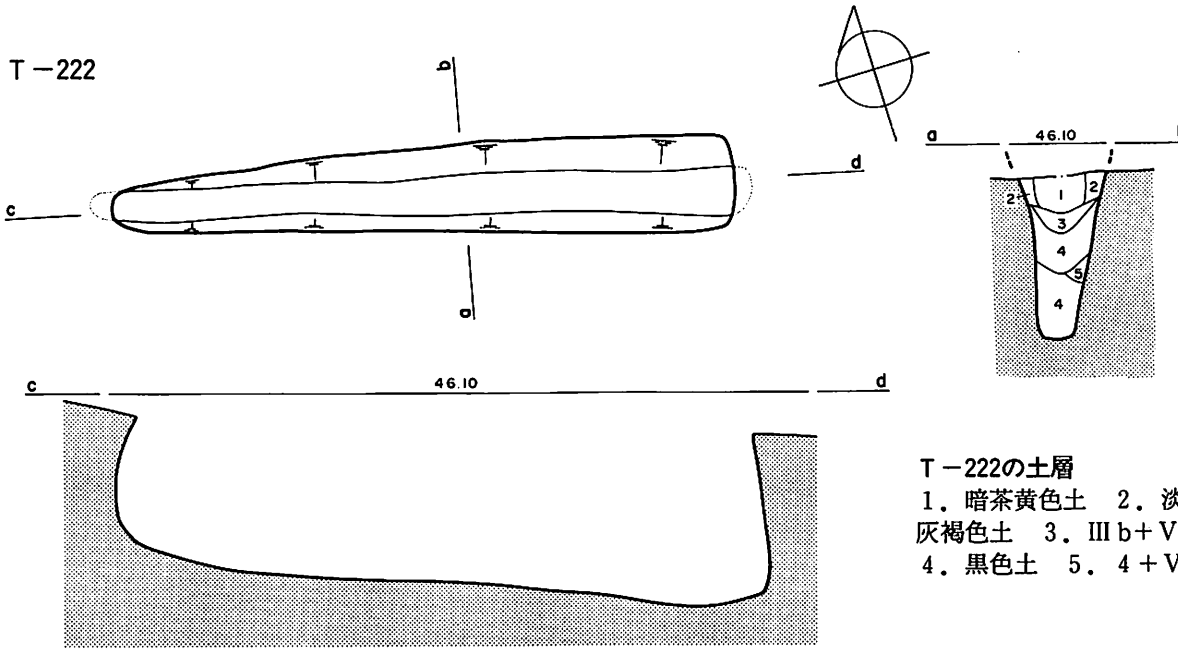


図III－481　Tピット実測図(32)



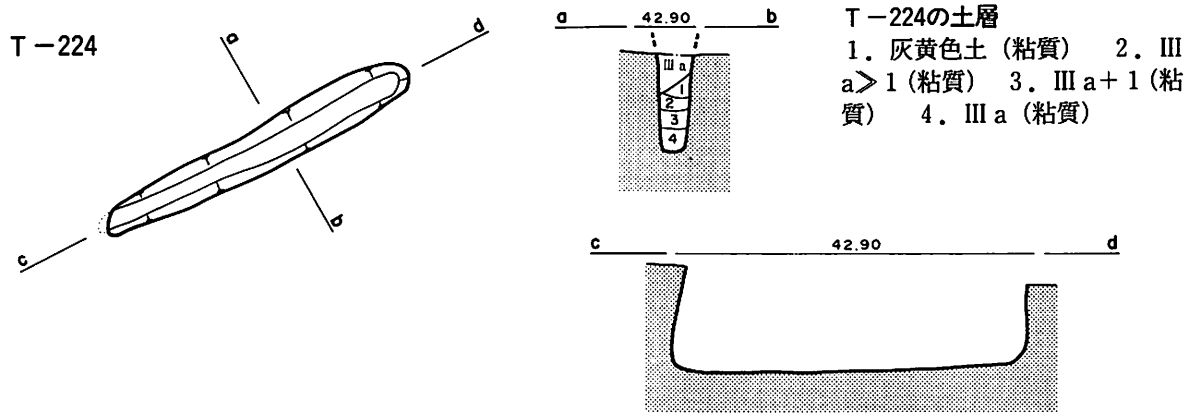
図Ⅲ－482　Tピット実測図(33)

T－222



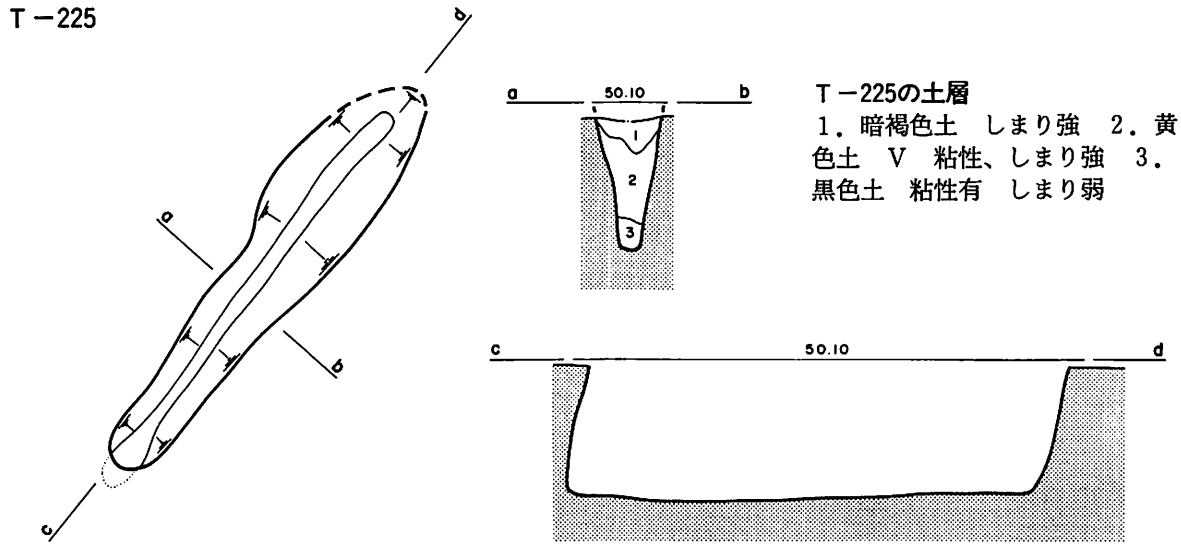
T－222の土層
1．暗茶黄色土　2．淡灰褐色土　3．IIIb＋V　4．黒色土　5．4＋V

T－224



T－224の土層
1．灰黄色土（粘質）　2．IIIa≫1（粘質）　3．IIIa＋1（粘質）　4．IIIa（粘質）

T－225



T－225の土層
1．暗褐色土　しまり強　2．黄色土　V　粘性、しまり強　3．黒色土　粘性有　しまり弱

0　1m

図III－483　Tピット実測図(34)

Ⅳ　包含層出土の遺物

1　土器

縄文時代早期(Ⅰ群)に属するものが大半である。包含層から37,219点が出土した。その内訳はⅠ群B類17点、D1類34,615点、D2類475点、E類1,178点、G類630点、不明21点である。Ⅱ群からⅤ群土器については平成7年度調査区では検出されなかった。これら土器のほとんどはD地区からの出土であり、そのおおまかな分布状況は以下のとおりである(図Ⅳ－2～9)。Ⅰ群B類は調査区内では散発的に検出された。D1類は調査区ほぼ全域で検出されるが、南西部で集中的に出土し、特にH－460の周辺に集中する。D2類は調査区の北東部で集中的に検出される。E類は調査区の北部に散発的に分布し、G類は調査区の北東部で集中している。

(1)　用語について

Ⅰ群土器の変遷をとらえる上で、文様の施文部位の変化に視点をおいた。施文部を観察するために器形の細部についての名称に触れる。また施文手法についても、分類の重要な指標に関わるため、施文手法の分類に用いた用語の解説を最初に加える。

〔器形・部位の名称〕(図Ⅳ－1)

ア．口縁部部位について

Ⅰ群土器は主に口唇部から口縁部に文様が施され文様帯が形成されるが、口唇部には更に、口縁部文様帯とは別に局所的な施文部位が観察される。その部位は口唇部先端部に限定されることがあり、これを区別する必要がある。これらの施文部位を明確にするため、以下の呼称を用いた。

(1)口縁部：頸部の屈曲から、または文様帯の下限から上位までの名称。

(2)口唇部：口縁部の縁部に限定される名称。

(3)口唇端部：口唇部の内外面の先端部の名称。

イ．口唇部の形態について

(1)角形：断面が角形を呈する。B・C類に多い。

(2)丸形：断面が先細りで、丸形を呈する。D1類に多い。

(3)外傾：断面が切り出し状に外傾、または断面が三角形に肥厚する。D1類B種・D2類に多い。

ウ．口唇部の施文部位について

(1)上面：断面が角形を呈するものの上面、B・C類に多い。

(2)外傾面：断面が切り出し状に外傾する面。D1類B種・D2類に多い。

(3)上面・外傾面：口唇部が僅かに外傾し、上面と外傾面を両方持つもの。D1類A種に多い。

(4)端部：口唇部の先端、稜となる部位。

エ．尖底部について

(1)乳房状尖底：突起をもち、緩やかな曲線で立ち上がるもの。B・C類に多い。

(2)砲弾形尖底：突起を持たず、比較的鋭い曲線で立ち上がるもの。D1・D2類に多い。

〔文様要素・施文手法の名称〕(図Ⅳ－1，図版225・226)

ア．沈線文について

(1)枕木状沈線文：貝殻の殻表先端部を沈線に沿って押圧し、枕木状の視覚効果を得るもの。B類に多い。

(2)貝刻沈線文：沈線文上に貝殻腹縁を刺突するもの。B・C類に多い。

(3)鋸歯状沈線文：山形沈線文・波状沈線文等と呼ばれるが、本報告では鋸歯状沈線文で統一した。

イ．刺突文について

(1)円形刺突文：器表面に垂直に棒状工具を刺し、平面形状が円形を呈するもの。B類に多く見られる。

(2)楕円形刺突文：器表面に斜角に刺し、楕円形を呈するもの。D1類に多い。

(3)伸円形刺突文：刺突具を器表面に斜角に押し付け、伸円形を呈するもの。D2類に多い。

ウ．貝殻文施文手法について

(1)連続移動文：貝殻腹縁を刺突後、器面から一度離し、位置を少しずらしてまた刺突する動作を連続的に行うもの。

(2)連続波状文：貝殻腹縁を刺突後、器面から離さず、腹縁のカーブを利用して移動していくもの。

(3)背圧痕文：貝殻の殻表を器面に押し付けるもの。貝殻の殻頂を押し付けるものも背圧痕文に含めた。

(4)押引文：貝殻の腹縁・殻表を器面に押し付け、断続的に加圧し移動するもの。

(5)押引波状文：貝殻の殻表を器面に押し付け、腹縁のカーブを利用して移動していくもの。

(6)引摺り背圧痕文：貝殻の殻表を押し付け、曲線的に引き摺るもの。

(7)貝殻条痕文：貝殻の殻表を器面に押し付け、引き摺るもの。

エ．貝殻文について

(1)貝殻腹縁文：肋筋のある貝殻の腹縁部で刺突するもの。

(2)櫛歯状貝殻腹縁文：貝殻の肋筋が摩耗し、櫛歯状となった腹縁部で刺突するもの。

オ．Ⅰ群E類の施文手法について

(1)爪摘み微隆起線文：爪形に粘土を摘みだし微隆起線を作り出すもの。

(2)ナゾリ微隆起線文：粘土を貼り付け、ナゾリ出し微隆起線を作り出すもの。

(3)貼付隆起線文：粘土紐を貼り付けたもの。

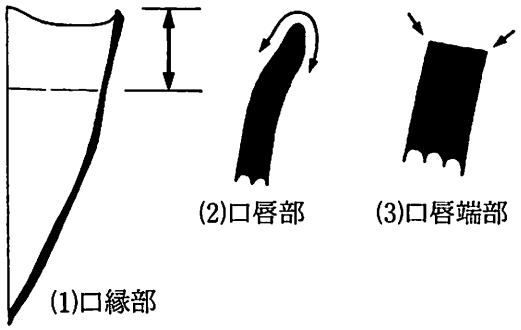
(4)絡条体圧痕文：絡条体を押捺するもの。

(5)集合沈線文：櫛歯状工具で沈線が施されたもの。

以上のように、報告書中で用語の統一をできる限り図り、これらの視点に立って分析を加えている。

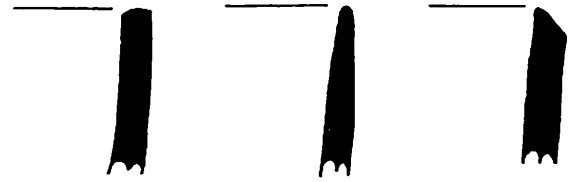
〔器形・部位の名称〕

ア.



(1)口縁部　(2)口唇部　(3)口唇端部

イ.



(1)角形　(2)丸形　(3)外傾

ウ.



(1)上面　(2)外傾面　(3)上面・外傾面

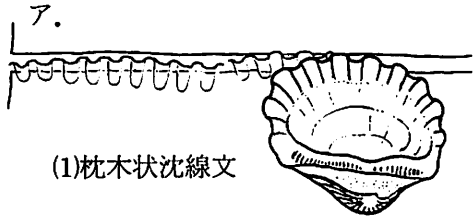
エ.



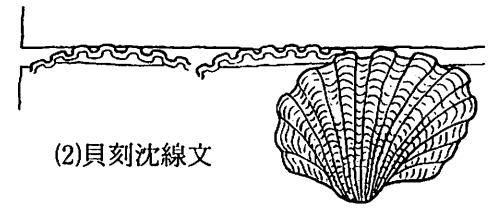
(1)乳房状　(2)砲弾形

〔文様要素・施文手法の名称〕

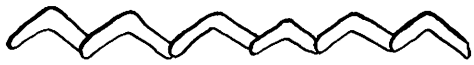
ア.



(1)枕木状沈線文

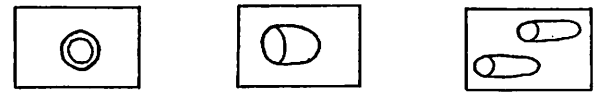


(2)貝刻沈線文



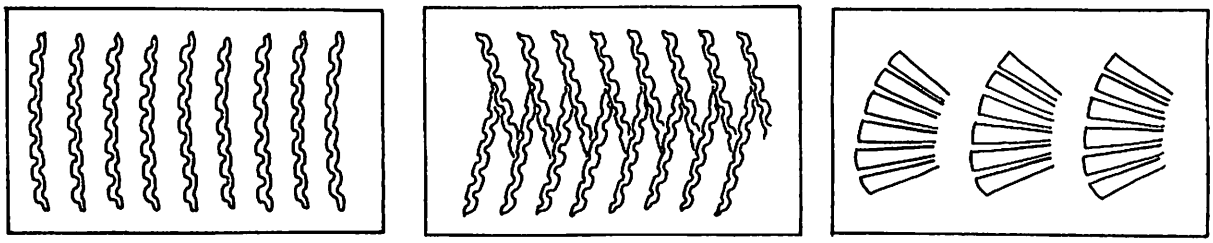
(3)鋸歯状沈線文

イ.

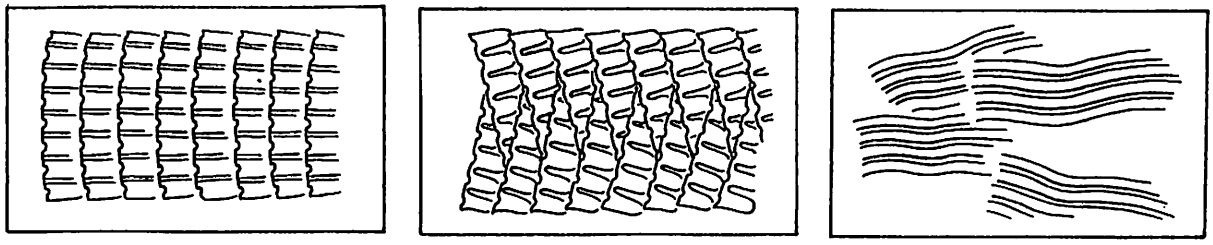


(1)円形　(2)楕円形　(3)伸円形

ウ.

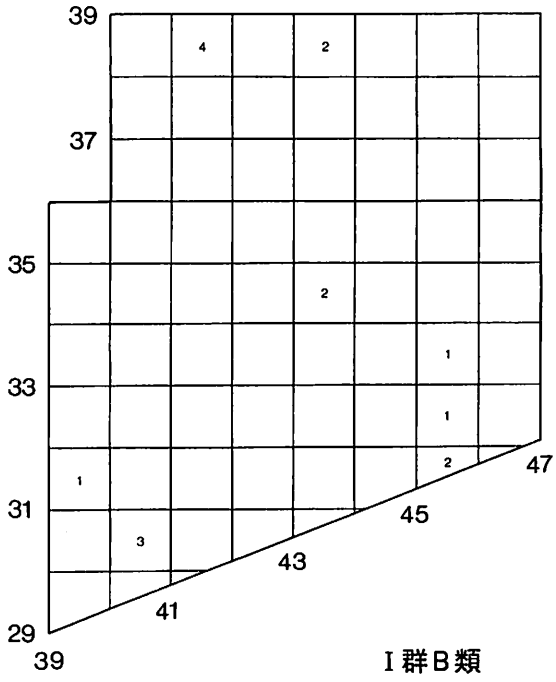


(1)連続移動文　(2)連続波状文　(3)背圧痕文

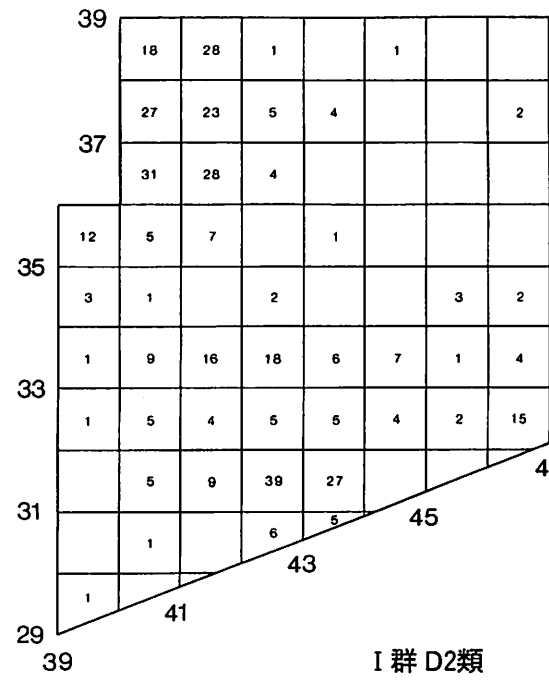


(4)押引文　(5)押引波状文　(6)引摺り背圧痕文

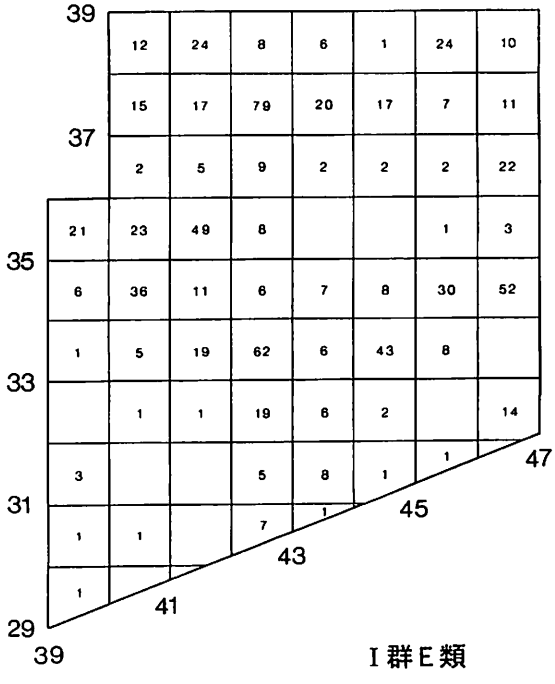
図IV－1　Ⅰ群土器名称模式図



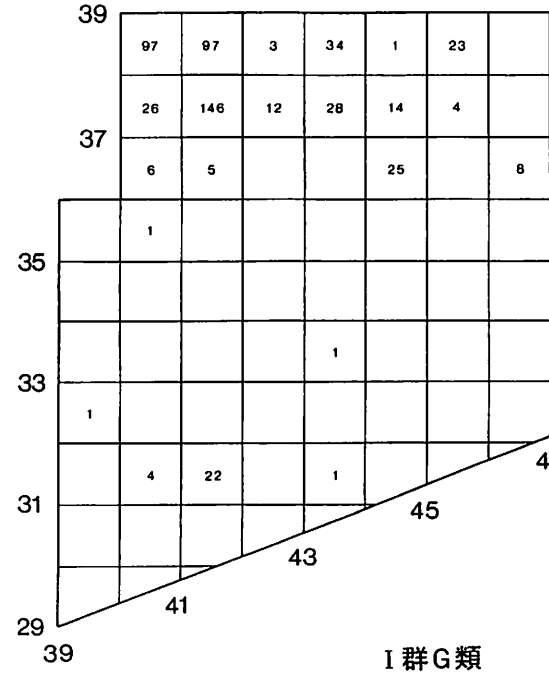
Ⅰ群B類



Ⅰ群D2類

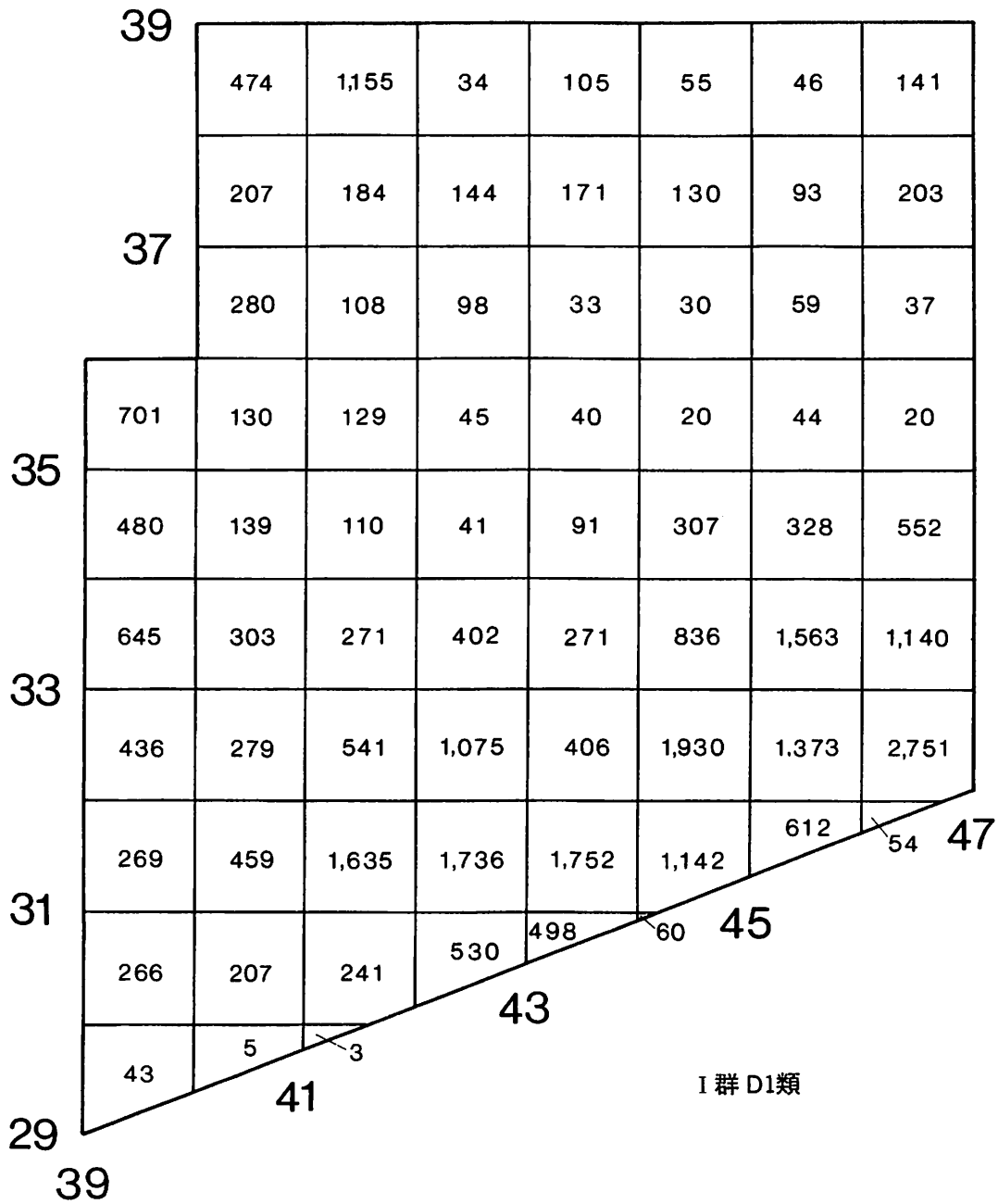


Ⅰ群E類

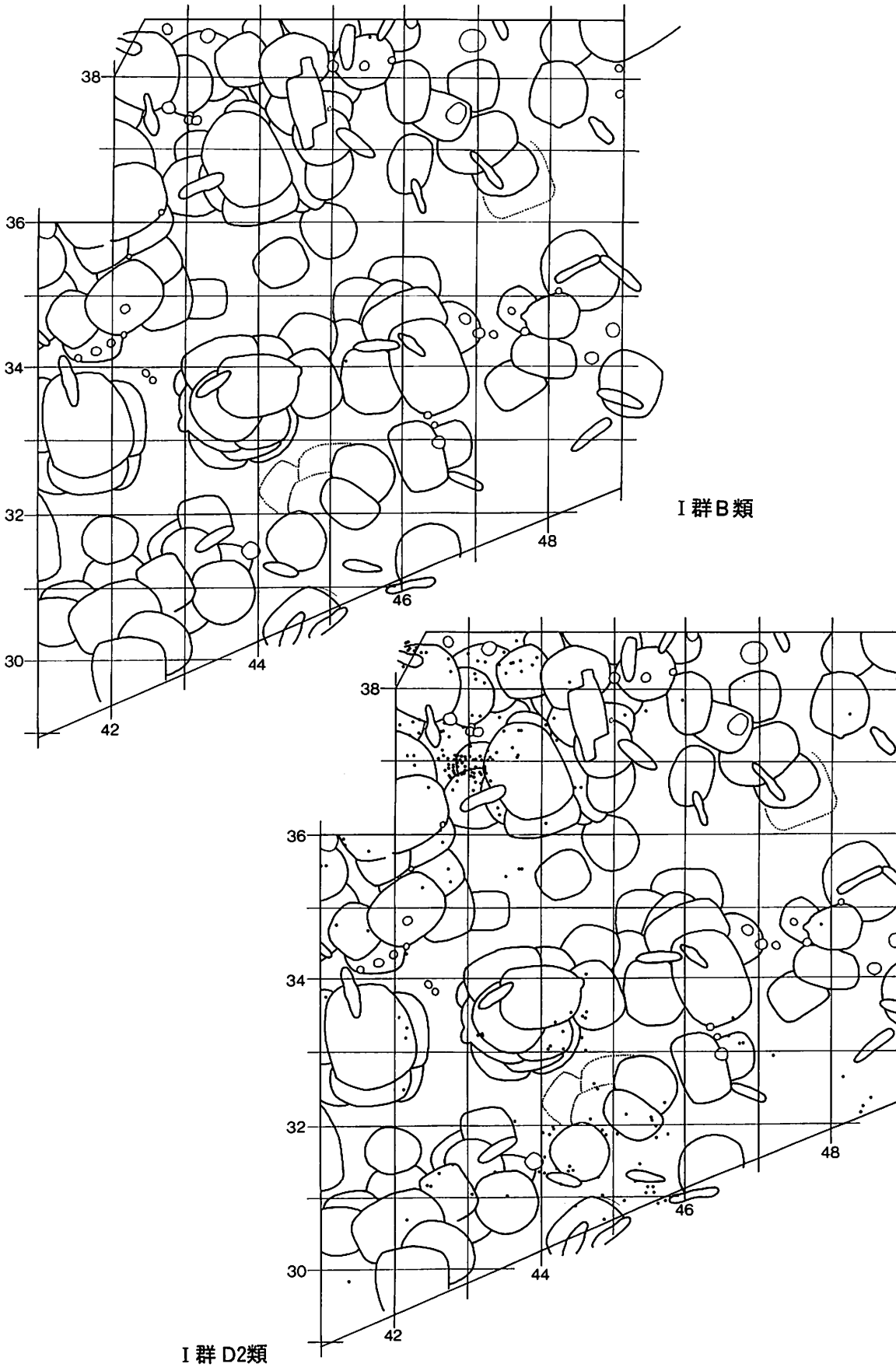


Ⅰ群G類

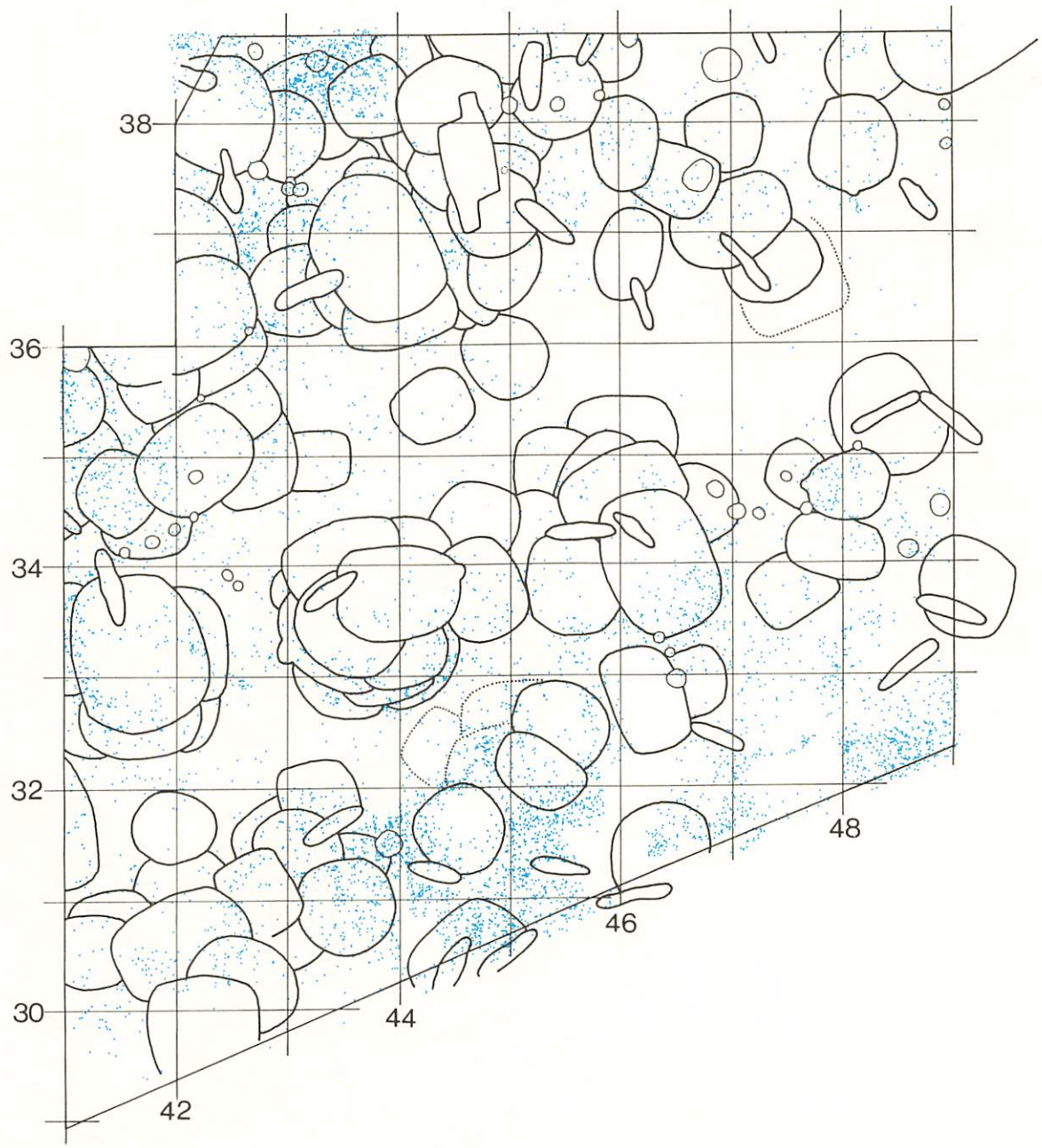
図Ⅳ－2　発掘区別出土遺物点数(1)



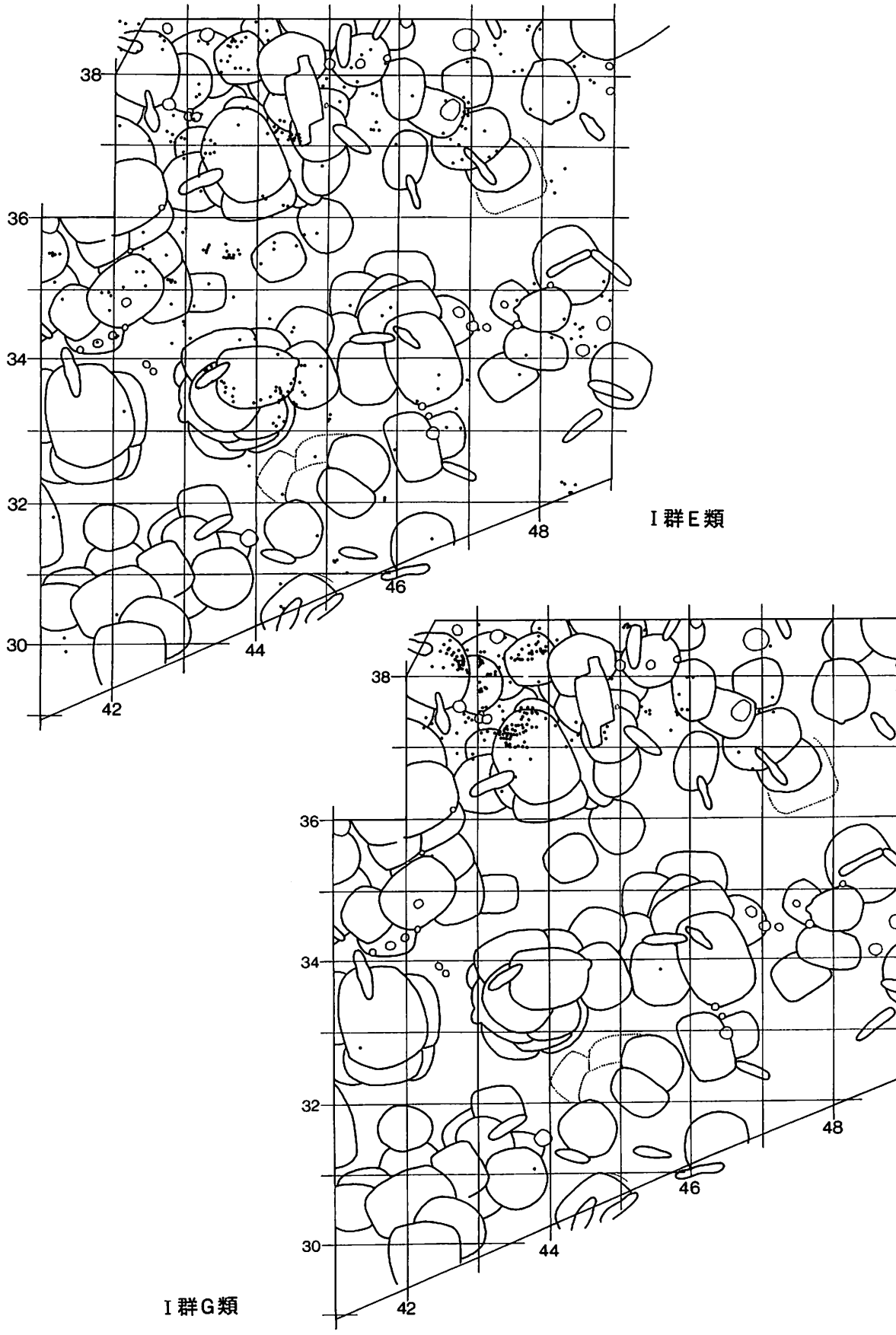
図IV－3　発掘区別出土遺物点数(2)



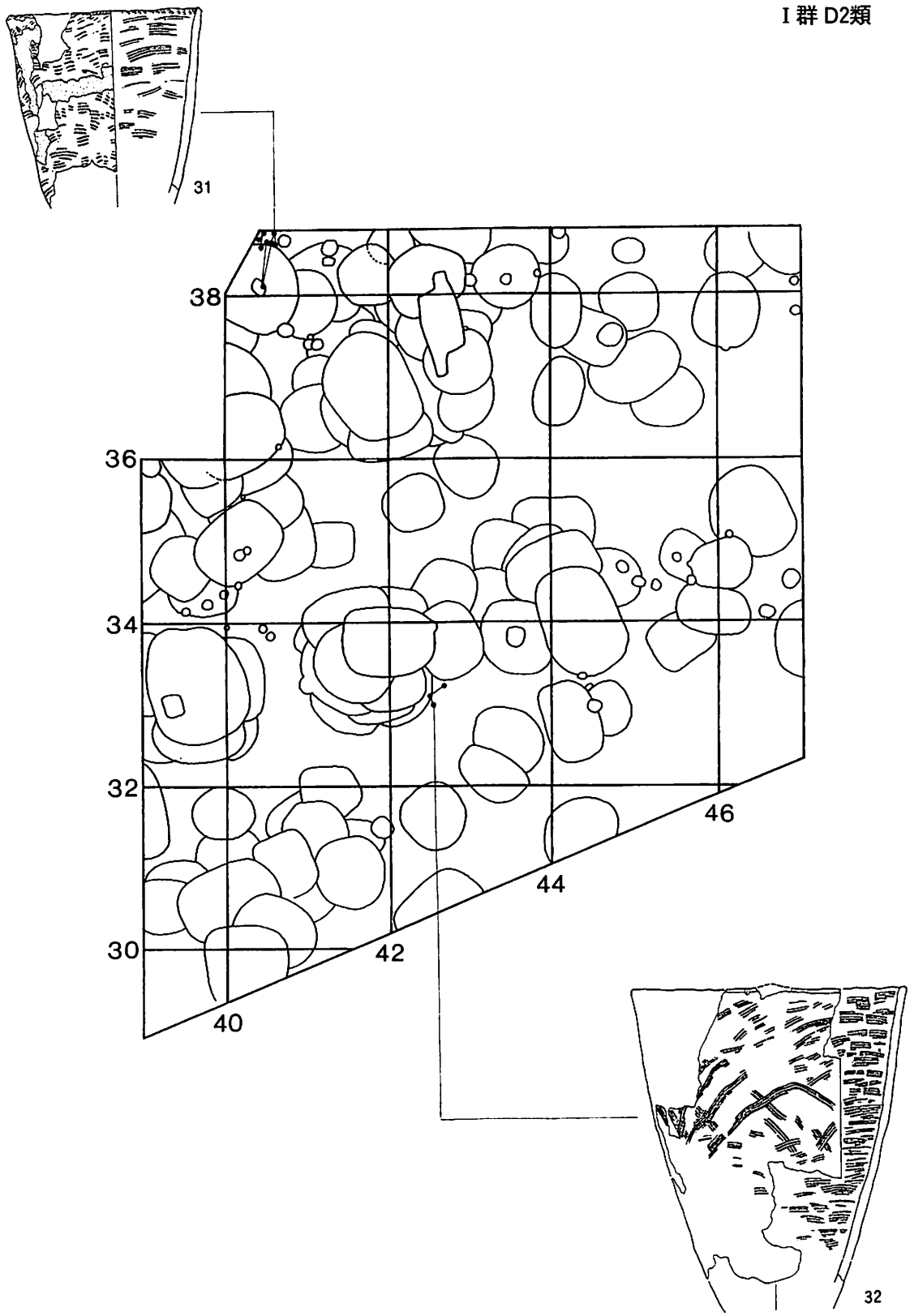
図Ⅳ－4　包含層出土のⅠ群土器分布図(1)



図IV－5　包含層出土のI群土器分布図(2)

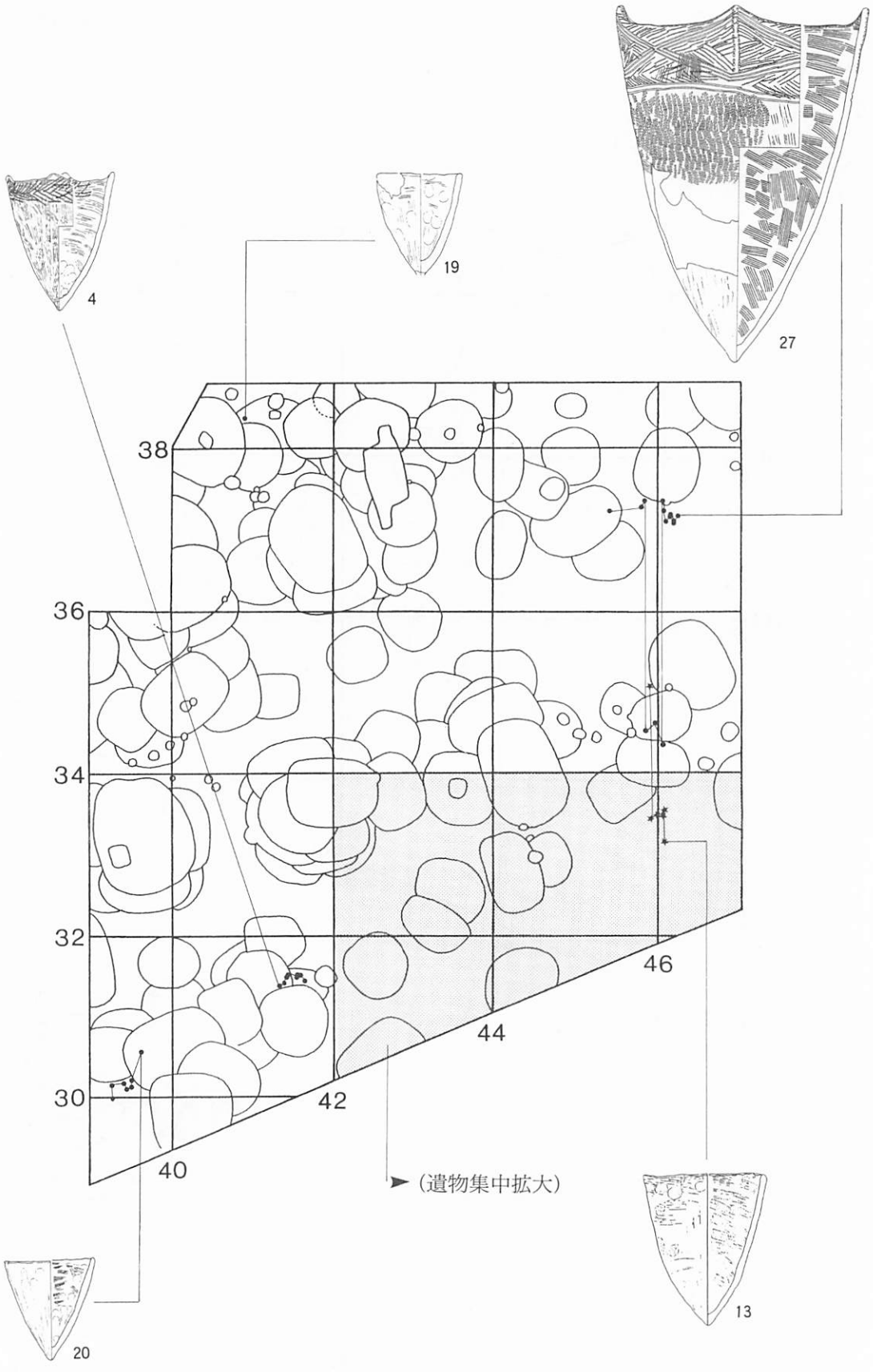


図Ⅳ－６　包含層出土のⅠ群土器分布図(3)

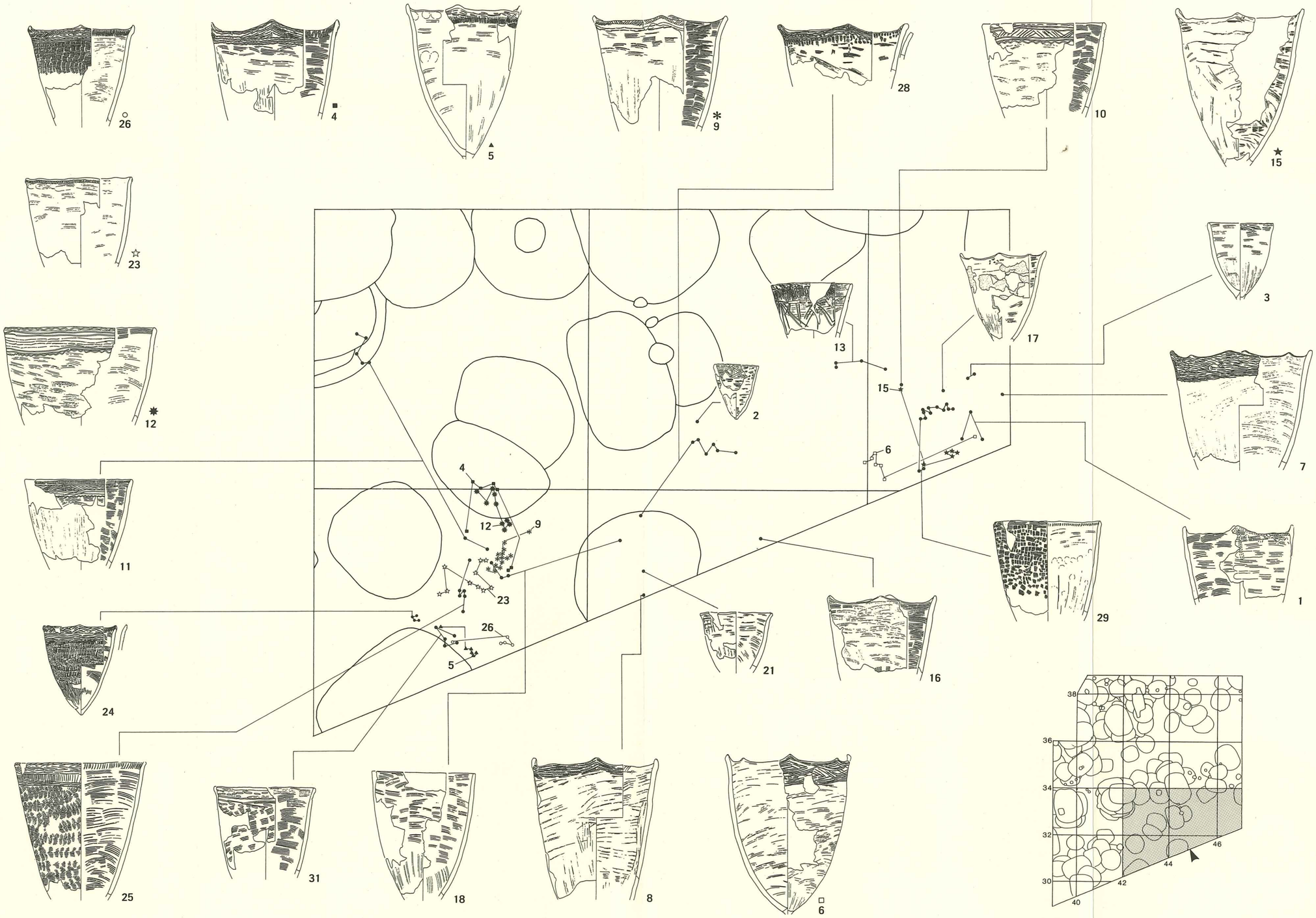


図IV－7　包含層出土のI群D2類土器接合図

Ⅰ群 D1類



図Ⅳ－８　包含層出土のⅠ群 D1類土器接合図(1)



図Ⅳ－９　包含層出土のⅠ群D1類土器接合図(2)

Ⅰ群 D1類

531～532

(2)　I群土器各類の概要

各類の土器の特徴は次のようにまとめられる。なお、平成7年度調査区の主体を占めるI群D1類土器については個別記載を含め別項で詳しく述べることとし、他類の個別記載はここで行っている。

I群B類（図IV－14，図版204）

貝殻腹縁文、沈線文、刺突文を組み合わせて文様を構成するものである。本年度調査区では個体としてのまとまりも、破片数も少ない。器表面は丁寧に調整され、縦位にミガキが加えられているものが多い。中野A遺跡調査報告書（北埋調報79）を踏襲し、器形の分類からａ～ｃ種にわけて説明する。

ａ種. 口頸部に段があり、波状口縁を呈するもの（33・35～40）

33は、文様が沈線文上に貝殻腹縁文が刻まれた（貝刻沈線文）3条一単位の区画線によって文様が描かれている。35～40のうち39・40は枕木状の区画線によって文様が描かれている。

ｂ種. 胴部から直線的に立ち上がるもの（34・42）

34は枕木状の区画線によって文様が描かれている。42はミガキ調整の無文土器である。

ｃ種. 口縁部が直立気味あるいは、頸部でくびれ、やや外反するもの（41）

41は2条一単位の区画線で文様が描かれ、交点に刺突が施される。

I群C類

貝殻腹縁文、沈線文、刺突文を組み合わせて文様を構成するものである。本年度より区分を試みたが、本年度調査区では出土していない。VI章のまとめにて考察する。

I群D1類

別項にて詳しく検討する。

I群D2類（図IV－13・31・32，図版202・203・220・221）

貝殻腹縁文、沈線文、刺突文、絡条体圧痕文を組み合わせて文様を構成するものである。貝殻条痕、押引文、連続波状文が施されるものが多く、器形は屈曲のない砲弾形尖底である。平縁、波状口縁があるが、副突起は存在しない。文様は口唇部に限定される幅狭な文様帯を持つものと、胴部の横位区画と波頂部からの縦位区画を軸として、器表面を充填する幅広な文様帯を構成するものの2種がある。本年度調査区ではI群D2類の細分については資料が断片的であるため、中野B遺跡（II）調査報告書（北埋調報108）を踏襲し、器形からａ、ｂの2種に細分した。

ａ種. 波状口縁を呈するもの（370～376・402）

370～373は口唇部の外傾面が装飾される。371は波頂部から貝殻腹縁で垂下する。372は羽状構成を残す。374は押引文が施される。375は伸円形刺突で区画される。376は短条痕が斜位に施されている。

ｂ種. 平縁口縁を呈するもの（31・32・377～379・403～405）

31は口唇部が外傾し、外傾面と口唇部内面、器外面に押引文が施される。内面は条痕文。32は器外面に斜格子目状に引摺り背圧痕文が施される。内面は条痕文。377・380～382・384・386・405は口唇部が装飾される。380・381は同一個体。口唇部が肥厚し縦位に沈線を施文し、2条一単位の伸円形刺突が横環する。382はヘラ状工具の摘み出しによる爪形文が退化したもの。下部に連続波状文。383は引摺り背圧痕文。384は押引文、386は伸円形刺突が施される。387・404は条痕、388～391は引摺り背圧痕文が施される。392～401は胴部破片。392は押引文、393は連続波状文が施される。396は条痕が綾杉状に施されるもの。397は不整方向に条痕が施される。399・400は押引波状文。406は地文の施された底部である。

I群E類（図IV－33・34，図版222・223）

沈線文、刺突文、絡条体圧痕文、微隆起線文、貼付隆起線文を組み合わせて文様を構成するものである。器形は平底を呈す。複数の内容を内包していると考えられ、文様構成によって3種に細分される。各種に文様要素、胎土、器厚に若干の相違がある点だけ述べておく。すべてアルトリ式（ムシリI式）の範疇に含まれる。

1種．器表面は無文でナデ調整される。口唇部に貼付隆起線文が横環し、貼付の端部にヘラ状工具によるキザミ目が施される。断片的にしか出土しておらず、明確な器形は不明である。(407)

407は貼付隆起線文が横環し、貼付の端部にヘラ状工具によるキザミ目が施される。

2種．器表面に貝殻条痕・絡条体圧痕、引摺り背圧痕が施される。器形は平底で、口頸部に対して小さい底部をもち、胴部下半でふくらみ、やや外反しながら立ち上がる。緩い波状口縁を主体とし、微隆起線の貼付帯が横環する。文様帯は絡条体圧痕文、爪摘み微隆起線文、ナゾリ微隆起線文によって構成され、集合沈線は施されない。青森県売場遺跡でみられたヘラ状工具によるナゾリ手法による隆起線がみられる。本年度調査区のI群E類の主体である。(408～429)

408・409は爪形のヘラ状工具により微隆起線をつまみ出したもの。410は絡条体圧痕文が施されるもの。411はナゾリ手法による微隆起線。413は刺突によって文様を描くもの。414～418・420～423・425・426は地文に条痕文。416・423は小波状口縁を呈す。417は口唇部にキザミ目が施される。419・424・427～429は地文に引摺り背圧痕を施したもの。

3種．器表面に棒状施文具による集合沈線が施される。器形は平底で、緩い波状口縁を主体とし、貼付隆起線文が横環する。平成4・5年度調査区にて資料が充実している。(430～457)

430～437・443は口縁部破片である。430は小波状口縁。432・443は緩やかな波状口縁。438～450は胴部破片である。集合沈線文が縦位・横位・斜位に施される。451～457は底部破片である。451・452・456は底面まで背圧痕・押引文が施される。底端部は押し潰され鋭角ではない。

I群G類（図IV－35，図版203・224）

綾杉状縄文、結束羽状縄文、短縄文、組紐圧痕文で文様が構成されるもの。太い撚り戻しの綾杉状縄文を特色とする。器表面はLR・RLの原体によって施文される。底部には短縄文が施される。器形は口唇部が折り返し気味に肥厚し、底部は端部が外方に張り出す。胎土は繊維を多く含む。(458～487)

458～463・465・466は口縁部破片である。458は口唇部はほぼ角形。上面のところどころに縄が押捺される。口縁部文様帯は縄端圧痕で区画される。460・461・466・474は組紐圧痕文が施される。464・467～478・480・481・483は綾杉状縄文の施される胴部破片である。479・482・484～487は底部破片である。底部はすべて、端部が外方に張り出しており、張り出し部には縄の圧痕が施される。

(3)　I群D1類土器について（図IV－10～30，図版198～220・224）

D1類土器は本遺跡の主体を占める土器群である。本項の記載にあたって、文様要素に主体を置き、文様構成および器形と関連させて述べることとする。D1類の胎土は石英、黒雲母の他、角閃石などの砂礫を多量に含む。海綿骨針は表面観察上見当らない。I群D1類の包含層出土の口縁部総点数、1,866点のうち無文土器は726点、条痕文土器は83点であった。口縁部有文の土器は1,057点で全体の56%、無文の土器は726点で39%を占める（復元個体は含まない）。

i）胴部文様による分類

住吉町遺跡出土の「住吉町下層式」土器には、胴部文様として貝殻の背圧痕文が特徴的なものとして知られている。これに対して高橋正勝氏（1967）は、鳴川遺跡の土器群にこれらが殆ど見られない

ことを指摘している。平成７年度に当センターで発掘調査を実施した石倉貝塚進入灯地区でも同様の傾向がみられる(北埋調報109)。ここでは胴部における背圧痕文の有無を１つの基準として捉え、A・Bの２種に別けて記述していきたい。

A種：胴部に背圧痕文が施されないもの（897点で全体の85％を占める）

平成４・５年度調査区から本年度調査区にかけて広く分布する。４山の突起と副突起を持つ波状口縁と、平縁のものがある。底部は乳房状尖底を呈し、胴部上方で僅かに屈曲を持ち、口縁部は外反気味に開く。波頂間の中心に副突起は位置する。口唇部断面は角形が少なく、先細りの丸形が多い。また口唇部が僅かに外傾する傾向がある。口唇部の内外面に貝殻腹縁の連続移動文が施される。貝殻腹縁は幅広に使用される。波頂部の突起の先端部は緩やかである。口唇部の上面は無文のものと、外傾面が装飾されるものとがある。口縁部文様帯や内面に、連続移動文から手法的に変化したと考えられる押引文・連続波状文がみられる。

B種：胴部に背圧痕文が施されるもの（160点で全体の15％を占める）

平成４・５年度調査区東側から本年度調査区にかけて多く分布する。４山の突起を持つ波状口縁と平縁のものがある。底部は砲弾形となり突起部が目立たない。胴部は膨らまず長胴。頸部を持たず、口縁部は直立気味に立ち上がる。口唇部は外傾し、断面が三角形状に肥厚したものも見られる。外傾面には貝殻腹縁の刺突が縦位・斜位に施されるが、口唇部内外面に施される連続移動文はすくない。貝殻殻表の押引文・押引波状文がみられる。胴部の背圧痕文・押引文・押引波状文は、胴部文様として、口縁部文様帯を形成する文様要素として含めなかった。

ii）文様構成要素による細分類

［A種］

A1．沈線文のみで文様が構成されるもの（48点、A種の5.3％）

ａ．波状口縁を呈するもの（44～49・66～69）

44は口唇部の断面が丸形で僅かに外傾。46は沈線が入組文の様に交差する。45は口唇部が丸形。波頂部から沈線が垂下する。47は口唇部が外傾する。波状口縁でも沈線で羽状の文様構成を描く。48・49は口縁部に沿って沈線で鋸歯状の文様構成を描く。49・66は口唇部が外傾する。66は横環する３本の沈線を軸に矢羽根状に沈線を配した羽状構成を描く。

ｂ．平縁を呈するもの（50・51・53～56・67～69）

50は口唇部が外傾し、外傾面と口縁部に鋸歯状沈線が横環する。51は口唇部に斜位の沈線、下位に２条の沈線が横環し、胴部は鋸歯状の文様を描く。53は口唇部が角形。口唇部上面と側面に鋸歯状沈線を、口縁部には多重の沈線が横環する。54は口唇部はやや外傾。口唇上面と側面に沈線が横走し、口縁部には菱形の文様を巡らせる。55は不整方向に沈線が配される。56は２条の沈線が口縁に沿って横環し、下位に鋸歯状の文様を描く。67・69は口縁部に沿って沈線で鋸歯状の文様構成を描く。68は口縁部に横環する沈線を軸に、矢羽根状に沈線を配した羽状の文様構成。

A2．刺突文のみで文様が構成されるもの（14点、1.6％）

ａ．波状口縁を呈するもの（１・62）

１は口縁部が直立気味に立ち上がる。口唇部はやや外傾する丸形。波頂部から刺突が舌状に垂下する。口唇部には刺突が横環し、下位に鋸歯状に刺突がめぐる。内面は貝殻条痕。62は口唇部が外傾し肥厚する。外傾面から口縁部にかけて刺突が施される。

ｂ．平縁を呈するもの（58～65）

58～61・64は口唇部が外傾する。58は口縁にそって刺突が施される。59は口唇部に刺突が横環

し、下位に2条の刺突列を配する。61は口唇部に刺突を施す。63・65の口唇部は丸形。58～60・63～65は刺突を鋸歯状に配する文様構成。

A3．貝殻腹縁文のみで文様が構成されるもの（526点、58.6%）

a．波状口縁を呈するもの（4～9・70～85）

4は口唇部が先細りの丸形。口縁部に羽状構成の文様帯を持つもので、内面にも波頂部裏側の特定部に腹縁文を施している。外面は縦位にケズリ調整。内面に擦痕。5は口縁部が僅かに外反する。口唇部が外傾し外方に肥厚する。口唇部に貝殻腹縁文を横位に施し、押引波状文が横環する。内面はナデ調整。6は口縁部が僅かに外反し、口唇部が外傾する。菱形構成の文様帯を持つ。胴部は膨らみを持つ。内面はナデ調整。補修孔を持つ。胴部内面はすり消し条痕。7は口唇部の上面に貝殻腹縁の刻み目を持ち、口縁部文様は横位の貝殻腹縁文が多段に施される。内面はナデ調整。補修孔を持つ。胴部内面はすり消し条痕。8は口縁部が直立気味に立ち上がる。口唇部は外傾する。外傾面と口縁部に腹縁文を横位に施す。胴部内面はすり消し条痕。9は口縁部が僅かに外反し、口唇部が外傾する。波頂部、副突起を中心に、外傾面にハ字状の腹縁文を施す。胴部内面は条痕。5～9は口縁部内面に文様を持たない。内外面の調整は貝殻腹縁で削り取った後、指頭でナデ調整が施される。74・75・79～81は口唇部が外傾する。70・74・75・78は口縁部に腹縁文で菱形の文様を構成する。71は口唇部が先細りの丸形。口縁部文様帯の上下を腹縁文で横位に区画し、区画内を腹縁文で斜位に充填する。72・73・82・84・85は口縁部に腹縁文で三角形の文様を構成する。76は口縁部に腹縁文が羽状に配され、胴部は腹縁文を菱形に配した文様帯が重層する。77は口縁部を腹縁文で縦位に充填する。79・80は口縁部に腹縁文を横位に施す。81は口唇部に腹縁文が斜位に施され、口縁部は腹縁を横位に配する。83は波頂部から腹縁文が垂下し縦位に区画する。70・75・79・82～84は櫛歯状貝殻腹縁で施文する。

b．平縁を呈するもの（2・3・86～128）

2は口唇部が丸形。口縁部には腹縁文で菱形の文様構成を施す。3は口唇部が丸形。羽状構成を途中で消滅させ、文様が横環しない例。口唇端部に置き痕がある。これは文様とは見られず、土器成形時になま乾き状態で伏せ置きするなどしたためについたものと想定している(以下、「置き痕」と記述する)。胴部内面はすり消し条痕。89・90・101・109・125は口唇部が外傾する。86・87・116・121～123は口縁に沿って横位に腹縁文が施される。88～90・96・101・108～110は口縁部の外傾面を利用し腹縁文を斜位に施し、口縁部の斜位の腹縁文と組み合わせて羽状の構成をとる。93・94・97・98は口唇部外傾面に腹縁文を斜位に施し、口縁部の2段の斜位の腹縁文と合わせ、3段の斜位の腹縁文が組み合い羽状構成をとる。91・93・95・100・103・106・107は口縁部に施された2段の斜位の腹縁文を組み合わせて羽状構成をとる。103は口唇部内面の斜位の腹縁文と外面の斜位の腹縁文が対に施され、上面から観察すると羽状構成となる。92・119・120は口縁部に斜位に腹縁文を施す。99・102・104は口唇部に縦位に腹縁文を施す。口縁部は腹縁文を羽状に配する構成。105は口縁部に横位に腹縁文が横環し、それを中心軸に羽状に腹縁文を配する構成。111・115・118・125・126は口縁部文様帯内に腹縁文を鋸歯状に配する文様構成を持つ。112は口唇部外傾面に斜位に腹縁文を施し、口縁部内外面には連続波状文を施す。113・114は口縁部文様帯内に腹縁で連続波状文を施す。117・124・127・128は口唇部外傾面に縦位の腹縁文、口縁部は斜位に腹縁文を配する文様構成。106は胴部に条痕が格子目状に施される。126には口唇端部に置き痕が見られる。

A4．沈線文と刺突文で文様が構成されるもの（95点、10.5%）

a．波状口縁を呈するもの（129～135）

129・132～135も口唇部は丸形を呈する。130・131の口唇部は角形。129・130・132・134・135は2本の沈線間に刺突が充填されるもの。131は口縁部文様帯の下限を2条の刺突列で区画する。区画内は爪形のヘラ状工具で刺突され、口唇部上面は同一施文具で刻まれる。132は3峰の突起を持ち、突起部は内湾する。133は沈線上に刺突が施され、波頂部から沈線が垂下する。口縁部内面に条痕が施される。

b．平縁を呈するもの（43・52・136～155）

43は口唇部にそって刺突を押引し、沈線文で上下を区画し内部に鋸歯状を構成する。52は口唇部上面に刺突を配し、口縁部に沿って沈線で鋸歯状の文様を描く。136・138・149・155は口唇部が外傾する。136は沈線上に刺突が施され、137・139・140・142・152は2条の沈線間に刺突が充填されるもの。138・141・146・147・149・150は口縁部文様帯が鋸歯状沈線と刺突で構成される。143～145・148は口縁部に沿って刺突と沈線が横環するもの。151は口唇部に鋸歯状の文様を配し、その下位に沈線で羽状が表現される。153～155は口縁部に沈線を菱形に配する構成。141・142・146～149・151・155は上面に刺突が施される。

A5．沈線文と貝殻腹縁文で文様が構成されるもの（104点、11.5%）

a．波状口縁を呈するもの（156～163・165）

156は口縁部に腹縁文を菱形に配し、文様帯下限を鋸歯状沈線で横位に区画する。157・160は波頂部に沿って腹縁文が三角形を構成する。文様帯下限を鋸歯状沈線で横位に区画する。157は内面に腹縁の連続移動文とその施文時についた爪形が残る。158は口縁部内面に斜位の腹縁文を施す。159は口唇部内外面に連続波状文を施す。163は口唇部の外傾面に腹縁文を斜位に施す。口縁部内面は押引文。161は口唇部外傾面の斜位の腹縁文と口縁部の2段の腹縁文が組み合う羽状構成。162は口縁部内面を殻表で軽く押捺する。165は口縁部文様帯の上下の区画内に腹縁文を鋸歯状に配する。口唇部内面には条痕文が施される。160は櫛歯状貝殻腹縁で施文される。

b．平縁を呈するもの（10～12・164・166～181）

10は口唇部が外傾し、外傾面に腹縁文を横位に施す。口縁部文様帯を鋸歯状沈線文によって区画し、横環する2条の沈線内部に腹縁文を鋸歯状に配している。胴部内面は条痕。11は口唇部の内外面に、連続移動文が施され、内面の連続移動文下位には施文時の爪痕が残る。胴部内面は条痕。12は口唇部が外傾する。外傾面に鋸歯状沈線を施す。口縁部文様帯を鋸歯状沈線文によって区画し、横環する2条の沈線内部に腹縁文を横位に配している。10～12はともに類似する文様構成を有する。164・169・172・173・180は口唇部が外傾する。166・170・174は口唇部が肥厚する。166は口唇部外傾面を櫛歯状腹縁文で施文する。167は口唇部外面は押引文、内面に連続波状文を施す。164・166～168・170～173・175～177・179は口唇部の外傾面に斜位・縦位に腹縁文を施す。口縁部には沈線文で鋸歯状の構成をつくる。164は口縁部内面に押引波状文を施す。169は口唇部外傾面の斜位の腹縁文と、口縁部の斜位に施された2段の腹縁文が組み合う。下位には横位の腹縁文が施され、文様帯下限は2条一単位の鋸歯状沈線で区画される。口縁部内面には押引文。174・180は口唇部に腹縁を羽状に施文する。口縁部文様の下限を鋸歯状沈線で区画している。178は口唇部が僅かに外傾する。口縁部内外面に腹縁で連続移動文が施される。181は口唇部に腹縁をねかせ気味にした連続波状文、171・176・177は口唇部内外面に腹縁で連続移動文を施す。172は口縁部内面に口縁に沿って2条の鋸歯状沈線を配す。179・180は口縁部内面に押引文を施す。

167～171・176・177は口唇部上面に無文部を持つ。

A6．刺突文と貝殻腹縁文で文様が構成されるもの（66点、7.3%）

a．波状口縁を呈するもの（57・182～193）

57は棒状工具を櫛歯状に並べ、刺突文のみで口縁部文様帯を形成している。182～193は口唇部が外傾する。182・184・193は楕円形刺突で文様帯下限が横位に区画される。182・185・186・190・191は波頂部を中心に鋸歯状（三角形）の文様構成。184・188は波頂部を中心として羽状に配された腹縁文が組み合い、菱形をつくる。183・185～190・192は波頂部から刺突文が垂下する。191は口縁部に櫛歯状腹縁文が配され、文様は刺突文が主体となって構成される。182～190・192・193は口唇部外傾面に腹縁文で装飾が施される。182・184・189は口縁部内面に連続波状文、183・185・188・190・192は口縁部内面に押引文が施される。

b．平縁を呈するもの（194～201）

194・197・199～201は口唇部が外傾する。195は口唇部が角形。196・198は口唇部が丸形。194・197・199は文様帯下限を楕円形刺突で横位に区画する。194は口唇部内面に刺突文が施される。195は刺突が横環し、口縁部内面には横位に腹縁文が施される。196は口縁部内面に斜位に腹縁文が施される。197は口唇部に腹縁文が羽状に配される。198・200は刺突で鋸歯状の文様構成を描く。201は口縁部に鋸歯状に腹縁文を配し、刺突文が垂下する。195・197～201は口唇部に装飾が施される。197・199は口縁部内面に押引文が施される。

A7．沈線文と刺突文と貝殻腹縁文で文様が構成されるもの（44点、4.9%）

a．波状口縁を呈するもの（14・202～211）

14は口唇部が外傾する。外傾面に鋸歯状沈線を施し、文様帯も鋸歯状沈線により区画される。波頂部からは刺突文が垂下する。口縁部内面は押引文。胴部は内面条痕。202・203・205～211は口唇部が外傾する。202・204・206・207は口縁部にそって楕円形刺突が横環する。205・208・209～211は波頂部から楕円形刺突が垂下する。202・203は同一個体。202は波頂部片で口唇部内外面に連続移動文が施される。203は波頂部間の副突起部分にあたる。203・206は貝殻沈線文や沈線上に刺突文が刻まれる。204は口唇部が角形で上面に刺突文が施される。204・210は櫛歯状腹縁文で施文される。207は波状口縁だが口唇部に腹縁文を羽状に配する例。209は口縁部文様帯の上下を腹縁文を横位に配して区画し、文様帯内を鋸歯状に腹縁文で構成し、腹縁文の交点に刺突文が施される。210は口唇部が肥厚し、腹縁文が羽状に施される。口縁部には鋸歯状沈線で2段に区画し、腹縁文を横位に充填する。210・211は口縁部内面に連続波状文が施される。206・208～210は口唇部外傾面に装飾が施される。208は内面に押引文。

b．平縁を呈するもの（13・212～225）

13は口唇部が丸形。口唇部に斜位の腹縁文を施し、下限を横環する刺突で区画し、口縁部には縦位の腹縁文を施す。口縁部文様帯下限の横位の刺突列を軸に、菱形（鋸歯状）のモチーフを胴部中位まで描く。212・222は口唇部が外傾する。213～215・217～220・224・225は口唇部が丸形。216・221・223は口唇部が角形。215は口縁部文様帯の下限を、巻貝の先端部をカットした工具で刺突したと考える。216は口唇部の上面に腹縁文が施される。217・222・223は口縁部文様帯の下限を2条一単位の刺突列で区画する。212・213・220・222・224は文様を区画する沈線上に刺突文が刻まれる。214・215・223は口唇部上面に無文部を持つ。217・219・222は口唇部外傾面に装飾が施される。221は口唇外面の斜位の腹縁文と内面の斜位の腹縁文が対となり、上面からみると羽状となる。223・224は口縁部内面に斜位の腹縁文、219・222は口縁部内面に連続波状文、217は口

縁部内面に押引文が施される。225は口縁部文様帯が幅広く、斜位に2条の鋸歯状沈線と2条の沈線を主体に文様を描く。内面は殻表の引摺り背圧痕が施される。215・220は櫛歯状腹縁文で施文される。

A8. 無文のもの

a. 波状口縁を呈するもの（15～17）

15～17は口唇部が外傾する。17は口縁部が僅かに外反し、波頂部の間に副突起を持つ。15は胴部下半に縦位の条痕が施される。15・16は内面に条痕文が施される。

b. 平縁を呈するもの（18～22）

18～20・22は口唇部が丸形。21は口唇部が外反し、口唇部は外傾する。18～22の器面調整はすり消し条痕。

A9. 条痕文のもの

全面に条痕文が施されるもの、上半部のみ施されるもの、内面のみ施されるものがある。明確に細分されなかったので図示していない。

A10. 摘みあげ手法による爪形文が施されるもの（23・332～351）

23は口縁部が僅かに外反する。口唇部は外傾し、肥厚した外方を爪形で摘み出し、外傾面をナデ、摘み出しの直下をナデ削りで屈曲部のように見せる。内外面はすり消し条痕。332～335・337～339・341・343～345・347～350はヘラ状工具により左右に掻き分けられ摘み出しが施される。336は左方向に掻き分けられるもの。340は2段に爪形の摘み出しが施される。342・346は指頭により摘み出しが施される。351は端部に爪形の刺突（キザミ目）が施されるもの。333・335は櫛歯状に加工された貝殻腹縁文が施される。336は巻き貝の先端をカットしたもので刺突を施している。348は口縁部内面に連続波状文が施される。

［B種］（背圧痕文は文様要素に含まないことを前提とする。）

B1. 沈線文のみで文様が構成されるもの（8点、B種の5％）

a. 波状口縁を呈するもの（226）

226は口唇部が外傾する。沈線が横環し波頂部で入組状に交差する。内面は斜位の条痕文。

b. 平縁を呈するもの（31・227～230）

30は口唇部が外傾する。沈線が途切れ、刺突様の効果を出す。胴部上半には押引文が施されている。内面は条痕。227は口縁部に沿って沈線文が横環する。器面は押引文がすり消される。228～230は鋸歯状の文様構成。228は口唇部は外傾する。外傾面には押引文が施される。229・230は同一個体。口唇部は断面が丸形。

B2. 刺突文のみで文様が構成されるもの（3点、1.8％）

a. 波状口縁を呈するもの（231）

231は口唇部が外傾する。波頂部から刺突が垂下し、口唇部外傾面はナデ調整される。

b. 平縁を呈するもの（232～234）

232は口唇部が外傾し、外傾面に楕円形刺突が2段に施される。233は口唇断面が先細りの丸形。内面に背圧痕が施される。234は口唇断面が角形。口唇端部に棒状工具により縦位に刺突様のキザミが施される。

B3. 貝殻腹縁文で文様が構成されるもの（113点、70.6％）

a. 波状口縁を呈するもの（26・235～259）

26は口縁部が外反し、口唇部が外傾する。外傾面に斜位に施された腹縁文と、文様帯内部の斜

位の腹縁文が組み合い、羽状構成を描く。文様帯下限を横位の腹縁で区画し、胴部中位まで背圧痕文を施す。口縁部内面には連続波状文が施されている。235は小波状口縁。文様帯下限を貝殻腹縁で削り取り、区画する。236・237は口唇部に腹縁文が縦位・斜位に施され、口縁部の文様は羽状構成を呈する。237は口唇部が外傾し、外傾面に腹縁文で装飾が施される。口縁部の内面に連続波状文が施される。238・239・244・247・248は口縁部に、連続波状文・押引文を施し、幾何学的な文様が省略された文様帯を持つ。239は端部に置き痕が残る。240・245・252は口縁部に腹縁文が横位に施される構成。240は胴部が押引文。241は口唇部の外面に縦位に腹縁の連続移動文が施される。口縁部の腹縁文は横位構成。口縁部内面に背圧痕文が施される。242・250は口唇部が外傾する。外傾面に斜位に腹縁文が施される。口縁部の腹縁文は横位構成で、胴部には連続波状文が施される。250は口縁部内面に押引文が施される。243・249は口唇部に斜位に腹縁文を施す構成。246・254・255・257～259は口唇部外傾面と口縁部の文様とを組み合わせた羽状構成。255は口縁部内面に2段の押引文が施される。251は口縁部が鋸歯状構成で胴部は連続波状文。254・256は口唇部に横位の腹縁文が施される。口縁部文様は上下の区画内を鋸歯状に腹縁文を配する構成。内面には押引文を持つ。238～240・244・246～252・254・256～259は口唇部が外傾し、外傾面に装飾を施す。247～249・251・259は口縁部内面に連続波状文、238・240・250・254～257は内面には押引文が施される。

b．平縁を呈するもの（25・260～292）

25は26と同様に、口唇部が外傾する。外傾面に斜位に施された腹縁文と、口縁部の斜位の腹縁文が組み合い羽状構成となる。下位には横位・縦位・横位の順に腹縁文が重層する。胴部下半まで背圧痕文を施す。260～277・279は口唇部に縦位・横位・斜位に腹縁文が施される。その内260・262・264・270・272・273・275は口唇部の上面にナデ調整の無文部を持つ。263・265～269・271・274・276・277は口唇部の外傾面に装飾が施されるもの。278は口唇部が外傾する。口唇部外傾面と、口縁部内面は押引文。口縁部文様は羽状に腹縁文を配する構成。279は口唇部に横位の腹縁文、口縁部文様は腹縁文を縦位・横位・縦位に配する構成。280・281・284～286は口唇部が外傾し、外傾面に腹縁文を斜位に配す。口縁部の斜位の腹縁文を組み合わせ、羽状構成をとる。282・283・287・288は口唇部に横位・縦位・斜位の腹縁文が施される。口縁部文様帯は腹縁文を羽状に配する構成。289・290は口縁部に腹縁文が菱形に配される構成。平縁にも菱形構成が存在する。291は口唇部は外傾。外傾面に腹縁文を横位に施す。口縁部に腹縁文で鋸歯状の文様が構成される。260・270は口縁部内面に連続移動文、269・280・281・286・287・290は口縁部内面に連続波状文、262・276・278・279・282・288は押引文が施される。

B4．沈線文と刺突文で文様が構成されるもの（5点、3.1%）

a．波状口縁を呈するもの（292）

292は口唇部上面に楕円形刺突が施され、口縁部に沿って2条の鋸歯状沈線と2条の楕円形刺突が横環する。

b．平縁を呈するもの（293～295）

293は口縁部が外反し、口縁部に沿って横環する沈線を軸に、上下に楕円形刺突が施される。294は口唇部付近に2条の楕円形刺突が横環する。295は口唇上面に楕円形刺突が施される。293・295は内面条痕。

B5．沈線文と貝殻腹縁文で文様が構成されるもの（22点、13.7%）

a．波状口縁を呈するもの（253・296～298）

253は口唇部が外傾し、外傾面に鋸歯状沈線が施される。296は口唇部が外傾し、外傾面と口唇内外面に腹縁文が施される。297は2条の鋸歯状沈線で文様帯が区画される。口縁部内面に連続波状文。298は口唇部が外傾し、外傾面に連続移動文が施される。口縁部に沿って2条の沈線が横環する。

b．平縁を呈するもの（299～306・308）

299は口縁部文様帯内に腹縁文を菱形に配する構成。口縁部内面は押引文。胴部に押引波状文。300は口縁部に腹縁で縦位の連続移動文が施される。口縁に沿って鋸歯状沈線が横環する。301～303は同一個体。沈線と鋸歯状沈線を並列した組み合わせで幅広い文様帯を持つ。304は口唇部に腹縁を羽状に配し、口縁部は連続波状文を施す。横環する2条の鋸歯状沈線の間を、腹縁文で菱形に文様構成する。文様帯が重層する例。305は口唇部が外傾。口唇部の内外面に縦位の連続移動文を施す。口縁部は腹縁文を横位に施し、鋸歯状沈線で下限を区画する。306は口唇部に横位の腹縁文を配す。口縁部は腹縁文で鋸歯状に構成し文様帯下限を鋸歯状沈線で区画する。308は口唇部が外傾。外傾面を利用し腹縁文を羽状に配する構成で、文様帯下限を鋸歯状沈線で横位区画する。304は口縁部内面に連続波状文。308は押引波状文。

B6．刺突文と貝殻腹縁文で文様が構成されるもの（7点、4.3%）

a．波状口縁を呈するもの（307・309～311）

307は口唇部が外傾。波頂部から刺突文が垂下し、口唇部の外傾面は押引文が施される。309・311は刺突で文様帯下限を横位に区画し、波頂部を中心に腹縁文で三角形の文様構成をとる。310は腹縁文の交点に刺突が施される。311は口唇部の上面に刺突文が施される。

b．平縁を呈するもの（312～313）

312は口縁部に沿って刺突で横位に区画し、横位に腹縁文を配する構成。313は口唇部と口縁部に、腹縁文で羽状が組み合う構成をとる。文様帯下限は、角頭状の棒状工具による刺突で横位に区画される。

B7．沈線文と刺突文と貝殻腹縁文で文様が構成されるもの（2点、1.2%）

a．波状口縁を呈するもの（24・27・28・314～317・321）

24は口唇部が外傾する。波頂部から垂下する刺突と副突起を中心として、腹縁文で三角形の構成をなす。下位には腹縁文を横位に重層させ、文様帯下限を鋸歯状沈線で区画する。地文に施される殻表の背圧痕が押引文に一部置き変わっている。27は超大型の深鉢で、器形は砲弾形を呈す。乳房状突起は小さく、口縁部は屈曲を持たず直立して立ち上がる。波頂部から垂下する2条一単位の刺突を中心に、菱形の文様を構成するものである。口唇部上面は殻表によって押圧され、波頂部内面には背圧痕が施される。文様帯の内部を充填する腹縁文は羽状を呈しているが、腹縁文を沈線に置換している部分もある。胴部には背圧痕が施された面と、施されていない面がある。煮沸に使用されたようなスス跡は顕著でない。補修孔を持ち、煮沸以外の目的で利用されたと推定される。28は口唇部が外傾する。口唇部外傾面に腹縁文が横位に施文され、波頂部からは刺突が垂下する。口縁部周辺に背圧痕文を施す。口縁内面には背圧痕が施される。314は波頂部から刺突文が垂下し、口縁部文様帯の下限は、2条の鋸歯状沈線で横位に区画され、文様帯内は腹縁文を鋸歯状に配する文様構成となる。315は口縁部文様帯の下限を2条の鋸歯状沈線で横位に区画し、波頂部を中心に腹縁文による羽状が反対方向に組み合い菱形を構成する。316は外面が剝落し文様構成が把握できないが、口縁部内面に背圧痕文が施される。317は口唇部、口縁部内面、胴部に押引文が多用される。波頂部からは刺突文が垂下する。319は平成4・5年度の遺物と同一個体

（北埋調報97　図IV－58－6）。胴部に文様帯が広がり、口縁部文様帯と重層するもの。胴部には押引文が地文として施されている。321は波頂部から刺突が垂下し、口縁部内面には腹縁を幅広く使用したキザミが施される。314～317・319・321は口唇部が外傾する。外傾面に腹縁文で装飾が施される。314は口縁部内面に連続波状文が施される。315・317・319の口縁部内面は押引文。

b．平縁を呈するもの（318～320）

318は口唇部が先細りの角形。口唇部に腹縁文が羽状に施される。口縁に沿って横環する上下2本の刺突列の間は鋸歯状に腹縁文を配する。文様帯下限は鋸歯状沈線により横位に区画される。口縁部内面は押引文。320は文様帯下限を、連続刺突により横位に区画する。口縁部内面に連続波状文が施される。

B8．地文のみ施されるもの

a．波状口縁を呈するもの（322）

322は口唇部が外傾する。外傾面に押引文が施される。内面は条痕。

b．平縁を呈するもの（29・323～331）

29は口唇部が外傾する。外傾面に殻表の押引を施し、外面は胴部の中位まで押引文を施している。口縁部内面にも押引文が施されている。323は内面にも背圧痕文が施される。324～326は押引文が施される。325・326は口唇部の上面に押引文が施される。323・328～330の口唇上面は無文である。327は背圧痕文が散発的に施される。328～331は胴部に背圧痕文が施される。

B9．条痕文

口縁部が背圧痕で、条痕文が胴部下半の部位に限定されるもの。本遺跡では観察されなかった。

B10．摘みあげ手法による爪形文が施されるもの（352～355）

352～355はヘラ状工具により左右に掻き分けられ摘み出しが施される。352・353は横位の腹縁文が施される。354は口縁部内面に押引文が施される。355は2条の鋸歯状沈線文が施される。

これまでの文様構成による細分から、B種に貝殻の施文使用部位の変化が観察された。B種には背圧痕文の影響から腹縁よりも殻表を使用した施文手法がより多く観察され、三宅徹也が指摘した「貝殻文の手抜きの方向性」（三宅　1979）をD1類の中で観察できる。A・B種は文様構成に共通性を持ち、D1類の範疇でまとまるものであり、施文手法からA・B種に多少の時間差が想定されることを指摘するにとどめたい。

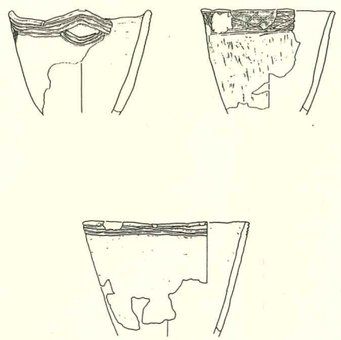
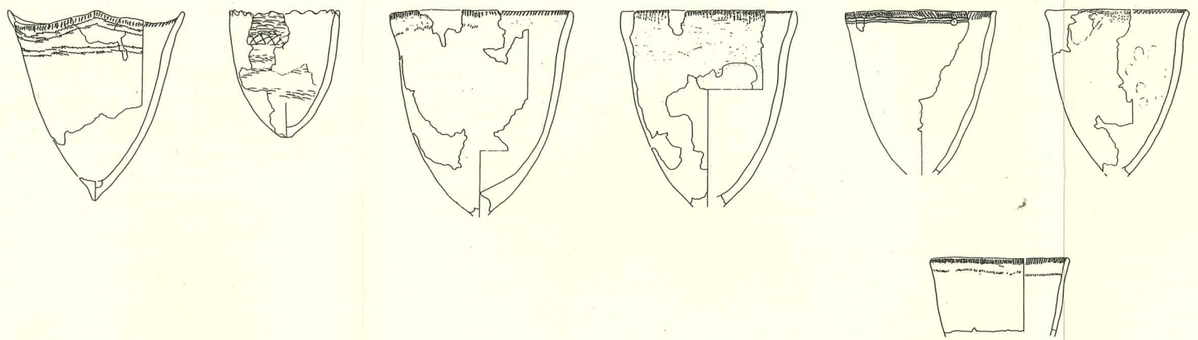
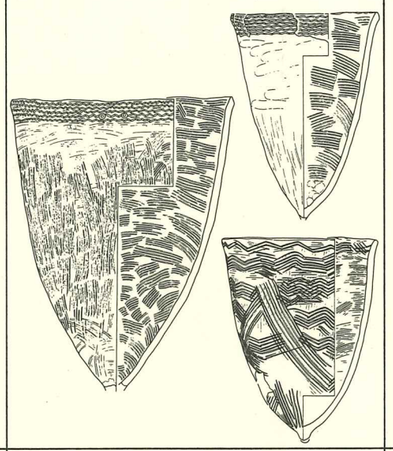
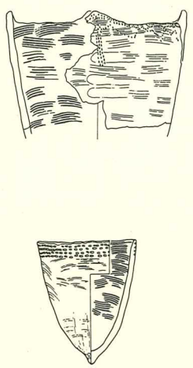
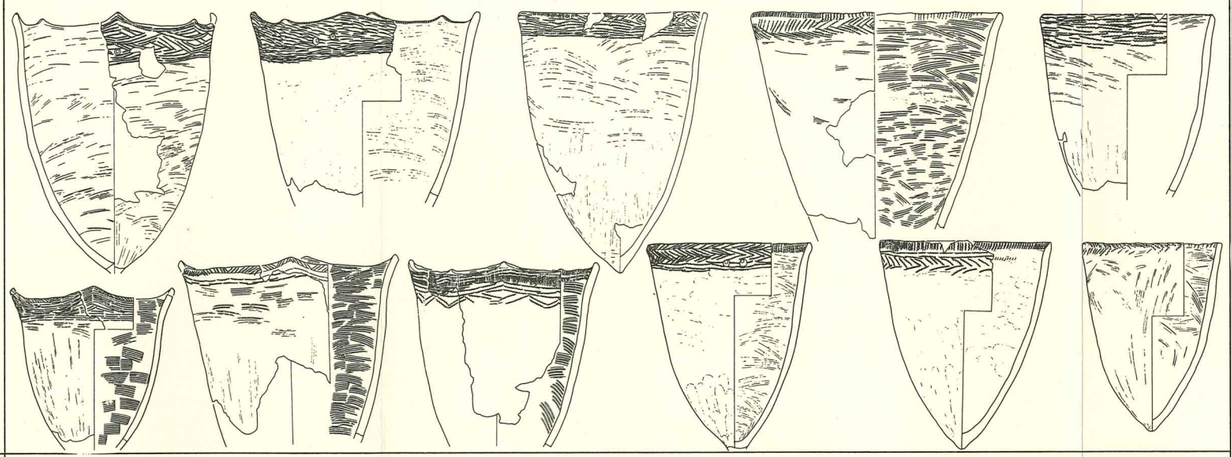
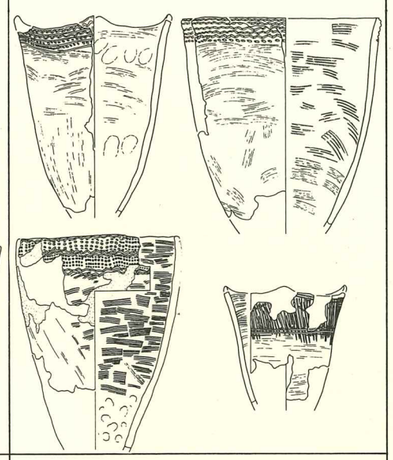
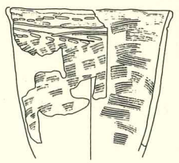
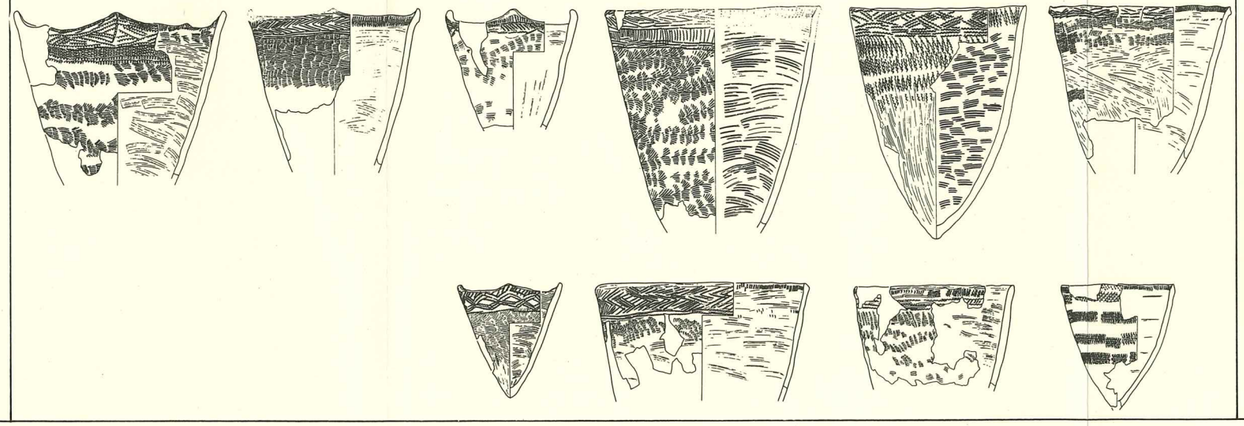
また、A・B種に分類できなかったものに、尖底部、土器片錘がある。以下、記載する。

尖底部（356～362）

胴部文様の貝殻殻表を用いた背圧痕文は、胴部中位まで施されるものが大半で、底部まで施されるものは本年度は僅少であった。尖底部ではA・B種の判断は出来なかった。356の内面は条痕文で調整され、外面は鋸歯状にすり消し条痕文が施される。357は突起部が発達した、鈍角な砲弾形を呈す。358～362は突起部が小さく、鋭角な砲弾形を呈す。

土器片錘（363～369）

363は押引文が施された胴部片を利用したもの。364は腹縁文が横位に施文された口縁部片を利用したもの。366は背圧痕文が施された胴部片を利用したもの。365・367～369は無文の胴部片を利用したものである。すべて長軸の両端部を打ち欠いている。　（冨永　勝也）

	1．沈線文	2．刺突文	3．貝殻腹縁文	4．沈線＋刺突文
Ⅰ群C類（石倉貝塚）				
Ⅰ群D1類A種				
Ⅰ群D1類B種				

639～640

図Ⅵ－４　Ⅰ群C類，D1類A・B種土器集成図(1)

5．沈線＋貝殻腹縁文

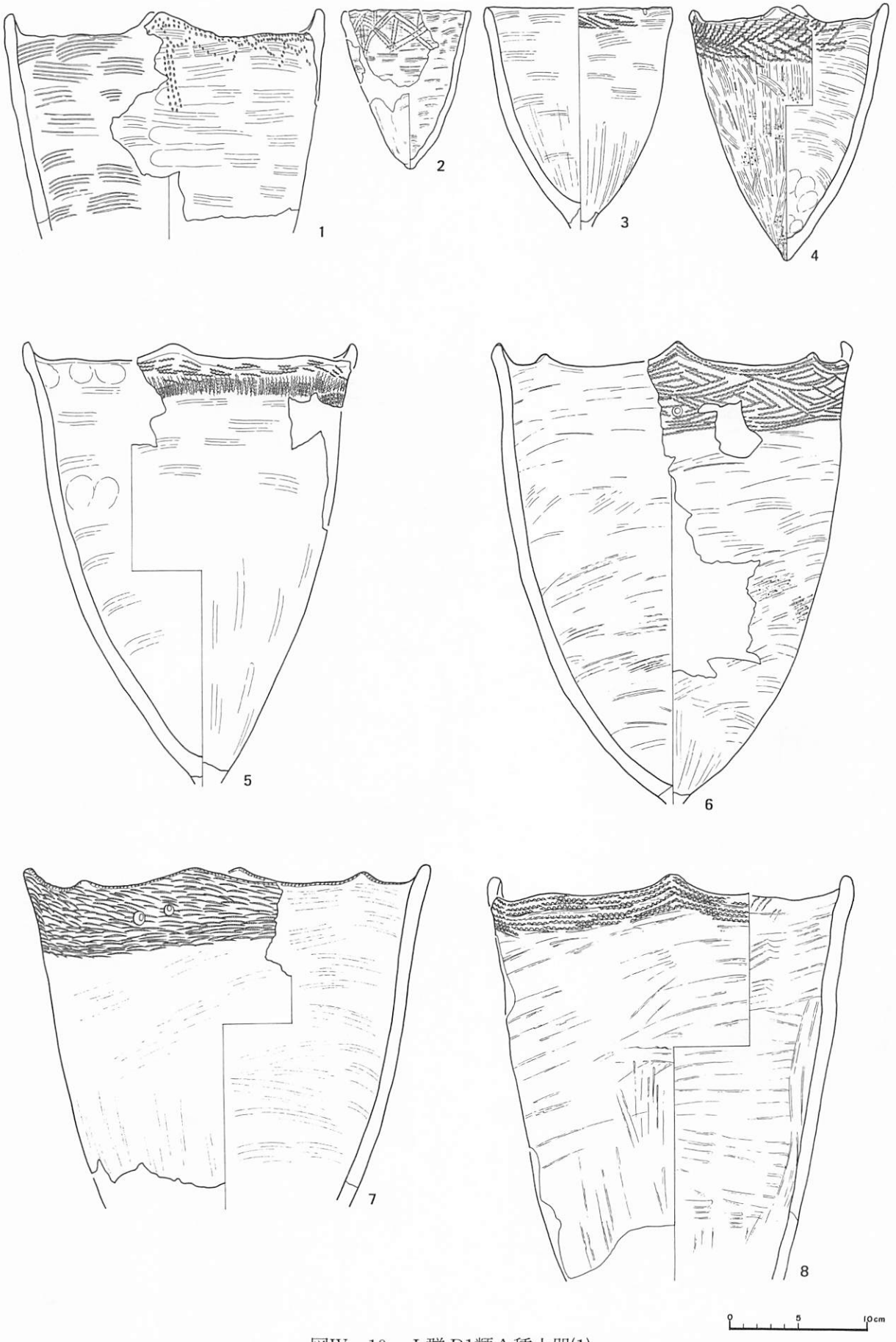
6．刺突＋貝殻腹縁文

7．沈線＋刺突＋貝殻腹縁文

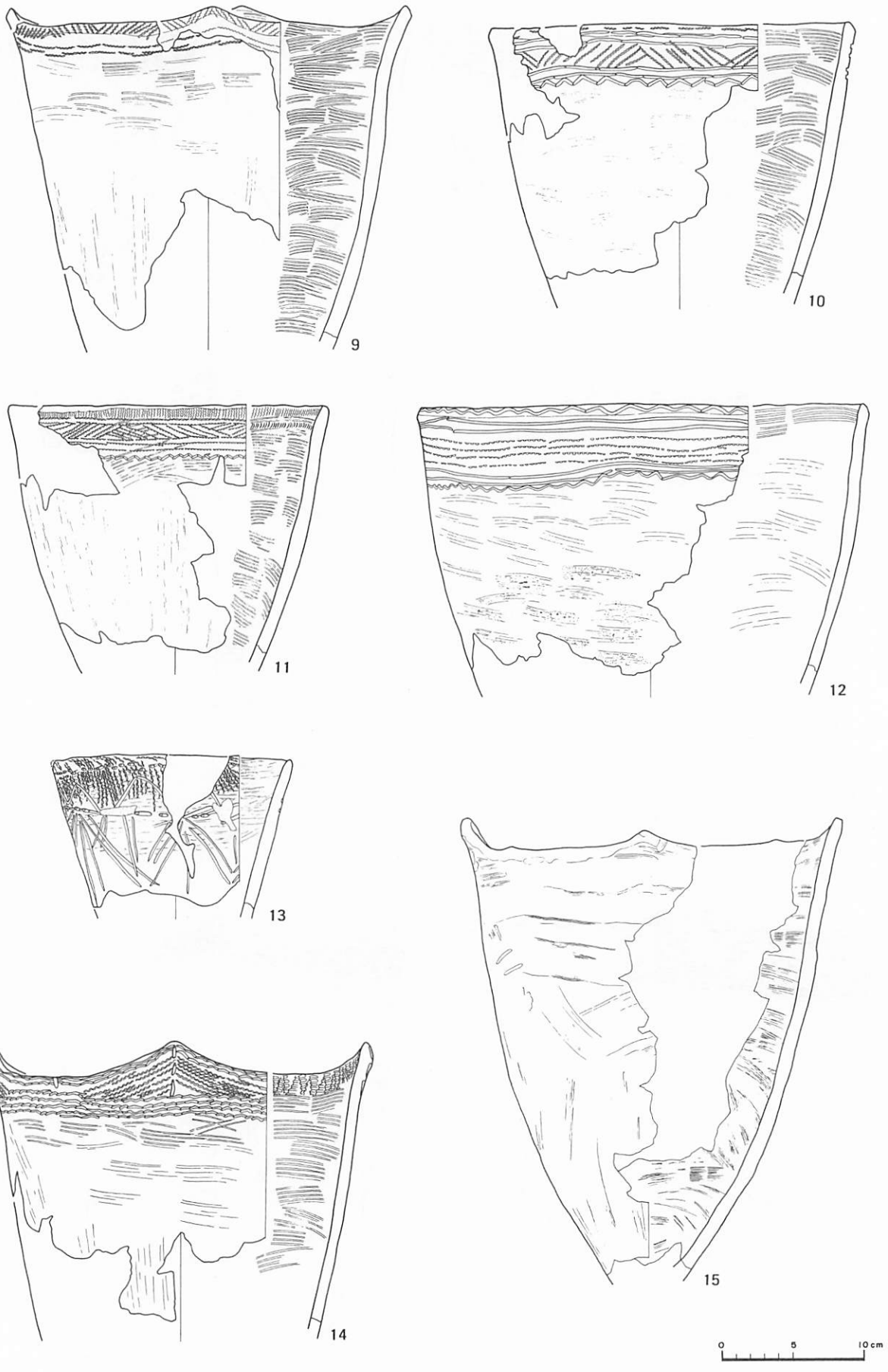
8．無文（地文）

641～642

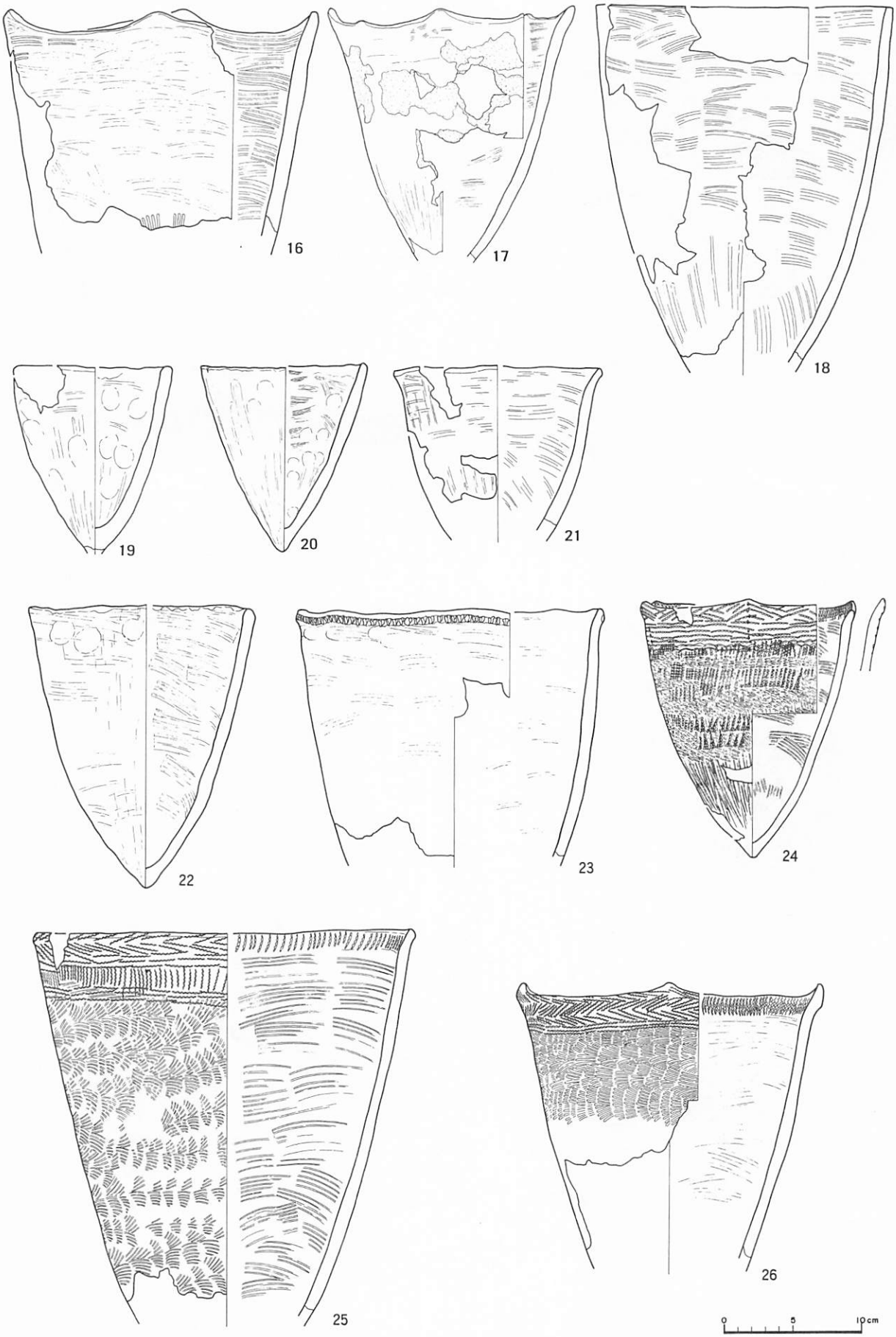
図VI－5　Ⅰ群C類，D1類A・B種土器集成図(2)



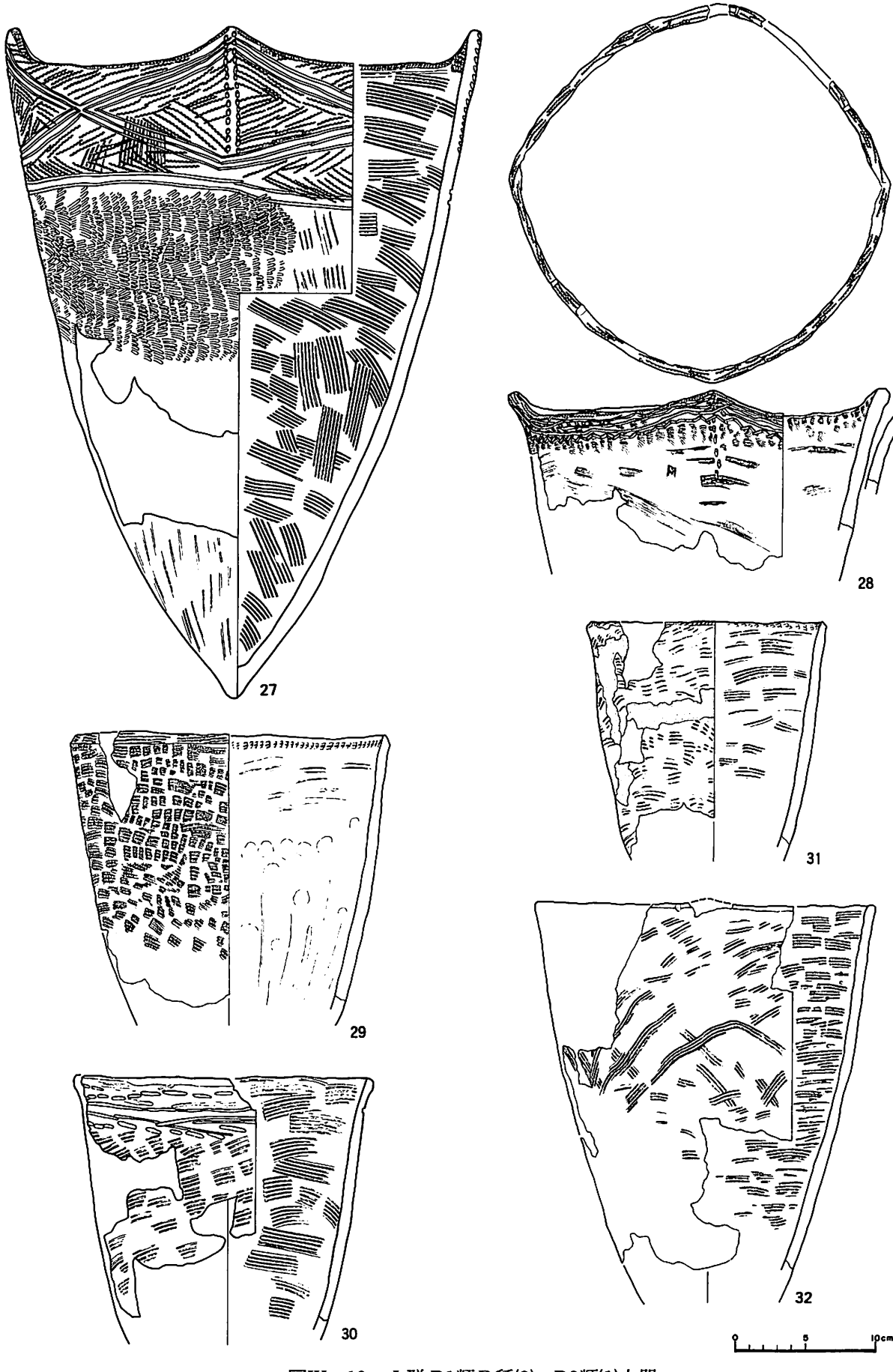
図Ⅳ－10　Ⅰ群 D1類Ａ種土器(1)



図Ⅳ－11　Ⅰ群 D1類Ａ種土器(2)



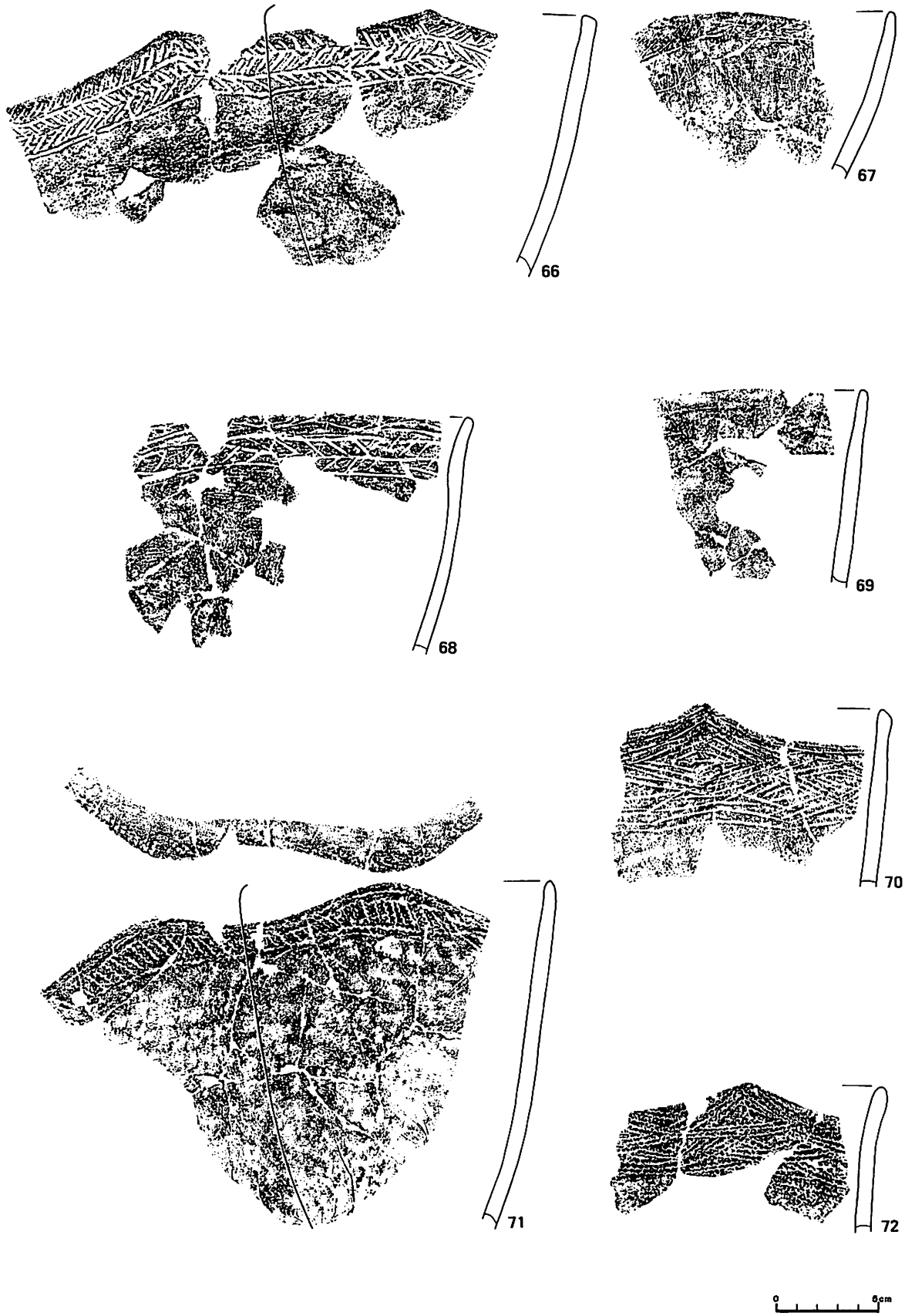
図Ⅳ－12　Ⅰ群D1類A種(3)・B種(1)土器



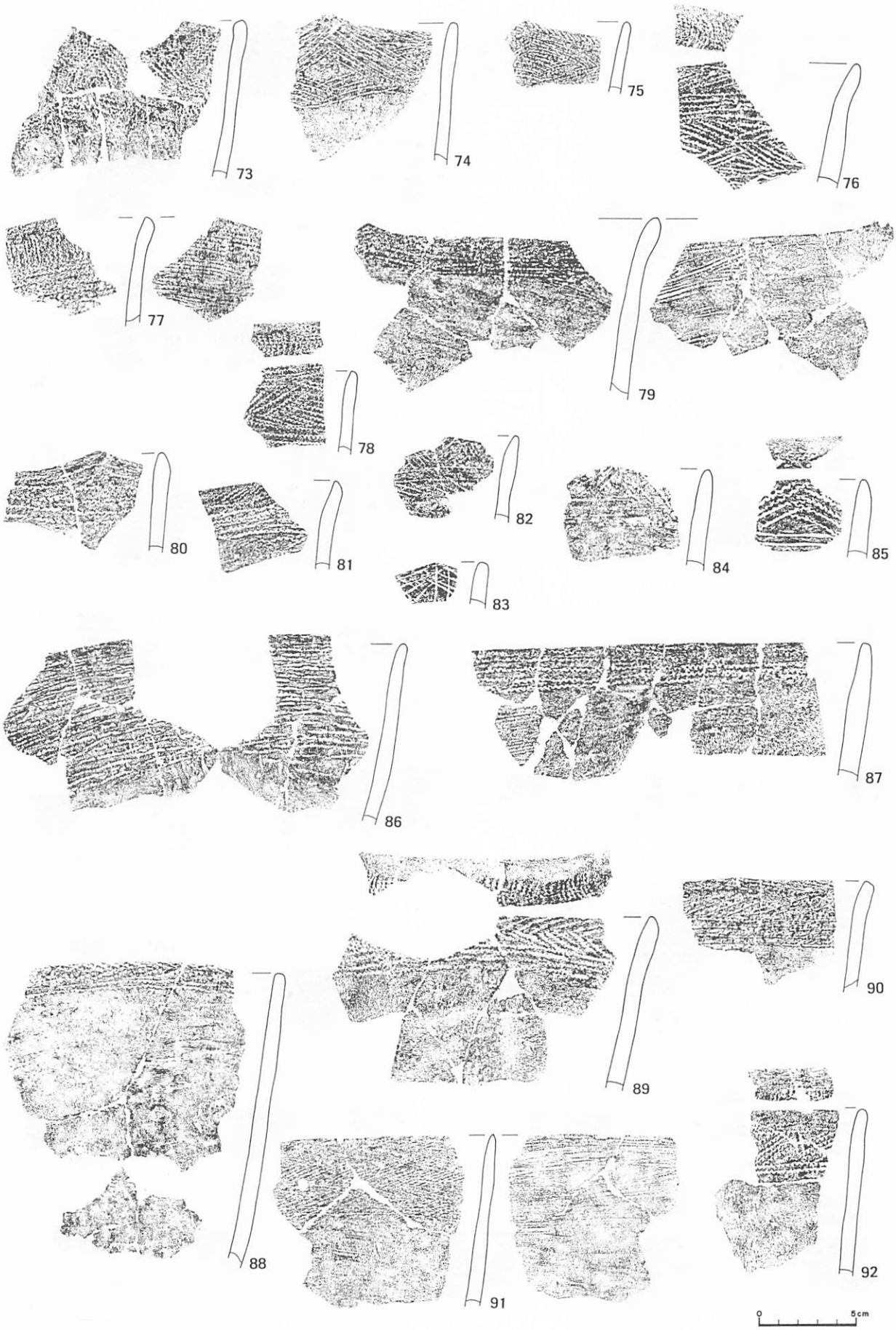
図Ⅳ－13　Ⅰ群Ｄ1類Ｂ種(2)・Ｄ2類(1)土器



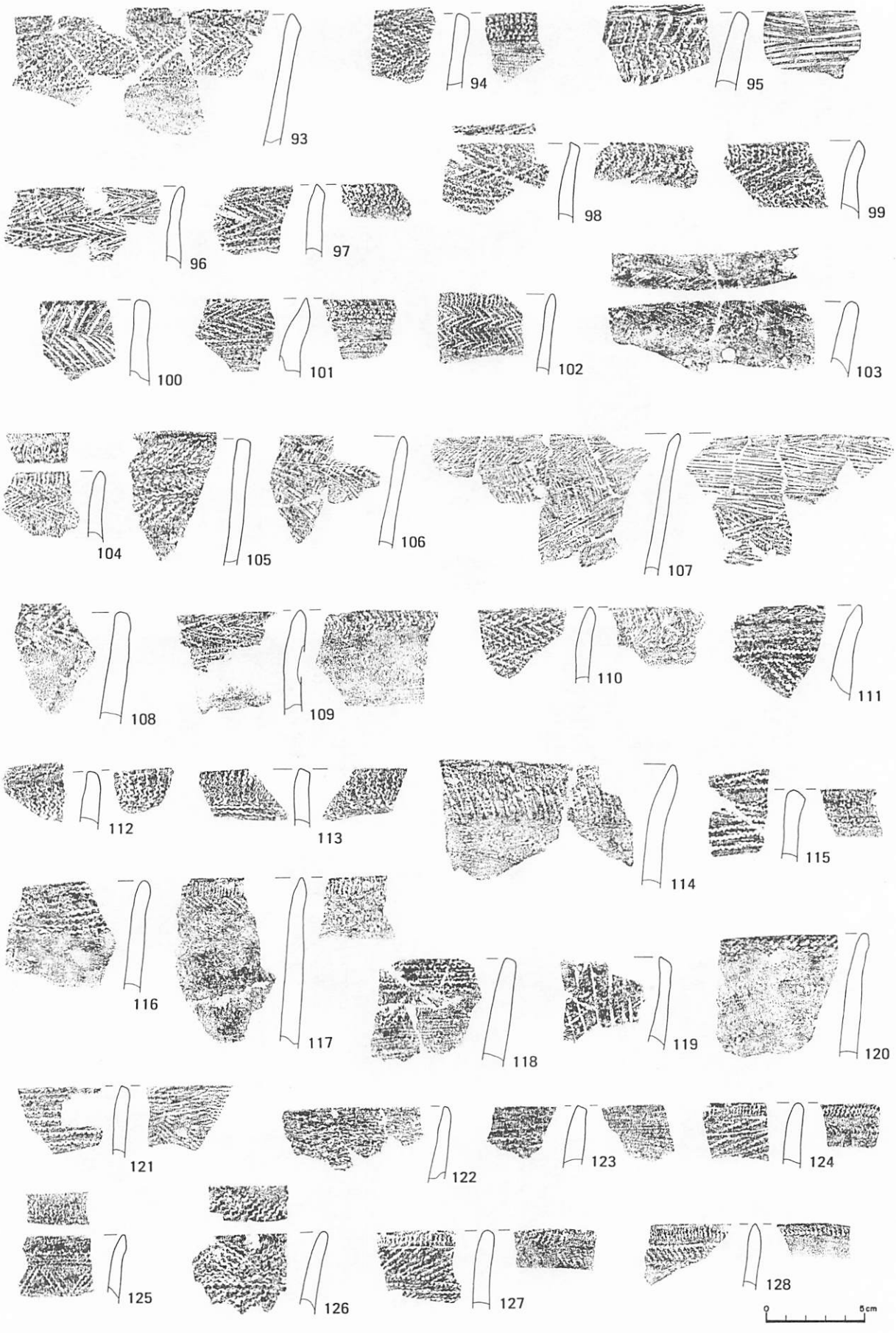
図Ⅳ－14　Ⅰ群Ｂ類・D1類Ａ種(4)土器



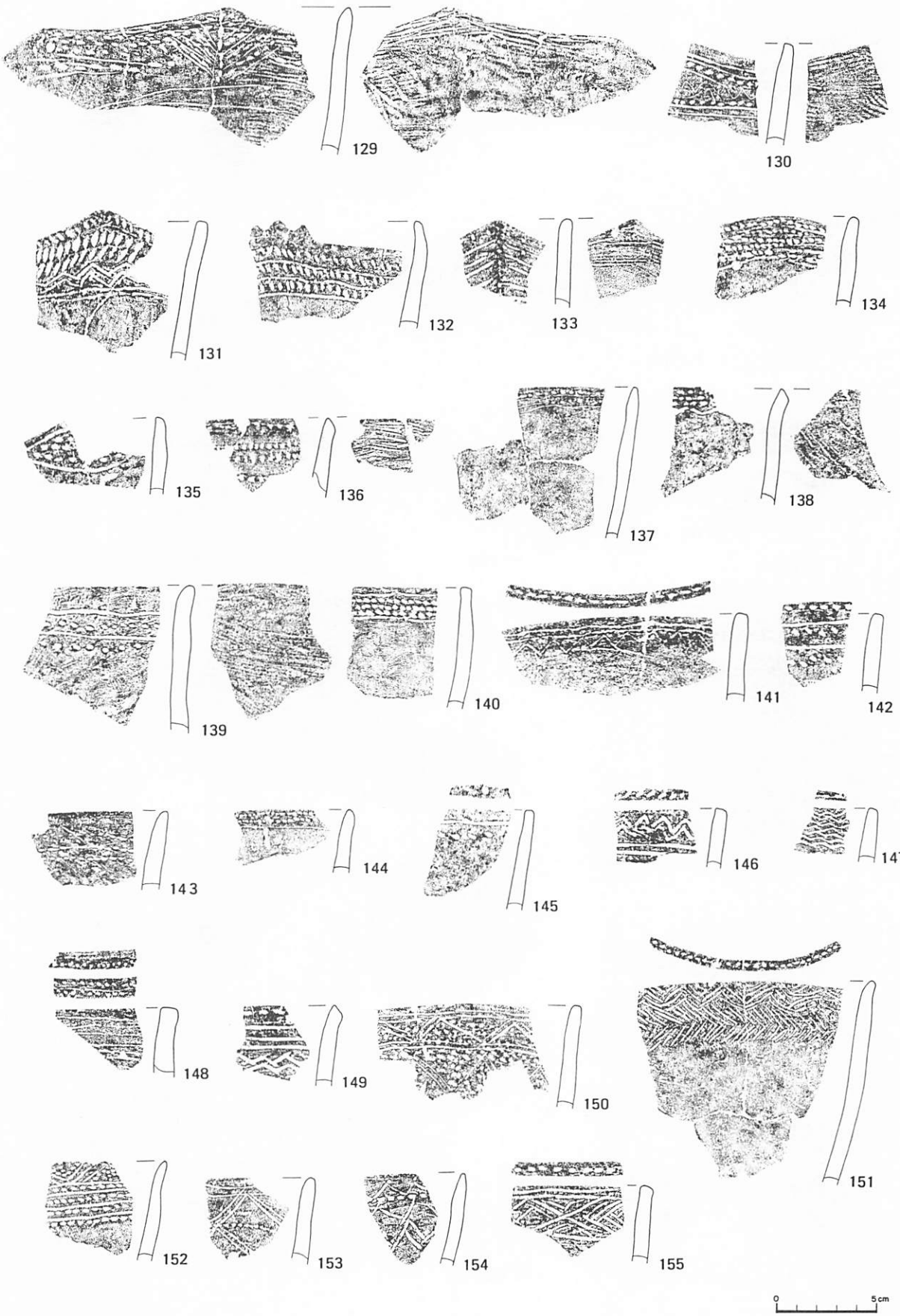
図Ⅳ－15　Ⅰ群 D1類A種土器(5)



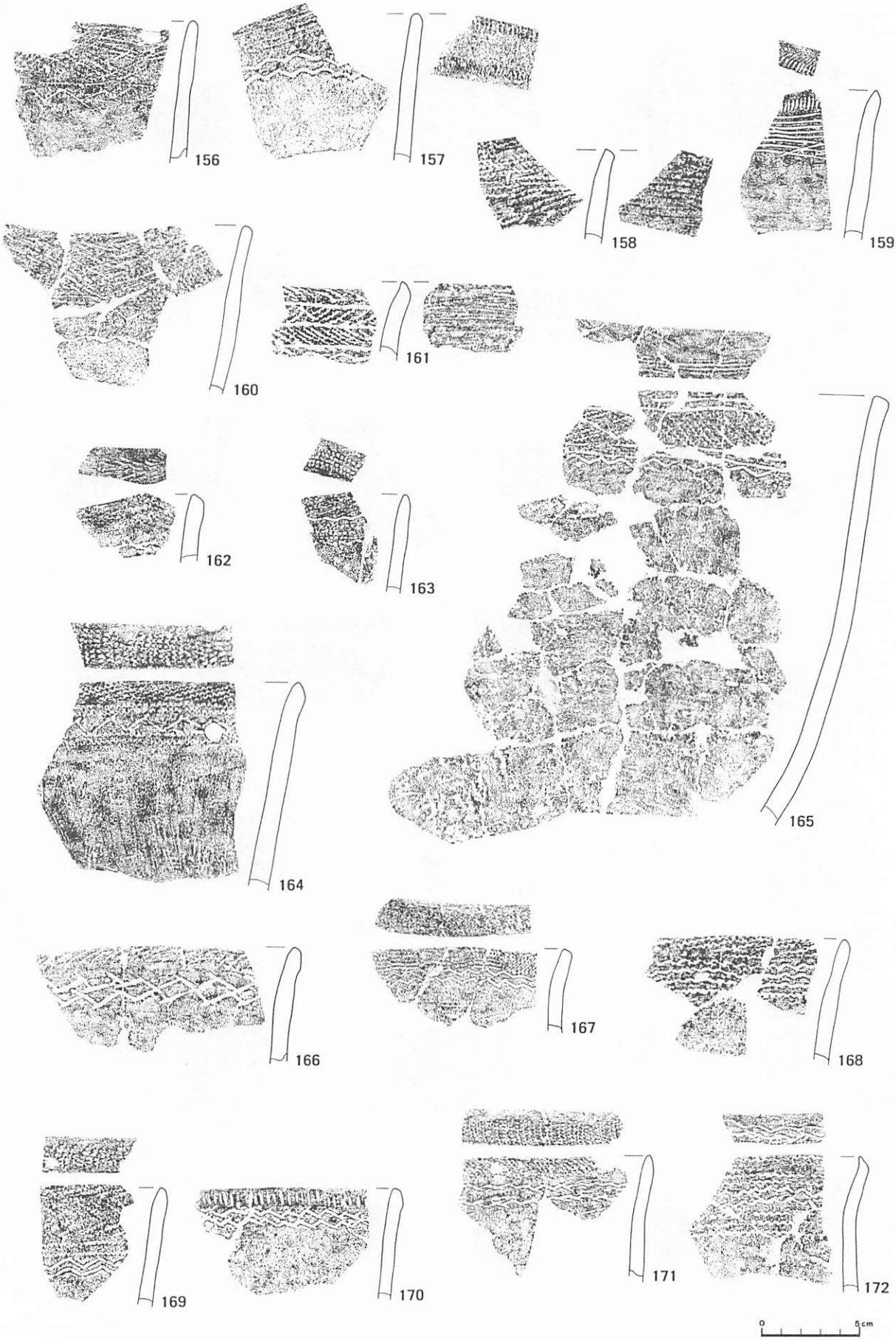
図IV－16　Ⅰ群D1類A種土器(6)



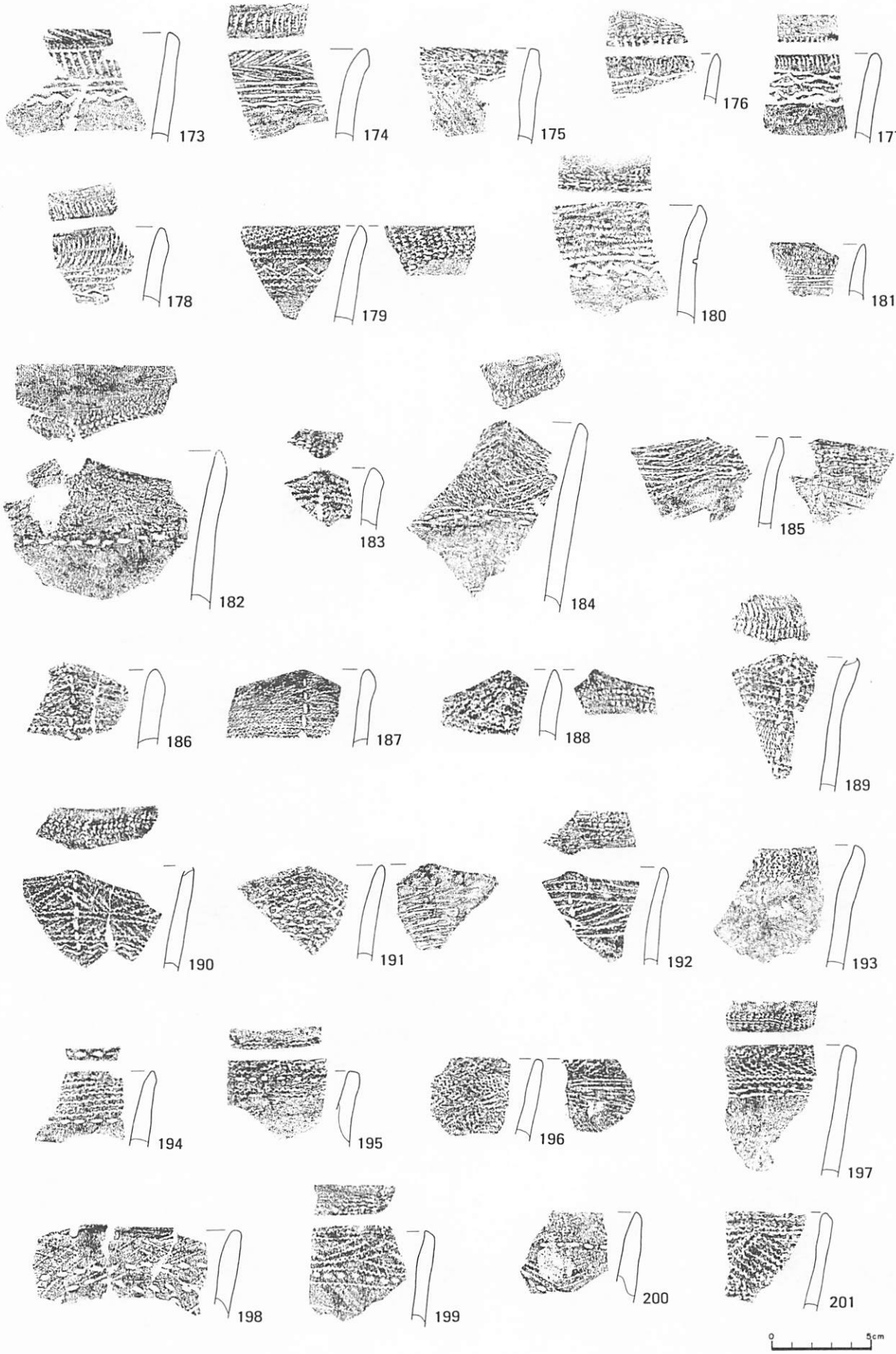
図Ⅳ－17　Ⅰ群 D1類Ａ種土器(7)



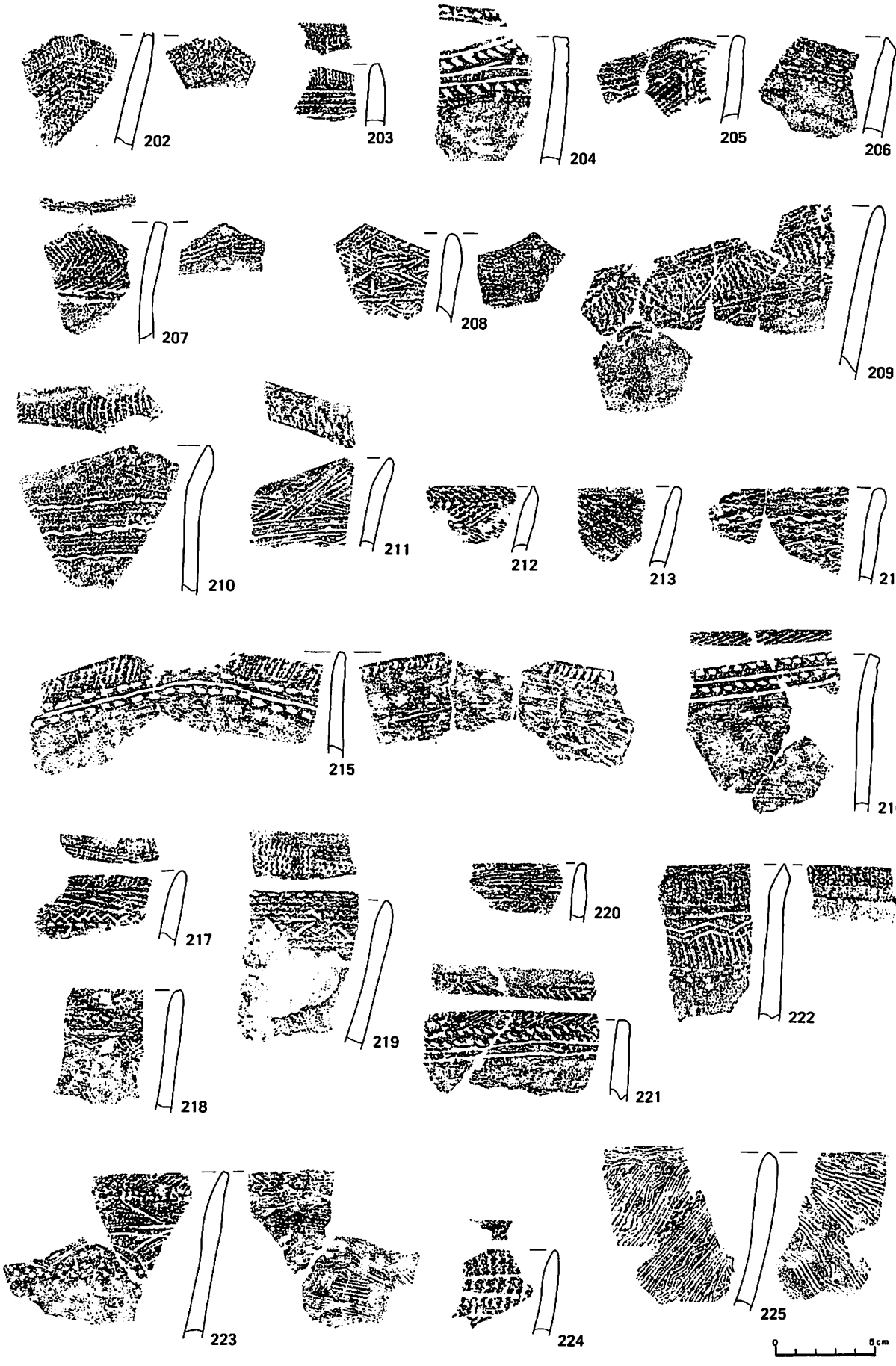
図IV－18　Ⅰ群D1類A種土器(8)



図Ⅳ－19　Ⅰ群 D1類Ａ種土器(9)



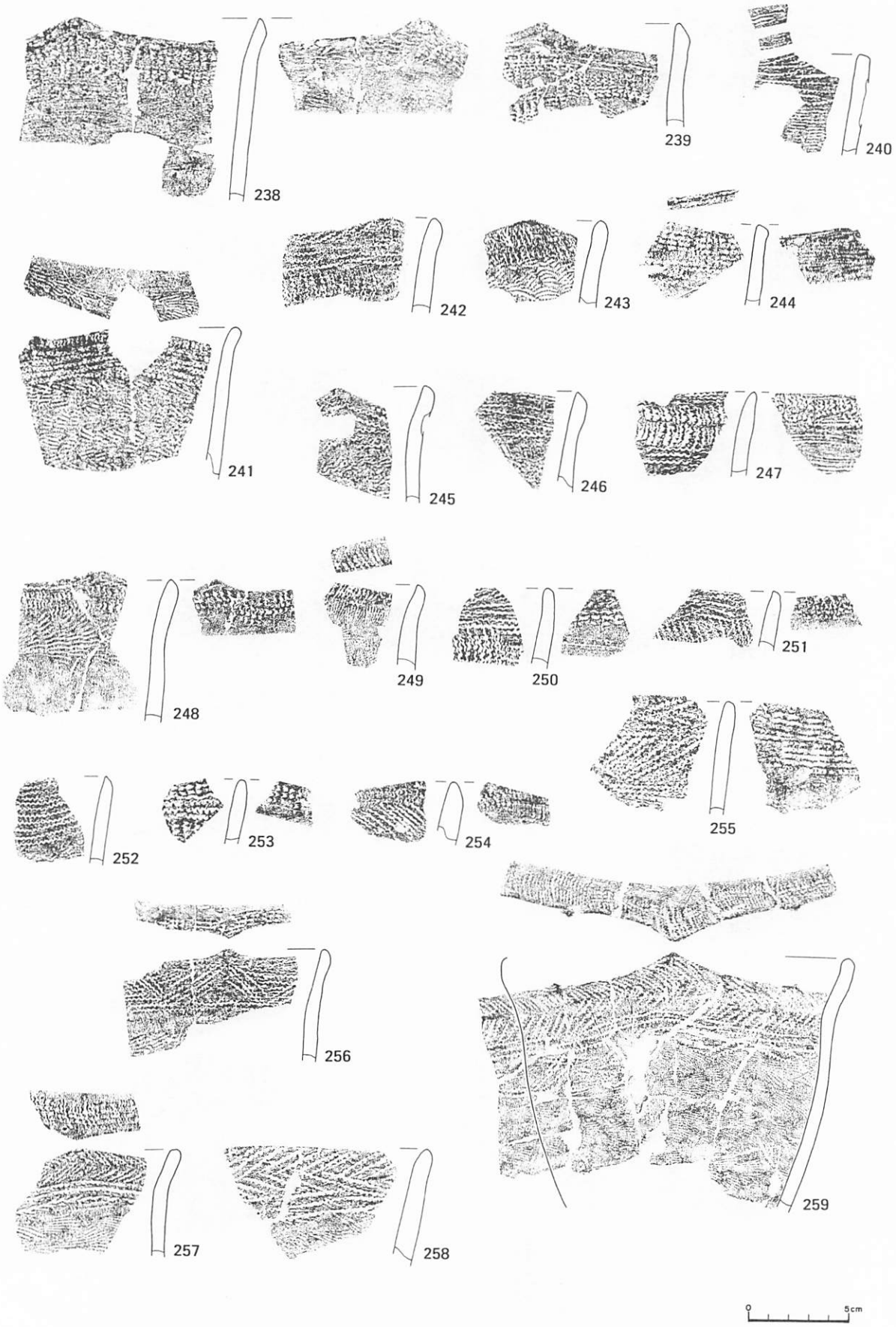
図Ⅳ－20　Ⅰ群D1類A種土器(10)



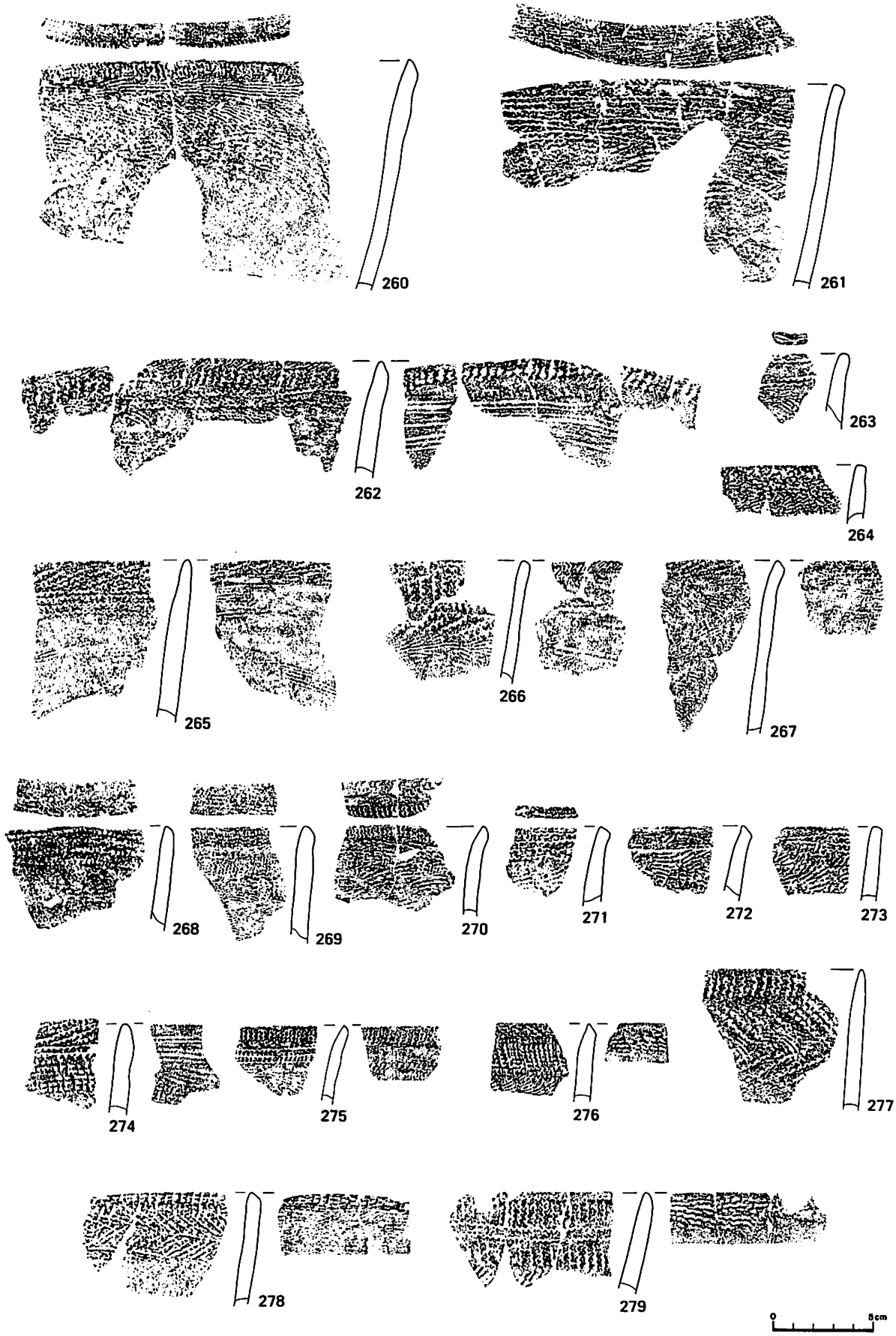
図IV－21　Ⅰ群D1類A種土器(1)



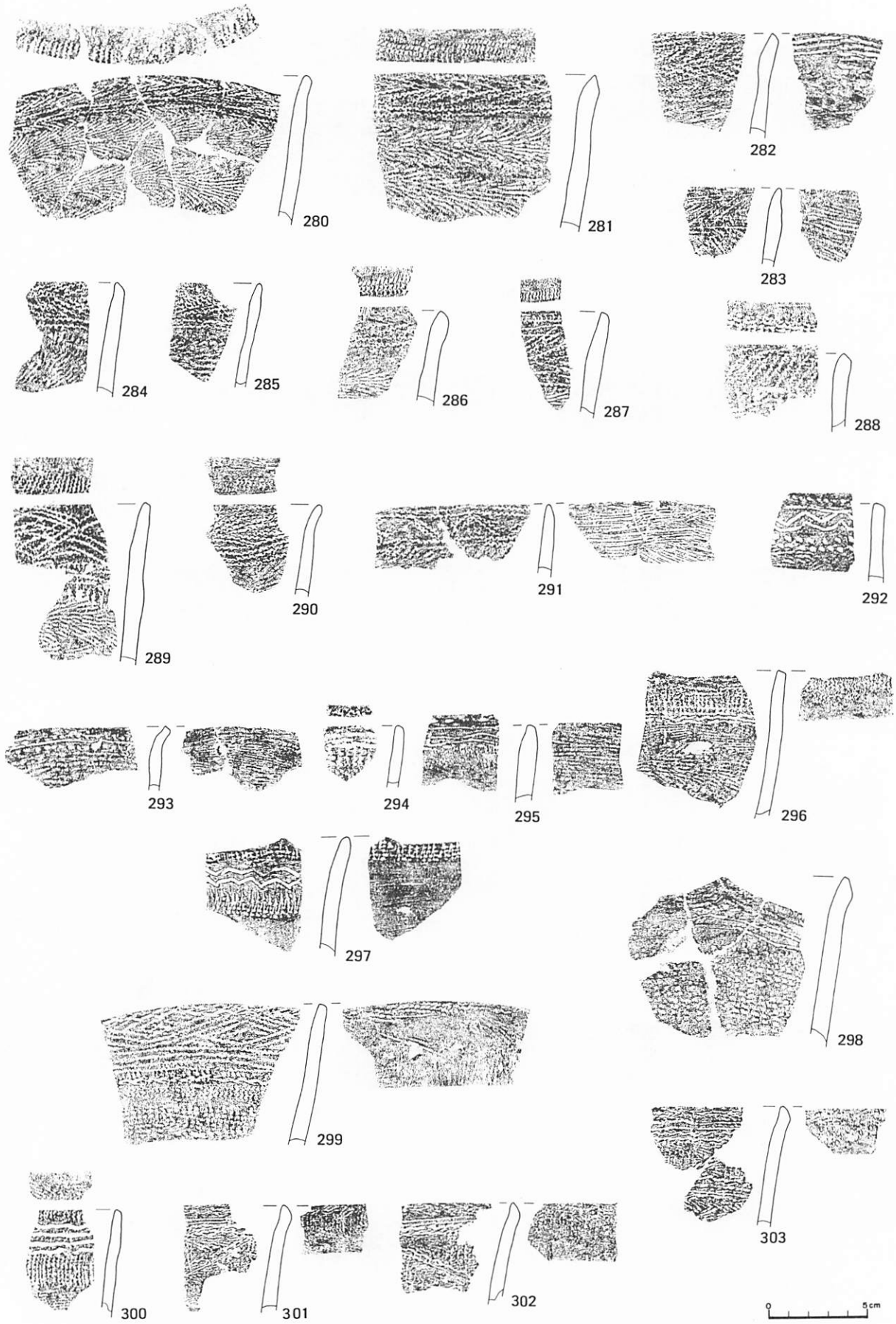
図Ⅳ－22　Ⅰ群 D1類Ｂ種土器(3)



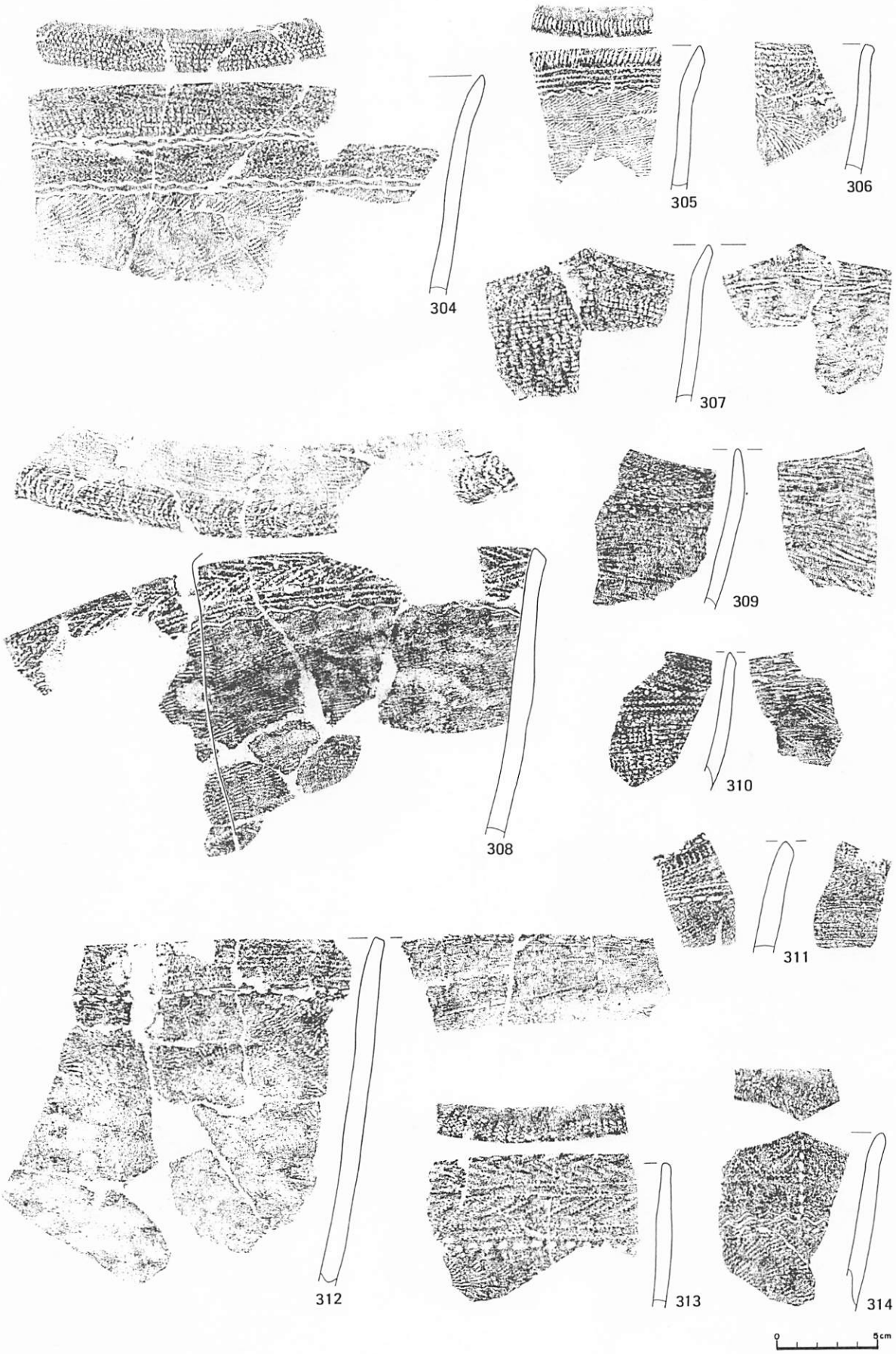
図Ⅳ－23　Ⅰ群 D1類Ｂ種土器(4)



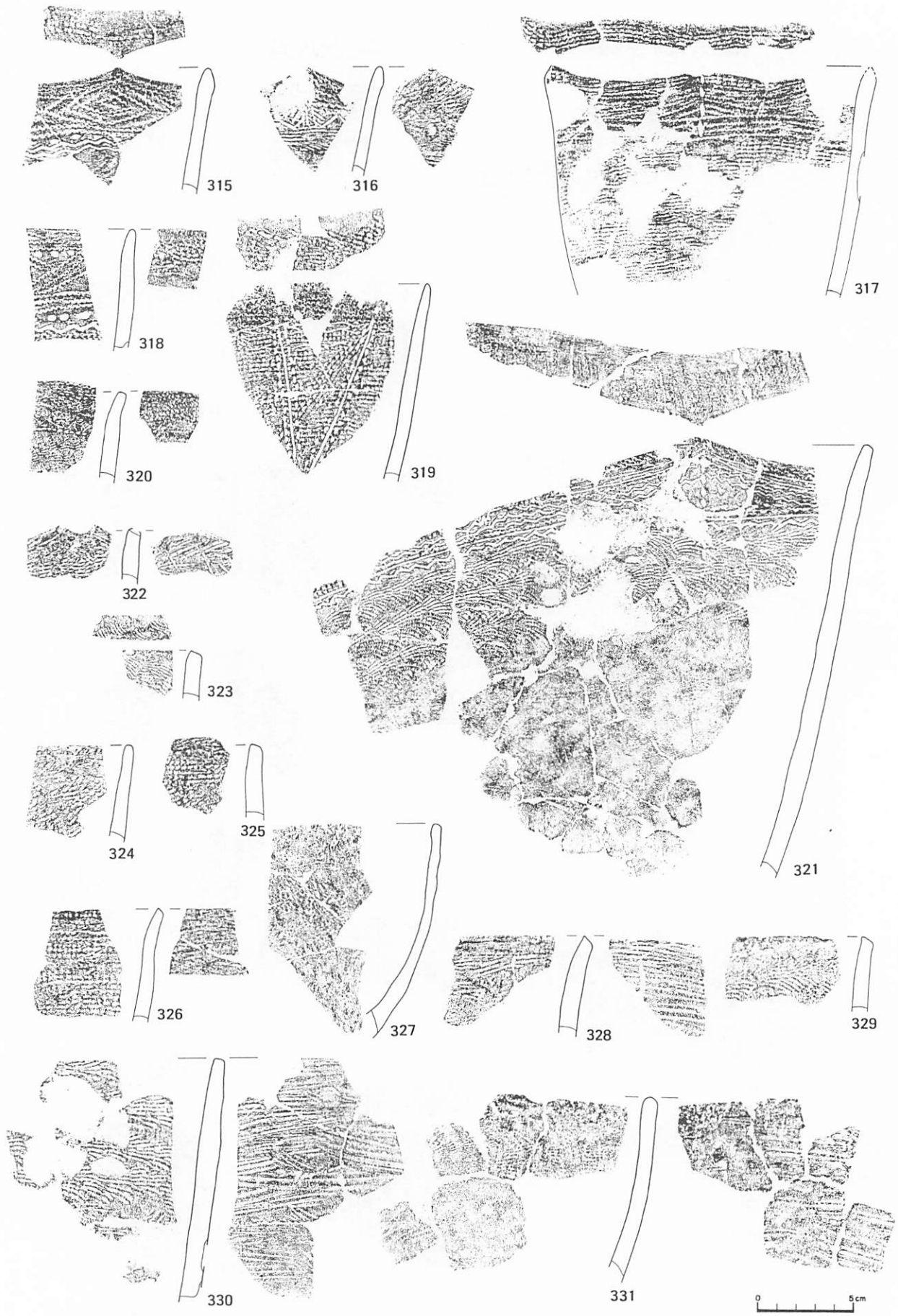
図Ⅳ－24　Ⅰ群D1類B種土器(5)



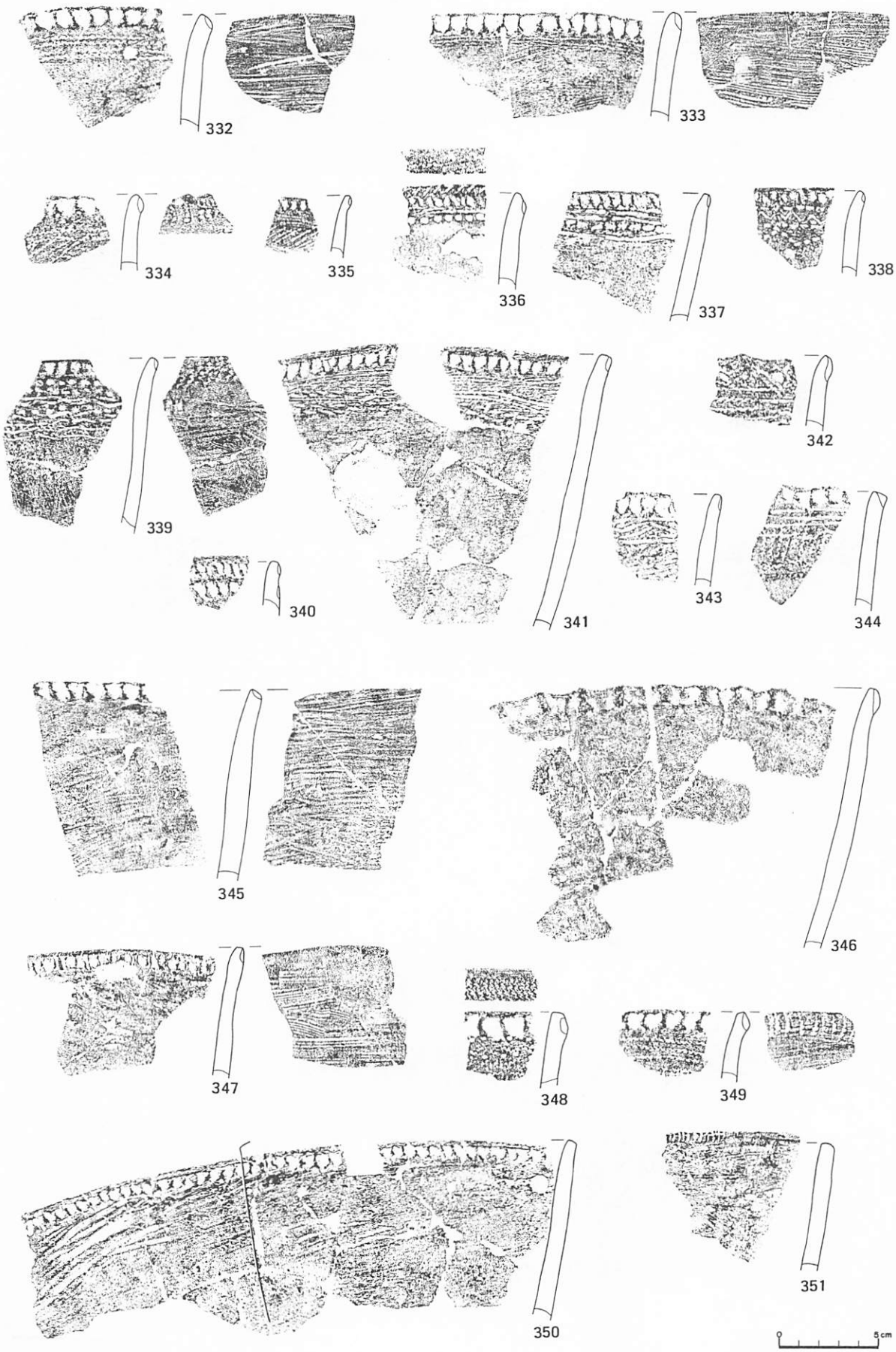
図Ⅳ－25　Ⅰ群 D1類Ｂ種土器(6)



図Ⅳ－26　Ⅰ群D1類B種土器(7)



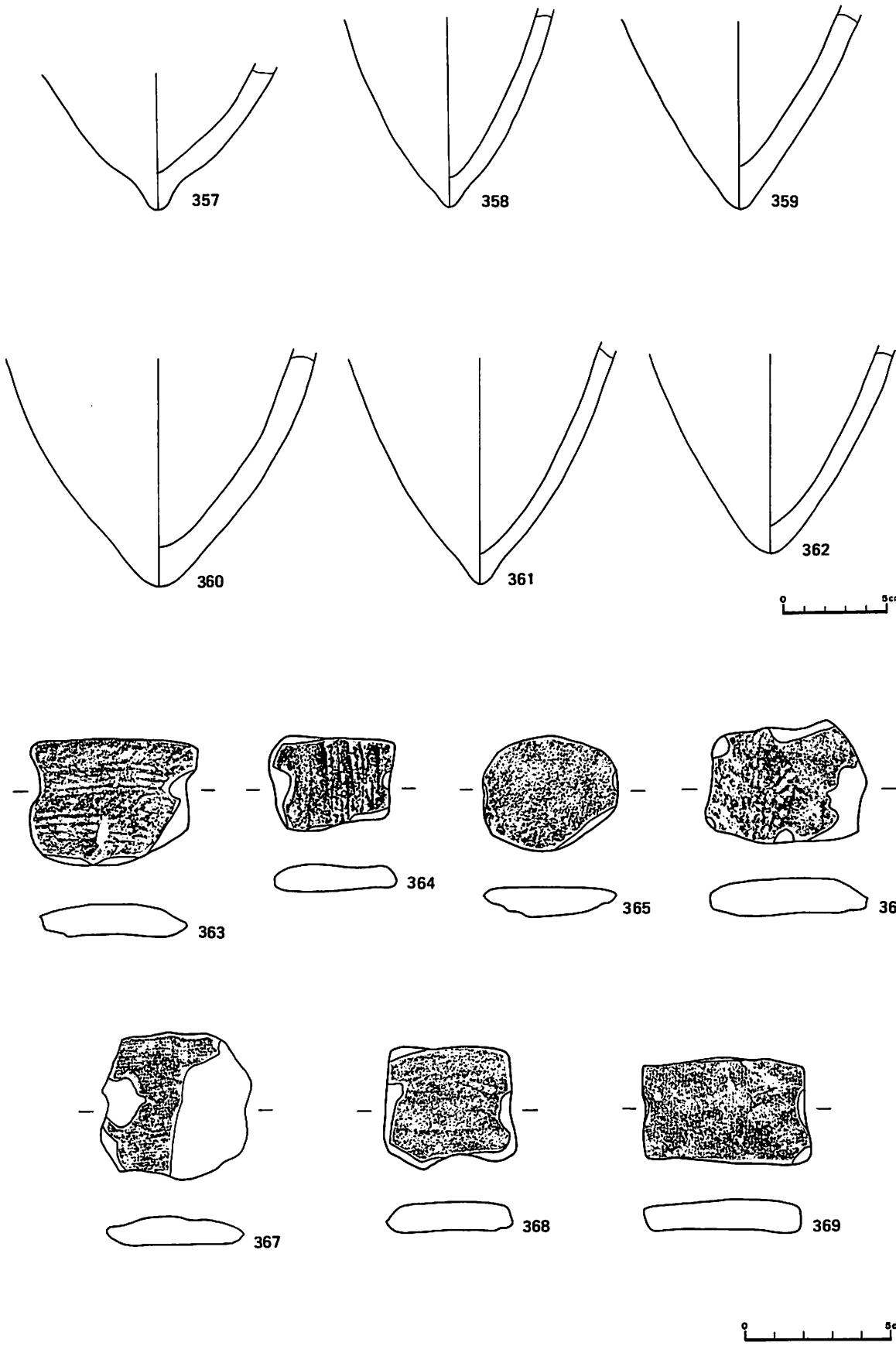
図Ⅳ－27　Ⅰ群D1類Ｂ種土器(8)



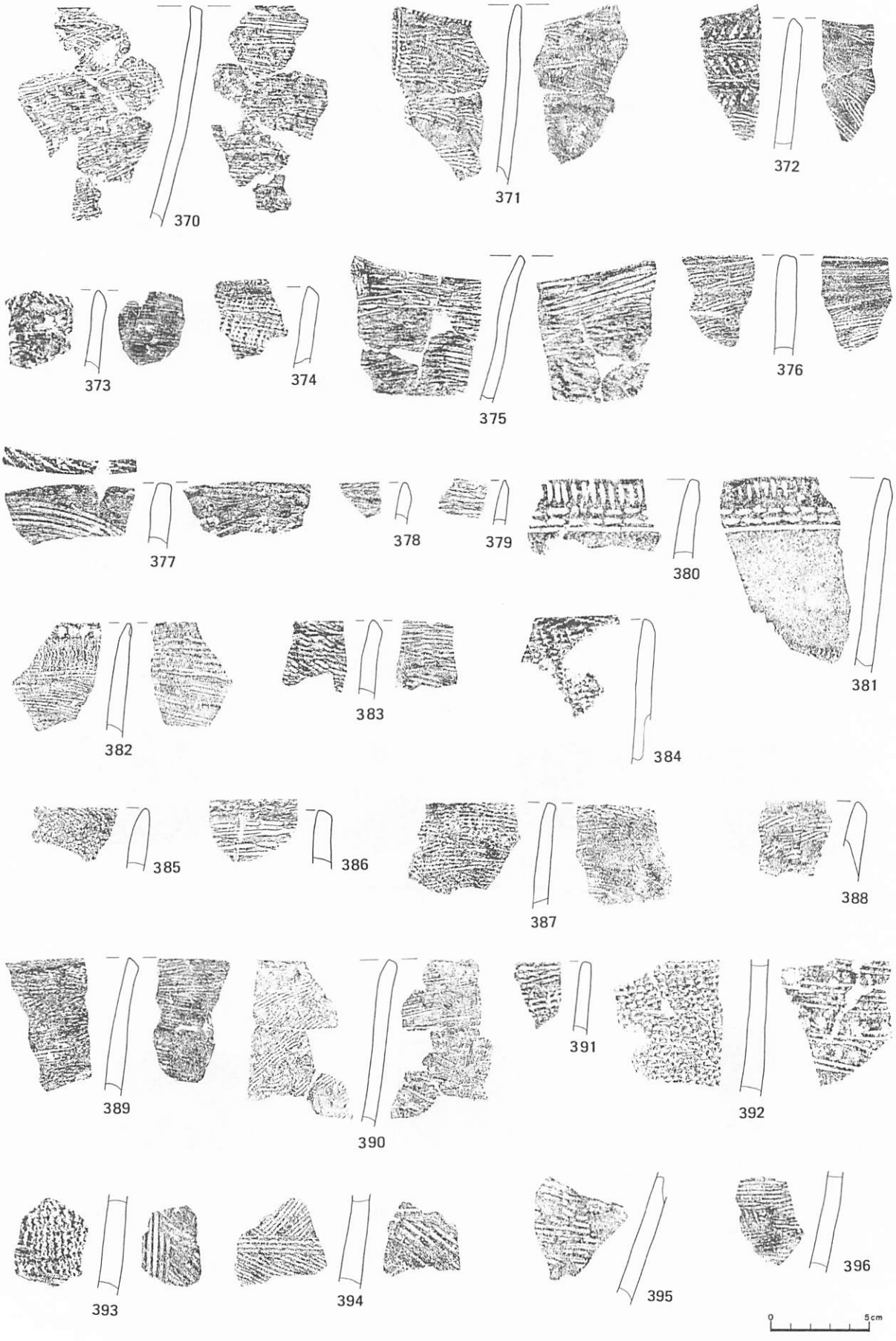
図Ⅳ－28　Ⅰ群D1類A10種土器



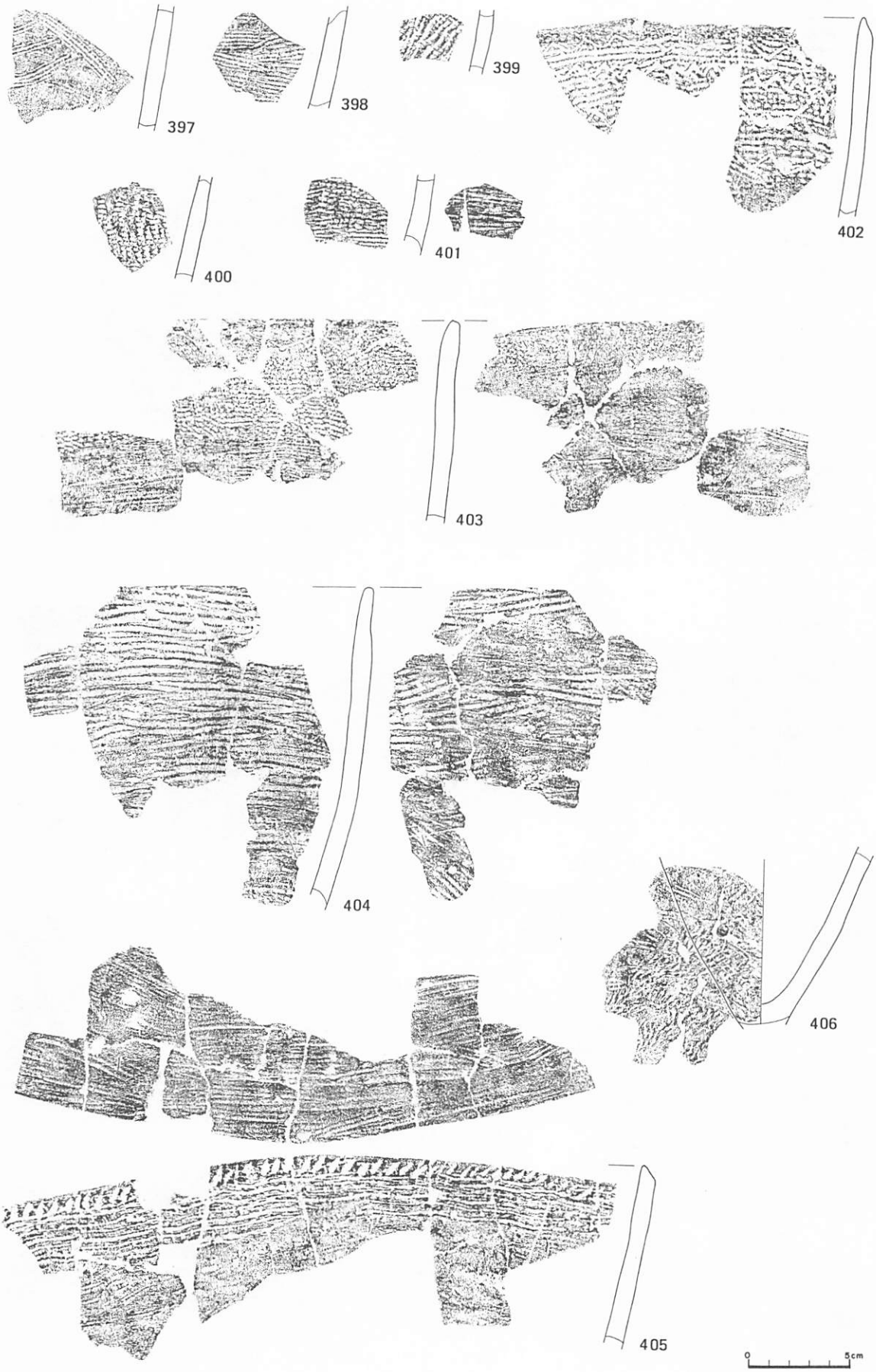
図Ⅳ－29　Ⅰ群 D1類Ｂ10種土器と D1類土器底部



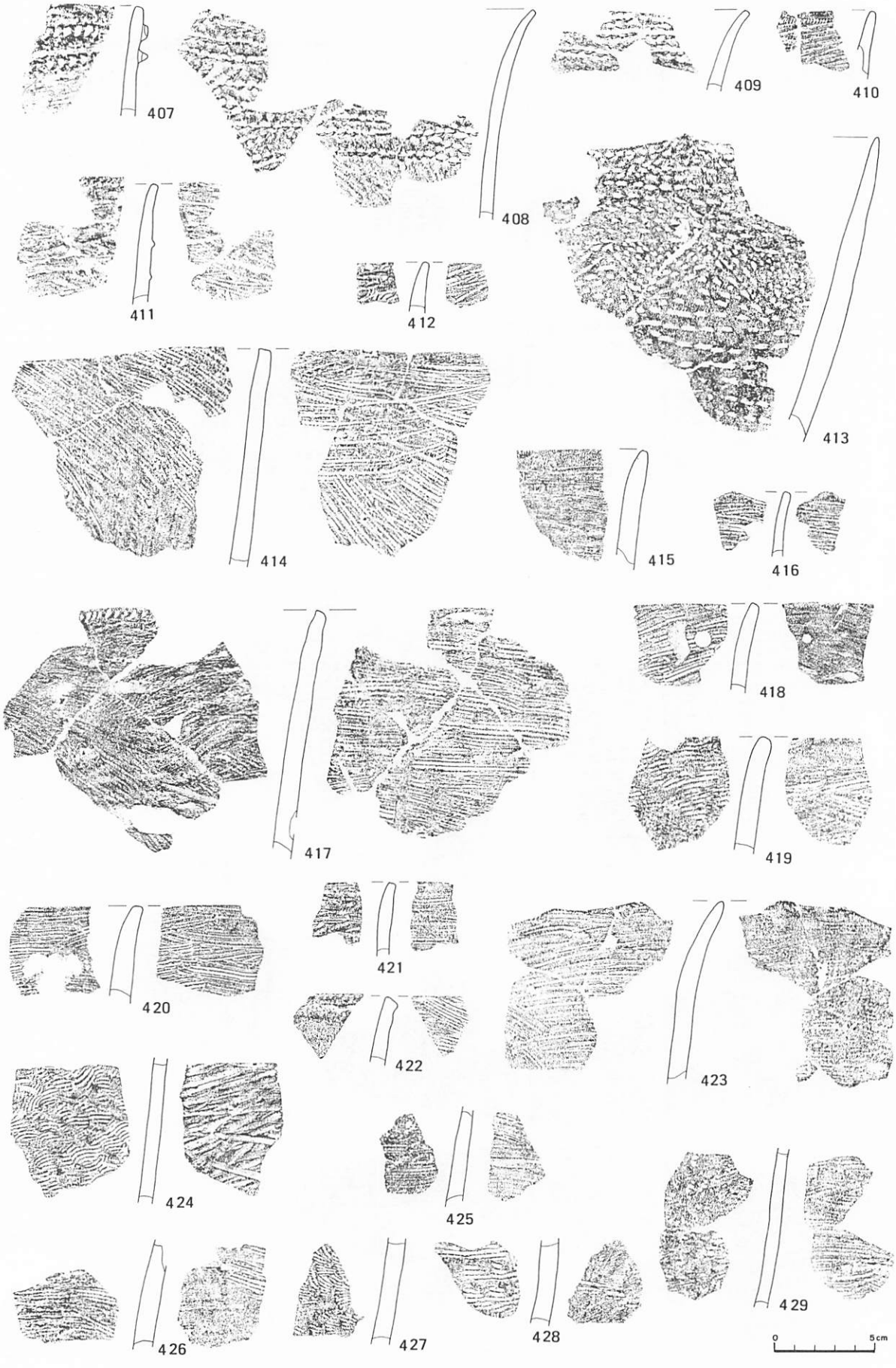
図Ⅳ－30　Ⅰ群 D1類土器の尖底部と土器片錘



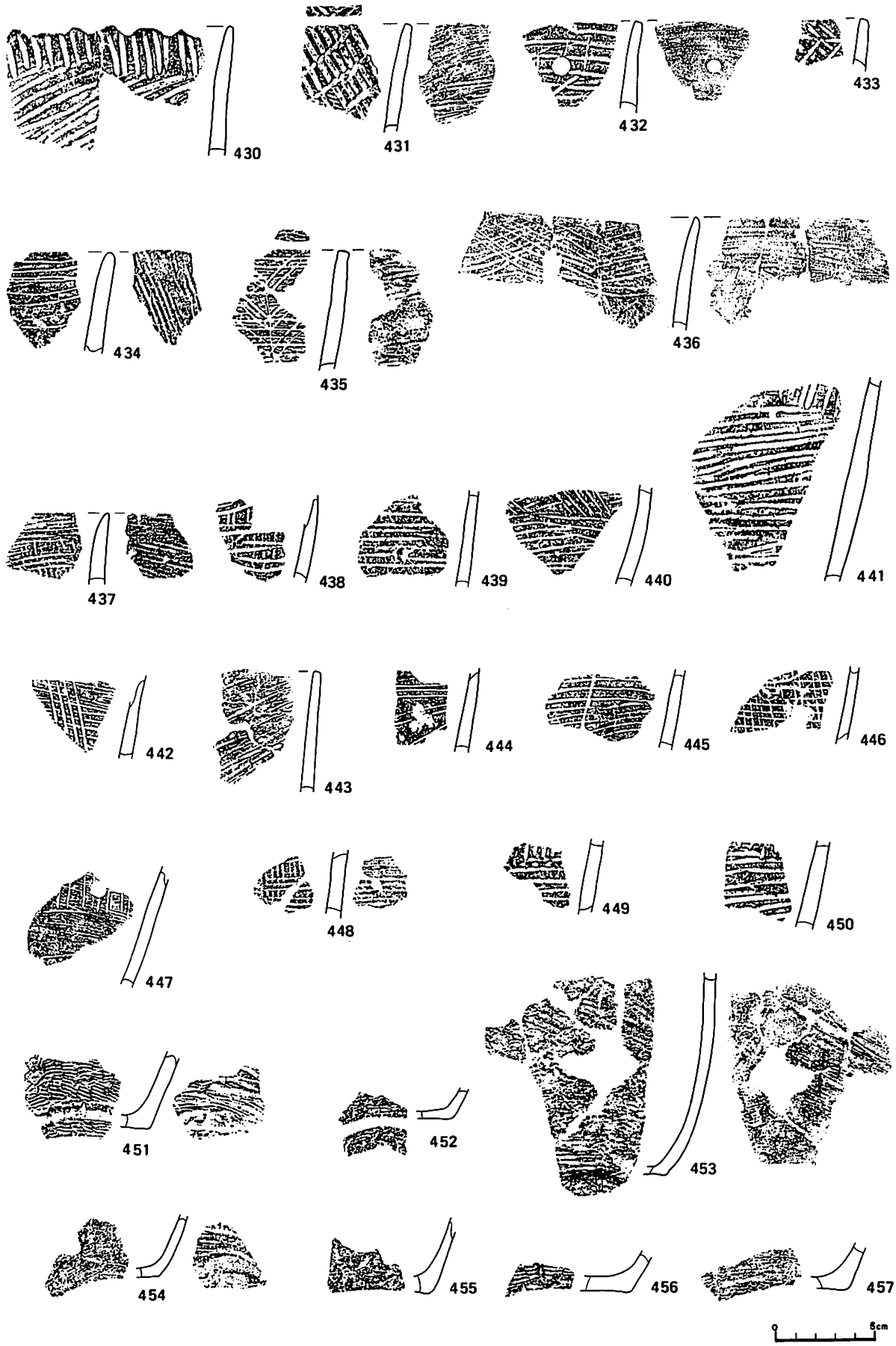
図IV－31　Ｉ群 D2類土器(2)



図IV－32　I群 D2類土器(3)



図Ⅳ－33　Ⅰ群Ｅ類土器(1)



図Ⅳ－34　Ⅰ群Ｅ類土器(2)


459
460
461
458
462
465
463
464
466
468
471
467
470
472
469
477
473
474
475
476
478
482
483
479
480
481
487
484
485
486
0
5cm

図Ⅳ－35　Ⅰ群Ｇ類土器

2　石器等

包含層出土の石器等総数は30,403点で、内訳は剝片石器群18,433点、磨製石器群90点、礫石器群11,862点である。D地区の石器の分布は重複する遺構の集中度とは必ずしも比例していないようである。微地形からみると、ほぼ全器種にわたり調査区中央より南側と北側の緩い傾斜地からの出土が目立つ(図IV－36～39)。度重なる遺構の構築や遺跡の利用頻度に由来してか、明瞭な作業場所を反映しているものは少ない。

(1)剝片石器群

剝片石器群は総数18,433点で、全体の61％を占める。石器は石鏃・石槍・石錐・篦状石器・両面調整石器・石匙・スクレイパー・二次加工痕付剝片（Rフレイク)・使用痕付剝片（Uフレイク)・フレイク・石核などが出土している。石材は黒曜石が剝片を含め102点ある他はすべて硬質頁岩である。

石鏃（図IV－40，図版227)

123点出土している。掲載する30点のうち、黒曜石製は6点（3・6・17・22・27・30）で、他はすべて硬質頁岩である。貝殻沈線文土器期のものとみられるものは、凹形の基部をもつ類の19点である（1～19)。その他に柳葉形（20～23)、有茎石鏃（24～29)、その他今後分類を必要とするもの（30)がある。いずれも両面調整品が主であるが、非調整品（9・11・12・14・15)、背面調整品（1・8・10・13・16・18～20）で、腹面調整品はない。

20～23は早期末、29は後期後半の遺物かと思われる。

石槍（図IV－41，図版227)

尖端や側縁の加工が整った両面調整の遺物を石槍として扱った。113点出土している。黒曜石製は1点である。遺構出土も含め、柳葉形が主である。31･32は1a1類に分類したが、中央部より下端がわずかに屈曲しており、基部と思われる。33は1a3類でやや粗い両面加工がなされる。

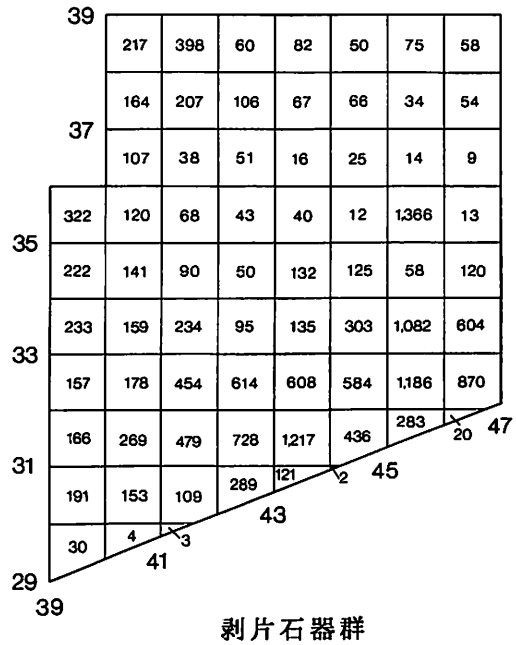
34～42は1b1類である。35は43－36区と44－32区出土のものが接合した。破損後の再加工は認められない。36は素材腹面を残す。37・41・42は非常に丁寧な両面加工が施されており、レンズ状の断面を呈する。39は両面下端に焼け弾け痕が認められる。40は左右が非対称となるもの。43・44は基部が内湾し石鏃の大型品となるようなもので、本遺跡出土の石鏃と比べて大きいために、石槍として分類した。43は丁寧な加工が施され、図左面下端部には基部から中央部に向けて溝状の剝離が施される。

石錐（図IV－42，図版228)

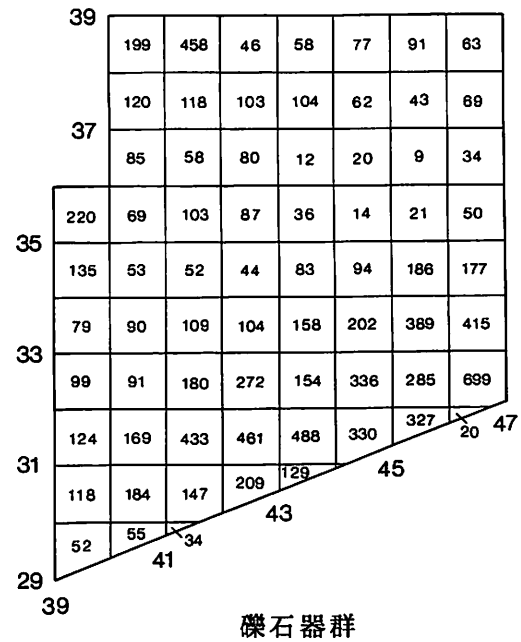
75点出土した。本遺跡出土のものは主に剝片の一部に尖頭部を作りだしたものが多い。45～51は1類。45・49は端部付近の両側縁に急角度の加工を施し、機能部が作出される。47は素材のバルブ付近を加工し、ヒンジフラクチャーを起こした剝離部を機能部として作出している。51は両尖端に摩耗痕とわずかに線条痕が見られる。52は折れ面を加工して尖頭部に利用しているもの。53～55は4類。56は棒状の形態を呈するもの。57～59は両面調整の石鏃からの転用品で、ともに尖端に摩耗痕がある。

篦状石器（図IV－43，図版228)

19点出土した。本遺跡の石器中に占める割合は低い。全体の形態および刃部形態から分類した。60はIa類。片面加工で上端の形態が平坦である。61はIb類で周辺加工のもの。上端の形態は尖頭状になる。62はIc類。半両面加工で上端は尖頭状である。腹面尖端部にわずかに光沢痕がある。63もIc類であるが他に比べ大型である。両面加工であり、刃部のみ素材面を残す。図左面の刃部には刃こぼれが認められる。上端部にはわずかに平坦部を残す。64･65は2a類。64の上端部は被熱による弾けが認められる。65はやや粗い調整が施され腹面中央部には素材礫面を残す。



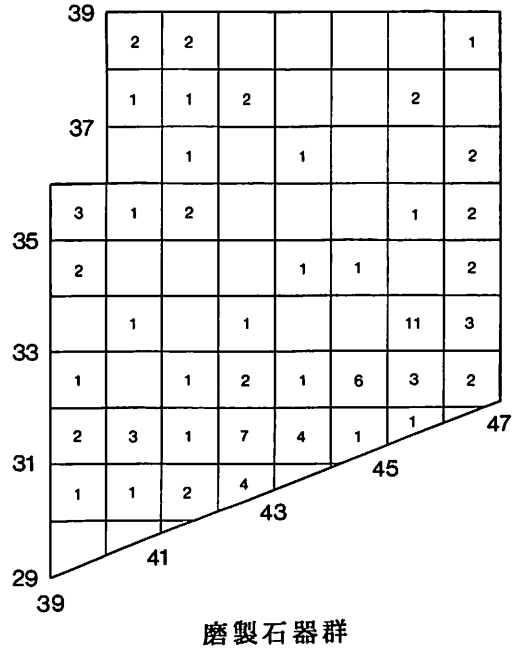
剥片石器群



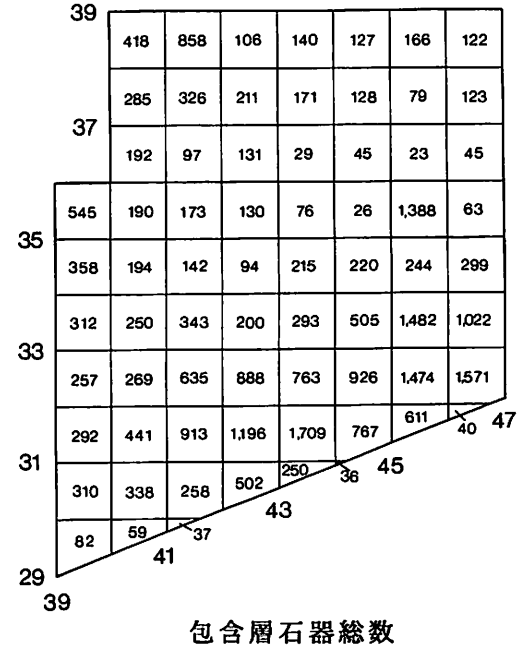
礫石器群

凡例

77 点

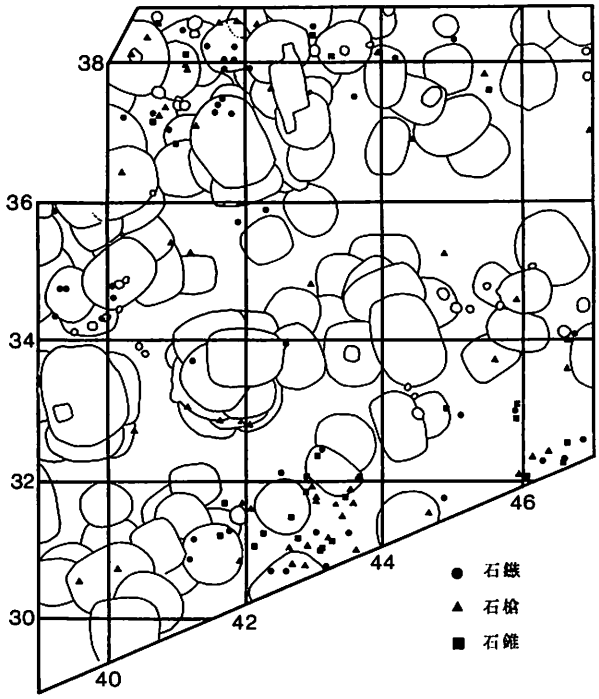


磨製石器群

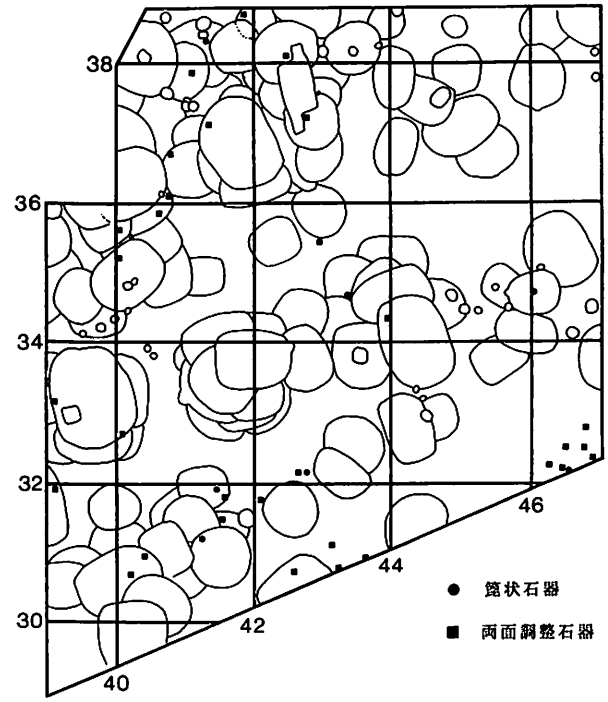


包含層石器総数

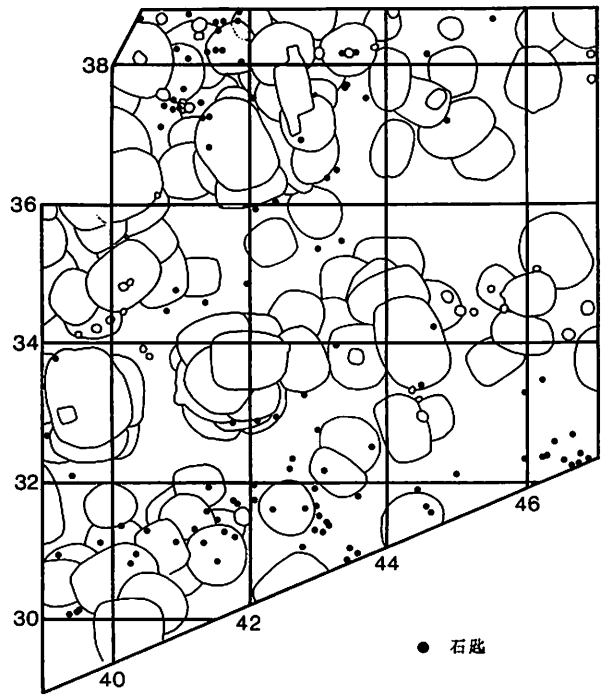
図Ⅳ－36　発掘区別出土石器点数



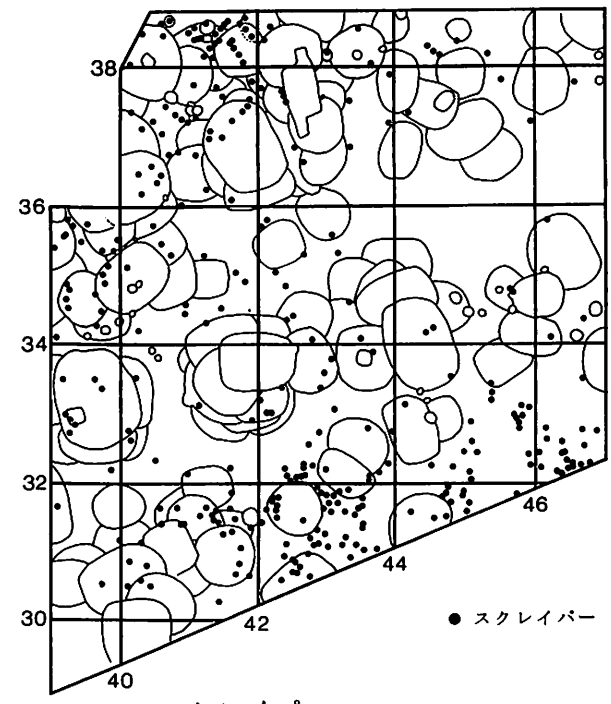
石鏃 石槍 石錐



篦状石器 両面調整石器

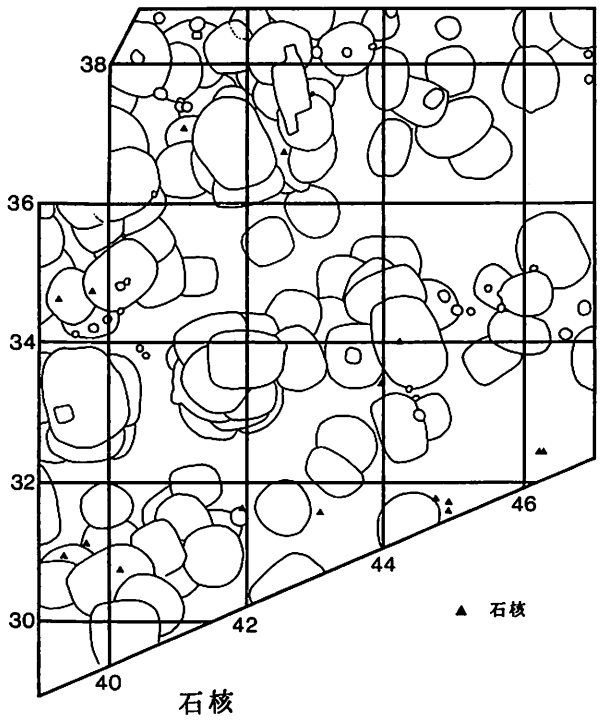


石匙

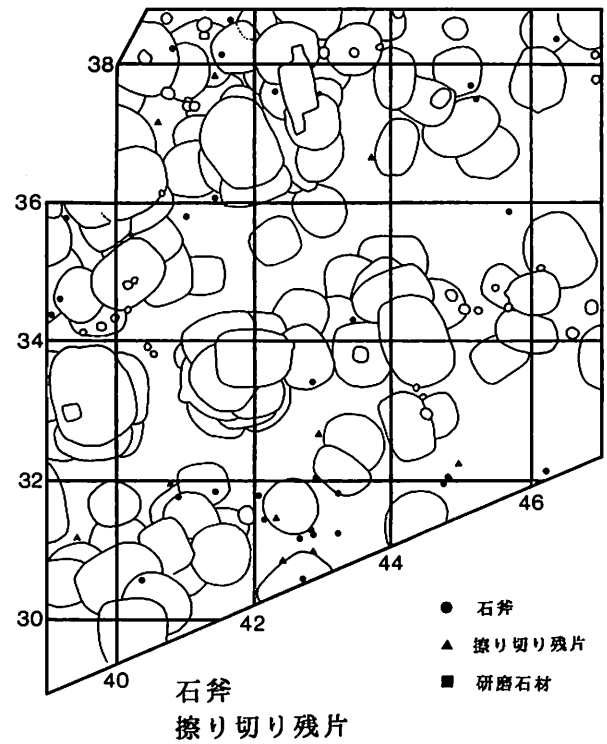


スクレイパー

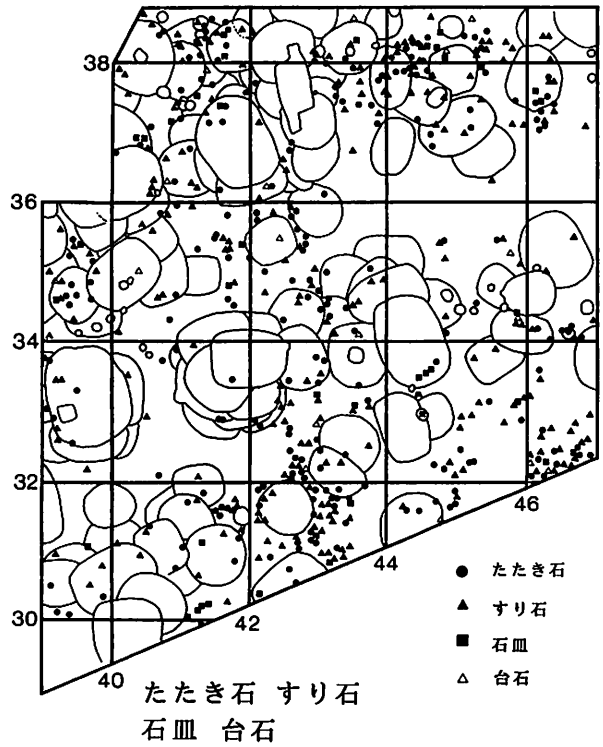
図Ⅳ－37　石器分類別分布図(1)



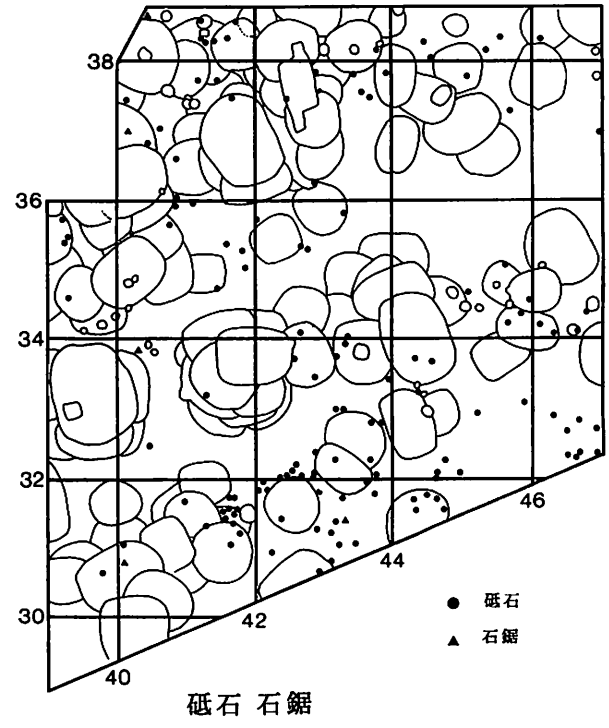
石核



石斧
擦り切り残片
研磨石材

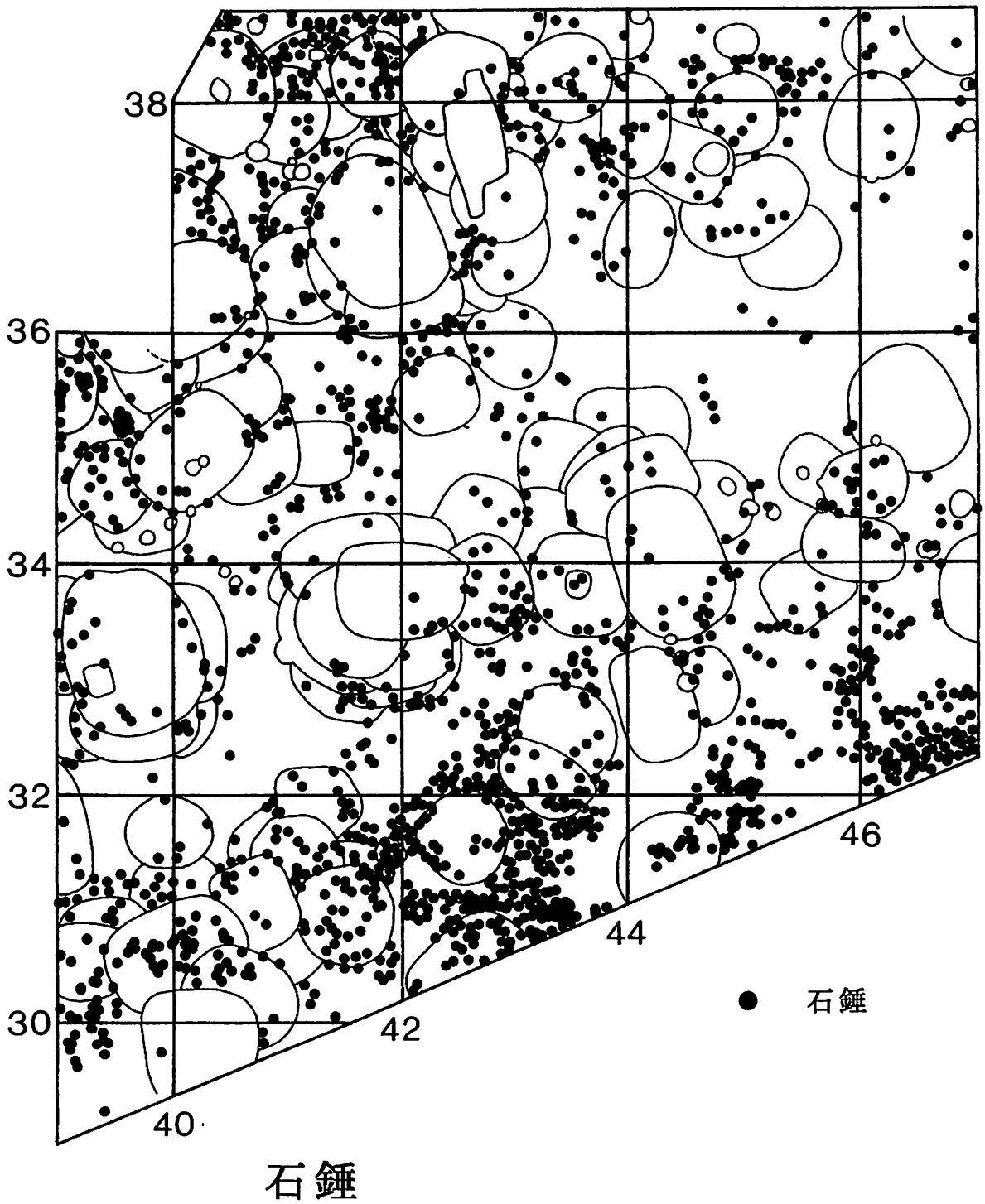


たたき石 すり石
石皿 台石

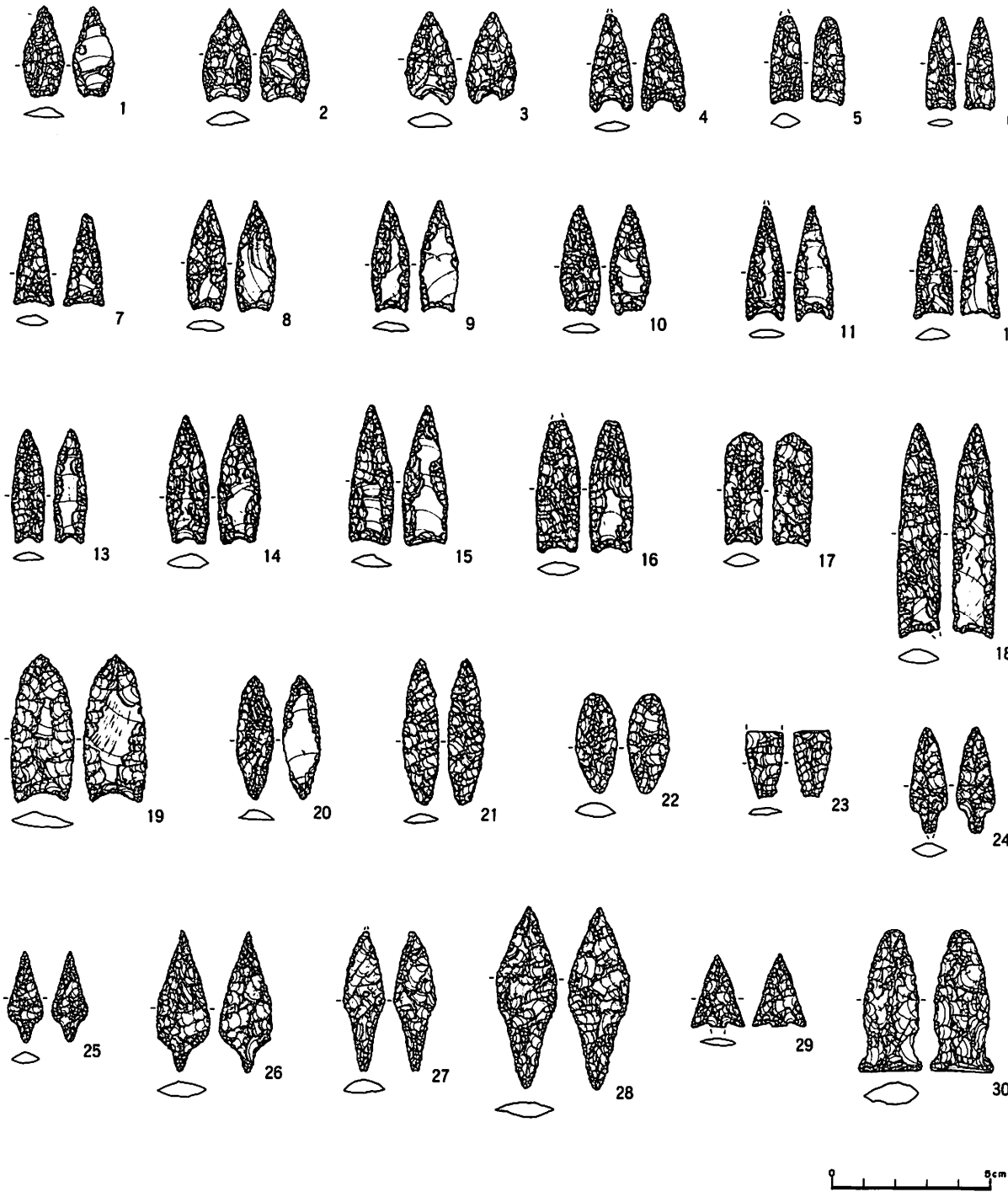


砥石 石鋸

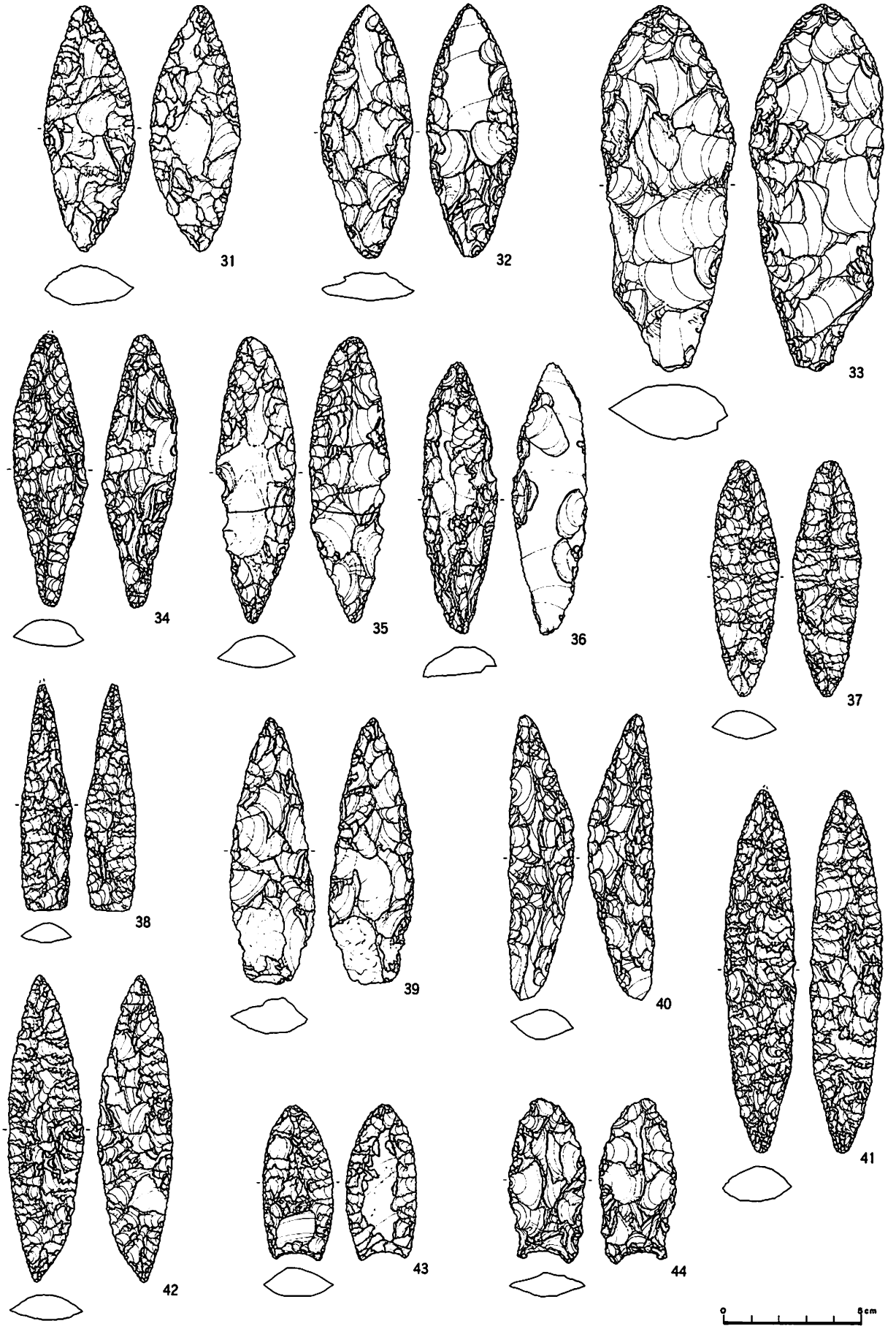
図IV－38　石器分類別分布図(2)



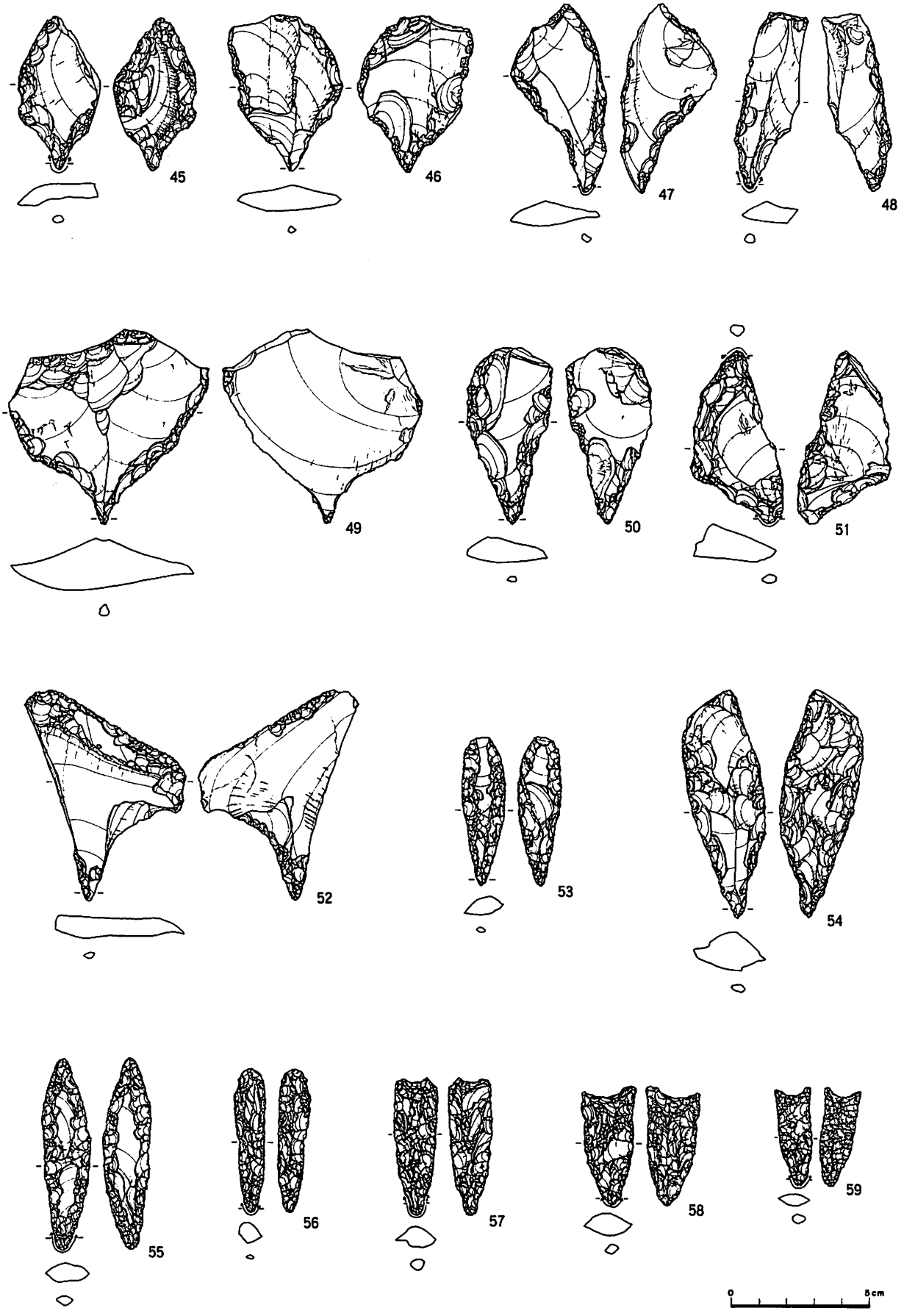
図Ⅳ－39　石器分類別分布図(3)



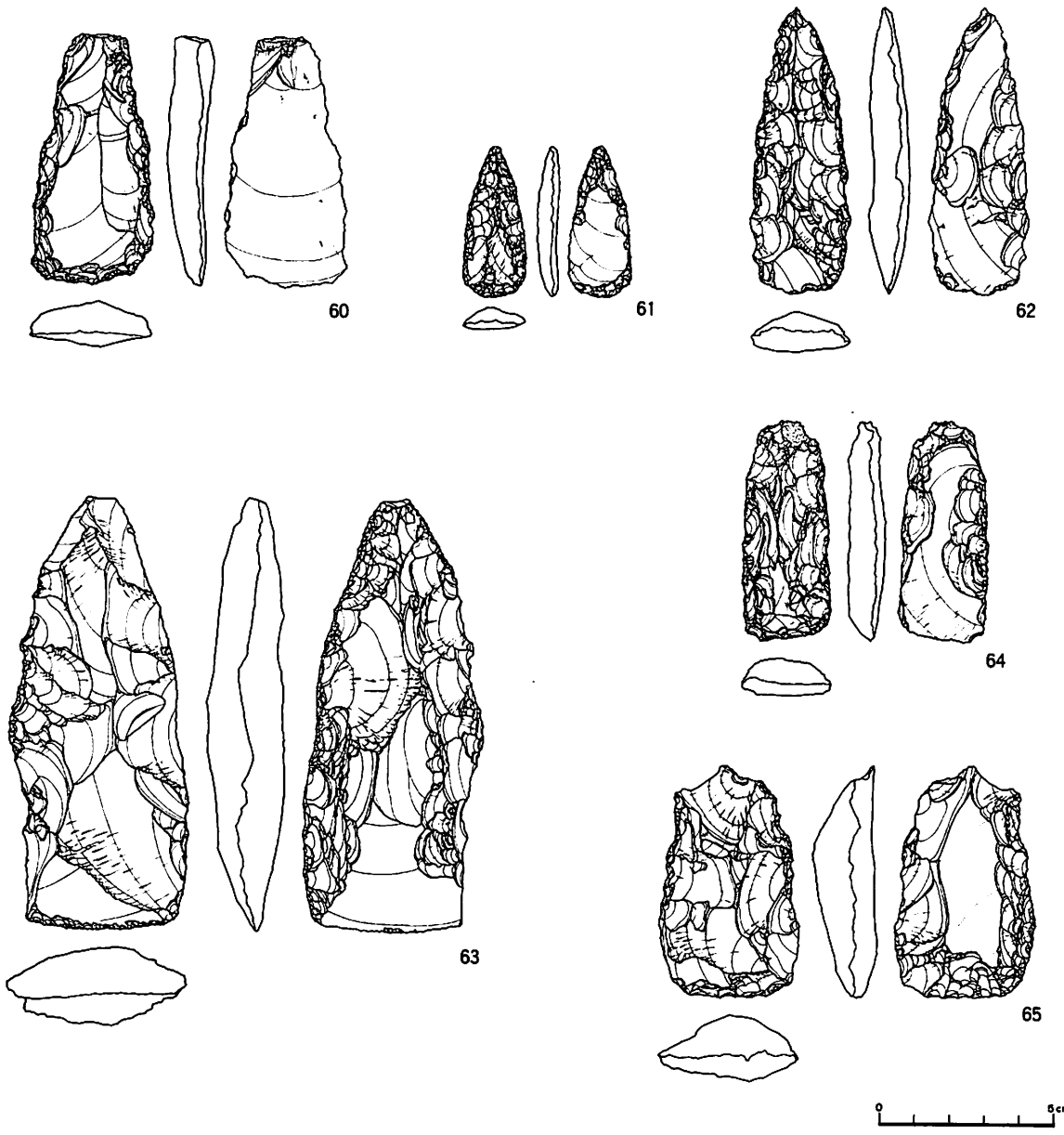
図IV－40　包含層出土の石鏃



図IV－41　包含層出土の石槍



図IV－42　包含層出土の石錐



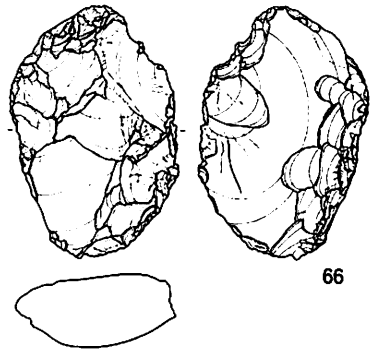
図Ⅳ－43　包含層出土の篦状石器

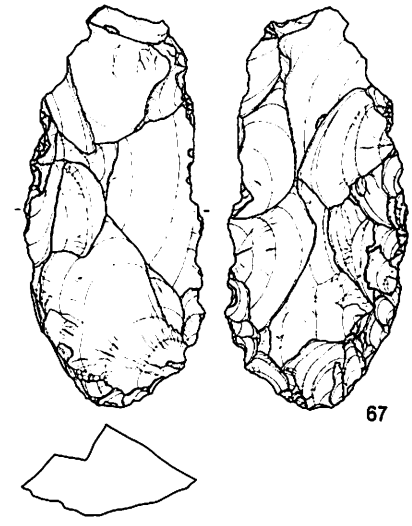
両面調整石器（図Ⅳ－44，図版228）

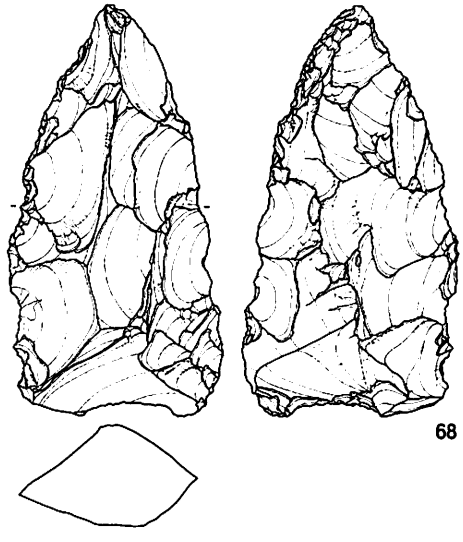
77点出土した。両面が加工されるが上記の分類に入れ難いものを両面調整石器とした。石材はすべて硬質頁岩である。形態上の特徴から細分類した。66・67は１類で、共に湾曲する側縁を刃部に加工しようとしたものと思われる。66は素材のバルブ付近を加工し厚みを減じる作業が施される。67はやや粗製のもので形態は篦状石器の一部に類似する。68・69は２類。68は篦状石器の1c類に類似し、刃部には刃こぼれが見られる。69は41－36区（Ⅲ層）、49－36区（Ⅰ層）出土資料が接合した。図右面の平坦面は素材礫面を残す。70は両側縁部がやや丸みをもち、木葉形を呈する。

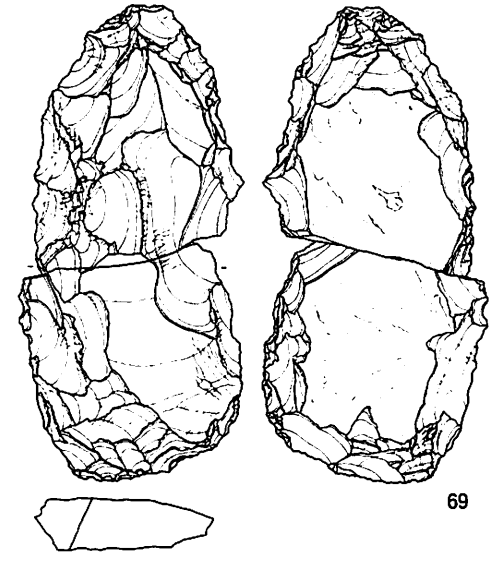
彫器様石器（図Ⅳ－44）

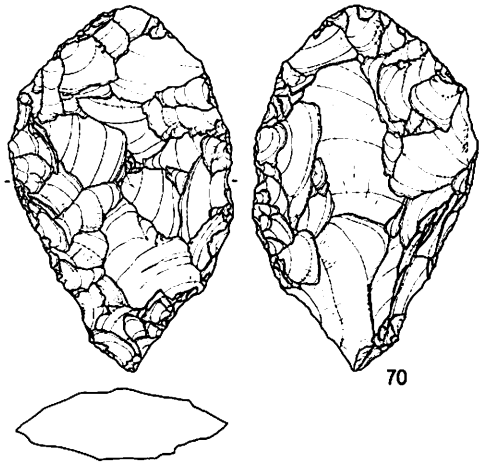
１点出土した。71は両面に調整が施される素材の尖端部を斜めに切り落しており、樋状の細長い剝離は器体の整形後に作出されている。刀彫面には使用痕が認められない。打角は50°である。

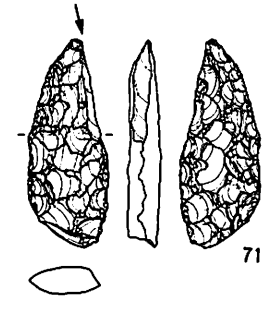


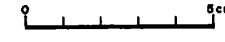




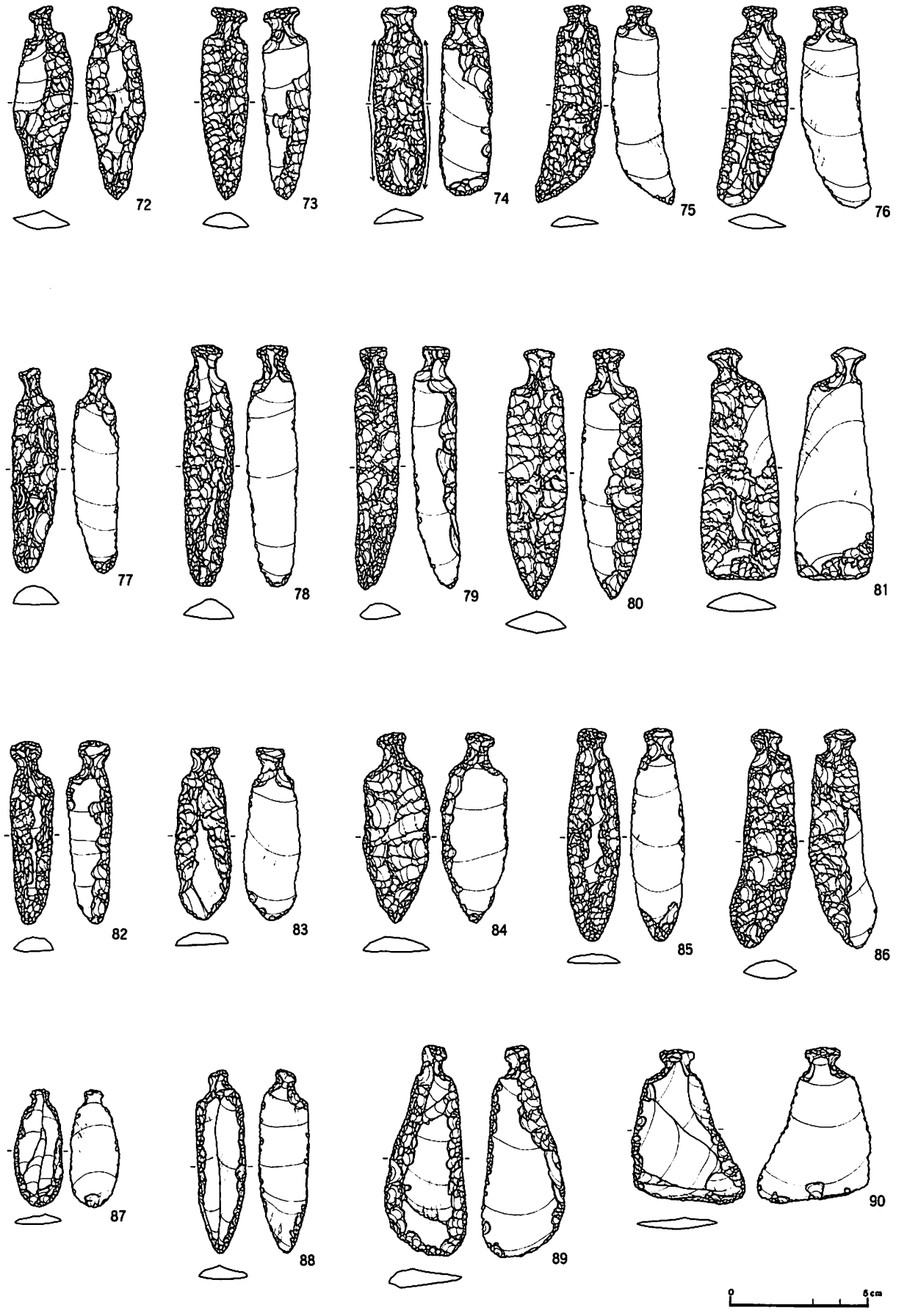




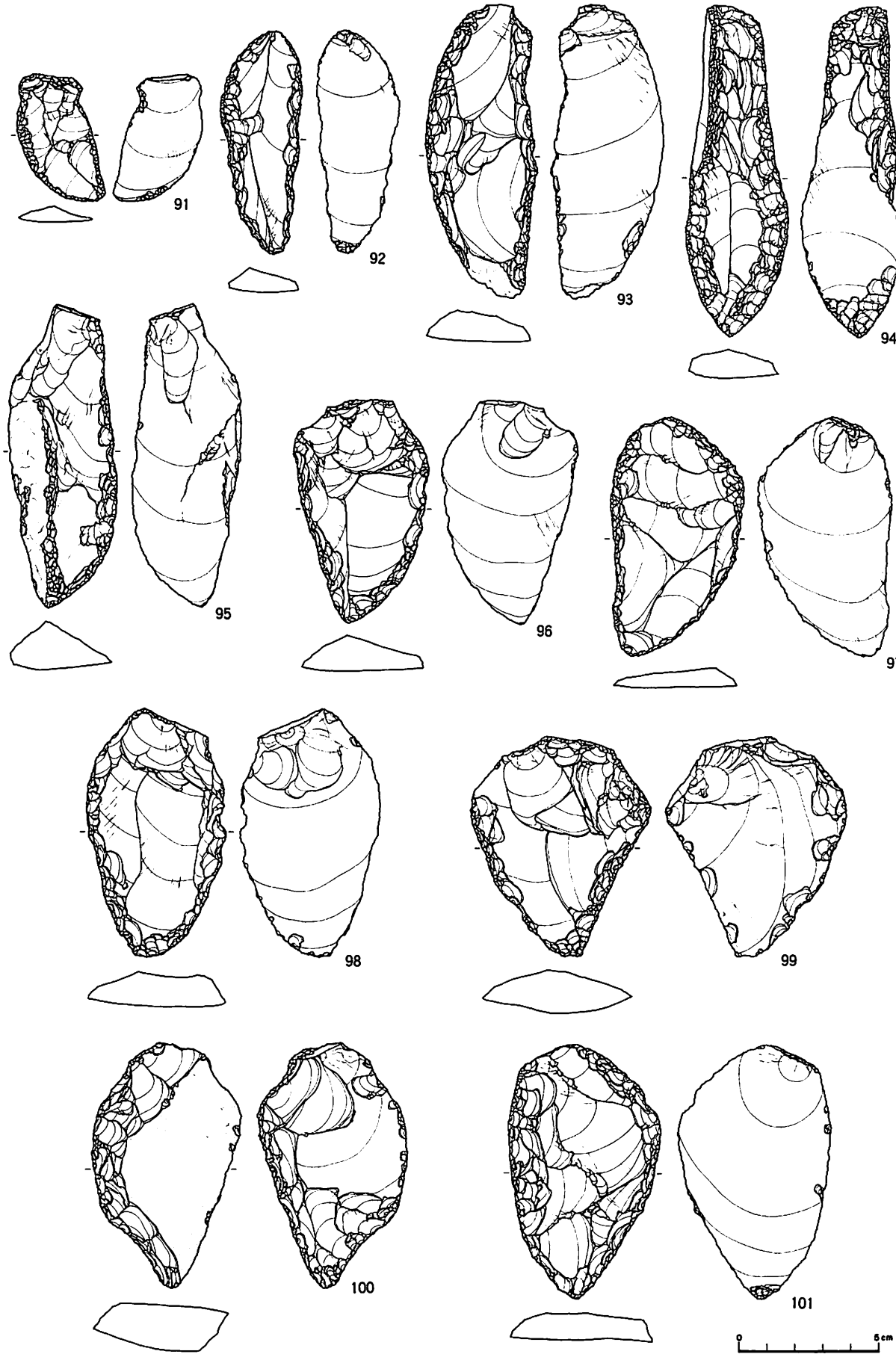




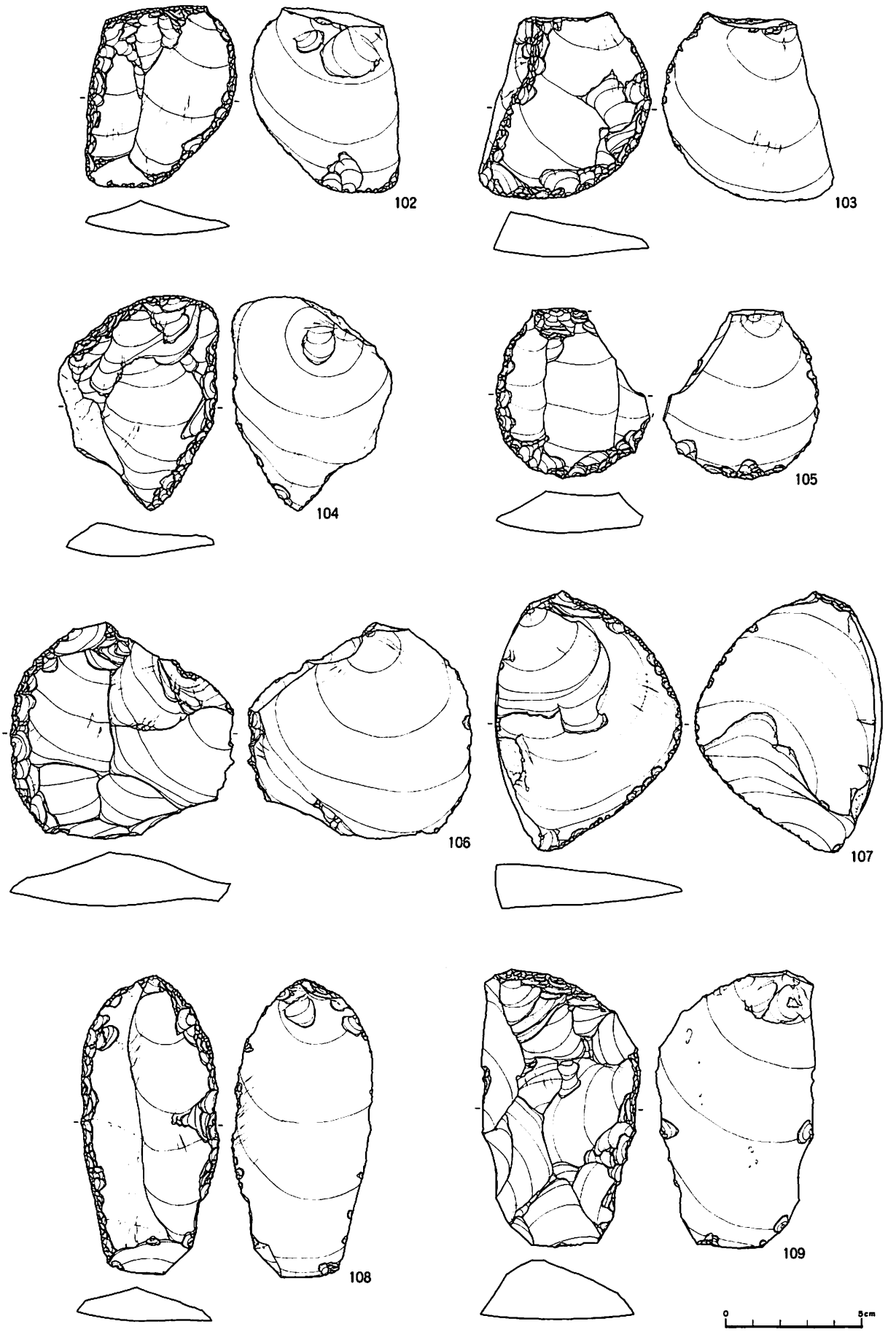
図IV－44　包含層出土の両面調整石器と彫器様石器



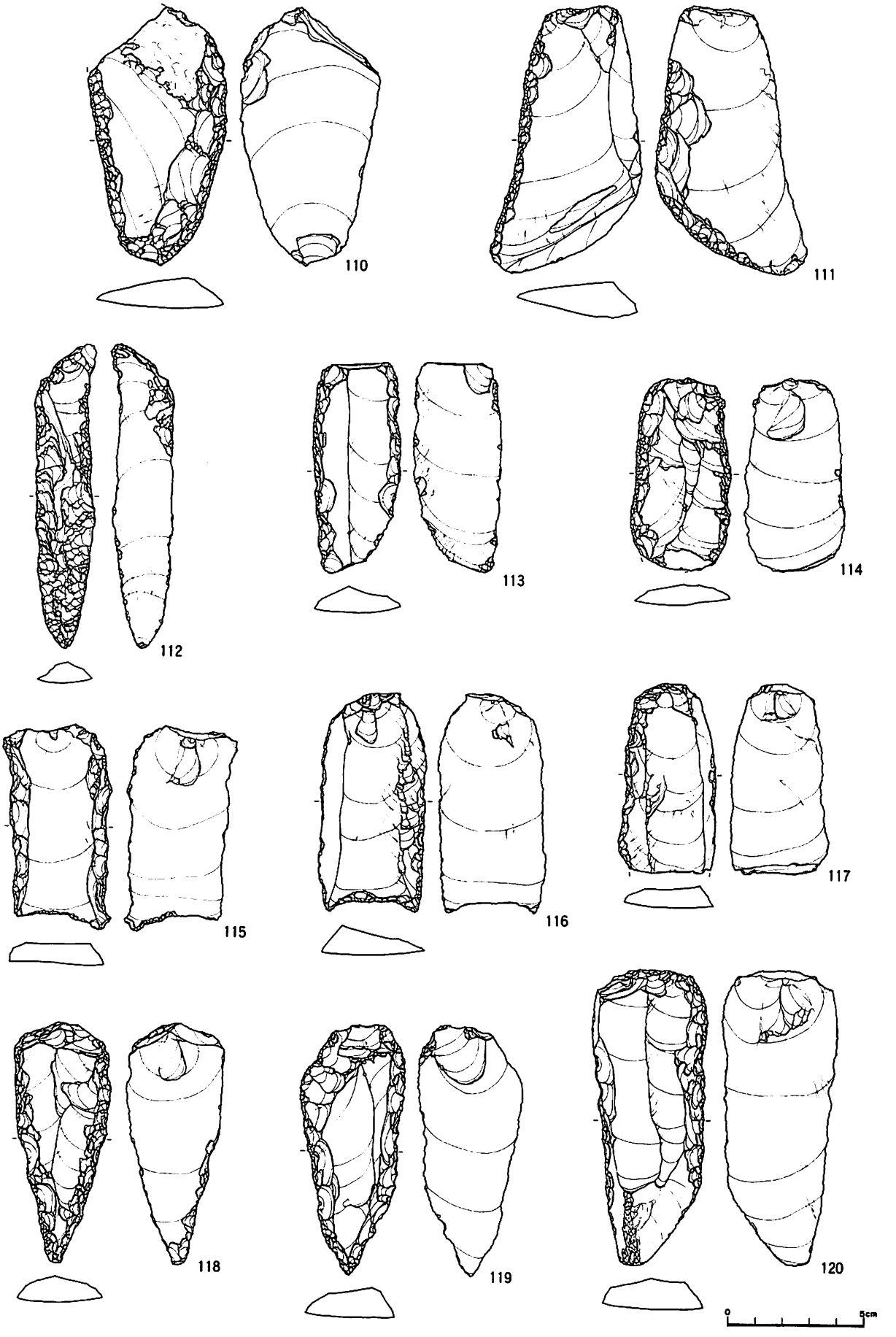
図IV－45　包含層出土の石匙



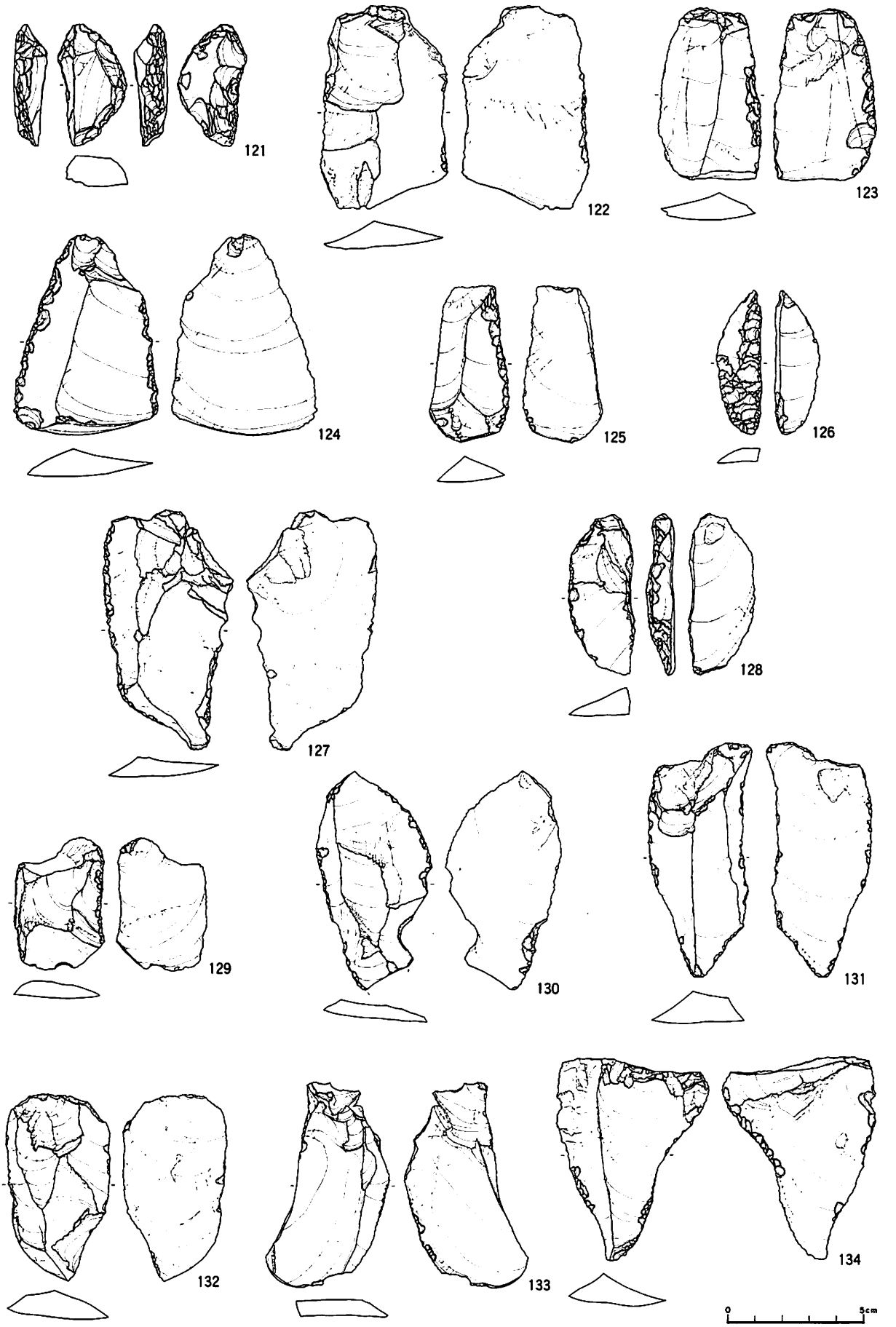
図IV－46　包含層出土のスクレイパー(1)



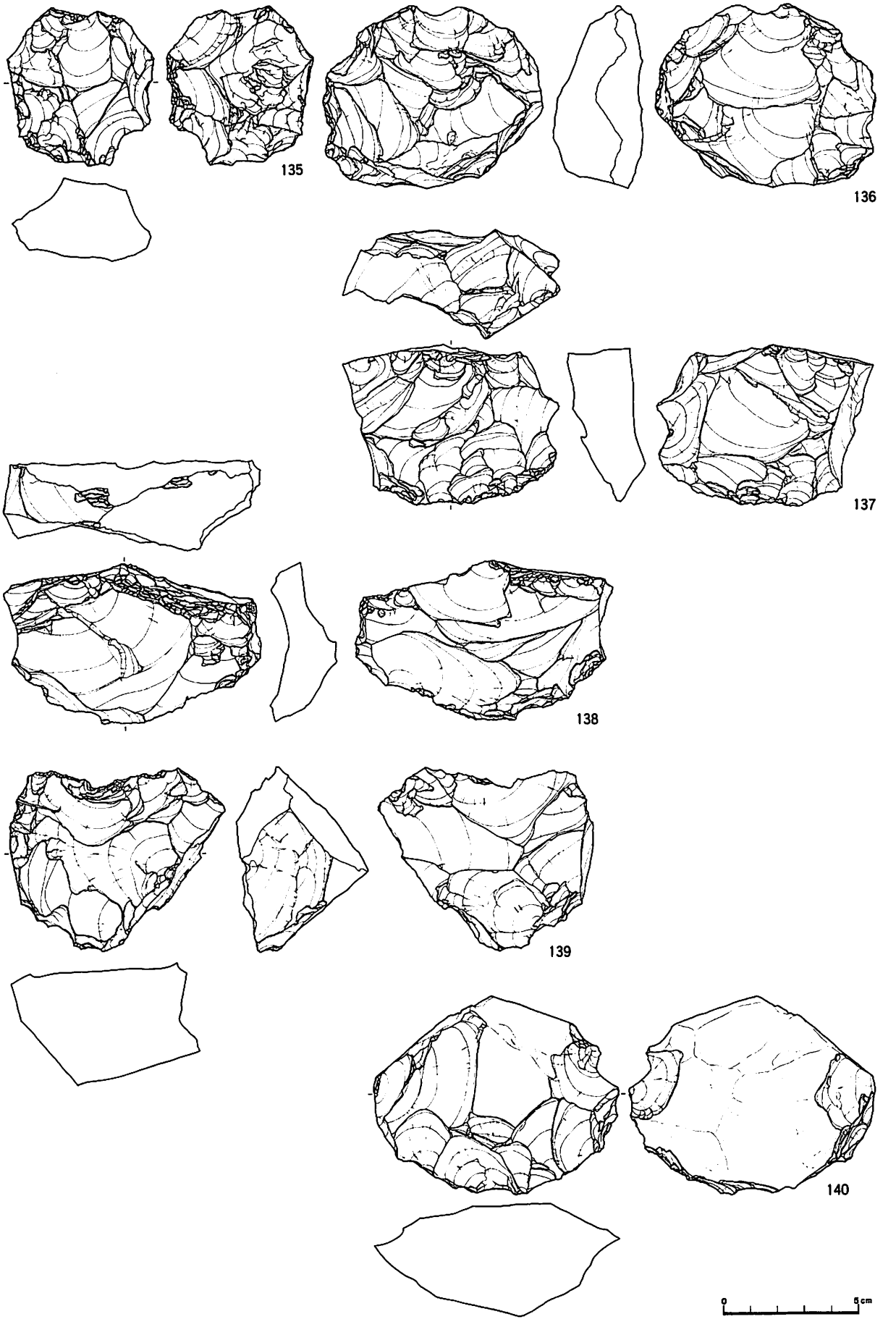
図IV－47　包含層出土のスクレイパー(2)



図IV－48　包含層出土のスクレイパー(3)



図IV－49　包含層出土のR・Uフレイク



図Ⅳ－50　包含層出土の石核

石匙（図IV－45，図版229）

280点出土した。本遺跡出土のものはすべて縦形である。72は両面に加工が施されるもので出土例は少ない。尖端部は錯交剝離による二次加工が施される。73～86は片面（半両面）加工のもので全体の74％を占める。73～81は2a類（47％）。74は両側縁部に摩耗痕が見られる。82～86は2b類（26％）である。86は半両面加工で腹面の加工は背面に先行する。87～90は3類(21％)。87の器体は小型で、楕円形状に整形された尖端部には素材打面をわずかに残す。88のつまみ部には素材打面を残す。

スクレイパー（図IV－46～48，図版230・231）

849点出土している。石材はすべて硬質頁岩である。91～110は1類で、外湾する刃部を持つものである。この形態のものは全体の67％を占める。このうち91・92・94・96～101・108は、両側縁の刃部が端部で収束している。94は背面の縁部が連続して調整されるが、腹面は部分調整で、尖端部と基部のみ加工が施される。100は錯交剝離により刃部が作出される。108は素材のバルブ付近を加工し、連続する刃部を作出している。111～120は2類で、側縁に刃部をもつもので、刃部が直線状になるもの。113～117・120は素材の両縁に刃部加工が施される。115～117の側縁はほぼ平行し、それに平行する稜を持つ。いずれも端部に浅い抉りをもち、115は微細な剝離痕が残る。116には細部調整が抉入部にも施される。112・118・119は両側縁の刃部が端部で収束する。

Rフレイク・Uフレイク（図IV－49，図版231）

1,152点出土した。黒曜石が9点含まれる。121～127はRフレイクである。122～125はいずれも素材端部にヒンジフラクチャーを起こしている。128～134はUフレイク。背面・腹面ともに顕著な調整は施されてはいない。削器に近い類と思われ、刃こぼれが見られる。

石核（図IV－50，図版232）

34点出土している。石材はすべて硬質頁岩である。剝片剝離の方法から大きく3つに分けた。135・136・139は打面転移により剝離作業が行われるもの。137・138は打面と作業面を固定するもの。140は円礫を素材とし、原石面を残す。剝離は作業面を固定して打点を移動させている。

(2)磨製石器群

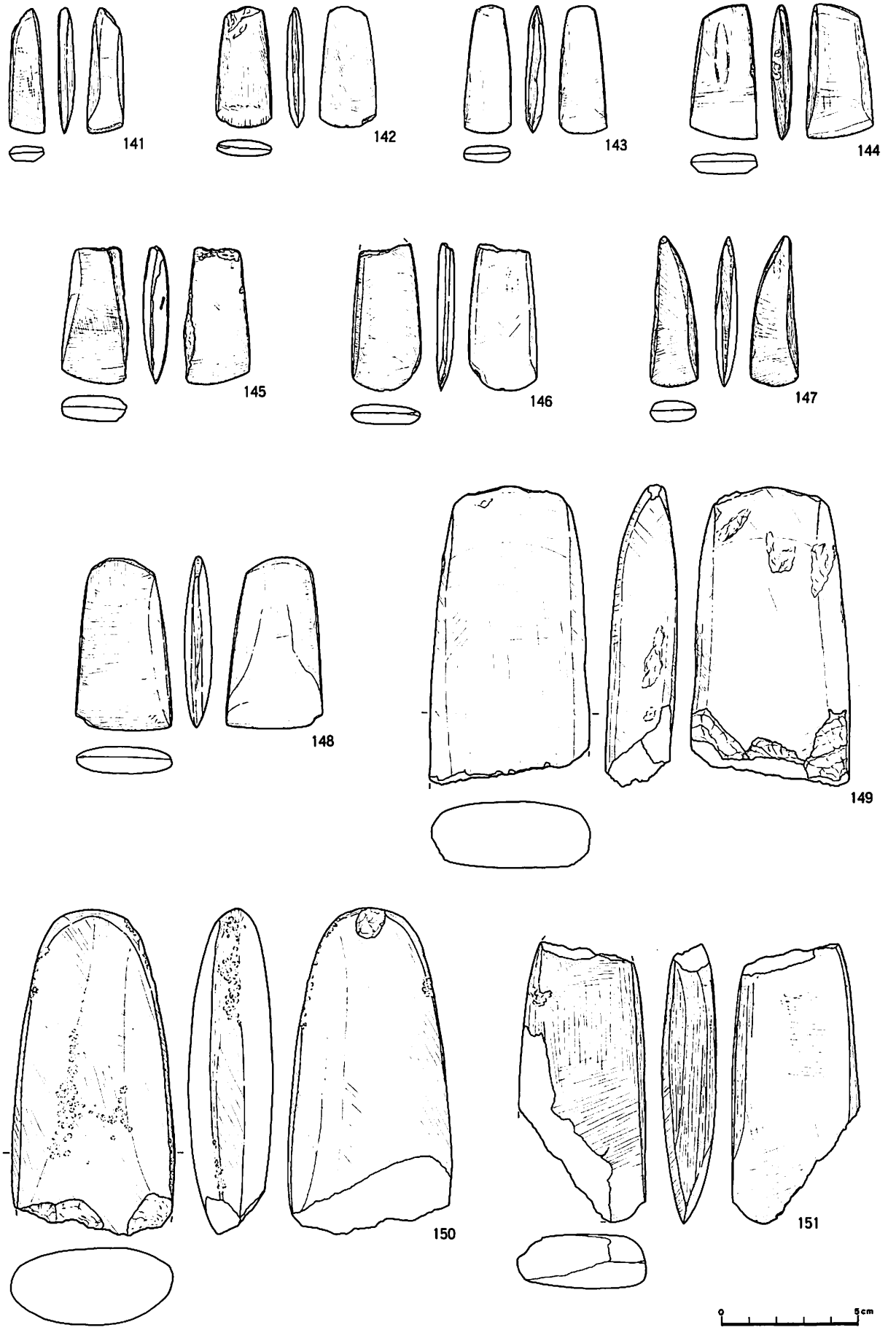
磨製石器群は90点である。磨製石斧およびその製作残片、環状石斧が出土している。石材は閃緑岩が2点ある他はすべて蛇紋岩である。なお、遺構からは緑色泥岩製のものが数点出土している。他の石器群と比較して出土数は少ない。

石斧（図IV－51，図版232）

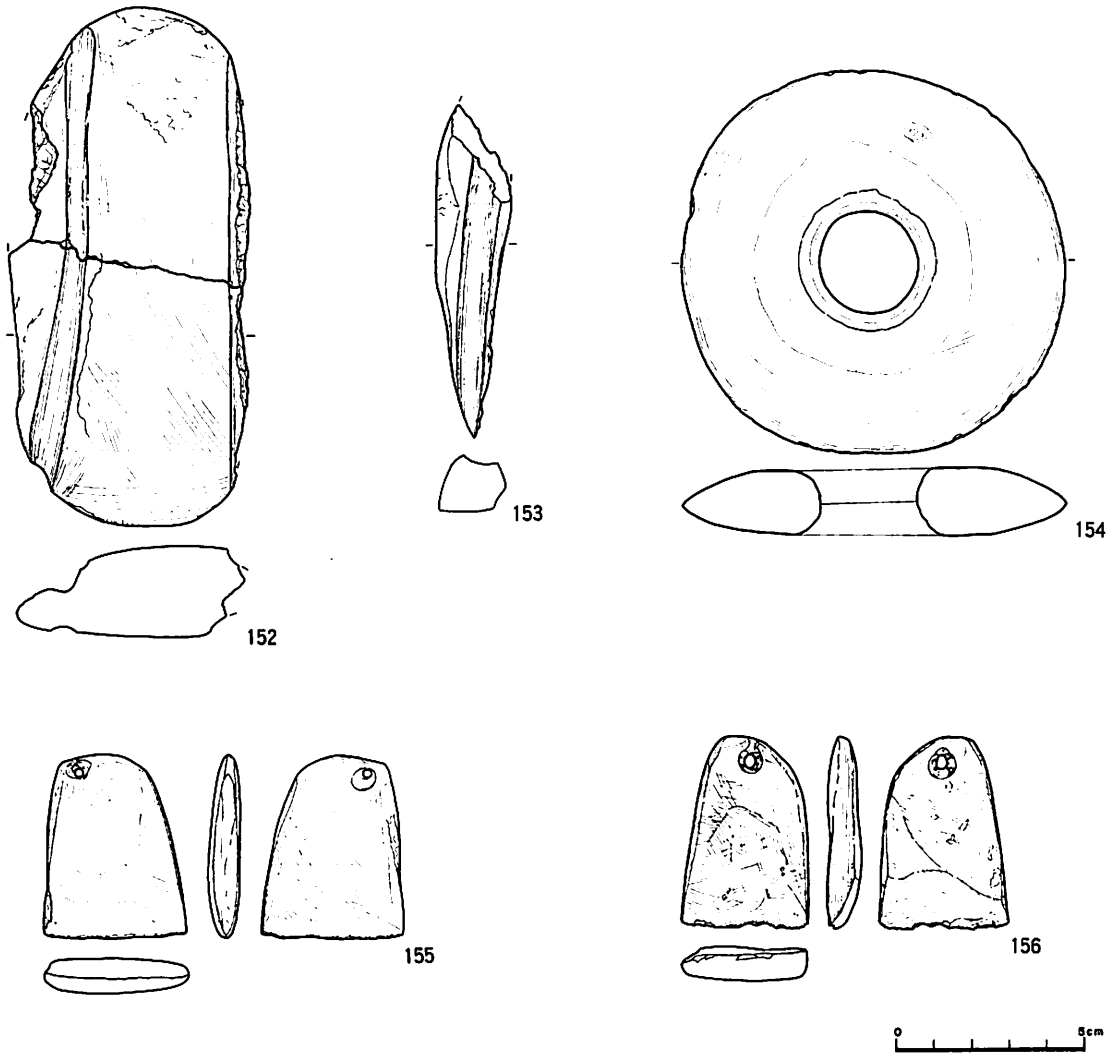
70点出土している。素材を整形する方法の違いから分類した。150を除く141～151はすべて蛇紋岩製で擦り切り技法によるもの。142・143・148・149は擦り切り折断後に丁寧な研磨が施されている。141～148は片刃で、このうち141・144・145は偏刃である。143は両端に刃部を持つ。150は閃緑岩製で全面が研磨され、敲打を加えて成形される。141・147は石のみ形である。155・156は石斧形を呈し上端部に穿孔されるもので有孔石斧と呼称した。155は上端部隅に一孔を有し、孔の一部には擦痕が見られる。片側側縁部には折れ面を残す。刃部は片刃で意図的に刃部を潰したような痕跡が残る。156は上端部中央に穿孔し、155同様に孔の一部には擦痕がある。両縁の整形痕は丁寧な研磨が施されているために擦り切り折断痕は認められない。刃部は片刃で刃こぼれしている。刃面の研ぎ出しは比較的顕著である。体部は黒ずんでいて他の部分と明らかに異なり、縦、横、斜位方向の擦痕が認められる。

擦り切り残片（図IV－52，図版232）

17点出土した。すべて蛇紋岩製である。152は両縁に擦り切り溝を残すが、片方の側面を擦り切り折



図IV－51　包含層出土の石斧

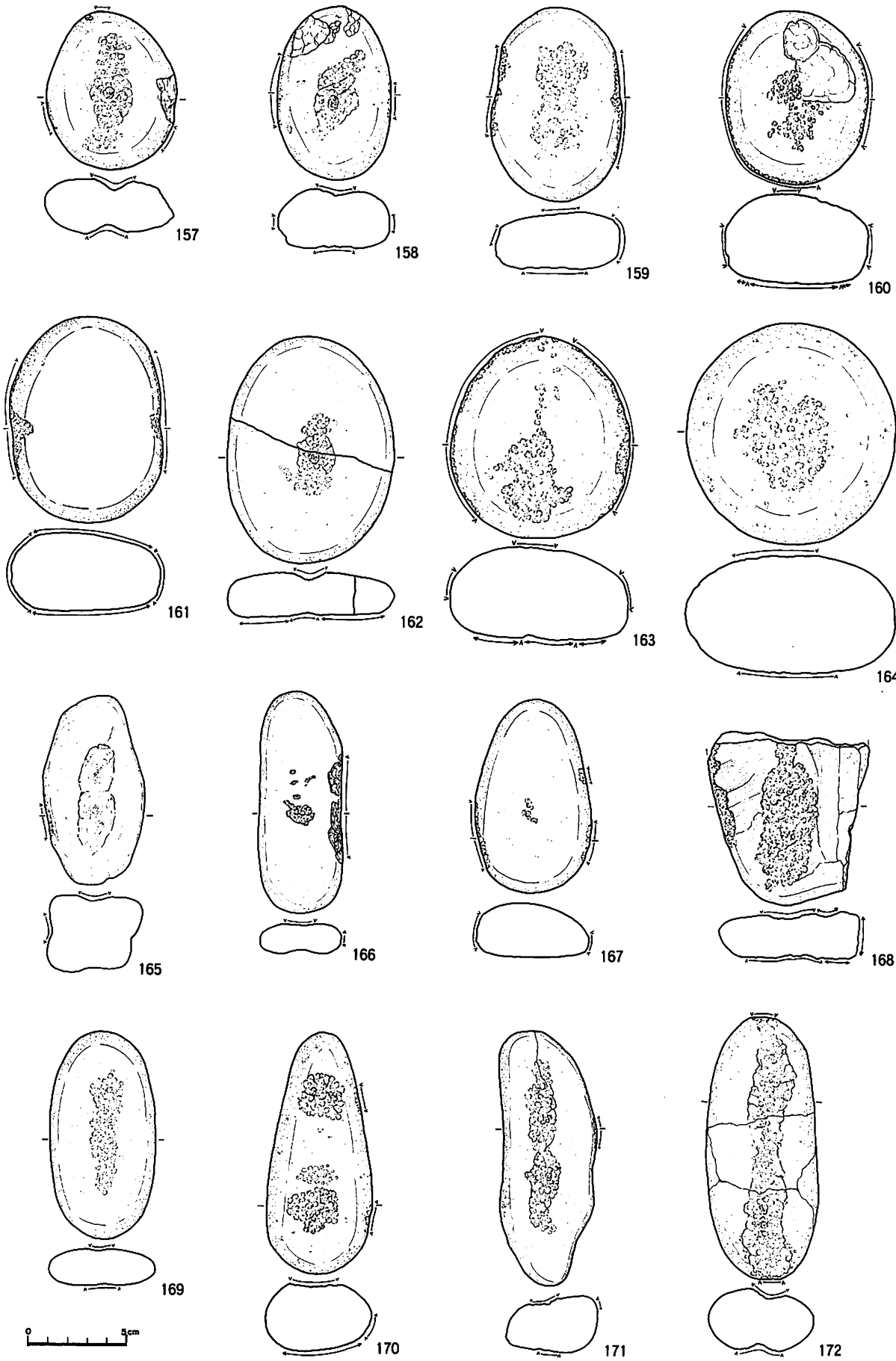


図IV－52　包含層出土の擦り切り残片と環状石斧

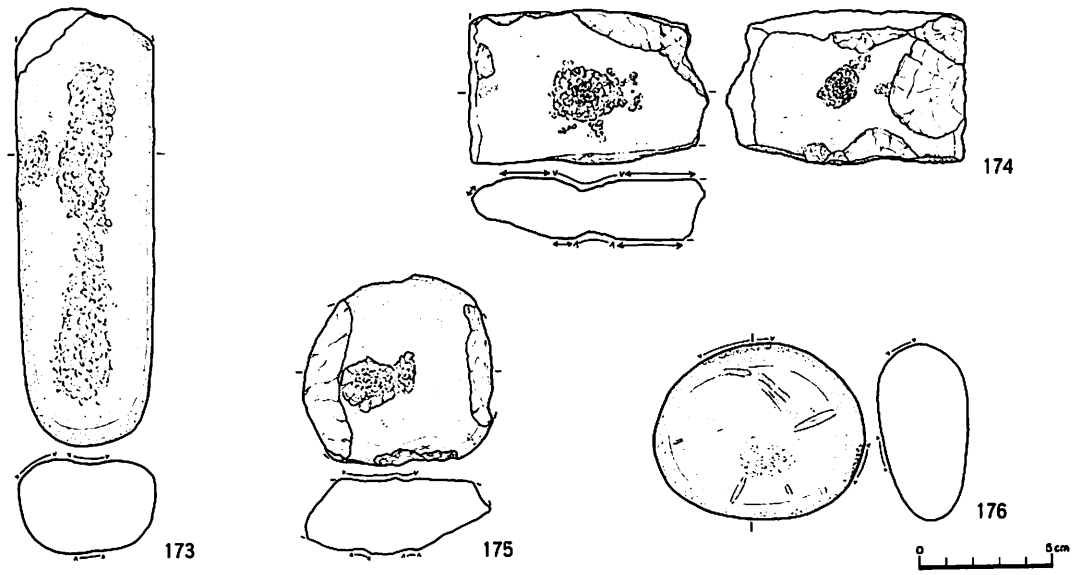
断し、もう一方を擦り切り折断する際に折れたものと思われる。153は片側の側面だけを擦り切り折断し、折れ面に研磨が加えられる。

環状石斧（図IV－52，図版232）

154は42－37区・Ⅰ層中より出土したものである。石材は閃緑岩で、長径は10.2cm、短径は10.1cmのほぼ正円形を呈する。厚さは環状の最圧部で1.8cmである。両面からあけられたと思われる貫通孔は内側で2.7cm、表裏の広い部分で約3.5cmである。環の周囲は丁寧に研磨が施され光沢痕が見られる。鋭利な刃部には刃こぼれが認められる。過年度の資料中に類似するものが未製品を含め3点出土している。



図IV－53　包含層出土のたたき石(1)



図IV－54　包含層出土のたたき石(2)

(3)礫石器群

礫石器は総数11,857点で、全体の39%を占める。たたき石・すり石・砥石・石鋸・石皿・石錘・礫等が出土している。石材は、閃緑岩・安山岩・流紋岩・凝灰岩・片岩等様々であるが、それぞれの器種によって主となる石質が異なる傾向にある。

たたき石（図IV－53・54，図版233）

544点出土している。石材は様々であるが、閃緑岩が全体の約40%を占める。素材は主に円礫を用い、腹背面に敲打痕が集中するもの（157～159・162・164・165・168・169～175）、主に側面に打撃の加わるもの（160・161・163・166・167・176）に分れる。157・158・162・174の様に一箇所に打撃が集中したために、機能部が凹み状になるものがある。168・176は砥石と機能が複合するもの。175は焼けて破損しており、全体が黒く変色する。

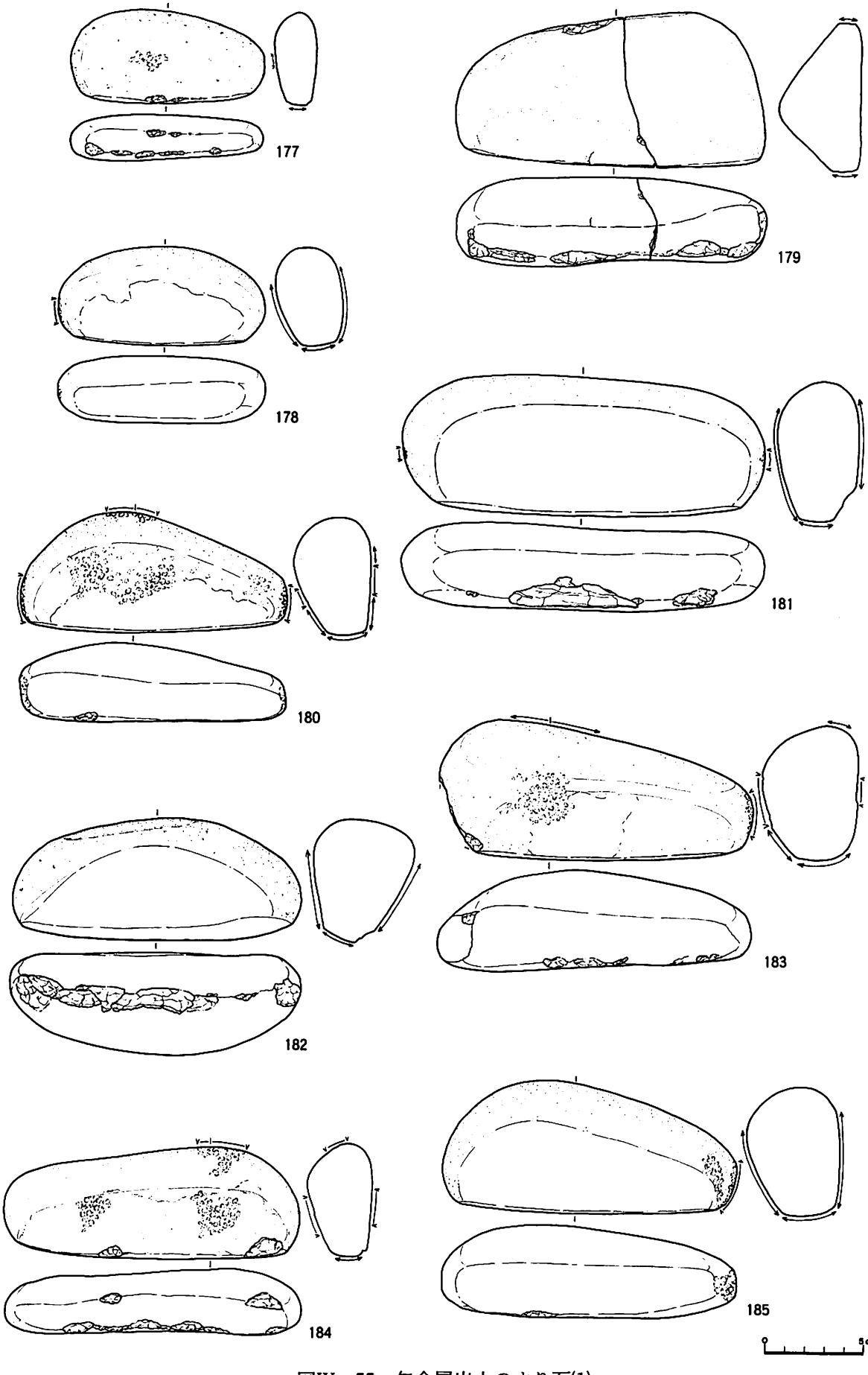
すり石（図IV－55・56，図版234・235）

638点出土した。閃緑岩が約90%を占める。177～188は断面形が三角形状で例外なく側面ないし稜部にすり面を備える。出土資料の主体である。177・178・180・181・183・184・186はたたき石と複合するもので、いずれも平坦面か端部に斑状の敲打痕を残す。189～194は2類。偏平な楕円形の素材を利用し、主面に平滑なすり面を形成する。側面には細かい敲打痕混じりのすり面を有するものも多い。190・191・193・194は平滑なすり面に敲打痕が重複する。たたき痕とすり痕の前後関係は不明瞭で判別し難い。

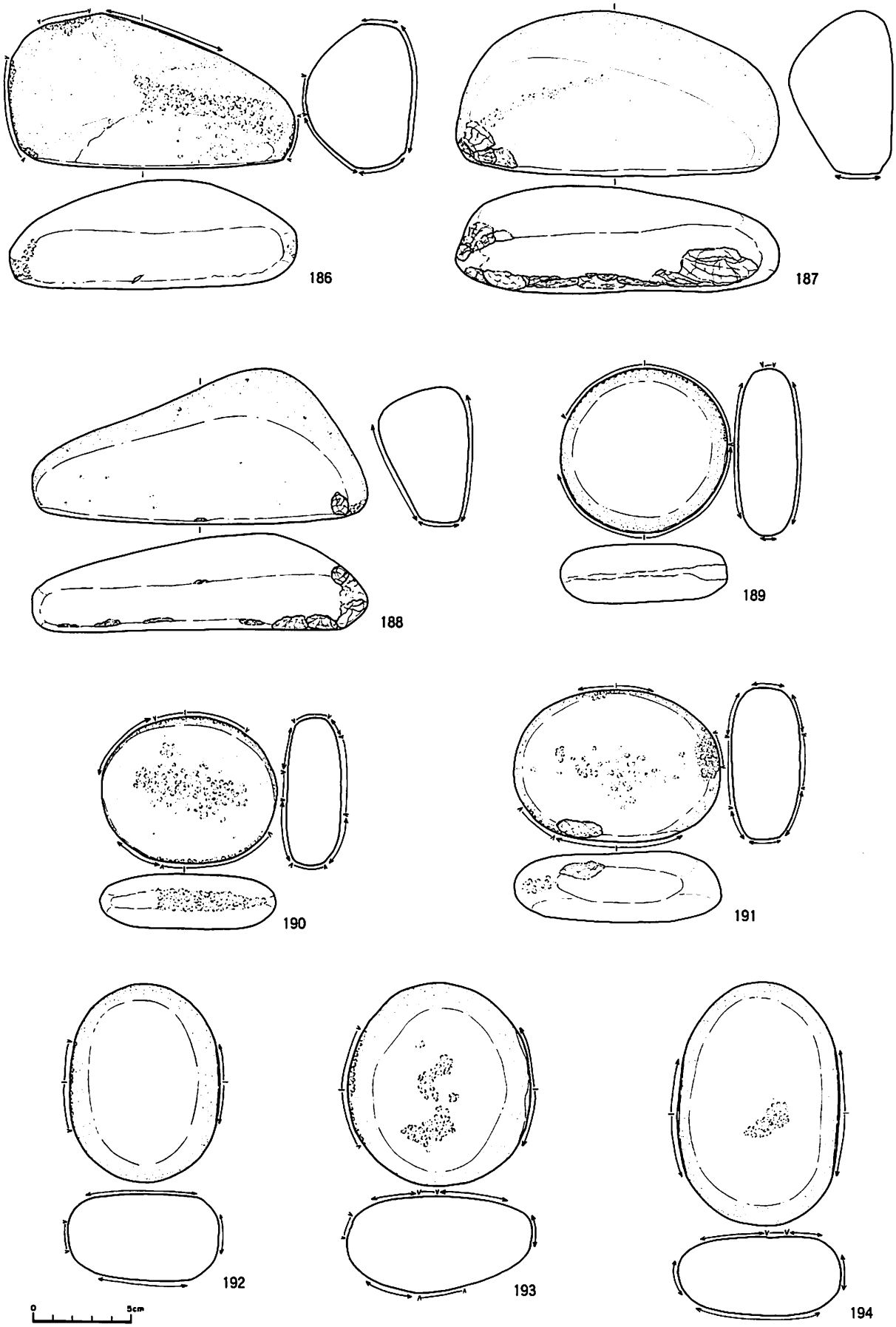
砥石（図IV－57・58，図版236）

355点出土した。形の定まらない石器の性格上、破損の認定が難しく、完形固体を基準とする記述・計測が徹底できない。ここでは機能部の相違から分類し検討した。材質は凝灰岩が主である。

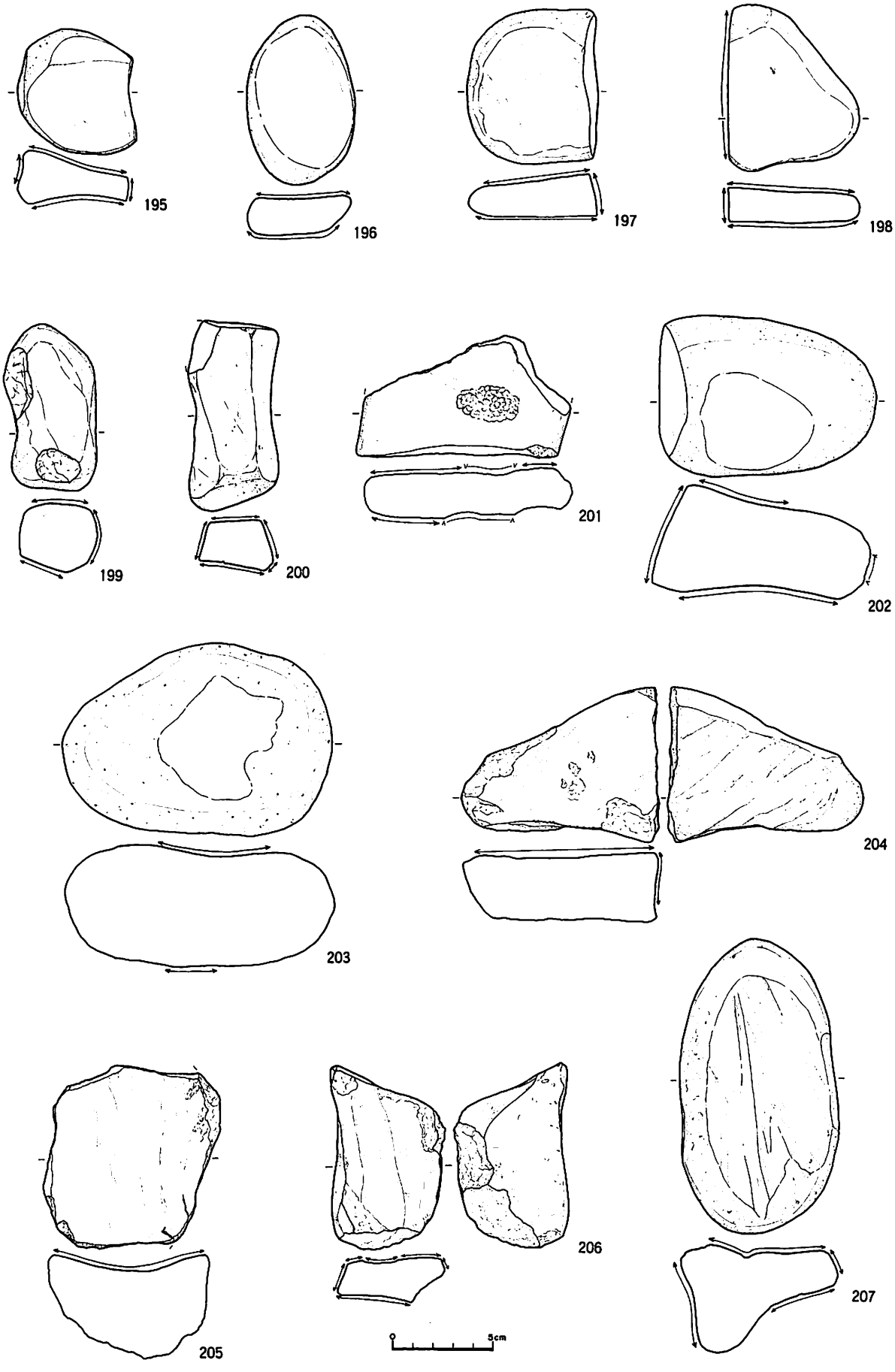
195～205は素材の主面、折断面に、平坦あるいはU字状の研磨面をもつもの。200のそれぞれの機能部には、数条の条痕が各研磨面の長軸方向とほぼ平行に残る。201は研磨面を切る敲打痕があり、たたき石と機能が複合する。206～210は2類。ともに平坦あるいはU字状のすり面に溝状のすり痕が複合する。



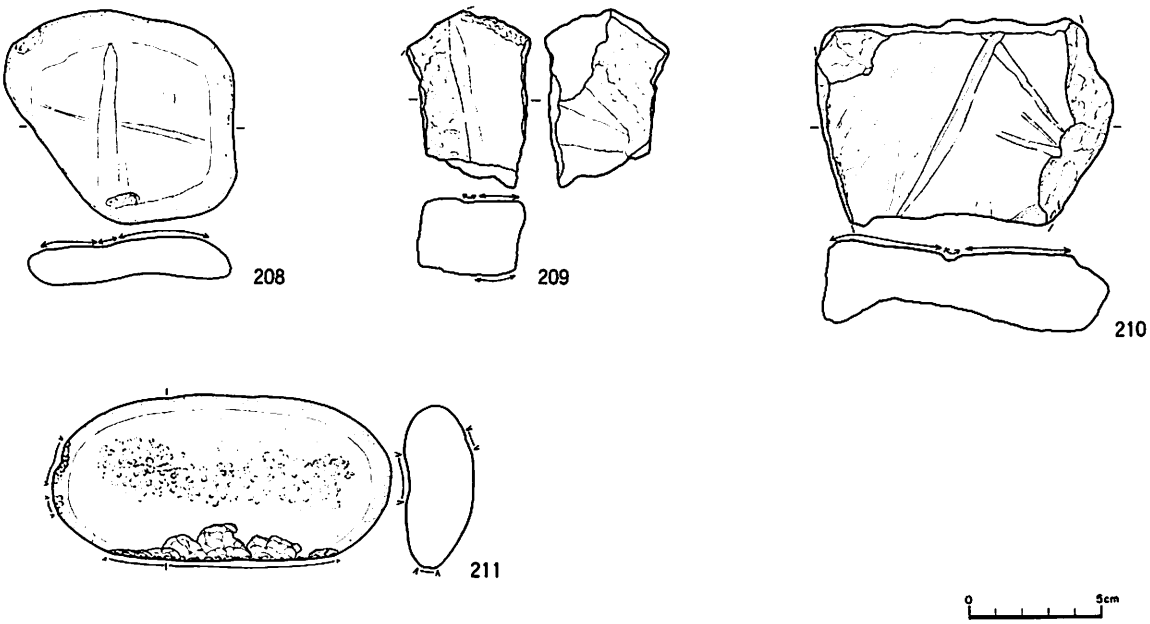
図IV－55　包含層出土のすり石(1)



図Ⅳ－56　包含層出土のすり石(2)



図Ⅳ－57　包含層出土の砥石(1)



図IV－58　包含層出土の砥石(2)と石鋸

石鋸（図IV－58）

明瞭なものは認められない。211は類似するものとして掲載した。すり石、砥石と用途が重複していると思われるものもあり、個体数および機種の確定にはいたらなかった。

石錘（図IV－59，図版237）

4,453点出土した。本遺跡出土の石器中で、出土量が最も多い器種である。過年度の資料との合計は遺構出土のものも含め、約20,000点を数える。石材は閃緑岩が主体である。主に偏平な円礫を素材とし、長軸方向に一対の抉りを持つ。この他に抉り２対のもの（224）や、短軸方向だけに抉りが施される例もある（228・229）。作出された打ち欠き部には、加工により形態を整えられるものが多い。212は包含層出土資料中、最軽量のもので8.2ｇ。これに対し最も重いものは225で、620ｇを計る。石錘の重量グラフ（図VI－13）を示した。学史を肯定したうえで、「おもり」としての用途を考えた時、重量等の数値の差異から機能あるいは用途について考察する要素になりえる。221は折れ面を打点として剝離を施す例。他の器種と複合するものは、219・222・224・226・227に認められる。

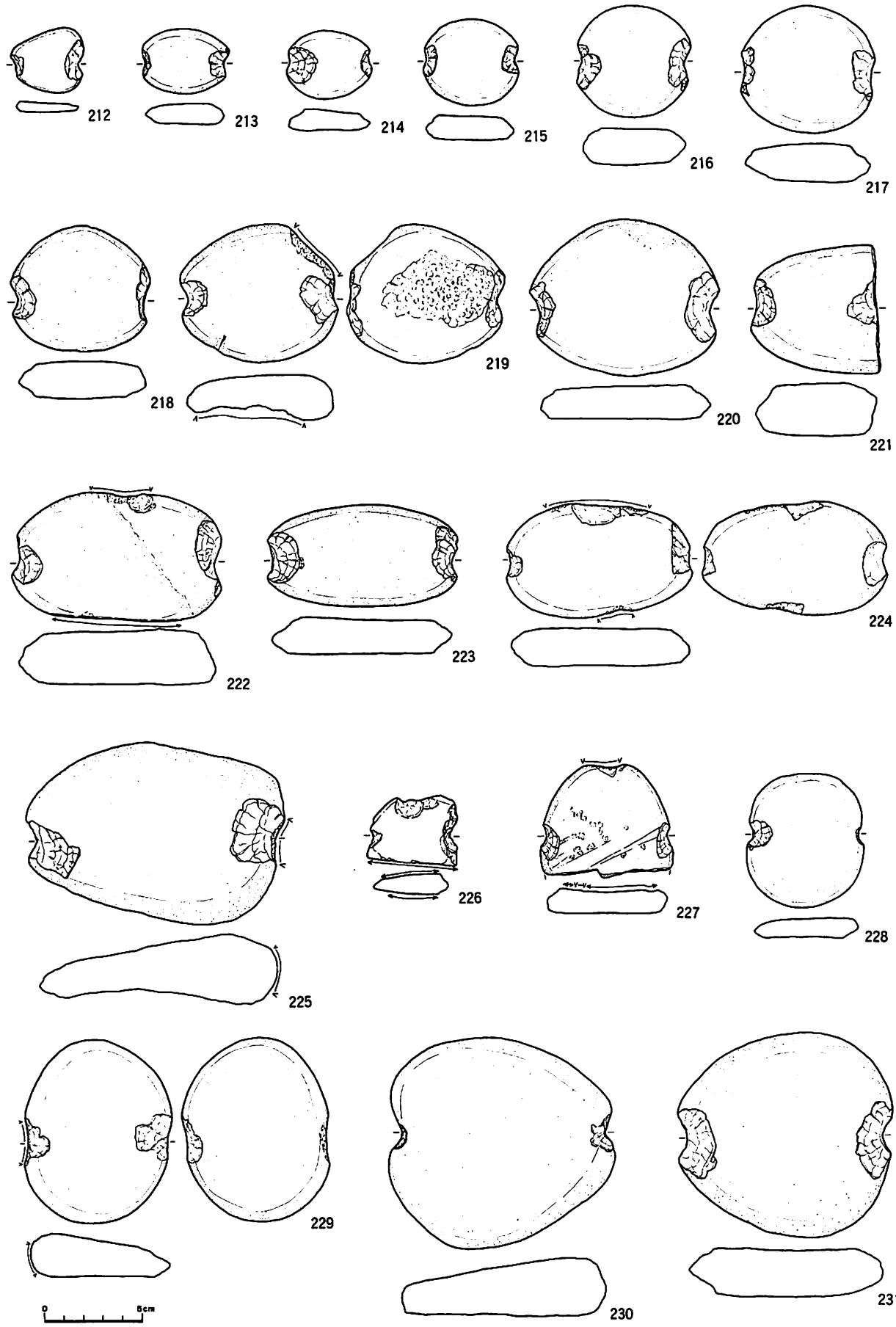
石皿・台石（図IV－60，図版238・239）

225点を認めた。いずれも破損品が多く、擦面（磨面）等をもつものは砥石との差異が特定し難いため、遺存状態の良い３点のみを掲載した。232・233は閃緑岩で、機能部は１面にとどまり、転移は見られない。234は流紋岩製。表裏面、折断面に擦り痕が残る。

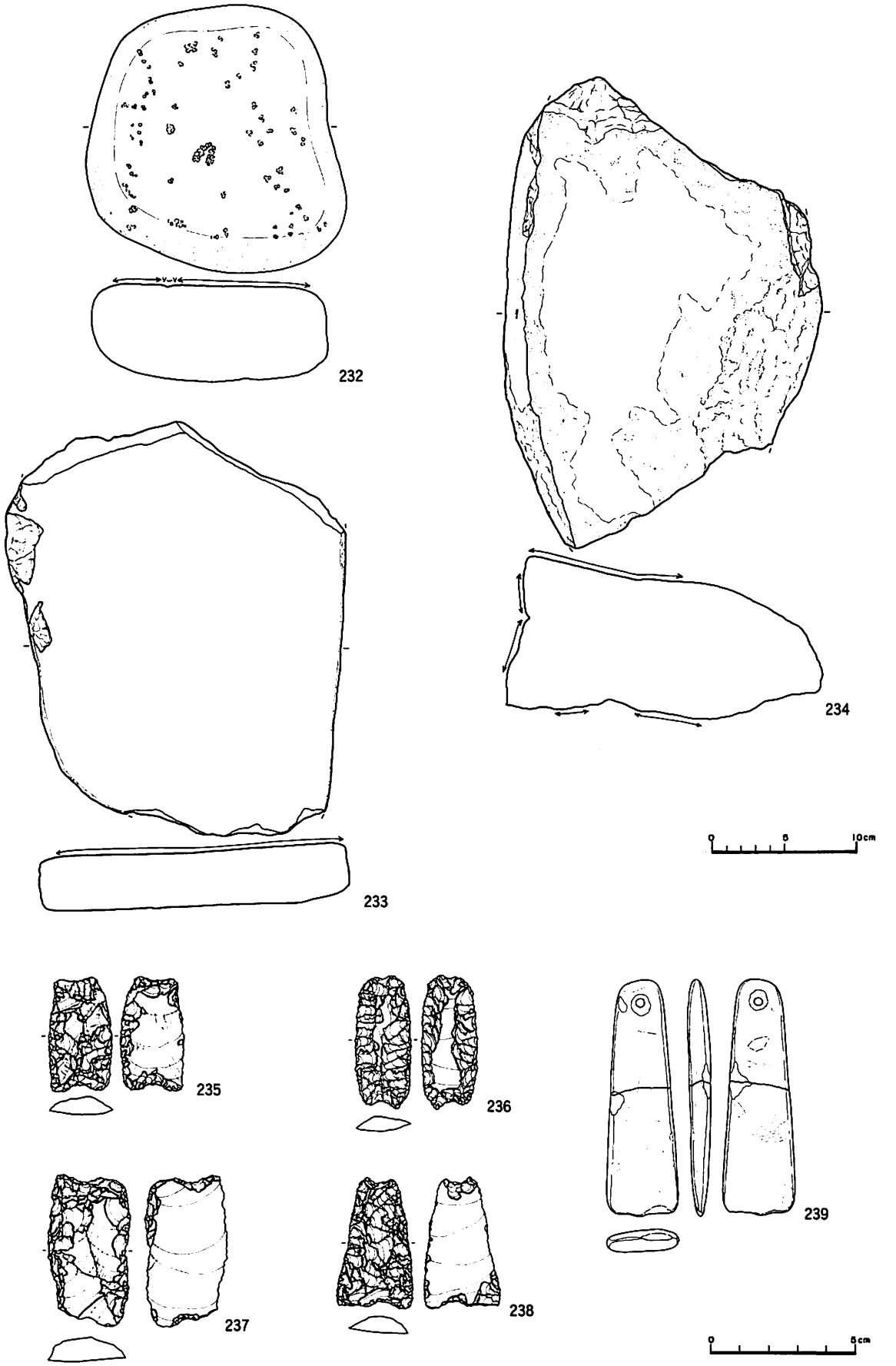
(4)石製品（図IV－60，図版239）

７点出土した。235～238は両端抉入石製品。過年度の資料中からも出土例がある。235は黒曜石製で腹面の調整は周辺加工にとどまる。他はすべて硬質頁岩製である。236はほぼ両面とも非常に丁寧な加工が施される。近隣の遺跡では、函館市住吉町遺跡、七飯町鳴川遺跡から類似するものが出土している。239はヘラ状を呈する垂飾で、Ｉ層より出土した。材質は凝灰岩である。上端中央部に一孔を穿ち、長さは8.2cm、重さ15.9ｇである。基部は半円状に作られ、下端は石斧の刃面に類似する研ぎ出しが見られるが、刃部は持たない。

（笠原　興）



図IV－59　包含層出土の石錘



図IV－60　包含層出土の石皿と石製品

V　自然科学的手法による分析結果

1　放射性炭素による年代測定結果－1

山田　治（京都産業大学理学部）

表1　放射性炭素による年代測定値一覧

機関記号－測定番号	採取地点・試料名	^{14}C年代測定値
KSU-2801	H－73　HF－1・炭化物	8,980±250B.P.
KSU-2802	H－269　壙底直上・炭化物	12,280±220B.P.

（付記）試料とした炭化物は、水洗選別作業によって抽出したものである。

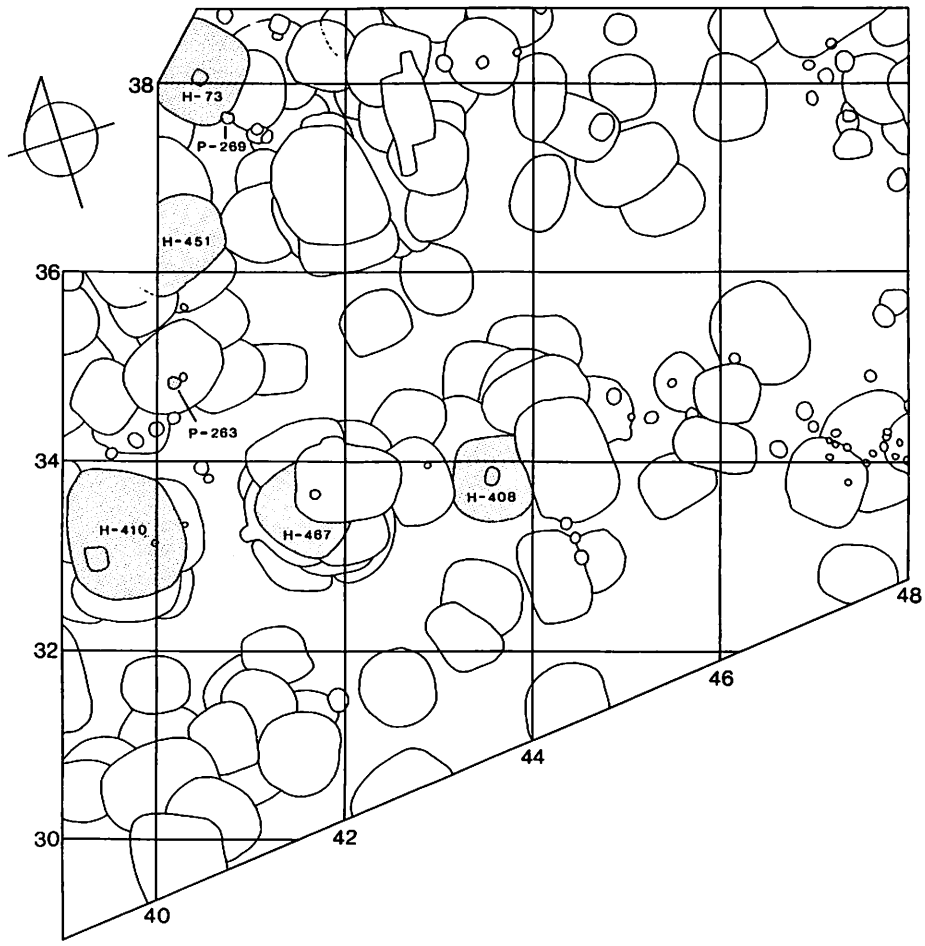


図1　放射性炭素による年代測定試料出土遺構位置図

2　放射性炭素による年代測定結果－2

(株) 地球科学研究所

報告内容の説明

14C age (yBP)　：14C年代測定値
試料の14C／12C比から、単純に現在(1950年 AD)から何年前(BP)かを計算した年代。
半減期として5568年を用いた。

補正14C age (yBP)　：補正14C年代値
試料の炭素安定同位体比（13C／12C）を測定して試料の炭素の同位体分別を知り14C／12Cの測定値に補正値を加えた上で、算出した年代。

δ13C (permil)　：試料の測定14C／12C比を補正するための13C／12C比
この安定同位体比は、下式のように標準物質(PDB)の同位体比からの千分偏差（‰）で表現する。

$$\delta 13C\ (‰) = \frac{(13C/12C)[試料] - (13C/12C)[標準]}{(13C/12C)[標準]} \times 1000$$

ここで、13C／12C [標準]＝0.0112372である。

暦年代　：過去の宇宙線強度の変動による大気中14C濃度の変動に対する補正により、暦年代を算出する。具体的には年代既知の樹木年輪の14Cの詳細な測定値により、補正曲線を作成し、暦年代を算出する。(Stuiver et al.,1993;Vogel et al.,1993.;Talma and Vogel,1993)
ただし、この補正は約10,000yBPより古い試料には適用できない。

測定方法などに関するデータ

測定方法　AMS　：加速器質量分析
LLNLなどの表記は、測定機関を示す。
LLNL(CAMS):Lawrence Livermore National Laboratory(California,U.S.A.)
OxA : Oxford University Accelerator Group(England)
Groningen : Groningen University(Netherlands)
Kiel : The University of Kiel(Germany)
Radiomatric　液体シンチレーションカウンタによるβ－線計数法
測定機関は Beta Analytic Inc.(Florida,U.S.A.)

処理・調製・その他：試料の前処理、調製などの情報
前処理　acid-alkali-acid : 酸－アルカリ－酸洗浄
acid washes : 酸洗浄
acid etch : 酸によるエッチング

調製、その他
Bulk-Low Carbon Material : 低濃度有機物処理
Bone Collagen Extraction : 骨、歯などのコラーゲン抽出
Cellulose Extraction : 木材のセルローズ抽出

Extended Counting : Radiometric による測定の際、測定時間を延長する

graphite : AMS 測定の際、最終的に試料を石墨に調製する
benzene : Radiometric による測定の際、最終的に試料をベンゼンに調製する

表1　放射性炭素年代測定分析(AMS)値一覧

geo	beta	試料名	試料種	14C age (y BP)	δ13C (permil)	補正14C age (y BP)	暦年代
4521	101797	NO.11	charred material	7930 ± 80	-25.7	7920 ± 80	交点　BC 6705
		(H－73　HF－1，炭化クルミ属堅果片)					2SIGMA　BC 7025 TO 6535 95%probability
							1SIGMA　BC 6995 TO 6610 68%probability
		測定方法　AMS Kiel		処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite		
4522	101798	NO.12	charred material	8010 ± 140	-25.8	8000 ± 140	交点　BC 6995
		(H－408　HF－1，炭化クルミ属堅果片)					2SIGMA　BC 7300 TO 6480 95%probability
							1SIGMA　BC 7050 TO 6625 68%probability
		測定方法　AMS Kiel		処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite		
4523	101799	NO.13	charred material	8140 ± 80	-27.0	8110 ± 80	交点　BC 7035
		(H－408　HF－1，炭化クルミ属堅果片)					2SIGMA　BC 7295 TO 6755 95%probability
							1SIGMA　BC 7090 TO 7010 68%probability
		測定方法　AMS Kiel		処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite		
4524	101800	NO.14	charred material	8120 ± 90	-26.1	8100 ± 90	交点　BC 7035
		(H－410　HF－2，炭化クルミ属堅果片)					2SIGMA　BC 7300 TO 6705 95%probability
							1SIGMA　BC 7090 TO 7000 68%probability
		測定方法　AMS Kiel		処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite		
4525	101801	NO.15	charred material	8040 ± 80	-27.4	8000 ± 80	交点　BC 6995
		(H－410　HF－2　覆土2，炭化材)					2SIGMA　BC 7060 TO 6610 95%probability
							1SIGMA　BC 7025 TO 6705 68%probability
		測定方法　AMS Kiel		処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite		
4526	101802	NO.16	charred material	8050 ± 80	-31.2	7950 ± 80	交点　BC 6755
		(H－451　F－1，炭化クルミ属堅果片)					2SIGMA　BC 7035 TO 6570 95%probability
							1SIGMA　BC 7010 TO 6630 68%probability
		測定方法　AMS Kiel		処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite		
4527	101803	NO.17	charred material	7910 ± 80	-27.1	7880 ± 80	交点　BC 6640
		(H－467　HP－15，炭化クルミ属堅果片)					2SIGMA　BC 7015 TO 6480 95%probability
							1SIGMA　BC 6765 TO 6580 68%probability
		測定方法　AMS Kiel		処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite		
4528	101804	NO.18	charred material	7980 ± 110	-26.8	7950 ± 110	交点　BC 6755
		(P－263，炭化クルミ属堅果片)					2SIGMA　BC 7085 TO 6485 95%probability
							1SIGMA　BC 7020 TO 6610 68%probability
		測定方法　AMS Kiel		処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite		

＊14Cの半減期は5568年を用いた。誤差は±1sigma

[付記] かっこ内は調査者が追記。試料はすべて水洗選別作業によって抽出したものである。

3　函館市中野Ｂ遺跡出土黒曜石のフィッショントラック年代

輿水　達司（立教大学原子力研究所）

1．はじめに

函館市中野Ｂ遺跡から出土した焼けた黒曜石片につきフィッショントラック年代測定を試みたので報告する。

黒曜石片試料は、Ｄ地区42－38グリッドのIII層から出土した石鏃である。この付近からは縄文時代早期中葉から末葉にかけての遺物が出土しており、本試料は形態的特徴からみても、この時期の範疇に含まれていると思われる。

なお、今回年代測定を試みた黒曜石片は黒曜石独特の光沢を失っており、遺跡内で熱の影響を被ったことが肉眼的に読み取れる。

2．フィッショントラック年代測定

フィッショントラック年代測定とは試料中に蓄積された自発フィッショントラック密度とウラン濃度との関係から試料の年代を明らかにするものである。実際には、自発フィッショントラック密度の他に誘発フィッショントラック密度、熱中性子線量についても考慮する必要がある。これらについては輿水（1981）による報告に詳述されている。

一般にフィッショントラック年代とは、火山活動などにより鉱物・ガラス等が晶出あるいは固結した時、すなわち、自発フィッショントラックが記録される状態になってから現在までの経過時間を示すものである。多くのフィッショントラック年代はこのような地質学的な意味を持つものである。しかし、熱あるいは圧力の効果によりフィッショントラックが消失した場合は、その時から新たに自発フィッショントラックの蓄積がはじまる訳である。フィッショントラックの消失の原因が例えば先史人類の与えた熱効果－遺跡における火の使用－であれば、測定された年代値は考古学的な意味を持つことになる。このような理由で遺跡から出土した焼けた黒曜石のフィッショントラック年代を測定する重要性が生じる。

Fleischer et al.（1975）に従えば、フィッショントラック年代（A）は標準ガラスについての定数が明らかにされている場合には、次式により算出される。

$$A = \zeta\ (\rho s/\rho i)\ \rho_D$$

ここで、ρs は自発核分裂飛跡密度、ρi は誘発核分裂飛跡密度、ρ_D は標準ガラス中の誘発核分裂飛跡密度、ζ は定数である。なお、熱中性子量（ϕ）は標準ガラスの定数Ｂが明らかな場合、$\rho_D = B\phi$ より導かれる。

実際には、同一の黒曜石から２箇の試料を用意し、その１つを標準ガラスとともに立教大学原子力研究所 TRIGA Mark II回転試料棚で熱中性子を照射した。その後、これら２箇の黒曜石（一方は自発核分裂飛跡密度用、他方は誘発核分裂飛跡密度用である）を樹脂に包埋し、黒曜石の内面を観察するため研磨した。ついで、48％HF を用いて、23℃で15秒間のエッチングを行い、エッチング表面のレプリカを作り、これを光学顕微鏡下で観察した。

3　結果

今回年代測定を試みた黒曜石について、7700年 B.P.の値が得られた（表１）。

文　献

FLEISCHER, R.L, PRICE, P.B. and WALKER, R.M. (1975) Nuclear Tracks in Solids; Principles and Applications. University of California Press.605p.

興水達司 (1981)　石狩低地帯に出土する黒曜石片の原産地、地球科学、35、267～273.

表1　フィッショントラック年代測定結果

sample	Ns	ρs	Ni	ρi	Nd	ϕ	Age(years B.P.)
NAK-1	63	10.8	1000	1.29×10^{4}	2000	1.52×10^{15}	7700±1000

Ns：自発フィッション・トラック観測数 (tracks)、ρs 自発フィッション・トラック密度 (tracks cm^{-2})、
Ni：誘発フィッション・トラック観測数 (tracks)、ρi 誘発フィッション・トラック密度 (tracks cm^{-2})、
Nd：標準ガラス中の誘発フィッション・トラック観測数 (tracks)、ϕ：熱中性子線量 (neutrons cm^{-2})、

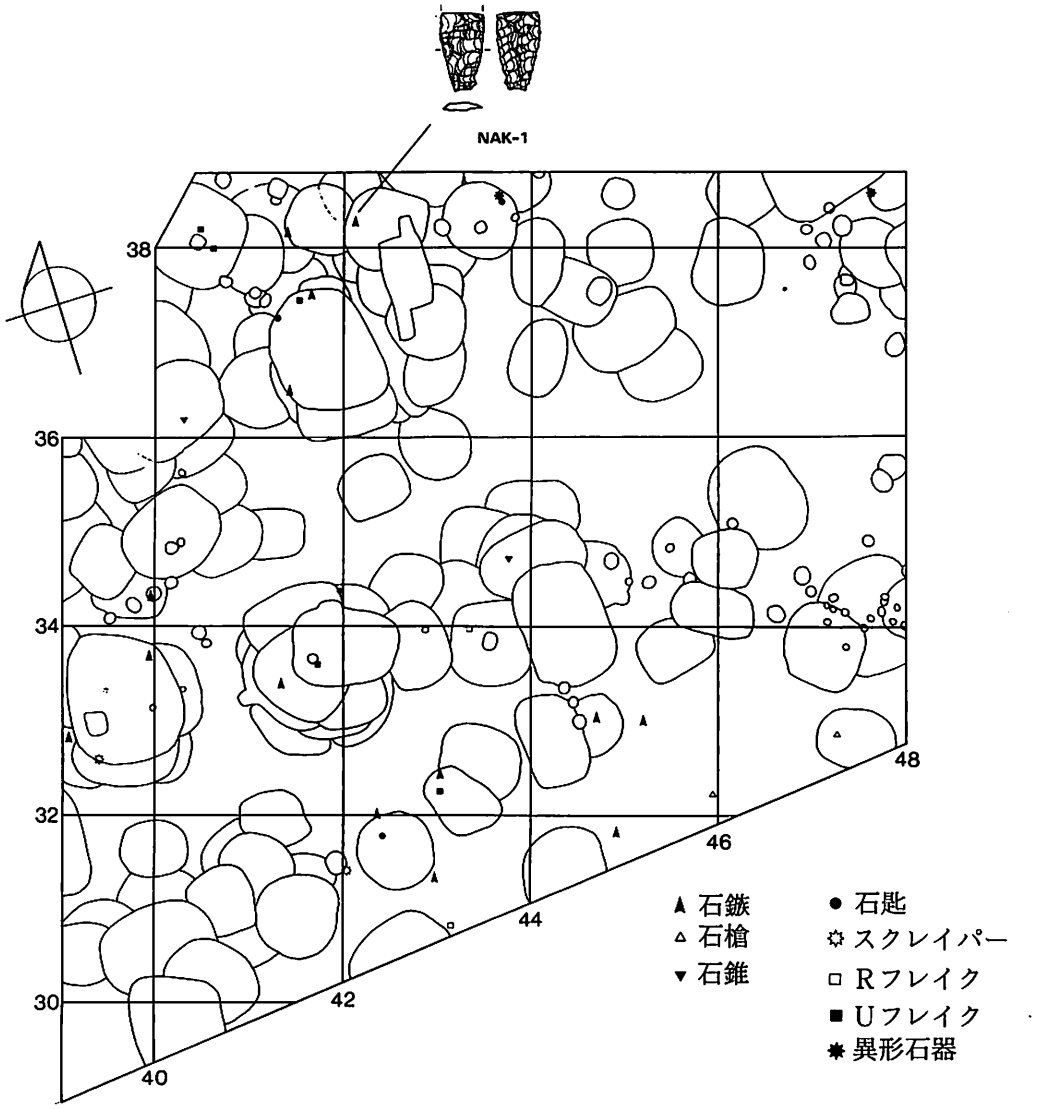


図1　黒曜石製遺物出土分布図(1)

4　函館市中野Ｂ遺跡出土黒曜石製遺物の原材産地分析

藁科　哲男、東村　武信（京都大学原子炉実験所）

はじめに

石器石材の産地を自然科学的な手法を用いて、客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圏を探ると言う目的で、蛍光Ｘ線分析法によりサヌカイトおよび黒曜石遺物の石材産地測定を行なっている[1,2,3,]。

黒曜石、サヌカイトなどの主成分組成は、原産地ごとに大きな差はみられないが、不純物として含有される微量成分組成には異同があると考えられるため、微量成分を中心に元素分析を行ない、これを産地を特定する指標とした。分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと遺物のそれを対比して産地を測定する。この際多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。

蛍光Ｘ線分析法は試料を破壊せずに分析することができて、かつ、試料調整が単純、測定の操作も簡単である。石器のような古代人の日用品で多数の試料を分析しなければ遺跡の正しい性格が分からないという場合にはことさら有利な分析法である。今回分析を行なった試料は、函館市中野Ｂ遺跡の縄文時代早期の32個の黒曜石製遺物の産地分析の結果が得られたので報告する。

黒曜石原石の分析

黒曜石原石の風化面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置によって元素分析を行なう。主に分析した元素はK、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zr、Nbの各元素である。塊試料の形状差による分析値への影響を打ち消すために元素量の比を取り、それでもって産地を特定する指標とした。黒曜石は、Ca/K、Ti/K、Mn/Zr、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zr、Nb/Zr の比重をそれぞれ用いる。

黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州の各地に黒曜石の原産地は分布する。調査を終えた原産地を図３に示す。黒曜石原産地のほとんどすべてがつくされている。元素組成の上から、これら原石を分類すると表１に示すように99個の原石群に分かれる。

ここでは北海道地域および一部の東北地域の産地について記述すると、白滝地域の原産地は、北海道紋別郡白滝村に位置し、鹿砦北方２㎞の採石場の露頭、鹿砦東方約２㎞の幌加沢地点、また白土沢などより転礫として黒曜石が採取できる。この露頭からの黒曜石原石は白滝第一群にまとまり、白土沢の転礫は白滝第二群にまとまる。幌加沢よりの転礫の中で、70％は幌加沢群にまとまるが、この群は白滝第二群と一致し、元素組成から両群を区別できない。さらに、幌加沢産原石の30％は白滝第一群に一致する。置戸産原石は、北海道常呂郡置戸町の清水の沢林道より採取され、この原石の元素組成は置戸群にまとまる。この原産地は、常呂川に通じる流域にあり、この常呂川流域で黒曜石の円礫が採取されるが現在まだ調査していない。十勝三股産原石は、北海道河東郡上士幌町の十勝三股の十三ノ沢の谷筋および沢の中より原石が採取され、この原石の元素組成は十勝三股群にまとまる。この十勝三股産原石は十三ノ沢から音更川さらに十勝川に流れた可能性があり、十勝川から採取される黒曜石円礫の組成は、十勝三股産の原石の組成と相互に近似している。また、上士幌町のサンケオルベ

川より採取される黒曜石円礫の組成も十勝三股産原石の組成と相互に近似している。これら組成の近似した原石の原産地は区別できず、遺物石材の産地分析でたとえ、この遺物の原石産地が十勝三股群に同定されたとしても、これら十勝三股、音更川、十勝川、サンケオルペ川の複数の地点を考えなければならない。しかし、この複数の産地をまとめて、十勝地域としても、古代の地域間の交流を考察する場合、問題はないと考えられる。また、清水町、新得町、鹿追町にかけて広がる美蔓台地から産出する黒曜石から2個の美蔓原石群が作られた。この原石は産地近傍の遺跡で使用されている。名寄市の智南地域、智恵文川および忠烈布貯水池から上名寄にかけて黒曜石の円礫が採集される。これらを組成で分類すると88%は名寄第一群に、また12%は名寄第二群にそれぞれなる。旭川市の近文台、嵐山遺跡付近及び雨文台北部などから採集される黒曜石の円礫は、20%が近文台第一群、69%が近文台第二群、11%が近文台第三群にそれぞれ分類された。また、滝川市江部乙で採集される親指大の黒曜石の礫は、組成で分類すると約79%が滝川群にまとまり、21%が近文台第二、三群に組成が一致する。滝川群に一致する組成の原石は、北竜町恵袋別川培本社からも採取される。秩父別町の雨竜川に開析された平野を見下ろす丘陵中腹の緩斜面から小円礫の黒曜石原石が採取される。産出状況とか礫状は滝川産黒曜石と同じで、秩父別第一群は滝川第一群に組成が一致し、第二群も滝川第二群に一致しさらに近文台第二群にも一致する。赤井川産原石は、北海道余市郡赤井川村の土木沢上流域およびこの付近の山腹より採取できる。ここの原石には、少球果の列が何層にも重なり石器の原材として良質とはいえないものが多く、稀に球果の見られない、またあっても非常に少ない握り拳半分大の良質な原石が少数みられた。これら原石の元素組成は赤井川群にまとまる。豊泉産原石は豊浦町から産出し使用圏は道南地方に広がり、一部は青森県に伝播している。出来島群は青森県西津軽郡木造町七里長浜の海岸部より採取された円礫の原石で作られた群で、この出来島群と相互に似た組成の原石は、岩木山の西側を流れ鯵ヶ沢地区に流入する中村川の上流で1点採取され、また、青森市の鶴ヶ坂および西津軽郡森田村鶴ばみ地区より採取されている。深浦群は青森県西津軽郡深浦町の海岸とか同町の六角沢およびこの沢筋に位置する露頭より採取された原石で作られた群である。深浦群と相互に似た群は青森市戸門地区より産出する黒曜石で作られた戸門第二群である。戸門第一群は赤井川産原石と弁別は可能であるが両産地の原石の組成は比較的似ている。戸門産黒曜石の産出量は非常に少なく、また大きさも石鏃が作れる程度である。

結果と考察

遺跡から出土した石器、石片は風化しているが、黒曜石製のものは風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。産地分析で水和層の影響は、軽い元素の分析ほど大きいと考えられるが、影響はほとんど見られない。Ca/K、Ti/Kの両軽元素比重を除いて産地分析を行なった場合、また除かずに産地分析を行った場合同定される原産地に差はない。他の元素比量についても風化の影響を完全に否定することができないので、得られた確率の数値にはやや不確実さを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。

今回分析した中野B遺跡の黒曜石製石器の分析結果を表2に示した。

石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて原石群との比較をする。説明を簡単にするためRb/Zrの一変量だけを考えると、表2の試料番号45008番の遺物ではRb/Zrの値は0.481で、豊泉の［平均値］±［標準偏差値］は、0.438±0.027である。遺物と原石群の差を標準偏差値（σ）を基準にして考えると遺物は原石群から1.5σ離れている。ところで豊泉原産地から100ヶ

の原石を採ってきて分析すると、平均値から±1.5σのずれより大きいものが13個ある。すなわち、この遺物が、豊泉群の原石から作られていたと仮定しても、1.5σ以上離れる確率は13%であると言える。だから、豊泉群の平均値から1.5σしか離れていないときには、この遺物が豊泉群の原石から作られたものでないとは、到底言い切れない。ところがこの遺物を赤井川群に比較すると、赤井川群の平均値からの隔たりは、約9 σである。これを確率の言葉で表現すると、赤井川群の原石を採ってきて分析したとき、平均値から9 σ以上離れている確率は、十億分の一であると言える。このように、十億個に一個しかないような原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、赤井川群の原石から作られたものではないと断定できる。これらのことを簡単にまとめて言うと、「この遺物は豊泉群に13%、赤井川群に千万分の一%の確率でそれぞれ帰属される」。各遺跡の遺物について、この判断を表1のすべての原石群について行ない、低い確率で帰属された原石群を消していくと残るのは、豊泉群だけとなり、豊泉産地の石材が使用されていると判定される。実際はRb/Zrといった唯1ヶの変量だけでなく、前述した5ヶの変量で取り扱うので変量間の相関を考慮しなければならない。例えばA原産地のA群で、Ca元素とRb元素との間に相関があり、Caの量を計ればRbの量は分析しなくても分かるようなときは、A群の石材で作られた遺物であれば、A群と比較したとき、Ca量が一致すれば当然Rb量も一致するはずである。したがって、もしRb量だけが少しずれている場合には、この試料はA群に属していないと言わなければならない。このことを数量的に導き出せるようにしたのが相関を考慮した多変量統計の手法であるマハラノビスの距離を求めて行なうホテリングのT²検定である。これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて産地を同定する[4,5]。中野B遺跡より出土した黒曜石製遺物の産地推定の結果を表3に示す。原産地は確率の高い産地のものだけを選んで記した。原石群を作った原石試料は直径3cm以上であるが、多数の試料を処理するために、小さな遺物試料の分析に多くの時間をかけられない事情があり、短時間で測定を打ち切る。このため、得られた遺物の測定値には、大きな誤差範囲が含まれ、ときには、原石群の元素組成のバラツキの範囲を越えて大きくなる。したがって、小さな遺物の産地推定を行なったときに、判定の信頼限界としている0.1%に達しない確率を示す場合が比較的多くみられる。この場合には、原石産地(確率)の欄の確率値に替えて、マハラノビスの距離D²の値を記した。この遺物については、記入されたD²の値が原石群の中で最も小さなD²値で、この値が小さい程、遺物の元素組成はその原石群の組成と似ていると言えるため、推定確率は低いが、そこの原石産地と考えてほぼ間違いないと判断されたものである。赤井川および十勝産原石を使用した遺物の判定は複雑である。これは青森市戸門地区より産出する黒曜石の組成は、青森県の深浦群に似る戸門第二群と北海道の赤井川および十勝三股群に似る組成の戸門第一群で構成されているために、統計処理により同定される原石群が戸門原産地と赤井川または十勝産地、またはこれら3ヶ所の原産地に同時に同定される場合がしばしば見られる。戸門産地の原石が使用されたか否かは、一遺跡で多数の遺物を分析し戸門第一群と第二群に同定される頻度を求め、これを戸門産地における第一群（50%）と第二群（50%）の産出頻度と比較し戸門産地の原石である可能性を推定する。今回分析した遺物のなかに全く戸門第二群に帰属される遺物が見られないことから戸門産地からの原石は使用されなかったと推測できる。しかし、赤井川産原石と十勝産原石を使用した遺物の産地分析では、帰属確率の差が十分の一～百分の一がほとんどで、遺物の中には、赤井川群と十勝三股群の帰属確率の差がほとんどない遺物があり原石産地の特定に苦慮するときがあり、この場合は、客観的な産地分析法により赤井川産または十勝産と限定したうえで、肉眼観察により遺物と似た原石が赤井川産地もしくは十勝産地のいずれに多いかを考慮して原石産地を判定した遺物も一部ある。

分析した中野Ｂ遺跡の黒曜石製遺物の中で各原産地別の使用頻度を見ると赤井川産が72％（23個）で最も多く、次に豊泉産で22％（７個）、白滝産は６％（２個）であった。産地分析の結果で使用頻度の高い原石産地とより交流、交易が強かったと考えると、本遺跡では赤井川産地との交流が深く、また豊泉産地は赤井川産地の約三分の一の関係で、道南のみで94％を占め、道北の白滝産地との交流も６％であるが持たれていたと推測しても産地分析の結果と矛盾しない。

参考文献

1）　藁科哲男・東村武信（1975），蛍光Ｘ線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定（II）。考古学と自然科学，8：61-69

2）　藁科哲男・東村武信・鎌木義昌（1977），(1978)，蛍光Ｘ線分析法によるサヌカイト石器の原産地測定（III)。(IV)。考古学と自然科学，10，11：53-81：33-47

3）　藁科哲男・東村武信（1983），石器原材の産地分析。考古学と自然科学，16：59-89

4）　東村武信（1976），産地推定における統計的手法。考古学と自然科学，９：77-90

5）　東村武信（1990），考古学と物理化学。学生社

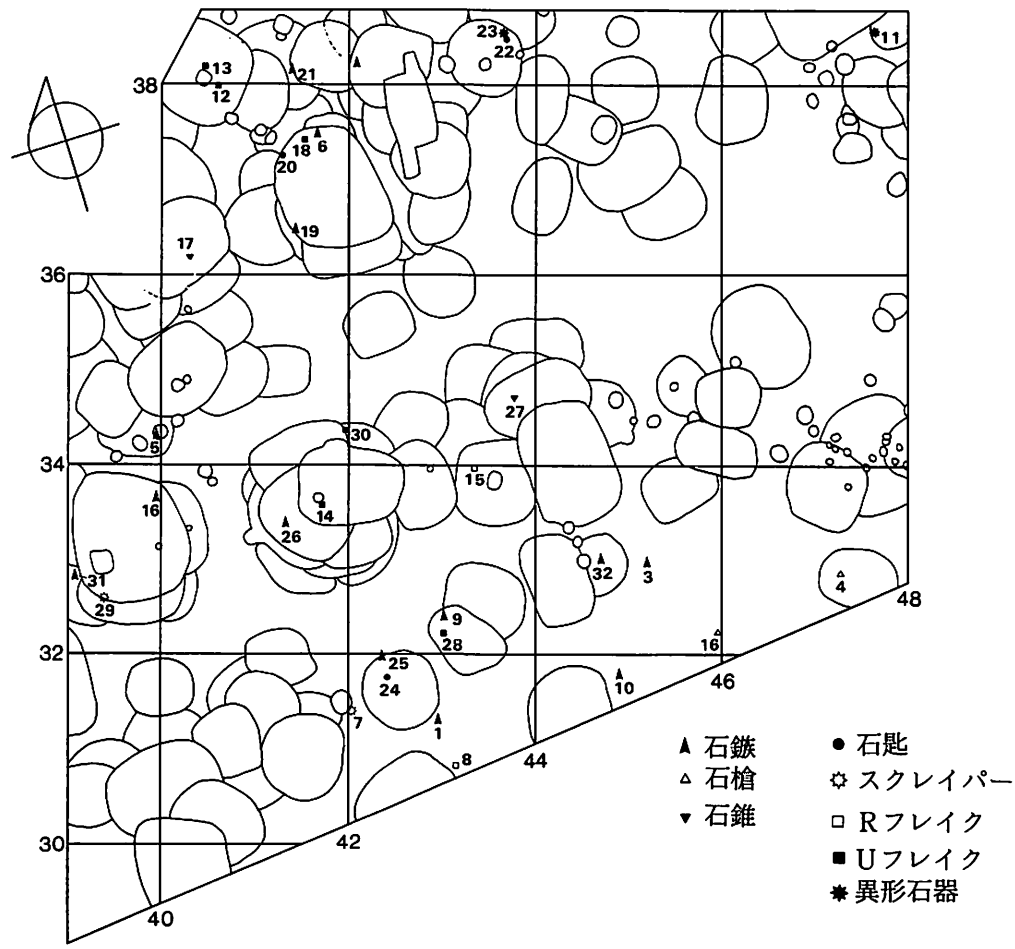


図１　黒曜石製遺物出土分布図(2)

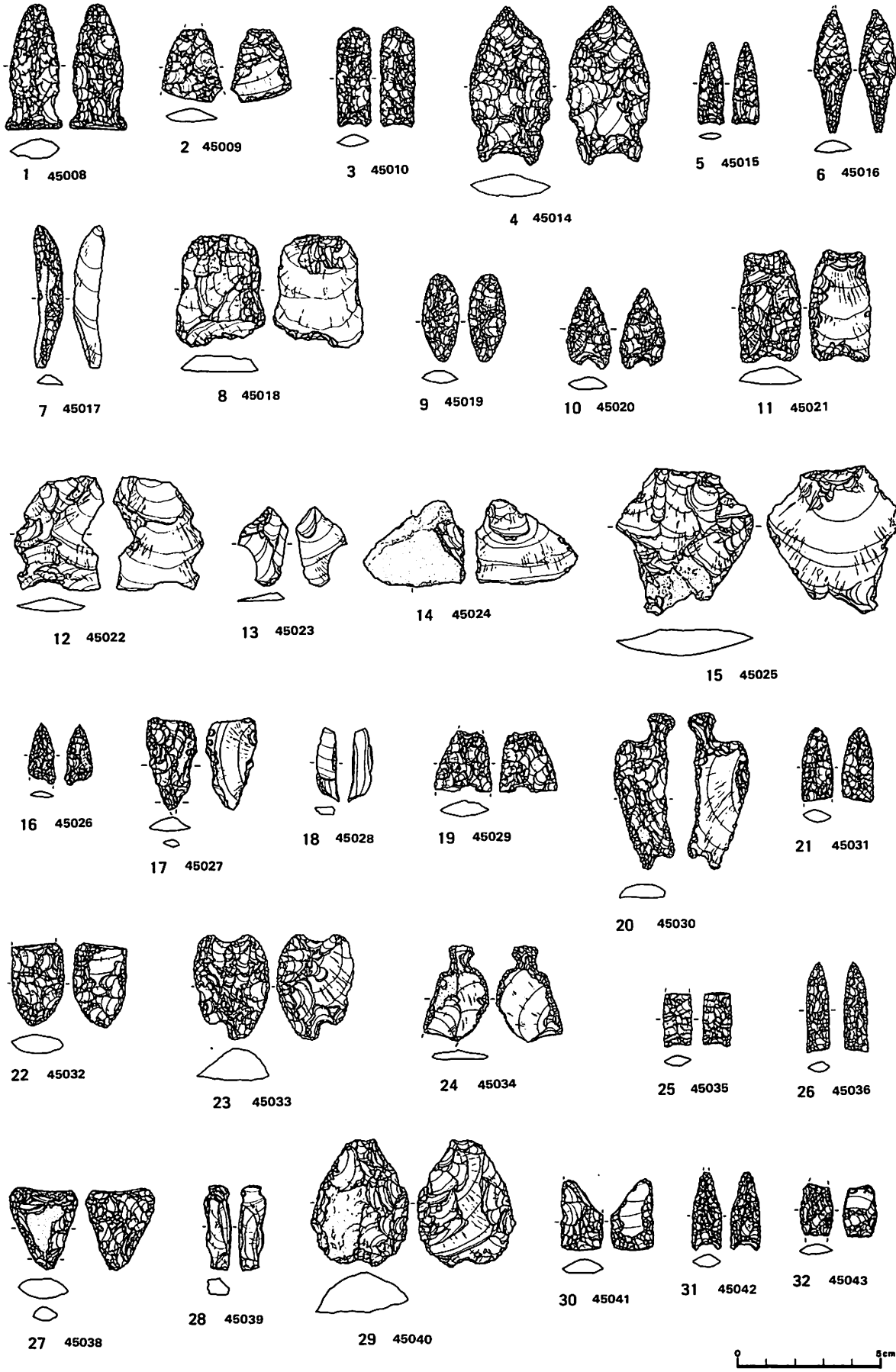


図２　黒曜石原材産地分析試料

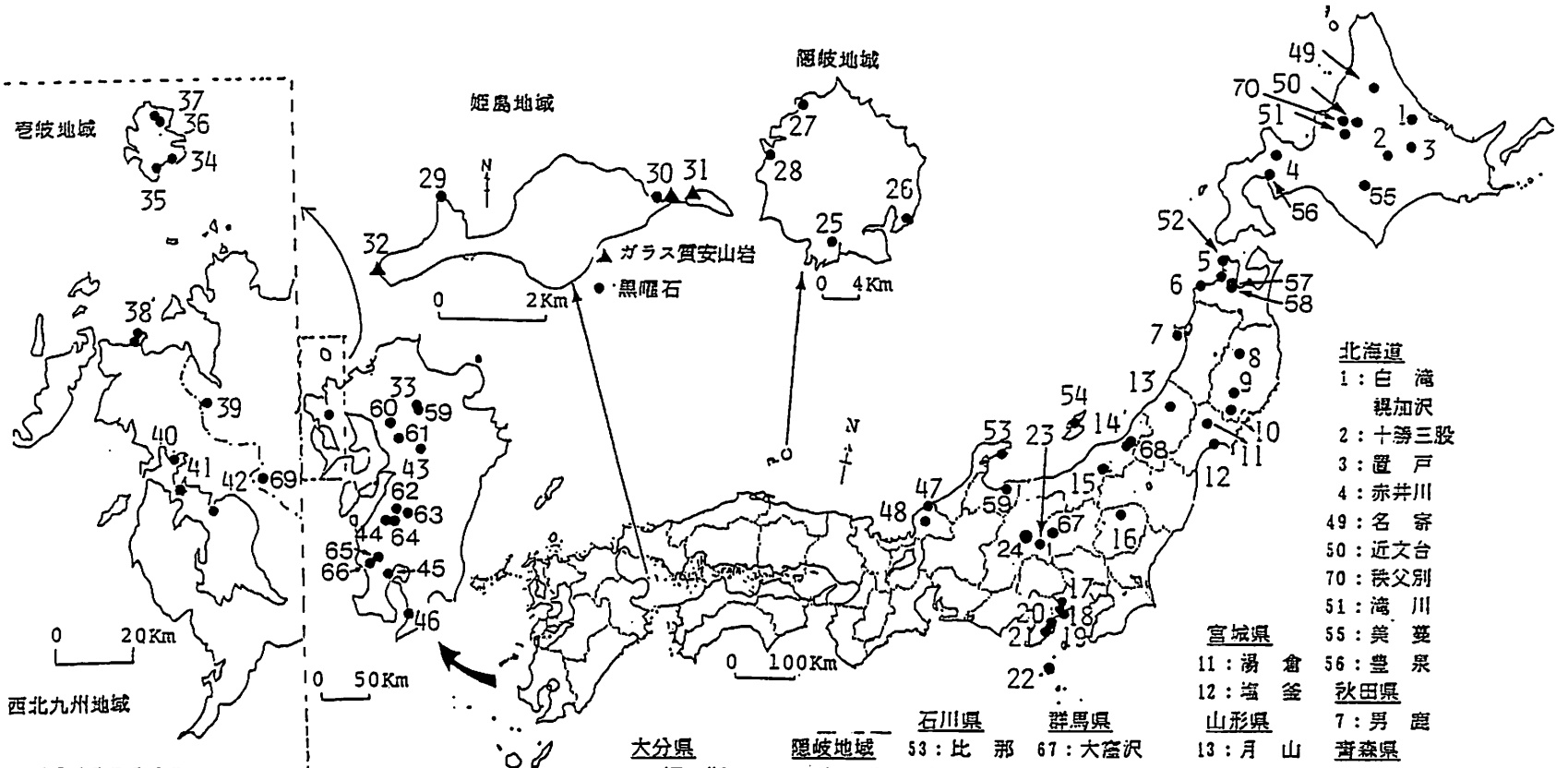

壱岐地域
姫島地域
隠岐地域
ガラス質安山岩
黒曜石
0　2Km
0　4Km
0　20Km
0　50Km
0　100Km
西北九州地域
N
北海道
1：白　滝
　　幌加沢
2：十勝三股
3：置　戸
4：赤井川
49：名　寄
50：近文台
70：秩父別
51：滝　川
55：美　蔓
56：豊　泉
宮城県
11：湯　倉
12：塩　釜
秋田県
7：男　鹿
山形県
13：月　山
青森県
5：出来島
新潟県
54：佐　渡
6：深　浦
68：上石川
52：折渡内
14：坂　山
57：戸　門
15：大白川
58：鶴ケ坂
栃木県
16：高原山
岩手県
8：雫　石
東京都
22：神津島
9：折　居
10：花　泉
佐賀県
39：腰　岳
西北九州地域
69：椎葉川
長崎県
38：松　浦
40：淀　姫
41：中町、古里
42：大　崎
壱岐地域
34：久喜ノ辻
35：君ケ浦
36：角　川
37：貝　畑
鹿児島県
44：出　水
（日　東）
64：五女木
65：上牛鼻
66：平木場
45：竜ケ水
46：長　谷
熊本県
59：小　国
60：南　関
61：　瀧
62：白　浜
43：冠ケ岳
宮崎県
63：桑ノ木津留
大分県
13：塚　瀬
隠岐地域
25：加　茂
26：津　井
27：久　見
28：福　浦
姫島地域
29：観音崎
30：両　瀬
31：稲　積
32：オイ崎
石川県
53：比　那
福井県
47：安　島
48：三里山
長野県
23：霧ケ峰
男女倉
和田峠
24：麦草峠
双子池
群馬県
67：大窪沢
神奈川県
17：箱根・笹塚
18：〃　・畑宿
19：鍛冶屋
静岡県
20：上多賀
21：柏峠西
富山県
59：魚　津

図3　黒曜石原産地

表１－１　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値（１）

原産地	原石群名	分析個数	Ca／K $\bar{X}\pm\sigma$	Ti／K $\bar{X}\pm\sigma$	Mn／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Fe／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Rb／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Sr／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Y／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Nb／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Al／K $\bar{X}\pm\sigma$	Si／K $\bar{X}\pm\sigma$
北海道	名寄第一	114	0.478±0.011	0.121±0.005	0.035±0.007	2.011±0.063	0.614±0.032	0.574±0.022	0.120±0.017	0.024±0.016	0.033±0.002	0.451±0.010
	〃　第二	12	0.315±0.011	0.106±0.003	0.023±0.005	1.796±0.070	0.692±0.043	0.264±0.017	0.293±0.018	0.039±0.020	0.029±0.002	0.401±0.010
	白滝第一	130	0.173±0.014	0.061±0.003	0.079±0.013	2.714±0.142	1.340±0.059	0.283±0.019	0.341±0.030	0.073±0.026	0.028±0.002	0.374±0.010
	幌加沢	23	0.139±0.009	0.023±0.001	0.099±0.015	2.975±0.102	1.794±0.077	0.104±0.010	0.470±0.037	0.103±0.027	0.027±0.002	0.369±0.007
	白滝第二	27	0.138±0.004	0.021±0.002	0.102±0.015	3.049±0.181	1.855±0.088	0.097±0.016	0.492±0.039	0.107±0.019	0.027±0.002	0.368±0.006
	近文台第一	30	0.819±0.013	0.165±0.006	0.081±0.010	3.266±0.117	0.604±0.031	0.941±0.030	0.165±0.020	0.039±0.016	0.039±0.002	0.457±0.008
	〃　第二	107	0.517±0.011	0.099±0.005	0.067±0.090	2.773±0.097	0.812±0.037	0.818±0.034	0.197±0.024	0.041±0.019	0.035±0.002	0.442±0.009
	〃　第三	17	0.514±0.012	0.098±0.005	0.066±0.014	2.765±0.125	0.814±0.068	0.815±0.042	0.199±0.039	0.078±0.008	0.034±0.002	0.443±0.011
	秩父別第一	51	0.249±0.017	0.122±0.006	0.078±0.011	1.614±0.068	0.995±0.037	0.458±0.023	0.235±0.024	0.023±0.021	0.022±0.004	0.334±0.013
	〃　第二	25	0.506±0.016	0.098±0.005	0.070±0.011	2.750±0.099	0.805±0.042	0.808±0.032	0.197±0.026	0.027±0.016	0.027±0.003	0.371±0.010
	滝川第一	31	0.253±0.018	0.122±0.006	0.077±0.009	1.613±0.090	1.017±0.045	0.459±0.025	0.233±0.029	0.038±0.018	0.025±0.003	0.370±0.023
	〃　第二	15	0.510±0.015	0.098±0.005	0.068±0.009	2.740±0.072	0.802±0.019	0.812±0.019	0.192±0.026	0.032±0.023	0.030±0.004	0.393±0.031
	置戸	65	0.326±0.008	0.128±0.005	0.045±0.008	1.813±0.062	0.824±0.034	0.454±0.020	0.179±0.023	0.044±0.020	0.030±0.002	0.412±0.010
	十勝三股	60	0.256±0.018	0.074±0.005	0.068±0.010	2.281±0.087	1.097±0.055	0.434±0.023	0.334±0.029	0.064±0.025	0.029±0.002	0.396±0.013
	美蓉第一	41	0.499±0.020	0.124±0.007	0.052±0.010	2.635±0.181	0.802±0.061	0.707±0.044	0.199±0.029	0.039±0.023	0.033±0.002	0.442±0.015
	〃　第二	28	0.593±0.036	0.144±0.012	0.056±0.010	3.028±0.251	0.762±0.040	0.764±0.051	0.197±0.026	0.038±0.022	0.034±0.002	0.449±0.009
	赤井川	50	0.254±0.029	0.070±0.004	0.086±0.010	2.213±0.104	0.969±0.060	0.428±0.021	0.249±0.024	0.058±0.023	0.027±0.002	0.371±0.009
	豊泉	75	0.473±0.019	0.148±0.007	0.060±0.015	1.764±0.072	0.438±0.027	0.607±0.028	0.157±0.020	0.025±0.017	0.032±0.002	0.469±0.013
青森県	折腰内	35	0.190±0.015	0.075±0.003	0.040±0.008	1.575±0.066	1.241±0.046	0.318±0.014	0.141±0.033	0.076±0.021	0.024±0.002	0.348±0.010
	出来島	27	0.346±0.022	0.132±0.007	0.231±0.019	2.268±0.085	0.865±0.044	1.106±0.056	0.399±0.038	0.179±0.031	0.038±0.003	0.499±0.013
	深浦	36	0.080±0.008	0.097±0.011	0.013±0.002	0.697±0.021	0.128±0.008	0.002±0.002	0.064±0.007	0.035±0.004	0.026±0.002	0.379±0.010
	戸門第一	28	0.250±0.024	0.069±0.003	0.068±0.012	2.358±0.257	1.168±0.062	0.521±0.063	0.277±0.065	0.076±0.025	0.026±0.002	0.362±0.015
	〃　第二	28	0.084±0.006	0.104±0.004	0.013±0.002	0.691±0.021	0.123±0.006	0.002±0.002	0.069±0.010	0.033±0.005	0.025±0.002	0.369±0.007
	鶴ケ坂	33	0.344±0.017	0.132±0.007	0.232±0.023	2.261±0.143	0.861±0.052	1.081±0.060	0.390±0.039	0.186±0.037	0.037±0.002	0.496±0.018
秋田県	男鹿	43	0.293±0.007	0.087±0.004	0.223±0.015	1.637±0.072	1.512±0.082	0.920±0.054	0.287±0.042	0.125±0.031	0.027±0.002	0.362±0.006
岩手県	冷石	25	0.636±0.033	0.187±0.012	0.052±0.007	1.764±0.061	0.305±0.016	0.431±0.021	0.209±0.016	0.045±0.014	0.041±0.003	0.594±0.014
	折居	22	0.615±0.055	0.180±0.016	0.058±0.007	1.751±0.062	0.306±0.033	0.421±0.051	0.228±0.079	0.045±0.011	0.041±0.005	0.594±0.055
	花泉	30	0.596±0.046	0.177±0.018	0.056±0.008	1.742±0.072	0.314±0.019	0.420±0.025	0.220±0.016	0.044±0.013	0.041±0.003	0.586±0.030
山形県	月山	44	0.285±0.021	0.123±0.007	0.182±0.016	1.906±0.096	0.966±0.069	1.022±0.071	0.276±0.036	0.119±0.033	0.033±0.002	0.443±0.014
新潟県	佐渡第一	34	0.228±0.013	0.078±0.006	0.020±0.005	1.492±0.079	0.821±0.047	0.288±0.018	0.142±0.018	0.049±0.017	0.024±0.004	0.338±0.013
	〃　第二	12	0.263±0.032	0.097±0.018	0.020±0.006	1.501±0.053	0.717±0.106	0.326±0.029	0.091±0.022	0.046±0.015	0.026±0.002	0.338±0.009
	上石川	45	0.312±0.008	0.072±0.003	0.063±0.008	1.900±0.070	0.988±0.050	0.758±0.034	0.186±0.024	0.035±0.024	0.018±0.003	0.263±0.006
	板山	44	0.232±0.011	0.068±0.003	0.169±0.017	2.178±0.110	1.772±0.098	0.772±0.046	0.374±0.047	0.154±0.034	0.027±0.002	0.359±0.009
	大白川	22	0.569±0.012	0.142±0.007	0.033±0.005	1.608±0.049	0.261±0.012	0.332±0.011	0.150±0.015	0.033±0.011	0.036±0.003	0.491±0.014
宮城県	湯倉	21	2.174±0.068	0.349±0.017	0.057±0.005	2.544±0.149	0.116±0.009	0.658±0.024	0.138±0.015	0.020±0.013	0.073±0.003	0.956±0.040
	塩釜	37	4.828±0.395	1.630±0.104	0.178±0.017	11.362±1.150	0.168±0.018	1.298±0.063	0.155±0.016	0.037±0.018	0.077±0.002	0.720±0.032

$\bar{X}$：平均値、σ：標準偏差値

表1－2　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値（2）

原産地	原石群名	分析個数	Ca／K $\bar{X}\pm\sigma$	Ti／K $\bar{X}\pm\sigma$	Mn／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Fe／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Rb／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Sr／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Y／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Nb／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Al／K $\bar{X}\pm\sigma$	Si／K $\bar{X}\pm\sigma$
栃木県	高原山	40	0.738±0.067	0.200±0.010	0.044±0.007	2.016±0.110	0.381±0.025	0.502±0.028	0.190±0.017	0.023±0.014	0.036±0.002	0.516±0.012
東京都	神津島第一	56	0.381±0.014	0.136±0.005	0.102±0.011	1.729±0.079	0.471±0.027	0.689±0.037	0.247±0.021	0.090±0.026	0.036±0.003	0.504±0.012
	〃　第二	23	0.317±0.016	0.120±0.008	0.114±0.014	1.833±0.069	0.615±0.039	0.656±0.050	0.303±0.034	0.107±0.026	0.033±0.002	0.471±0.009
神奈川県	箱根・笛塚	30	6.765±0.254	2.219±0.057	0.228±0.019	9.282±0.622	0.048±0.017	1.757±0.061	0.252±0.017	0.025±0.019	0.140±0.008	1.528±0.046
	〃・畑宿	41	2.056±0.064	0.669±0.019	0.076±0.007	2.912±0.104	0.062±0.007	0.680±0.029	0.202±0.011	0.011±0.010	0.080±0.005	1.126±0.031
	鍛冶屋	31	1.663±0.071	0.381±0.019	0.056±0.007	2.139±0.097	0.073±0.008	0.629±0.025	0.154±0.009	0.011±0.009	0.067±0.005	0.904±0.020
静岡県	上多賀	31	1.329±0.078	0.294±0.018	0.041±0.006	1.697±0.068	0.087±0.009	0.551±0.023	0.138±0.011	0.010±0.009	0.059±0.004	0.856±0.018
	柏峠西	35	1.213±0.164	0.314±0.028	0.031±0.004	1.699±0.167	0.113±0.007	0.391±0.022	0.143±0.007	0.009±0.009	0.047±0.004	0.663±0.020
富山県	魚津	12	0.278±0.013	0.065±0.004	0.064±0.008	2.084±0.095	0.906±0.057	0.641±0.046	0.194±0.014	0.102±0.021	0.027±0.002	0.372±0.009
石川県	比那	17	0.370±0.014	0.087±0.004	0.060±0.009	2.699±0.167	0.639±0.028	0.534±0.023	0.172±0.028	0.052±0.018	0.032±0.002	0.396±0.017
福井県	安島	21	0.407±0.007	0.123±0.005	0.038±0.006	1.628±0.051	0.643±0.041	0.675±0.030	0.113±0.020	0.061±0.016	0.032±0.002	0.450±0.010
	三里山	21	0.350±0.018	0.123±0.008	0.036±0.006	1.561±0.081	0.608±0.031	0.798±0.039	0.069±0.020	0.062±0.013	0.028±0.002	0.381±0.008
群馬県	大窪沢	42	1.481±0.117	0.466±0.021	0.042±0.006	2.005±0.135	0.182±0.011	0.841±0.044	0.105±0.010	0.009±0.008	0.033±0.005	0.459±0.012
長野県	冷ケ峰	171	0.138±0.009	0.066±0.003	0.104±0.011	1.339±0.057	1.076±0.047	0.360±0.023	0.275±0.030	0.112±0.023	0.026±0.002	0.361±0.013
	和田峠第一	143	0.167±0.028	0.049±0.008	0.117±0.011	1.346±0.085	1.853±0.124	0.112±0.056	0.409±0.048	0.139±0.026	0.025±0.002	0.355±0.016
	〃　第二	17	0.146±0.003	0.032±0.003	0.151±0.010	1.461±0.039	2.449±0.135	0.036±0.012	0.517±0.044	0.186±0.025	0.027±0.002	0.368±0.007
	〃　第三	62	0.248±0.048	0.064±0.012	0.114±0.011	1.520±0.182	1.673±0.140	0.274±0.104	0.374±0.048	0.122±0.024	0.025±0.003	0.348±0.017
	〃　第四	37	0.144±0.017	0.063±0.004	0.094±0.009	1.373±0.085	1.311±0.037	0.206±0.030	0.263±0.038	0.090±0.022	0.023±0.002	0.331±0.019
	〃　第五	47	0.176±0.019	0.075±0.010	0.073±0.011	1.282±0.086	1.053±0.196	0.275±0.058	0.184±0.042	0.066±0.023	0.021±0.002	0.306±0.013
	〃　第六	53	0.156±0.011	0.055±0.005	0.095±0.012	1.333±0.064	1.523±0.093	0.134±0.031	0.279±0.039	0.010±0.017	0.021±0.002	0.313±0.012
	鷹山・和田	53	0.138±0.004	0.042±0.002	0.123±0.010	1.259±0.041	1.978±0.067	0.045±0.010	0.442±0.039	0.142±0.022	0.026±0.002	0.360±0.010
	男女倉	119	0.223±0.026	0.102±0.010	0.059±0.008	1.169±0.081	0.701±0.109	0.409±0.052	0.128±0.024	0.053±0.017	0.026±0.002	0.354±0.008
	麦草峠	68	0.263±0.020	0.138±0.011	0.049±0.008	1.403±0.069	0.532±0.048	0.764±0.031	0.101±0.018	0.056±0.016	0.029±0.002	0.401±0.017
	双子池	84	0.246±0.035	0.136±0.010	0.054±0.009	1.486±0.154	0.665±0.056	0.782±0.071	0.116±0.023	0.037±0.026	0.018±0.004	0.291±0.008
島根県	加茂	20	0.154±0.008	0.092±0.009	0.018±0.003	0.943±0.029	0.289±0.016	0.006±0.003	0.047±0.010	0.144±0.019	0.022±0.001	0.269±0.017
	津井	30	0.150±0.008	0.100±0.003	0.015±0.002	0.919±0.033	0.305±0.010	0.013±0.003	0.046±0.013	0.132±0.007	0.022±0.001	0.258±0.006
	久見	31	0.142±0.004	0.061±0.002	0.020±0.003	0.981±0.048	0.398±0.013	0.001±0.002	0.093±0.015	0.229±0.010	0.023±0.002	0.317±0.006
大分県	観音崎	41	0.216±0.017	0.045±0.003	0.428±0.057	6.897±0.806	1.829±0.220	1.572±0.180	0.325±0.088	0.622±0.099	0.035±0.002	0.418±0.011
	両瀬第一	33	0.221±0.021	0.045±0.003	0.450±0.061	7.248±0.668	1.917±0.194	1.660±0.173	0.355±0.057	0.669±0.105	0.035±0.002	0.419±0.009
	＊〃第二	32	0.634±0.047	0.140±0.013	0.194±0.026	4.399±0.322	0.614±0.077	3.162±0.189	0.144±0.031	0.240±0.041	0.038±0.002	0.451±0.011
	＊〃第三	10	1.013±0.140	0.211±0.026	0.126±0.016	3.491±0.231	0.305±0.067	4.002±0.174	0.109±0.021	0.137±0.028	0.040±0.004	0.471±0.017
	＊オイ崎	29	1.074±0.110	0.224±0.024	0.122±0.012	3.460±0.301	0.286±0.048	4.010±0.197	0.101±0.022	0.133±0.025	0.040±0.003	0.469±0.014
	＊稲積	25	0.653±0.066	0.141±0.016	0.189±0.030	4.398±0.425	0.605±0.096	3.234±0.264	0.151±0.033	0.245±0.050	0.037±0.002	0.448±0.015
	塚瀬	30	0.313±0.023	0.127±0.009	0.065±0.010	1.489±0.124	0.600±0.051	0.686±0.082	0.175±0.018	0.102±0.020	0.028±0.002	0.371±0.009

$\bar{X}$：平均値、σ：標準偏差値、＊：ガラス質安山岩

表１－３　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値（３）

原産地	原石群名	分析個数	Ca／K $\bar{X}\pm\sigma$	Ti／K $\bar{X}\pm\sigma$	Mn／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Fe／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Rb／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Sr／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Y／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Nb／Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Al／K $\bar{X}\pm\sigma$	Si／K $\bar{X}\pm\sigma$
佐賀県	腰岳	26	0.214±0.015	0.029±0.001	0.076±0.012	2.694±0.110	1.686±0.085	0.441±0.030	0.293±0.039	0.257±0.029	0.027±0.002	0.356±0.008
	椎葉川	59	0.407±0.010	0.073±0.003	0.094±0.013	2.712±0.124	1.269±0.088	1.994±0.105	0.133±0.037	0.238±0.040	0.020±0.004	0.281±0.006
長野県	久喜ノ辻	37	0.165±0.012	0.066±0.002	0.034±0.003	1.197±0.030	0.403±0.012	0.005±0.004	0.114±0.012	0.326±0.008	0.024±0.002	0.294±0.008
	君ケ浦	28	0.161±0.011	0.064±0.002	0.034±0.003	1.209±0.032	0.405±0.008	0.005±0.004	0.119±0.016	0.322±0.010	0.025±0.002	0.294±0.006
	角川	29	0.138±0.010	0.037±0.002	0.056±0.007	1.741±0.083	1.880±0.076	0.012±0.012	0.303±0.038	0.652±0.036	0.026±0.002	0.358±0.010
	松浦第一	23	0.218±0.010	0.029±0.002	0.085±0.013	2.692±0.125	1.674±0.064	0.439±0.027	0.284±0.047	0.266±0.028	0.027±0.002	0.359±0.012
	〃 第二	17	0.176±0.016	0.030±0.004	0.062±0.022	2.364±0.389	1.607±0.245	0.308±0.074	0.277±0.056	0.210±0.050	0.026±0.002	0.361±0.010
	〃 第三	16	0.245±0.019	0.060±0.006	0.045±0.012	1.975±0.240	0.878±0.099	0.421±0.081	0.130±0.030	0.145±0.023	0.026±0.002	0.358±0.013
	〃 第四	22	0.287±0.019	0.067±0.004	0.044±0.007	1.906±0.106	0.765±0.074	0.484±0.034	0.115±0.023	0.117±0.018	0.028±0.001	0.367±0.007
	淀姫	44	0.329±0.014	0.080±0.005	0.042±0.007	1.804±0.065	0.539±0.022	0.504±0.035	0.077±0.018	0.117±0.014	0.029±0.002	0.374±0.009
	中町第一	25	0.248±0.017	0.058±0.008	0.057±0.007	1.884±0.085	0.832±0.092	0.403±0.026	0.112±0.021	0.152±0.017	0.026±0.002	0.363±0.007
	〃 第二	17	0.327±0.030	0.080±0.017	0.045±0.007	1.832±0.074	0.653±0.088	0.488±0.030	0.090±0.030	0.093±0.023	0.027±0.002	0.358±0.012
	古里第一	40	0.192±0.020	0.027±0.003	0.080±0.016	2.699±0.215	1.780±0.164	0.413±0.065	0.312±0.056	0.259±0.040	0.027±0.002	0.358±0.008
	〃 第二	22	0.414±0.012	0.073±0.006	0.102±0.015	2.898±0.204	1.221±0.094	1.951±0.124	0.133±0.047	0.261±0.034	0.031±0.002	0.383±0.010
	〃 第三	19	0.257±0.035	0.062±0.009	0.054±0.009	1.939±0.131	0.812±0.113	0.436±0.052	0.101±0.029	0.145±0.037	0.028±0.002	0.364±0.011
	大崎	25	0.161±0.011	0.051±0.002	0.037±0.006	1.718±0.056	0.948±0.030	0.179±0.018	0.191±0.026	0.137±0.019	0.024±0.002	0.340±0.006
熊本県	小国	30	0.317±0.023	0.127±0.005	0.063±0.007	1.441±0.070	0.611±0.032	0.703±0.044	0.175±0.233	0.097±0.017	0.023±0.002	0.320±0.007
	南関	30	0.261±0.016	0.214±0.007	0.034±0.003	0.788±0.033	0.326±0.012	0.278±0.015	0.069±0.012	0.031±0.009	0.021±0.002	0.243±0.008
	蘇	44	0.258±0.009	0.214±0.006	0.033±0.005	0.794±0.078	0.329±0.017	0.275±0.010	0.066±0.011	0.033±0.009	0.020±0.003	0.243±0.008
	冠ケ岳	21	0.261±0.012	0.211±0.008	0.032±0.003	0.780±0.038	0.324±0.011	0.279±0.017	0.064±0.011	0.037±0.006	0.025±0.002	0.277±0.009
	白浜	40	0.197±0.020	0.104±0.008	0.025±0.006	1.405±0.073	1.048±0.087	0.348±0.028	0.163±0.023	0.033±0.017	0.019±0.001	0.273±0.007
宮崎県	桑ノ木津留											
	〃 第一群	47	0.207±0.015	0.094±0.006	0.070±0.009	1.521±0.075	1.080±0.048	0.418±0.020	0.266±0.034	0.063±0.024	0.020±0.003	0.314±0.011
	〃 第二群	33	0.261±0.015	0.094±0.006	0.066±0.010	1.743±0.095	1.242±0.060	0.753±0.039	0.205±0.029	0.047±0.036	0.022±0.002	0.323±0.019
鹿児島県	日東	42	0.262±0.018	0.143±0.006	0.022±0.004	1.178±0.040	0.712±0.028	0.408±0.025	0.100±0.018	0.029±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	五女木	37	0.266±0.021	0.140±0.006	0.019±0.003	1.170±0.064	0.705±0.027	0.405±0.021	0.108±0.015	0.028±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	上牛鼻	41	1.629±0.098	0.804±0.037	0.053±0.006	3.342±0.215	0.188±0.013	1.105±0.056	0.087±0.009	0.022±0.009	0.036±0.002	0.391±0.011
	平木場	34	1.944±0.054	0.912±0.028	0.062±0.005	3.975±0.182	0.184±0.011	1.266±0.049	0.093±0.010	0.021±0.010	0.038±0.003	0.408±0.010
	竜ケ水	28	0.514±0.032	0.167±0.008	0.063±0.009	1.524±0.079	0.619±0.038	0.719±0.054	0.115±0.019	0.082±0.016	0.037±0.003	0.523±0.009
	長谷	30	0.553±0.032	0.137±0.006	0.065±0.010	1.815±0.062	0.644±0.028	0.553±0.029	0.146±0.021	0.066±0.020	0.037±0.003	0.524±0.012
	JG－1[a)]	127	0.755±0.010	0.202±0.005	0.076±0.011	3.759±0.111	0.993±0.036	1.331±0.046	0.251±0.027	0.105±0.017	0.028±0.002	0.342±0.004

$\bar{X}$：平均値、σ：標準偏差値、＊：ガラス質安山岩

a)：Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E.(1974). 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal Vol.8, 175-192.

表２　中野Ｂ遺跡出土の黒曜石製遺物分析結果

分析番号	元素比									
	Ca／K	Ti／K	Mn／Zr	Fe／Zr	Rb／Zr	Sr／Zr	Y／Zr	Nb／Zr	Al／K	Si／K
45008	.482	.151	.056	1.672	.481	.632	.149	.000	.022	.343
45009	.474	.142	.044	1.669	.430	.617	.169	.000	.022	.344
45010	.262	.073	.072	2.168	.985	.424	.210	.044	.019	.270
45014	.267	.074	.084	2.157	1.058	.437	.256	.049	.018	.256
45015	.251	.071	.095	2.074	.923	.410	.274	.000	.018	.275
45016	.183	.065	.058	2.500	1.326	.281	.305	.000	.019	.252
45017	.251	.071	.075	2.061	.928	.447	.258	.050	.018	.277
45018	.253	.070	.088	2.157	1.004	.474	.266	.000	.019	.268
45019	.260	.074	.077	2.037	.988	.435	.268	.000	.017	.263
45020	.465	.155	.065	1.683	.458	.611	.131	.022	.019	.327
45021	.255	.068	.077	2.002	.880	.408	.218	.000	.019	.280
45022	.255	.069	.075	2.093	.973	.454	.256	.050	.016	.269
45023	.253	.079	.085	2.123	.892	.429	.273	.000	.019	.261
45024	.255	.072	.079	2.117	1.024	.424	.234	.000	.017	.265
45025	.249	.068	.082	2.266	.977	.470	.266	.000	.016	.277
45026	.264	.074	.076	2.316	1.000	.449	.286	.000	.018	.261
45027	.237	.072	.071	1.892	.900	.387	.221	.000	.017	.261
45028	.182	.065	.073	2.708	1.295	.269	.292	.039	.016	.269
45029	.248	.072	.086	2.062	.942	.479	.257	.030	.016	.250
45030	.246	.073	.081	2.132	.973	.444	.309	.044	.000	.221
45031	.247	.073	.080	2.014	1.006	.463	.258	.000	.020	.258
45032	.457	.146	.068	1.716	.481	.628	.162	.031	.023	.342
45033	.463	.149	.069	1.590	.431	.593	.153	.000	.020	.330
45034	.477	.151	.046	1.654	.473	.628	.159	.000	.021	.336
45035	.217	.076	.071	2.069	.987	.424	.275	.000	.018	.250
45036	.253	.068	.089	2.186	.855	.428	.290	.029	.016	.263
45038	.257	.070	.058	2.007	.938	.438	.214	.085	.017	.272
45039	.457	.149	.063	1.708	.430	.624	.194	.000	.024	.336
45040	.253	.075	.084	2.092	.958	.419	.253	.000	.015	.266
45041	.255	.073	.069	1.971	.923	.469	.217	.000	.018	.275
45042	.251	.077	.077	2.116	.984	.461	.261	.033	.019	.272
45043	.244	.075	.086	2.060	.937	.401	.237	.031	.018	.268

表3　中野B遺跡出土の黒曜石製遺物の原材産地推定結果

分析番号	番号	遺構番号 発掘区番号	遺物番号	層位	遺物名称	原石産地（確率）	判定	時代時期
45008	1	42-31	509	撹げ土	石鏃	豊泉(29%)	豊泉	縄文時代早期
45009	2	45-32	123A	撹げ土	石槍片	豊泉(51%)	豊泉	〃
45010	3	45-32	27A	撹げ土	石鏃	赤井川(28%)，十勝三股(1%)，戸門第1群(2%)	赤井川	〃
45014	4	47-32	80	撹げ土	石槍	赤井川(33%)，十勝三股(1%)，戸門第1群(12%)	赤井川	〃
45015	5	39-34	162	III	石鏃	赤井川(22%)	赤井川	〃
45016	6	41-37	131	III	石鏃	白滝第1群(3%)	白滝	〃
45017	7	42-31	63	III	スクレイパー	赤井川(52%)，戸門第1群(3%)	赤井川	〃
45018	8	43-30	8	III	Rフレイク	赤井川(10%)，戸門第1群(2%)	赤井川	〃
45019	9	43-32	2	III	石鏃	赤井川(6%)，十勝三股(1%)，戸門第1群(2%)	赤井川	〃
45020	10	44-31	143	III	石鏃	豊泉(62%)	豊泉	〃
45021	11	47-38	110	III	異形石器	赤井川(15%)	赤井川	〃
45022	12	H-73	1217	覆土3	フレイク	赤井川(51%)，戸門第1群(8%)，十勝三股(1%)	赤井川	〃
45023	13	H-73	1313	床直上	フレイク	赤井川(2%)	赤井川	〃
45024	14	H-405	1085	覆土1	フレイク	赤井川(7%)，十勝三股(1%)，戸門第1群(3%)	赤井川	〃
45025	15	H-408	355	覆土3	Rフレイク	赤井川(21%)，戸門第1群(2%)	赤井川	〃
45026	16	H-410	2544	床面	石鏃	赤井川(87%)，十勝三股(1%)，戸門第1群(6%)	赤井川	〃
45027	17	H-451	234	覆土1	石錐	赤井川(1%)	赤井川	〃
45028	18	41-37	1559	III	フレイク	白滝第1群(63%)	白滝	〃
45029	19	H-454	1877	覆土1	石鏃	赤井川(2%)，戸門第1群(1%)	赤井川	〃
45030	20	H-454	1424	覆土2	石匙	赤井川(45%)，戸門第1群(12%)，十勝三股(3%)	赤井川	〃
45031	21	H-455	209	覆土1	石鏃	戸門第1群(2%)，赤井川(1%)	赤井川	〃
45032	22	H-456	23	覆土2	石匙	豊泉(81%)	豊泉	〃
45033	23	H-456	2	覆土1	異形石器	豊泉(28%)	豊泉	〃
45034	24	H-460	724	覆土2	石匙	豊泉(30%)	豊泉	〃
45035	25	H-460	558	覆土2	石鏃	赤井川(4%)，戸門第1群(1%)	赤井川	〃
45036	26	H-467	548	覆土2	石鏃	赤井川(11%)	赤井川	〃
45038	27	H-471	58	覆土2	石錐	赤井川(7%)，戸門第1群(1%)	赤井川	〃
45039	28	H-472	230	覆土1	フレイク	豊泉(29%)	豊泉	〃
45040	29	H-477	94	床直上	スクレイパー	赤井川(20%)，戸門第1群(1%)	赤井川	〃
45041	30	H-484	17	覆土3	石匙	赤井川(0.1%)	赤井川	〃
45042	31	H-485	16	覆土1	石鏃	赤井川(13%)，十勝三股(1%)，戸門第1群(6%)	赤井川	〃
45043	32	H-511	15	覆土1	石鏃	赤井川(49%)，戸門第1群(1%)	赤井川	〃

5　函館市中野Ｂ遺跡出土炭化植物種子同定結果

学校法人　静修学園
北海道環境文化研究センター

表１　中野Ｂ遺跡出土炭化種子一覧

資料番号	遺構名	採取位置	層位	ヒエ属	ナス科	タデ属	マタタビ属	ニワトコ属	キハダ属			ミズキ属		ブドウ属		クルミ属
				(粒)	(粒)	(粒)	(片)	(粒)	種子(粒)	(片)	果実(粒)	(粒)	(片)	(粒)	(片)	(g)
1	H- 73	HP-1								3						0.08
2	H- 73	№333	覆土２													0.16
3	H- 74	床面炉								3						0.06
4－1	H-408	炉跡ａ	覆土													<0.01
4－2	H-408	炉跡ｂ	覆土							1						<0.01
4－3	H-408	炉跡ｃ	覆土													<0.01
4－4	H-408	炉跡ｄ	覆土													0.01
4－5	H-408	炉下北西									1					0.05
5	H-410	土器内部							1							0.45
6	H-410	HP-24														0.01
7	H-410	HF-2	覆土２層													0.23
8－1	H-451	東西ベルト焼土								12						2.54
8－2	H-451	東西ベルト焼土								4			2		8	1.00
9	H-453	HP-2								1						0.42
10	H-454	焼土														0.13
11	H-454		覆土１													0.03
12	H-454	HP-2								1						
14	H-454	HP-5														<0.01
15	H-454	HP-6														0.10
16	H-454	HP-7														<0.01
17	H-454	HP-8														0.01
18	H-454	HP-9														0.01
19	H-454	HP-10														0.01
20	H-454	HP-11														0.03
21	H-454	HP-12														0.02
22	H-454	HP-13														0.02
23	H-454	HP-14														0.08
24	H-454	HP-15														0.36
25	H-454	HP-16														<0.01
26	H-454	HP-17														0.06
27	H-454	HP-30											3			0.51
28	H-455	風倒木痕											6			0.15
29	H-457	焼土														0.21
30	H-465	HP-15								1					1	18.70
31	H-465	HP-30										2	31		2	1.58
32	H-467	HP-15								3			5			7.78
33	H-471	HP-28								2			1			0.38
34	H-492		覆土２層													<0.01
35	H-500															0.06
36	H-522	F-17				1										0.03
37	H-522															<0.01
38	H-522	風倒木痕														<0.01
39	H-530	炉跡														0.03
40	H-530	1地区	床面直上													0.10
41	H-530	2地区	床面直上													0.18
42	H-530	3地区	床面直上							1						0.25
43	H-530	4地区	床面直上													0.10
44	H-530	5地区	床面直上													0.26
45	H-530	6地区	床面直上						1				3		1	0.87
46	H-530	6地区	床面													0.15
47	H-530	7地区	床面直上													0.32
48	H-530	7地区	床面													0.10
49	H-530	8地区	床面										1		1	6.55
50	H-530	9地区	床面直上													0.19
51	H-530	9地区	床面													0.31
52	H-530	10地区	床面直上													0.10
54	H-530	11地区	床面直上													0.05
55	H-530	11地区	床面													0.10
56	H-530	12地区	床面直上													0.11
57	H-530	12地区	床面												1	0.39
58	H-530	13地区	床面直上													0.44
59	H-530	13地区	床面							1					3	3.55
60	H-530	14地区	床面直上	2												1.86
61	H-530	14地区	床面													0.61
62	H-530	15地区	床面直上													0.63

資料番号	遺構名	採取位置	層位	ヒエ属(粒)	ナス科(粒)	タデ属(粒)	マタタビ属(片)	ニワトコ属(粒)	キハダ属 種子(粒)	キハダ属(片)	キハダ属 果実(粒)	ミズキ属(粒)	ミズキ属(片)	ブドウ属(粒)	ブドウ属(片)	クルミ属(g)
63	H-530	15地区	床面													0.18
64	H-530	16地区	床面直上							1			1			0.68
65	H-530	17地区	床面直上						1	2					1	1.71
66	H-530	18地区	床面直上													0.36
67	H-530	18地区	床面													0.16
68	H-530	19地区	床面直上							1						0.15
69	H-530	20地区	床面直上							1						0.07
70	H-535		床面直上										1			0.32
71	H-535	柱Na 1														<0.01
72	H-535	柱Na 2														0.09
73	H-535	柱Na 3											1			0.01
74	H-535	柱Na 4														0.01
75	H-535	柱Na 5														0.13
76	H-535	柱Na 6														0.01
77	H-535	柱Na 7														0.01
78	H-535	柱Na 8														<0.01
79	H-535															0.03
80	H-544	P-1														0.01
82	P-263			1		1						2	5	1	15	50.40
83	P-265		壙底直上												1	0.58
84	P-269		覆土３層							1					2	0.66
85	P-271		壙底直上							1						4.15
86	P-272															0.19
87－1	P-273		覆土１							1						0.64
87－2	P-273		覆土２						1						2	0.76
87－3	P-273		覆土３							2					2	0.92
87－4	P-273		覆土４	1												1.30
87－5	P-273	Na1														0.46
87－6	P-273	Na2														0.29
87－7	P-273	Na3														0.20
87－8	P-273	Na4														0.10
87－9	P-273	Na5														0.12
87－10	P-273	Na6														0.40
87－11	P-273	Na7								1						0.31
87－12	P-273	Na8					1								1	0.29
87－13	P-273	Na9								1					2	0.15
87－14	P-273	Na10											1			0.39
87－15	P-273	Na11								1						0.35
87－16	P-273	Na12								1						0.48
87－17	P-273	Na13														0.20
87－18	P-273	Na14														0.16
87－19	P-273	Na15													1	0.08
87－20	P-273	Na16														0.24
87－21	P-273	Na17								1						0.22
87－22	P-273	Na18								1						0.24
88	P-278	土器内部														0.74
89－1	P-279		覆土上層										1			0.69
89－2	P-279	Na1	覆土上層													0.15
89－3	P-279	Na2	覆土上層													0.08
89－4	P-279	Na3	覆土上層													0.08
89－5	P-279	Na4	覆土上層													0.05
89－6	P-279	Na5	覆土上層													0.06
89－7	P-279		覆土下層	1	1					5			2			1.31
89－8	P-279	Na1	覆土下層													0.12
90	P-280												1			0.08
91	P-281		覆土下層													1.21
92	P-282		覆土下層						1	1			2			3.95
93	(47-37)	風倒木痕														0.01
94	(47-36･37)	風倒木痕														<0.01
95－1	P-287		覆土上層	3						2			1		7	2.30
95－2	P-287		覆土下層					1					2			2.21
96	T-169									1						1.52
97	T-170															<0.01
98	T-177									1						0.06
99	T-185															0.03
100	T-194									1						0.01
合計				8	1	2	1	1	5	60	1	4	70	1	51	135.39

6　中野B遺跡におけるヒエ属種子の検出

吉崎　昌一（札幌国際大学）

(1)　中野B遺跡

中野B遺跡は、北海道函館市中野町97-1ほかに広がる遺跡で、函館空港拡張整備工事のため、㈶北海道埋蔵文化財センターが平成4年度から8年度にかけて発掘調査し、平成9年度と10年度にわたり整理作業が続けられている地点である。縄文時代早期後半の多数の竪穴住居からなる集落遺構が検出されているが、伴出する土器型式から見て、住吉町式とムシリ式土器の時代とみられる。P-263土壙から得られた^{14}C年代測定では7980±110yrs B.P.が報告されている。平成4年、5年に行われた調査で検出されたH-45（第45号竪穴住居の意味である）とH-47両竪穴の床面から、炭化したヒエ属種子が各1点発見されている。その後、平成7年度の発掘で、H-530床面直上から2点、P-263（第263号土壙）から1点、P-273から1点、P-279から1点、P-287から3点と僅かずつではあるが炭化したヒエ属種子が検出されている。それぞれの計測値は表1に示しておく。平均的な長さは1.35ミリ、幅は1.14ミリ、厚さが0.56ミリと小型である。しかしその粒形は、この遺跡周辺に見られる雑草のノビエ（イヌビエ）に比べて、写真に見られるように穎果中央部下半がやや膨らむという特徴が注意される。ただし、この特徴は気候環境あるいは土壌の栄養状態でおきる変異の中であるかもしれない。これらの種子を出土した遺構からは、ほかにクルミ属、ブドウ属、ミズキ属、キハダ属、ニワトコ属、マタタビ属、タデ属の炭化種子が出土しているが、これらは縄文時代の遺構から検出される一般的な種子組成である。他のイネ科の雑草は抽出されていないし、イネ科以外の植物も、通常、縄文時代に利用または食用とされていたものばかりであった。こうした遺構の植物種子の出土状況は、二次的な流れ込みで発生したとは考えられず、当時のヒトとの関与の度合いが強かったことを物語っている。種子が炭化していたのも、そのような理由によるのであろう。ヒエ属は後述するように東日本で馴化された可能性があり、その点から今回の資料は重要な意味を持つ、と考えられるであろう。

(2)　なぜヒエなのか

a：ヒエの分類と起源

ヒエはイネ科ヒエ属 *Echinochloa* Beauv.の植物である。変種などの詳細な分類を別にすると、日本には栽培種としてのヒエ *Echinochloa utilis* Ohwi et Yabuno（＝*Echinochloa esculenta*）、雑草のイヌビエ *Echinochloa crus-galli* Beauv.とタイヌビエ *Echinochloa crus-galli* var. *oryzicola* が知られている（山口　1997）。また、日本の栽培ヒエは、当初、インドで栽培されるインドビエ *Echinochloa frumentacea* Link と共通の祖先種を持つと考えられていたが、藪野友三郎博士の研究でインドビエの祖先種はコヒメビエ *Echinochloa colonum*、日本の栽培ヒエはイヌビエ *Echinochloa crus-galli* であることが確認された（Yabuno. T.　1962）。したがってヒエ *Echinochloa utilis* は、日本も含む東アジアのどこかで栽培化された可能性があると考えられるようになった。なかでも、栽培植物起源学・民族植物学の専門家である阪本寧男博士は著書「雑穀のきた道」の中で、栽培ヒエの日本起源の可能性を提起されている（阪本　1988）。

b：ヒエの栽培

栽培ヒエは、冷涼な地域の粗放な農業にも耐えられる植物である。貯蔵性には優れているが、他の雑穀より味が劣り、また、精白の過程で歩留まりが悪い。しかし、稲作がおこなわれ得なかった地域

では、広く栽培されていた。

粗放な栽培や冷涼な気候環境に対する耐性は、他の雑穀の収穫量が激減するような状況下でも、ある程度の収穫が期待できる。かっての東北地方の事例でも知られるように、こうした性質と卓越した貯蔵性のため、冷害下の救荒作物として重要な役割を持っていたのである。

また、北海道においては、先住アイヌ民族はヒエをピャパと呼び、古くから広く栽培していた。また、他の雑穀、アワ・キビと異なり、ヒエは彼らの祖先神が直接もたらしたもので、近隣から招来されたものではない、という興味ある説話が残っている(林　1969)。林によると栽培されたヒエはアイヌ民族にとって飯米および酒の原料として重要な雑穀の一つであった。中でもヒエで醸す酒（ドブロク・トノト）は、彼らの伝統の中でもっとも古風かつ本格的なものとされ、儀式には欠かせなかったという。クマ送り（イオマンテ）その他の重要な祭事の場合には、もっぱらヒエをもって酒を醸し、神に捧げるのが常であったのである(林　1969)。こうした民族事例は、東日本のヒエ栽培が古くから行われていたことをうかがわせるものであろう。

(3)　縄文農耕の対象としてのヒエ

縄文時代に雑穀栽培が存在していたかどうかについては、長い間研究者の希望的予測もまじえて、議論されていた。偶然に小型の種子が検出されると、それがアワ、ヒエではないかと期待されたことも多かった。しかし、松谷暁子氏等の走査型電子顕微鏡を利用しての詳細な検討では、こうした小型粒状の種子の大部分は、イネ科植物のものではなく、エゴマやシソの仲間の多いことが確認された(松谷　1988)。

だが、日本列島に面するアジア大陸側では、古くから植物栽培と家畜の飼養が認められている。たとえば、南中国ではイネが1万年以上も以前から栽培されていた事が明らかになりつつある。こうした遺跡を実地に調査された藤原宏志によると、中国先史時代のイネを含む層準からは、イネ以外のイネ科栽培植物のものらしい穎部分が認められる例があるという。

中国東北部の新石器時代遺跡から出土するイネ科の雑穀は、当初、アワが主体を占め、やや時間が遅れてキビが出現するらしい（ハーランJ．　1984)。海を隔てて東日本に面するロシア沿海地方ではどうか。これまでの調査では、初期鉄器時代紀元前1千年紀頃から、確実な栽培植物の種子が検出されるという。この地域では、まずオオムギ、アワが出現し、続いてコムギ、キビ等が現れるようだ(加藤　1988：山田　1993)。

もし縄文文化が、その成立期以来完全に孤立発展してきたのなら問題は別になる。しかし実際は縄文時代以前の細石刃文化も、確実に東アジアの中石器時代のネットの中に位置づけられるし、その後の土器使用の開始期の情勢も同じ背景と考えられている。さらに、ヒョウタン・アサ・ウルシ・イネなど栽培植物の出現や、石器製作技術および装飾品などの変遷を通してみると、縄文文化は決して孤立の様相を示していない。こうした文化事象は、単独で日本列島に流入したのではなく、ある文化的なコンプレクスできたのに違いない。人も数の多寡は別にして、そのコンプレクスに含まれていたであろう。こう考えると、東アジアで開始されていた植物栽培の一部が、古くから日本に到来していた可能性は極めて高い。イネやアワ・キビ・オオムギ・マメなどはその有力候補としてあげられるだろう。しかし、ヒエには問題が残る。何故なら、東アジアの先史時代には今のところ栽培種としてのヒエに関する明確なデータが見つからないからである(例えば、阪本　1988)。だが、縄文人は広範な植物質食料を利用していたし、さらに重要なことは、各地に遺跡から検出されているエゴマ・シソ・ヒョウタン・アサなどを見ても分かるように、明らかに植物栽培の概念を理解していた。こうした背景の

中で、土壌の攪乱が日常的に見られる集落の周囲に群生していたイヌビエを採取し、食料の一部に供されていた可能性があったとすれば、この行動がやがてヒエの栽培化につながっていった可能性が充分に考えられる。

(4)　ヒエ属植物と縄文人の関連をどうみるか

我々はまずヒエ属植物種子の利用が、日本列島の中では何時から出現し、それがヒトとの関係でどの様な発展を遂げたのかについてのデータを集積することを計画した。しかる後に、もし日本に隣接する大陸アジアの東端の地域に積極的なヒエ栽培が認められないのなら、阪本（阪本　1988）のいうように、日本列島内でヒエの栽培化が行われた可能性が視野にはいると考えた。

1970年代前半には渡島半島の南茅部町において行われた縄文時代前期～中期遺跡の発掘に参加させてもらい、考古植物学的な調査を実施した。この分野は当時トロント大学人類学部の大学院生で現在同大学の教授であるG.W.Crawford氏に分担してもらった。氏は、この遺跡の調査資料を軸として、亀田半島の遺跡から検出される炭化植物種子に関する博士論文を作成した。その中で、亀田半島の遺跡の縄文時代前期末から中期にかけて検出されたヒエ属種子（イヌビエ *Echinochloa crus-galli* Beauv.）とみられるものが、時間の経過とともに粒径が増大することが注目されたのである。当初、この意味するところは明確ではなかったが、やがてこの現象がヒエの馴化に関係するのではないか、という仮説が生まれてくる（Crawford　1983）。ついで、フローテーション法による炭化種子の採取が、北海道と青森県のいくつかの遺跡で積極的に実施された。青森県では八戸市教育委員会が調査をおこなった同市内風張遺跡の縄文時代後期末の竪穴住居床面から、A.C.D'Andrea氏によりアワ・キビとともにイネの胚乳が検出された。このイネは^{14}C年代の測定がなされ、2810±270B.P.(TO-4086)が得られてた。こうして東日本の縄文時代の栽培植物の出現は、我々が予想していたより複雑な様相を呈しているらしいと考えられるようになった。こうした中で、各地出土のヒエ属種子の詳細な観察がスタッフの一人椿坂恭代を中心として始められたのである。その結果、これまで見逃されていた新しい所見が浮かび上がってきた。まず、フローテーション用の土壌サンプルを住居床面の炉跡に近い部分と遺構の焼土部分に限定すれば、そこから得られるイネ科の炭化植物種子はヒエ属が多く、エノコログサ *Setaria viridis* P.Beauv.や他のイネ科雑草の種子は、まず検出されない。また、北海道中央部以西の縄文時代遺跡では、フローテーション法による炭化植物種子の抽出作業を実施さえすれば、ヒエ属種子が検出されることも分かってきた。それもCrawfordも指摘しているように、時代が新しくなるとサイズも増大する傾向が認められる。また、時間の経過とともに粒形も丸くなる傾向が注意される。東北地方でも同様である。青森県埋蔵文化財調査センターが調査した同県六ヶ所村富の沢(2)遺跡では、縄文時代中期末の住居から2000粒を越すヒエ属種子が検出されたが、サイズこそ現生の栽培ヒエより小型ではあるが、粒形からみるとその60%が栽培型に近い形態を見せる(吉崎　1992)。この種子そのものも^{14}C年代が測定されているが、暦年代較正値で2407-2270B.C.が得られており、土器編年と良い整合性を見せる。

このような、縄文人と関与しているヒエ属を、縄文ヒエと呼ぶことにしている。出土資料から見る限り、縄文人はヒエ属に密接に関与している。これがヒエ属の明確な馴化と見るべきかどうかについては、まだ最終の結論を得るにいたっていない。しかし、考古植物学的、あるいは考古学的な視点からすれば、以上述べてきたヒエ属の時間的な変化は、馴化の過程を示すものと解釈しておきたい。

こうした状況下で、中野B遺跡の縄文時代早期の遺構から伴出するヒエ属種子の存在が明らかに

なったわけだ。考古学的な見地に立てば、縄文時代早期後半という時代は、その後に発展する東日本の縄文文化にみられる基本的な石器組成が出揃う時期でもある。その事からいって、中野B遺跡のヒエ属資料は、東日本においてヒトがヒエと関与し始めた時期を暗示しているように思われる。今後の資料の増加と研究の展開が期待される所以である。

表1　中野B遺跡検出のヒエ属種子計測一覧

ヒエ属　　縄文時代早期中葉

No.	L (mm)	W (mm)	T (mm)
1 (H-45)	1.30	1.10	0.60
2 (H-47)	1.30	1.20	0.55
3 (H-530)	1.25	1.10	0.60
4 (H-530)	1.05	0.85	0.50
5 (P-263)	1.30	1.05	0.55
6 (P-273)	1.50	1.35	0.65
7 (P-279)	1.25	1.05	0.50
8 (P-287)	1.50	1.30	0.55
9 (P-287)	1.20	1.10	0.55
10 (P-287)	1.80	1.30	0.50
平均	1.35	1.14	0.56
分散	0.04	0.02	0.00
標準偏差	0.21	0.15	0.05

引用・参考文献

加藤晋平　1988：「シベリアの先史農耕と日本への影響」　佐々木高明・松山利夫編著『畑作文化の誕生—縄文農耕論へのアプローチ—』386p., pp. 215-235, 日本放送出版協会

阪本寧男　1988：『雑穀のきた道—ユーラシア民族植物誌から—』NHKブックス No. 546, 214p. 日本放送出版協会

ハーランJ.（Jack R. Harlan）　1984：熊田恭一・前田英三訳『作物の進化と農業・食糧』210p. 学会出版センター, 東京

林　善茂　1969：『アイヌの農耕文化』考古民俗叢書4, 218p., 索引17p. 慶友社, 東京

松谷暁子　1988：「電子顕微鏡で見る縄文時代の栽培植物」　佐々木高明・松山利夫編著『畑作文化の誕生—縄文農耕論へのアプローチ—』386p., pp. 91-117, 日本放送出版協会

山田悟郎　1993：「ロシア沿海地方から出土する栽培植物について」『1993年度［北の歴史・文化交流研究事業］中間報告』pp. 29-50, 北海道開拓記念館, 札幌

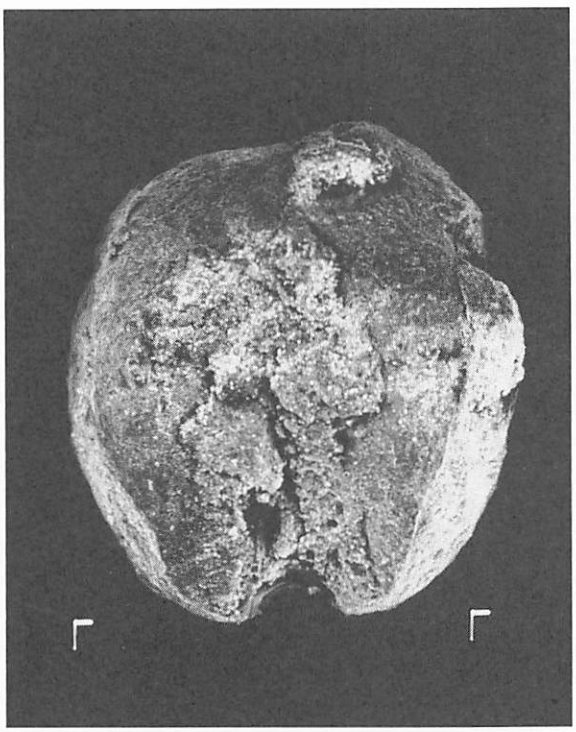
山口裕文　1997：「日本の雑草の起源と多様化」　山口裕文編著『雑草の自然史』pp. 3-16, 北海道大学図書刊行会

吉崎昌一　1992：「青森県富ノ沢(2)遺跡出土の縄文時代中期の炭化植物種子」　青森県教育委員会編『富ノ沢(2)遺跡IV発掘報告書(3)』pp. 1097-1110, 青森県教育委員会

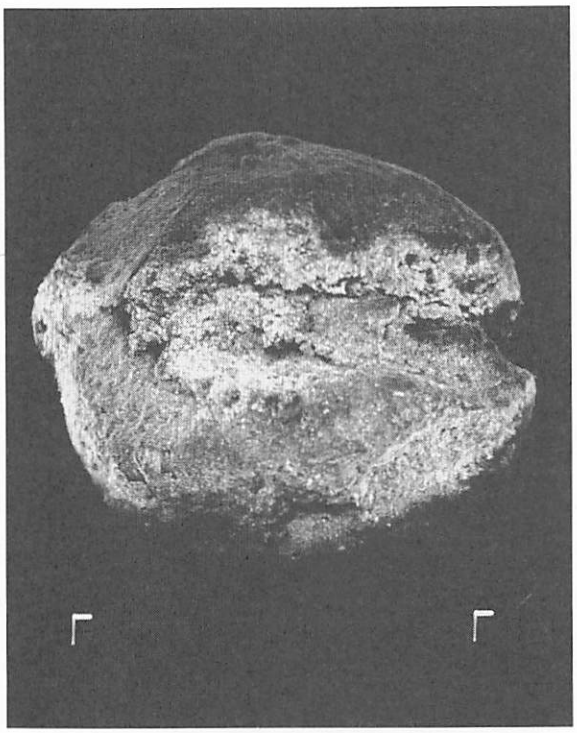
Crawford G.　1983：『Pareoethnobotany of the Kameda peninsula Jomon.』Museum of Anthropology, University of Michigan, No. 73, Ann Arbor, USA

Yabuno T.　1962：Cytotaxonomic studies on the two cultivated species and the wild relatives in the genus *Echinochloa*. Cytologia 27, pp. 296-305

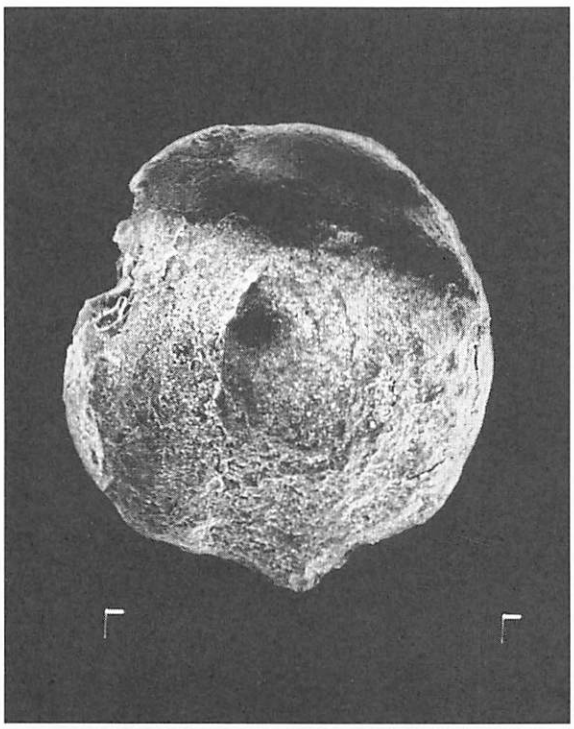
写真　中野Ｂ遺跡出土ヒエ属種子



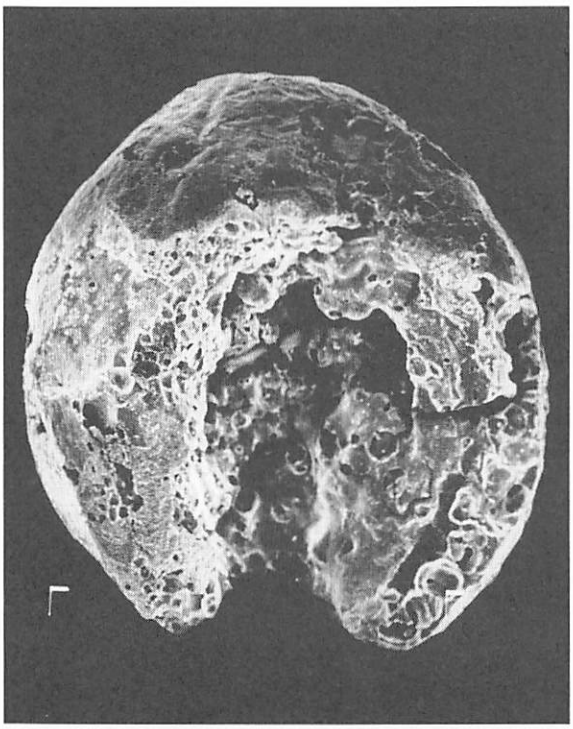
ヒエ属 *Echinochloa* Beauv.
長さ1.30㎜，幅1.10㎜，厚さ0.60㎜
H530床面直上から出土



ヒエ属*Echinochloa* Beauv.
長さ1.30㎜，幅1.10㎜，厚さ0.60㎜
H530床面直上から出土



ヒエ属 *Echinochloa* Beauv.
長さ1.25㎜，幅1.10㎜，厚さ0.60㎜
P263から出土



ヒエ属 *Echinochloa* Beauv.
長さ1.50㎜，幅1.35㎜，厚さ0.65㎜
P287覆土上層から出土

付記　中野Ｂ遺跡出土のヒエ属種子に関して

平成７年度に、遺構内の土壌を採取し、炭化種子および微細遺物の検出を目的として、フローテーション選別（水洗選別）を行った。その結果炭化種子が検出された遺構を、Ⅴ章５の表１に示してある。住居跡では、16軒の床面直上、炉跡とその周辺、柱穴（HP）内などの土壌を対象とした。土壙では、Ｄ地区のフラスコ状ピット９基（Ｐ－263・265・269・271・273・279・281・282・287）の覆土下部の黒色土と覆土中の炭化物を多く含む層、正確不明の土壙３基（Ｐ－272・280・285）の覆土下部、土壙内の土器内部の土壌（Ｐ－278）について実施した。またＴピットは、Ｄ地区４基（Ｔ－169・170・177・185）、Ｆ地区２基（Ｔ－194・195）の最下層の土壌を採取した。

検出した種子の同定を静修学園北海道環境文化センターに依頼したところ、次に述べるように、住居跡Ｈ－530の床面直上と小型のフラスコ状ピットであるＰ－263・273・279・287の５遺構からヒエ属の炭化種子が計８粒確認された。なお、平成４年度に調査したＨ－45とＨ－47からもヒエ属種子が各１点検出されている（道埋文　1996a）。Ｈ－45はⅠ群Ｄ1類期、Ｈ－47はⅠ群Ｅ類期の住居跡である。

ここでは、ヒエ属出土遺構について調査者の所見に基づいて述べ、中野Ｂ遺跡での出土状況についてまとめておきたい。

Ｈ-530第14区（覆土４層上面）床面直上：本竪穴住居跡は、Ⅲｂ層中で検出されたもので、Ｈ-572・Ｈ-597を切って構築されている。本資料は、住居跡床面直上の土壌を１ｍごとの小グリッドに区切って採取したものの一つ、第14区から検出されたものである。この区画は、住居跡中央より南西側、南壁際中央の焼土よりみると北西側にあたる。この土壌サンプルに相当する覆土４層上面では、土器片が水平状態で一括出土しており、調査者は、この面に一時期生活面があった可能性を推測している。遺物は平成８年度報告分のため、現在整理途中で、その時期などについて現在言及することはできない。

Ｐ-263（覆土２層）：Ｈ-465の床面で検出されたフラスコ状ピット。Ｈ-465の焼土を切って構築されており、住居跡より新しいと調査者は推定している。土壙覆土上層より住吉町式土器が出土しており、住居跡からも住吉町式土器が出土している。本土壙も住吉町式期の範疇に入るものと思われる。壁の崩落後、土壙底面に堆積した覆土２層に炭化物が多く含まれており、本資料は同層からサンプリングしたものである。

Ｐ-273（覆土４層）：Ｈ-456の床面・壁で検出されたフラスコ状ピット。土壙の覆土から僅かに住吉町式土器片が出土している。他の事例からこの土壙は住居跡より新しい可能性が強い。住居跡は、住吉町式期に当たる。本資料は、土壙最下部の覆土４層からサンプリングしたものである。調査者によれば、軽石・黄色土が混じるとされているが、土層堆積状況からするとこの層は限りなく使用時に近いと思われる。

Ｐ-279（覆土６層）：Ｈ-459床・壁面、Ｐ-277・Ｐ-276壙底で検出されたフラスコ状ピット。Ｐ-277・Ｐ-276より古く、明確ではないがＨ-459よりも新しいものと調査者は推定している。本資料は、土壙最下部に堆積した覆土６層からサンプリングされたものである。最も新しいＰ-276からは根崎式土器、次に新しいＰ-277からは住吉町式土器が出土しており、両土壙構築時には本土壙は完全に埋没していたこと、住居跡から住吉町式土器が出土していることから、住吉町式期の土壙と考えられる。

Ｐ-287（覆土１層）：Ｈ-550の柱穴HP-2に重複しており、これを半裁した際に検出したフラスコ状ピット。本土壙の覆土は非常に堅く、本土壙が完全に埋没した後、Ｈ-550が構築されたものと調査者

は考えている。本資料は、土壙上部に堆積した覆土１層からサンプリングしたものである。本土壙底面・H-550から住吉町式土器が出土していることから、本資料も該期に属するものと思われる。

以上のように全ての資料が出土した遺構は、住吉町式期に当たるものと考えられる。P-273は、壙底直上に水平堆積した薄い覆土からの出土であり、遺構と直接関連性を有する可能性がある。しかし、土壙からの出土の場合炭化して出土した意味はつかみずらい。また、他の土壙の場合、覆土からの出土のため、廃棄によるものなのか、流れ込みによるものなのかはっきりすることはできない。覆土からの土器・石器の出土状況からのみ考えれば、無機質道具の廃棄場であったとはみられない。

H-530については床面土壌からの出土であり、住居内での利用に伴い偶発的に火を受けたものと考えることができる。

これらのヒエ属種子の出土状況を箇条書で示すと、次のようになる。

1　炭化している
2　遺構から出土している
3　内外穎がとれた穎果の状態である
4　ほかの炭化種子が同遺構から検出されている
5　ほかの「雑草性植物」種子は検出されていない

１で挙げた状態については、もう言いつくされたことであるが、乾燥地の遺跡においてほとんど唯一植物遺体が遺存する条件である。また、低湿部からの資料と異なり、遺跡の生活域から検出できるため、人間と直接関係した可能性が非常に高い資料とも言える。特にそれが可食植物に限られるのであればなおさらである。火を受け、炭化するには、直接火にかざされずに徐々に熱せられる必要があり、火の近くに散乱したものが偶然熱せられた場合遺存したものと見られる。また、吉崎（1991）によれば、実験的にヒエの種子を加熱した場合、その変化は一定限界を越すと加速的に起こる性質を有する。よって、一定限界以下の温度で被熱した結果、炭化して残る種子の形態は自然状態と大きく異なるものではない。つまり、同定にはほとんど問題とはならない。

２に関しては、１との関わりの中で述べられるものであろう。即ち、ただ炭化しているからといって、野火によるものや人間が意図的に伐採した植物を焼き払った際に形成された可能性があるからである。住居跡床面から出土すれば、その種子は少なくとも住居使用時に屋内に持ちこまれていたことが想定できるし、遺構覆土から出土すれば廃棄物の一つとして混入した可能性がある。すなわち、人間の関与を肯定できる資料といえるのである。ただ、覆土からの出土の場合、包含層での炭化種子の状況と比較した上で考える必要があろう（中野Ｂ遺跡では行われていない）。

３を説明するにはヒエ属種子の構造を述べる必要がある。種子自体は、穎果とそれを包む穎に大きく大別される。穎は包穎・外穎・内穎があり、穎果を包んでいる。つまりここで挙げたのは、揚かれて穎が取り除かれた穎果だけの状態で、食用に供するための最終工程を経た状態であることを示す。この状態は自然の状態ではありえず、炭化した場合も未処理であれば内外穎を残して出土する。つまり、人間によって食用に供する処理が施された個体を示していることになる。

４で挙げたヒエ以外に検出された炭化種子には、クルミ属・キハダ属・ミズキ属が多くあり、ほかにタデ属、キイチゴ属、マタタビ属、ニワトコ属、ガマズミ属、ウルシ属、ブドウ属、ナス科も確認されている。これらはほとんどすべて可食植物の種子であり、これらとともに検出されたということは、ヒエ属種子も食用としていた可能性が強くなる。

また、一時期古いとみられる中野Ａ遺跡では、キハダ属、ミズキ属、クルミ属が確認されただけであった。更に、本遺跡においてはＩ群Ｄ類の時期の遺構よりＩ群Ｅ類の方が種類・出土量とも相対的

に多くなっていることが既に指摘されている(倉橋　1996)。検出された炭化種子からのみの見解ではあるが、早期中葉に植物利用が多様化していった可能性として興味深い事実ではある。山田悟郎(1993)によれば、早期末の深川市納内6丁目付近遺跡でその後の遺跡から出土する果実のほとんどが出そろうが、それ以前はミズナラ・キハダ・エゾニワトコ・マメ科がわずかな遺跡から1種か2種確認されているに過ぎない状況が示されている。このことからも、先の事実は強調できるのではないか。

5で挙げた、「雑草性植物」はイヌビエ同様攪乱環境に適応した種が多い。すでに吉崎（1991）は、縄文時代遺跡から出土する雑草種子の内、イネ科種子はほとんど決まってヒエ属種子であると述べている。さらに、このような種子の偏りが人間の意思の反映であった可能性を指摘している。この傾向は、中野B遺跡においても同様で、プラントオパールではササ属、キビ亜科(エノコログサ)、イチゴツナギ亜科（ウシノケグサ、イチゴツナギ、ノガリヤスなど）が多く確認されているが(註)、種子は検出されていない。積極的にこの事実を解釈するならば、人間がヒエ属を選択的に利用した結果と考えることができる。2で挙げた炭化の原因についても、野火など自然の営為によるものとも考えにくい。

最後に、これらの資料がより新しいものが混入したものではないことについても検討しておきたい。この問題に関して、まずあげられるのが数が出ているという点であろう。そして、共伴した炭化クルミの^{14}C年代も補正された暦年代でB.C.6640～7035（geo4521～4528.beta101797～101804）とでており、問題はない。また、何より遺構床面から検出された事実もこれを裏付けるものと考える。さきに挙げた通り、炭化しており、可食植物種子と共伴しており、偏った種子のみの検出という事実がさらにこれを補強している。念のため、種子自体を年代測定する案も検討している。

以上のような状況から、縄文時代早期において「ヒエ属」が初めて検出されたということだけでなく、当時から穀類が採集され、利用されていた状況を僅かながら確認することができるのではなかろうか。それに続き、縄文時代に独自に発達した植物のドメスティケーションに雑穀が加わる可能性が濃厚となり、形態的に栽培化を示していない他の人里植物との関係など議論されるべき問題点は多い。

（越田賢一郎・福井　淳一）

註.　中野B遺跡で行われたプラントオパール分析は、焼土層か火山灰かはっきりしない赤褐色の焼土様土壌P.D.3の起源を明らかにするためと、住居床面・土壙覆土を、その構築時、あるいはその後搬入された植物と遺跡周辺の植生環境を明らかにすることを目的として行われた。よって、生活面とその前後のプラントオパールの消長は分析されていない。

表1　ヒエ属種子出土遺構一覧

出土遺構	数量	出土位置	調査年度	備　　考
H-45	1	床面	平成4年度	
H-47	1	床面	平成4年度	
H-530	2	床面直上	平成7年度	^{14}C年代　7980±110B.P.
P-263	1	覆土	平成7年度	
P-273	1	覆土最下部	平成7年度	
P-279	1	覆土最下部	平成7年度	
P-287	3	覆土	平成7年度	

引用・参考文献

吉崎昌一　1991：「フゴッペ貝塚から出土した植物遺体とヒエ属種子についての諸問題」『余市町フゴッペ貝塚』㈶北海道埋蔵文化財センター調査報告書第72集

山田悟郎　1993：「北海道の遺跡から出土した植物遺体について－堅果類を中心として－」『古代文化』第45巻４号

倉橋直孝　1996：「北海道・中野Ｂ遺跡から検出された縄文時代早期の植物種子　付記」『函館市中野Ｂ遺跡』㈶北海道埋蔵文化財センター

VI まとめ

平成7年度調査で発見された遺構は、竪穴住居跡102軒、土壙48基、Tピット84基、焼土1ヵ所である。防空壕跡も1軒確認されている。このうちE地区では土壙が12基、Tピットが23基、F地区ではTピットが39基発見されているが、他はすべてD地区で発見されたものである。出土した遺物は、土器が60,057点、石器等46,426点で、この中には土器片錘や両端抉入石器、環状石斧など特徴的遺物が出土している。これらの大半はD地区で出土したものである。以下、遺構（D地区）、遺物について、平成7年度の調査で明らかになった幾つかの事柄について整理し、まとめとする。

1 遺　構

調査区はほぼ北東から南西へゆるやかに傾斜する地形で、遺構は調査区の周縁部と中央部付近にまとまっている傾向がみられる。平成4・5・6年度調査結果と同様に、遺構は幾つも重複し、居住が繰り返されていたことを示している。竪穴住居跡では、H－464・469・480・515の4軒が住居跡どうし重複していないだけである（H－531は東側周辺が未調査区であるため重複関係は不明である）。逆に重複が著しいのはH－405とH－454である。H－405は6軒と、H－454は9軒の住居跡とそれぞれ直接重複している。H－405周辺では、古い住居跡の大半を壊し、ほとんど重なり合うようにして新しい住居を構築しているようすがうかがえる。土壙では、平面形が楕円形状で掘り込みの浅いものとフラスコ状ピットがあり、前者には石皿や一括土器が覆土中から出土しているものもあるが、土壙墓と確定できるものは発見されていない。この竪穴住居跡や土壙は伴出土器や重複関係などから見て、すべてI群D1類土器を伴う縄文時代早期中葉の時期のものである。Tピットはこれまでと同様に、竪穴住居跡を切って構築されており、またP.D.3が覆土上に堆積していることなどから考え、住居跡より若干新しく、住居跡が廃棄された後につくられたものであろう。以下に、平成7年度調査で新たに確認された事柄について、簡単にまとめておく。

①H－462について：H－462は規模（3.70m）×（3.40m）、深さ（0.52m）の隅丸方形状の竪穴住居跡である。壁、とくに北側の壁はV層を深く、垂直的に掘り込んでおり、これまで見られた竪穴住居跡の壁とは趣きを異にしている。過年度および7年度調査で発見された他の住居跡は深さ0.3～0.5mで概して浅いものが多く、しかも壁の立上りはゆるやかな傾斜のものが大半を占めていた。これらに比べ、H－462の壁は深く、床面との境界も明瞭で、床面からほぼ垂直に立ち上がっている。恐らく構築時に近い状態を保っていたものと思われ、本来の竪穴住居跡の壁はこのようなものであったことを示しているものと思われる。

②竪穴住居跡の張り出し部について：H－405・481・486・488・490ではほぼ1.0m×0.6m、段状の底を有する張り出し部が検出されている。平成4年度のH－45、H－141でもそれに近いものが検出されているが、平成7年度検出のものは明確な段状をもつ張り出し部である。H－486では二段になっており、他のもの同様、底は固くなっている。またこの張り出し部に対応すると思われる杭状の小ピットが床面および段の両脇に検出されている。張り出し部は住居跡のコーナー付近あるいはそれに近いところにつくられている。この張り出し部の性格については、はっきりしない。ただ段状であること、底は固く、それに伴う小ピットが検出されていることなどから考えると、出入口の可能性も考えられる。しかしながら張り出し部が発見された住居跡が5軒に過ぎず、断言はできない。

③炉跡とそれに伴う小ピットについて：平成4・5・6年度調査で焼土などを伴う竪穴住居跡は57軒

発見されている。平成7年度の調査では9軒である。過年度および7年度のH－405・465・467は焼土あるいは火熱を受けて赤色化した所謂(いわゆる)地床炉である。ところがH－73・408・410・519では浅い掘り込みをもつ炉跡が検出されている。一辺1m前後の方形状で、深さ0.1m前後の浅いものである。とくにH－408の炉跡周辺は踏み固められたように固く、少し盛り上がり、凸凹が著しい状態である。またこの炉跡の四隅で、径0.05m前後、深さ0.10m前後の浅い小さな杭状の小ピットが検出された。H－410の炉跡でも同じような小ピットが検出されている。炉の周囲で、火を利用するための構築物がつくられていたことを思わせるものである。

④柱を固定した石器について：H－465のHP－18、H－469のHP－4では、柱を固定するのに用いられたと思われる石器が柱穴の掘り方で検出された。ともに細長いすり石が用いられており、掘り方中ほどに垂直に、壁に張り付くような出土状態であった。しかも掘り方の土は固く、突き固めたようである。この掘り方から判断すると、柱の太さは径約0.10mの円柱状で、先端部は尖がって、杭状のものである。

⑤フラスコ状ピットの掘り込み面について：発見された16基のフラスコ状ピットは、すべて径0.5m前後、深さ0.5～0.7mの小型のものである。平成4・5・6年度でも同様のフラスコ状ピットが発見されているが、掘り込み面は確認できなかった。ただ覆土中出土の土器片から、平成4・5年度の小型のものはⅠ群D1類、平成6年度の大型のものはⅠ群D2類土器をそれぞれ伴う時期のものとしてきた。ところで今回P－282で掘り込み面を確認することができた。H－524調査中、土層観察用に設定した土手にP－282の西側半分がかかり、この土手断面を精査した結果、H－524の覆土中層付近から掘り込まれていることが判明した。またP－287はH－550の床面で検出したものであるが、これはP－287が埋まった後にH－550が構築されたものであることが明らかとなった。これはH－550のHP－2がP－287の覆土を掘り込んでつくられており、しかもP－287の覆土が踏み固められたように非常に固くしまっていたことから明らかになったものである。この二例は、フラスコ状ピットと竪穴住居跡との構築関係を示したものとして注目される。これら小型のフラスコ状ピットは覆土の堆積状態、出土遺物などから見て、Ⅰ群D1類土器を伴う時期の範囲内に収まるものと思われる。

⑥盛土あるいは整地について：調査区の南側、ほぼ47－34と40－32を結ぶ線の南側付近で（最終面の標高44.00～45.20m）のⅢb層中で、遺物を多量に混入する灰褐色土が5～10cmほど堆積していた。この灰褐色土中出土の土器片との接合関係を見ると、H－410覆土1層＋H－450覆土1層＋(46－32)、H－450覆土2層＋H－473覆土1層＋(42－32)、H－496覆土1層＋H－519覆土1層＋(46－32)、P－285覆土＋H－496覆土1層＋H－451覆土1層＋H－519覆土1層＋(46－32) という関係が見られる。この灰褐色土は黄色土＋Ⅲb層＋覆土状の土の混合土である。これに接合関係や地形（この周辺はやや低地になっている）などを考え合わせると、H－410周辺、H－461～H－519周辺の土がこの南側低地部分に移動されたのではないかと推測される。盛土という大げさなものでないにしても、整地する意識のもとに土の移動が行われたのではないだろうか。

以上6点について概略を記した。平成7年度調査で発見された竪穴住居跡、土壙はすべてⅠ群D1類土器を伴う時期のものである。重複関係などから集落の変遷があったことは明らかであるが、おおよその変遷についても把握することはできなかった。ただ上記の灰褐色土の堆積状況から、若干の新旧関係を推測することができた。（イ）灰褐色土が掘り込み面上にのっているもの：H－450、（ロ）覆土上全体に堆積しているもの：H－460・472・502・504、（ハ）覆土の壁際に堆積しているもの：H－466・468、（ニ）灰褐色土を切って構築されているもの：H－462・480。これは（イ）が古く、（ニ）が新しい竪穴住居跡であることを示している。　　（和泉田　毅）

2 土　器

（1）遺構の切り合い関係と遺物出土層位からみた土器変遷

平成7年度調査のD地区からまとまりを持って出土し、復元できた土器の個体数は179個である。そのうち包含層からは32個体、遺構からは136個体が検出された。分類ごとの内訳はⅠ群D1類A種（以下「Ⅰ群」を省略する。）は107個体、D1類B種は17個体、D2類が6個体、E類は6個体で、複数の復元個体を伴う遺構は34例（図Ⅵ－1）である。34例での出土状況は、次の一覧表（表Ⅵ－1～3）に示した。これらのうち、遺構の床面から遺物が検出されたのは5例である。なお、H－460では竪穴の壁にてD1類A種が1個体と、土壙・Tピットより10個体検出されたが、層位が不確実なため表には含めなかった。

H－73ではD1類A種が3個体検出されている。これらはD1類A種の一括土器としてみてよい。H－156からはD1類A種で、胴部に条痕で斜格子目文が施されたものが1個体検出されている。H－410はD1類A種が4個体検出されるが、これらも一括土器としてみてよい。H－454からはD2類が1個体、D1類A種が2個体検出されるが、遺構の切り合い関係からみてもD1類A種の竪穴住居からは省きたい。H－454はD2類期に属するものであろう。H－471からはD1類A種が1個体検出されている。

上記のうち、H－454を除いた4例がD1類A種のみ纏まって検出され、D1類A期の竪穴住居であると考えられる。H－454からは下層でD2類が検出されているが、H－497及び包含層出土土器と接合し、上層でE類が検出される。H－454の周辺遺構からは、H－542でも同じく覆土の上層でE類が検出されることから、竪穴の落ち込みにD2類・E類が流れ込んだ可能性がある。

次に複数の復元個体を伴い、互いに重複関係を持つ遺構から、土器の変遷をおいかけてみたい。重複関係のわかるものは次の15例である。この切り合い関係と出土層位を、土器分類別に比較した（表Ⅵ－1～3）。

事例1）H－450⇨H－472：両遺構とも覆土1・2層からD1類A・B種が検出され、明確な時間差は考えられない。H－472の覆土3層からはD1類A種が出土しており、H－472に切られるH－450もそれ以前のもので、両遺構ともD1類期に属すと推定される。

事例2）H－466⇨H－462：両遺構とも覆土1・2・3層から土器が出土しており、H－466ではD1類A種のみ検出される。H－462では覆土3層中でD1類に混ざりD2類が検出されている。D2類期のH－462がD1類期のH－466を切っている。切り合い関係から、D1類⇨D2類の変遷となる。

事例3）H－518⇨H－496⇨H－451：H－518では覆土1層でD2類、H－496では覆土2層でD1類A種、H－451では覆土3層でD1類A種がそれぞれ検出された。H－518のD2類は、出土位置が覆土1層と浅いため廃棄後の落ち込みに混入したと考えたい。

事例4）H－156⇨H－451：H－156でD1類A種が床面で確認され、H－451では覆土3層でD1類A種が検出されている。両遺構ともD1類期に属すと推定される。

事例5）H－519⇨H－73：H－519の覆土1層でD1類A種が、H－73では床面でD1類A種が3個体検出され、覆土2・3層と床面直上でD1類B種が混入する。両遺構ともD1類期に属すと推定される。

事例6）H－519⇨H－455：両遺構の覆土1層でD1類A種が検出され、ともにD1類期に属すと推定される。

事例7）H－522⇨H－457：H－522の覆土1層でD1類A種が検出された。H－457では床面直上でD1類A種が2個体検出されており、D1類A種期に属するものと考えられる。廃棄後の落ち込みに堆積したⅢ層から、E類が検出されている。層位的にもE類が上層で出土しているので、D1類⇨E類の

変遷となる。

事例8）H－535⇨H－491⇨H－457：D1類A種が各遺構の床面直上で検出され、共にD1類期に属すと推定される。E類がもっとも新しいH－457上面から検出されており、D1類⇨E類の変遷となる。

事例9）H－535⇨H－493⇨H－454：H－535は床面直上でD1類A種が検出され、それを切るH－493・454では床面直上・床面でD2類が検出される。H－493・454は共にD2類期の遺構と考えたい。重複関係からD1類⇨D2類の変遷となる。H－454は覆土上層でE類が出土しているが、E類の出土位置は浅く住居廃棄後に混入したと考えたい。

事例10）H－474⇨H－467⇨H－405：H－474の覆土3層でD1類A種が、H－467でもD1類A種のみ検出され、両遺構共にD1類期に属すものである。H－405では覆土上層でD1類A・B種とE類が混ざって検出されており、E類期に落ち込みに流れ込んだか、落ち込みを2次利用したものと考えられる。D1類⇨E類の変遷となる。

事例11）H－461⇨H－473⇨H－467⇨H－405：H－461は覆土1層でD1類A・B種が、H－473からはD1類A種のみ、H－467からD1類A種がそれぞれ検出される。これら3遺構はD1類期に属すものと考えて良いだろう。H－405からはE類を含めて各期の土器が覆土上層から検出されており、落ち込みに流れ込んだと考えられる。若干E類がD1類の上層から出土している。

事例12）H－408⇨H－406：両遺構でD1類A種が検出されており、共にD1類期に属すものである。H－408では覆土4層でD1類A種が、覆土2層でD1類B種が検出されている。

事例13）H－471⇨H－406：H－471の床面でD1類A種が、H－406では覆土上層でD1類A種が検出されており、共にD1類期に属すと推定される。

事例14）H－475⇨H－410：H－475の覆土上層でD1類A種が、H－410では床面でD1類A種が検出されており、両遺構ともにD1類期に属すものである。H－410の覆土上層では、1個体のみであるがD2類が出土している。出土位置が浅いため落ち込みに混入したと考えたい。

事例15）H－34⇨H－410：H－34の覆土3層でD1類が1点出土している。H－410では床面でD1類A種が4個体まとまって検出されており、D1類期に属すものである。覆土1層でD2類が検出されているが、前述の事例同様、混入したと考えたい。

以上、重複関係と出土層位から見て、次の点が指摘される。

①D1類A種とD1類B種の関係

D1類A種が床面で単独に検出される場合が多く、床面でD1類B種が共伴する例はみられない。またD1類B種が単独で床面から出土する例もみられず、層位的には上位で検出されている。D1類A・B種は覆土の中層でとらえられることが多い。覆土中層の遺物は新しい竪穴の構築や、廃棄行為によって、落ち込みに堆積したものと考えられ、土器のセットとしてとらえるには疑問が残る。しかし、現段階ではD1類A種とD1類B種を完全に分離して考えることはできず、D1類A種がやや先行する可能性があることを指摘するにとどめたい。

②D1類とD2類の関係

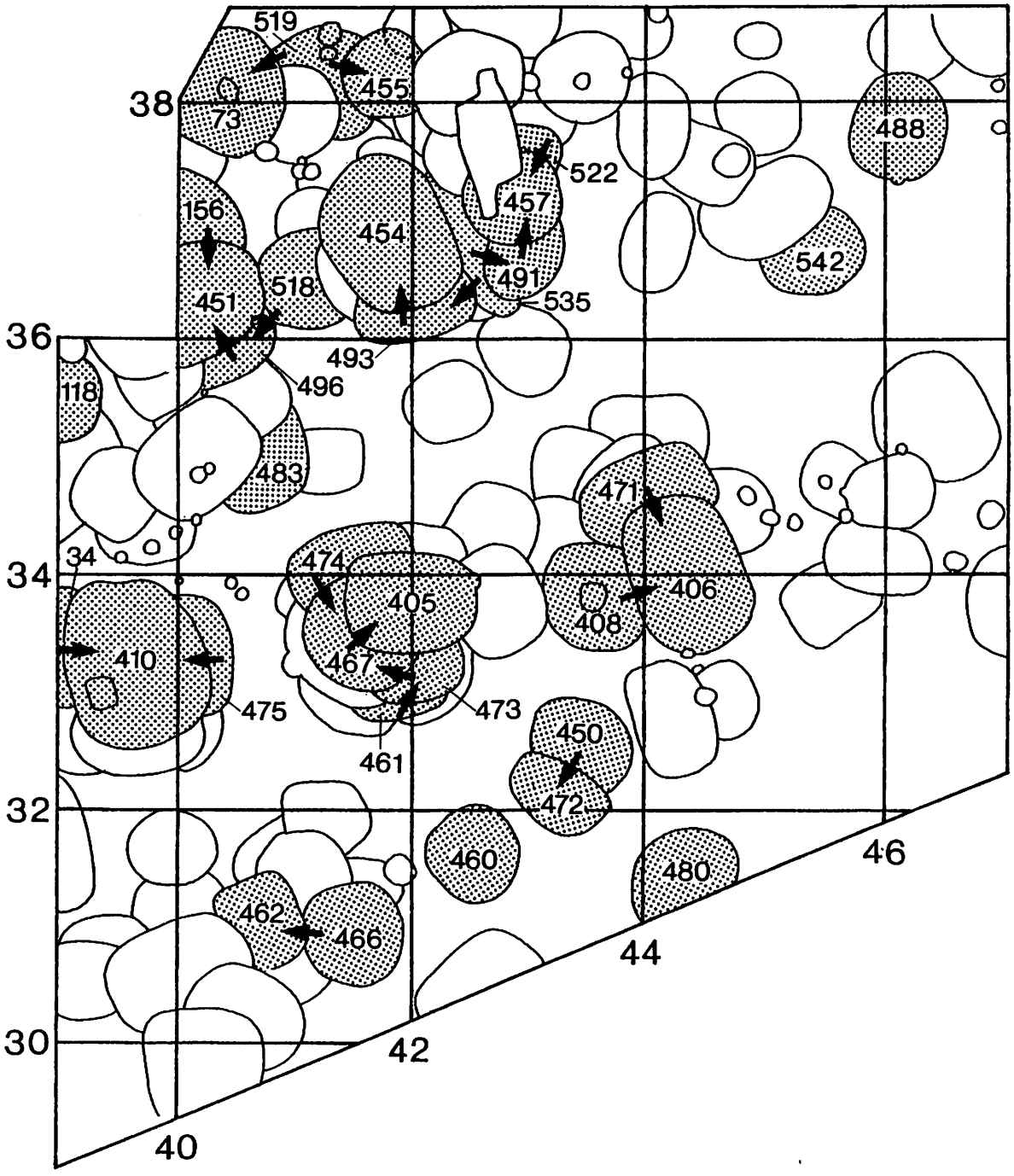
D2類は事例9から見て、D1類に後続する。覆土でD1類に混入して確認される例が多いことや、事例14など僅かではあるが、上層で出土する傾向がみられる。

③E類の位置付け

E類は覆土の最上層や事例7のようにIII層中から検出される。事例9のH－454ではD2類の上層で出土しており、D1類⇨D2類⇨E類の変遷でとらえることができる。H－454の覆土上層でE類が検出され、調査区を全体的にみてもE類は上層で検出されている。層位的にはD1類⇨D2類⇨E類の変遷

に矛盾するものはない。

中野B遺跡では、床面で遺物が検出される遺構がほとんどなく、単純に遺構の切り合いから土器の新旧を検討することは出来ない。平成8年度調査も含め遺跡全体での遺構の切り合い、層位、平面的遺物分布とを比較し、今後検討を加えていきたい。現在までの出土状況からは、土器の変遷はD1類⇨D2類⇨E類の流れで捉えることが自然である。



図VI－1　復元土器検出遺構と切り合い関係

表Ⅵ－1　遺構の切り合い関係と復元土器の分類・出土層位（1）

No.事例	遺構名	Ⅲ　層	覆　土　1	覆　土　2	覆　土　3	覆　土　4	床　　直	床　　面
No.1	H-450			図1.D1A				
			図2.D1B					
			図3.D1A					
	↓ H-472			図1.D1A				
				図2.D1B				
					図3.D1A			
			図4.D1A					
			図5.D1A					
No.2	H-466			図1.D1A				
				図2.D1A				
			図3.D1A					
				図4.D1A				
				図5.D1A				
				図6.D1A				
				図7.D1A				
			図8.D1A					
	↓ H-462				図1.D1A			
					図2.D1A			
					図3.D1A			
					図4.D1A			
				図5.D1A				
				図6.D1A				
				図7.D2				
No.3	H-518		図1.D2					
	↓ H-496			図1.D1A				
	↓ H-451				図1.D1A			
No.4	H-156							図1.D1A
	↓ H-451				図1.D1A			
No.5	H-519		図1.D1A					
	↓ H-73						図1.D1A	
								図2.D1A
							図3.D1B	
								図4.D1A
							図5.D1A	
								図6.D1A
					図7.D1A			
					図8.D1A			
				図9.D1A				
				図10.D1B				
No.6	↓ H-519		図1.D1A					
	↓ H-455		図1.D1A					
No.7	↓ H-522		図1.D1A					
	↓ H-457						図1.D1A	
							図2.D1A	
		図3.E						

No.事例	遺構名	Ⅲ　層	覆　土　1	覆　土　2	覆　土　3	覆　土　4	床　　直	床　　面
No.8	H-535						図1.D1A	
	↓ H-491						図1.D1A	
							図2.D1A	
					図3.D1A			
					図4.D1A			
	↓ H-457						図1.D1A	
							図2.D1A	
		図3.E						
No.9	H-535						図1.D1A	
	↓ H-493						図1.D2	
	↓ H-454							図1.D1A
								図2.D1A
								図3.D2
				図4.D1A				
				図5.D1A				
				図6.D1B				
				図7.D1A				
				図8.D1A				
				図9.D1A				
				図10.D1A				
			図11.D1A					
			図12.D1A					
		図13.E						
		図14.E						
No.10	↓ H-474				図1.D1A			
				図1.D1A				
				図2.D1A				
				図3.D1A				
		図4.D1A						
	↓ H-405			図1.D1A				
				図2.D1A				
				図3.D1A				
			図4.D1A					
			図5.D1B					
			図6.D1A					
			図7.D1A					
				図8.D1A				
			図9.E					
			図10.E					

表の読み方

		浅い←		→深い
	No.事例	遺構名	Ⅲ　層	覆　土　1	床　　面
	No.1	H-450			図1.D1A →
		↓ H-472			↓
↓新しい		新旧関係			図示番号

遺物分類記号

分類記号

D1A＝D1類A種
D1B＝D1類B種
D2　＝D2類
E　＝E類

表Ⅵ－2　遺構の切り合い関係と復元土器の分類・出土層位（2）

No事例	遺構名	Ⅲ　層	覆土1	覆土2	覆土3	覆土4	床　直	床　面
No11	H-461		図1.D1B					
			図2.D1A					
	↓ H-473					図1.D1A		
					図2.D1A			
					図3.D1A			
					図4.D1A			
					図5.D1A			
			図6.D1A					
	↓ H-467			図1.D1A				
				図2.D1A				
				図3.D1A				
		図4.D1A						
	↓ H-405			図1.D1A				
				図2.D1A				
				図3.D1A				
			図4.D1A					
			図5.D1B					
			図6.D1A					
			図7.D1A					
				図8.D1A				
			図9.E					
			図10.E					
No12	H-408					図1.D1A		
					図2.D1A			
					図3.D1A			
					図4.D1A			
					図5.D1A			
				図6.D1A				
				図7.D1A				
				図8.D1B				
	↓ H-406		図1.D1A					
		図2.D1A						
No13	H-471							図1.D1A
	↓ H-406		図1.D1A					
		図2.D1A						
No14	H-475			図1.D1A				
			図2.D1A					
	↓ H-410							図1.D1A
								図2.D1A
								図3.D1A
								図4.D1A
				図5.D1A				
				図6.D1A				
				図7.D1A				
				図8.D1A				

No事例	遺構名	Ⅲ　層	覆土1	覆土2	覆土3	覆土4	床　直	床　面
	↓ H-410			図9.D1A				
				図10.D1A				
			図11.D1A					
			図12.D1A					
			図13.D2					
			図14.D1A					
No15	H-34				図1.D1A			
	↓ H-410							図1.D1A
								図2.D1A
								図3.D1A
								図4.D1A
				図5.D1A				
				図6.D1A				
				図7.D1A				
				図8.D1A				
				図9.D1A				
				図10.D1A				
			図11.D1A					
			図12.D1A					
			図13.D2					
			図14.D1A					

表Ⅵ－3　遺構の復元土器の分類・出土層位

No事例	遺構名	Ⅲ　層	覆土1	覆土2	覆土3	覆土4	床　直	床　面
	H-118		図1.D1A					
	H-460			図1.D1B				
				図2.D1A				
				図3.D1B				
				図4.D1B				
				図5.D1A				
				図6.D1A				
				図7.D1A				
				図8.D1A				
				図9.D1A				
				図10.D2				
				図11.D1B				
				図12.D1A				
	H-480			図1.D1A				
			図2.D1B					
			図3.D1B					
			図4.D1B					
			図5.D1A					
			図6.D1A					
	H-483				図1.D1B			
	H-488		図1.D1A					
	H-542		図1.E					

（2）Ⅰ群C類土器の位置付けについて

中野B遺跡では多数のD1類期に属する遺構群が、何重にも重複して存在することから、ある程度の年代幅が予想されていた。これまでの調査で平成5・6年度調査区から、平成7年度調査区とは様相の異なるD1類が得られていた。この土器群がB類にもっとも近似し、B類の影響下に成立し後続する土器群であると考えられたが、僅かな破片資料であり、新たな一つの土器群としての実態はとらえきれないでいた。しかし、平成7年度に調査された函館市石倉貝塚進入灯地区においてこれら破片資料に類する一群の土器が出土した。報告ではD1類として扱っているが、今回、これを標式資料としてC類をあらためて設定した。この土器群の特徴について述べておきたい（図Ⅵ－4・5）。

その特徴は4山の波状口縁で、B類の波状口縁の頂部の突起を上方に摘みあげる手法を継承する。波頂部自体が大振りに成長し、波頂両脇に副突起がつくものが多い。B類の屈曲し湾曲する口縁は減少し、頸部の屈曲から直線的に外反する口縁部が顕著である。口唇部は断面が角形を呈し、上面にはナデ調整による平坦面を持つ。胴部は僅かに膨らみを持つ。底部は乳房状尖底であるが、半球の様に緩いカーブの砲弾形を呈し、乳房状突起は太い。口縁部の径と器高の比率は小さい。口唇部の文様は、B類では内面に限られていた貝殻腹縁の連続移動文が、口唇部外面にも施文される。口唇内外の端部に連続移動文が施されることにより、口唇部上面の無文部が強調される。文様帯は口縁の屈曲部から口唇部までの間に集約される。多くは並行する沈線や、連続した腹縁文が横走する単純なものである。横環する鋸歯状沈線が、文様帯の底辺を区画するものが多く見られ、文様帯内は沈線で幾何学的な文様を描き、貝殻腹縁文を充填する例が少量見られる。沈線上には貝殻腹縁が刻まれる手法（貝刻沈線文）が観察される。この手法はB類の沈線に沿って刻まれる貝殻腹縁文と関連したものである。刺突文は沈線の交点に施されるものと、横走する沈線上に連続刺突が施されるものがある。貝殻腹縁の連続波状文や、貝殻殻表の押引文を施文手法として使用する頻度は極めて少ない。胴部は無文が多く、器面にはすり消し条痕かナデ調整が施されている。胴部に殻表の背圧痕文は持たない。これらの特徴は、後述する文様要素の変遷のとおり、B類とD1類をつなぐものとして、位置付けられるものと考えられる。道内では、C類がまとまりをもって出土する遺跡が存在するので、以下例をあげる。

1)静内町駒場7遺跡（図Ⅵ－6・7；古原敏弘他　1982）

静内町駒場7遺跡出土の貝殻文尖底土器が相当する。口唇部は断面が角形のものが多く、口唇部の内外面に貝殻腹縁の連続移動文を施す。文様は沈線によって描かれ、文様を区画する沈線上に刺突文が施される。胴部は無文である。

2)函館市梁川町遺跡（図Ⅵ－8；大場利夫他　1955）

函館市梁川町遺跡出土のA類が相当する。口唇部は断面が角形。波頂の突起部が摘みあげられる。口唇部の内外面に貝殻腹縁の連続移動文が多用される。中野B遺跡・住吉町遺跡で見られる連続波状文・押引文の施文手法を含まない。胴部は無文である。

3)七飯町鳴川遺跡（図Ⅵ－9・10；高橋正勝　1967）

七飯町鳴川遺跡出土の「鳴川式」は一部にD1類を内包するが、C類にほぼ相当すると考えられる。口唇部の形状は断面角形を呈し、口唇部の内外面に貝殻腹縁の連続移動文が多用される。文様は沈線によって描かれ、沈線上に腹縁文（貝刻沈線文）が施される。連続波状文・押引文の手法はほとんど見られない。胴部は無文である。

（3）貝殻沈線文土器の文様要素の変遷

函館空港拡張整備工事に伴い中野A遺跡、中野B遺跡、石倉貝塚進入灯地区があいついで調査され、縄文時代早期の貝殻沈線文土器の多種多様な資料が検出され、おおよそ5段階に分類できる。報告書ごとにみると器形・文様が確認出来る復元個体が、中野A遺跡（I）ではB類60点、中野A遺跡（II）ではB類83点、中野B遺跡（I）ではD1類230点、D2類6点、E類112点、中野B遺跡（II）ではB類4点、D1類19点、D2類17点、石倉貝塚進入灯地区ではC類40点、中野B遺跡(III)でD1類160点、D2類9点、E類6点が出土している状況である。現在までの中野A・B遺跡の復元個体総数は746点で、内訳の総個体数はB類147点、C類40点、D1類409点（D1類A種は355点、D1類B種は54点）、D2類32点、E類118点である。E類については貝殻文が文様要素としてほぼ消滅し、絡条体圧痕文・集合沈線文・微隆起線文などの新要素が登場するので、今回は検討の対象としなかった。

ア．文様要素の変遷（図VI－2）

貝殻沈線文土器は、貝殻腹縁文、沈線文、刺突文を主体とし、文様はこれらの要素を組み合わせて構成されている。貝殻沈線文土器の中から細別される各土器型式の特徴を抽出し、型式全般に通じる要素で、変化を抽出するために貝殻沈線文土器を各文様要素から10種に細分した。この10種の組合せの中から器面をかざる主体的な文様要素の組合せの移り変わりを明確にし、文様構成に関しても考察を加えたい。

文様要素による細分は、1)沈線文、2)刺突文、3)貝殻腹縁文の3種が中心となり、それらの組み合わせにより、4)沈線文と刺突文を施すもの、5)沈線と貝殻腹縁文を施すもの、6)刺突文と貝殻腹縁文を施すもの、7)沈線文と刺突文、貝殻腹縁文を施すもので構成される。その他に8)無文、9)条痕文がある。条痕文は口縁部文様帯の構成要素に含まれないものなので、別に付け加えることにする。10)爪形文は、爪形のヘラ状工具による刻みで粘土を摘み出すもの。以上の10種に細分される。

1)沈線文を施すもの

B類は沈線が単独で施される例は極めて稀である。その理由は、沈線で文様を下書きし、沈線上に貝殻腹縁文が刻まれる例（貝刻沈線文）が多いためである。鋸歯状沈線は短く、一筆書きである。C類では沈線文が単独で施される割合が増加する。鋸歯状沈線は口縁部に沿って横環する。D1類A種では沈線文が単独で施される割合が減少し、文様は口縁部に沿って横環する例が多い。D1類B種でもほとんどこの傾向は変わらない。D2類では沈線文が区画と文様に利用される。

2)刺突文を施すもの

B類では刺突文が単独で施されることはほとんどなく、沈線文の結接点に刺突される。刺突文は器面に対して垂直に施され、円形を呈する。C類では口縁部に刺突文が単独で施される割合が増加する。刺突量の増加に伴い器面に対して徐々に斜角に施され、楕円形を呈する傾向がある。D1類A種は波状口縁では波頂部から縦位に刺突が垂下する例が多い。器面に対して刺突は斜角に施され、楕円形を呈する。数本の棒状工具を纏めて持ち一度に櫛歯状に施すものもある。D1類B種では刺突文のみが単独に施されるものは少ない。D2類では刺突文が2条一単位等の列点となり、文様の区画に利用される。刺突は斜角に器面に押しつけられ、刺突の形状は伸円形を呈する。

3)貝殻腹縁文を施すもの

B類では貝殻腹縁文が単独で施される場合はほとんどなく、沈線文があくまで文様構成の主体である。C類では腹縁文が単独で施される場合が増加し、施文具が徐々に貝殻主体に移り変わっていることがわかる。B類から継承する口唇内外の端部の装飾には連続移動文が多い。D1類A種ではC類とほとんど変わることなく維持されているが、C類で盛行した口唇両端部の連続移動文に、内外面のどち

らか片方が欠落するなど変化が起きる。D1類A種から外傾する口唇部の装飾化が進む。腹縁の連続移動文の代わりに連続波状文が施されることが多い。D1類B種では貝殻だけの単一施文具で文様を描く場合が多く、殻表を使った背圧痕文・押引文が多い。D2類では腹縁文が口唇部に施されるが、口縁部の文様を腹縁文で形成するものはない。殻表を使った押引文・押引波状文が多い。

4)沈線文と刺突文を施すもの

B類では沈線文と刺突文の組み合わせは少ない。C類は沈線の下書きの上から刺突が列点状に施される手法が盛行する。D1類A種では2本の沈線の間に刺突を施す。要所に単独に施される刺突文ではなく、刺突が連続し列点状となる。刺突列が文様帯の区画の役割を果たす。D1類B種では沈線文と刺突文で文様を構成するものは見られなかった。D2類では沈線文と刺突文の組み合わせを主体として文様帯の区画を形成している。

5)沈線文と貝殻腹縁文を施すもの

B類では貝殻腹縁文は沈線文に沿って並行に施されているものと、貝殻をねかせて殻表先端部を沈線文に沿って押しつけるもの（枕木状沈線）がある。C類では貝殻腹縁文は下書きの沈線上に垂直に刻まれる(貝刻沈線文)。また沈線で文様を描く。D1類A種では腹縁文と沈線を組み合わせて文様を描く。D1類B種ではB類の手法は見られず、C類の手法は少なくなる。D2類では沈線文と貝殻腹縁文の組み合わせは、腹縁文で文様を描かなくなるため少なくなる。

6)刺突文と貝殻腹縁文を施すもの

B類では刺突文と腹縁文の組み合わせのみで文様帯が構成されることはほとんどなく、沈線文が文様帯を作り出すことに重要な役割を果たしている。C類ではこの組み合わせは増加する傾向にあり、貝殻腹縁文が区画を描きだす役割を担い、施文具の主体が貝殻に置き変わっていく。刺突文は貝殻腹縁の交点に施され、B類の文様構成を継承している。D1類A種ではこの組み合わせは減少し、口縁部に沿って2条一単位、3条一単位の刺突列を巡らせる。D1類B種では口縁部文様帯の下限を刺突列によって胴部文様から区画する。D2類は刺突文と腹縁文の組み合わせは、腹縁文で文様を描かなくなるため少なくなる。

7)沈線文と刺突文、貝殻腹縁文を施すもの

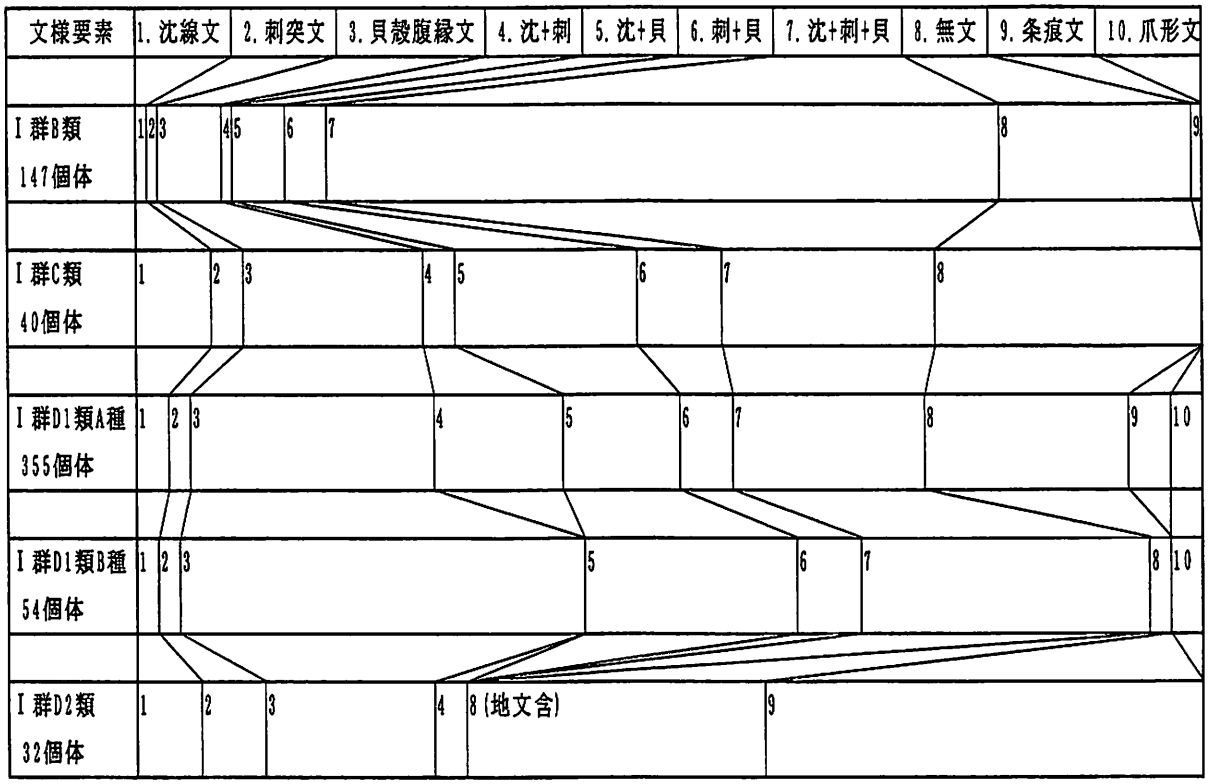
B類では最も多用される組合せで、沈線文と刺突文は区画のためにあり、貝殻腹縁文は補助的な充塡の役割を担っている。C類ではB類に比べ、この組み合わせが急激に減少する傾向にある。その内容も刺突文の役割が徐々に変化しつつあり、沈線文が単独で文様を構成するものとなる。D1類A種でも施文具としての貝殻腹縁文の占める役割が、C類に比べ大きくなっているが、文様要素の3種の組み合わせはC類と同じ割合で定着している。D1類B種では文様の中で沈線文の果たす役割は、既に主要な位置を占めず、貝殻腹縁文がより文様を描く主体的なものとなる。また、貝殻文は殻表を使用した手法が盛行し、胴部文様が発達する。D2類では沈線文と刺突文、貝殻腹縁文の組み合わせは消滅する。胴部文様の発展とともに、口縁部文様と胴部文様が一体化したものとなり、沈線や貝殻腹縁で区画する口縁部文様帯が少なくなる。ただ、D1類A種からみられる口唇部の装飾は残る。

8)無文

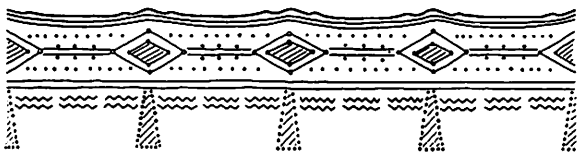
無文土器に関しては個体数に対して正確な数字が得られているのか、不明なので評価は差し控える。D2類では連続波状文、押引文などが地文として定着し、施されているものをこの分類にあてはめた。

9)条痕文

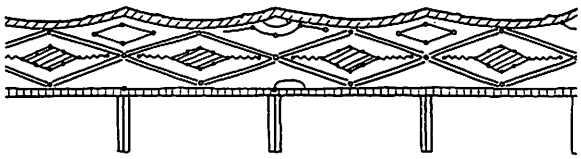
B類では横位の長い条痕で、丁寧に器面調整される。C類ではすり消し条痕文が多い。D1類では底部付近が縦位に、雑に施される。D2類にて盛行し、文様要素の40%と主体を占める。短い条痕文が斜



図Ⅵ－２　貝殻沈線文土器文様要素対比グラフ



1）Ⅰ群B類



2）Ⅰ群B類



3）Ⅰ群C類



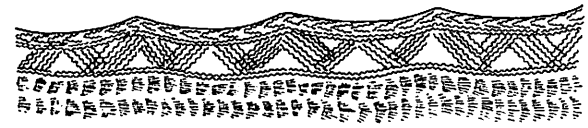
4）Ⅰ群C類



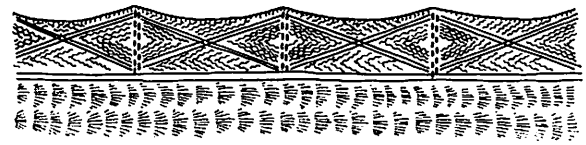
5）Ⅰ群C類



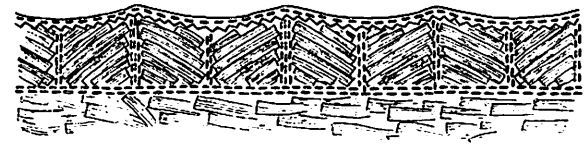
6）Ⅰ群D1類A種



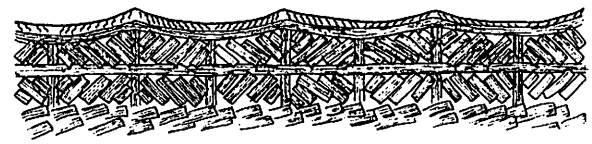
7）Ⅰ群D1類B種



8）Ⅰ群D1類B種



9）Ⅰ群D2類



10）Ⅰ群D2類

図Ⅵ－３　貝殻沈線文土器文様模式図

位に施される。

10)爪形文

爪形文は施文部位が口唇部に限定され、ヘラ状工具によって口唇部に縦位にキザミをいれ、左右に粘土を摘みあげる手法で、C類期よりみられ、D1類期に盛行する。C類の段階では指頭による摘みだしが多い。これらは上記の他の文様要素と様々に組み合わされる。この文様要素が施された土器はヘラ状工具によって器面がえぐられるため、あらかじめ口唇部が外側に肥厚する。

以上の各要素の対比から、同一要素内での、型式ごとの変化が観察される。

イ．文様構成の組み合わせと変遷（図VI－3）

手法の変化は各型式の文様の趣向に多くの影響を受けていることが理解される。文様構成のバリエーションは豊富だが、基本的に代表的ないくつかの組み合わせでまとまる。ここでは各型式ごとの文様構成の代表的なものを抽出した。

1) B類：菱形の文様構成を持つもの。口唇部上面は無文部。口唇部に沿って外面に、3条の貝刻沈線文が横環するものが多い。文様の要所に円形刺突文が加えられる。文様帯から舌状に文様が垂下する。

2) B類：菱形の文様構成を持つもの。口唇部上面は無文部。副突起は波頂部の両脇に位置する。鋸歯状沈線が器面を横環するものは少ない。

3) C類：口唇部上面は無文部。口唇部の内外面に縦位の貝殻腹縁による連続移動文が定着する。文様の要所に刺突文が加えられる。

4) C類：口唇部上面は無文部。幅狭な文様帯内に複雑な充填文様をつける。文様の要所に刺突文が加えられる。

5) C類：口唇部上面は無文部。鋸歯状の文様構成を持つものが盛行する。

6) D1類A種：口唇部が外傾し、外傾面に装飾が施される。副突起が波頂間の中心に位置するか、または消滅する。文様は貝殻腹縁文で描くものが多い。

7) D1類B種：口唇部の外傾面に装飾が施される。文様は貝殻腹縁文の羽状構成が盛行する。胴部文様が盛行する。文様は上下の区画内を鋸歯状（三角形）に貝殻腹縁文で充填するものが多い。

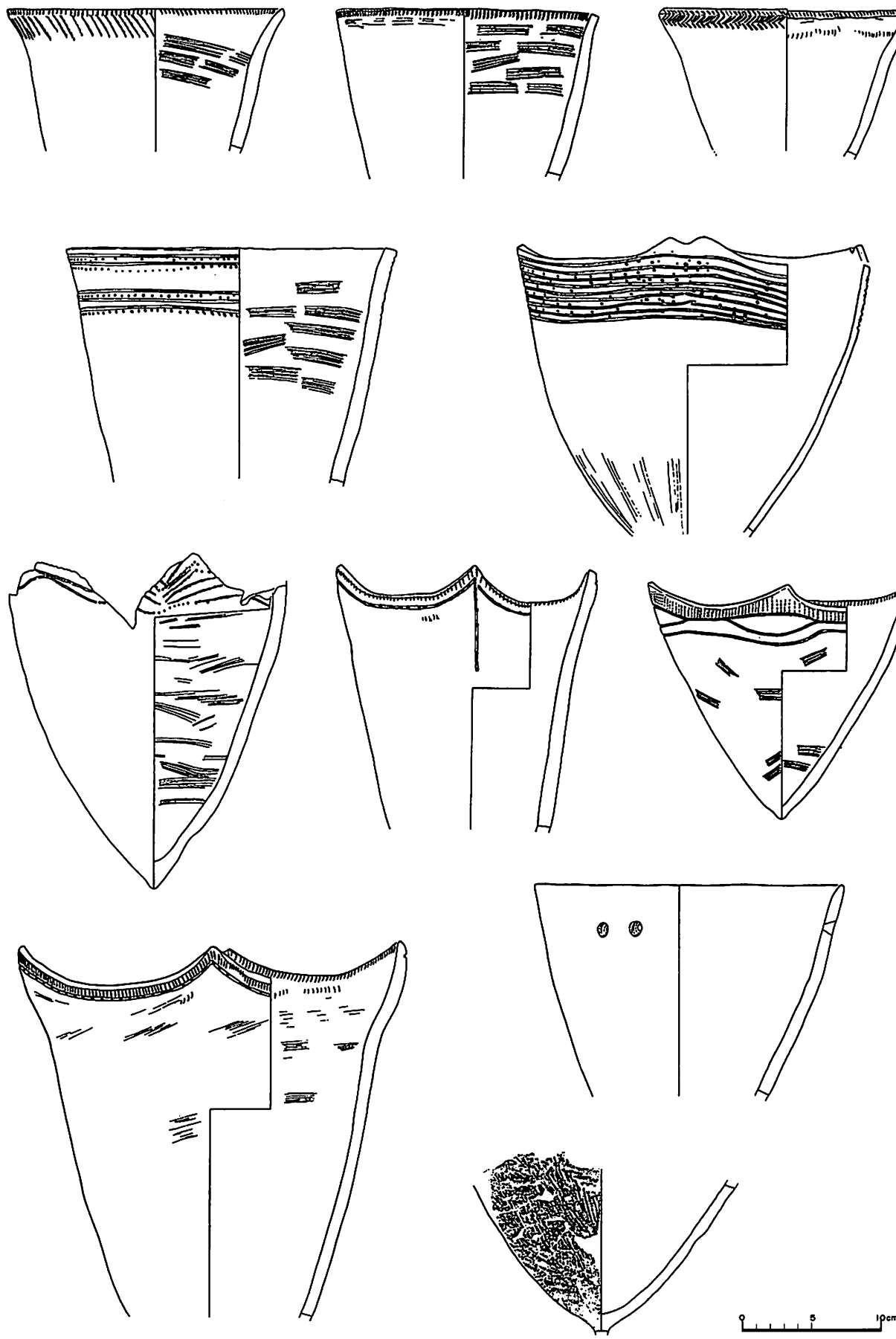
8) D1類B種：口唇部の外傾面に装飾が施される。波頂部から刺突列が垂下する。胴部文様が盛行する。腹縁文の羽状構成が組み合い、菱形に充填される。

9) D2類：口唇部の外傾面に装飾が施される。波頂部と波頂間の中心を縦軸とする綾杉状の文様構成が盛行する。胴部に地文が定着する。

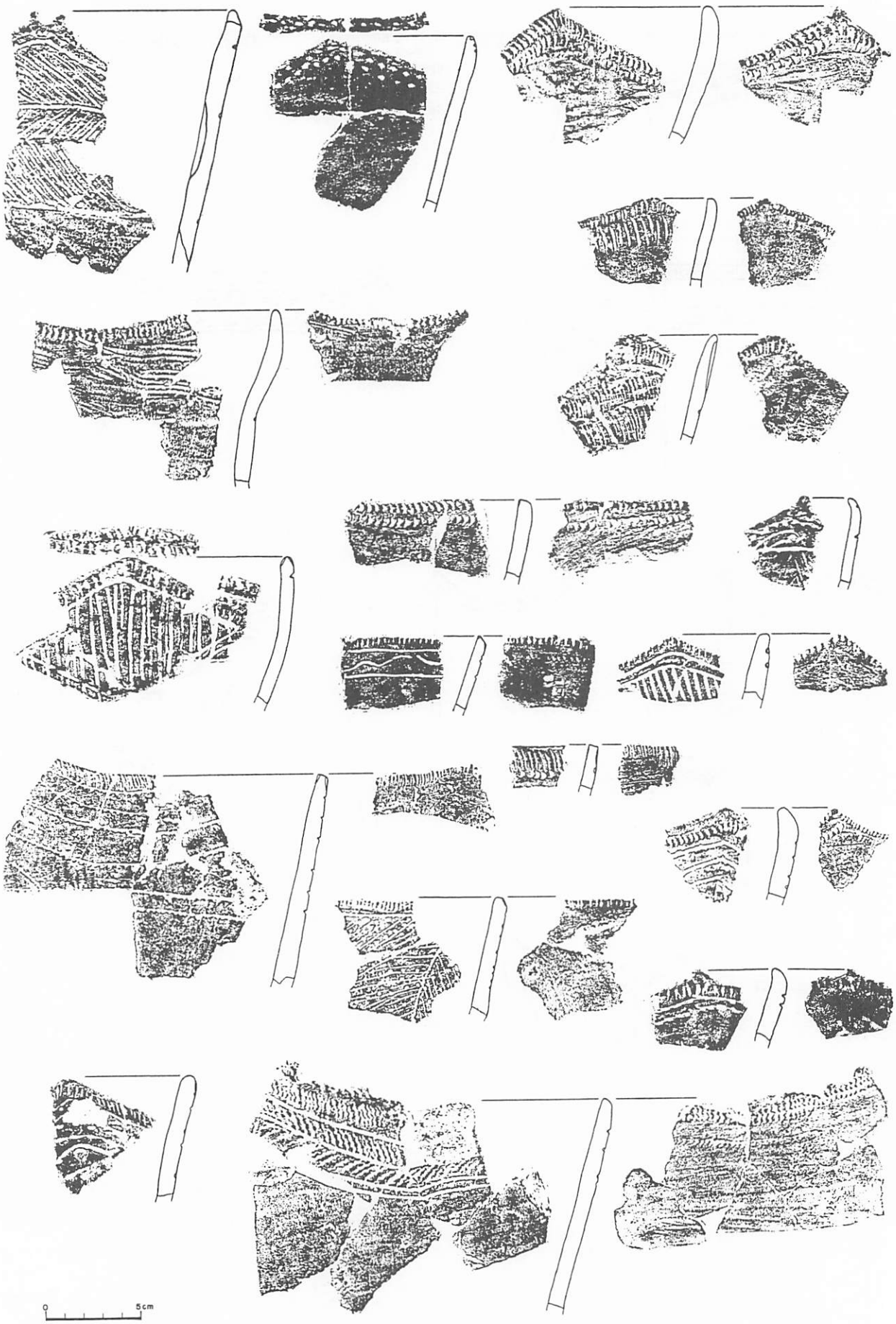
10) D2類：口唇部の外傾面に装飾が施される。口縁部の貝殻腹縁文による文様構成が減少し、胴部に地文（押引文・条痕文）が定着する。文様帯と地文との境界が不明瞭となる。

以上のように、B類から菱形の構成を持つグループが存在する。C類は口縁部に幅狭く集約され、区画内の充填に意匠を凝らすものと、沈線・刺突が横環する単純な文様構成のグループがある。D1類A種は文様の施文部位が増加し、腹縁文を羽状（菱形）・鋸歯状（三角形）等に配する文様構成のグループがある。D1類B種は更に文様の施文部位が増加し、腹縁文を羽状（菱形）・鋸歯状（三角形）等に配する文様構成のグループが主体となる。D2類は文様帯と地文の境界が不明瞭ながら、綾杉状の文様構成が代表的なものと、地文からなるグループが成立する。文様構成のグループは、各型式ごとに推移している。また、装飾の施文部位も、口唇部は無文部から装飾部へ、口縁部では各型式に盛行する数種の文様構成があり、胴部は無文部から装飾部へと、次第に変遷するようである。

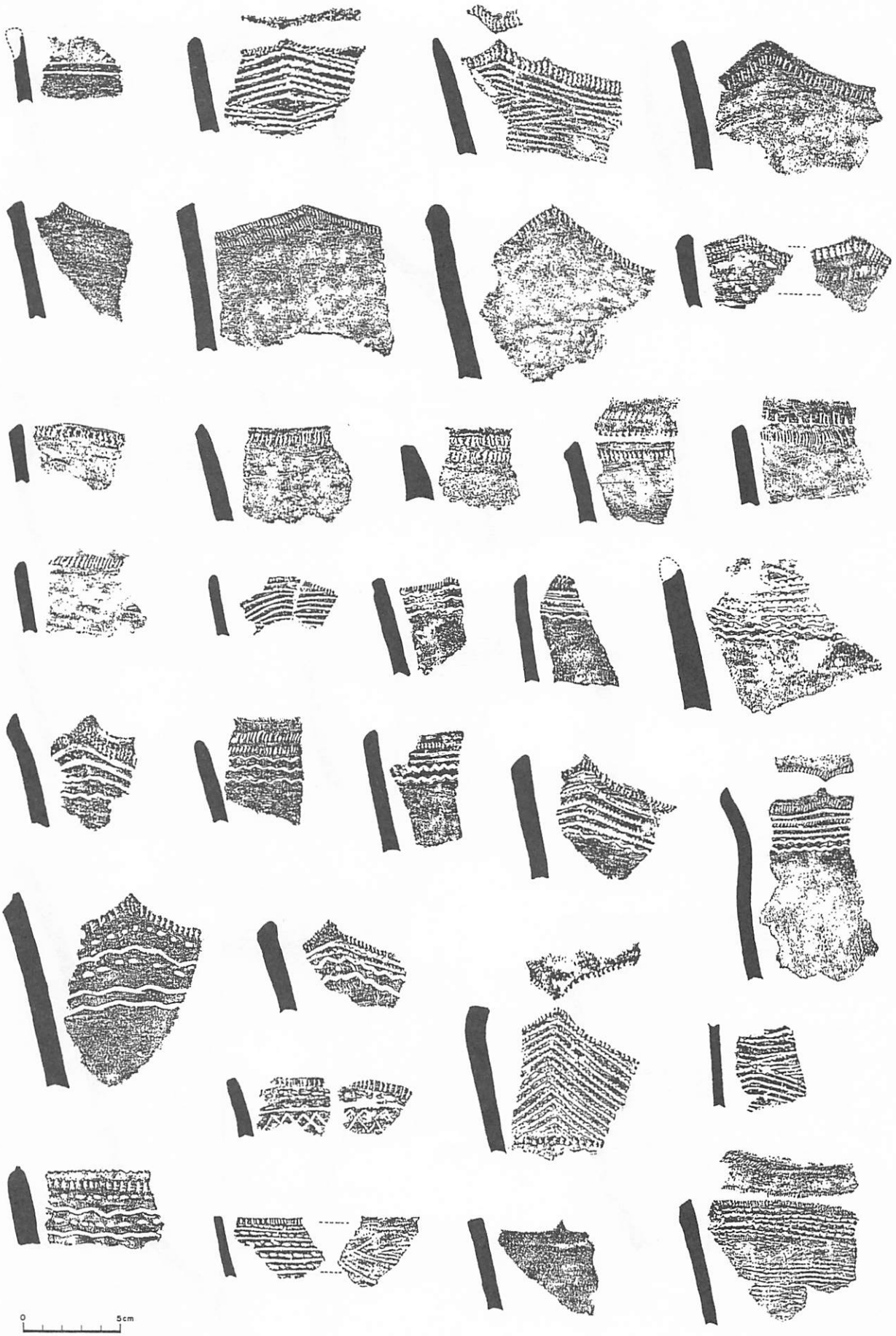
（冨永　勝也）



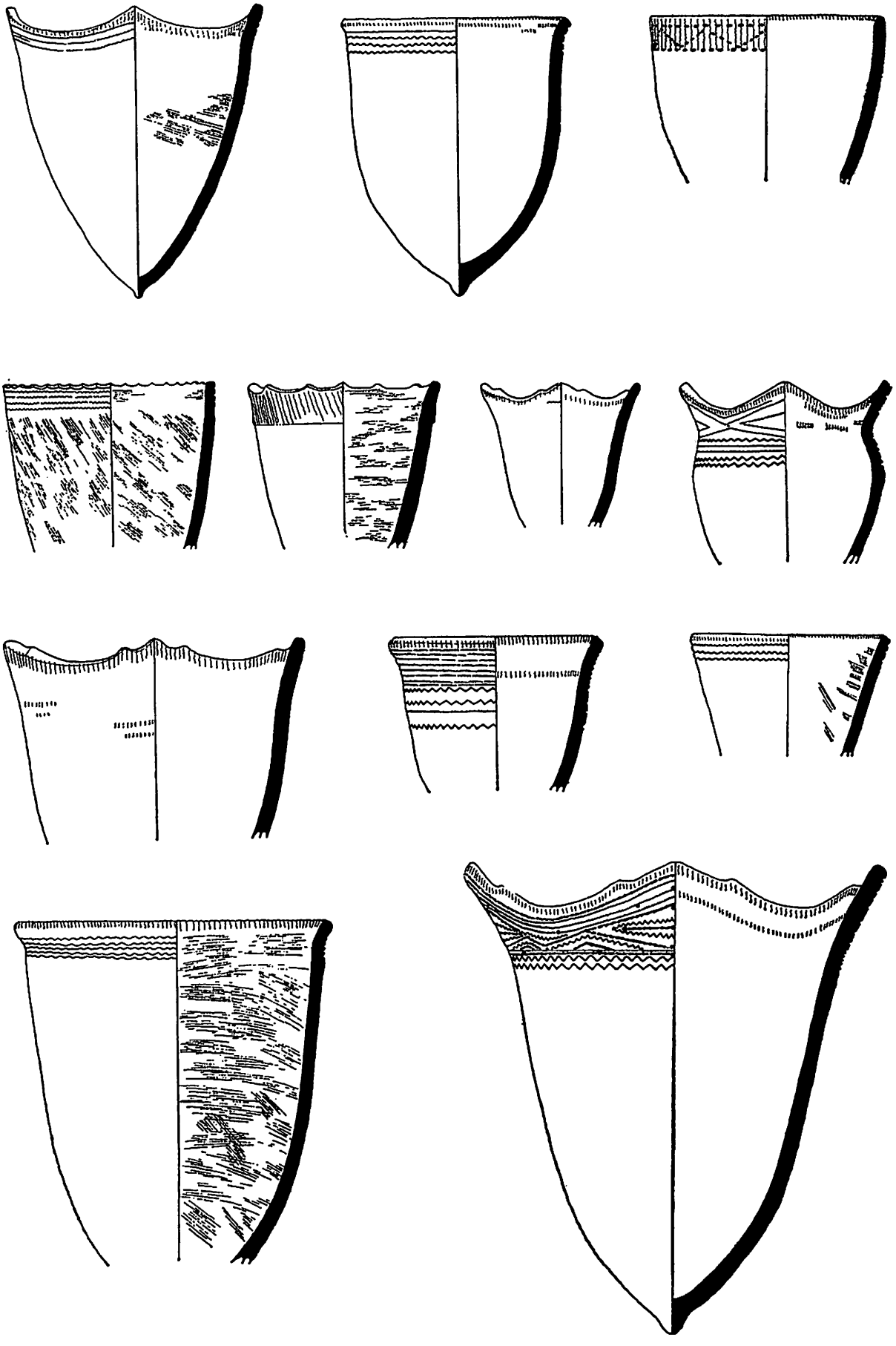
図VI－6　静内町駒場7遺跡出土土器(1)



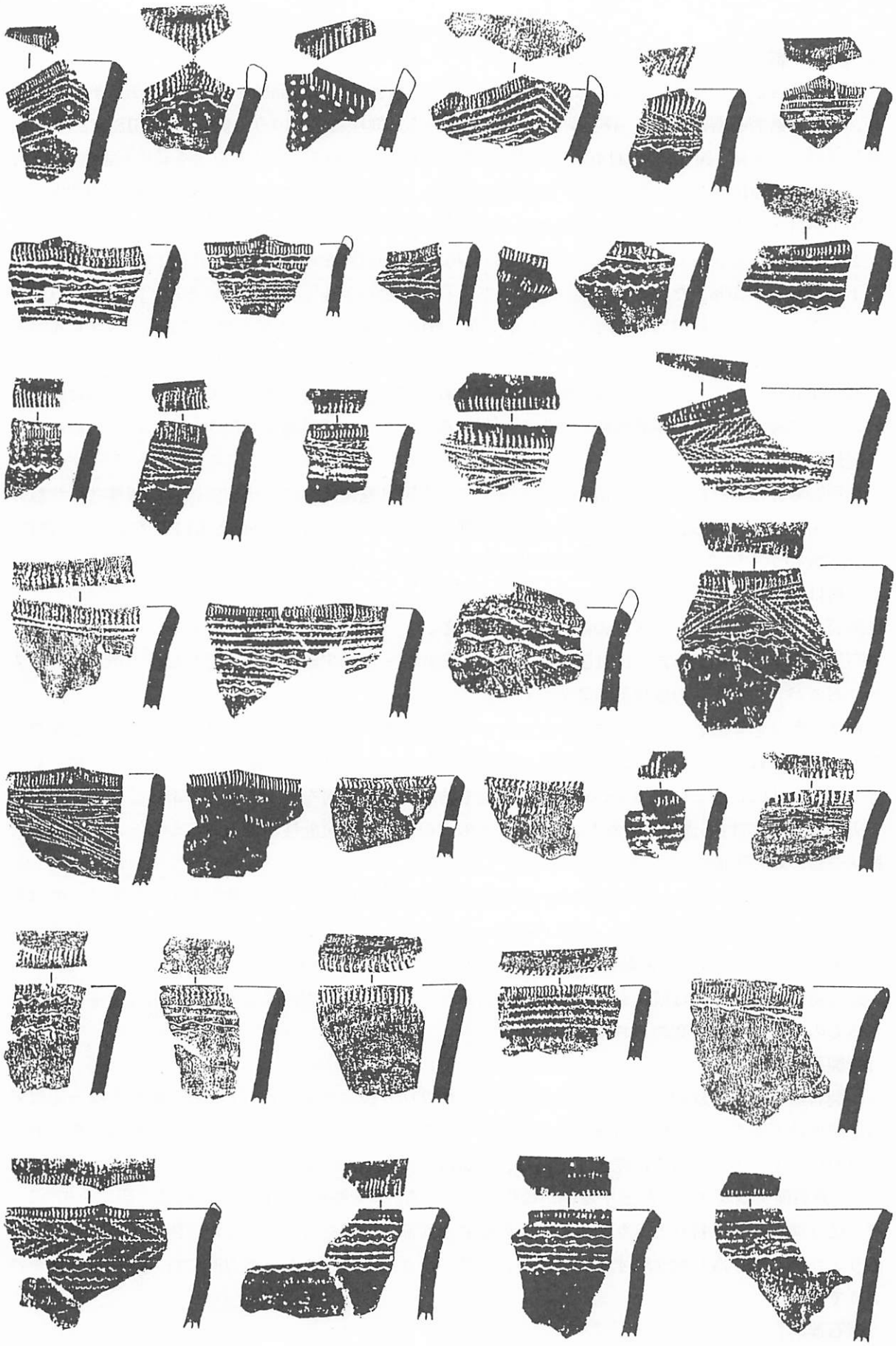
図Ⅵ－７　静内町駒場７遺跡出土土器(2)



図VI－８　函館市梁川町遺跡出土土器



図Ⅵ－９　七飯町鳴川遺跡出土土器(1)



図VI－10　七飯町鳴川遺跡出土土器(2)

3　石　　器

平成７年度調査区出土の石器総数は46,374点である(石製品、土製品等を除く)。内訳は剝片石器群25,590点、磨製石器群141点、礫石器群20,643点である。剝片石器群のうち剝片は21,618点で約84%、礫石器群のうち礫、礫片は10,114点で約49%をそれぞれ占めている。これらを除く剝片石器群は3,972点、礫石器群は10,529点となり、剝片石器群が約27%、磨製石器群が約1.0%、礫石器群が約72%という出土割合となる。過年度までと同様に礫石器群が大きな比重を占めている。

器種別に見ると、礫石器群のなかでも石錘が7,462点と約71%を占めており、出土比率が非常に高い。以下、すり石が10%、たたき石８%、砥石６%、石皿・台石が４%となっている。また、剝片石器群ではスクレイパーが約31%、石匙11%、石鏃５%、石槍、石錐ともに３%となっており、スクレイパーが多くを占めている。スクレイパーおよび多量の石錘が特徴的なこの出土状況は、過年度までとほぼ同様な傾向を示している。これは狩猟、植物採取および漁撈活動の三者により成り立っていた縄文時代の生活を考えた時、中野Ｂ遺跡の特質を解明する上できわめて重要な役割をもつものと思われる。

[剝片石器群]

剝片石器群の石材には中野Ａ遺跡や前年度までの中野Ｂ遺跡のものとほぼ同様、各器種共に粗粒の頁岩が用いられている。黒曜石の出土比率は非常に低く、わずか104点を数えるに過ぎない。石鏃は1b類、2b類が主体で、遺構の出土状況や出土数からみて、Ⅰ群Ｄ類土器に伴うものと思われる。

石槍は破損しているものが多いために特徴がつかみにくいが、柳葉形が主である。出土資料の大半は両面加工が施され、レンズ状の断面を呈している。

石錐は定型的に加工したものは認められない。剝片の一部に尖頭部を作りだしたものが多い。わずかであるが、石鏃からの転用品も認められる。

篦状石器は過年度ともに出土数が少なく、本年度の石器中に占める割合も低い。刃部に加工がないものも認められるが、トランシェ様石器と呼称されるものとの判別が困難であることから1c類として扱った。全体的に加工の粗いものが多く、用途も含め、今後検討を要する器種である。

両面調整石器は105点認められた。いずれも他機種の未製品の可能性があるものがほとんどで、石槍、篦状石器の類の可能性が高い。

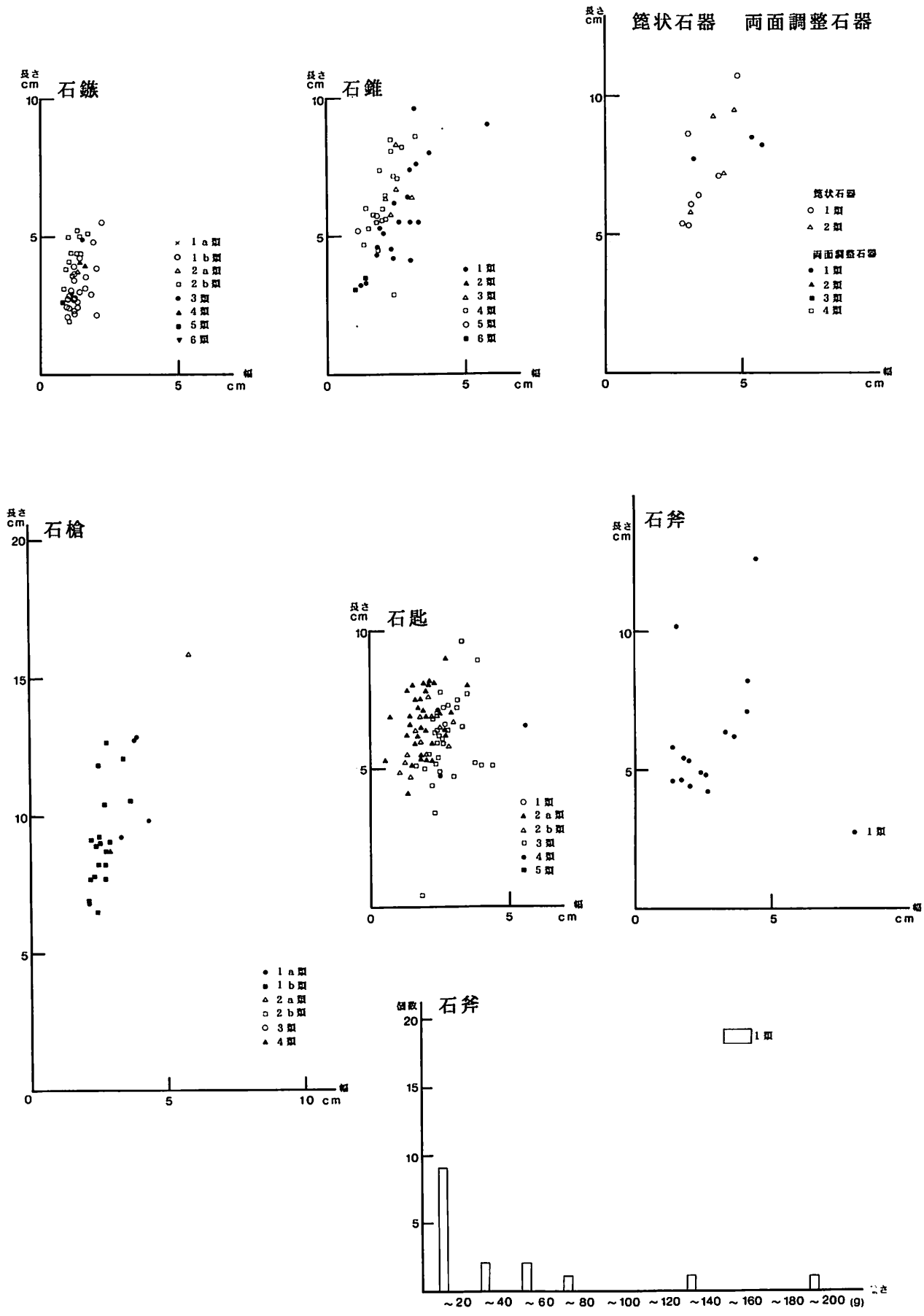
石匙、スクレイパーは、当遺跡において石錘に次いで出土比率の高い器種である。石匙は片面（半両面）加工のものが主体である。スクレイパーは形の整ったものが少なく、Ｕフレイクとの分離が困難であった。そのなかで、剝離が連続的で、その部位が明瞭で長いものをスクレイパーとして扱った。形態に特徴のあるものは縦長剝片の両側縁に刃部をもつものと、両側縁の刃部が外湾し、端部が収束するものが比較的多く認められた。

[磨製石器群]

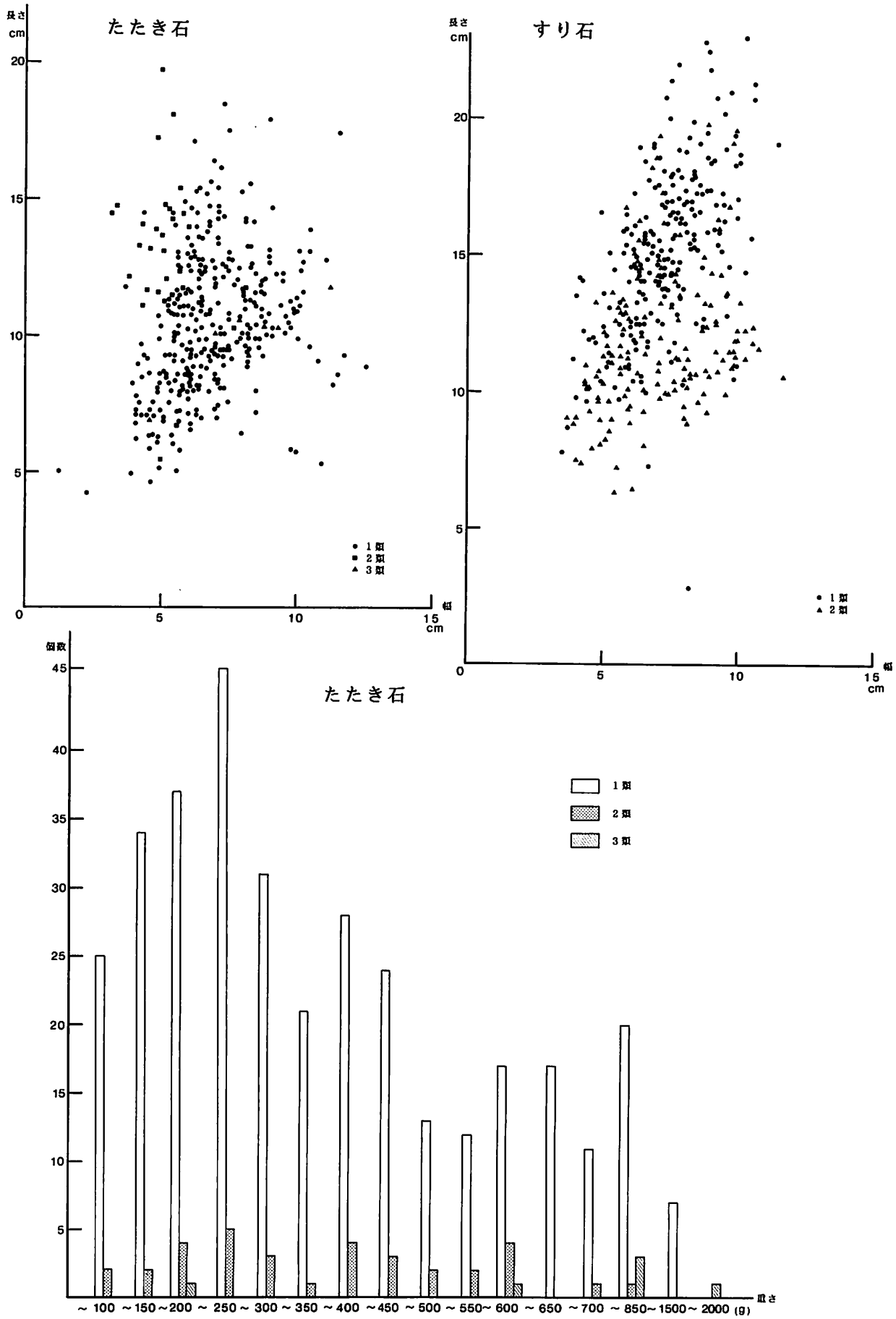
磨製石器群の石材は蛇紋岩製のものが主体で、擦り切り技法によるものである。素材となる蛇紋岩の原産地は不明である。蛇紋岩原産地に立地する遺跡で、擦り切り技法による石斧の製作工程を追える資料が出土している芦別市滝里４遺跡は、本遺跡と接近した時期のものである。ここでは研磨に先行し、原石面を剝離により除去する例が報告されている。本遺跡出土の擦り切り技法は研磨を先行し、擦り切り溝を入れ、折りとった後に、側面の研磨と刃部の作出を行っているが、側面の研磨は粗く、擦り切り溝や折り取り面を残すものが多い。刃部の研ぎ出しは斜めから横方向に行われるものが多いようである。

[礫石器群]

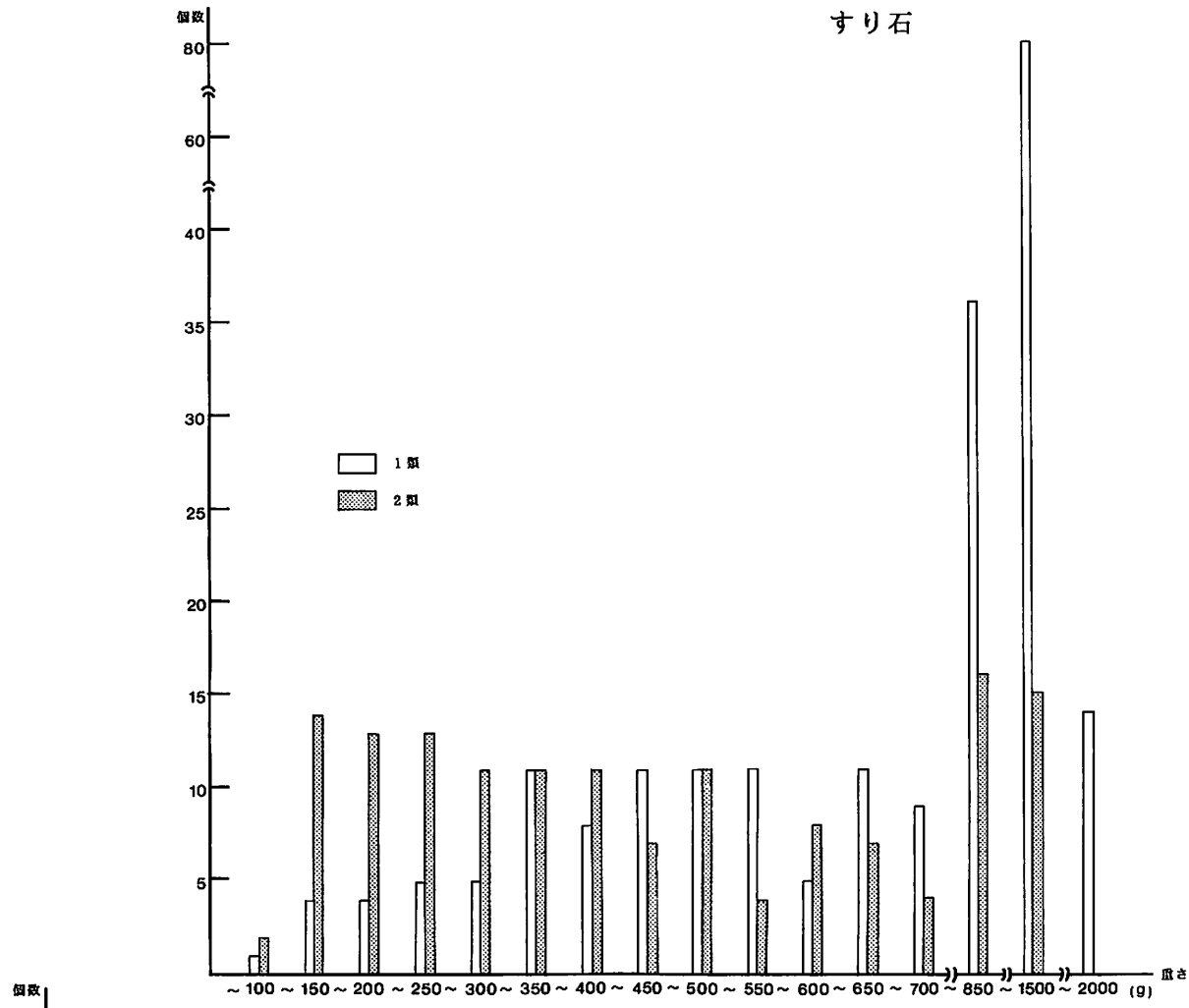
礫石器群の主要な石器の出土数はすり石1,060点、たたき石876点、砥石662点、台石256点、石皿156

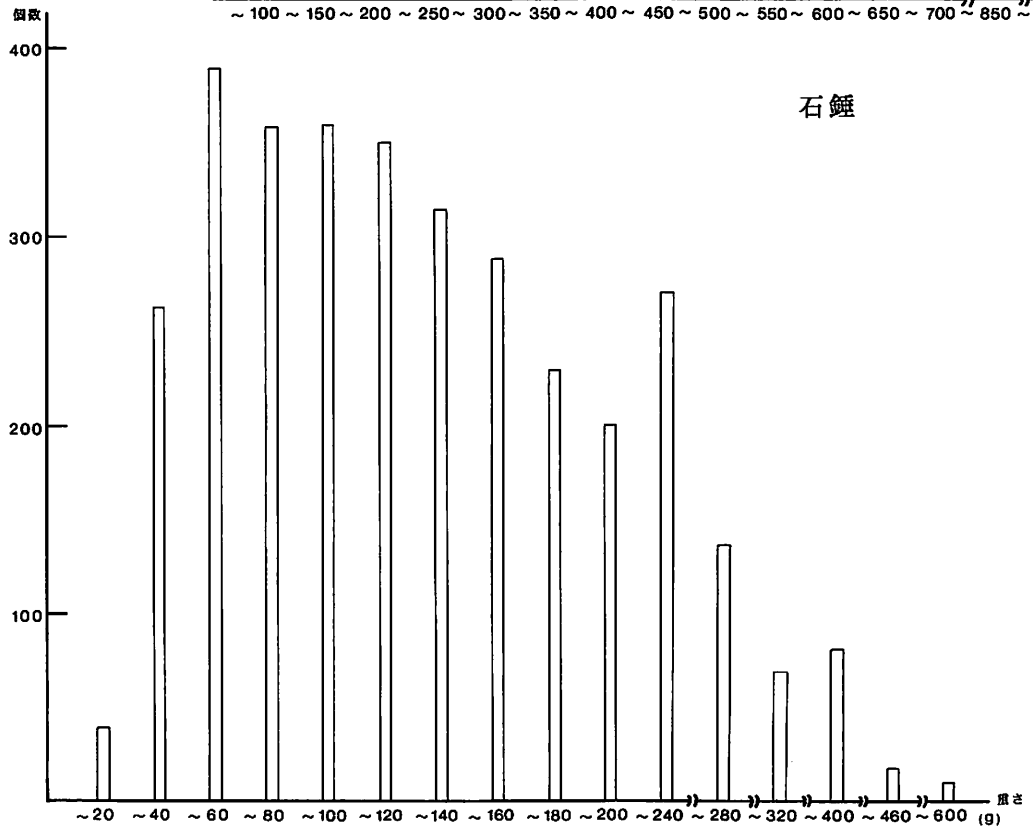


図VI－11　石器属性グラフ(1)



図VI－12　石器属性グラフ(2)





図VI－13　石器属性グラフ(3)

点、石錘7,462点である。このうち、砥石、石皿、台石については破片が多く、個体数との間に大きな隔たりがあると思われる。器種と石質の関係では、すり石、たたき石、石錘には閃緑岩が多用されており、砥石には凝灰岩が主に用いられている。

石錘に次いで出土数の多いすり石のなかで、断面形が三角形状を呈するものには、たたき痕の残るものが多数認められた。閃緑岩が多く使用されているという石材の共通点も含めて、１類に属するすり石の一部とたたき石の用途には関連性があると思われる。すり石が多く出土しているのに対し、石皿、台石の出土比率は非常に少ない。

圧倒的に多い石錘は、主に偏平な円礫の長軸両端を打ち欠き、エッジをたたきつぶすものが大部分を占めており、全体を整形加工する例は認められない。素材礫の長幅比は約３対２のものが主体であり、ほぼ同様の規格をなしている。重量は100ｇ前後のものが多く使用されている。また、砥石片からの転用品も認められ、一部接合されたものもある。

この石錘の出土量に対し、製作時に打ち欠き、剝離されるはずの剝片が本遺跡内ではほとんど認められない。また、作業場を特定するような出土状況を示す場所は確認されていない。わずかに出土している剝片について接合を試みたが、剝離後の母岩には潰打により整形されるものが多く、接合するにはいたらなかった。この出土状態から、ほとんどの石錘が今年度までの調査区域とは別の場所で製作されていた可能性が高い。主な素材となる閃緑岩は、遺跡付近の浜や河川（松倉川、汐泊川）の河床礫中で類似するものが認められる。このことから石錘は礫を採取した場所で加工し、住居内あるいは周辺に持ち込まれたと思われる。住居内での出土状況は、床面との壁際または壁面に貼り付き、壁際をめぐるように見つかる例が多い。

石錘は貝殻文尖底土器、条痕文平底土器に伴う石器であることが知られている。本遺跡同様、偏平な円礫の２箇所を打ち欠いたものが北海道の沿岸部あるいは内陸部の広い範囲の遺跡から出土している。これらも重量にして100ｇ前後のものが多く使われているようである。類似するいくつかの比較的多く出土している遺跡を列記して見た。中野Ｂ遺跡に隣接する石倉貝塚進入灯地点からも多くの石錘が出土しており、石器組成の約50％を占める。重量平均は111ｇであるが、20～220ｇまで幅広くまとまりがみられ、本遺跡とほぼ同様の形態を示している。白老町虎杖浜３遺跡では約140点の石錘が出土している。このうち条痕文平底土器に伴う良好な資料は約100点である。他に芦別市滝里４遺跡、釧路市北斗遺跡、網走市嘉多山４遺跡、松前町白坂遺跡、清水町上清水２遺跡などが挙げられる。

平成７年度の中野Ｂ遺跡の石器組成のなかで特徴を示すとすれば、過年度までの各調査面積と比較しても、今年度は非常に高い石錘の出現頻度を示しており、特に調査区南側からは他の遺物も含め廃棄場所であったことが想像される。　（笠原　興）

引用・参考文献

阿部千春・領塚正浩（1996）「南茅部町川汲遺跡における縄文時代早期後半の一様相－日計式並行期の集落と出土遺物を中心として－」『北海道考古学』32

石本　省三（1975）「函館空港第4地点遺跡」『北海道考古学』11

今村　啓爾（1985）「縄文早期の竪穴式住居址にみられる方形の掘り込みについて」『古代』80　早稲田大学考古学会

江坂　輝弥（1950）「青森県下北郡東通村、尻屋、物見台遺跡調査報告」『考古学雑誌』36－4

江坂　輝弥（1954）「青森県下北郡ムシリ遺跡」『日本考古学年報』2　日本考古学協会

江坂　輝弥（1954・1955）「青森県下北郡吹切沢遺跡」『日本考古学年報』2・3　日本考古学協会

江坂　輝弥（1957）「ムシリⅠ式土器について」『先史時代』5

江別市教育委員会（1982）『元江別3』江別市文化財調査報告書XIV

江別市教育委員会（1982）『大麻6』江別市文化財調査報告書XVI

大沼忠春他（1983）『南稀府5遺跡』北海道文化財保護協会

大場利夫他（1955）『函館市梁川町遺跡』市立函館博物館

大場利夫他（1962）「白老郡虎杖浜遺跡の発掘について」『北方文化研究報告』17　北海道大学

大場利夫他（1965）『大樹遺跡』　大樹町教育委員会

小笠原忠久（1974）「函館市石崎町出土の早期縄文土器－新型式の尖底貝殻文土器」『桧山考古学研究会会誌』3

小笠原忠久（1975）「函館市石崎町出土の早期縄文土器－新型式の尖底貝殻文土器(2)」『桧山考古学研究会会誌』4

小笠原忠久（1986）『川汲B遺跡』南茅部町教育委員会

北沢　実編（1988）『帯広・暁遺跡3』帯広市埋蔵文化財調査報告第7冊　帯広市教育委員会

北沢　実編（1990）『帯広・八千代遺跡』帯広市埋蔵文化財調査報告第8冊　帯広市教育委員会

久保　泰他（1983）『白坂』　松前町教育委員会

児玉作左衛門・大場利夫（1953）「函館市住吉町遺跡の発掘について」『北方文化研究報告』8　北海道大学

古原敏弘他（1982）『駒場7遺跡における考古学的調査』　静内町教育委員会

古原敏弘他（1985）『清水町清水丘における考古学的調査』　静内町教育委員会

小林　達雄（1981）「縄文土器　総論」『縄文文化の研究』3　雄山閣

近藤　錬三（1993）「函館市中野A遺跡土壙および焼土（？）の植物珪酸体分析」『函館市　中野A遺跡（II）本文編』（北埋調報84）

近藤　錬三（1996）「函館市中野B遺跡における焼土（？）、住居址床面土壌およびピット覆土の植物珪酸体分析」『函館市　中野B遺跡（II）第2分冊』（北埋調報108）

佐藤　訓敏（1975）「北海道縄文早期遺跡地名表」『帯広百年記念館紀要』第5号　帯広百年記念館

市立函館博物館（1994）『市立博物館蔵品目録』7　考古資料編

髙橋　正勝（1967）「北海道七飯町鳴川遺跡の尖底貝殻文土器について」『石器時代』8

竹田　輝雄（1958）「北海道虻田郡豊浦町アルトリ遺跡出土の遺物について」『上代文化』26

田原　良信（1979）『中野A遺跡発掘調査報告書』　函館市教育委員会

田原良信・鈴木正語（1986）『サイベ沢遺跡II』　函館市教育委員会

田原　良信（1996）『豊原1遺跡』　函館市教育委員会

千代　　肇（1953）『北海道南部に於ける遺跡および遺物の考古学的研究』

千代　　肇（1980）「先史時代」『函館市史』第一巻

名久井文明（1977）「東北地方早期縄文土器と中野遺跡」『函館空港第4地点・中野遺跡』　函館市教育委員会

名久井文明（1981）「貝殻文尖底土器」『縄文文化の研究』３　雄山閣
名久井文明（1988）「北日本縄文早期吹切沢式系統の後半期編年」『先史考古学研究』１　阿佐ヶ谷先史学研究会
成田　滋彦（1990）「物見台式の再検討」『青森県考古学』５
西川　博孝（1989）「物見台」と「吹切沢」－東北・北海道南部における貝殻紋系統土器末葉の編年－『先史考古学研究』２　阿佐ヶ谷先史学研究会
函館市教育委員会（1969）『函館空港整備事業の内遺跡発掘調査実績報告』
（1975）『函館市内埋蔵文化財対策調査概要』
（1977）『函館空港第４地点・中野遺跡』
（1995）『石倉貝塚１』
（1996）『石倉貝塚２』
林　　謙作（1966）「東北・北海道の貝殻文土器群」『北海道青年人類科学研究会会誌』６
林　　謙作（1986）「道南の縄文ムラ－中野遺跡－」『図説　発掘が語る日本史』１　新人物往来社
北海道教育委員会（1979）『有珠川２遺跡・植苗３遺跡』
（財）北海道埋蔵文化財センター（1982）『虎杖浜３遺跡』北埋調報11
（1988）『函館市　石川１遺跡』北埋調報45
（1991）『伊達市　牛舎川右岸・稀府川遺跡・谷藤川右岸遺跡』北埋調報68
（1992）『函館市　中野Ａ遺跡』北埋調報79
（1993）『函館市　中野Ａ遺跡（II）』北埋調報84
（1996a）『函館市　中野Ｂ遺跡』北埋調報97
（1996b）『函館市　中野Ｂ遺跡（II）』北埋調報108
（1996c）『函館市　石倉貝塚』北埋調報109
松下　亘編（1974）『西股』　北海道第四紀研究会
松前町教育委員会（1984）『松前町郷土資料館調査報告書』第１集
森町教育委員会（1975）『鳥崎遺跡』
横山　英介（1989）「北海道の早期貝殻文・沈線・刻目文系土器について」『東北・北海道における縄文時代早期中葉から前期初頭にかけての土器編年について－第４回縄文検討会シンポジウム－』
横山　英介・佐川正敏（1979）『函館空港　中野遺跡』　みやま書房
吉崎　昌一（1959）「北海道の夜明け前14－根崎遺跡－」『読売新聞』（12月11日付）
吉崎　昌一（1965）「縄文文化の発展と地域性－北海道－」『日本の考古学』II　河出書房新社
領塚　正浩（1996a）「東北地方北部に於ける縄文時代早期前半期の土器（上）」『史館』27
領塚　正浩（1996b）「東北地方北部に於ける縄文時代早期前半期の土器（下）」『史館』28
領塚　正浩（1997a）「常世式土器の再検討－常世１式土器の成立過程と編年的位置をめぐって」『シンポジウム「押引文と沈線文」本編』　長野県考古学会
領塚　正浩（1997b）「住吉町式土器の編年的位置」『人間・遺跡・遺物３－麻生優先生退官記念論文集』発掘者談話会
領塚　正浩（1997c）「子母口式土器の成立過程」『奈和』35

一覧表

表1　平成7年度遺構一覧
住居跡

遺構番号	地区	平 面 形	(長軸) (短軸) m 上場 / 下場 × 上場 / 下場 × 深さ	床面積 ㎡	長軸方向	備 考
H－ 34	D	――	―― / ―― × ―― / ―― × ――	――	――	平成4年度H－34とは別遺構
H－ 40	〃	――	―― / ―― × 3.28 / 2.92 ×(0.32)	(7.84)	N－70°－W	
H－ 73	〃	隅丸方形状	―― / ―― ×(5.10)/(4.60)×(0.53)	――	N－40°－W	掘り込み炉
H－ 74	〃	〃	―― / ―― × ―― / ―― ×(0.45)	――	――	
H－118	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― ×(0.26)	――	――	
H－156	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― ×(0.42)	――	――	
H－402	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― ×(0.42)	――	――	
H－405	〃	隅丸長方形状	5.40 / 4.85 × 4.16 / 3.64 × 0.46	15.85	N－15°－W	地床炉，張り出し部あり
H－406	〃	隅丸長方形状	6.60 / 6.16 × 4.55 / 4.04 × 0.35	22.72	N―S	建て替えあり
H－408	〃	隅丸方形状	4.50 / 4.14 × 4.30 / 3.86 × 0.42	13.85	N－65°－W	掘り込み炉
H－410	〃	隅丸長方形状	6.83 / 6.27 × 5.92 / 5.42 × 0.42	29.73	N―S	掘り込み炉，建て替えあり
H－419	〃	隅丸方形状	―― / ―― × 5.00 / 4.30 × 0.41	――	N－23°－E	
H－450	〃	〃	4.30 / 3.80 ×(4.16)/(3.90)×(0.48)	(11.98)	――	
H－451	〃	隅丸長方形状	―― / ―― ×(4.30)/(4.00)×(0.58)	――	――	
H－453	〃	不整円形	4.35 / 4.00 × 4.20 / 3.50 × 0.40	11.61	N－35°－E	
H－454	〃	隅丸方形状	6.95 / 6.30 × 5.35 / 4.80 × 0.40	24.75	N－ 2°－E	
H－455	〃	円形状	3.90 / 3.40 ×(3.90)/(3.40)× 0.25	(9.30)	N－17°－E	
H－456	〃	〃	4.10 / 3.70 × 3.85 / 3.40 × 0.20	10.54	N－52°－W	
H－457	〃	〃	4.20 / 3.70 × 4.20 / 3.70 × 0.45	11.15	N－10°－W	
H－458	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― ×(0.30)	――	――	
H－459	〃	長円形状	4.20 / 3.80 ×(3.50)/(3.10)×(0.35)	(9.79)	N－17°－E	
H－460	〃	隅丸方形状	4.10 / 3.80 × 3.89 / 3.40 × 0.48	10.02	N―S	建て替えあり，一括土器出土
H－461	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― × ――	――	――	
H－462	〃	隅丸方形状	(3.70)/(3.20)×(3.40)/(2.92)×(0.52)	(9.04)	N―S	建て替えあり，一括土器出土
H－463	〃	隅丸長方形状	4.96 / 4.30 ×(4.00)/(3.34)× 0.42	(11.88)	N－33°－W	
H－464	〃	――	5.36 / 4.96 × ―― / ―― ×(0.40)	――	――	
H－465	〃	隅丸長方形状	5.30 / 4.78 × 4.28 / 3.77 × 0.42	14.82	N－66°－E	地床炉，建て替えあり
H－466	〃	円形状	4.34 / 3.68 × 4.28 / 3.60 × 0.40	11.17	――	
H－467	〃	隅丸長方形状	5.04 / 4.53 ×(4.40)/(4.00)×(0.34)	(15.36)	N－37°－W	地床炉？
H－468	〃	〃 (？)	6.30 / 5.80 × ―― / ―― ×(0.44)	(18.15)	N－82°－E	
H－469	〃	隅丸長方形状	3.67 / 3.24 × 3.08 / 2.70 × 0.26	7.37	N－85°－E	
H－470	〃	〃・	4.67 / 4.30 ×(3.52)/(3.20)× 0.25	(11.67)	N―S	
H－471	〃	隅丸長方形状(？)	5.74 / 5.32 × ―― / ―― ×(0.34)	(16.00)	N－70°－E	
H－472	〃	卵形	3.95 / 3.40 ×(2.70)/(2.26)× 0.32	(7.23)	N－18°－W	
H－473	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― × ――	――	――	
H－474	〃	――	5.43 / 5.00 × ―― / ―― ×(0.38)	――	――	建て替えあり
H－475	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― × ――	――	――	地床炉？
H－476	〃	隅丸長方形状(？)	―― / ―― × 3.65 / 3.28 ×(0.23)	――	N－73°－W	
H－477	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― ×(0.22)	――	――	
H－478	〃	隅丸方形状(？)	3.50 / 3.12 × ―― / ―― ×(0.32)	――	――	
H－479	〃	隅丸長方形	4.90 / 4.50 × 3.24 / 3.00 × 0.31	11.95	N―S	
H－480	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― × ――	――	N－52°－E	張り出し部あり
H－481	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― × ――	――	――	
H－482	〃	隅丸方形状	3.60 / 3.06 × 3.40 / 3.00 × 0.28	8.61	N－59°－E	
H－483	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― × ――	――	――	
H－484	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― × ――	――	――	
H－485	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― × ――	――	――	
H－486	〃	台形状	3.43 / 3.02 × 3.10 / 2.78 × 0.30	(6.98)	N－78°－W	張り出し部あり
H－487	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― × ――	――	――	
H－488	〃	隅丸長方形状	4.46 / 4.20 × 3.72 / 3.40 × 0.34	(10.84)	N－20°－E	張り出し部あり
H－489	〃	隅丸方形状	(3.40)/(3.10)×(3.20)/(2.80)×(0.28)	(8.59)	N－74°－E	
H－490	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― × ――	――	――	
H－491	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― ×(0.45)	――	――	
H－492	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― ×(0.30)	――	――	
H－493	〃	――	5.20 / 4.95 ×(3.40)/(3.00)×(0.35)	――	N－85°－W	
H－494	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― × ――	――	――	
H－495	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― ×(0.29)	――	――	
H－496	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― ×(0.29)	――	――	
H－497	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― × ――	――	――	
H－498	〃	楕円形状	5.97 / 5.49 × ―― / ―― × 0.35	――	W―E	
H－499	〃	長円形	4.10 / 3.82 × 3.62 / 3.30 × 0.25	9.59	N－22°－W	
H－500	〃	――	―― / ―― × ―― / ―― × 0.45	――	――	

遺構番号	地区	平面形	(長軸) 上場 / 下場 × (短軸) 上場 / 下場 × 深さ m	床面積 m²	長軸方向	備考
H－501	D	隅丸方形状	3.53 / 3.12 × 3.38 / 2.95 × 0.42	7.76	N—S	
H－502	〃	長円形状	(3.60)/(3.30)× 3.12 / 2.86 × 0.20	(7.73)	N－60°－W	
H－503	〃	隅丸長方形状	5.52 / 5.14 ×(3.50)/(3.36)× 0.41	(13.72)	N－73°－E	
H－504	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－505	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－506	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－507	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－508	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－509	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－510	〃	隅丸長方形状	4.48 / 3.90 ×(2.70)/(2.30)× 0.30	(7.78)	N－60°－W	
H－511	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－512	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	地床炉？
H－513	〃	隅丸長方形状	4.90 / 4.60 × —— / —— ×(0.30)	——	N－73°－W	
H－514	〃	〃	(4.27)/(3.86)× 3.14 / 2.70 × 0.30	(9.53)	N－73°－W	
H－515	〃	卵形	4.10 / 3.55 × 2.90 / 2.46 × 0.31	7.25	N－39°－E	
H－516	〃	楕円形状	4.58 / 4.08 ×(2.82)/(2.40)× 0.48	(8.41)	N－18°－E	
H－517	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－518	〃	隅丸長方形状(？)	(5.10)/(4.80)× 4.04 / 3.60 × 0.42	(14.87)	N－82°－E	
H－519	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－520	〃	————	—— / —— × —— / —— ×(0.15)	——	————	
H－521	〃	隅丸長方形	(3.94)/(3.53)× 3.04 / 2.50 × 0.32	(7.84)	N－78°－E	
H－522	〃	————	—— / —— × —— / —— ×(0.28)	——	————	
H－524	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－528	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－531	〃	隅丸方形状	4.28 / 3.74 × 4.23 / 3.80 × 0.41	12.30	————	
H－532	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－533	〃	————	—— / —— × —— / —— ×(0.32)	——	————	
H－535	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－539	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－540	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－541	〃	隅丸長方形状	5.70 / 5.30 × 4.60 / 4.25 × 0.30	18.78	N－11°－W	建て替えあり
H－542	〃	————	4.37 / 3.92 × —— / —— ×(0.30)	——	————	
H－543	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－545	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－546	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－547	〃	————	3.35 / 2.90 × —— / —— ×(0.31)	——	————	
H－548	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－549	〃	————	—— / —— × 4.60 / 4.20 ×(0.24)	——	————	
H－550	〃	隅丸長方形状	—— / —— × 2.70 / 2.24 × 0.20	(5.45)	N－28°－W	建て替えあり
H－551	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－552	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	
H－553	〃	————	3.22 / 3.04 × —— / —— ×(0.15)	——	————	
H－554	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	V層上面で，HPの配列検出
H－555	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	〃
H－556	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	〃
H－557	〃	————	—— / —— × —— / —— × ——	——	————	〃

土壙

遺構番号	地区	発掘区	平面形	(長軸) 上場 / 下場 × (短軸) 上場 / 下場 × 深さ m	長軸方向	備考
P－ 78	E	47-18	円形	(1.16)/(1.00)×(1.14)/(0.94)× 0.84	————	小型フラスコ状ピット
P－ 79	〃	46-17	円形状	0.90 / 0.90 × 0.85 / 0.85 × 0.45	N－86°－E	〃
P－221	〃	〃	楕円形	0.94 / 0.78 × 0.84 / 0.73 × 0.84	N－13°－E	〃
P－222	〃	〃	長円形	0.98 / 0.76 × 0.90 / 0.68 × 0.58	N－17°－E	〃
P－223	〃	43-18,44-18	〃	0.80 / 0.44 × 0.71 / 0.35 × 0.16	N－32°－W	
P－224	〃	47-17	円形状	0.66 / 0.60 × 0.62 / 0.69 × 0.34	————	小型フラスコ状ピット
P－257	〃	46-18,47-18	〃	1.08 / 1.14 × 1.02 / 1.14 × 0.86	————	〃
P－258	〃	58-21	長円形状	1.66 / 0.80 × 1.48 / 0.70 × 0.56	N－15°－W	
P－259	〃	47-17･18	不整円形状	0.82 / 0.84 × 0.81 / 0.81 × 0.80	————	小型フラスコ状ピット
P－260	〃	53-19	〃	1.23 / 0.90 × 1.14 / 0.94 × 0.90	N－17°－W	〃
P－261	〃	45-18	隅丸長方形状	0.89 / 0.72 × 0.74 / 0.64 × 0.62	N－21°－E	〃
P－262	〃	47-18･19,48-18･19	楕円形状	1.21 / 1.01 × 0.98 / 1.02 × 0.78	N－15°－W	〃
P－263	D	40-34	長円形状	0.64 / 0.68 × 0.58 / 0.64 × 0.48	W—E	〃
P－264	〃	39-35	円形	—— / —— × —— / —— × ——	————	
P－265	〃	43-38	円形状	0.60 / 0.60 × 0.59 / 0.66 × 0.38	————	小型フラスコ状ピット

遺構番号	地区	発掘区	平 面 形	(長軸) 上場 / 下場 × (短軸) 上場 / 下場 × m 深さ	長軸方向	備 考
P－266	D	44-34	長円形状	0.76 / 0.84 × 0.70 / 0.75 × 0.31	N－11°－W	小型フラスコ状ピット
P－267	〃	44-37	楕円形	1.56 / 1.00 × 0.56 / 0.60 × 0.60	N－40°－E	
P－268	〃	44-38,45-38	長円形	1.74 / 1.04 × 1.58 / 0.98 × 0.48	N－50°－W	
P－269	〃	40-37	不整楕円形	(0.74)/(0.90)×(0.54)/(0.92)× 0.92	————	小型フラスコ状ピット
P－270	〃	44-32・33	長円形状	0.80 / 0.62 × 0.74 / 0.50 × 0.34	N—S	
P－271	〃	44-38	————	(0.70)/(0.76)× —— / —— × 0.54	————	小型フラスコ状ピット
P－272	〃	40-35	円形状	0.46 / 0.23 × 0.42 / 0.22 × 0.28	————	
P－273	〃	42-38,43-38	楕円形状	0.80 / 0.80 × 0.80 / 0.75 × 0.58	————	小型フラスコ状ピット
P－274	〃	44-34,45-34	長円形状	0.75 / 0.57 × 0.64 / 0.52 × 0.38	N－55°－W	
P－275	〃	40-38	不整円形	0.77 / 0.67 × 0.77 / 0.65 × 0.13	————	
P－276	〃	41-37	楕円形状	0.76 / 0.43 × 0.69 / 0.41 × 0.25	N－18°－E	
P－277	〃	40-37,41-37	円形	(1.02)/(0.57)×(1.00)/(0.40)×(0.34)	————	
P－278	〃	46-34	円形状	0.84 / 0.36 × 0.84 / 0.37 × 0.22	————	
P－279	〃	40-37,41-37	楕円形	(0.71)/ 0.70 ×(0.64)/ 0.72 ×(0.76)	N－12°－W	小型フラスコ状ピット
P－280	〃	43-38	円形状	(0.47)/(0.20)×(0.40)/(0.20)×(0.23)	————	
P－281	〃	39-34,40-34	〃	(0.72)/(0.80)×(0.68)/(0.79)×(0.36)	————	小型フラスコ状ピット
P－282	〃	39-34	不整楕円形	(0.82)/ 0.82 ×(0.66)/ 0.68 ×(0.52)	N－45°－W	〃
P－283	〃	41-38	隅丸方形状	0.98 / 0.78 × 0.98 / 0.72 × 0.22	————	
P－285	〃	40-36	円形	(0.68)/(0.52)×(0.50)/(0.34)× 0.36	————	
P－286	〃	41-31,42-31	隅丸方形状	1.20 / 1.00 × 1.11 / 0.86 × 0.21	————	
P－287	〃	45-34	円形状	(0.64)/ 0.61 ×(0.61)/ 0.56 ×(0.42)	————	小型フラスコ状ピット
P－288	〃	40-33	〃	(0.50)/ 0.50 ×(0.42)/ 0.48 ×(0.38)	————	〃
P－289	〃	〃	長円形状	(0.70)/ 0.58 ×(0.61)/ 0.54 ×(0.49)	————	〃
P－290	〃	39-34	円形状	(0.61)/ 0.84 ×(0.56)/ 0.78 ×(0.78)	————	〃
P－291	〃	44-33	〃	(0.63)/ 0.44 ×(0.60)/ 0.38 × 0.22	————	
P－292	〃	〃	〃	(0.60)/ 0.46 ×(0.60)/ 0.46 ×(0.18)	————	
P－293	〃	45-34	〃	0.62 / 0.49 × 0.63 / 0.42 × 0.15	————	
P－294	〃	〃	隅丸方形状	0.67 / 0.48 × 0.62 / 0.48 × 0.23	————	
P－295	〃	46-35	円形状	0.55 / 0.34 × 0.52 / 0.34 × 0.20	————	
P－296	〃	46-34	楕円形状	0.96 / 0.58 × 0.91 / 0.57 × 0.24	N—S	
P－297	〃	46-37	隅丸方形状	0.67 / 0.61 × 0.66 / 0.58 × 0.38	————	小型フラスコ状ピット
P－298	〃	46-38	楕円形状	0.53 / 0.54 × 0.43 / 0.50 × 0.36	N－76°－W	〃
P－299	〃	40-34	円形状	(0.59)/ 0.55 ×(0.54)/ 0.56 × 0.30	————	〃

Tピット

遺構番号	地区	発 掘 区	平面形	(長軸) 上場 / 下場 × (短軸) 上場 / 下場 × m 深さ	長軸方向	備 考
T－ 1	D	39-34	溝状	(0.80)/(1.12)×(0.48)/(0.19)×(1.00)	N－24°－W	平成4年度T－1の未調査部分
T－ 28	〃	40-38	〃	(1.70)/(2.10)×(0.78)/(0.18)×(1.27)	N－45°－W	平成5年度T－28の未調査部分
T－ 67	〃	41-31	〃	3.17 / 3.76 × 0.76 / 0.13 × 1.28	N－79°－E	
T－ 68	〃	39-33・34	〃	3.52 / 3.58 × 0.84 / 0.22 × 1.23	N－ 4°－E	
T－ 69	〃	42-30	〃	(2.80)/(2.90)×(0.87)/(0.17)× 1.26	N－47°－E	
T－ 70	〃	42-30,43-30	〃	3.40 / 3.41 × 0.68 / 0.20 × 1.24	N－72°－E	
T－143	E	48-22・23	〃	2.34 / 2.62 × 0.65 / 0.28 × 0.82	N－ 8°－E	
T－144	〃	46-18・19,47-18	〃	2.70 / 2.95 × 0.50 / 0.20 × 0.80	N－38°－W	
T－145	〃	49-19	〃	2.60 / 2.43 × 0.56 / 0.18 × 0.72	N－18°－E	
T－146	〃	50-17,51-17	〃	2.76 / 3.26 × 0.35 / 0.15 × 0.90	W—E	
T－147	〃	51-17	〃	2.60 / 2.88 × 0.54 / 0.14 × 1.03	N－49°－W	
T－148	〃	52-19	〃	3.38 / 3.26 × 0.38 / 0.16 × 0.90	N－21°－E	
T－149	〃	53-19・20	〃	3.20 / 3.62 × 0.50 / 0.20 × 0.90	N－19°－E	
T－150	〃	56-17・18	〃	3.13 / 2.94 × 0.55 / 0.26 × 1.00	N－85°－E	
T－151	〃	58-17・18,59-18	〃	3.50 / 4.13 × 0.48 / 0.22 × 1.02	N－89°－E	
T－152	〃	58-18	〃	2.62 / 2.72 × 0.46 / 0.24 × 1.00	N－86°－W	
T－153	〃	58-22	〃	2.72 / 3.34 × 0.64 / 0.17 × 0.98	N－74°－W	
T－154	〃	59-23・24	〃	2.88 / 3.21 × 0.45 / 0.14 × 0.94	N－18°－W	
T－155	〃	52-25・26	〃	3.02 / 3.48 × 0.66 / 0.23 × 1.00	N－50°－W	
T－156	〃	51-24,52-24	〃	3.08 / 3.27 × 0.54 / 0.18 × 0.87	N－81°－E	
T－157	〃	50-24	〃	3.06 / 3.44 × 0.45 / 0.20 × 0.97	N－25°－E	
T－158	〃	50-20・21	〃	3.16 / 3.80 × 0.42 / 0.20 × 0.90	N－13°－W	
T－159	〃	50-21,51-21	〃	(2.70)/(3.04)× 0.58 / 0.21 × 0.90	N－85°－E	
T－160	〃	41-21・22	〃	2.52 / 2.70 × 0.39 / 0.18 × 0.65	N－65°－E	
T－161	D	43-34	〃	3.20 / 3.35 × 0.66 / 0.14 × 1.32	N－75°－W	
T－162	〃	40-36,41-36	〃	3.25 / 3.56 × 0.93 / 0.31 × 1.20	N－79°－E	
T－163	〃	41-33	〃	2.76 / 3.42 × 0.79 / 0.18 × 1.20	N－68°－E	
T－164	〃	40-37	〃	3.02 / 3.52 × 0.78 / 0.24 × 1.20	N－ 4°－E	

遺構番号	地区	発掘区	平面形	(長軸) 上場 ／ 下場 × (短軸) 上場 ／ 下場 × m 深さ	長軸方向	備考
T－165	D	42-31	溝状	2.40 ／ 2.70 × 0.76 ／ 0.22 × 1.20	N－61°－W	
T－166	〃	43-34,44-34	〃	2.31 ／ 2.70 × 0.55 ／ 0.12 × 1.24	N－31°－W	
T－167	〃	43-38	〃	(1.47)／(1.83)×(0.61)／(0.32)×(1.02)	N－50°－E	昭和51年度未調査部分
T－168	〃	43-31	〃	(2.70)／ 2.66 × 0.76 ／ 0.14 × 1.17	N－60°－W	
T－169	〃	43-38	〃	3.17 ／ 3.52 × 0.80 ／ 0.25 × 1.30	N－25°－E	
T－170	〃	43-36・37	〃	3.32 ／ 3.26 × 0.86 ／ 0.24 × 1.05	N－39°－W	
T－171	〃	44-32,45-32	〃	2.60 ／ 2.52 × 0.53 ／ 0.12 × 1.10	N－46°－W	
T－173	E	61-20	〃	2.85 ／ 3.18 × 0.80 ／ 0.24 × 1.22	N－82°－E	
T－174	〃	63-20	〃	3.00 ／ 3.38 × 0.69 ／ 0.18 × 1.28	N－67°－E	
T－175	〃	60-19	〃	3.43 ／ 3.46 × 0.90 ／ 0.28 × 1.32	N－88°－E	
T－176	〃	66-20,67-20	〃	3.35 ／ 3.75 × 0.66 ／ 0.19 × 0.83	N－86°－W	
T－177	D	44-36	〃	2.42 ／ 2.59 × 0.58 ／ 0.18 × 0.96	N－ 5°－E	
T－178	F	85-16,86-16	〃	(2.52)／ 2.20 × 0.66 ／ 0.12 × 1.04	N－88°－W	
T－179	〃	85-16・17	〃	3.28 ／ 3.77 × 0.62 ／ 0.17 × 1.12	N－61°－W	
T－180	〃	87-17	〃	2.18 ／ 2.37 × 0.60 ／ 0.10 × 1.08	N－52°－E	
T－181	〃	88-12・13	〃	3.40 ／ 3.90 × 0.88 ／ 0.19 × 1.32	N－24°－W	
T－182	〃	88-11・12	〃	3.15 ／ 3.38 × 1.05 ／ 0.21 × 1.13	N－21°－W	
T－183	〃	85-15	〃	3.21 ／ 3.24 × 1.02 ／ 0.18 × 1.41	N－75°－E	
T－184	E	82-27・28	〃	3.24 ／ 3.24 × 0.80 ／ 0.22 × 1.18	N－12°－W	
T－185	D	44-36・37,45-36	〃	3.20 ／ 3.47 × 0.60 ／ 0.20 × 1.06	N－22°－W	
T－186	〃	45-38	〃	(1.20)／(1.25)×(0.78)／(0.18)× 1.08	N—S	昭和51年度未調査部分
T－187	〃	46-37	〃	2.39 ／ 2.42 × 0.65 ／ 0.16 × 1.02	N－20°－W	
T－188	F	83-15	〃	3.06 ／ 2.87 × 1.11 ／ 0.12 × 1.34	N－85°－W	
T－189	D	43-30・31,44-30・31	〃	3.32 ／ 3.67 × 0.38 ／ 0.19 × 0.93	N－83°－W	
T－190	〃	46-35	〃	3.41 ／ 3.56 × 0.59 ／ 0.18 × 1.22	N－73°－E	
T－191	〃	46-35,47-35	〃	3.68 ／ 3.45 × 0.64 ／ 0.14 × 1.22	N－31°－W	
T－192	〃	46-32・33	〃	3.52 ／ 3.88 × 0.62 ／ 0.18 × 1.04	N－69°－E	
T－193	〃	46-33,47-33	〃	3.34 ／ 3.55 × 0.73 ／ 0.16 × 1.26	N－54°－W	
T－194	F	107-24,108-23・24	〃	(3.15)／ —— ×(0.23)／ —— × ——	N－ 8°－W	
T－195	〃	106-22・23	〃	(3.00)／ —— ×(0.48)／ —— × ——	N－44°－E	
T－196	〃	105-25・26,106-26	〃	(3.15)／ —— ×(0.50)／ —— × ——	N－55°－E	
T－197	〃	110-26・27	〃	1.64 ／ 1.78 × 0.45 ／ 0.28 × 0.61	N－40°－W	小型
T－198	〃	107-27,108-27	〃	3.14 ／ 3.56 × 0.18 ／ 0.15 × 0.51	N－76°－E	
T－199	〃	109-25	〃	1.90 ／ 1.92 × 0.49 ／ 0.30 × 0.52	N－41°－W	小型
T－200	〃	111-29・30	〃	1.54 ／ 1.68 × 0.48 ／ 0.19 × 0.70	N－63°－W	〃
T－201	〃	110-28,111-28	〃	1.40 ／ 1.77 × 0.36 ／ 0.21 × 0.68	N－46°－W	〃
T－202	〃	106-29,107-29	〃	3.60 ／ 3.58 × 0.42 ／ 0.12 × 0.95	N－73°－E	
T－203	〃	104-23	〃	2.74 ／ 2.50 × 0.32 ／ 0.17 × 0.50	N－48°－E	
T－204	〃	100-23	〃	2.75 ／ 3.09 × 0.38 ／ 0.16 × 0.92	N－55°－W	
T－205	〃	98-20	〃	2.95 ／ 3.26 × 0.56 ／ 0.20 × 1.00	N－81°－W	
T－206	〃	97-20,98-20	〃	3.28 ／ 3.74 × 0.42 ／ 0.12 × 1.06	N－80°－W	
T－207	〃	96-20,97-20	〃	2.82 ／ 3.14 × 0.52 ／ 0.16 × 0.97	N－66°－W	
T－208	〃	95-20,96-20	〃	3.12 ／ 3.25 × 0.45 ／ 0.16 × 0.75	N－66°－W	
T－209	〃	94-22	〃	2.65 ／ 2.74 × 0.54 ／ 0.18 × 0.75	N－58°－E	
T－210	〃	96-28・29	〃	(3.00)／ —— ×(0.50)／ —— × ——	N－52°－E	
T－211	〃	91-29,92-29	〃	2.75 ／ 3.23 × 0.68 ／ 0.20 × 1.28	N－66°－E	
T－212	〃	91-28・29	〃	3.32 ／ 4.04 × 0.45 ／ 0.12 × 1.14	N－39°－E	
T－213	〃	89-28,90-28	〃	2.70 ／ 2.83 × 0.51 ／ 0.15 × 1.14	N－83°－E	
T－214	〃	88-27	〃	2.90 ／ 3.44 × 0.55 ／ 0.18 × 0.96	N－38°－E	
T－215	〃	91-22・23	〃	3.00 ／ 3.32 × 0.60 ／ 0.12 × 1.10	N－ 8°－E	
T－216	〃	87-22,88-22	〃	2.60 ／ 2.90 × 0.55 ／ 0.09 × 0.95	N－48°－E	
T－217	〃	90-18・19,91-18・19	〃	(2.80)／ 2.62 × 0.72 ／ 0.14 × 1.19	N－73°－E	
T－218	〃	89-19・20	〃	3.14 ／ 3.44 × 0.54 ／ 0.11 × 1.10	N－22°－E	
T－219	〃	88-19・20	〃	2.98 ／ 3.33 × 0.63 ／ 0.16 × 1.15	N－32°－E	
T－220	〃	87-19・20,88-19・20	〃	2.51 ／ 2.73 × 0.57 ／ 0.16 × 1.07	N－30°－E	
T－221	〃	97-20,98-20	〃	3.18 ／ 3.58 × 0.40 ／ 0.20 × 1.00	N－81°－W	
T－222	〃	98-20	〃	3.30 ／ 3.51 × 0.44 ／ 0.20 × 0.92	N－76°－W	
T－223	〃	110-22	〃	1.73 ／ 1.82 × 0.30 ／ 0.10 × 0.58	N－85°－E	小型
T－224	〃	109-24,110-24	〃	1.80 ／ 1.80 × 0.22 ／ 0.11 × 0.52	N－81°－E	〃
T－225	〃	91-29・30	〃	(2.55)／ 2.48 × 0.38 ／ 0.10 × 0.72	N－57°－E	

表2　遺構出土遺物一覧

遺構	土器												剥片石器群														磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	敲り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
H－34			158									158			1			1		2		7	3	1	15	30							3		5		20		21	49					237
H－40	8		47									55		1				1				2			14	18							2		7		18	1	14	42					115
H－73	4	1	1,478	17	7		83					1,590	8	7	3	1	2	7		31		21	9	2	386	477	3					3	19	19	14		153	15	177	397					2,467
H－74		1	239	3			1					244	1		2					2		1	1		49	56		1				1	2	4			38	3	38	85					386
H－118			77		11							88			1					1		2			20	24							2				8		24	34					146
H－156			377	1	3							381			3		1	3		4		7			34	52							6	4	3		40		10	63	18			18	514
H－402	5		297		1							303			2		1	2		6		6	2		78	97							13	2	3		34		70	122					522
H－405		1	1,178	10	94							1,283	1	1	3	1	3	4		19		6	8	1	256	303				1		1	11	11	1		99	26	169	317			1	1	1,905
H－406	4		228	3	2							237			1					5		2	1		84	93							6	15	2		41	7	66	137	1			1	468
H－408			1,079	5			1					1,085	1	1	1		1	5		6		18	6		123	162	2					2	16	16	11	4	154	5	197	403					1,652
H－410			2,678	26	2		2					2,708	4	6	1		6	5		57		19	12	5	1,221	1,336	2	1		1		4	17	27	17		261	2	507	831		1		1	4,880
H－450			256	3	6							265	3	2	2					9		4	1		167	188	1					1	4	10	7	1	49	1	66	138					592
H－451	1		897	3			2					903	2	2	2			5		20		6	8		162	207	3					3	9	7	1		106	4	123	250					1,363
H－453			100	4	2		5					111	1	2		2				1		1	3		20	30		1		1		2	2	6			32	1	57	98					241
H－454			1,146	43	1		7					1,197	3	2	3		1	5		26		12	7	2	178	239	1					1	17	23	12		160	2	373	587					2,024
H－455			235									235	1							2		7	1		15	26	1			1		2	6	4	12		27	3	49	101					364
H－456			14	1								15						1					1		4	6	2					2		3			3		4	10		1		1	34
H－457			354	3	11							368	1					3		6		19	8		59	96							18	10	6		77	39	44	194	1			1	659
H－458			3									3													2	2							1				1		7	9					14
H－459			81	3	3		27					114				1	1					1			17	20	1					1	1	1	1		9		19	31					166
H－460	1		1,826	23								1,850	5	3	2		2	7		22		11	12	1	296	361	3					3	9	12	3		92	2	297	415					2,629
H－461			243									243			1							5			38	44							4	2	5		30		24	65					352
H－462	5	1	862	50	2		1					921	1	2	5			11		8		18	11	1	139	196	1	1				2	10	6	10		83		250	359					1,478
H－463			12	1								13													4	4											2		25	27					44
H－464			77									77	1					1		1		2	2		24	31								1	1		9	1	25	37					145
H－465	16		342	10	1							369	3	1	1	1		2		9		7			186	210	1					1	5	13	12		68	4	112	214					794
H－466			702									702	3	1	1			3		1		4	1	1	57	72							2	2	4		45	2	55	110					884
H－467			795		1							796	1	2	3		2	7		18		4	5	1	410	453	1					1	3	14	6		99	1	300	423	2			2	1,675
H－468			35									35								2			1		9	12							1	1	1		10		13	26					73
H－469			22		8							30	1							1		1			21	24							1	3			10	7	29	50					104
H－470	2		38	7	2							49	1				1	3		6		7			17	35	3					3	6	8	1		19	2	19	55		1		1	143
H－471	2		281		2							285	1	3	1			2		5		7	1	1	40	61	2					2	13	18	7		60	7	49	154		1		1	503
H－472			530	3	4							537		2	3			6		16		18	6		106	157	1	1				2	7	9	4		83	4	152	259					955
H－473			621	4	2							627				4		6		4		12		1	107	134	1					1	6	10	6		82	1	109	214	1			1	977
H－474			267		2							269	2	1	1			1		4		8	5	3	96	121							7	9	7		63	1	46	133					523

遺構	土器												剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Pフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
H－475			188									188	2					3		1		5			74	85							2	4	2		45	1	17	71					344
H－476			10									10					1	1							2	4							1			2			3					17
H－477			45									45		1	1			1		3		4	1		20	31	1					1	5	2	6		44	1	53	111					188
H－478			28	1	1							30		1				1				3	1		12	18							4	3	1		15		15	38					86
H－479			67									67	1							1		1	1		30	34							3	3			8		11	25					126
H－480		1	272	4								277		2				2		1		5	1		45	56							4	6	2		18		20	50					383
H－481			31									31													4	4							1	3	2		14		4	24					59
H－482			103	4								107			1			1				2			18	22							3	1	4		12		18	38					167
H－483			86									86				1		2		2		5	4		156	170							7	7	3	1	28		19	65					321
H－484			50									50				1		2		2					10	15							4	3	7		21		11	46					111
H－485			8									8	1		1			1		2					5	10							2	1	2		10		2	17					35
H－486			73	1	1							75						1				2	2		4	9							2	2	1		13	3	7	28					112
H－487			44									44		1								1	1		4	7							3	1			6		3	13					64
H－488			47		3							50			2		1	2		2		6			15	28							3	3	3		9		2	20					98
H－489			18		2							20								1		2			4	7							6	3	1		6		2	18					45
H－490			148									148										4	3		365	372	2					2	6	5	5		26		28	70	4			4	596
H－491			483									483		1	1			7		1		6	1		17	34							7	6	9		43	2	23	90					607
H－492			72	1								73		3	1					6		1			27	38	1					1	4	1	10		22		48	85					197
H－493			112	3	2							117		1				1		2		2	4		15	25							3	9	3		70	2	38	125	1			1	268
H－494			10									10								2						2							1	1			6		6	14					26
H－495			29									29						2		1		3			8	14											8			8					51
H－496			91									91				1		1		1		3			7	13							1	3	3		21	1	4	33					137
H－497			46	8								54								1					11	12							1	1			10		5	17					83
H－498			57	2	4							63			1			1		3		1			13	19								6	2		17	1	16	42					124
H－499			21									21													6	6									9		10	1	13	33					60
H－500			12	1								13		1						2					5	8	1					1	2				12	1	6	21					43
H－501			19		16		1					36		1				2		3		1	4		23	34	1					1	5	3	12	2	20	12	26	80					151
H－502			7									7																																7
H－503			43		2		1					46		1	1							5	1		7	15							6	1	2		14	1	15	39					100
H－504			47									47								1					2	3							1	1			7		13	22					72
H－505			4									4													2	2											1		3	4					10
H－506			53									53								1		2			3	6							3		3		25		17	48					107
H－507			45									45					1			1		1			20	23							1	2	2		23		23	51	1			1	120
H－508			10									10													1	1											1		2	3					14
H－509			72	1								73					1			3		1		1	56	62		1				1	2	3	5		30	2	52	94					230
H－510			84		1							85		1	1										13	15							2	5	2		15		23	47					147
H－511			54		18							72	1				1					1	1		9	13								1	1		5		9	16					101

遺構	土器												剥片石器群													磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
H－512			57		2							59	1	2				1		1		3	2	1	49	60							5	1	3		17		29	55					174
H－513			3									3										2			3	5																		12
H－514			9		2							11						1		3		1			5	10								2	2				7	11					32
H－515							4					4								1		1			1	3								2			3		5					12
H－516			16				1					17	1							1		1	1		8	12	1					1	1	3			6		12	22					52
H－517			13									13						1					2		2	5										2	1	5	8					26
H－518			39	7								46										1			2	3		1				1	2		1	9		1	13					63
H－519			134				2					136						1		5		1			27	34							1	6		20	1	11	39					209
H－520			14									14													5	5								2	1	5		9	17					36
H－521			24									24													6	6																		30
H－522			20									20	1							1					6	8							1			6		13	20					48
H－524			71									71						2							2	4										1			1					76
H－528			12	1								13						1		1					4	6	2				2			1		6		3	10					31
H－531			250	6	7							263								1		2	3		35	41						4	4	4		36	2	26	76					380
H－532			5									5										1			4	5								1	4		6		9	20					30
H－533			15									15											1			1									2		7		1	10					26
H－535			168									168						3		6		3			28	40	1					1	2	10	2		24	1	67	106					315
H－539			17									17		1				1		1					6	9								1			6		1	8					34
H－540			5									5																										1	1					6
H－541			13									13						1							4	5							1			3			4					22
H－542					38							38																										1	1					39
H－543			5									5								1					1	2								1					1					8
H－545			3									3													1	1									1	2			3					7
H－546			2									2													1	1										3		1	4					7
H－549			10				1					11													4	4										1			1					16
H－550			21		1							22		1	1										11	13								1	2	2		3	8					43
H－551			7									7													2	2								2		3		4	9					18
H－552			10									10																								1			1					11
H－553			1									1																																1
H 計	48	5	21,108	263	267		139					21,830	53	57	54	13	26	134		359		328	149	22	5,684	6,879	39	7	1	3		50	341	396	295	82	2,892	174	4,300	8,406	29	4	1	34	37,199

遺構	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
P－263			21									21	1										1		10	12							1		5		21	27					60
P－264			20									20		1				2					1		6	10							2		3		8	13					43
P－265			5									5													4	4									1		6	7					16
P－266			16									16													1	1									1		4	5					22
P－267			3		2							5								1			1		2	4							1		1			2					11
P－268	1		6		1							8										1				1							1	5	2	14	2	2	26					35
P－269			54									54								1					5	6							1	2	1	8		4	16					76
P－270			5									5																						1			1	2					7
P－271																				1						1									3		2	5					6
P－272			1									1																							2			2					3
P－273			7									7													3	3											3	3					13
P－274																																1			1			2					2
P－275																																				1		1					1
P－276			6	6								12													1	1									1			1					14
P－277			5									5																							3		1	4					9
P－278			118									118													1	1									1	4	2	7					126
P－279			18									18								1					1	2								1		4		5	10					30
P－280																																	1					1					1
P－281			6									6													1	1									1		1	2					9
P－282			19									19								1			1		2	4							2	1	1	6		3	13					36
P－285			23									23						1		1					1	3	1					1					1	2	3					30
P－286			178									178								3					17	20							1			6	2	9	18					216
P－287			8									8											1		97	98								1			2	3					109
P－288			10									10													1	1																	11
P－289			6									6													2	2																	8
P－290			7									7																						1			1	2					9
P－291																																1				1	2					2
P－292																																			1			1					1
P－294			11									11													1	1							1	1			1	3					15
P－295			3									3																															3
P－297			13									13						1								1								2		3	1	1	7					21
P－298			7									7																							2			2					9
P－299			9									9																															9
P 計	1		585	6	3							595	1	1				4		9		2	4		156	177	1					1	9	18	6		66	11	80	190					963

遺構	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
T－1			3									3																					1		1			2					5
T－67			108	1								109					2	1		8					15	26							4	1	1		11		14	31					166
T－68			24									24								3					10	13							1	1			8		13	23					60
T－69			7									7													1	1											3		6	9					17
T－70			3									3								1						1											1			1					5
T－161			4									4	1													1								1	1		2		7	11					16
T－162			35	1								36		1	1					1					4	7							1	1	1		2		12	17					60
T－163			63		4							67						1		2					14	17							1				5	1	9	16					100
T－165			90									90	1	1						1					8	11											5		8	13					114
T－166			12	2								14								1					2	3													4	4					21
T－167			1									1													1	1									1				1	2					4
T－168			19		1							20								4			1		8	13								2			5		26	33					66
T－169																									1	1																			1
T－171			14									14													1	1								1	1		2		6	10					25
T－177			7		2							9													1	1											1			1					11
T－189			11									11								1					2	3									1		2			3					17
T－190			1									1																									1			1					2
T－193																																							3	3					3
T－194																																							5	5					5
T－218																									1	1																			1
T 計			402	4	7		139					413	2	2	1		2	2		22			1		69	101							7	8	6		49	1	114	185					699
合 計	49	5	22,095	273	277		139					22,838	56	60	55	13	28	140		390		330	154	22	5,909	7,157	40	7	1	3		51	357	422	307	8	3,007	186	4,454	8,781	29	4	1	34	38,861

表3　包含層出土遺物一覧

地区	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
D地区	282	17	34,451	475	1,178		630				21	37,054	123	113	75	19	77	279	1	847		713	436	34	15,702	18,419	70	17		1	1	89	540	634	353	24	4,422	226	5,564	11,763	7	11		18	67,343
E地区	1		164									165						1		2		2	1		8	14	1					1	4	4	2		33		56	99					279
計	283	17	34,615	475	1,178		630				21	37,219	123	113	75	19	77	280	1	849		715	437	34	15,710	18,433	71	17		1	1	90	544	638	355	24	4,455	226	5,620	11,862	7	11		18	67,622

表4　遺構の出土層位別遺物一覧

H－34

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			119									119			1							3	1	1	8	14							1		2		5		9	17					150
覆土2			26									26						1		1		4			4	10							1		2		7		8	18					54
覆土3			9									9								1			1		3	5							1		1		5		3	10					24
壁																																				1			1					1
床面直上																							1		1											2		1	3					4
床　面			4									4																																4
計			158									158			1			1		2		7	3	1	15	30							3		5		20		21	49					237

H－40

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1	6		47									53						1				2			14	17							2		7		18	1	14	42					112
覆土2	2											2																																2
床面直上														1												1																		1
計	8		47									55		1				1				2			14	18							2		7		18	1	14	42					115

H－73

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1	4		294	5	2		45					350		1	1	1	1	1		3		9	1	1	120	139							6	3	4		32	10	65	120					609
覆土2			625	6	5		32					668	5	4				2		17		11	6		184	229	2					2	7	5	8		64	3	82	169					1,068
覆土3			164	5			6					175		1	1		1			4		1	2	1	26	37	1					1	2	2	1		12		13	30					243
壁			1									1			1					1					2	4							1	1			3		3	8					13
床　面		1	12									13								3					39	42								2			16	1	5	24					79
床面直上			373	1								374	3	1				4		3					12	23							2	4	1		25	1	6	39					436
HP埋土			9									9													1	1							1	2			1		4					14
炉覆土																									2	2												3	3					5
計	4	1	1,478	17	7		83					1,590	8	7	3	1	2	7		31		21	9	2	386	477	3					3	19	19	14		153	15	177	397					2,467

H－74

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			77	3								80								1		1			13	15								1			15		12	28					123
覆土2			110									110	1		1					1					20	23							2	1			11	2	15	31					164
覆土3		1	52				1					54			1								1		16	18		1				1		2			12	1	11	26					99
計		1	239	3			1					244	1		2					2		1	1		49	56		1				1	2	4			38	3	38	85					386

H－118

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			74		11							85			1					1		2			19	23							2				8		22	32					140
覆土2			3									3													1	1												2	2					6
計			77		11							88			1					1		2			20	24							2				8		24	34					146

H－156

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群									その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			116		2							118			1		1	2		1		4			15	24							1	3			10		2	16					158
覆土2			145	1	1							147			2					1		2			14	19							3	1	2		5		7	18					184
覆土3			72									72						1							1	2											14			14					88
壁																																		1		2			3					3
床面			28									28								2					3	5							1				6			7	17			17	57
床面直上			16									16										1			1	2							1				3		1	5	1			1	24
計			377	1	3							381			3		1	3		4		7			34	52							6	4	3		40		10	63	18			18	514

H－402

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群									その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1	5		173		1							179			2			2		4		3			39	50							11	1			15		47	74					303
覆土2			115									115								2		3	2		20	27							2	1	1		13		21	38					180
覆土3																																				3			3					3
床面																									1	1													1	1					2
床面直上			9									9					1								18	19								2		3		1	6					34
計	5		297		1							303			2		1	2		6		6	2		78	97							13	2	3		34		70	122					522

H－405

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群									その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1		1	818	8	91							918	1	1	2	1		2		9		2	1	1	131	151				1		1	8	4			45	24	72	153			1	1	1,224
覆土2			327	2	3							332					2	1		7		3	6		100	119							3	6			46	2	89	146					597
壁			15									15								1					2	3											2		1	3					21
床面			5									5			1		1						1		6	9											2		1	3					17
床面直上			8									8						1		2		1			14	18								1	1		4		6	12					38
HP埋土			1									1													2	2																			3
HP埋土上			2									2													1	1																			3
HP壊底直上			2									2																																	2
計		1	1,178	10	94							1,283	1	1	3	1	3	4		19		6	8	1	256	303				1		1	11	11	1		99	26	169	317			1	1	1,905

H－406

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群									その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			187	2								189			1					3		2	1		65	72							6	12	1		24	3	37	83	1			1	345
覆土2	4		30	1	1							36								2					11	13								1			12		16	29					78
壁			5		1							6													3	3											2		1	3					12
床面			6									6													1	1									1		2		1	4					11
床面直上																																				1		5	6					6
HP埋土																									4	4								2				4	6	12					16
計	4		228	3	2							237			1					5		2	1		84	93							6	15	2		41	7	66	137	1			1	468

H－408

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			273	3								276	1	1	1					2		4	3		80	92							7	3			34	4	65	113					481
覆土2			190				1					191					1	4		1		4	1		23	34	1					1		6			22		33	61					287
覆土3			540	2								542						1		3		10	1		18	33	1					1	8	5	11	4	90		83	201					777
覆土4			76									76																					1	1			2		1	5					81
壁																							1		1	2											5		2	7					9
床面																																		1		1		1	1	4					4
炉覆土1																																				4		4					4
炉覆土2																									1	1																			1
炉覆土3																																				4		4					4
炉覆土4																																				2		2					2
炉覆土下																																				2		2					2
計			1,079	5			1					1,085	1	1	1		1	5		6		18	6		123	162	2					2	16	16	11	4	154	5	197	403					1,652

H－410

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			1,334	25	2							1,361	1	1			5	3		29		14	4	2	388	447	1			1		2	11	19	7		117	2	276	432		1		1	2,243
覆土2			892	1			2					895		4			1	2		18		4	7	3	135	174	1	1				2	4	4	7		91		164	270					1,341
壁			61									61								4					668	672									1		7		16	24					757
床面			285									285	1		1					6		1			29	38							2	2	2		34		42	82					405
床面直上			76									76											1			1								2			3		6	11					88
HP埋土			30									30	2	1											1	4											9		3	12					46
計			2,678	26	2		2					2,708	4	6	1		6	5		57		19	12	5	1,221	1,336	2	1		1		4	17	27	17		261	2	507	831		1		1	4,880

H－450

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			232	1	6							239	3	2	2					9		3	1		148	168	1					1	3	9	6	1	41	1	48	109					517
覆土2			23									23										1			18	19							1	1	1		7		18	28					70
HP埋土			1	2								3													1	1											1			1					5
計			256	3	6							265	3	2	2					9		4	1		167	188	1					1	4	10	7	1	49	1	66	138					592

H－451

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			97	2			2					101			1			2		3		2			25	33	1					1	3	1			20		27	51					186
覆土2			403									403	2	1				2		9		3	4		84	105							3	2			35	2	39	81					589
覆土3	1		225	1								227		1	1					3			2		27	34							2	1	1		23	1	11	39					300
壁			56									56						1		1			1		5	8											8		2	10					74
床面			28									28								1					7	8							1	1			5	1	22	30					66
床面直上			86									86								3		1			14	18	2					2		2			14		22	38					144
HP埋土			2									2											1			1											1			1					4
計	1		897	3			2					903	2	2	2			5		20		6	8		162	207	3					3	9	7	1		106	4	123	250					1,363

H－453

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			30	4			3					37	1	1		2				1		1	1		12	19							2	2			13	1	19	37					93
覆土2			50				2					52		1									2		5	8								1			11		26	38					98
覆土3			10									10													2	2		1		1		2		1			2		6	9					23
床面			10		2							12													1	1							2			6		6	14					27
計			100	4	2		5					111	1	2		2				1		1	3		20	30		1		1		2	2	6			32	1	57	98					241

H－454

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			605	4	1		7					617	2	2	2		1	3		14		7	3		96	130							8	11	7		70		168	264					1,011
覆土2			480	3								483	1		1			2		10		2	4	2	70	92	1					1	6	10	5		79	1	170	271					847
壁																						1			1	2							2				2	1	6	11					13
床面			52	36								88								2		2			10	14								2			9		14	25					127
HP埋土			9									9													1	1							1						15	16					26
計			1,146	43	1		7					1,197	3	2	3		1	5		26		12	7	2	178	239	1					1	17	23	12		160	2	373	587					2,024

H－455

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			148									148	1							2		6	1		11	21	1		1			2	4	3	6		22	2	19	56					227
覆土2			72									72										1			3	4								1	5		1	1	18	26					102
床面			4									4																				2		1		3		4	10					14
床面直上			4									4																											1	1					5
床面下			1									1																																	1
HP埋土			6									6													1	1											1		7	8					15
計			235									235	1							2		7	1		15	26	1		1			2	6	4	12		27	3	49	101					364

H－456

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			1									1																											1	1					2
覆土1			7	1								8													2	2							2			3			5		1		1	16
覆土2			5									5						1					1		2	4	2				2		1					1	2					13
壁																																					1	1					1
床面																																					1	1					1
床面直上			1									1																																	1
計			14	1								15						1					1		4	6	2				2		3			3		4	10		1		1	34

H－457

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群									その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	現状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			21									21										1	2		3	6							1	2			2			5					32
覆土1			215	3	11							229	1					2		3		8	4		31	49							13	2	3		29	35	19	101					379
覆土2			58									58								2		9	2		22	35							2	4	1		33	2	10	52	1			1	146
壁			10									10						1								1							1						3	4					15
床面			7									7																									2		1	3					10
床面直上			42									42										1			2	3							1	2	2		11	2	9	27					72
HP埋土			1									1								1					1	2																		3
焼土																																							2	2					2
計			354	3	11							368	1					3		6		19	8		59	96							18	10	6		77	39	44	194	1			1	659

H－458

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群									その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	現状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			2									2													1	1													3	3					6
覆土2			1									1													1	1						1							2	3					5
床面																																							1	1					1
床面直上																																							1	2					2
計			3									3													2	2						1				1		7	9					14

H－459

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群									その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	現状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			71				27					98				1	1					1			8	11							1	1			5		11	18					127
覆土2			5	3								8													7	7									1		3		4	8					23
覆土3			2		3							5													2	2																			7
床面																											1				1							3	3					4
床面直上			2									2																										1	2					4
HP埋土			1									1																																	1
計			81	3	3		27					114				1	1					1			17	20	1					1	1	1	1		9		19	31					166

H－460

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群									その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	現状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1	1		648	1								650		1	2		1	1		10		6	6	1	155	183	1					1	4	6	2		49	2	154	217					1,051
覆土2			1,119	22								1,141	5	2			1	6		11		4	6		129	164	1					1	4	4			37		127	172					1,478
壁			59									59								1		1			12	14	1					1	1	2	1		6		16	26					100
計	1		1,826	23								1,850	5	3	2		2	7		22		11	12	1	296	361	3					3	9	12	3		92	2	297	415					2,629

H－461

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	現状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			242									242			1							5			38	44							4	2	5		30		24	65					351
HP埋土			1									1																																	1
計			243									243			1							5			38	44							4	2	5		30		24	65					352

H－462

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群					礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1	3		139	14								156						1		2		4	4		32	43	1					1	4	3	2	17		87	113					313
覆土2	2	1	535	32	2		1					573	1	2	4			7		1		7	3	1	66	92		1				1	4	2	6	43		107	162					828
覆土3			158	4								162			1			3		4		5	1		36	50							2	1	2	16		51	72					284
壁			4									4													1	1									6		3	9					14
覆土3層上面			26									26								1		2	3		4	10									1		1	2					38
床面直上																																				1	1					1
計	5	1	862	50	2		1					921	1	2	5			11		8		18	11	1	139	196	1	1				2	10	6	10	83		250	359					1,478

H－463

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群					礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土2																																				9	9					9
壁			12									12													4	4										2		16	18					34
HP埋土				1								1																															1
計			12	1								13													4	4										2		25	27					44

H－464

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群					礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			49									49						1					1		11	13								1	1	5	1	12	19					82
壁			28									28	1							1		2	1		13	18										4		13	17					63
計			77									77	1					1		1		2	2		24	31								1	1	9	1	25	37					145

H－465

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群					礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			112	4								116	1							4		2			47	54							3	1	3	12		27	46					216
覆土2			154	3	1							158	1	1		1		1		5		3			87	99	1					1	1	12	7	34	2	41	97					355
壁			4									4						1				1			34	36									1	3		2	6					46
床面			11	2								13										1			2	3							1			5	1	32	39					55
床面直上	1		15	1								17													4	4								1	8	1	3	13					34
HP埋土	15		46									61	1		1										12	14										6		7	13					88
計	16		342	10	1							369	3	1	1	1		2		9		7			186	210	1					1	5	13	12		68	4	112	214					794

H－466

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群					礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			271									271	3	1	1			2		1		1	1		39	49									3	20		30	53					373
覆土2			425									425						1				3		1	17	22								2	1	23	2	22	50					497
覆土3			6									6												1	1	1							2			2		3	7					14
計			702									702	3	1	1			3		1		4	1	1	57	72							2	2	4	45	2	55	110					884

H－467

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群									その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			314		1							315			1		2		5			1		82	91							1	6	2		17		108	134	1			1	541
覆土2			425									425	1	2	2		2	5		12		4	3	1	300	332	1					1	2	6	3		74	1	170	256	1			1	1,015
壁			29									29								1			1		26	27								1	1		6		10	18					74
床面			3									3								1					1	2								1			1		2	4					9
床面直上			19									19																									1		1					20
HP埋土			5									5													1	1													10	10					16
計			795		1							796	1	2	3		2	7		18		4	5	1	410	453	1					1	3	14	6		99	1	300	423	2			2	1,675

H－468

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群									その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土																																					1	1					1
覆土1			27									27							1					8	9							1	1	1		9		9	21					57
覆土2			5									5											1		1													1	1					7
壁			3									3							1					1	2											1		2	3					8
計			35									35							2				1	9	12							1	1	1		10		13	26					73

H－469

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群									その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			12		7							19	1							1					16	18							1	1			8	6	19	35					72
覆土2			1		1							2										1			4	5												1	10	11					18
壁																																					1			2					2
床面																																					1			1					1
床面直上			9									9													1	1																			10
HP埋土																																						1		1					1
計			22		8							30	1							1		1			21	24							1	3			10	7	29	50					104

H－470

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群									その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1	2		24	7	2							35					1	2		5		3			12	23	3					3	6	6	1		13	1	10	37		1		1	99
覆土2			10									10	1					1		1		4			5	12								2			5		7	14					36
壁			4									4																									1			1					5
床面																																						1	2	3					3
計	2		38	7	2							49	1				1	3		6		7			17	35	3					3	6	8	1		19	2	19	55		1		1	143

H－471

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群					礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			10									10		1								1			8	10	1					1	1	1	2		8	1	8	21					42
覆土2			200		1							201		1	1			2		5		4	1	1	25	40	1					1	8	10	4		36	4	31	93		1		1	336
覆土3			56									56		1								1			3	5							1	3	1		10	1	5	21					82
壁			3									3										1			1	2											2		2					7
床面													1												1	2												1	1				3
床面直上																									1	1							3	4			3		1	11					12
HP埋土	2		12		1							15													1	1										1	1	3	5					21
計	2		281		2							285	1	3	1			2		5		7	1	1	40	61	2					2	13	18	7		60	7	49	154		1		1	503

H－472

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群					礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			372	3	3							378		1	2			5		12		14	5		87	126	1	1				2	4	5	2		52	3	100	166					672
覆土2			154		1							155		1	1			1		4		3	1		15	26							2	3	2		26		42	75					256
覆土3																																	1				1		6	8					8
壁			3									3										1			4	5								1			4	1	3	9					17
床面直上																																							1	1					1
HP埋土			1									1																																	1
計			530	3	4							537		2	3			6		16		18	6		106	157	1	1				2	7	9	4		83	4	152	259					955

H－473

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群					礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			198	4	2							204				1				1		5			41	48	1					1	3	1	1		32	1	28	66					319
覆土2			79									79				2		1				2		1	9	15							1	3	2		9		7	22	1			1	117
覆土3			201									201						3		3		2			37	45							2	3	1		24		41	71					317
覆土4			81									81				1		1				3			10	15											14		28	42					138
壁			42									42													7	7								1	2		1		3	7					56
床面			7									7													2	2																		9
床面直上			10									10													1	1								2			2		1	5					16
HP埋土			3									3						1							1	1													1	1					5
計			621	4	2							627				4		6		4		12		1	107	134	1					1	6	10	6		82	1	109	214	1			1	977

H－474

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群					礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			6		2							8													4	4											2		2	4					16
覆土2			69									69	2		1					1		4	1		50	59							1	3	2		16		11	33					161
覆土3			175									175		1				1		2		4	1	2	31	42							3	4	4		25	1	21	58					275
壁			3									3																					1			4			5					8
床面			7									7								1				1	5	7										3		2	5					19
床面直上			2									2											2		6	8							2	1		13		7	23					33
HP埋土			5									5											1		1	1							1		1			3	5					11
計			267		2							269	2	1	1			1		4		8	5	3	96	121							7	9	7		63	1	46	133					523

H－475

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			143									143	1									1			15	17							1	1	1	8	1	5	17					177
覆土2			44									44						3		1		1			54	59								2	1	17		8	28					131
覆土3			1									1	1									3			5	9							1			17		3	21					31
壁																																	1			1		2					2
床面																																					1	1					1
HP埋土																																				2		2					2
計			188									188	2					3		1		5			74	85							2	4	2	45	1	17	71					344

H－476

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			5									5																								2			2					7
覆土2			4									4					1								1	2																		6
覆土3			1									1						1							1	2																		3
床面直上																																1					1					1
計			10									10					1	1							2	4							1			2			3					17

H－477

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			18									18			1			1		1		1			9	13	1					1	3	1	2	16		14	36					68
覆土2			4									4											1			1								1				5	6					11
覆土3			20									20													5	5							1	1	1	10		7	20					45
壁																						1				1												1	1					2
床面														1								1			4	6								2		6	1	7	16					22
床面直上			3									3								2		1			2	5										12		19	31					39
HP埋土																																1						1					1
計			45									45		1	1			1		3		4	1		20	31	1					1	5	2	6		44	1	53	111					188

H－478

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			13	1	1							15		1								3			6	10							1	2		5		8	16					41
覆土2			8									8						1					1		3	5							3	1	1	8		5	18					31
覆土3			4									4													3	3										2		2	4					11
壁			3									3																															3
計			28	1	1							30		1				1				3	1		12	18							4	3	1	15		15	38					86

H－479

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			43									43								1		1	1		19	22							2	1			6		3	12					77
覆土2			24									24	1												7	8										2			5	8					40
覆土3																									3	3							1						1	2					5
床面直上																																							2	2					2
HP埋土																									1	1								1						1					2
計			67									67	1							1		1	1		30	34							3	3			8		11	25					126

H－480

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1		1	246	4								251		1				2		1		4	1		42	51							2	6	2		18		17	45					347
覆土2			25									25										1			3	4							1				2		2	3					32
覆土3			1									1		1												1							1				1		1	2					4
計		1	272	4								277		2				2		1		5	1		45	56							4	6	2		18		20	50					383

H－481

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			18									18													2	2								1	2		7		3	13					33
覆土2																																		2			1			3					3
床面直上			6									6													2	2							1				6		1	8					16
HP埋土			7									7																																	7
計			31									31													4	4							1	3	2		14		4	24					59

H－482

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			74	4								78						1				1			8	10							2		4		5		15	26					114
覆土2			12									12			1							1			6	8							1	1			4		2	8					28
覆土3			16									16													3	3																			19
壁																																					1		1	1					1
床面																																					1		1	1					1
床面直上			1									1													1	1											1		1	2					4
計			103	4								107			1			1				2			18	22							3	1	4		12		18	38					167

H－483

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			46									46				1		1				2	3		29	36							2	4		1	6		6	19					101
覆土2			17									17								1					5	6							3	2			8		3	16					39
覆土3			22									22						1				2			122	125								1	2		8		8	22					169
壁																																					1		1	2					2
床面																																	1				1		1	3					3
床面直上																				1					1																				1
HP埋土			1									1										1	1		2							2				1			3					6
計			86									86				1		2		2		5	4		156	170							7	7	3	1	28		19	65					321

H－484

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			6									6													1	1								1	2		2	5					12
覆土2			7									7				1				1					1	3									1			1					11
覆土3			14									14						1		1					7	9						3	3	6	8		5	25					48
壁																									1	1									1			1					2
床面																																			1			1					1
床面直上			23									23						1							1	1						1			6		3	10					34
HP埋土																																		2		1	3					3
計			50									50				1		2		2					10	15						4	3	7	21		11	46					111

H－485

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			8									8	1					1		1					4	7						2	1	1	10		2	16					31
覆土2															1											1							1					1					2
床面直上																				1					1	2																	2
計			8									8	1		1			1		2					5	10						2	1	2	10		2	17					35

H－486

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			49	1	1							51						1				1	1		3	6						2	1		9	1	5	18					75
覆土2			19									19																							4	2	2	8					27
覆土4																						1	1		1	3								1				1					4
壁			5									5																					1					1					6
計			73	1	1							75						1				2	2		4	9						2	2	1	13	3	7	28					112

H－487

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			14									14		1											2	3									3		1	4					21
覆土2			27									27													2	2							1		1	1	3					32
覆土3			3									3										1	1			2						1			2		1	4					9
床面																																2					2					2
計			44									44		1								1	1		4	7						3	1		6		3	13					64

H－488

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			25									25			1			1				3			10	15							1	1	2	4		1	9					49
覆土2			21		3							24			1		1	1		1		2			5	11						2		1	4		1	8					43
覆土3			1									1								1					1								1		1		.	2					4
壁																																	1				1					1
床面																						1			1																	1
計			47		3							50			2		1	2		2		6			15	28						3	3	3	9		2	20					98

H－489

層位	土器												剥片石器群													磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			16		2							18								1		2			1	4							2	2	1	3		2	10					32
覆土2			2									2													3	3							2	1		2			5					10
覆土3																																	2						2					2
壁																																				1			1					1
計			18		2							20								1		2			4	7							6	3	1	6		2	18					45

H－490

層位	土器												剥片石器群													磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			75									75										4	1		196	201	1					1	2		4	5		6	17					294
覆土2			43									43											1		164	165	1					1	3	4	1	21		22	51					260
壁			26									26																																26
床面直上			4									4											1		5	6							1	1				2	4			4	16
計			148									148										4	3		365	372	2					2	6	5	5	26		28	70	4			4	596

H－491

層位	土器												剥片石器群													磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			43									43		1				2				1	1		5	10							1	1	1	10		6	19					72
覆土2			144									144			1			3		1		1			7	13							3	1	4	16		12	36					193
覆土3			186									186						1				4			2	7							3	4	2	11	2		22					215
壁			1									1													1	1												1	1					3
床面			1									1													2	2									1			2	3					6
床面直上			108									108						1								1									1	5		2	8					117
HP埋土																																				1			1					1
計			483									483		1	1			7		1		6	1		17	34							7	6	9	43	2	23	90					607

H－492

層位	土器												剥片石器群													磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			19									19		3						3		1			15	22									5	3		28	36					77
覆土2			52	1								53			1					3					12	16	1					1	4		5	18		20	47					117
床面直上			1									1																					1					1					2
HP埋土																																				1			1					1
計			72	1								73		3	1					6		1			27	38	1					1	4	1	10	22		48	85					197

H－493

層位	土器												剥片石器群													磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			18		1							19										1	1		2	4								2		16		5	23	1			1	47
覆土2			64	1	1							66						1		1		1	2		5	10							1	3	2	16	1	14	37					113
覆土3			8									8		1									1		2	4							1	1	1	7		4	14					26
壁			13									13													2	2								1		5		3	9					24
床面			5									5													2	2										4		1	5					12
床面直上			4	2								6								1					2	3							1	2		22	1	11	37					46
計			112	3	2							117		1				1		2		2	4		15	25							3	9	3	70	2	38	125	1			1	268

H－494

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			3									3								2						2							1	1		1		2	5					8
覆土2			4									4																						3		2	5					11
床面直上																																				1	1					1
HP埋土			3									3																						2		1	3					6
計			10									10								2						2							1	1		6		6	14					26

H－495

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			12									12										2			3	5										1			1					18
覆土2			14									14						1		1		1			1	4										1			1					19
覆土3																									1	1										2			2					3
壁																		1								1										3			3					4
床面																									2	2										1			1					3
HP埋土			3									3													1	1																			4
計			29									29						2		1		3			8	14										8			8					51

H－496

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			66									66						1		1		3			2	7								3	1	15	1	4	24					97
覆土2			19									19				1									4	5						1		1	3			5					29
覆土3			1									1													1	1								1	2			3					5
床面			5									5																							1			1					6
計			91									91				1		1		1		3			7	13							1	3	3		21	1	4	33					137

H－497

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			15	6								21								1					3	4							1	1		6		4	12					37
覆土2			28	2								30													8	8										3			3					41
床面			3									3																							1		1	2					5
計			46	8								54								1					11	12							1	1		10		5	17					83

H－498

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			27	2	4							33			1					2		1			11	15								5	2	7		11	25					73
覆土2			15									15						1		1					2	4										4		2	6					25
壁			1									1																							1			1					2
床面			8									8																							1		1	2					10
床面直上			5									5																							2	1	2	5					10
HP埋土			1									1																						1	2			3					4
計			57	2	4							63			1			1		3		1			13	19								6	2	17	1	16	42					124

H－499

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群							礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			20									20													5	5								6		7	1	7	21					46
覆土2																									1	1								1		2		2	5					6
壁			1									1																						2		1		2	5					6
床面直上																																					2	2					2
計			21									21													6	6								9		10	1	13	33					60

H－500

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群							礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			8									8		1						2					4	7							1				8		3	12					27
覆土2			3									3													1	1							1				3		1	5					9
壁			1	1								2																									1			1					3
床面																																							1	1					1
床面直上																											1				1						1	1	2					3
計			12	1								13		1						2					5	8	1				1	2				12	1	6	21					43

H－501

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群							礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1					1							1								2			1		2	5							1	1	1		7		7	17					23
覆土2			7		8							15		1				2		1					16	20							3		11		8	9	10	41					76
覆土3			12		7		1					20										1	3		4	8	1					1	1	1		2	3	3	9	19					48
壁																									1	1								1				1		2					3
床面直上																																						1		1					1
計			19		16		1					36		1				2		3		1	4		23	34	1					1	5	3	12	2	20	12	26	80					151

H－502

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群							礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			7									7																																7
計			7									7																																7

H－503

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群							礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			42		2		1					45		1	1							5	1		6	14							5	1	2		8		14	30					89
覆土2			1									1													1	1							1				6	1	1	9					11
計			43		2		1					46		1	1							5	1		7	15							6	1	2		14	1	15	39					100

H－504

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			47									47								1					2	3							1	1		7		5	14					64
覆土2																																					8	8					8
計			47									47								1					2	3							1	1		7		13	22					72

H－505

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			4									4													1	1										1		3	4					9
HP埋土																									1	1																	1
計			4									4													2	2										1		3	4					10

H－506

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			52									52								1		2			3	6							3		3		25		17	48					106
HP埋土			1									1																																1
計			53									53								1		2			3	6							3		3		25		17	48					107

H－507

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			36									36					1					1			19	21							1	2	2		13		17	35	1			1	93
床面			6									6																								4		4	8					14
床面直上			3									3													1	1										6		2	8					12
HP埋土																				1					1	1																		1
計			45									45					1			1		1			20	23							1	2	2		23		23	51	1			1	120

H－508

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			5									5													1	1										1		1	2					8
覆土2			5									5																										1	1					6
計			10									10													1	1										1		2	3					14

H－509

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			52	1								53					1			2		1		1	54	59		1				1	2	3	5		27	2	47	86					199
覆土2			20									20								1					1	2										1		1	2					24
床面																																					2	2					2
床面直上																																				1		1					1
HP埋土																									1	1										1		2	3					4
計			72	1								73					1			3		1		1	56	62		1				1	2	3	5		30	2	52	94					230

H－510

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			62		1							63		1	1										13	15							2	3	1		13		18	37					115
覆土2			4									4																					2			1		3	6					10
壁			18									18																						1		1		1	3					21
床面直上																																					1	1					1
計			84		1							85		1	1										13	15							2	5	2		15		23	47					147

H－511

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			45		18							63	1				1					1			7	10								1	1		5		6	13					86
覆土2			9									9													2	2												3	3					14
壁																							1			1																		1
計			54		18							72	1				1					1	1		9	13							1	1		5		9	16					101

H－512

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			54									54	1	2				1		1		3	1	1	37	47							4	1	2		14		22	43					144
覆土2			3		2							5													4	4							1		1		2		7	11					20
壁																									8	8											1		1					9
床面直上																							1			1																		1
計			57		2							59	1	2				1		1		3	2	1	49	60							5	1	3		17		29	55					174

H－513

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			1									1										2			3	5									1		1		2	4					10
覆土2			2									2																																	2
計			3									3										2			3	5									1		1		2	4					12

H－514

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			8		2							10						1		1		1			3	6								2	1				6	9					25
覆土2			1									1								2					2	4								1				1	2					7
計			9		2							11						1		3		1			5	10								2	2				7	11					32

H－515

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1							4					4								1		1			1	3								1			2			3					10
壁																																	1			1		2					2
計							4					4								1		1			1	3							2			3		5					12

H－516

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り痕片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			9				1					10	1									1	1		7	10							1	1		2		8	12					32
覆土2			7									7								1					1	2	1					1		2		4		4	10					20
計			16				1					17	1							1		1	1		8	12	1					1	1	3		6		12	22					52

H－517

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り痕片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			11									11						1					2		2	5									2		5	7					23
床面																																			1		1					1
床面直上			2									2																															2
計			13									13						1					2		2	5									2	1	5	8					26

H－518

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り痕片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			37	7								44													2	2						2		1		6		1	10					56
覆土2			2									2										1				1		1			1					3		3					7
計			39	7								46										1			2	3		1			1	2		1		9		1	13					63

H－519

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り痕片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			128				2					130						1		5		1			26	33								2			16	1	11	30					193
覆土2			1									1																				1	1					2					3
壁			1									1																															1
床面			2									2																					2			1			3					5
床面直上																									1	1										1			1					2
HP埋土			2									2																					1			2			3					5
計			134				2					136						1		5		1			27	34							1	6			20	1	11	39					209

H－520

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	掻器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り痕片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			12									12													2	2							1			2		7	10					24
覆土2			1									1													3	3							1	1		2		1	5					9
壁			1									1																								1		1					2
床面直上																																				1	1					1
計			14									14													5	5							2	1		5		9	17					36

H－521

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			17									17													5	5																		22
覆土2			6									6																																6
HP埋土			1									1													1	1																		2
計			24									24													6	6																		30

H－522

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			17									17								1					3	4											2		9	11					32
覆土2													1												1	2													2	2					4
壁			3									3																																3
床面直上																									2	2							1				4		2	7					9
計			20									20	1							1					6	8							1				6		13	20					48

H－524

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			56									56						1							2	3											1			1					60
覆土2			10									10						1								1																		11
壁			1									1																																1
HP埋土			4									4																																4
計			71									71						2							2	4											1			1					76

H－528

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			9	1								10								1					2	3	2					2					2			2					17
覆土2																		1								1											4		2	6					7
床面直上																									2	2																			2
HP埋土			3									3																						1					1	2					5
計			12	1								13						1		1					4	6	2					2			1			6		3	10					31

H－531

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			174	3	4							181									2	2		31	35							2	2	3		28	1	21	57					273
覆土2			64	3	3							70								1			1		4	6							2	2	1		7	1	5	18					94
覆土3			12									12																								1			1					13
計			250	6	7							263								1		2	3		35	41							4	4	4		36	2	26	76					380

H－532

層位	土器												剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	尾器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			2									2										1			4	5								1	4		5		8	18					25
床面			1									1																							1			1	2					3
HP埋土			2									2																																2
計			5									5										1			4	5								1	4		6		9	20					30

H－533

層位	土器												剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	尾器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1																																		1		5			6					6
覆土2			1									1																						1		2			3					4
壁																							1		1	1																	1
床面			3									3																																3
床面直上			11									11																											1	1				12
計			15									15											1		1	1									2		7		1	10					26

H－535

層位	土器												剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	尾器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			68									68						1		4		1			16	22							1	2		6	1	25	35					125
覆土2			54									54						1				2			6	9							1	3	1	8		27	40					103
床面			5									5													2	2								1		1			2					9
床面直上			41									41						1		2					4	7	1					1		4	1	7		15	27					76
HP埋土																																				2			2					2
計			168									168						3		6		3			28	40	1					1	2	10	2	24	1	67	106					315

H－539

層位	土器												剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	尾器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			17									17		1				1		1					6	9								1			6		1	8					34
計			17									17		1				1		1					6	9								1			6		1	8					34

H－540

層位	土器												剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	尾器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			5									5																										1	1					6
計			5									5																										1	1					6

H－541

層位	土器												剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	尾器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			13									13						1							4	5							1			3			4					22
計			13									13						1							4	5							1			3			4					22

H－542

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1					38							38																									1	1					39
計					38							38																									1	1					39

H－543

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1																			1						1	2																			2
覆土2			1									1																																	1
床面直上																																1						1					1
HP埋土			4									4																																	4
計			5									5							1						1	2							1						1					8

H－545

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			3									3													1	1								1		2		3					7
計			3									3													1	1								1		2		3					7

H－546

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			2									2																																	2
覆土1																									1	1											3		1	4					5
計			2									2													1	1											3		1	4					7

H－549

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			10				1					11													4	4											1		1					16
計			10				1					11													4	4											1		1					16

H－550

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			18		1							19		1	1										4	6								1	1		1		2	5					30
床面																																	1				1						1
床面直上																									1	1																			1
HP埋土			3									3													6	6											1		1	2					11
計			21		1							22		1	1										11	13							1	2		2		3	8					43

H－551

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	尾器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			6									6													2	2							1			2		4	7					15
床面直上			1									1																					1					1					2
HP埋土																																			1		1					1
計			7									7													2	2							1			3		4	9					18

H－552

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	尾器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			10									10																								1			1					11
計			10									10																								1			1					11

H－553

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	尾器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			1									1																															1
計			1									1																															1

P－263

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	尾器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土																							1		1								1			1		2					3
不明			21									21	1												10	11										4		21	25					57
計			21									21	1										1		10	12							1			5		21	27					60

P－264

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	尾器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			8									8		1											2	3										3		7	10					21
壙底直上			12									12						2					1		4	7								2			1	3					22
計			20									20		1				2					1		6	10								2		3	8	13					43

P－265

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	尾器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			3									3													4	4										1			1					8
壙底直上			2									2																									6	6					8
計			5									5													4	4										1		6	7					16

P－266

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	尾器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土上			15									15													1	1										1		4	5					21
覆土中			1									1																															1
計			16									16													1	1										1		4	5					22

P－267

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錐	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			3		2							5								1			1		2	4								1					1					10
覆土3																																1						1					1
計			3		2							5								1			1		2	4							1		1				2					11

P－268

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錐	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			1									1																					1			1		1	3					4
覆土2			4									4										1			1								1			3	2	1	7					12
覆土3	1		1		1							3																				1	1		7			9					12
壁																																1			2			3					3
壙底直上																																1	1					2					2
壙底																																1			1			2					2
計	1		6		1							8										1			1							1	5	2		14	2	2	26					35

P－269

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錐	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			36									36								1					5	6							1	1	1		7		1	11					53
覆土3			2									2																																	2
壁																																					2	2					2
壙底直上			16									16																					1			1		1	3					19
計			54									54								1					5	6							1	2	1		8		4	16					76

P－270

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錐	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			5									5																						1					1	2					7
計			5									5																						1					1	2					7

P－271

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錐	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土																																					2	2					2
覆土3																				1						1																			1
壙底直上																																			3			3					3
計																				1						1									3			3					6

P－272

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錐	石鋸	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土																																			2			2					2
覆土2			1									1																																	1
計			1									1																									2			2					3

P－273

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			1									1																									1	1					2
覆土2			4									4																									1	1					5
覆土3			2									2													1	1											1	1					4
壁																									1	1																	1
不明																									1	1																	1
計			7									7													3	3											3	3					13

P－274

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土																																1			1		2					2
計																																1			1		2					2

P－275

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土																																			1							1
計																																			1							1

P－276

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			6	6								12													1	1										1		1					14
計			6	6								12													1	1										1		1					14

P－277

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			5									5																								3		1	4					9
計			5									5																								3		1	4					9

P－278

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			118									118													1	1										1	4	2	7					126
計			118									118													1	1										1	4	2	7					126

P－279

層位	土器													剥片石器群														磨製石器群						礫石器群								その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			9									9													1	1							1					1	2					12
覆土上			6									6																								2		2	4					10
覆土下			3									3								1						1										2		2	4					8
計			18									18								1					1	2							1			4		5	10					30

P－280

層位	土器												剥片石器群											磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土																																1					1	1					1
計																																1					1	1					1

P－281

層位	土器												剥片石器群											磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			2									2													1	1																	3
覆土上			2									2																								1		1	2				4
覆土下			2									2																															2
計			6									6													1	1										1		1	2				9

P－282

層位	土器												剥片石器群											磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			3									3													1	1										1		1	2				6
覆土上			13									13								1			1			2						2	1	1		3		1	8				23
覆土下			3									3													1	1										2		1	3				7
計			19									19								1			1		2	4						2	1	1		6		3	13				36

P－285

層位	土器												剥片石器群											磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			9									9															1				1						1		1				11
覆土2																		1							1																		1
覆土3			14									14																															14
壙底																				1					1	2												2	2				4
計			23									23						1		1					1	3	1				1						1	2	3				30

P－286

層位	土器												剥片石器群											磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			178									178								3					17	20							1				6	2	9	18				216
計			178									178								3					17	20							1				6	2	9	18				216

P－287

層位	土器												剥片石器群											磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
壁			1									1										1				1								1					1				3
覆土上			3									3													96	96																		99
壙底直上			4									4													1	1													2	2				7
計			8									8										1			97	98							1					2	3				109

P－288

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			10									10													1	1																	11
計			10									10													1	1																	11

P－289

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			6									6													2	2																	8
計			6									6													2	2																	8

P－290

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			7									7																					1				1	2					9
計			7									7																					1				1	2					9

P－291

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土																															1					1	2					2
計																															1					1	2					2

P－292

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土																																		1		1					1
計																																		1		1					1

P－294

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			11									11													1	1						1	1				1	3					15
計			11									11													1	1						1	1				1	3					15

P－296

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			3									3																															3
計			3									3																															3

P－297

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			13									13						1								1								2			3	1	1	7					21
計			13									13						1								1								2			3	1	1	7					21

P－298

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			7									7																								2			2					9
計			7									7																								2			2					9

P－299

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			5									5																																5
壌底直上			4									4																																4
計			9									9																																9

T－1

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土上			1									1																									1		1					2
覆土中			2									2																					1						1					3
計			3									3																					1					1	2					5

T－67

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1																				1					2	3							3	1			1		2	7					10
覆土上			61	1								62					1			4					7	12										5		3	8					82
覆土中			38									38								3					5	8							1		1	2		6	10					56
覆土下			9									9					1	1							1	3										3		3	6					18
計			108	1								109					2	1		8					15	26							4	1	1		11		14	31					166

T－68

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土上			1									1													6	6								1			1	1	3					10
覆土中			12									12								2					4	6							1				5	9	15					33
覆土下			11									11								1						1											2	3	5					17
計			24									24								3					10	13							1	1			8	13	23					60

T－69

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土上			4									4													1	1									2		2	4					9
覆土中			3									3																							1		4	5					8
計			7									7													1	1									3		6	9					17

T－70

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土			3									3								1						1										1			1					5
計			3									3								1						1										1			1					5

T－161

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土中													1												1								1			2		7	10					11
覆土下			4									4																						1				1					5
計			4									4	1												1								1	1		2		7	11					16

T－162

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			32	1								33		1	1					1					4	7							1	1	1		2		12	17					57
壙底直上			3									3																																3
計			35	1								36		1	1					1					4	7							1	1	1		2		12	17					60

T－163

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土上			61		4							65						1		2					13	16							1			4	1	8	14					95
覆土下			2									2													1	1										1		1	2					5
計			63		4							67						1		2					14	17							1			5	1	9	16					100

T－165

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土上			90									90	1	1											8	10										3		8	11					111
覆土下																				1						1										2			2					3
計			90									90	1	1						1					8	11										5		8	13					114

T－166

層位	土器													剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土上			9	2								11								1					2	3												3	3					17
覆土下			3									3																										1	1					4
計			12	2								14								1					2	3												4	4					21

T－167

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群						その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土上			1									1													1	1								1				1	2					4
計			1									1													1	1								1				1	2					4

T－168

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群						その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土上			2		1							3																																19
覆土中			13									13								4					7	11								2			4		10	16					41
覆土下			4									4											1		1	2											1		16	17					6
計			19		1							20								4			1		8	13								2			5		26	33					66

T－169

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群						その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土上																									1	1																		1
計																									1	1																		1

T－171

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群						その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土上			3									3																						1		1			2					5
覆土下			11									11													1	1								1					6	8					20
計			14									14													1	1								1	1		2		6	10					25

T－177

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群						その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土1			7		2							9													1	1											1		1					11
計			7		2							9													1	1											1		1					11

T－189

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群						その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土中			11									11								1					2	3									1		2			3					17
計			11									11								1					2	3									1		2			3					17

T－190

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群						その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石鋸	石錐	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土下			1									1																								1		1					2
計			1									1																								1		1					2

T－193

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土下																																				3	3					3
計																																				3	3					3

T－194

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土3																																				5	5					5
計																																				5	5					5

T－218

層位	土器												剥片石器群												磨製石器群						礫石器群							その他				合計
	I	IB	ID1	ID2	IE	IF	IG	II	IJ	II	不明	計	石鏃	石槍	石錐	ヘラ状石器	両面調整石器	石匙	彫器様石器	スクレイパー	クサビ形石器	Rフレイク	Uフレイク	石核	剥片	計	石斧	擦り切り残片	研磨石材	石斧原石	環状石斧	計	たたき石	すり石	砥石	石錘	石皿台石	礫	計	土器片錘	石製品	その他	計	
覆土下																									1	1																	1
計																									1	1																	1

表5 遺構の掲載土器一覧

遺構番号	図 番 号	出土層位	分 類	接合・同一個体出土遺構等	点数	遺構番号	図 番 号	出土層位	分 類	接合・同一個体出土遺構等	点数
H－34	図III－4－1	覆土3層	ID1	H－410, H－462	11	H－74	図III－23－4	覆土3層	ID1		1
	－2	覆土2層	ID1		2		－5	覆土3層	ID1	41－33	1
	－3	覆土1層	ID1		22		－6	覆土2層	ID1		1
	－4	覆土1層	ID1		1		－7	覆土2層	ID1		7
	－5	覆土1層	ID1		1		－8	覆土3層	ID1		1
	－6	覆土1層	ID1	39－33	5		－9	覆土1層	IE	40－32	2
H－40	図III－8－1	覆土1層	ID1	39－30	9		－10	覆土1層	ID1		2
	－2	覆土1層	ID1		1	H－118	図III－28－1	覆土1層	ID1	39－35	24
	－3	覆土1層	ID1		1		－2	覆土1層	ID1		2
H－73	図III－12－1	床面直上	ID1		86		－3	覆土1層	IE		1
	－2	床面直上	ID1	表採	37		－4	覆土1層	ID1		1
	－3	床面直上	ID1		20	H－156	図III－32－1	床面	ID1		17
	－4	床面 床面直上 覆土2層 HP埋土	ID1		25		－2	床面	ID1		3
							－3	床面	ID1		1
							－4	覆土3層	ID1		3
							－5	覆土3層	ID1		17
	－5	床面直上	ID1		43		－6	覆土3層	ID1		23
	－6	床面 床面直上 覆土3層 覆土2層	ID1		65		－7	覆土2層	ID2		1
							－8	覆土1層	ID1		2
							－9	覆土1層	ID1		1
							－10	覆土1層	ID1		6
	－7	覆土3層	ID1		13		－11	覆土1層	ID1		5
	－8	覆土3層	ID1		34		－12	床面直上	ID1		7
	図III－13－9	覆土2層	ID1		31	H－402	図III－36－1	床面直上	ID1		2
	－10	覆土2層	ID1	H－454, T－162, 41－36	71		－2	覆土2層	ID1		7
	－11	床面	IB		1		－3	覆土2層	ID1	39－30	8
	－12	床面直上	ID1		4		－4	覆土1層	ID1	42－30	10
	－13	床面直上	ID1		1		－5	覆土1層	ID1		1
	－14	床面直上	ID2		1		－6	覆土1層	ID1		1
	－15	覆土2層	ID1		1		－7	風倒木痕	ID1		2
	－16	覆土2層	ID1		1		－8	覆土1層	ID1		1
	－17	覆土2層	ID1		16		－9	覆土1層	ID1		2
	－18	覆土2層	ID1		1		－10	覆土1層	ID1	39－31, 39－32	6
	－19	覆土2層	ID1		1		－11	覆土1層	ID1		2
	－20	覆土2層	ID1		3		－12	風倒木痕	ID1		2
	－21	覆土2層	ID1		2		－13	III	ID1		1
	－22	覆土2層	ID1		3		－14	III	IE		4
	－23	覆土2層	ID1		1	H－405	図III－42－1	覆土2層	ID1	T－163, H－470	70
	－24	覆土2層	ID1	同一個体T－28	10		－2	覆土2層	ID1		11
	－25	覆土2層	ID2		1		－3	覆土2層	ID1		43
	－26	覆土2層	ID2		1		－4	覆土1層	ID1		36
	－27	覆土2層	ID2		1		－5	覆土1層	ID1	H－467, T－163	70
	－28	覆土2層	ID1		4		－6	覆土1層	ID1		21
	－29	覆土2層	ID1		1		－7	覆土1層	ID1		22
	－30	覆土1層	ID1		1		－8	覆土2層	ID1		62
	図III－14－31	覆土1層	ID1	39－34	2		－9	覆土1層	IE	H－453, H－454, H－457, H－458, H－486	38
	－32	覆土1層	ID1		1						
	－33	覆土1層	ID1	40－35	3		－10	覆土1層	IE	H－467, T－163, 41－33	64
	－34	覆土1層	ID1	40－38	8		図III－43－11	床面	ID1	H－467	6
	－35	覆土1層	ID1		4		－12	壁	ID1		1
	－36	覆土2層	ID2		3		－13	覆土2層	ID1		1
	－37	覆土1層	ID2		1		－14	覆土2層	ID1	H－473, 同一個体H－461（図III－133－3）	2
	－38	覆土2層 覆土3層	ID1		3						
	－39	覆土2層	ID1		1		－15	覆土2層	ID1	H－474（図III－192－6）, H－467	6
	－40	覆土1層	ID2		2						
	－41	床面直上	ID1		24		－16	覆土2層	ID1		2
H－74	図III－23－1	覆土3層	IB		1		－17	覆土2層	ID1		8
	－2	覆土3層	ID1		1		－18	覆土2層	ID1		8
	－3	覆土3層	ID1		1		－19	覆土2層	ID1		3

遺構番号	図番号	出土層位	分類	接合・同一個体出土遺構等	点数
H－405	図III－43－20	覆土2層	ID1		4
	－21	覆土1層	ID1		1
	－22	覆土1層	ID1		1
	－23	覆土1層	ID1		3
	－24	覆土1層	ID1		1
	－25	覆土1層	ID1	H－467	2
	－26	覆土1層	ID1		3
	－27	覆土1層	ID1		1
	－28	覆土1層	ID1		1
	－29	覆土1層	ID1		1
	図III－44－30	覆土1層	ID1		6
	－31	覆土1層	ID1		1
	－32	覆土1層	ID1		3
	－33	覆土1層	ID1		3
	－34	覆土1層	ID2		1
	－35	覆土1層	IE		4
	－36	覆土1層	IE		3
	－37	III	ID1		1
	－38	III	ID1		1
	－39	III	ID1		2
	－40	覆土1層	ID1		4
	－41	覆土1層	ID1	H－467	2
	－42	III	ID2		1
	－43	III	IE		1
	－44	III	IE		1
	－45	覆土1層	IE	T－163，41－33	10
	－46	覆土1層	IE		2
	－47	III	IE		6
	－48	III	ID1		7
	－49	覆土1層	ID1		10
	－50	覆土1層	ID1	41－34	6
H－406	図III－50－1	覆土1層	ID1	44－33	52
	－2	III	ID1	44－33	5
	－3	床面	ID1		1
	－4	壁	ID1		1
	－5	覆土2層	ID1		1
	－6	覆土1層	ID1		1
	－7	覆土1層	ID1		1
	－8	覆土1層	ID1		1
	－9	覆土1層	ID1		1
	－10	覆土1層	ID1		2
	－11	覆土1層	ID1		3
	－12	III	ID1		1
	－13	III	ID1		2
	－14	III	ID1		1
	－15	III	ID1		1
	－16	III	ID1	44－33	4
	－17	III	ID2		1
	－18	III	IE		1
	－19	覆土2層	ID1		2
	－20	覆土1層	ID1		1
H－408	図III－55－1	覆土4層	ID1		11
	－2	覆土3層	ID1	H－512，43－33	25
	－3	覆土3層	ID1		135
	－4	覆土3層 覆土2層	ID1	43－33	57
	－5	覆土3層	ID1		10
	－6	覆土2層	ID1		59
	－7	覆土2層	ID1		36
	－8	覆土1層	ID1		16
	－9	覆土3層	ID1		2
	－10	覆土3層	ID1		1
H－408	図III－55－1	覆土3層	ID1		99
	－2	覆土3層	ID1		17
	－3	覆土3層	ID1		6
	－4	覆土3層	ID1		15
	－5	覆土2層	ID1		17
	－6	覆土2層	ID1		17
	－7	覆土2層	ID1		52
	－8	覆土2層	ID1		147
	図III－64－9	覆土2層	ID1		37
	－10	覆土2層	ID1		34
	－11	覆土1層	ID1		18
	－12	覆土1層	ID1		47
	－13	覆土1層	ID2		24
	－14	覆土1層	ID1		22
	－15	覆土1層	ID1		11
	－16	覆土1層	ID1		54
	－17	HP埋土	ID1		1
	－18	覆土2層	ID1		1
	－19	III	ID1		1
	－20	HP埋土	ID1		9
	図III－65－21	床面	ID1		1
	－22	床面	ID1		2
	－23	床面	ID1		4
	－24	床面	ID1		1
	－25	床面	ID1		2
	－26	床面	ID1		1
	－27	床面	ID1		2
	－28	床面	ID1		1
	－29	覆土2層	ID1		1
	－30	覆土2層	ID1		3
	－31	覆土2層	ID1		5
	－32	覆土2層	ID1		5
	－33	覆土2層	ID1		1
	－34	覆土2層	ID1		3
	－35	覆土2層	ID1		1
	－36	覆土2層	ID1		1

遺構番号	図番号	出土層位	分類	接合・同一個体出土遺構等	点数
H－408	図III－55－11	覆土3層	ID1		1
	－12	覆土3層	ID1		2
	図III－56－13	覆土3層	ID1	H－454	11
	－14	覆土3層	ID1		2
	－15	覆土2層	ID1		1
	－16	覆土3層	ID1		2
	－17	覆土3層	ID1		2
	－18	覆土3層	ID2		3
	－19	覆土3層	ID2	H－454，45－31，45－32	6
	－20	覆土3層	ID1		11
	－21	覆土2層	ID1		1
	－22	覆土2層	ID1	46－36 同一個体H－471(図III－179－4)	4
	－23	覆土2層	ID1	46－36	1
	－24	覆土2層	ID1		1
	－25	覆土2層	ID1		1
	－26	覆土2層	ID1		1
	－27	覆土1層	ID1		1
	－28	覆土1層	ID1		1
	－29	覆土1層	ID1		1
	－30	覆土1層	ID1		1
	－31	覆土1層	ID1		1
	－32	覆土1層	ID2		1
	－33	覆土3層	ID1		7
	－34	覆土3層	ID1		2
H－410	図III－63－1	床面	ID1		99
	－2	床面	ID1		17
	－3	床面，覆土	ID1	39－35	6
	－4	床面	ID1		15
	－5	覆土2層	ID1	39－33	17
	－6	覆土2層	ID1	39－33	17
	－7	覆土2層	ID1		52
	－8	覆土2層	ID1		147
	図III－64－9	覆土2層	ID1		37
	－10	覆土2層	ID1		34
	－11	覆土1層	ID1		18
	－12	覆土1層	ID1		47
	－13	覆土1層	ID2		24
	－14	覆土1層	ID1		22
	－15	覆土1層	ID1		11
	－16	覆土1層	ID1		54
	－17	HP埋土	ID1		1
	－18	覆土2層	ID1		1
	－19	III	ID1		1
	－20	HP埋土	ID1		9
	図III－65－21	床面	ID1		1
	－22	床面	ID1		2
	－23	床面	ID1		4
	－24	床面	ID1		1
	－25	床面	ID1		2
	－26	床面	ID1		1
	－27	床面	ID1		2
	－28	床面	ID1		1
	－29	覆土2層	ID1		1
	－30	覆土2層	ID1		3
	－31	覆土2層	ID1		5
	－32	覆土2層	ID1		5
	－33	覆土2層	ID1		1
	－34	覆土2層	ID1		3
	－35	覆土2層	ID1		1
	－36	覆土2層	ID1		1

遺構番号	図 番 号	出土層位	分 類	接合・同一個体出土遺構等	点数
H－410	図III－65－37	覆土2層	ID1		1
	－38	覆土2層	ID1		2
	－39	覆土2層	ID2		1
	－40	覆土2層	IE		4
	－41	覆土2層	ID1		7
	－42	覆土1層	ID1		2
	図III－66－43	覆土1層	ID1		6
	－44	覆土1層	ID1		16
	－45	覆土1層	ID1		6
	－46	覆土1層	ID1	40－30	3
	－47	覆土1層	ID1		1
	－48	床面	ID1		6
	－49	覆土1層	ID1		3
	－50	覆土1層	ID1		1
	－51	覆土1層	ID1		6
	－52	覆土1層	ID1	同一個体H－406	11
	－53	覆土1層	ID1		8
	－54	III	ID1		1
	－55	覆土1層	ID1		1
	－56	覆土1層	ID1		5
	－57	覆土1層	ID2		1
	図III－67－58	覆土2層	ID1		13
	－59	III	ID1	39－32	3
	－60	III	ID1		2
	－61	III	ID1	39－32，39－35	27
	－62	III	ID1		1
	－63	III	ID1		15
	－64	III	ID1		1
	－65	III	ID1		1
	－66	III	ID2		7
	－67	III	IE		3
H－419	図III－77－1	III	ID1		2
	－2	III	ID1	H－468	4
	－3	III	ID1		2
	－4	III	ID1		6
	－5	III	ID1		1
H－450	図III－79－1	覆土2層	ID1		35
	－2	覆土1層	ID1		23
	－3	覆土1層	ID1	H－472	10
	－4	覆土2層	ID1		1
	－5	覆土2層	ID1		1
	－6	覆土1層	ID1		1
	－7	覆土1層	ID1		1
	－8	覆土1層	ID1		1
	－9	覆土1層	ID1	H－408，H－454	1
	－10	覆土1層	ID1		3
	－11	覆土1層	ID1		1
	－12	覆土1層	ID1		1
	－13	覆土1層	ID1	43－32	5
	－14	III	ID1		1
	－15	III	IE		1
H－451	図III－84－1	覆土3層	ID1		31
	－2	床面	ID1	40－36	6
	－3	床面	ID1		2
	－4	床面	ID1		1
	－5	床面	ID1		14
	－6	床面直上	ID1		1
	－7	床面直上	ID1		2
	－8	床面	ID1		1
	－9	覆土3層	ID1		1
	－10	覆土3層	ID1		5
	－11	覆土3層	ID1		1

遺構番号	図 番 号	出土層位	分 類	接合・同一個体出土遺構等	点数
H－451	図III－84－12	覆土3層	ID1		1
	－13	覆土3層	ID2		1
	－14	覆土2層	ID1	40－36	4
	－15	覆土2層	ID1		1
	－16	覆土2層	ID1		4
	－17	床面直上	ID1		2
	－18	覆土2層	ID1		1
	－19	覆土2層	ID1		1
	－20	覆土2層	ID1		2
	－21	覆土2層	ID1		1
	－22	覆土2層	ID1		3
	－23	覆土2層	ID1		4
	図III－85－24	覆土1層	ID1		1
	－25	覆土1層	ID1		1
	－26	覆土1層	IE		2
	－27	覆土1層	IG		1
	－28	覆土3層	ID1		5
H－453	図III－92－1	床面	ID1		1
	－2	覆土2層	ID1		3
	－3	覆土2層	ID1		1
	－4	覆土2層	IG		1
	－5	覆土2層	IG		1
	－6	覆土1層	ID1		1
	－7	覆土1層	IG		1
	－8	III	ID1		1
	－9	覆土1層	ID2	H－454，40－39	12
	－10	III	IE		1
	－11	III	IG		1
	－12	III	IG		1
	－13	III	IG		2
	－14	III	IG		2
	－15	III	IG		1
	－16	III	IG		1
H－454	図III－96－1	床面	ID1	H－73	60
	－2	床面	ID1	H－497	18
	－3	床面	ID2	H－497，41－36	52
	－4	覆土2層	ID1		155
	－5	覆土2層	ID1		28
	－6	覆土2層	ID1		37
	－7	覆土2層	ID1	41－37	32
	－8	覆土2層	ID1		26
	－9	覆土2層	ID1		17
	－10	覆土2層	ID1		14
	図III－97－11	覆土1層	ID1		61
	－12	覆土1層	ID1		22
	－13	III	IE	H－405，H－493，H－531，T－163，41－33，42－34，42－37，46－37	36
	－14	III	IE	H－498，40－35，42－36，44－34，45－34，46－34	35
	－15	覆土1層	ID1		4
	－16	床面	ID1		1
	－17	覆土2層	ID1		1
	－18	覆土2層	ID1		4
	－19	覆土2層	ID1		1
	－20	覆土2層	ID1		1
	－21	覆土2層	ID1		1
	－22	覆土2層	ID1		2
	－23	覆土2層	ID1		4
	－24	覆土2層	ID1		3
	－25	覆土2層	ID1		7
	－26	覆土2層	ID1		6

遺構番号	図番号	出土層位	分類	接合・同一個体出土遺構等	点数
H－454	図III－98－27	覆土2層	ID2	40－37	2
	－28	覆土2層	ID2		1
	－29	覆土1層	ID1		2
	－30	覆土1層	ID1		1
	－31	覆土1層	ID1		2
	－32	覆土1層	ID1		1
	－33	覆土1層	ID1		1
	－34	覆土1層	ID1	45－31	4
	－35	覆土1層	ID1		2
	－36	覆土1層	ID1		11
	－37	覆土2層	ID1		3
	－38	覆土1層	ID1		1
	－39	覆土1層	ID1		1
	－40	覆土1層	ID1		1
	－41	覆土1層	ID1		1
	－42	覆土1層	ID1		1
	－43	覆土1層	ID1		1
	－44	覆土1層	ID1		1
	－45	覆土1層	ID1		1
	－46	覆土1層	ID1	H－457，H－493	6
	－47	覆土1層	ID1		1
	－48	覆土1層	ID1		1
	－49	覆土1層	ID1		8
	－50	覆土1層	ID1		1
	－51	覆土1層	ID1		1
	図III－99－52	III	ID1	41－36	8
	－53	覆土1層	ID1		2
	－54	III	ID1		1
	－55	III	ID1		1
	－56	III	ID1		4
	－57	III	ID1		1
	－58	III	ID1	T－162	8
	－59	III	ID1		1
	－60	III	ID1		2
	－61	覆土1層	ID1		3
	－62	III	ID1		3
	－63	III	ID1		2
	－64	III	ID1		1
	－65	III	ID1		1
	－66	III	ID1		1
	－67	III	IE		1
	－68	III	IE	42－36	2
	－69	III	IE	42－36	2
	－70	III	IE	41－37	2
	－71	覆土2層	ID1	H－493	5
	－72	III	IG	41－37	2
	－73	III	IG		2
	－74	III	IG		4
	－75	III	IG		1
	－76	III	IG		1
H－455	図III－106－1	覆土1層	ID1	41－38	36
	－2	床面直上	ID1		1
	－3	覆土2層	ID1		1
	－4	覆土1層	ID1		1
	－5	覆土1層	ID1		1
	－6	覆土1層	ID2		7
	－7	覆土1層	ID1		3
	－8	III	IE		1
	－9	床面 HP埋土 覆土1層 覆土2層	ID1		28

遺構番号	図番号	出土層位	分類	接合・同一個体出土遺構等	点数
H－456	図III－109－1	床面直上	ID1		1
H－457	図III－114－1	床面直上	ID1	H－491	14
	－2	床面直上	ID1	H－535，42－36	31
	－3	III	IE	H－73，H－450，H－454，H－478，H－498，H－512，T－193，P－268，40－37，41－37，42－33，42－37，43－37	67
	－4	床面直上	ID1		1
	－5	覆土2層	ID1		2
	－6	覆土2層	ID1		5
	－7	覆土1層	ID1		11
	－8	覆土2層	ID1		1
	－9	覆土	ID1		6
	－10	III	ID1		1
	－11	III	ID2		1
	－12	III	IE		1
	－13	覆土	ID1		9
H－458	図III－117－1	覆土2層	ID1		1
H－459	図III－120－1	覆土1層	ID1	H－405，H－473，H－506，43－31	11
	－2	覆土1層	ID1		1
	－3	覆土1層	ID1		4
	－4	覆土2層	IE		3
	－5	覆土1層	IG		1
	－6	覆土1層	IG	同一個体(図III－120－9)	2
	－7	III	ID1		1
	－8	III	ID1		2
	－9	覆土1層	IG	同一個体(図III－120－6)	3
H－460	図III－124－1	覆土2層	ID1	42－31	78
	－2	覆土2層	ID1	H－472	81
	－3	覆土2層	ID1	P－286，41－31，42－31	25
	－4	覆土2層	ID1	42－31	119
	－5	覆土2層	ID1	H－450，42－31，42－32	19
	－6	覆土2層	ID1	40－31，41－31，41－32，42－32	21
	－7	覆土2層	ID1		55
	図III－125－8	壁	ID1	H－450，H－472，42－32，43－32，44－32	31
	－9	覆土2層	ID1	42－31，43－31，45－31	15
	－10	覆土2層	ID2	T－67	23
	－11	覆土2層 覆土1層	ID1	T－165，42－31	25
	－12	覆土2層	ID1	H－410，46－33	38
	－13	覆土2層	ID1	42－31，42－32，43－31	68
	－14	覆土1層	ID1		1
	－15	覆土1層	ID1		9
	図III－126－16	壁	ID1	44－32 同一個体43－31，T－165	4
	－17	覆土2層	ID1	42－31	8
	－18	覆土2層	ID1		1
	－19	覆土2層	ID1		1
	－20	覆土2層	ID1		2
	－21	覆土2層	ID1		4
	－22	覆土2層	ID1		2
	－23	覆土2層	ID1		1
	－24	覆土2層	ID1		1
	－25	覆土1層	ID1		1
	－26	覆土2層	ID1		3
	－27	覆土1層	ID1		1
	－28	覆土1層	ID1		2
	－29	覆土1層	ID1		1

遺構番号	図 番 号	出土層位	分 類	接合・同一個体出土遺構等	点数
H－460	図III－126－30	覆土1層	ID1		3
	－31	覆土1層	ID1	45－32	2
	－32	覆土1層	ID1		1
	－33	覆土1層	ID1		1
	－34	覆土1層	ID1	45－31	1
	－35	覆土1層	ID1		1
	－36	覆土1層	ID1		1
	－37	覆土1層	ID1		1
	－38	覆土1層	ID1		1
	－39	III	ID1		1
	－40	III	ID1		2
	－41	III	ID1	42－31	4
	－42	III	ID2		1
H－461	図III－133－ 1	覆土1層	ID1	H－405, H－473	44
	－ 2	覆土1層	ID1	H－506, 42－32, 42－33	47
	－ 3	覆土1層	ID1	同一個体H－405(図III－42－4)	2
	－ 4	覆土1層	ID1		3
	－ 5	覆土1層	ID1	H－473	2
	－ 6	覆土1層	ID1		1
	－ 7	覆土1層	ID1		1
	－ 8	覆土1層	ID1		1
H－462	図III－138－ 1	覆土3層	ID1	T－67, 41－31	31
	－ 2	覆土3層	ID1	T－67, 41－31	113
	－ 3	覆土3層	ID1		61
	－ 4	覆土3層 覆土1層	ID1	T－67, 41－31	113
	－ 5	覆土2層	ID1	40－30, 40－31, 41－32	33
	－ 6	覆土2層	ID1		26
	－ 7	覆土2層	ID2	40－31	43
	図III－139－ 8	覆土3層	ID1	41－30	3
	－ 9	覆土3層	ID1		5
	－10	覆土3層	ID1		1
	－11	覆土3層	ID1		2
	－12	覆土3層	ID1	40－31	15
	－13	覆土2層	IB		1
	－14	覆土2層	ID1		1
	－15	覆土2層	ID1		1
	－16	覆土2層	ID1		1
	－17	覆土2層	ID1		28
	－18	覆土2層	ID1	41－31	4
	－19	覆土1層	ID1		1
	－20	覆土2層	ID1		5
	－21	覆土1層	ID2		1
H－463	図III－144－ 1	壁	ID1	40－30	2
	－ 2	HP埋土	ID2		1
H－464	図III－146－ 1	壁	ID1	42－30	3
	－ 2	覆土1層	ID1		3
	－ 3	覆土1層	ID1		1
	－ 4	III	ID1		1
	－ 5	覆土1層	ID1		1
H－465	図III－150－ 1	床面	ID1		2
	－ 2	床面	ID1	41－31	3
	－ 3	床面直上	IE		1
	－ 4	床面直上	ID1		1
	－ 5	覆土2層	ID1		1
	－ 6	覆土2層	ID1		1
	－ 7	覆土2層	ID1		1
	－ 8	覆土2層	ID1		1
	－ 9	覆土2層	ID1		1
	－10	覆土2層	ID1		3
	－11	覆土2層	ID1		1
H－465	図III－150－12	覆土2層	IE		1
	－13	覆土1層	ID1		8
	－14	覆土1層	ID1	44－33	2
	－15	覆土1層	ID1		2
	－16	覆土1層	ID1		2
	－17	III	IB		1
	－18	床面	ID2		2
	－19	床面直上 覆土2層	ID2		2
	－20	覆土2層	ID1		1
	－21	覆土2層	ID1		13
H－466	図III－155－ 1	覆土2層	ID1	H－405, H－462, H－467, 41－31, 43－30, 46－32	26
	－ 2	覆土2層	ID1		115
	－ 3	覆土2層	ID1	41－30, 41－31	31
	－ 4	覆土2層	ID1		35
	－ 5	覆土2層	ID1	41－31	40
	－ 6	覆土2層	ID1	H－74, H－451	30
	－ 7	覆土2層	ID1	41－30	15
	－ 8	覆土1層	ID1	T－165, 42－30, 42－31	14
	図III－156－ 9	覆土3層	ID1	T－165, 39－32	4
	－10	覆土1層	ID1		2
	－11	覆土2層	ID1	H－482, 39－34, 39－35	12
	－12	覆土2層	ID1	H－464, 41－30	3
	－13	覆土2層	ID1	41－31	5
	－14	覆土1層	ID1		3
	－15	覆土1層	ID1		6
H－467	図III－161－ 1	覆土2層	ID1		22
	－ 2	覆土2層	ID1	H－473, H－490	60
	－ 3	覆土2層	ID1		56
	－ 4	III	ID1		8
	－ 5	床面	ID1		1
	－ 6	壁	ID1		1
	－ 7	床面直上	ID1	T－163, 41－32	28
	－ 8	覆土2層	ID1		1
	－ 9	覆土2層	ID1	H－405	11
	－10	覆土2層	ID1		1
	－11	覆土2層	ID1		1
	－12	覆土2層	ID1		2
	－13	覆土2層	ID1		2
	－14	覆土2層	ID1		4
	図III－162－15	覆土2層	ID1		1
	－16	覆土2層	ID1		6
	－17	覆土1層	ID1		2
	－18	覆土2層	ID1		2
	－19	覆土1層	ID1	41－33	6
	－20	覆土1層	ID1	H－466	1
	－21	覆土1層	ID1	H－405	3
	－22	覆土1層	ID1		1
	－23	覆土1層	ID1		1
	－24	覆土1層	ID1		1
	－25	III	ID1		3
	－26	III	ID1		2
	－27	III	ID1		1
	－28	III	ID1		1
	－29	III	ID1	T－163	10
	－30	III	ID2	41－33	4
	－31	覆土2層	ID1		3
	－32	III	ID1		3
	－33	III	ID1		15
	－34	覆土2層			1
	－35	覆土1層			1

遺構番号	図番号	出土層位	分類	接合・同一個体出土遺構等	点数
H－468	図III－167－ 1	覆土1層	ID1	39－30	2
	－ 2	III	ID1		4
H－469	図III－171－ 1	床面直上	ID1		1
	－ 2	覆土2層	IE		1
	－ 3	覆土1層	ID1		2
	－ 4	覆土1層	IE	39－34	2
	－ 5	III	IE		1
	－ 6	床面直上	ID1		2
H－470	図III－175－ 1	覆土2層	ID2	H－405，42－33	11
	－ 2	覆土1層	ID1		1
	－ 3	覆土1層	ID1		2
	－ 4	覆土1層	ID1	H－478	2
	－ 5	覆土2層	ID1	42－32，42－33	4
	－ 6	覆土1層	IE		2
H－471	図III－179－ 1	HP埋土 覆土	ID1	H－406，43－34	41
	－ 2	覆土3層	ID1		7
	－ 3	覆土2層	ID1		1
	－ 4	覆土2層	ID1	43－33 同一個体H－408(図III－56－22)	7
	－ 5	覆土2層	ID1		3
	－ 6	HP埋土	ID1	H－406	10
	－ 7	覆土2層	ID1		3
	－ 8	覆土1層	ID1		1
H－472	図III－183－ 1	覆土2層	ID1		46
	－ 2	覆土2層	ID1	H－450，42－32	72
	－ 3	覆土2層	ID1	42－32，43－32	52
	－ 4	覆土1層	ID1	43－31	34
	－ 5	覆土1層	ID1	T－171，44－32，45－32，46－33	35
	－ 6	壁	ID1		1
	－ 7	覆土2層	ID1		1
	－ 8	覆土2層	ID1		1
	－ 9	覆土2層	ID1		2
	－10	覆土1層	ID1		1
	－11	覆土1層	ID1		2
	－12	覆土1層	ID1		1
	－13	覆土1層	ID1		1
	－14	覆土2層	ID1		1
	－15	覆土1層	ID1		1
	－16	覆土1層	ID1		1
	－17	覆土1層	ID1		1
	－18	覆土1層	ID1		1
	図III－184－19	覆土1層	ID1		10
	－20	覆土1層	ID1		2
	－21	覆土1層	ID1		1
	－22	覆土1層	ID1		1
	－23	覆土1層	ID1		4
	－24	覆土2層	ID1		3
	－25	覆土1層	ID2		1
	－26	III	ID2		1
	－27	覆土1層	IE		2
	－28	覆土1層	ID1		5
H－473	図III－190－ 1	覆土4層	ID1	H－461，H－490	15
	－ 2	覆土3層	ID1	H－410，H－461，41－32	21
	－ 3	覆土3層	ID1	H－405	24
	－ 4	覆土3層	ID1	H－410	38
	－ 5	覆土3層	ID1	H－405，H－410，H－472，40－31，42－31，43－31	22
	－ 6	覆土2層	ID1	H－461，41－32	33
	－ 7	床面直上	ID1		1
H－473	図III－190－ 8	壁	ID1		7
	－ 9	覆土1層 壁	ID2	H－478	4
	－10	覆土4層	ID1		2
	－11	覆土4層	ID1	H－467	3
	－12	覆土4層	ID1		1
	－13	覆土4層	ID1		3
	－14	覆土4層	ID1		1
	－15	覆土3層	ID1		3
	図III－191－16	覆土3層	ID1	41－31	9
	－17	覆土3層	ID1		1
	－18	覆土3層	ID1		1
	－19	覆土3層	ID1		2
	－20	覆土2層 覆土1層	ID1	H－405，H－454，H－497，H－506，43－31	11
	－21	覆土4層	ID1	41－32	5
	－22	覆土1層	ID1		3
	－23	覆土1層	ID1		1
	－24	覆土1層	ID2	H－467 同一個体H－474（図III－192－9），H－478(図III－208－1)，40－32	3
	－25	覆土1層	ID2		3
	－26	III	ID1		1
	－27	III	ID1		1
	－28	III	ID1		1
	－29	III	ID1		2
	－30	III	ID1		3
	－31	覆土1層	ID2	H－479，44－32，44－33	9
	－32	III	IE		1
	－33	覆土2層	ID1		1
H－474	図III－197－ 1	覆土3層	ID1		18
	－ 2	床面	ID1		2
	－ 3	床面直上	ID1		1
	－ 4	覆土3層	ID1		1
	－ 5	覆土3層	ID1	40－32	2
	－ 6	覆土3層 覆土2層	ID1	H－405，H－490，H－467	7
	－ 7	覆土2層	ID1		1
	－ 8	覆土2層	ID1		1
	－ 9	覆土2層	ID2	H－405 同一個体H－473(図III－191－24)，H－478(図III－208－1)，40－32	9
	－10	覆土1層	IE		2
	－11	III	ID1		1
	－12	覆土2層	ID1		1
H－475	図III－201－ 1	覆土2層	ID1	H－410，39－33，40－33	15
	－ 2	覆土1層	ID1	H－410，40－33	71
	－ 3	覆土2層	ID1		4
	－ 4	覆土2層	ID1		1
	－ 5	覆土1層	ID1		9
H－476	図III－205－ 1	III	ID1		2
H－477	図III－208－ 1	床面直上	ID1		1
	－ 2	覆土3層	ID1		1
	－ 3	覆土3層	ID1	H－471	7
	－ 4	覆土3層	ID1		2
H－478	図III－213－ 1	覆土3層	ID2	H－405，40－37 同一個体H－473(図III－191－24)，H－474(図III－192－9)，40－32	9
	－ 2	III	ID1		1

遺構番号	図 番 号	出土層位	分 類	接合・同一個体出土遺構等	点数
H－478	図III－208－ 3	III	ID 1		1
	－ 4	III	ID 2	42－33	4
H－479	図III－216－ 1	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 2	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 3	III	ID 1		1
	－ 4	III	ID 2		2
	－ 5	III	ID 2		1
H－480	図III－220－ 1	覆土 2 層	ID 1	44－31	30
	－ 2	覆土 1 層	ID 1	42－31，44－31	52
	－ 3	覆土 1 層	ID 1	H－460，43－32，44－31	34
	－ 4	覆土 1 層	ID 1	44－31	27
	－ 5	覆土 1 層	ID 1		25
	－ 6	覆土 1 層	ID 1	44－31，45－32，46－32	26
	－ 7	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 8	覆土 1 層	ID 1		2
	－ 9	覆土 2 層	ID 1		2
	－10	覆土 1 層	ID 1		3
	－11	覆土 1 層	ID 1		2
	－12	覆土 1 層	ID 1		1
	－13	覆土 1 層	ID 2		1
	－14	覆土 1 層	ID 1		15
H－481	図III－224－ 1	床面直上	ID 1		1
	－ 2	覆土 1 層	ID 2		4
	－ 3	III	ID 1		1
H－482	図III－228－ 1	覆土 2 層	ID 1		1
	－ 2	覆土 3 層	ID 1		6
	－ 3	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 4	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 5	覆土 1 層	ID 1	39－35	2
	－ 6	覆土 1 層	ID 1		3
H－483	図III－232－ 1	覆土 3 層	ID 1		14
	－ 2	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 3	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 4	覆土 1 層	ID 1		2
	－ 5	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 6	覆土 2 層 III	ID 1	H－476	2
H－484	図III－236－ 1	床面直上	ID 1	H－405 同一個体H－506(図III－316－ 1)	5
	－ 2	覆土 2 層	ID 1		1
	－ 3	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 4	覆土 1 層	ID 1		4
H－485	図III－240－ 1	覆土 1 層	ID 1		1
H－486	図III－244－ 1	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 2	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 3	覆土 1 層	ID 1		3
H－487	図III－248－ 1	覆土 3 層	ID 1		3
	－ 2	覆土 2 層	ID 1		1
	－ 3	覆土 1 層	ID 1		3
	－ 4	覆土 1 層	ID 1		5
H－488	図III－252－ 1	覆土 1 層	ID 1	46－37	13
	－ 2	覆土 2 層	ID 2	46－37	6
H－489	図III－255－ 1	覆土 2 層	ID 1		1
H－490	図III－260－ 1	覆土 2 層	ID 1		1
	－ 2	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 3	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 4	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 5	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 6	覆土 1 層			3
	－ 7	床面直上	ID 1		1
	－ 8	床面直上	ID 1		1
H－491	図III－264－ 1	床面直上	ID 1	H－457	33
	－ 2	床面直上	ID 1		62
	－ 3	床面直上	ID 1	H－453，H－457，43－34，43－37	21
	－ 4	覆土 3 層	ID 1	H－483	23
	－ 5	覆土 3 層	ID 1		6
	－ 6	覆土 3 層	ID 1		1
	－ 7	覆土 2 層	ID 1		1
	－ 8	覆土 2 層	ID 1		1
	－ 9	覆土 2 層	ID 1		2
	－10	覆土 1 層	ID 1		1
	－11	III	ID 1		1
H－492	図III－268－ 1	覆土 2 層	ID 1		1
	－ 2	覆土 2 層	ID 1		1
	－ 3	覆土 2 層	ID 1		1
	－ 4	覆土 1 層	ID 1		2
	－ 5	覆土 1 層	ID 1		1
H－493	図III－273－ 1	床面直上	ID 2		2
	－ 2	床面直上	ID 1		1
	－ 3	床面直上	ID 1		1
	－ 4	覆土 2 層	ID 1		1
	－ 5	III	ID 1		1
	－ 6	覆土 1 層	ID 1		1
H－495	図III－279－ 1	覆土 2 層	ID 1		1
H－496	図III－282－ 1	覆土 2 層	ID 1	H－451，H－452，H－519，P－285	27
	－ 2	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 3	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 4	覆土 2 層	ID 1		3
H－497	図III－286－ 1	覆土 2 層	ID 1		2
	－ 2	覆土 2 層	ID 1		1
	－ 3	覆土 2 層	ID 1	H－473	13
	－ 4	覆土 1 層	ID 1	H－459	3
H－498	図III－290－ 1	床面	ID 1		1
	－ 2	覆土 2 層	ID 1		2
	－ 3	覆土 2 層	ID 1		2
	－ 4	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 5	覆土 1 層	ID 1		6
H－499	図III－294－ 1	覆土 1 層	ID 1	同一個体H－499(図III－294－3)	1
	－ 2	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 3	覆土 1 層	ID 1	同一個体H－499(図III－294－1)	2
	－ 4	覆土 1 層	ID 1		1
H－500	図III－298－ 1	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 2	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 3	壁	ID 2		1
	－ 4	覆土 2 層	ID 1		3
H－501	図III－302－ 1	覆土 2 層	ID 1		1
	－ 2	覆土 2 層	IE		1
	－ 3	覆土 2 層	IE		1
H－502	図III－306－ 1	覆土 1 層	ID 1		1
H－503	図III－307－ 1	覆土 1 層	ID 1		2
	－ 2	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 3	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 4	覆土 1 層	ID 1		1
	－ 5	覆土 1 層	ID 1		5
	－ 6	覆土 1 層	IE	44－37	2
	－ 7	覆土 1 層	IG		1
	－ 8	覆土 1 層	ID 1		1
H－504	図III－312－ 1	覆土 1 層	ID 1		2
H－505	図III－313－ 1	覆土 1 層	ID 1		1

遺構番号	図番号	出土層位	分類	接合・同一個体出土遺構等	点数	遺構番号	図番号	出土層位	分類	接合・同一個体出土遺構等	点数
H－505	図III－313－ 2	覆土1層	ID1		1	H－535	図III－395－ 1	床面直上	ID1	H－454	42
H－506	図III－316－ 1	覆土1層	ID1	同一個体H－484(図III－236－1)	3		－ 2	床面	ID1	同一個体H－507	3
							－ 3	床面直上	ID1		3
	－ 2	覆土1層	ID1		1		－ 4	覆土1層	ID1		1
H－507	図III－320－ 1	覆土1層	ID1	41－30	2		－ 5	覆土1層	ID1		3
	－ 2	覆土1層			1		－ 6	覆土1層	ID1		1
H－509	図III－325－ 1	覆土2層	ID1		16		－ 7	覆土2層	ID1		10
H－510	図III－329－ 1	覆土1層	ID1		1	H－539	図III－399－ 1	覆土1層	ID1		2
	－ 2	覆土1層	ID1		1		－ 2	覆土1層	ID1		1
	－ 3	覆土1層	ID1		1	H－542	図III－406－ 1	覆土1層	IE	44－38, 45－38	37
H－511	図III－333－ 1	覆土1層	ID1		2	H－543	図III－407－ 1	HP埋土	ID1		1
	－ 2	覆土1層	ID1		1	H－550	図III－417－ 1	覆土1層	ID1		1
	－ 3	覆土1層	IE	44－33	5		－ 2	HP埋土	ID1		1
H－512	図III－337－ 1	覆土1層	ID1		1	H－551	図III－419－ 1	床面直上	ID1		1
	－ 2	覆土1層	ID1		1		－ 2	覆土1層	ID1		1
H－514	図III－342－ 1	覆土1層	ID1		1	H－552	図III－423－ 1	覆土1層	ID1		1
H－515	図III－346－ 1	覆土1層	IG		2	H－553	図III－425－ 1	覆土1層	ID1		1
H－516	図III－349－ 1	覆土2層	ID1		1	P－266	(図III－434) 1	覆土上層	ID1		1
	－ 2	覆土1層	ID1		2	P－268	(図III－434) 1	覆土2層	ID1		1
	－ 3	覆土1層	ID1		1	P－269	(図III－434) 1	壙底直上	ID1	H－74	8
	－ 4	覆土1層	IG		1		2	壙底直上	ID1		1
	－ 5	覆土2層	ID1		3		3	覆土3層	ID1		2
H－517	図III－353－ 1	覆土1層	ID1		1		4	壙底	ID1		2
	－ 2	覆土1層	ID2	H－406	3	P－270	(図III－434) 1	覆土	ID1		1
H－518	図III－357－ 1	覆土1層	ID1		2	P－276	(図III－434) 1	覆土	ID2		5
	－ 2	覆土1層	ID1		1	P－277	(図III－434) 1	覆土	ID1		1
	－ 3	覆土1層	ID1		1	P－278	(図III－434) 1	覆土	ID1	46－38	81
	－ 4	覆土1層	ID2	H－454, H－528, 40－37, 41－36, 41－37	63	P－279	(図III－434) 1	覆土	ID1		2
							2	覆土	ID1		1
H－519	図III－361－ 1	覆土1層	ID1	41－38	51	P－282	(図III－434) 1	覆土下層	ID1		1
	－ 2	HP埋土	ID1		1	P－286	(図III－434) 1	覆土1層	ID1		21
	－ 3	覆土1層	ID1		4		2	覆土1層	ID1	T－67	30
	－ 4	覆土1層	ID1		1		(図III－435) 3	覆土1層	ID1	H－460	4
	－ 5	覆土1層	ID1		4		4	覆土1層	ID1		1
	－ 6	覆土1層	ID1		2		5	覆土1層	ID1		7
	－ 7	覆土1層	IG		2		6	覆土1層	ID1		3
H－520	図III－365－ 1	覆土1層	ID1		3	P－287	(図III－435) 1	壙底直上	ID1		1
H－521	図III－368－ 1	覆土1層	ID1	45－33, 44－34	10	P－289	(図III－435) 1	覆土	ID1		2
H－522	図III－371－ 1	覆土1層	ID1	H－457	17	P－290	(図III－435) 1	覆土	ID1		1
	－ 2	壁	ID1		1	P－298	(図III－435) 1	覆土	ID1		1
H－524	図III－375－ 1	覆土1層	ID1		2		2	覆土	ID1		1
	－ 2	覆土1層	ID1	39－34	3	T－ 1	(図III－451) 1	覆土上層	ID1		1
	－ 3	覆土1層	ID1	H－524, 39－34, 40－34	22		2	覆土中層	ID1		1
H－528	図III－379－ 1	覆土1層	ID1		1		3	III	ID1		1
H－531	図III－383－ 1	覆土2層	ID1		1	T－ 28	(図III－451) 1	III	ID1		1
	－ 2	覆土2層	ID1	45－34	2		2	III	ID1		1
	－ 3	覆土2層	ID1		1		3	III	ID1		1
	－ 4	覆土2層	ID1		1	T－ 67	(図III－451) 1	覆土下層	ID1		1
	－ 5	覆土2層	ID2		1		2	覆土中層	ID1		1
	－ 6	覆土2層	ID2	T－193	2		3	覆土下層	ID1		1
	－ 7	覆土2層	IE		2		4	覆土上層	ID1		2
	－ 8	覆土2層	IE		1		5	覆土中層	ID1		3
	－ 9	覆土1層	ID1		1		6	覆土中層	ID1		1
	－10	III	ID1		2		7	III	ID1		3
	－11	覆土1層	ID1		2	T－ 68	(図III－451) 1	覆土中層	ID1		1
	－12	覆土1層	ID1		2		2	III	ID1		1
	－13	覆土1層	ID1		1		3	III	ID1		1
	－14	III	ID1		1		4	III	ID1		2
	－15	覆土1層	ID1		2	T－ 69	(図III－451) 1	覆土上層	ID1		1
	－16	覆土2層	ID1		3		2	III	ID1		2
H－532	図III－387－ 1	HP埋土	ID1		2		3	III	ID1		1
H－533	図III－391－ 1	床面直上	ID1		1	T－ 70	(図III－451) 1	III	ID1		2

遺構番号	図 番 号	出土層位	分 類	接合・同一個体出土遺構等	点数
T－ 70	(図III－451) 2	覆土	ID 1		2
	3	III	ID 1		2
	4	III	ID 1		3
T－161	(図III－451) 1	III	ID 1		1
T－162	(図III－452) 1	壙底直上	ID 1		1
	2	覆土１層	ID 1		1
	3	覆土１層	ID 1	41－36	4
T－163	(図III－452) 1	覆土上層	ID 1	H－464, H－467, H－473	7
	2	覆土上層	ID 1		1
	3	覆土上層	ID 1		2
	4	III	ID 1		1
T－164	(図III－452) 1	III	ID 1		1
	2	III	ID 1		2
	3	III	ID 1	40－37	11
	4	III	IE		1
	5	III	IE		1
T－165	(図III－452) 1	覆土上層	ID 1	42－31	24
	2	覆土	ID 1	42－31	57
	3	覆土上層	ID 1		1
	4	覆土上層	ID 1		1
	5	覆土上層	ID 1		1
	6	覆土上層	ID 1		3
	7	III	ID 1		1
T－166	(図III－453) 1	覆土下層	ID 1		1
	2	III	ID 1		1
T－168	(図III－453) 1	覆土上層	ID 1	43－31	21
	2	覆土	ID 1	43－31	8
	3	覆土中層	ID 1	H－460	2
	4	III	ID 1		1
	5	III	ID 1		2
	6	III	ID 1		4
T－169	(図III－453) 1	III	IG		1
	2	III	IG		1
	3	III	IG		1
T－170	(図III－453) 1	III	ID 1		4
T－171	(図III－453) 1	III	ID 1		5
	2	覆土下層	ID 1		1
	3	III	ID 1	44－32	2
	4	III	ID 1		1
	5	III	ID 2		1
T－177	(図III－453) 1	覆土１層	ID 1		1
	2	覆土１層	IE		1
	3	覆土１層	IE		1
T－187	(図III－454) 1	III	ID 1		1
T－189	(図III－454) 1	覆土中層	ID 1		9
	2	III	ID 1		2
	3	III	ID 1	43－31	2
	4	III	ID 1		1
T－192	(図III－454) 1	III	ID 1	43－33, 45－32, 45－33, 46－33	76
	2	III	ID 1	46－33, 45－32	29
	3	III	ID 1		1
	4	III	ID 1		1
	5	III	ID 1		1
	6	III	ID 1	46－32	7
T－193	(図III－454) 1	III	ID 1		1
	2	III	ID 1		1
	3	III	ID 1		1
	4	III	IE		2

表6　遺構の掲載石器一覧

遺構番号	図番号	遺物番号	出土層位	分類	細分類	材質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備考
H－34	図III－ 5－ 1	666	覆土2層	石匙	3	硬質頁岩	5.2 × 2.3 × 0.4	6.4	
	－ 2	655	覆土2層	スクレイパー	1	硬質頁岩	11.0 × 4.7 × 1.6	77.3	
	－ 3	706	床面直上	Uフレイク		硬質頁岩	8.8 × 4.1 × 0.6	37.6	
	－ 4	686	覆土2層	石錘	円礫	閃緑岩	4.5 × 4.1 × 1.2	35.4	
	－ 5	703	床面直上	石錘	円礫	閃緑岩	5.0 × 4.7 × 1.3	40.9	
	－ 6	705	床面直上	石錘	円礫	閃緑岩	8.3 × 6.0 × 2.0	143.6	
H－40	図III－ 9－ 1	81	床面直上	石槍片	5	硬質頁岩	(7.2)× 4.5 × 1.3	49.4	中央部より欠損
	－ 2	34	覆土1層	砥石	1	凝灰岩	(8.4)× 6.9 × 3.1	(188.0)	砥面×3
	－ 3	40	覆土1層	石錘	円礫	閃緑岩	4.6 × 4.7 × 1.5	46.0	
	－ 4	44	覆土1層	たたき石	2	閃緑岩	18.0 × 5.4 × 3.3	535.2	
H－73	図III－15－ 1	328	覆土2層	石鏃	1b？	硬質頁岩	2.4 × 1.0 × 0.3	0.9	
	－ 2	1125A	覆土2層	石鏃	2b	硬質頁岩	(2.7)× 1.0 × 0.3	(1.1)	
	－ 3	714	覆土2層	石鏃	1b	頁岩	2.9 × 1.8 × 0.2	1.5	
	－ 4	524	覆土2層	石鏃	2a？	頁岩	3.7 × 1.3 × 0.3	2.1	
	－ 5	529	覆土2層	石鏃	1b	硬質頁岩	4.2 × 1.4 × 0.4	2.2	
	－ 6	1271	床面直上	石鏃	1b	硬質頁岩	2.7 × 1.2 × 0.3	1.0	
	－ 7	1272	床面直上	石鏃	1b	硬質頁岩	3.9 × 1.2 × 0.3	1.3	
	－ 8	1259	床面直上	石鏃	2b	硬質頁岩	(7.1)× 1.6 × 0.6	(7.3)	
	－ 9	116	覆土1層	石槍	1b1	硬質頁岩	6.5 × 2.4 × 0.7	11.6	
	－10	1050	覆土2層	石槍	5	硬質頁岩	(8.8)× 3.5 × 1.3	(39.9)	
	－11	1172	覆土3層	石槍	1b1	硬質頁岩	12.0 × 3.4 × 1.9	66.2	
	－12	1254	床面直上	石槍	1b1	硬質頁岩	(13.7)× 3.9 × 1.7	(86.7)	
	－13	204	覆土1層	石錐	1	硬質頁岩	4.2 × 2.4 × 0.6	4.4	
	－14	1218	覆土3層	石錐	1	硬質頁岩	5.3 × 1.9 × 0.8	10.8	
	－15	279	覆土1層	箆状石器	1b	頁岩	10.7 × 4.8 × 1.4	70.6	
	－16	154	覆土1層	石匙	3	硬質頁岩	7.2 × 2.6 × 0.6	9.4	
	－17	786	覆土2層	石匙	2b	硬質頁岩	6.7 × 3.0 × 0.4	8.0	
	－18	379	覆土2層	石匙	3	硬質頁岩	5.1 × 4.0 × 0.4	8.8	
	－19	1248	床面直上	石匙	2b	硬質頁岩	4.7 × 1.4 × 0.3	2.8	
	図III－16－20	1296	床面直上	石匙	2a	硬質頁岩	7.0 × 2.9 × 0.6	11.9	
	－21	1365	床面	スクレイパー	2	硬質頁岩	9.0 × 3.6 × 0.8	27.3	石匙？
	－22	1409	床面	スクレイパー	2	硬質頁岩	12.2 × 4.0 × 0.9	44.8	
	－23	1410	床面	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.7 × 5.3 × 1.3	49.3	
	－24	979	覆土3層	石核		硬質頁岩	10.7 × 6.7 × 3.8	249.7	
	－25	1221	覆土3層	石斧	1	蛇紋岩	(12.6)× (4.4)× 2.0	(154.9)	
	－26	1283	床面直上	たたき石	2	花崗岩	11.7 × 8.1 × 5.2	700.0	
	－27	1292	床面直上	たたき石	1	閃緑岩	7.2 × 5.0 × 2.2	116.2	
	図III－17－28	1324	床面直上	すり石	1	閃緑岩	13.6 × 7.8 × 6.4	1,020.0	
	－29	1343	床面	すり石	2	閃緑岩	10.0 × 5.9 × 3.5	283.0	
	－30	1355	床面	すり石	1	閃緑岩	15.9 × 6.6 × 5.9	1,020.0	
	－31	346	覆土2層	砥石	1	凝灰岩	(17.5)× 7.8 × 3.3	(583.3)	接合：H－457－170（覆土1層）
	－32	782	覆土2層	石錘	円礫	閃緑岩	8.3 × 7.0 × 2.6	228.2	
	－33	980	覆土3層	石錘	円礫	閃緑岩	10.8 × 5.9 × 2.4	238.6	
	－34	1339	床面	石錘	円礫	凝灰岩	7.1 × 7.0 × 1.1	82.7	
	－35	1356	床面	石錘	円礫	閃緑岩	6.3 × 4.9 × 1.3	58.3	
	－36	1367	床面	石錘	円礫	閃緑岩	8.5 × 7.7 × 1.7	189.4	
	－37	1337	床面	石錘	円礫	閃緑岩	6.5 × 4.9 × 1.2	60.5	
	－38	1368	床面	石錘	円礫	閃緑岩	7.3 × 6.2 × 2.4	146.0	
	－39	1165	覆土2層	石皿		閃緑岩	16.7 × 14.5 × 4.2	1,870.0	
	－40	1350	床面	台石		閃緑岩	(15.6)×(12.1)×(11.8)	(2,870.0)	
H－74	図III－24－ 1	1185	覆土2層	石鏃	1b	硬質頁岩	(4.4)× 1.5 × 0.3	(2.0)	
	－ 2	1333	覆土2層	石錐	1	硬質頁岩	5.1 × 2.0 × 0.6	6.7	
	－ 3	1160	覆土3層	石錐	1	硬質頁岩	5.5 × 2.6 × 1.2	12.5	
	－ 4	1174	覆土3層	擦切残片		蛇紋岩	9.2 × 2.5 × 2.0	57.4	
	－ 5	1260	覆土3層	すり石	1	閃緑岩	14.7 × 7.5 × 4.0	640.0	
	－ 6	1378	覆土3層	すり石	1	閃緑岩	11.1 × 3.9 × 2.0	131.4	
	－ 7	1444	覆土3層	石錘	円礫	閃緑岩	8.4 × 6.6 × 2.0	167.0	
	－ 8	1118	覆土1層	石錘	円礫	安山岩	10.5 × (7.9)× (2.5)	(205.3)	
H－118	図III－29－ 1	57	覆土1層	石錐	1	硬質頁岩	8.0 × 3.7 × 1.2	34.2	
	－ 2	141	覆土1層	スクレイパー	1	硬質頁岩	8.3 × 5.2 × 1.5	55.5	

遺構番号	図 番 号	遺物番号	出土層位	分　類	細分類	材　質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備　考
H－118	図Ⅲ－29－ 3	70	覆土１層	石錐	円礫	閃緑岩	7.9 × 6.0 × 1.8	115.3	
H－156	図Ⅲ－33－ 1	309	覆土１層	石錐	4	硬質頁岩	6.0 × 2.0 × 0.9	10.8	
	－ 2	290	覆土２層	石錐	4	硬質頁岩	7.1 × 2.5 × 1.2	19.6	
	－ 3	366	覆土３層	石匙	2 b	硬質頁岩	6.4 × 1.6 × 0.5	7.2	
	－ 4	390	床面	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.0 × 5.1 × 1.2	43.9	
	－ 5	391A	床面	スクレイパー	2	硬質頁岩	8.7 × 4.5 × 0.9	40.0	
	－ 6	300	覆土２層	砥石	1	凝灰岩	10.5 × 7.3 × 3.6	294.8	
	－ 7	410	床面	たたき石	1	閃緑岩	11.1 × 7.1 × 2.4	246.0	
	－ 8	392	床面	石錘	円礫	閃緑岩	6.8 × 6.3 × 1.3	94.3	
	－ 9	404	床面	石錘	円礫	安山岩	6.7 × 5.4 × 1.6	80.0	
	－10	402	床面	石錘	円礫	閃緑岩	6.2 × 4.7 × 1.3	60.6	
	－11	393	床面	石錘	円礫	閃緑岩	6.0 × 5.4 × 1.5	72.1	
	－12	403	床面	石錘	円礫	閃緑岩	7.1 × 4.5 × 1.6	76.3	
	－13	398	床面	石錘	円礫	片　岩	8.2 × 5.4 × 1.6	108.4	
H－402	図Ⅲ－37－ 1	294	覆土１層	石錐	6	硬質頁岩	3.1 × 1.0 × 0.4	1.4	
	－ 2	330	覆土１層	石錐	4	硬質頁岩	6.0 × 1.4 × 0.6	7.4	
	－ 3	130	覆土１層	石匙	2 b	硬質頁岩	5.5 × 1.3 × 0.5	7.5	
	－ 4	278	覆土１層	石匙	2 b	硬質頁岩	(5.4)× 2.0 × 0.6	(5.6)	
	－ 5	418	床面直上	両面調整石器	1	硬質頁岩	8.5 × 5.3 × 2.0	95.8	
	－ 6	104	覆土１層	たたき石	1	閃緑岩	10.0 × 8.0 × 3.2	313.0	
	－ 7	183	覆土１層	たたき石		凝灰岩	9.0 × 5.6 × 2.5	153.0	
	－ 8	406	床面直上	石錘	円礫	凝灰岩	6.5 × 6.6 × 3.2	152.7	
	－ 9	411	床面直上	石錘	円礫	閃緑岩	4.9 × 3.5 × 9.5	23.3	
H－405	図Ⅲ－45－ 1	855	覆土１層	石鏃	4？	硬質頁岩	(3.1)× 1.1 × 0.4	(0.8)	
	－ 2	1102	覆土１層	石槍	1b2？	硬質頁岩	(6.2)× 1.7 × 0.5	(6.2)	
	－ 3	665	覆土１層	石錐	4	硬質頁岩	4.5 × 1.8 × 0.5	4.3	
	－ 4	429	覆土１層	石錐	6	硬質頁岩	5.7 × 1.8 × 0.5	5.9	
	－ 5	1183	床面	石錐	1	硬質頁岩	5.3 × 2.3 × 0.7	9.2	
	－ 6	1104	覆土１層	箆状石器	1 b	硬質頁岩	8.6 × 3.0 × 0.9	22.0	
	－ 7	1186	床面	両面調整石器	1	硬質頁岩	8.2 × 5.7 × 2.4	103.8	
	－ 8	881	覆土１層	石匙	2 a	硬質頁岩	7.5 × 1.6 × 0.4	7.8	
	－ 9	859	覆土１層	石匙	2 a	硬質頁岩	6.5 × 1.8 × 0.5	7.6	
	－10	1117	覆土２層	石匙	3	硬質頁岩	5.5 × 2.1 × 0.3	5.4	
	－11	1179	床面	Ｕフレイク		硬質頁岩	8.7 × 5.7 × 0.9	52.5	
	－12	241	覆土１層	石核		硬質頁岩	7.9 × 4.5 × 3.1	95.4	
	－13	903	覆土２層	すり石	1	閃緑岩	16.4 × 7.4 × 6.3	930.0	
	－14	1166	床面直上	砥石	1	凝灰岩	8.5 × 7.6 × 2.6	240.2	
	－15	1188	床面	石錘	円礫	安山岩	6.9 × 5.1 × 1.9	79.9	
	－16	1177	床面直上	石錘	円礫	安山岩	7.1 × 6.2 × 1.7	100.3	
	－17	1182	床面	石錘	円礫	閃緑岩	10.2 × 7.6 × 2.4	254.0	
H－406	図Ⅲ－51－ 1	255	覆土１層	石錐	1	硬質頁岩	5.5 × 3.0 × 0.8	11.3	
	－ 2	436	覆土１層	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.9 × 5.0 × 1.0	50.4	
	－ 3	489	床面	砥石	1	凝灰岩	6.3 × 7.9 × 3.5	112.2	
	－ 4	208 506B	覆土１層 ＨＰ埋土	すり石	1	閃緑岩	20.8 × 10.1 × 4.1	1,480.0	
	－ 5	486	床面	石錘	円礫	花崗閃緑岩	8.9 × 6.2 × 2.3	175.6	
	－ 6	487	床面	石錘	円礫	閃緑岩	8.3 × 6.2 × 1.9	148.4	
H－408	図Ⅲ－57－ 1	141A	覆土１層	石鏃	1 b	硬質頁岩	3.4 × 1.2 × 0.5	1.8	
	－ 2	462	覆土２層	石匙	2 a	硬質頁岩	9.0 × 2.7 × 0.6	17.2	
	－ 3	430A	覆土１層	石錐	1	硬質頁岩	9.0 × 5.0 × 0.9	48.6	
	－ 4	575	覆土３層	スクレイパー	1	硬質頁岩	10.3 × 5.6 × 1.8	86.9	
	－ 5	355	覆土３層	Ｒフレイク		黒曜石	52.5 × 48.5 × 12.0	19.8	
	－ 6	158	覆土２層	石斧	1	蛇紋岩	(7.6)× (4.9)× (2.4)	(128.2)	
	－ 7	550	覆土３層	たたき石	1	閃緑岩	9.8 × 10.0 × 4.5	690.0	
	－ 8	144	覆土２層	すり石	1	閃緑岩	14.3 × 5.4 × 2.4	270.6	接合：H－410－2465（覆土２層）
	－ 9	294	覆土２層	すり石	1	閃緑岩	17.8 × 5.3 × 3.6	526.2	接合：H－491－175（覆土３層）
	－10	577	覆土３層	すり石	1	閃緑岩	18.5 × 6.0 × 4.4	720.0	接合：42－33（Ⅲ層：H－405－126B）
	図Ⅲ－58－11	685	床面	すり石		閃緑岩	16.9 × 8.0 × 6.6	1,310.0	
	－12	358	覆土３層	砥石	1	凝灰岩	8.3 × 7.8 × 2.2	180.0	
	－13	521	覆土３層	砥石	1	凝灰岩	11.7 × 7.9 × 3.2	271.7	
	－14	684	床面	石皿		閃緑岩	22.9 × 18.2 × 8.5	5,500.0	

遺構番号	図番号	遺物番号	出土層位	分類	細分類	材質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備考
H－408	図III－58－15	666	覆土３層	石錘		凝灰岩	10.7 × 4.6 × 2.0	157.7	
		669	覆土３層						
		670	覆土３層						
	－16	632	覆土３層	石錘	円礫	閃緑岩	8.1 × 7.0 × 2.0	171.8	
	－17	545	覆土３層	石錘	円礫	閃緑岩	11.2 × 5.7 × 2.0	178.9	
	－18	633	覆土３層	石錘	円礫	閃緑岩	9.1 × 8.8 × 1.9	241.8	
	－19	540	壁	石錘	円礫	閃緑岩	7.4 × 7.3 × 1.3	91.7	
	－20	686A	壁	石錘	円礫	閃緑岩	7.7 × 7.1 × 1.9	139.7	
	－21	682	床面	石錘	円礫	閃緑岩	5.6 × 4.9 × 1.4	56.9	
H－410	図III－68－ 1	1627	覆土１層	石鏃	4	硬質頁岩	2.7 × 1.2 × 2.0	1.0	
	－ 2	2544	床面	石鏃	１ｂ	黒曜石	2.1 × 1.0 × 0.2	0.4	
	－ 3	2662A	ＨＰ埋土	石鏃	１ｂ	硬質頁岩	(2.8)× 1.0 × 0.4	1.0	
	－ 4	2585	覆土２層	石槍	１ａ２	硬質頁岩	(6.8)× 2.1 × 9.5	14.4	
	－ 5	2510	床面	石錐	４？	硬質頁岩	7.4 × 1.9 × 1.0	13.4	
	－ 6	1389	覆土１層	石匙	3	硬質頁岩	6.3 × 2.3 × 0.5	9.0	
	－ 7	1985	覆土２層	石匙	２ａ	硬質頁岩	(4.1)× 1.3 × 0.5	(2.7)	
	－ 8	2371	覆土１層	石匙	3	硬質頁岩	7.8 × 2.5 × 0.6	10.0	
	－ 9	2291	覆土１層	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.1 × 4.7 × 1.0	21.8	石匙形
	－10	2608A	床面	スクレイパー	1	硬質頁岩	5.2 × 4.4 × 0.6	8.9	
	－11	2521	床面	Ｒフレイク		硬質頁岩	6.3 × 4.1 × 0.8	25.8	
	－12	2551	床面	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.2 × 2.9 × 1.0	22.8	
	－13	2552	床面	スクレイパー	1	硬質頁岩	8.6 × 4.2 × 0.9	35.0	
	－14	2700	床面	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.2 × 5.5 × 2.1	70.8	Ｒフレイク？
	－15	2489	床面直上	Ｕフレイク		硬質頁岩	7.5 × 3.9 × 0.7	18.0	
	－16	2680	床面	スクレイパー	1	硬質頁岩	9.6 × 3.4 × 0.9	35.8	
	－17	2522	床面	スクレイパー	1	硬質頁岩	10.0 × 6.1 × 2.7	108.0	
	図III－69－18	1090	覆土１層	石核		硬質頁岩	12.5 × 6.3 × 3.9	322.8	
	－19	2577	覆土２層	石核		硬質頁岩	11.6 × 6.6 × 3.0	267.8	
	－20	2571	覆土２層	擦切残片		蛇紋岩	11.8 × 3.1 × 2.2	89.3	接合：40－31－４（III層）
	－21	2681	床面	たたき石	1	閃緑岩	6.2 × 4.1 × 1.1	60.0	
	－22	2505	床面	たたき石	4	閃緑岩	16.0 × 6.3 × 4.0	550.0	すり石１類に類似
	－23	1065	覆土１層	すり石	1	閃緑岩	17.8 × 6.7 × 4.2	720.0	接合：39－35－75（III層）
	－24	2486	床面直上	すり石	1	閃緑岩	22.7 × 8.7 × 5.0	(1,520.0)	
	－25	2543	床面	すり石	2	閃緑岩	12.8 × 5.6 × 2.1	237.8	
	図III－70－26	2515	床面	すり石	1	閃緑岩	17.8 × 7.4 × 5.4	1,150.0	
	－27	2434	覆土１層	砥石	1	凝灰岩	9.1 × 8.1 × 3.8	253.4	
	－28	2530	床面	砥石	1	凝灰岩	11.1 × 5.7 × 2.4	204.7	
	－29	1643	覆土１層	石錘	円礫	閃緑岩	8.4 × 5.8 × 1.9	134.2	すり痕あり
	－30	1909	覆土２層	石錘	円礫	閃緑岩	5.5 × 6.7 × 1.9	100.6	短軸に抉り
	－31	2487	床面直上	石錘	円礫	閃緑岩	9.6 × 7.6 × 3.1	326.4	たたき痕あり
	－32	2485	床面直上	石錘	円礫	閃緑岩	6.4 × 3.6 × 1.6	59.4	
	－33	2496	床面	石錘	円礫	閃緑岩	5.6 × 4.4 × 0.8	33.5	
	－34	2685	床面	石錘	円礫	閃緑岩	5.0 × 4.2 × 1.9	53.1	
	－35	2547	床面	石錘	円礫	閃緑岩	6.7 × 4.5 × 1.3	47.6	
	－36	2556	床面	石錘	円礫	閃緑岩	6.1 × 5.1 × 1.4	51.0	
	－37	2692	床面	石錘	円礫	閃緑岩	7.0 × 5.6 × 1.4	77.9	
	－38	2508	床面	石錘	円礫	砂岩	6.9 × 5.4 × 0.8	41.0	
	－39	2561	床面	石錘	円礫	凝灰岩	7.6 × 5.5 × 1.6	67.2	砥石転用
	－40	2504	床面	石錘	円礫	片岩	9.7 × 4.5 × 1.8	113.8	
	－41	2503	床面	石錘	円礫	閃緑岩	9.7 × 6.7 × 2.1	208.1	
	－42	2524	床面	石錘	円礫	閃緑岩	7.4 × 6.5 × 1.8	129.3	
	－43	2563	床面	石錘	円礫	閃緑岩	5.6 × 8.6 × 2.4	170.0	短軸に抉り
	－44	2686	床面	石錘	円礫	閃緑岩	8.2 × 7.9 × 1.9	167.8	
	－45	2549	床面	石錘		閃緑岩	9.3 × 7.5 × 1.7	241.0	
		2666	ＨＰ埋土						
		2699	床面						
	－46	1880	覆土２層	砥石	2	軽石	12.2 × 11.7 × 5.2	184.0	矢ガラ研磨？
H－450	図III－80－ 1	547	覆土１層	石槍	１ｂ３	硬質頁岩	10.4 × 2.7 × 0.7	19.0	
	－ 2	115	覆土１層	石錐	1	硬質頁岩	4.7 × 1.8 × 0.5	5.5	
	－ 3	335	覆土１層	石錐	4	硬質頁岩	(6.6)× 3.1 × 0.7	(20.2)	
	－ 4	34	覆土１層	すり石	1	砂岩	15.9 × 7.2 × 4.0	564.4	接合：H－457－222（覆土２層）
	－ 5	202	覆土１層	石錐		凝灰岩	8.9 × 4.1 × 2.9	126.3	すり痕あり

遺構番号	図 番 号	遺物番号	出土層位	分　類	細分類	材　質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備　考
H－451	図III－86－ 1	97	覆土2層	石鏃	1 b	頁　岩	2.3 × 1.2 × 0.4	0.8	
	－ 2	266	覆土2層	石鏃	1 b	頁　岩	3.8 × 2.0 × 0.5	3.3	
	－ 3	601432	覆土3層	石槍	5	硬質頁岩	(5.8)× 2.5 × 1.0	(13.4)	
	－ 4	234	覆土1層	石錐		黒曜石	3.3 × 1.8 × 0.6	2.3	
	－ 5	14	覆土1層	石錐	3	頁　岩	6.4 × 2.1 × 0.7	11.2	
	－ 6	238	覆土1層	石匙	2 a	頁　岩	(8.5)× 2.2 × 0.8	(18.2)	
	－ 7	2	覆土1層	石匙	2 a	頁　岩	5.5 × 1.8 × 0.4	5.2	
	－ 8	257	覆土2層	石匙	3	頁　岩	6.0 × 2.2 × 0.5	6.5	
	－ 9	300012	壁	石匙	2 a	硬質頁岩	5.2 × 1.4 × 0.5	4.5	未成品？
	－10	514	床面直上	スクレイパー	2	頁　岩	7.0 × 6.3 × 1.0	36.8	
	－11	510	床面直上	スクレイパー	1	頁　岩	(8.0)× (4.5)× 0.8	(27.6)	
	－12	497A	床面直上	スクレイパー	3	頁　岩	10.6 × 6.0 × 1.1	38.5	
	－13	565	床面	スクレイパー	1？	頁　岩	5.6 × 3.2 × 1.3	25.8	Rフレイク？
	－14	300016	床面直上	石斧	3	片　岩	7.1 × 1.4 × 0.4	5.1	石のみ？
	図III－87－15	200086	床面	たたき石	1	閃緑岩	11.0 × 5.5 × 1.8	150.7	
	－16	563	床面	すり石	1？	閃緑岩	16.5 × 7.1 × 4.0	700.0	
	－17	601236	覆土3層	砥石	1	凝灰岩	17.0 × 4.9 × 3.8	415.0	
	－18	176	覆土2層	石錘	円礫	安山岩	4.0 × 3.5 × 0.9	16.0	
	－19	396	覆土2層	石錘	円礫	閃緑岩	4.5 × 4.5 × 0.7	17.6	
	－20	601239	覆土3層	石錘	円礫	片　岩	5.7 × 5.5 × 1.6	72.7	
	－21	300036	壁	石錘	円礫	閃緑岩	7.1 × 5.5 × 1.8	110.6	
	－22	544	床面	石錘	円礫	閃緑岩	7.7 × 6.5 × 1.7	126.8	
	－23	300035	床面	石錘	円礫	閃緑岩	7.0 × 7.2 × 2.0	159.1	
	－24	569	床面	台石		凝灰岩	10.4 × 10.2 × 3.1	380.0	
H－453	図III－93－ 1	356	覆土1層	石鏃	4	頁　岩	3.8 × 1.9 × 0.6	3.1	
	－ 2	298	覆土1層	石槍	1 a 1	硬質頁岩	8.9 × 3.4 × 0.7	22.6	接合：42－37－98（III層）
	－ 3	297	覆土1層	篦状石器	1 b	頁　岩	6.4 × 3.4 × 1.0	21.1	
	－ 4	312	覆土3層	擦切残片		蛇紋岩	9.6 × 8.9 × 3.1	283.5	
	－ 5	304	覆土3層	研磨石材		蛇紋岩	17.3 × 11.6 × 5.5	1,350.0	
	－ 6	384	床面	すり石	2	閃緑岩	11.2 × 7.7 × 2.3	362.2	
	－ 7	314	覆土3層	すり石	1	閃緑岩	12.5 × 5.1 × 3.8	361.8	たたき痕あり
	－ 8	196	覆土1層	石錘	円礫	凝灰岩	7.2 × 6.7 × 1.7	(89.0)	すり痕あり
	－ 9	221	覆土1層	石錘	円礫	凝灰岩	6.8 × 5.1 × 2.0	91.3	すり痕あり
	－10	394	床面	石錘	円礫	凝灰岩	6.4 × 6.0 × 1.4	46.5	
	－11	386	床面	石錘	円礫	凝灰岩	9.5 × 6.4 × 2.3	169.7	風化
	－12	380	床面	石錘	円礫	安山岩	8.3 × 9.9 × 2.7	320.6	たたき痕あり
H－454	図III－100－ 1	1646A	覆土1層	石鏃	4	硬質頁岩	(2.4)× 1.0 × 0.3	(0.6)	
	－ 2	1877	覆土1層	石鏃	1 b	黒曜石	(2.2)× 2.0 × 0.6	(2.3)	
	－ 3	1976	覆土2層	石鏃	1 b？	硬質頁岩	2.7 × 1.2 × 0.4	1.3	
	－ 4	1885	覆土1層	石錐	1	硬質頁岩	9.6 × 3.2 × 1.5	36.3	
	－ 5	2049	覆土2層	石錐	1	硬質頁岩	4.3 × 1.8 × 0.5	3.1	
	－ 6	649	覆土1層	石匙	2 a	頁　岩	6.2 × 2.7 × 0.5	8.7	
	－ 7	1424	覆土2層	石匙	3	黒曜石	5.5 × 2.1 × 0.8	5.4	
	－ 8	1926	覆土1層	石匙	2 b	硬質頁岩	6.5 × 2.4 × 0.5	8.1	
	－ 9	1125	覆土2層	石匙	2 a	硬質頁岩	(7.8)× 2.0 × 0.6	(11.0)	
	－10	1372	覆土1層	スクレイパー	1	硬質頁岩	8.2 × 3.5 × 0.8	31.4	
	－11	678	覆土1層	スクレイパー	1	硬質頁岩	8.9 × 3.2 × 0.8	24.9	
	－12	1182	床面	スクレイパー	1？	硬質頁岩	(3.9)× 3.4 × 0.7	(6.7)	
	－13	1185	床面	スクレイパー	1	硬質頁岩	4.9 × 4.1 × 1.0	19.0	
	－14	858	覆土2層	石核		頁　岩	9.6 × 6.7 × 3.9	214.7	
	－15	1420	覆土2層	磨製石斧	1	蛇紋岩	(9.9)× 5.3 × 2.1	(148.0)	
	－16	1163	床面	Rフレイク		硬質頁岩	5.5 × 2.4 × 0.4	5.3	
	図III－101－17	2052 863	壁 覆土2層	たたき石	2	閃緑岩	14.5 × 5.9 × 2.3	266.3	
	－18	2030	HP埋土	たたき石	1	閃緑岩	8.8 × 12.5 × 5.1	900.0	HP－12
	－19	935	覆土2層	すり石	2	閃緑岩	12.3 × 8.7 × 4.9	820.0	
	－20	1007	覆土2層	すり石	1	閃緑岩	16.0 × 6.1 × 4.1	610.0	
	－21	1303	床面	すり石	1	閃緑岩	(12.5)× 5.9 × 4.5	(487.2)	
	－22	1168	床面	すり石	1	閃緑岩	8.7 × 4.0 × 3.9	258.2	
	－23	805	覆土2層	砥石	1	凝灰岩	12.0 × (8.7)× 4.2	381.2	接合：H－491－211（床面）
	－24	827	覆土2層	砥石	1	凝灰岩	12.8 × 9.3 × 3.1	490.6	有溝砥石
	－25	681	覆土1層	石錘	円礫	泥　岩	(7.2)× 7.4 × 1.6	(77.8)	砥石転用

遺構番号	図番号	遺物番号	出土層位	分類	細分類	材質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備考
H－454	図III－101－26	1773	床面	石錘	円礫	閃緑岩	4.7 × 4.4 × 1.4	41.9	
	－27	2033	床面	石錘	円礫	閃緑岩	10.0 × 5.9 × 3.1	262.5	
	－28	1780	床面	石錘	円礫	閃緑岩	9.7 × 7.3 × 2.3	247.9	
H－455	図III－107－ 1	209	覆土１層	石鏃		黒曜石	(2.6)× 1.1 × 0.5	(1.4)	
	－ 2	45	覆土１層	石斧	1	蛇紋岩	(5.6)× 1.2 × 0.7	(4.8)	石ノミ
	－ 3	181	床面	たたき石	1	流紋岩	8.5 × 7.0 × 5.6	358.4	
	－ 4	185	床面	砥石	1	凝灰岩	12.1 × 7.9 × 2.8	235.1	たたき石？
	－ 5	186	床面	たたき石	1	閃緑岩	17.0 × 6.2 × 2.4	438.4	
	－ 6	32	覆土１層	石錘	円礫	閃緑岩	12.1 × 11.0 × 2.4	478.2	
	－ 7	214	床面	石錘	円礫	安山岩	9.6 × 6.0 × 1.6	111.2	
	－ 8	213	床面	石錘	円礫	閃緑岩	7.0 × 6.4 × 1.4	78.0	
	－ 9	180	床面	石錘	円礫	凝灰岩	7.2 × 6.5 × 1.6	74.0	
H－456	図III－110－ 1	23	覆土２層	石匙片	1	黒曜石	(2.9)× 1.9 × 0.7	(4.2)	
	－ 2	2	覆土１層	異形石器	1	黒曜石	3.7 × 2.7 × 1.3	10.4	両端抉入石器
	－ 3	16	覆土２層	石斧	1	蛇紋岩	(5.6)× 2.6 × 1.0	(21.2)	
	－ 4	10	覆土１層	すり石	1	閃緑岩	17.8 × 8.3 × 4.8	1,000.0	
H－457	図III－115－ 1	134	覆土１層	石鏃	1 b	硬質頁岩	(3.0)× 1.4 × 0.3	(1.3)	
	－ 2	249	覆土１層	石匙	3	硬質頁岩	6.2 × 2.5 × 0.6	9.0	
	－ 3	296	壁	石匙	3	硬質頁岩	(5.0)× 1.9 × 0.4	(5.0)	
	－ 4	358	ＨＰ埋土	スクレイパー	1	硬質頁岩	5.1 × 3.9 × 1.1	22.2	HP－６
	－ 5	320	床直上	Ｒフレイク		硬質頁岩	5.7 × 4.2 × 0.6	13.4	
	－ 6	243	覆土１層	たたき石	1	凝灰岩	7.1 × 8.2 × 3.4	248.5	接合：40－33－163（III層）
	－ 7	333	床面	石錘	円礫	閃緑岩	8.9 × 6.6 × 1.6	139.1	
	－ 8	330	床面	石錘	円礫	砂岩	8.4 × 6.5 × 1.6	110.2	
	－ 9	329	床面直上	石皿		閃緑岩	52.1 × 22.4 × 6.9	11,000.0	
H－459	図III－121－ 1	95	覆土１層	篦状石器		硬質頁岩	7.1 × 4.1 × 1.2	25.7	
	－ 2	84	床面	石斧	1	蛇紋岩	(4.2)× 2.3 × 0.9	(12.0)	石ノミ
	－ 3	103	覆土１層	石錘	円礫	閃緑岩	6.8 × 4.4 × 1.7	75.4	
H－460	図III－127－ 1	558	覆土２層	石鏃	2 b	黒曜石	(1.9)× 1.0 × 0.4	(0.9)	
	－ 2	621	覆土２層	石鏃	2 b	硬質頁岩	4.1 × 1.0 × 0.2	0.9	
	－ 3	698	覆土２層	石鏃	2 b	硬質頁岩	3.8 × 0.9 × 0.3	1.0	
	－ 4	576	覆土２層	石鏃	1 b	硬質頁岩	5.5 × 2.2 × 0.8	9.5	
	－ 5	233	覆土１層	石錐	1	硬質頁岩	6.4 × 2.9 × 0.8	15.0	
	－ 6	363	覆土１層	石錐	4	硬質頁岩	8.1 × 2.3 × 0.7	15.8	
	－ 7	959	覆土１層	石匙	2 a	硬質頁岩	8.1 × 1.8 × 0.4	6.9	
	－ 8	523	覆土２層	石匙	7	硬質頁岩	(5.3)× (3.3)× (0.6)	(9.6)	
	－ 9	724	覆土２層	石匙		黒曜石	3.4 × 2.3 × 0.5	2.5	
	－10	676	覆土２層	石匙	1	硬質頁岩	(5.9)× (1.9)× (0.5)	(5.5)	
	－11	812	覆土２層	石匙	3	硬質頁岩	7.3 × 2.8 × 0.4	11.0	
	－12	848	覆土２層	石匙	2 a	硬質頁岩	6.9 × 0.7 × 0.4	7.9	
	－13	729	覆土２層	石匙	2 a	硬質頁岩	8.1 × 2.1 × 0.3	7.3	
	－14	1102	壁	石斧	1	蛇紋岩	(9.7)× (6.0)× (2.2)	(150.6)	
	－15	904	壁	すり石	1	閃緑岩	19.4 × 7.4 × 4.9	1,070.0	接合：40－31（III層：11－419－28）
	－16	814	覆土２層	石錘	円礫	凝灰岩	5.8 × 5.1 × 1.4	49.2	溝状すり痕あり
H－461	図III－134－ 1	80	覆土１層	砥石	1	凝灰岩	12.9 × 12.2 × 7.9	910.0	
H－462	図III－140－ 1	266	覆土２層	石鏃	2 b	硬質頁岩	3.6 × 1.1 × 0.5	2.0	
	－ 2	202	覆土２層	石槍	1 b 1	硬質頁岩	7.8 × 2.2 × 0.9	13.2	
	－ 3	232	覆土２層	石錐	1	硬質頁岩	5.5 × 3.3 × 1.1	17.5	
	－ 4	110	覆土２層	石錐	1	硬質頁岩	9.0 × 5.8 × 0.9	43.2	
	－ 5	650	覆土３層	石錐	4	硬質頁岩	5.8 × 1.7 × 0.8	7.7	
	－ 6	204	覆土２層	石匙	4	硬質頁岩	4.7 × 2.5 × 0.5	5.6	
	－ 7	201	覆土２層	石匙	3	硬質頁岩	(4.4)× 2.2 × 0.4	(5.0)	
	－ 8	605	覆土２層	石匙	3	硬質頁岩	(6.6)× (3.3)× 0.4	(10.8)	
	－ 9	502	覆土２層	石匙	3	硬質頁岩	6.6 × 2.4 × 0.6	(8.0)	
	－10	505	覆土２層	石匙	3	硬質頁岩	7.2 × 3.1 × 0.6	11.6	
	－11	667	覆土３層	石匙	2 a	硬質頁岩	7.5 × 1.8 × 0.6	10.4	
	－12	651	覆土３層	石匙	2 a	硬質頁岩	5.9 × 1.6 × 0.5	5.3	
	－13	676	覆土３層	石匙	2 a	硬質頁岩	8.2 × 2.1 × 0.6	11.9	
	－14	411	覆土３層	砥石	1	凝灰岩	9.6 × 6.3 × 4.2	191.7	
	－15	566	覆土２層	石錘	円礫	安山岩	4.9 × 3.4 × 1.0	20.6	
	－16	583	覆土２層	石錘		流紋岩	13.3 × 9.4 × 1.8	259.0	抉り４ケ所
H－464	図III－147－ 1	76A	壁	石鏃	1 b	硬質頁岩	(3.0)× 1.1 × 0.3	(1.3)	

遺構番号	図 番 号	遺物番号	出土層位	分 類	細分類	材 質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備 考
H－464	図III－147－ 2	59	覆土1層	砥石	1	流紋岩	8.4 × 6.8 × 4.6	340.0	
H－465	図III－151－ 1	14	覆土1層	石鏃	1b	硬質頁岩	3.1 × 1.3 × 0.4	1.7	
	－ 2	273	覆土2層	石鏃	2b	硬質頁岩	5.0 × 1.4 × 0.5	3.9	
	－ 3	230	覆土2層	箆状石器	1b	硬質頁岩	5.4 × 2.8 × 1.5	19.3	
	－ 4	363	壁	石匙	2a	硬質頁岩	6.2 × 1.7 × 0.5	7.3	
	－ 5	429	床面	Rフレイク		硬質頁岩	4.9 × 4.4 × 0.7	13.9	
	－ 6	205	覆土2層	石斧	2	緑色泥岩	(8.7)× (4.3)× 1.6	(82.6)	
	－ 7	421	床面直上	砥石	1	凝灰岩	9.9 × 6.4 × 4.6	259.4	
	－ 8	195	覆土2層	砥石	1	凝灰岩	7.7 × 7.5 × 2.7	159.2	
	－ 9	402	壁	石錐片	円礫	閃緑岩	(6.8)× 5.3 × 1.6	(88.4)	抉り4ケ所
	－10	447	床面	石錘	円礫	凝灰岩	6.9 × (5.5)× 1.6	(79.2)	
	－11	394	床面	石錘	円礫	閃緑岩	8.9 × 9.1 × 3.0	327.0	
	－12	414	床面直上	石皿		凝灰岩	23.2 × 13.8 × 4.6	4,100.0	
H－466	図III－157－ 1	99	覆土1層	石鏃	2b	硬質頁岩	4.4 × 1.3 × 0.3	2.0	
	－ 2	100	覆土1層	石鏃	2b	硬質頁岩	5.2 × 1.3 × 0.5	2.8	長身凹基
	－ 3	34	覆土1層	石槍	1b3	硬質頁岩	10.5 × 3.6 × 2.4	57.9	
	－ 4	33	覆土1層	石錐	1	硬質頁岩	6.2 × 2.4 × 1.1	11.6	
	－ 5	190A	覆土1層	石匙	2a	硬質頁岩	8.1 × 2.3 × 0.6	10.2	
	－ 6	84	覆土1層	石匙	3	硬質頁岩	7.0 × 2.4 × 0.8	12.0	
	－ 7	165	覆土2層	石核		硬質頁岩	6.3 × 4.1 × 3.5	83.2	
	－ 8	254	覆土3層	たたき石	1	閃緑岩	8.2 × 6.1 × 2.5	193.7	
	－ 9	195	覆土1層	石錘	円礫	安山岩	9.1 × 5.9 × 2.2	134.1	
	－10	75	覆土1層	石錘	円礫	閃緑岩	10.3 × 9.4 × 1.2	189.2	抉り3ケ所
	－11	267	覆土2層	石皿		凝灰岩	(26.6)×(16.3)× (3.5)	(890.0)	
H－467	図III－163－ 1	548	覆土2層	石鏃	2b	黒曜石	3.2 × 0.8 × 0.4	1.0	
	－ 2	453	覆土2層	石槍	1b1	硬質頁岩	7.7 × 2.2 × 0.8	11.6	
	－ 3	557	覆土2層	石錐	6	硬質頁岩	3.5 × 1.3 × 0.4	1.9	
	－ 4	712A	覆土2層	石錐	6	硬質頁岩	4.0 × 2.0 × 0.4	4.2	
	－ 5	289	覆土1層	石錐	4	硬質頁岩	8.6 × 2.3 × 1.1	23.4	
	－ 6	710	覆土2層	両面調整石器	3	硬質頁岩	7.7 × 3.2 × 1.6	37.1	
	－ 7	272	覆土1層	石匙	2b	硬質頁岩	7.6 × 2.1 × 0.4	8.1	
	－ 8	264	覆土1層	石匙	2b	硬質頁岩	4.7 × 2.5 × 0.4	5.3	
	－ 9	852	覆土2層	石匙	3	硬質頁岩	5.9 × 2.6 × 0.4	8.6	
	－10	722	覆土2層	石匙	2a	硬質頁岩	6.4 × 2.0 × 0.4	7.4	
	－11	609	覆土2層	石匙	2b	硬質頁岩	(6.7)× 2.0 × 0.4	(8.3)	
	－12	431	覆土2層	石匙	2a	硬質頁岩	8.0 × 1.7 × 0.7	7.9	
	－13	866	床面	スクレイパー	2	硬質頁岩	9.4 × 4.3 × 2.1	95.0	
	－14	872	床面	すり石	1	閃緑岩	(14.3)× 9.6 × 4.8	(860.0)	石錘？
	－15	204	覆土1層	すり石	1	閃緑岩	(14.5)× 6.1 × 5.5	(750.0)	接合：41－31－650（掲げ土）
	－16	865	床面直上	石錘	円礫	閃緑岩	6.5 × 5.2 × 1.6	77.8	
H－468	図III－168－ 1	11	覆土1層	スクレイパー	2	硬質頁岩	7.3 × 4.0 × 0.8	29.4	
	－ 2	2	覆土1層	たたき石	1	閃緑岩	8.0 × 6.4 × 2.7	189.2	
	－ 3	26	覆土1層	石錘	円礫	閃緑岩	7.1 × 6.3 × 1.8	123.1	
	－ 4	54	壁	石錘	円礫	閃緑岩	8.3 × 7.5 × 2.4	209.1	
H－469	図III－172－ 1	40	覆土1層	石鏃	3	硬質頁岩	(4.9)× 1.5 × 0.3	(2.5)	
	－ 2	73	HP埋土	すり石	1	閃緑岩	16.8 × 7.0 × 5.9	1,115.0	
	－ 3	74	床面	石錘	円礫	閃緑岩	8.5 × 8.0 × 2.3	231.1	
	－ 4	51	覆土1層	石皿		凝灰岩	(24.0)×(14.7)× 2.0	(610.0)	接合：42－33（III層：H－473－415）
H－470	図III－176－ 1	73	覆土2層	石鏃	1b	硬質頁岩	4.7 × 1.9 × 0.5	4.5	
	－ 2	98	覆土	石匙	2a	硬質頁岩	8.0 × 1.5 × 0.4	7.8	
	－ 3	65	覆土2層	石匙	2a	硬質頁岩	6.9 × 1.4 × 0.5	4.4	
	－ 4	99	覆土1層	石匙	3	硬質頁岩	5.3 × 2.0 × 0.4	4.3	
	－ 5	25	覆土1層	異形石器		硬質頁岩	5.3 × 3.5 × 0.5	7.9	両端抉入石器
	－ 6	31	覆土1層	石斧	1	蛇紋岩	4.2 × 2.7 × 0.7	10.3	
	－ 7	53	覆土1層	石斧	1？	蛇紋岩	6.5 × 3.9 × 1.1	37.9	
	－ 8	24	覆土1層	石斧	1	蛇紋岩	7.1 × 4.0 × 1.3	54.9	
	－ 9	113	床面	石皿		凝灰岩	12.8 × 9.5 × 3.3	327.8	
H－471	図III－180－ 1	268	床面	石鏃	2b	硬質頁岩	4.4 × 1.1 × 0.3	1.9	
	－ 2	58	覆土2層	石錐		黒曜石	2.9 × 2.4 × 0.9	5.4	
	－ 3	270	覆土2層	石匙	2b	硬質頁岩	6.9 × 1.8 × 0.6	9.4	
	－ 4	137	覆土2層	異形石器		黒曜石	2.8 × 1.5 × 0.4	1.9	両端抉入石器
	－ 5	179	覆土1層	石斧	1	蛇紋岩	(7.8)× 4.3 × 1.9	(106.2)	

遺構番号	図番号	遺物番号	出土層位	分類	細分類	材質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備考
II－471	図III－180－ 6	263	床面直上	すり石	1	閃緑岩	14.7 × 7.8 × 5.4	895.0	
	－ 7	243	覆土3層	砥石	1	凝灰岩	9.7 × 6.2 × 4.5	191.0	
	－ 8	242	覆土3層	石錘	円礫	閃緑岩	8.2 × 6.2 × 1.9	140.8	
	－ 9	255	床面直上	石錘	円礫	閃緑岩	6.7 × 7.6 × 1.9	137.2	
	－10	259	床面直上	石錘	円礫	安山岩	8.2 × 8.0 × 2.2	197.1	
	－11	253	覆土3層	石皿		閃緑岩	45.6 × 32.0 × 7.3	16,500.0	
H－472	図III－185－ 1	106	覆土1層	石槍	1a1	硬質頁岩	12.8 × 3.9 × 1.7	81.0	
	－ 2	100454	覆土2層	石槍	1a3	硬質頁岩	14.6 × 4.9 × 2.0	135.1	
	－ 3	241	覆土1層	石錐	4	硬質頁岩	6.5 × 2.1 × 0.8	11.6	
	－ 4	15	覆土1層	石錐	3	硬質頁岩	6.7 × 2.5 × 1.3	22.3	
	－ 5	202	覆土1層	石匙	2a	硬質頁岩	10.3 × 2.3 × 0.5	20.5	
	－ 6	184	覆土1層	石匙	3	硬質頁岩	9.6 × 3.3 × 0.8	26.1	
	－ 7	100178	覆土1層	石匙	2a	硬質頁岩	(6.1)× 1.5 × 0.6	(6.7)	
	－ 8	278	覆土2層	石匙	2b	硬質頁岩	5.8 × 2.8 × 0.6	10.7	
	－ 9	100534	覆土1層	スクレイパー	2	硬質頁岩	5.8 × 4.6 × 8.0	17.5	
	－10	227	覆土1層	石斧	1	蛇紋岩	(12.3)× (5.4)× (2.5)	(200.0)	接合：43－31－519（III層）
	－11	182	覆土1層	すり石	1	安山岩	14.6 × 4.1 × 3.2	273.3	接合：43－31－910B（掲げ土）
	－12	263	覆土2層	すり石	1	閃緑岩	19.3 × 7.5 × 4.6	1,000.0	接合：42－31－727（掲げ土）
	－13	271	覆土2層	すり石	1	閃緑岩	16.8 × 6.1 × 3.6	558.8	接合：42－32－400（掲げ土）
	－14	262 275	覆土2層 覆土2層	石錘	円礫	安山岩	11.7 × 7.6 × 1.8	203.5	
	－15	170B	覆土1層	台石		凝灰岩	12.0 × 9.7 × 3.3	455.4	
	－16	295	壁	石皿		閃緑岩	23.0 × 21.3 × 3.8	3,220.0	
H－473	図III－192－ 1	417	覆土1層	箆状石器	1a	硬質頁岩	6.2 × 3.1 × 1.5	26.5	
	－ 2	469	覆土2層	箆状石器	2a	硬質頁岩	9.5 × 4.7 × 1.7	63.6	
	－ 3	383	覆土4層	箆状石器	1a？	硬質頁岩	7.0 × 3.1 × 1.8	30.4	
	－ 4	446	覆土2層	箆状石器	2b	硬質頁岩	9.4 × 3.9 × 1.7	54.5	
	－ 5	334	覆土3層	石匙	3	硬質頁岩	5.9 × 2.4 × 0.4	7.1	
	－ 6	289	覆土3層	石匙	3	硬質頁岩	7.5 × 3.3 × 0.7	17.8	
	－ 7	364B	覆土4層	石匙	3	硬質頁岩	(6.0)× 2.0 × 0.4	(7.1)	
	－ 8	170	覆土1層	石斧	1	蛇紋岩	(8.2)× 4.5 × 2.9	(101.7)	
	－ 9	506	床面直上	すり石	1	閃緑岩	15.9 × 5.8 × 3.8	463.2	
	－10	525	壁	砥石	1	凝灰岩	9.2 × 6.7 × 2.8	147.5	砥面×1
	－11	499	床面直上	石錘	円礫	流紋岩	10.6 × 9.3 × 1.9	200.4	
H－474	図III－198－ 1	73	覆土2層	石鏃	2b？	頁岩	5.1 × 1.7 × 0.7	5.0	
	－ 2	88	覆土2層	石槍	4	頁岩	8.7 × 2.9 × 1.1	29.3	
	－ 3	318	床面	スクレイパー	1	頁岩	8.4 × 6.3 × 1.4	55.2	
	－ 4	319	床面	石核		頁岩	6.6 × 6.5 × 4.0	149.9	
	－ 5	293	床面直上	すり石	1	閃緑岩	17.2 × 8.4 × 7.3	1,285.0	
	－ 6	292	床面直上	たたき石	1	片岩	9.4 × 6.9 × 3.6	329.4	
	－ 7	315	床面	石錘	円礫	凝灰岩	6.3 × 5.0 × 1.8	74.1	
	－ 8	317	床面	石錘	円礫	流紋岩	6.8 × 6.9 × 1.2	43.7	
	－ 9	205	覆土3層	石皿		閃緑岩	(20.7)× 18.6 × 5.3	(2,320.0)	
H－475	図III－202－ 1	12A	覆土1層	石鏃	1b	頁岩	3.1 × 1.6 × 0.3	1.6	
	－ 2	118	覆土3層	石鏃	1b	頁岩	3.5 × 1.6 × 0.3	1.5	
	－ 3	109	覆土2層	石匙	2a？	頁岩	4.6 × 1.8 × 0.4	3.4	
	－ 4	102	覆土2層	石匙	2a	頁岩	6.2 × 1.3 × 0.4	4.2	
	－ 5	122	覆土3層	たたき石	1	閃緑岩	9.5 × 4.4 × 1.8	117.5	接合：H－485－25（覆土1層）
	－ 6	80	覆土2層	すり石	1	閃緑岩	21.3 × 8.5 × 4.6	1,170.0	接合：40－31－200，40－33－104（III層）
H－476	図III－206－ 1	24	覆土3層	石匙	2a	硬質頁岩	5.3 × 2.2 × 0.6	7.5	
	－ 2	30	床面直上	たたき石	1	閃緑岩	12.6 × 9.0 × 3.9	700.0	
II－477	図III－209－ 1	134	床面	石槍	1b1	頁岩	9.0 × 2.9 × 1.5	34.5	
	－ 2	5	覆土1層	石錐	1	頁岩	(5.5)× 1.7 × 0.5	(5.4)	
	－ 3	52	覆土1層	石匙	2a	頁岩	10.3 × 3.0 × 0.9	25.5	
	－ 4	94	床面直上	スクレイパー	1	黒曜石	4.5 × 3.5 × 1.6	20.4	
	－ 5	110	床面直上	スクレイパー	1	頁岩	9.6 × 3.1 × 8.5	28.3	
	－ 6	113	床面直上	石錘	円礫	閃緑岩	10.6 × 9.0 × 2.7	346.6	たたき痕あり
	－ 7	144	床面	石錘	円礫	安山岩	5.8 × 5.0 × 1.2	43.5	
H－478	図III－214－ 1	89	覆土1層	石槍	1b1	硬質頁岩	7.7 × 2.6 × 1.0	18.9	
	－ 2	68	覆土2層	石匙	3	硬質頁岩	6.1 × 2.6 × 0.4	8.3	
II－479	図III－217－ 1	114	覆土1層	たたき石	4	片岩	12.5 × 6.0 × 2.7	207.2	凹石？
	－ 2	140	HP埋土	すり石	1	閃緑岩	14.2 × 7.2 × 6.7	990.0	

遺構番号	図 番 号	遺物番号	出土層位	分 類	細分類	材 質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備 考
H－480	図III－221－ 1	56	覆土1層	石匙	2	硬質頁岩	(7.0)× 2.8 × 0.5	(11.0)	
	－ 2	47	覆土1層	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.9 × 4.8 × 1.9	62.9	
H－481	図III－225－ 1	39	床面直上	たたき石	1	閃緑岩	11.9 × 8.7 × 2.7	449.4	平坦面すり痕，両側縁にたたき痕あり
	－ 2	49	床面直上	石錐	円礫	閃緑岩	7.2 × 5.0 × 1.3	71.0	被熱
	－ 3	41	床面直上	石錐	円礫	安山岩	8.5 × 7.4 × 3.8	291.4	
	－ 4	46	床面直上	石錐	円礫	閃緑岩	10.5 × 7.9 × 2.9	352.8	両平坦面にたたき痕，両短軸に抉り
H－482	図III－229－ 1	41	覆土2層	石錐	4	硬質頁岩	7.2 × 2.4 × 1.4	25.0	
	－ 2	9	覆土1層	石匙	2a	硬質頁岩	(5.3)× 2.4 × 0.8	(9.8)	
	－ 3	89	床面直上	石錐	円礫	閃緑岩	5.4 × 4.9 × 1.4	46.5	
H－483	図III－233－ 1	44	覆土1層	筒状石器	1b	硬質頁岩	5.3 × 3.0 × 1.4	14.0	
	－ 2	119	床面直上	スクレイパー	5？	硬質頁岩	8.7 × 5.7 × 2.2	113.0	
	－ 3	68	覆土3層	砥石	1	凝灰岩	8.4 × 6.1 × 4.1	263.8	
	－ 4	121	床面	砥石	1	凝灰岩	10.3 × 10.3 × 1.7	187.5	
	－ 5	115	覆土3層	石錘	円礫	凝灰岩	7.4 × 7.1 × 1.9	116.6	
	－ 6	134	HP埋土	石錘	円礫	流紋岩	7.6 × 5.4 × 1.9	94.7	
H－484	図III－237－ 1	57	床面直上	石匙	2a	硬質頁岩	7.1 × 1.9 × 6.0	9.4	
	－ 2	14	覆土2層	筒状石器	2a	硬質頁岩	7.2 × 4.3 × 1.3	32.5	
	－ 3	43	覆土3層	砥石	1	凝灰岩	9.8 × 6.8 × 4.2	231.7	砥面×2
	－ 4	65	覆土3層	砥石	2	凝灰岩	13.4 × 1.1 × 4.9	660.0	
	－ 5	60	床面直上	石錘	円礫	凝灰岩	7.0 × 6.5 × 2.4	130.9	
H－485	図III－241－ 1	16	覆土1層	石鏃	2b	黒曜石	(2.8)× 1.0 × 0.5	(1.2)	
	－ 2	3	覆土1層	石匙	2a	硬質頁岩	6.3 × 1.8 × 0.8	7.9	
	－ 3	31	床面直上	スクレイパー	1	硬質頁岩	8.0 × 2.8 × 0.7	16.4	
	－ 4	13	覆土1層	砥石	1	凝灰岩	7.5 × 7.1 × 4.4	292.4	砥面×1
H－486	図III－245－ 1	43	覆土1層	たたき石	1	凝灰岩	11.5 × 10.2 × 6.1	(850.0)	被熱
	－ 2	95	覆土壁	すり石	1	安山岩	10.4 × 9.8 × 5.9	940.0	
H－487	図III－249－ 1	18	覆土1層	石槍	5	頁岩	7.3 × 2.9 × 1.2	27.0	スクレイパー？
	－ 2	13B	床面	たたき石	1	凝灰岩	13.1 × 6.5 × 3.9	491.4	接合：46－34－116（III層）
H－488	図III－253－ 1	22	覆土1層	石錐	1b	硬質頁岩	3.2 × 1.2 × 0.4	1.8	
	－ 2	56	覆土2層	石錐	4	硬質頁岩	5.6 × 2.0 × 0.5	6.8	
	－ 3	20	覆土1層	石匙	4	硬質頁岩	7.1 × 2.4 × 0.6	11.0	
	－ 4	28	覆土2層	石匙	3	硬質頁岩	8.9 × 3.6 × 1.2	35.9	
	－ 5	60	覆土2層	スクレイパー	1	硬質頁岩	9.0 × 3.0 × 1.0	26.7	ポイント？
	－ 6	71	床面	Rフレイク		硬質頁岩	5.8 × 4.0 × 0.7	16.3	
	－ 7	70	壁	すり石	2	閃緑岩	10.5 × 4.7 × 2.4	172.5	
H－489	図III－256－ 1	11	覆土1層	スクレイパー	1	硬質頁岩	6.1 × 4.7 × 1.0	33.4	
	－ 2	28	覆土2層	たたき石	2	凝灰岩	12.1 × 3.8 × 2.6	164.0	
H－490	図III－261－ 1	32	覆土1層	石斧	1	蛇紋岩	(6.7)× 2.9 × (1.6)	(41.5)	
	－ 2	103	覆土2層	石斧	3	蛇紋岩	(10.8)× (6.9)× (2.7)	(303.4)	
H－491	図III－265－ 1	145A	覆土2層	石錐	1	硬質頁岩	4.5 × 2.3 × 0.8	7.7	
	－ 2	111	覆土1層	石匙	3	硬質頁岩	4.7 × 3.0 × 0.5	7.1	
	－ 3	64	覆土2層	石匙	2a	硬質頁岩	5.4 × 1.8 × 0.9	6.6	
	－ 4	96	覆土2層	石匙	2a	硬質頁岩	6.6 × 1.4 × 0.3	4.5	
	－ 5	200	床面直上	石匙	3	硬質頁岩	5.4 × 2.4 × 0.5	6.9	先端部に打面を残す
	－ 6	55	覆土2層	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.7 × 4.7 × 1.4	56.4	
	－ 7	89	覆土2層	砥石	1	凝灰岩	5.5 × 4.4 × 2.6	81.2	砥面×5
	－ 8	207	床面直上	石錘	円礫	閃緑岩	8.7 × 7.4 × 2.2	211.2	
	－ 9	146 148	覆土3層 覆土3層	石皿		凝灰岩	33.1 × 22.9 × 8.8	8,000.0	
H－492	図III－269－ 1	77	覆土1層	石槍	1b1	頁岩	6.9 × 2.1 × 0.8	9.1	
	－ 2	74	覆土1層	石槍	1b3	頁岩	8.7 × 2.8 × 0.8	17.2	
	－ 3	80	覆土1層	石槍	1b1	頁岩	8.2 × 2.5 × 0.6	12.4	
	－ 4	40	覆土2層	石錐	1	頁岩	4.1 × 3.0 × 0.9	6.3	
	－ 5	152	覆土2層	石斧	3	蛇紋岩	(7.3)× 5.1 × 2.0	(107.6)	擦り切り痕不明
	－ 6	156	床面直上	すり石	2	閃緑岩	16.3 × 9.2 × 4.3	1,010.0	
	－ 7	32	覆土1層	砥石	1	凝灰岩	7.1 × 5.6 × 2.7	111.5	
H－493	図III－274－ 1	69	覆土2層	石匙	3	硬質頁岩	6.4 × 2.8 × 0.8	18.5	
	－ 2	176	床面直上	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.0 × 3.4 × 0.9	26.5	
	－ 3	187	床面直上	石錘	円礫	安山岩	7.6 × 6.8 × 2.1	149.9	平坦面すり痕あり
	－ 4	198	床面	石錘片	円礫	閃緑岩	5.8 × (4.0)× 1.8	(58.1)	
	－ 5	195	床面	石錘	円礫	砂岩	8.7 × 7.6 × 3.1	250.9	
	－ 6	194	床面直上	台石		流紋岩？	19.5 × 17.9 × 6.3	2,800.0	

遺構番号	図番号	遺物番号	出土層位	分類	細分類	材質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備考
H－494	図III－276－1	14	覆土2層	スクレイパー	1？	頁岩	5.7 × 3.5 × 1.1	21.6	
	－2	2	覆土1層	すり石	2	閃緑岩	12.2 × 9.9 × 6.1	1,120.0	
H－495	図III－280－1	31	壁	石匙	3	硬質頁岩	5.1 × 4.4 × 0.5	13.0	
	－2	13	覆土2層	石匙	2a	硬質頁岩	6.9 × 2.2 × 0.5	9.5	
	－3	17	覆土2層	石錘	円礫	片岩	9.0 × 5.6 × 1.8	123.0	砥石利用，砥面×1
	－4	27	覆土3層	石錘	円礫	閃緑岩	8.3 × 6.9 × 3.2	215.1	抉り4ケ所
	－5	29	床面	石錘	円礫	閃緑岩	7.3 × 6.0 × 1.8	114.6	抉り4ケ所
H－496	図III－283－1	104	覆土2層	箆状石器	2a	硬質頁岩	5.8 × 3.1 × 1.1	20.2	
	－2	93	床面	石錘	円礫	凝灰岩	6.2 × 5.4 × 1.9	58.9	
H－497	図III－287－1	39	覆土1層	石錘	円礫	閃緑岩	5.8 × 5.3 × 1.5	69.7	
	－2	29	覆土2層	石錘	円礫	閃緑岩	10.3 × 9.7 × 2.3	375.0	
	－3	45	床面	石錘	円礫	凝灰岩	6.7 × 4.8 × 1.4	64.3	平坦面にすり痕あり
H－498	図III－291－1	6	覆土1層	石錐	3	頁岩	8.3 × 2.5 × 0.8	16.5	
	－2	53	覆土2層	石匙	2a	頁岩	6.9 × 2.0 × 0.8	9.7	片面加工
	－3	94	床面直上	石錘	円礫	片岩	8.4 × 6.9 × 2.0	110.3	
	－4	95	床面	石錘	円礫	安山岩	(5.5)× 5.0 × (1.3)	(43.9)	
	－5	93	床面直上	石錘	円礫	閃緑岩	6.1 × 4.8 × 1.6	62.3	
	－6	99	HP埋土	石錘	円礫	閃緑岩	10.3 × 5.9 × 2.2	184.9	平坦面・側面たたき痕あり
H－499	図III－295－1	19	覆土1層	砥石	1	凝灰岩	9.5 × 7.0 × 2.9	153.7	砥面×2
	－2	16	覆土1層	砥石	1	凝灰岩	8.6 × 5.2 × 3.7	178.9	砥面×2
	－3	51	壁	砥石	2	凝灰岩	11.2 × 9.5 × 5.6	660.0	
	－4	53	壁	砥石	2	凝灰岩	(17.4)× 8.8 × 2.0	418.2	
H－500	図III－299－1	10	覆土1層	スクレイパー	1	硬質頁岩	5.2 × 4.2 × 1.1	18.4	
	－2	27	覆土1層	スクレイパー	1	硬質頁岩	10.4 × 8.5 × 2.0	163.0	
	－3	35	床面直上	石斧	3	蛇紋岩	5.8 × 2.9 × 0.8	20.6	擦り切り痕不明
	－4	39	壁	石錘	円礫	閃緑岩	11.3 × 9.1 × 2.1	309.0	
	－5	34	床面直上	台石		閃緑岩	25.5 × 16.4 × 6.8	4,500.0	
H－501	図III－303－1	19	覆土2層	石錐	6	硬質頁岩	4.6 × 1.9 × 0.7	6.0	
	－2	107	覆土2層	石槍	1b1	硬質頁岩	9.0 × 2.5 × 0.8	17.6	
	－3	116	覆土2層	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.4 × 3.2 × 0.8	18.3	
	－4	55	覆土3層	石斧	1	蛇紋岩	10.7 × 6.6 × 2.2	279.5	
	－5	10	覆土2層	砥石	1	凝灰岩	10.6 × 10.5 × 4.2	553.2	砥面×3
	－6	20	覆土2層	砥石	1	凝灰岩	9.6 × 7.3 × 2.9	222.7	砥面×2
H－503	図III－308－1	9	覆土1層	石槍	1a1	硬質頁岩	12.4 × 3.7 × 1.1	44.4	
	－2	16	覆土1層	石錘	円礫	安山岩	8.5 × 7.1 × 2.3	181.6	
	－3	77	覆土2層	石皿		閃緑岩	19.6 × 17.9 × 7.0	3,580.0	
H－506	図III－317－1	1	覆土1層	たたき石	1	閃緑岩	6.9 × 6.5 × 2.2	143.4	
	－2	4	覆土1層	たたき石	1	安山岩	6.8 × 5.7 × 2.5	140.3	
	－3	33	覆土1層	たたき石	1	凝灰岩	8.2 × 6.1 × 2.3	141.9	
	－4	2	覆土1層	石錘	円礫	閃緑岩	5.3 × 4.8 × 1.7	62.6	
	－5	41	覆土1層	石錘	円礫	片岩	10.5 × 8.3 × 2.8	336.2	
H－507	図III－321－1	74 75	床面直上 床面直上	石錘	板状礫	凝灰岩	9.8 × 6.8 × 1.5	102.0	
	－2	80A	床面	石錘	板状礫	凝灰岩	7.0 × 4.7 × 1.1	32.8	
H－509	図III－326－1	130	覆土1層	擦切残片		蛇紋岩	7.5 × 2.2 × 1.4	22.9	
	－2	54	覆土1層	砥石	1	凝灰岩	8.5 × 7.1 × 3.1	169.5	砥面×2
	－3	116	覆土1層	砥石	1	凝灰岩	9.0 × 7.5 × 3.1	244.0	砥面×3
	－4	139	覆土1層	石皿		流紋岩	20.2 × 18.4 × 4.9	2,560.0	
H－510	図III－330－1	40	覆土1層	石槍	1b1	頁岩	12.6 × 2.8 × 1.1	38.4	
	－2	41B	覆土1層	石錐	4？	頁岩	5.6 × 2.0 × 1.1	12.1	
	－3	36	覆土1層	すり石	2	流紋岩	14.2 × 9.3 × 4.0	610.0	
	－4	97	壁	砥石	1	凝灰岩	12.3 × 4.7 × 2.3	120.7	砥面×1
H－511	図III－334－1	15	覆土1層	石鏃	7	黒曜石	(1.9)× 1.2 × 0.4	(0.9)	
	－2	22	覆土1層	両面調整石器	5	頁岩	7.3 × 3.4 × 1.9	40.4	
	－3	37	覆土1層	すり石	1	閃緑岩	15.9 × 6.7 × 4.1	620.0	接合：42－32－602（掲げ土）
H－512	図III－338－1	69A	覆土1層	石鏃	2b	頁岩	5.0 × 1.0 × 0.4	2.1	
	－2	5	覆土1層	石槍	1b1	頁岩	8.3 × 2.7 × 1.0	22.2	
	－3	9	覆土1層	石槍	1b1	頁岩	9.1 × 2.2 × 0.8	17.8	
	－4	18	覆土1層	石匙	2a	頁岩	5.1 × 1.5 × 0.4	3.5	
	－5	14	覆土1層	すり石	1	閃緑岩	15.3 × 8.8 × 6.2	1,010.0	
	－6	108	覆土1層	砥石	1	凝灰岩	11.9 × 8.0 × 3.4	446.6	砥面×2
H－514	図III－343－1	6	覆土1層	石匙	4	硬質頁岩	6.5 × 5.6 × 1.1	33.9	

遺構番号	図 番 号	遺物番号	出土層位	分 類	細分類	材 質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備 考
H－514	図III－343－ 2	26	覆土2層	砥石	1	凝灰岩	14.1 × 4.3 × 2.4	165.6	砥面×1
H－515	図III－347－ 1	6	覆土1層	スクレイパー	1	硬質頁岩	8.2 × 2.0 × 0.7	16.0	
	－ 2	3	覆土1層	すり石	2	閃緑岩	11.6 × 5.1 × 2.8	270.0	
	－ 3	7	覆土1層	石錘	円礫	閃緑岩	11.0 × 10.1 × 2.1	345.4	
H－516	図III－350－ 1	12	覆土2層	石斧	1	蛇紋岩	8.2 × 4.1 × 1.5	77.2	
	－ 2	1	覆土1層	たたき石	1	安山岩	11.4 × 5.6 × 4.1	293.7	接合：44－38－3（III層）
	－ 3	13	覆土2層	すり石	1	閃緑岩	10.1 × 5.4 × 3.8	299.9	
H－517	図III－354－ 1	13	覆土1層	石匙	3	頁 岩	5.1 × 1.7 × 0.3	3.9	
	－ 2	15	覆土1層	石錘	円礫	閃緑岩	5.4 × 5.3 × 1.8	64.7	
	－ 3	19	床面	台石		凝灰岩	15.8 × 13.6 × 6.0	1,845.0	
H－518	図III－358－ 1	34	覆土2層	擦切残片		蛇紋岩	5.3 × 1.9 × 0.9	8.7	
	－ 2	21	覆土1層	たたき石	1	閃緑岩	9.2 × 8.9 × 3.8	455.6	
	－ 3	1	覆土1層	石錘	円礫	凝灰岩	8.0 × 5.4 × 1.8	88.1	すり痕あり
H－519	図III－362－ 1	111A	覆土1層	スクレイパー	1	硬質頁岩	6.0 × 2.6 × 7.5	14.0	
	－ 2	125	HP埋土	すり石	1	閃緑岩	18.6 × 7.2 × 6.5	1,120.0	HP－9，接合：43－31－52（III層）
	－ 3	122	床面	すり石	1	閃緑岩	18.5 × 6.9 × 3.4	640.0	
	－ 4	123	床面	すり石	1	閃緑岩	16.2 × 9.4 × 7.6	1,120.0	たたき石？
	－ 5	121	床面	石錘	円礫	閃緑岩	8.0 × 5.9 × 1.6	119.1	
H－520	図III－366－ 1	20	覆土2層	すり石	1	閃緑岩	14.3 × 7.5 × 4.9	780.0	
	－ 2	4	覆土1層	石錘	板状礫	泥 岩	6.8 × 6.3 × 1.1	55.4	すり痕あり
H－522	図III－372－ 1	22	覆土2層	石鏃	1b	硬質頁岩	4.8 × 1.9 × 4.5	4.2	
	－ 2	32	床面直上	石錘	円礫	閃緑岩	5.8 × 5.5 × 1.5	59.4	
	－ 3	26	床面直上	石錘	円礫	閃緑岩	11.1 × 8.4 × 2.6	355.4	
H－524	図III－376－ 1	18	覆土2層	石匙	3	硬質頁岩	6.8 × 2.2 × 3.5	6.1	
	－ 2	14	覆土1層	石錘	円礫	片 岩	4.7 × 4.3 × 0.6	19.4	
H－528	図III－380－ 1	34	覆土2層	石匙	3	硬質頁岩	7.5 × 3.1 × 0.6	15.1	
	－ 2	24	覆土1層	石斧片	1？	蛇紋岩	(11.1)×(5.3)×(2.5)	159.1	
	－ 3	7	覆土1層	石斧	1？	蛇紋岩	(10.9)×(4.9)×(2.9)	151.1	擦り切り？
H－531	図III－384－ 1	209	覆土2層	すり石	2	閃緑岩	11.3 × 5.3 × 1.9	192.4	
	－ 2	185	覆土2層	すり石	2	閃緑岩	9.9 × 8.7 × 4.3	557.0	
	－ 3	142	覆土1層	すり石	1	閃緑岩	20.7 × 7.2 × 5.0	1,200.0	
	－ 4	109	覆土1層	石錘	円礫	凝灰岩	6.5 × 7.1 × 1.5	85.6	
H－532	図III－388－ 1	15	覆土1層	砥石	1	凝灰岩	12.0 × 11.4 × 5.4	840.0	砥面×2
	－ 2	25	床面	石錘	円礫	安山岩	8.3 × 8.5 × 1.3	116.5	
H－533	図III－392－ 1	7	覆土2層	砥石	1	凝灰岩	11.0 × 5.3 × 1.6	122.5	砥面×2
	－ 2	5	覆土1層	石錘	円礫	流紋岩	8.9 × 9.2 × 2.6	283.2	
H－535	図III－396－ 1	86	覆土2層	石匙	2b	頁 岩	(6.1)×(2.0)× 0.5	(5.8)	
	－ 2	181	床面直上	スクレイパー	1	頁 岩	10.0 × 5.1 × 2.3	100.0	
	－ 3	180	床面直上	石斧	1	蛇紋岩	(9.2)× 6.1 × 2.3	(185.1)	
	－ 4	112	床面直上	すり石	1	閃緑岩	22.4 × 8.9 × 5.5	1,620.0	
	－ 5	29	覆土1層	石錘	円礫	閃緑岩	6.9 × 5.2 × 1.7	88.9	抉り4ケ所
H－539	図III－400－ 1	1	覆土1層	石槍	1b1	硬質頁岩	(8.6)× 2.8 × 1.1	(29.4)	
	－ 2	4	覆土1層	石匙	2a	硬質頁岩	(9.7)× 2.6 × 0.9	(24.4)	
H－541	図III－404－ 1	6A	覆土1層	石匙	2b	頁 岩	7.8 × 3.1 × 0.6	12.1	接合：43－32－399（III層）
	－ 2	4	覆土1層	たたき石	1	閃緑岩	8.3 × 5.5 × 2.1	148.7	
H－543	図III－408－ 1	1A	覆土1層	スクレイパー	1	硬質頁岩	3.5 × 3.1 × 0.9	9.2	
H－545	図III－411－ 1	5	覆土1層	砥石	2	凝灰岩	4.8 × 3.2 × 1.5	28.6	円礫素材
	－ 2	2	覆土1層	石錘	円礫	閃緑岩	5.6 × 4.5 × 1.1	39.0	
	－ 3	4	覆土1層	石錘	円礫	閃緑岩	8.0 × 6.5 × 1.6	112.2	
H－550	図III－418－ 1	1	覆土1層	石槍	1b1	頁 岩	9.2 × 2.1 × 0.9	19.0	
	－ 2	2A	覆土1層	石錐	3	頁 岩	5.8 × 2.3 × 0.7	8.3	
	－ 3	20	床面	砥石	1	凝灰岩	9.3 × 7.5 × 3.4	334.2	砥面×3
	－ 4	16	覆土1層	砥石	1	閃緑岩	19.2 × 17.5 × 4.3	2,300.0	石皿を転用，砥面×2
H－551	図III－420－ 1	10	床面直上	すり石	1	閃緑岩	14.5 × 6.2 × 3.8	640.0	
P－264	(図III－436) 1	16	覆土	石槍	1b1	硬質頁岩	11.8 × 3.0 × 1.1	41.9	
	2	18	墳底直上	石匙	2a	硬質頁岩	7.2 × 1.7 × 0.5	7.3	
	3	33	墳底直上	石匙	2a	硬質頁岩	7.4 × 2.7 × 0.6	12.2	
	4	32	墳底直上	すり石	1	閃緑岩	(11.1)× 4.4 × 4.3	(306.8)	
P－267	(図III－436) 1	4	覆土1層	スクレイパー	1	硬質頁岩	13.0 × 5.1 × 1.7	92.3	
	2	9	覆土3層	たたき石	1	閃緑岩	11.1 × 8.5 × 4.0	(590.6)	
P－268	(図III－436) 1	34	墳底	たたき石	1	閃緑岩	5.7 × 10.0 × 2.7	267.9	(石錘)
	2	31	墳底直上	すり石	1	閃緑岩	12.0 × 5.7 × 3.9	420.6	

遺構番号	図番号	遺物番号	出土層位	分類	細分類	材質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備考
P－268	(図III－436) 3	32	壙底直上	砥石	1	凝灰岩	5.9 × 5.5 × 1.0	34.0	
P－275	(図III－437) 1	1	覆土	石皿		閃緑岩	82.6 × 54.2 × 6.8	1,250.0	
P－280	(図III－437) 1	1	覆土	すり石	1	閃緑岩	17.0 × 7.7 × 3.3	740.0	
P－282	(図III－437) 1	9B	覆土上層	砥石	1	凝灰岩	17.2 × 14.2 × 2.4	590.0	砥面×1
P－285	(図III－437) 1	500077	覆土2層	石匙	2b	硬質頁岩	6.9 × 2.4 × 0.6	10.5	H－496より移行
	2	500088	壙底	スクレイパー	1	硬質頁岩	10.3 × 4.6 × 1.3	59.5	H－496より移行
	3	500006	覆土1層	石斧	1	蛇紋岩	6.4 × 3.3 × 1.1	32.0	H－496より移行
P－286	(図III－438) 1	7	覆土1層	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.7 × 5.0 × 1.5	76.1	
P－297	(図III－438) 1	6	覆土	台石		凝灰岩	29.0 × 15.4 × 7.1	2,410.0	軽石？
T－ 1	(図III－455) 1	(11)	覆土中層	すり石	1	閃緑岩	17.5 × 8.5 × 5.8	1,460.0	
T－ 67	(図III－455) 1	(37)	覆土下層	石匙	2a	硬質頁岩	6.6 × 1.6 × 0.5	5.4	
	2	(32)	覆土中層	砥石	1	凝灰岩	9.2 × 8.5 × 4.1	338.4	砥面×1
T－162	(図III－455) 1	(3)	覆土1層	石錐	3	硬質頁岩	8.0 × 3.5 × 0.9	21.4	背面に原石礫面を残す
T－163	(図III－455) 1	(12)	覆土上層	石匙	2b	硬質頁岩	6.0 × 1.8 × 0.7	7.7	
	2	(17)	覆土上層	台石		凝灰岩	16.4 × 11.3 × 5.7	1,290.0	
T－164	(図III－455) 1	(5)	覆土	石匙	2a	頁岩	5.3 × 4.3 × 0.5	8.4	
T－165	(図III－455) 1	(13)	覆土上層	石槍	2a1	硬質頁岩	15.8 × 5.6 × 2.8	190.6	

表7　包含層の掲載土器一覧

図番号	発掘区	出土層位	分類	接合・同一個体	点数	図番号	発掘区	出土層位	分類	接合・同一個体	点数
図IV-10- 1	46-32	撹げ土	ID1		16	図IV-14- 60	43-31	III	ID1		1
- 2	44-32	撹げ土, I	ID1		26	- 61	40-38	III	ID1		1
- 3	46-32	撹げ土	ID1		35	- 62	40-36	III	ID1		1
- 4	41-31	撹げ土, III, I	ID1		27	- 63	45-33	撹げ土	ID1		1
- 5	42-31	撹げ土	ID1	43-30	59	- 64	46-32	I	ID1		1
- 6	45-32	撹げ土, I	ID1	46-32	38	- 65	45-32	I	ID1		1
- 7	46-32	撹げ土	ID1		68	図IV-15- 66	44-31	III	ID1	42-31	7
- 8	44-30	I	ID1		34	- 67	41-31	撹げ土	ID1	42-31	6
図IV-11- 9	43-31	撹げ土, III, I	ID1		70	- 68	46-32	撹げ土	ID1		17
- 10	46-32	撹げ土	ID1		24	- 69	40-34	III	ID1		7
- 11	43-31	III, I	ID1	42-31, 42-33, 42-32	20	- 70	46-32	撹げ土	ID1	46-43	4
- 12	43-31	III, 撹げ土	ID1		73	- 71	45-33	撹げ土	ID1		17
- 13	45-32	III, 撹げ土, I	ID1	46-32	17	- 72	41-34	I	ID1		5
- 14	43-31	III, 撹げ土	ID1	43-32	28	図IV-16- 73	41-31	III	ID1		8
- 15	46-32	撹げ土, I	ID1		53	- 74	41-36	III	ID1		2
図IV-12- 16	45-31	撹げ土, I	ID1	45-32	22	- 75	43-35	I	ID1		1
- 17	46-32	I	ID1	45-32	45	- 76	43-36	III	ID1		1
- 18	43-31	撹げ土	ID1		22	- 77	44-37	I	ID1		1
	44-31	III				- 78	39-35	III	ID1		1
- 19	40-38	III	ID1		18	- 79	46-33	I	ID1		5
- 20	39-30	III	ID1	39-29	26	- 80	41-31	I	ID1		2
- 21	44-31	I	ID1	45-31	18	- 81	41-31	I	ID1		1
- 22	45-33	撹げ土, III, I	ID1		37	- 82	44-32	I	ID1		2
- 23	43-31	撹げ土	ID1		27	- 83	44-31	I	ID1		1
- 24	42-31	III, 撹げ土	ID1		41	- 84	44-30	I	ID1		2
- 25	43-31	III, 撹げ土, I	ID1		91	- 85	43-31	撹げ土	ID1		1
- 26	43-30	III, 撹げ土	ID1		67	- 86	42-31	III	ID1	44-30, 44-32, 45-31, 45-32	7
図IV-13- 27	45-34	III, I	ID1	45-37, 46-34, 46-37	117						
- 28	44-31		ID1	44-32, 45-32	42	- 87	40-36	III	ID1		12
- 29	46-32		ID1		32	- 88	40-32	III	ID1		13
- 30	42-30	III, 撹げ土	ID1		14	- 89	45-32	撹げ土	ID1		7
- 31	40-38	III	ID2		29	- 90	44-31	I	ID1		2
- 32	42-32	III, I	ID2	42-33	54	- 91	39-35	III	ID1		3
図IV-14- 33	45-33	I	IB		1	- 92	41-31	III	ID1		4
- 34	41-38	I	IB		1	図IV-17- 93	44-31	III	ID1		7
- 35	45-32	I	IB		1	- 94	44-31	I	ID1		1
- 36	45-31	I	IB		1	- 95	43-32	III	ID1		1
- 37	41-38	撹乱	IB		3	- 96	46-32	撹げ土	ID1		4
- 38	39-31	I	IB		1	- 97	46-34	III	ID1		1
- 39	40-30	I	IB		1	- 98	46-32	撹げ土	ID1		2
- 40	39-35	I	IB		1	- 99	39-33	表採	ID1		1
- 41	43-34	III	IB		1	-100	46-33	I	ID1		1
- 42	43-34	III	IB		1	-101	39-32	III	ID1		1
- 43	41-31	撹げ土	ID1		4	-102	45-33	撹げ土	ID1		1
- 44	41-31	III	ID1		2	-103	46-32	I	ID1		2
- 45	42-30	III	ID1		1	-104	41-38	III	ID1		1
- 46	41-38	III	ID1		1	-105	41-38	III	ID1		2
- 47	40-31	III	ID1		1	-106	40-31	I	ID1		3
- 48	43-31	撹げ土	ID1		3	-107	43-31	撹げ土	ID1	46-32	7
- 49	44-36	I	ID1		2	-108	46-33	I	ID1		1
- 50	46-33	I	ID1		3	-109	41-32	III	ID1		1
- 51	40-31	III	ID1		2	-110	43-32	III	ID1		1
- 52	46-32	III	ID1		1	-111	45-32	III	ID1		1
- 53	42-30	III	ID1		1	-112	44-33	I	ID1		1
- 54	42-32	III	ID1		3	-113	42-31	III	ID1		1
- 55	45-32	III	ID1		2	-114	40-30	III	ID1		2
- 56	46-33	I	ID1		2	-115	41-34	III	ID1		1
- 57	45-31	I	ID1		4	-116	45-31	I	ID1		1
- 58	42-32	撹げ土	ID1		1	-117	44-32	I	ID1		1
59	45-32	撹げ土	ID1		1	-118	41-36	III	ID1		5

図番号	発掘区	出土層位	分類	接合・同一個体	点数	図番号	発掘区	出土層位	分類	接合・同一個体	点数
図IV-17-119	46-32	撹げ土	ID1		3	図IV-20-182	45-32	撹げ土	ID1		2
-120	43-31	撹げ土	ID1		1	-183	44-31	III	ID1		1
-121	44-37	III	ID1		1	-184	39-35	I	ID1		1
-122	42-33	I	ID1		3	-185	46-33	I	ID1		1
-123	43-31	III	ID1		1	-186	41-30	III	ID1		2
-124	46-34	I	ID1		1	-187	41-37	III	ID1		1
-125	46-32	撹げ土	ID1		1	-188	41-39	III	ID1		1
-126	43-31	I	ID1		2	-189	45-31	I	ID1		2
-127	46-32	撹げ土	ID1		1	-190	45-32	I	ID1		2
-128	39-35	III	ID1		1	-191	44-32	I	ID1		1
図IV-18-129	41-38	III	ID1		3	-192	44-32	III	ID1		1
-130	41-38	撹げ土	ID1		1	-193	41-38	I	ID1		1
-131	43-30	I	ID1		2	-194	41-30	I	ID1		1
-132	42-36	撹げ土	ID1		1	-195	44-32	I	ID1		1
-133	45-32	I	ID1		1	-196	46-32	I	ID1		1
-134	43-31	撹げ土	ID1		1	-197	39-30	III	ID1		1
-135	41-33	I	ID1		2	-198	46-32	撹げ土	ID1		3
-136	40-39	I	ID1		1	-199	42-31	I	ID1		1
-137	42-31	I	ID1		3	-200	45-31	I	ID1		1
-138	39-33	III	ID1		1	-201	42-30	III	ID1		1
-139	43-31	I	ID1		1	図IV-21-202	39-34	I	ID1		1
-140	43-32	I	ID1		1	-203	39-33	I	ID1		1
-141	44-36	I	ID1		2	-204	43-33	III	ID1		1
-142	45-33	撹げ土	ID1		1	-205	41-30	III	ID1		2
-143	45-33	I	ID1		1	-206	44-31	I	ID1		1
-144	42-30	撹げ土	ID1		1	-207	43-31	撹げ土	ID1		1
-145	40-34	I	ID1		1	-208	40-33	III	ID1		1
-146	45-31	I	ID1		1	-209	44-31	III	ID1	44-32	6
-147	39-35	I	ID1		1	-210	43-32	III	ID1		1
-148	46-34	III	ID1		1	-211	39-33	III	ID1		1
-149	39-30	I	ID1		1	-212	44-32	I	ID1		1
-150	43-31	III	ID1		3	-213	43-32	III	ID1		1
-151	45-31	I	ID1		2	-214	41-31	III	ID1		2
-152	46-32	I	ID1		1	-215	46-33	撹げ土	ID1		4
-153	42-32	撹げ土	ID1		1	-216	41-32	撹げ土	ID1		4
-154	44-32	I	ID1		1	-217	39-35	I	ID1		1
-155	39-34	I	ID1		1	-218	46-34	I	ID1		1
図IV-19-156	40-38	III	ID1		1	-219	42-30	III	ID1		2
-157	42-30	風倒木痕	ID1		1	-220	43-31	撹げ土	ID1		1
-158	41-39	III	ID1		1	-221	46-33	I	ID1		1
-159	46-32	I	ID1		1	-222	43-30	III	ID1		1
-160	46-32	I	ID1		7	-223	42-37	I	ID1		2
-161	44-39	III	ID1		1	-224	44-31	III	ID1		1
-162	45-31	撹げ土	ID1		1	-225	42-35	III	ID1		2
-163	44-32	I	ID1		1	図IV-22-226	40-33	III	ID1		12
-164	45-33	撹げ土	ID1		1	-227	43-33	I	ID1		5
-165	46-32	撹げ土	ID1		35	-228	45-31	III	ID1		2
-166	43-31	撹げ土	ID1		3	-229	45-32	III	ID1		3
-167	45-33	I	ID1		3	-230	43-30	撹げ土	ID1		2
-168	43-31	III	ID1		3	-231	45-32	撹げ土	ID1		3
-169	43-33	III	ID1		1	-232	46-32	III	ID1		1
-170	46-32	撹げ土	ID1		4	-233	42-30	III	ID1		1
-171	45-37	III	ID1		4	-234	45-32	I	ID1		1
-172	41-32	III	ID1		3	-235	44-32	I	ID1		18
図IV-20-173	40-36	III	ID1		3	-236	39-33	I	ID1		18
-174	46-32	撹げ土	ID1		1	-237	46-32	撹げ土	ID1		4
-175	39-36	I	ID1		1	図IV-23-238	42-32	III	ID1		7
-176	42-32	I	ID1		1	-239	45-32	撹乱	ID1		6
-177	45-33	I	ID1		2	-240	41-38	III	ID1		1
-178	46-36	I	ID1		1	-241	43-30	I	ID1		4
-179	41-38	I	ID1		1	-242	41-31	III	ID1		1
-180	46-33	I	ID1		1	-243	44-31	I	ID1		1
-181	42-32	I	ID1		1	-244	46-32	III	ID1		1

図番号	発掘区	出土層位	分類	接合・同一個体	点数	図番号	発掘区	出土層位	分類	接合・同一個体	点数
図IV-23-245	46-32	III	ID1		1	図IV-26-308	40-38	III	ID1		15
-246	41-36	III	ID1		1	-309	46-32	揚げ土	ID1		1
-247	44-32	III	ID1		1	-310	45-33	I	ID1		1
-248	45-32	III	ID1		3	-311	41-37	III	ID1		1
-249	39-33	III	ID1		2	-312	45-32	I	ID1		11
-250	46-32	III	ID1		1	-313	46-32	揚げ土	ID1	46-31	4
-251	45-33	I	ID1		1	-314	46-32	揚げ土	ID1		2
-252	45-34	III	ID1		1	図IV-27-315	41-38	III	ID1		4
-253	42-31	III	ID1		1	-316	40-35	I	ID1		1
-254	40-32	III	ID1		1	-317	46-32	揚げ土	ID1		16
-255	46-33	I	ID1		1	-318	40-35	III	ID1		2
-256	46-32	III	ID1		2	-319	42-30	III	ID1		5
-257	41-38	III	ID1		1	-320	43-34	III	ID1		1
-258	46-34	I	ID1		2	-321	42-31	III	ID1	同一個体41-31	1
-259	41-32	III	ID1	41-31	21	-322	39-35	III	ID1		1
図IV-24-260	42-37	I	ID1		3	-323	42-32	揚げ土	ID1	43-33	25
-261	41-35	III	ID1		12	-324	39-34	III	ID1		2
-262	45-33	I	ID1		4	-325	46-32	揚げ土	ID1		1
-263	42-32	I	ID1		1	-326	41-33	III	ID1		1
-264	44-31	I	ID1		2	-327	39-35	III	ID1		7
-265	41-38	III	ID1		1	-328	39-34	III	ID1		2
-266	45-32	III	ID1		3	-329	44-31	I	ID1		1
-267	43-30	揚げ土	ID1		3	-330	43-33	III	ID1		4
-268	46-32	揚げ土	ID1		1	-331	45-31	I	ID1		5
-269	44-32	I	ID1	同一個体43-31	1	図IV-28-332	40-33	I	ID1		2
-270	43-32	III	ID1		3	-333	42-31	III	ID1		2
-271	42-32	I	ID1		1	-334	41-38	III	ID1		1
-272	41-31	I	ID1		1	-335	45-34	I	ID1		1
-273	42-33	III	ID1		1	-336	40-38	III	ID1		1
-274	39-35	I	ID1		1	-337	42-31	揚げ土	ID1		1
-275	42-30	III	ID1		1	-338	44-32	I	ID1		1
-276	46-32	I	ID1		1	-339	41-38	III	ID1		2
-277	41-38	III	ID1		1	-340	46-33	I	ID1		1
-278	41-31	III	ID1		2	-341	39-35	III	ID1		9
-279	45-33	I	ID1	同一個体45-34	3	-342	42-31	I	ID1		1
図IV-25-280	39-31	III	ID1		8	-343	43-34	III	ID1		1
-281	41-31	揚げ土	ID1		1	-344	44-31	I	ID1		1
-282	46-32	揚げ土	ID1		1	-345	46-32	III	ID1		2
-283	41-31	III	ID1	同一個体T-67	1	-346	45-32	I	ID1		10
-284	42-33	III	ID1		1	-351	41-37	III	ID1		4
-285	41-37	III	ID1		1	-348	39-35	III	ID1		1
-286	42-32	揚げ土	ID1		1	-349	41-31	III	ID1		1
-287	45-33	I	ID1		1	-350	45-32	III	ID1	45-31	14
-288	44-32	I	ID1		1	-351	43-31	I	ID1		1
-289	44-32	I	ID1		2	図IV-29-352	46-32	揚げ土	ID1		15
-290	42-31	III	ID1		1	-353	39-35	III	ID1		13
-291	42-31	III	ID1		3	-354	45-33	I	ID1	44-33,同一個体45-34	2
-292	42-31	I	ID1		1	-355	41-31	揚げ土	ID1		2
-293	45-32	I	ID1		2	-356	44-31	III	ID1	44-32	27
-294	45-31	I	ID1		1	図IV-30-357	44-32	I	ID1		4
-295	41-38	III	ID1		1	-358	40-30	揚げ土	ID1		8
-296	46-32	I	ID1		1	-359	44-31	I	ID1		15
-297	44-31	III	ID1		1	-360	45-33	揚げ土	ID1		14
-298	44-31	I	ID1		4	-361	42-31	揚げ土	ID1		4
-299	46-34	I	ID1		1	-362	45-31	揚げ土	ID1		15
-300	44-33	I	ID1		1	-363	39-33	III	ID1		1
-301	42-31	揚げ土	ID1	同一個体	1	-364	46-32	I	ID1		1
-302	43-31	揚げ土	ID1		1	-365	46-34	I	ID1		1
-303	46-32	揚げ土	ID1		2	-366	44-33	III	ID1		1
図IV-26-304	44-32	I	ID1	45-31	12	-367	39-30	III	ID1		1
-305	40-34	III	ID1		4	図IV-30-368	41-37	III	ID1		1
-306	45-32	I	ID1		1	-369	41-32	III	ID1		1
-307	41-34	I	ID1		2	図IV-31-370	41-35	III	ID2		5

図番号	発掘区	出土層位	分類	接合・同一個体	点数	図番号	発掘区	出土層位	分類	接合・同一個体	点数
図IV-31-371	46-35	I	ID2		2	図IV-34-430	42-37	III	IE	40-38	2
-372	44-32	I	ID2		2	-431	43-37	III	IE		1
-373	42-36	III	ID2		3	-432	40-37	III	IE		1
-374	39-35	III	ID2		1	-433	42-36	III	IE		1
-375	39-30	III	ID2		4	-434	46-38	I	IE		1
-376	42-33	III	ID2		1	-435	42-35	III	IE		2
-377	46-33	I	ID2		1	-436	46-32	撹乱土	IE		5
-378	46-37	III	ID2		1	-437	42-32	I	IE		1
-379	46-34	I	ID2		1	-438	40-37	III	IE		2
-380	45-32	撹乱土	ID2		1	-439	41-38	III	IE		1
-381	44-33	III	ID2		1	-440	42-35	I	IE		1
-382	46-32	撹乱土	ID2		1	-441	40-35	III	IE		2
-383	41-37	III	ID2		1	-442	40-38	III	IE		1
-384	46-34	III	ID2		1	-443	42-30	III	IE		5
-385	46-32	I	ID2		1	-444	42-36	III	IE		2
-386	41-32	I	ID2		1	-445	41-37	III	IE	41-39	2
-387	41-38	I	ID2		1	-446	39-31	III	IE		2
-388	46-34	I	ID2		1	-447	43-37	III	IE		1
-389	46-33	I	ID2		1	-448	42-30	III	IE		2
-390	42-32	I	ID2	42-31, 42-33	3	-449	43-36	I	IE		1
-391	46-32	I	ID2		1	-450	43-38	III	IE		1
-392	44-33	I	ID2		3	-451	43-34	III	IE		1
-393	42-37	III	ID2		1	-452	42-35	III	IE		1
-394	40-34	III	ID2		1	-453	44-33	I	IE		8
-395	46-32	I	ID2		1	-454	41-35	I	IE		2
-396	44-34	I	ID2		1	-455	43-37	III	IE		1
図IV-32-397	40-35	III	ID2		2	-456	43-34	III	IE		1
-398	43-37	III	ID2		1	-457	45-38	III	IE		1
-399	40-37	III	ID2		1	図IV-35-458	41-38	III	IG		32
-400	40-38	III	ID2		1	-459	44-37	I	IG		5
-401	42-38	III	ID2		1	-460	41-37	III	IG		1
-402	42-33	III	ID2	42-34	7	-461	41-37	III	IG		1
-403	44-32	I	ID2	44-33	8	-462	43-37	III	IG		3
-404	46-32	I	ID2		8	-463	40-38	III	IG	(H-73)	14
-405	46-32	撹乱土	ID2		12	-464	43-37	III	IG		4
-406	39-35	III	ID2		5	-465	43-37	III	IG		1
図IV-33-407	39-30	III	IE		1	-466	41-37	III	IG		1
-408	42-37	I	IE		5	-467	41-38	III	IG		1
-409	42-36	風倒木痕	IE		3	-468	41-37	III	IG		2
-410	46-34	III	IE		3	-469	43-37	I	IG		1
-411	44-33	I	IE		4	-470	43-38	III	IG		3
-412	45-38	III	IE		1	-471	44-36	I	IG		1
-413	41-37	III	IE		4	-472	40-38	III	IG		1
-414	42-38	III	IE		4	-473	43-37	III	IG		2
-415	40-33	I	IE		1	-474	41-36	III	IG		1
-416	46-36	III	IE		2	-475	46-36	I	IG		1
-417	41-35	III	IE		6	-476	41-37	III	IG		2
-418	40-35	III	IE		1	-477	43-37	III	IG		1
-419	40-38	III	IE		1	-478	43-37	I	IG		2
-420	41-38	III	IE		1	-479	41-38	I	IG		1
-421	42-35	III	IE		1	-480	45-37	I	IG		1
-422	40-33	I	IE		1	-481	44-37	III	IG		1
-423	42-33	III	IE	40-33, 43-33	4	-482	44-37	III	IG		1
-424	41-34	III	IE		1	-483	40-37	III	IG		1
-425	45-31	I	IE		1	-484	41-37	III	IG		1
-426	45-38	III	IE		2	-485	43-38	III	IG		1
-427	46-35	III	IE		1	-486	41-37	III	IG		2
-428	39-34	III	IE		1	-487	41-38	I	IG		1
-429	42-35	III	IE		2						

表8　包含層の掲載石器一覧

図番号	発掘区	遺物番号	出土層位	分類	細分類	材質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備考
図IV－40－ 1	42－35	15A	III	石鏃	1 b	硬質頁岩	2.9 × 1.3 × 0.3	1.1	
－ 2	42－32	402	撹げ土	石鏃	1 b	硬質頁岩	2.9 × 1.5 × 0.4	1.9	
－ 3	44－31	143	III	石鏃	1 b	黒曜石	2.9 × 1.6 × 0.5	1.8	
－ 4	40－37	220	III	石鏃	2 b	硬質頁岩	(3.1)× 2.3 × 0.3	(1.1)	
－ 5	41－38	438	III	石鏃	2 b	硬質頁岩	(2.8)× 1.0 × 0.5	(1.4)	
－ 6	39－34	162	III	石鏃	2 b	黒曜石	2.9 × 0.9 × 0.3	0.7	
－ 7	46－34	37	III	石鏃	2 b	硬質頁岩	2.9 × 1.2 × 0.3	1.0	
－ 8	42－30	546	III	石鏃	2 b	硬質頁岩	3.5 × 1.2 × 0.3	1.5	
－ 9	40－34	77	III	石鏃	2 b	硬質頁岩	3.5 × 1.2 × 0.3	1.2	
－ 10	40－34	90A	III	石鏃	2 b	硬質頁岩	3.5 × 1.2 × 0.3	1.2	
－ 11	41－37		III	石鏃	2 b	硬質頁岩	3.6 × 1.2 × 0.3	1.2	(H－454－1500)
－ 12	42－33		III	石鏃	2 b	硬質頁岩	3.6 × 1.2 × 0.4	1.3	(H－473－67)
－ 13	43－30	171	撹げ土	石鏃	2 b	硬質頁岩	3.6 × 1.0 × 0.3	1.1	
－ 14	45－38	55	III	石鏃	2 b	硬質頁岩	4.1 × 1.3 × 0.4	2.6	
－ 15	42－31		III	石鏃	2 b	硬質頁岩	4.4 × 1.4 × 0.4	2.3	(T－165)
－ 16	39－33		III	石鏃	2 b	硬質頁岩	(4.2)× 1.4 × 0.4	(2.9)	(H－410－516)
－ 17	45－32	27A	III	石鏃	2 b	黒曜石	3.5 × 1.2 × 0.5	2.3	
－ 18	39－34	211	III	石鏃	2 b	硬質頁岩	(6.8)× 1.4 × 0.5	(4.7)	
－ 19	42－30	248	III	石鏃	2 b	硬質頁岩	4.7 × 2.0 × 0.5	5.3	
－ 20	42－33	164	III	石鏃	4	硬質頁岩	3.9 × 1.2 × 0.3	1.6	
－ 21	41－37	42,62	III	石鏃	4	硬質頁岩	4.6 × 3.7 × 0.3	1.6	接合
－ 22	43－32	2	III	石鏃	4	黒曜石	3.2 × 1.4 × 0.5	1.7	
－ 23	42－38		III	石鏃	4	黒曜石	(2.1)× 1.2 × 0.4	(0.5)	(H－453－39)
－ 24	43－31	375	III	石鏃	6	硬質頁岩	(3.4)× 1.2 × 0.4	(1.6)	
－ 25	39－29		III	石鏃	6	硬質頁岩	2.9 × 1.1 × 0.4	1.0	(H－419－15)
－ 26	44－38	8	III	石鏃	6	硬質頁岩	4.5 × 1.7 × 0.5	2.4	
－ 27	41－37	131	III	石鏃	6	黒曜石	(4.4)× 1.3 × 0.5	(1.8)	
－ 28	41－35	160	III	石鏃	6	硬質頁岩	(5.8)× 1.9 × 0.5	(4.4)	
－ 29	39－34	95	III	石鏃	6	硬質頁岩	(2.3)× 1.6 × 0.2	(0.6)	
－ 30	42－31	509	撹げ土	石鏃	7	黒曜石	4.5 × 2.0 × 0.9	6.5	
図IV－41－ 31	44－31	52	III	石槍	1 a 1	硬質頁岩	8.9 × 3.3 × 1.5	35.8	
－ 32	42－31	186	III	石槍	1 a 1	硬質頁岩	9.2 × 3.3 × 1.0	25.7	
－ 33	44－36	7	III	石槍	1 a 3	硬質頁岩	13.2 × 4.9 × 2.0	120.3	
－ 34	42－30	412	III	石槍	1 b 1	硬質頁岩	9.9 × 2.8 × 1.0	22.5	
－ 35	43－36 44－32		III III	石槍	1 b 1	硬質頁岩	10.4 × (2.9)× 1.2	(25.7)	(H－491－14A) (H－479－8)
－ 36	41－33	26	III	石槍	1 b 1	硬質頁岩	9.9 × 2.8 × 1.1	32.7	
－ 37	41－35	141	III	石槍	1 b 1	硬質頁岩	8.6 × 2.5 × 1.0	20.0	
－ 38	39－30	57	III	石槍	1 b 1	硬質頁岩	8.2 × 1.9 × 0.7	11.0	
－ 39	43－32	363	III	石槍	1 b 1	硬質頁岩	9.6 × 3.1 × 1.3	35.3	被熱
－ 40	45－38	148	III	石槍	1 b 1	硬質頁岩	10.3 × 2.4 × 1.1	25.8	
－ 41	46－37	95	III	石槍	1 b 1	硬質頁岩	13.1 × 2.6 × 1.3	44.2	
－ 42	40－35	185	III	石槍	1 b 1	硬質頁岩	11.2 × 2.8 × 0.9	26.3	
－ 43	42－31	803	撹げ土	石槍	4	硬質頁岩	5.7 × 2.6 × 1.1	17.0	
－ 44	40－36	121	III	石槍	4	硬質頁岩	6.0 × 2.8 × 0.9	15.8	
図IV－42－ 45	46－33		III	石錐	1	硬質頁岩	5.5 × 3.0 × 0.9	12.6	(T－192－3)
－ 46	40－37	66	III	石錐	1	硬質頁岩	5.6 × 4.2 × 1.0	19.7	
－ 47	46－32	884	III	石錐	1	硬質頁岩	6.8 × 3.5 × 0.9	15.0	
－ 48	41－38	941B	III	石錐	1	硬質頁岩	6.4 × 2.0 × 0.8	12.9	
－ 49	41－31	63	III	石錐	1	硬質頁岩	7.2 × 7.0 × 1.9	67.9	
－ 50	46－34		III	石錐	1	硬質頁岩	6.4 × 3.1 × 0.9	15.6	(H－531－18)
－ 51	46－32	458	撹げ土	石錐	1	硬質頁岩	6.3 × 3.0 × 1.4	23.1	
－ 52	46－32	2	撹げ土	石錐	2	硬質頁岩	7.6 × 5.8 × 0.8	24.5	
－ 53	42－31		III	石錐	4	硬質頁岩	5.3 × 1.5 × 0.7	5.7	(H－460－21)
－ 54	44－32		III	石錐	4	硬質頁岩	8.2 × 1,7 × 1.4	26.4	(T－171－27)
－ 55	44－33	90	III	石錐	4	硬質頁岩	6.9 × 1.7 × 0.7	8.1	
－ 56	40－33		III	石錐	5	硬質頁岩	5.2 × 1.1 × 0.8	5.1	(H－410－674)
－ 57	43－31	309	III	石錐	6	硬質頁岩	5.0 × 1.5 × 0.8	5.9	
－ 58	46－32	312	撹げ土	石錐	6	硬質頁岩	4.3 × 1.8 × 0.8	6.9	
－ 59	45－32	41	撹げ土	石錐	6	硬質頁岩	3.6 × 1.2 × 0.4	2.1	

図番号	発掘区	遺物番号	出土層位	分類	細分類	材質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備考
図IV－43－ 60	46－34	11	III	篦状石器	1 a	硬質頁岩	7.1 × 3.5 × 1.3	27.3	片面加工
－ 61	41－31	394	III	篦状石器	1 b	硬質頁岩	4.3 × 1.8 × 0.7	4.4	小型，半両面加工
－ 62	41－38	274	III	篦状石器	1 c	硬質頁岩	8.2 × 2.9 × 1.2	22.8	半両面加工
－ 63	41－31	82	III	篦状石器	1 c	硬質頁岩	12.3 × 5.2 × 2.3	117.7	斧形石器両面調整
－ 64	42－32	551A	撹げ土	篦状石器	2 a	硬質頁岩	6.3 × 2.5 × 1.1	18.9	a類は直刃加工，半両面加工
－ 65	46－32	452	撹げ土	篦状石器	2 a	硬質頁岩	6.6 × 4.0 × 1.9	41.1	両面加工，一部原石礫面残す
図IV－44－ 66	46－32	284	撹げ土	両面調整石器	1	硬質頁岩	6.7 × 4.4 × 1.9	54.9	
－ 67	42－30	245	III	両面調整石器	1	硬質頁岩	10.6 × 4.7 × 2.4	89.1	
－ 68	46－32	323	撹げ土	両面調整石器	2	硬質頁岩	10.9 × 5.6 × 2.7	145.2	
－ 69	49－36 41－36		I III	両面調整石器	2	硬質頁岩	12.6 × 5.6 × 1.9	162.8	(H－454－208)
－ 70	40－36	166	III	両面調整石器	3	硬質頁岩	9.7 × 6.0 × 1.9	95.2	
－ 71	46－33	86	III	彫器様石器		頁岩	5.5 × 2.1 × 0.7	10.6	
図IV－45－ 72	41－38	755	III	石匙	1	硬質頁岩	6.9 × 2.1 × 0.6	10.4	
－ 73	40－31	157	III	石匙	2 a	硬質頁岩	6.9 × 1.6 × 0.6	7.7	
－ 74	39－30	209	III	石匙	2 a	硬質頁岩	6.8 × 1.9 × 0.5	9.2	
－ 75	39－33	22	III	石匙	2 a	硬質頁岩	7.1 × 2.3 × 0.4	6.8	
－ 76	46－33	15	撹げ土	石匙	2 a	硬質頁岩	7.5 × 2.5 × 0.5	8.1	
－ 77	42－31	537	撹げ土	石匙	2 a	硬質頁岩	7.4 × 1.7 × 0.7	10.2	
－ 78	41－31	474	III	石匙	2 a	硬質頁岩	8.7 × 1.8 × 0.7	11.9	
－ 79	43－31	70	III	石匙	2 a	硬質頁岩	8.7 × 1.6 × 0.6	9.7	
－ 80	41－31	692	撹げ土	石匙	2 a	硬質頁岩	9.0 × 2.2 × 0.8	15.9	
－ 81	41－38	120	III	石匙	2 a	硬質頁岩	8.3 × 2.9 × 0.7	17.3	
－ 82	44－31	187	III	石匙	2 b	硬質頁岩	6.6 × 1.6 × 0.5	6.8	
－ 83	39－32	234	III	石匙	2 b	硬質頁岩	6.2 × 2.0 × 0.5	6.6	
－ 84	44－33	285	III	石匙	2 b	硬質頁岩	6.8 × 2.4 × 0.6	7.7	
－ 85	40－37	298	III	石匙	2 b	硬質頁岩	7.6 × 1.9 × 0.4	8.5	
－ 86	42－36	33	III	石匙	2 b	硬質頁岩	7.8 × 2.4 × 0.7	12.5	
－ 87	43－37	257	III	石匙	3	硬質頁岩	4.3 × 1.8 × 0.4	3.1	
－ 88	45－32	15	撹げ土	石匙	3	硬質頁岩	6.7 × 1.8 × 0.5	7.6	
－ 89	43－30	112	撹げ土	石匙	3	硬質頁岩	7.6 × 3.0 × 0.7	16.1	
－ 90	41－37	97	III	石匙	3	硬質頁岩	5.6 × 4.1 × 0.4	9.2	
図IV－46－ 91	42－31	281A	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	4.5 × 3.1 × 0.6	7.4	
－ 92	43－30	203	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.9 × 2.9 × 0.9	20.7	
－ 93	46－34	79	撹げ土	スクレイパー	1	硬質頁岩	10.4 × 4.0 × 1.1	52.9	
－ 94	42－31	512	III	スクレイパー	2	硬質頁岩	11.7 × 3.6 × 1.0	50.0	
－ 95	40－37	258	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	10.7 × 3.9 × 1.7	65.7	
－ 96	41－37	268	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.9 × 4.8 × 1.3	46.2	
－ 97	41－30	159	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	8.4 × 4.7 × 0.6	36.0	
－ 98	45－33	179	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	8.8 × 4.9 × 1.2	67.1	
－ 99	44－34	29	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.8 × 6.4 × 1.4	63.3	
－100	41－37	451	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	8.7 × 5.4 × 1.7	82.8	
－101	42－32	573	撹げ土	スクレイパー	1	硬質頁岩	9.0 × 5.5 × 1.0	64.6	
図IV－47－102	46－32	613	撹げ土	スクレイパー	1	硬質頁岩	6.6 × 5.5 × 1.2	46.7	
－103	40－35	95	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	6.8 × 6.2 × 1.6	74.7	
－104	39－32	67	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.7 × 5.8 × 1.2	51.9	
－105	39－35	492A	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	6.2 × 5.6 × 1.5	55.2	
－106	40－30	170	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	8.1 × 7.9 × 2.0	136.0	
－107	46－32	771	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	9.5 × 6.8 × 1.6	100.0	
－108	42－34	39	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	10.9 × 5.0 × 1.2	73.8	
－109	43－32	84	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	10.1 × 5.8 × 2.2	136.3	
図IV－48－110	39－33		III	スクレイパー	1	硬質頁岩	(9.4)× 5.0 × 1.1	(54.7)	(H－410－387)
－111	39－34	48	III	スクレイパー	2	硬質頁岩	9.9 × 5.5 × 1.3	68.0	
－112	43－31	822	III	スクレイパー	2	硬質頁岩	11.0 × 2.3 × 0.8	21.8	
－113	46－32	87	撹げ土	スクレイパー	2	硬質頁岩	7.6 × 3.2 × 0.9	29.0	
－114	42－37		III	スクレイパー	2	硬質頁岩	7.0 × 3.6 × 0.7	28.0	(H－453－169)
－115	42－31	505	撹げ土	スクレイパー	2	硬質頁岩	7.4 × 4.0 × 0.8	33.8	
－116	39－35	512	III	スクレイパー	1	硬質頁岩	7.9 × 3.9 × 1.1	42.0	
－117	41－31	462	III	スクレイパー	2	硬質頁岩	(6.9)× 3.6 × 0.8	(29.3)	
－118	39－32		III	スクレイパー	2	硬質頁岩	8.7 × 3.6 × 1.0	33.3	(H－410－570)
－119	41－37	296	III	スクレイパー	2	硬質頁岩	9.1 × 3.8 × 1.1	39.8	
－120	43－32	362	III	スクレイパー	2	硬質頁岩	10.8 × 4.2 × 1.2	73.0	

図 番 号	発掘区	遺物番号	出土層位	分 類	細分類	材 質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備 考
図IV－49－121	43－31	465	III	Rフレイク		硬質頁岩	4.4 × 2.2 × 1.2	12.2	
－122	45－31	81	撹げ土	Rフレイク		硬質頁岩	7.4 × 4.6 × 1.0	27.9	
－123	42－32	413B	撹げ土	Rフレイク		硬質頁岩	6.3 × 3.8 × 1.3	24.3	
－124	41－31	65	III	Rフレイク		硬質頁岩	7.3 × 5.3 × 1.0	36.5	
－125	46－37	6	III	Rフレイク		硬質頁岩	5.7 × 2.9 × 9.5	13.1	
－126	43－31	155	III	Rフレイク		硬質頁岩	5.3 × 1.7 × 0.5	4.3	
－127	45－32	16	撹げ土	Rフレイク		硬質頁岩	8.7 × 4.7 × 1.2	34.4	
－128	46－33	33A	撹げ土	Uフレイク		硬質頁岩	5.8 × 2.4 × 1.0	11.5	
－129	41－38	684	III	Uフレイク		硬質頁岩	4.7 × 3.2 × 7.0	9.4	
－130	40－32	35	III	Uフレイク		硬質頁岩	8.0 × 4.1 × 1.0	19.4	
－131	41－31	37	III	Uフレイク		硬質頁岩	8.5 × 3.4 × 1.3	31.2	
－132	40－35	121	III	Uフレイク		硬質頁岩	6.8 × 3.8 × 1.1	24.7	
－133	43－37	261	III	Uフレイク		硬質頁岩	7.5 × 3.5 × 1.1	20.5	
－134	40－36	186	III	Uフレイク		硬質頁岩	7.4 × 5.5 × 2.1	38.5	
図IV－50－135	44－31	305	III	石核		硬質頁岩	5.7 × 5.4 × 3.0	88.6	
－136	39－30	166	III	石核		硬質頁岩	8.1 × 6.7 × 3.3	168.7	
－137	44－33	22	III	石核		硬質頁岩	7.9 × 5.9 × 4.0	126.8	
－138	43－33	241	III	石核		硬質頁岩	9.4 × 5.8 × 3.3	149.8	
－139	41－31	813	撹げ土	石核		硬質頁岩	7.8 × 6.7 × 4.9	179.7	
－140	41－37		III	石核		硬質頁岩	13.5 × 10.7 × 6.2	830.0	(H－454－1084)
図IV－51－141	41－31	380	III	石斧	1	蛇紋岩	5.8 × 1.3 × 0.6	5.8	ミニチュア
－142	46－32	11	III	石斧	1？	蛇紋岩	4.4 × 1.9 × 0.6	8.4	片刃，一部欠損
－143	45－35	8	III	石斧	1？	蛇紋岩	4.6 × 1.7 × 6.0	8.4	両刃
－144	42－37	118	III	石斧	1	蛇紋岩	4.8 × 2.4 × 0.8	14.3	
－145	46－38	37	III	石斧	1	蛇紋岩	4.9 × 2.4 × 0.9	17.6	
－146	42－30	134	III	石斧	1	蛇紋岩	(5.3)× 2.5 × 0.7	(14.9)	
－147	39－34	325	III	石斧	1	蛇紋岩	5.4 × 1.7 × 0.8	9.7	石のみ
－148	41－36	186	III	石斧	1	蛇紋岩	6.2 × 3.5 × 1.0	33.4	
－149	42－31	709	撹げ土	石斧	1	蛇紋岩	(5.8)×(10.7)× (2.4)	(260.9)	刃部欠損
－150	42－33	220	III	石斧	3	閃緑岩	(11.8)× (5.8)× 2.8	(304.2)	
－151	44－32	6	III	石斧	1	蛇紋岩	(10.2)× (4.6)× (2.0)	(126.0)	
図IV－52－152	42－30	222A	III	擦切残片		蛇紋岩	13.7 × 6.4 × 2.4	282.7	石斧の未製品
	42－31	388	III						
－153	40－37	171	III	擦切残片		蛇紋岩	(8.7)× 2.0 × 1.4	(30.1)	
－154	42－37		I	環状石斧		閃緑岩	10.2 × 10.1 × 1.8	241.3	
－155	42－37	63	III	石斧	1	蛇紋岩	4.9 × 3.8 × 0.9	25.7	有孔石斧（垂飾）
－156	47－33	29	I	石斧	1	蛇紋岩	5.1 × 3.4 × 0.9	21.4	有孔石斧（垂飾）
図IV－53－157	39－35	20	III	たたき石	1	凝灰岩	8.3 × 7.0 × 2.9	179.0	
－158	41－38	399	III	たたき石	1	安山岩	9.1 × 6.1 × 3.1	237.5	
－159	46－37	122	III	たたき石	1	閃緑岩	10.2 × 7.2 × 3.0	338.0	
－160	43－37	254	III	たたき石	1	閃緑岩	9.1 × 7.6 × 4.7	483.4	
－161	46－37	101	III	たたき石	1	閃緑岩	10.9 × 8.1 × 4.1	580.0	
－162	41－32	104	III	たたき石	1	凝灰岩	12.0 × 8.8 × 2.3	294.8	
	41－32	158	III						
－163	45－38	40	III						
－164	42－35	55	III	たたき石	3	閃緑岩	11.7 × 11.2 × 6.2	1,850.0	
－165	41－35	66	III	たたき石	1	片岩	10.0 × 5.6 × 4.0	322.6	
－166	43－32	27	III	たたき石	2	凝灰岩	11.6 × 4.5 × 2.0	100.7	
－167	42－34	70	III	たたき石	1	閃緑岩	10.1 × 6.3 × 2.8	258.8	
－168	45－38	58	III	たたき石	4	凝灰岩	9.1 × 8.6 × 2.4	253.1	台石片？
－169	42－32	328	III	たたき石	1	砂岩	11.0 × 5.7 × 1.9	187.1	
－170	41－38	1329	風倒木痕	たたき石	1	閃緑岩	12.8 × 5.6 × 3.6	385.2	
－171	42－31	920	撹げ土	たたき石	2	閃緑岩	13.6 × 5.0 × 3.0	293.9	
－172	42－35	65	III	たたき石	1	安山岩	14.0 × 5.5 × 3.2	414.0	
図IV－54－173	46－34	51	III	たたき石	2	閃緑岩	(17.4)× 4.9 × 3.7	(581.8)	
－174	39－34	41	III	たたき石	4	凝灰岩	(9.5)× (6.1)× 2.4	(198.6)	
－175	43－31	705	撹げ土	たたき石	1	泥岩	(7.5)× 7.5 × 3.0	(201.7)	
－176	46－33	20	撹げ土	たたき石	1	流紋岩	8.5 × 7.0 × 3.5	241.7	
図IV－55－177	45－37	7	III	すり石	1	閃緑岩	10.3 × 4.9 × 2.3	182.7	
－178	43－32	288	撹げ土	すり石	1	閃緑岩	11.0 × 5.2 × 3.6	320.4	
－179	41－30	63	III	すり石	1	砂岩	16.6 × 8.2 × 4.4	900.0	
	42－32	127	III						

図番号	発掘区	遺物番号	出土層位	分類	細分類	材質	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備考
図IV−55−180	42−31	805	撹げ土	すり石	1	閃緑岩	14.1 × 4.1 × 6.2	506.2	
−181	43−37	95	III	すり石	1	閃緑岩	19.9 × 7.4 × 4.4	1,160.0	
−182	45−38	73	III	すり石	1	安山岩	15.4 × 6.6 × 5.5	740.0	
−183	41−38	1305	III	すり石	1	閃緑岩	16.8 × 7.1 × 5.1	(940.0)	
−184	44−37	173	III	すり石	1	閃緑岩	15.7 × 6.0 × 3.4	504.0	
−185	46−32	565	撹げ土	すり石	1	閃緑岩	15.1 × 7.1 × 5.0	810.0	
図IV−56−186	41−35	168	III	すり石	1	閃緑岩	15.4 × 8.2 × 5.7	1,000.0	
−187	42−32	653C	III	すり石	1	閃緑岩	17.3 × 8.8 × 5.6	1,210.0	(杭)
−188	45−38	102	III	すり石	1	閃緑岩	18.0 × 8.3 × 4.8	935.0	
−189	42−38	82	III	すり石	2	閃緑岩	9.0 × 8.9 × 3.2	422.0	
−190	46−37	50	III	すり石	2	閃緑岩	9.4 × 8.0 × 2.9	351.2	
−191	42−33	210	III	すり石	2	閃緑岩	11.1 × 8.1 × 3.7	550.0	
−192	41−35	156	III	すり石	2	閃緑岩	10.6 × 8.2 × 4.7	670.0	
−193	42−33	226	III	すり石	1	閃緑岩	10.9 × 9.9 × 5.2	800.0	
−194	43−34	80	III	すり石	2	閃緑岩	13.1 × 8.9 × 4.2	850.0	
図IV−57−195	39−32		III	砥石	1	泥岩	6.6 × 6.3 × 2.7	116.2	(H−410−645)
−196	43−32	369	III	砥石	1	凝灰岩	8.9 × 5.6 × 2.1	174.3	
−197	40−35	241	III	砥石	1	凝灰岩	6.9 × 8.2 × 2.2	195.8	
−198	43−32	164	III	砥石	1	凝灰岩	8.7 × 7.0 × 1.8	144.3	
−199	45−37	90	III	砥石	1	凝灰岩	8.7 × 4.2 × 3.6	(206.4)	
−200	44−38	63	III	砥石	1	凝灰岩	9.9 × 4.8 × 2.7	(207.7)	
−201	46−32	547	撹げ土	砥石	1	凝灰岩	11.4 × 6.1 × 2.4	(214.1)	凹石
−202	41−35	57	III	砥石	1	凝灰岩	11.5 × 8.4 × 5.6	640.0	
−203	44−33	253	III	砥石	1	流紋岩?	14.3 × 10.1 × 6.3	1,160.0	
−204	43−31	720	撹げ土	砥石	1	凝灰岩	10.5 × 8.2 × 3.7	351.6	
−205	46−32	247	撹げ土	砥石	1	凝灰岩	9.7 × 9.3 × 6.0	450.4	
−206	39−30	208	III	砥石	2	凝灰岩	9.8 × 6.1 × 2.3	173.7	
−207	43−32	322	III	砥石	2	凝灰岩	15.6 × 8.3 × 5.7	690.0	有溝砥石?
図IV−58−208	39−29	37	III	砥石	2	凝灰岩	9.2 × 8.4 × 1.6	123.4	
−209	42−37	161	III	砥石	2	凝灰質砂岩	7.0 × 4.9 × 3.0	116.2	
−210	45−34	70	III	砥石	2	凝灰岩	11.8 × 7.7 × 3.0	345.2	
−211	44−32	77	撹げ土	石錯	1	砂岩	1.4 × 6.5 × 2.9	368.6	
図IV−59−212	40−30	201	III	石錘	円礫	泥岩	4.0 × 3.5 × 0.6	8.2	
−213	42−32	541	撹げ土	石錘	円礫	閃緑岩	4.7 × 3.5 × 1.1	26.2	
−214	42−32	561	撹げ土	石錘	円礫	閃緑岩	2.7 × 3.7 × 1.2	26.3	
−215	43−37	47	III	石錘	円礫	閃緑岩	5.3 × 4.6 × 1.3	46.4	
−216	41−38	623	III	石錘	円礫	閃緑岩	6.2 × 6.0 × 2.0	106.6	
−217	39−32	185	III	石錘	円礫	閃緑岩	7.3 × 6.8 × 2.1	156.1	
−218	39−32	44	III	石錘	円礫	閃緑岩	7.5 × 6.9 × 1.8	146.6	
−219	39−32	163	III	石錘	円礫	凝灰岩	8.6 × 7.5 × 2.5	193.3	
−220	42−30	477	撹げ土	石錘	円礫	閃緑岩	10.4 × 8.4 × 1.9	235.9	
−221	43−37	151	III	石錘	円礫	閃緑岩	7.1 × 6.9 × 2.9	228.3	
−222	40−35	242	III	石錘	円礫	閃緑岩	11.4 × 6.8 × 3.0	366.6	
−223	41−31	60	III	石錘	円礫	閃緑岩	10.3 × 5.5 × 2.0	173.4	
−224	40−32	59	III	石錘	円礫	閃緑岩	10.1 × 6.2 × 2.1	200.5	
−225	44−35	3	III	石錘	円礫	閃緑岩	14.1 × 9.9 × 3.9	620.0	
−226	39−31	56	III	石錘		泥岩	4.9 × 3.7 × 1.1	22.3	
−227	41−38	769	III	石錘	円礫	凝灰岩	7.2 × 6.1 × 1.4	83.4	
−228	40−38	179	III	石錘	円礫	閃緑岩	6.4 × 7.3 × 1.1	83.7	
−229	39−30	192	III	石錘	円礫	閃緑岩	8.0 × 9.9 × 2.5	261.6	
−230	46−32	560	撹げ土	石錘	円礫	閃緑岩	12.2 × 11.4 × 3.1	579.4	
−231	43−33	192	III	石錘	円礫	閃緑岩	11.7 × 11.1 × 2.7	521.4	
図IV−60−232	41−37	305	III	石皿		閃緑岩	19.0 × 16.3 × 6.7	3,700.0	
−233	45−37	93	III	石皿		閃緑岩	(24.0) × (21.5) × (4.1)	(4,620.0)	
−234	40−36	245	III	台石		流紋岩	(32.5) × (21.9) × (11.2)	(7,000.0)	
−235	47−38	110	III	異形石器		黒曜石	3.9 × 2.2 × 0.7	6.4	両端抉入石器
−236	45−32	198A	III	異形石器		硬質頁岩	4.6 × 1.9 × 5.0	5.8	両端抉入石器
−237	45−32	132A	撹げ土	異形石器		硬質頁岩	5.2 × 2.9 × 8.5	13.9	両端抉入石器
−238	43−31	661	撹げ土	異形石器		硬質頁岩	5.0 × 2.6 × 6.0	7.9	両端抉入石器
−239	44−33		I	垂飾		凝灰岩	8.2 × 2.5 × 0.8	15.9	

(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書　第120集

函館市

中　野　B　遺　跡　(III)

函館空港拡張整備工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書

第２分冊

III　遺構と遺構出土の遺物［続］

IV　包含層出土の遺物

V　自然科学的手法による分析結果

VI　まとめ

一覧表

平成10年１月30日発行

編　集　財団法人　北海道埋蔵文化財センター

〒064-0926　札幌市中央区南26条西11丁目

☎011（561）3131

印　刷　三陽印刷(株)

〒063-0061　札幌市西区西町北15丁目１番12号